

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第25集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 24

2020年3月

ふじみ野市教育委員会

市内遺跡群
24

二〇二〇

埼玉県ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第25集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 24

2020年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施され、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。その成果は、店舗や住宅建設などの開発に伴い発掘されたものです。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部である貴重な文化財を、「人がつながる 豊かで住み続けたいまち ふじみ野」の実現のため、将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会文化資源課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 朝倉 孝

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2016（平成28）及び2017（平成29）年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2016（平成28）年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費8,104,155円に対し国庫補助金（4,050,000円）、県費（2,025,000円）の補助金の交付を受け、2016（平成28）年4月1日～2017（平成29）年3月31日まで実施したものである。
2017（平成29）年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費8,434,167円に対し国庫補助金（4,215,000円）、県費（2,107,000円）の補助金の交付を受け、2017（平成29）年4月1日～2018（平成30）年3月31日まで実施したものである。
3. 調査組織

	文化財保護係調査担当者	
調査主体者	ふじみ野市教育委員会	高崎 直成（2005.4.1～2018.3.31）
担当課	社会教育課文化財保護係	鍋島 直久（2005.4.1～2017.3.31）
教育長	朝倉 孝（2014.4.1～）	長谷川義行（2017.4.1～）
部長	中野 則之（2015.4.1～2017.3.31）	岡崎 裕子（2015.4.1～）
	土屋 浩（2017.4.1～2019.3.31）	庶務担当 橋本祐可子（2015.4.1～）
	皆川 恒晴（2019.4.1～）	発掘調査員補 鎌田 翔（2015.11.2～2018.3.31）
課長	佐藤 龍司（2016.4.1～2018.3.31）	坪田 幹男（2018.7.1～）
	高崎 直成（2018.4.1～2019.3.31）	
	岩崎 明央（2019.4.1～）	臨時的任用職員 高橋 京子（2005.4.1～）
	社会教育課副課長兼文化財保護係長（2016.4.1から兼務）	
	高崎 直成（2013.4.1～2018.3.31）	
	小林 久美（2018.4.1～）	
4. 本書作成において、調査に至る経過の執筆は岡崎と長谷川で分担した。西ノ原遺跡第174地点と神明後遺跡第55地点の遺物観察表は坪田が担当し、それ以外の遺構と遺物の記載及び遺物観察表については岡崎が執筆した。また第Ⅱ部及び第Ⅲ部第2章については坪田が担当し、第Ⅲ部第1章は岡崎が執筆した。本書作成全般にわたり、鍋島直久氏、笹森健一氏（ふじみ野市発掘調査・整理作業指導者）のご教示を賜った。
石器実測及び本村遺跡第136地点遺構図については、有限会社アルケアリサーチに委託した。滝遺跡第28地点出土の種子同定と年代測定は、パリノ・サーヴェイ株式会社に業務委託した。
遺物接合・復元：川中ひろみ。
土器実測・拓本：明石千とせ、岩城英子、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。
遺構・遺物図トレース：小林登喜江。
図版作成：青山奈保美、大久保明子、齋藤有紀、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子。
遺構写真：鍋島、岡崎、鎌田。レイアウト・遺物写真：大久保、岡崎。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
天ヶ嶋岳、上田寛、越前谷理、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文夫、田中信、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松尾鉄城、三上栄一、水口由紀子、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部文化資源課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館。

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。(敬称略)

青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、家泉浩孝、壹岐久子、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大久保明子、岡良子、川中ひろみ、小林登喜江、齋藤有紀、坂本民子、佐竹里佳、鈴木勝弘、鈴木千恵子、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、高貝しづ子、丹治つや子、當山りえ、中田藤子、野岡由紀子、比嘉洋子、深谷美奈子、福田美枝子、増澤勝美、松平静、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代。

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺は原則として、遺構配置図 1：300、遺構平面図・遺物出土状況図 1：60、1：30、炉などの詳細図 1：30、土器実測図 1：4、土器拓影図 1：4、石器実測図 1：4、2：3、銭 1：1 ある。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
- (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、

攪乱		地山 (ローム)		焼土		煤・炭化物・タール範囲	
被熱範囲		赤色塗彩		黒色塗彩		釉	
土器	●	石器	★	黒曜石	▲	チャート	□
				礫	○	炭	■
- (4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
- (5) 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

埼玉県ふじみ野市
市内遺跡群 24 目次

はじめに	i	第 9 章 長宮遺跡の調査	66
例 言	ii	Ⅰ 遺跡の立地と環境	66
凡 例	iii	Ⅱ 長宮遺跡第 53 地点	70
目 次	iv	Ⅲ 長宮遺跡第 54 地点	71
挿図目次	vi	Ⅳ 長宮遺跡第 55 地点	81
表 目 次	viii	Ⅴ 長宮遺跡第 56 地点	83
写真図版目次	ix	Ⅵ 長宮遺跡第 57 地点	84
第 I 部 試掘調査と個人住宅建設に伴う調査の成果		第 10 章 亀居遺跡の調査	85
第 1 章 遺跡と調査の概要	1	Ⅰ 遺跡の立地と環境	85
Ⅰ 調査に至る経過	1	Ⅱ 亀居遺跡第 78 地点	88
Ⅱ 立地と環境	6	第 11 章 鶴ヶ舞遺跡の調査	89
Ⅲ 市内の遺跡	6	Ⅰ 遺跡の立地と環境	89
第 2 章 西遺跡の調査	11	Ⅱ 鶴ヶ舞遺跡第 26 地点	89
Ⅰ 遺跡の立地と環境	11	Ⅲ 鶴ヶ舞遺跡第 27 地点	91
Ⅱ 西遺跡第 4 地点	11	Ⅳ 鶴ヶ舞遺跡第 28 地点	91
第 3 章 北野遺跡の調査	13	Ⅴ 鶴ヶ舞遺跡第 29 地点	94
Ⅰ 遺跡の立地と環境	13	第 12 章 松山遺跡の調査	95
Ⅱ 北野遺跡第 38 地点	15	Ⅰ 遺跡の立地と環境	95
Ⅲ 北野遺跡第 39 地点	15	Ⅱ 松山遺跡第 86 地点	101
Ⅳ 北野遺跡第 40 地点	16	Ⅲ 松山遺跡第 87 地点	103
Ⅴ 北野遺跡第 41 地点	16	Ⅳ 松山遺跡第 88 地点	103
Ⅵ 北野遺跡第 42 地点	17	Ⅴ 松山遺跡第 89 地点	103
Ⅶ 北野遺跡第 43 地点	17	Ⅵ 松山遺跡第 90 地点	105
Ⅷ 北野遺跡第 44 地点	17	Ⅶ 松山遺跡第 91 地点	106
第 4 章 川崎遺跡の調査	19	Ⅷ 松山遺跡第 92 地点	107
Ⅰ 遺跡の立地と環境	19	Ⅸ 松山遺跡第 93 地点	108
Ⅱ 川崎遺跡第 45 地点	23	Ⅹ 松山遺跡第 94 地点	116
Ⅲ 川崎遺跡第 46 地点	25	第 13 章 江川南遺跡の調査	118
Ⅳ 川崎遺跡第 47 地点	26	Ⅰ 遺跡の立地と環境	118
第 5 章 ハケ遺跡の調査	27	Ⅱ 江川南遺跡第 27 地点	118
Ⅰ 遺跡の立地と環境	27	第 14 章 東久保遺跡の調査	121
Ⅱ ハケ遺跡第 22 地点	27	Ⅰ 遺跡の立地と環境	121
Ⅲ ハケ遺跡第 23 地点	45	Ⅱ 東久保遺跡第 73 地点	121
第 6 章 権現山遺跡の調査	46	Ⅲ 東久保遺跡第 74 地点	124
Ⅰ 遺跡の立地と環境	46	Ⅳ 東久保遺跡第 75 地点	125
Ⅱ 権現山遺跡第 27 地点	47	第 15 章 亀久保堀跡遺跡の調査	126
第 7 章 滝遺跡の調査	49	Ⅰ 遺跡の立地と環境	126
Ⅰ 遺跡の立地と環境	49	Ⅱ 亀久保堀跡遺跡第 32 地点	126
Ⅱ 滝遺跡第 26 地点	54	第 16 章 東久保西遺跡の調査	129
Ⅲ 滝遺跡第 28 地点	54	Ⅰ 遺跡の立地と環境	129
Ⅳ 滝遺跡第 29 地点	56	Ⅱ 東久保西遺跡第 22 地点	129
Ⅴ 滝遺跡第 30・31 地点	58	Ⅲ 東久保西遺跡第 23 地点	131
Ⅵ 滝遺跡第 32 地点	59	第 17 章 駒林遺跡の調査	132
第 8 章 西原遺跡の調査	64	Ⅰ 遺跡の立地と環境	132
Ⅰ 遺跡の立地と環境	64	Ⅱ 駒林遺跡第 33 地点	135
Ⅱ 西原遺跡第 4 地点	64	Ⅲ 駒林遺跡第 34 地点	135
		Ⅳ 駒林遺跡第 36 地点	135

第 18 章 福岡新田遺跡の調査・・・・・・・・・・	137	第 II 部 民間開発に伴う調査の成果	
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	137	第 1 章 本村遺跡第 136 地点の調査・・・・・・・・	214
II 福岡新田遺跡第 6 地点・・・・・・・・	137	I 本村遺跡の立地と環境・・・・・・・・	214
第 19 章 東久保南遺跡の調査・・・・・・・・・・	139	II 本調査に至る経過と概要・・・・・・・・	215
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	139	(1) 調査に至る経過・・・・・・・・	215
II 東久保南遺跡第 40 地点・・・・・・・・	139	(2) ふじみ野市の旧石器時代遺跡の立地概要・・・	216
III 東久保南遺跡第 41 地点・・・・・・・・	141	(3) 本村遺跡の旧石器時代の概・・・・・・・・	218
IV 東久保南遺跡第 42 地点・・・・・・・・	141	III 遺構と遺物・・・・・・・・	220
第 20 章 西ノ原遺跡の調査・・・・・・・・・・	142	(1) 旧石器時代の遺構と遺物・・・・・・・・	220
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	142	①概要・・・・・・・・	220
II 西ノ原遺跡第 169 地点・・・・・・・・	149	②層位・・・・・・・・	221
III 西ノ原遺跡第 170 地点・・・・・・・・	149	③出土石器・・・・・・・・	223
IV 西ノ原遺跡第 171 地点・・・・・・・・	151	④礫群・・・・・・・・	231
V 西ノ原遺跡第 172 地点・・・・・・・・	151	(2) 縄文時代の遺構・・・・・・・・	244
VI 西ノ原遺跡第 173 地点・・・・・・・・	152	①落とし穴・・・・・・・・	244
VII 西ノ原遺跡第 174 地点・・・・・・・・	156	(3) 中近世以降の遺構・・・・・・・・	247
第 21 章 神明後遺跡の調査・・・・・・・・・・	160	①段切り・・・・・・・・	247
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	160	②土坑・・・・・・・・	247
II 神明後遺跡第 55 地点・・・・・・・・	160	③溝 46・・・・・・・・	247
第 22 章 浄禅寺跡遺跡の調査・・・・・・・・・・	173	第 III 部 まとめ	
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	173	第 1 章 2016・2017 年度の調査について・・・・・・・・	248
II 浄禅寺跡遺跡第 42 地点・・・・・・・・	173	第 2 章 本村遺跡のまとめ・・・・・・・・	250
III 浄禅寺跡遺跡第 44 地点・・・・・・・・	176	附 編・・・・・・・・	265
IV 浄禅寺跡遺跡第 43 地点・・・・・・・・	177	写真図版・・・・・・・・	267
V 浄禅寺跡遺跡第 45 地点・・・・・・・・	177	抄 録・・・・・・・・	317
VI 浄禅寺跡遺跡第 46 地点・・・・・・・・	179		
VII 浄禅寺跡遺跡第 47 地点・・・・・・・・	180		
VIII 浄禅寺跡遺跡第 48 地点・・・・・・・・	185		
IX 浄禅寺跡遺跡第 49 地点・・・・・・・・	185		
X 浄禅寺跡遺跡第 50 地点・・・・・・・・	186		
第 23 章 大井宿遺跡の調査・・・・・・・・・・	187		
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	187		
II 大井宿遺跡第 18 地点・・・・・・・・	188		
第 24 章 大井氏館跡遺跡の調査・・・・・・・・	190		
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	190		
II 大井氏館跡遺跡第 27 地点・・・・・・・・	190		
第 25 章 本村遺跡の調査・・・・・・・・・・	192		
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	192		
II 本村遺跡第 132 地点・・・・・・・・	192		
III 本村遺跡第 133 地点・・・・・・・・	199		
IV 本村遺跡第 134 地点・・・・・・・・	200		
V 本村遺跡隣接地・・・・・・・・	202		
第 26 章 大井戸上遺跡の調査・・・・・・・・	203		
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	203		
II 大井戸上遺跡第 7 地点・・・・・・・・	203		
第 27 章 東台遺跡の調査・・・・・・・・・・	205		
I 遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・	205		
II 東台遺跡第 61 地点・・・・・・・・	209		
III 東台遺跡第 62 地点・・・・・・・・	213		

挿 図 目 次

第 1 図	ふじみ野市の位置と周辺の地形……………	7	第 37 図	滝遺跡第 29 地点溝(1/80)、出土遺物(1/4・2/3)…	57
第 2 図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)……………	9	第 38 図	滝遺跡第 30・31 地点調査区域図(1/300)、土層 (1/150)、第 30 地点出土遺物(1/4)……………	58
第 3 図	西遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	11	第 39 図	滝遺跡第 32 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150・ 1/60)……………	59
第 4 図	西遺跡第 4 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、 ピット(1/60)、出土遺物(1/4)……………	12	第 40 図	滝遺跡第 32 地点土坑・井戸(1/60)……………	60
第 5 図	北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	13	第 41 図	滝遺跡第 32 地点ピット・溝(1/60)……………	61
第 6 図	北野遺跡第 38・39 地点調査区域図(1/300)、土層 (1/80)、第 38 地点出土遺物(1/4)……………	15	第 42 図	滝遺跡第 32 地点出土遺物①(1/4・1/1)……………	62
第 7 図	北野遺跡第 40・41 地点調査区域図(1/300)、土層 (1/60)……………	16	第 43 図	滝遺跡第 32 地点出土遺物②(1/1)……………	63
第 8 図	北野遺跡第 42 地点遺構配置図(1/300)、ピット・溝 (1/60)、第 43・44 地点調査区域図(1/300)、第 43 地点出土遺物(1/4)……………	18	第 44 図	西原遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	64
第 9 図	川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	19	第 45 図	西原遺跡第 4 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60)、 炉穴・掘方(1/30)……………	65
第 10 図	川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)……………	22	第 46 図	長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	66
第 11 図	川崎遺跡第 45 地点遺構配置図(1/300)、溝(1/80) ……………	23	第 47 図	長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)……………	69
第 12 図	川崎遺跡第 45 地点出土遺物(1/4・2/3)……………	24	第 48 図	長宮遺跡第 53 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150) ……………	70
第 13 図	川崎遺跡第 46 地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)、 出土遺物(1/4)……………	25	第 49 図	長宮遺跡第 54 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150) ……………	71
第 14 図	川崎遺跡第 47 地点調査区域図(1/300)、土層(1/60) ……………	26	第 50 図	長宮遺跡第 54 地点 J18 号住居跡(1/60)、炉(1/30)・	72
第 15 図	ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	27	第 51 図	長宮遺跡第 54 地点 J18 号住居跡遺物出土状況(1/30) ……………	73
第 16 図	ハケ遺跡遺構分布図(1/1,500)……………	29	第 52 図	長宮遺跡第 54 地点トレンチ 1・3 酸化鉄範囲(1/60) ……………	74
第 17 図	ハケ遺跡第 22 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、 H18 号住居跡(1/60)……………	30	第 53 図	長宮遺跡第 54 地点土坑・溝(1/60)……………	75
第 18 図	ハケ遺跡第 22 地点 H18 号住居跡竈掘方・遺物出土 状況(1/30)……………	31	第 54 図	長宮遺跡第 54 地点出土遺物①(1/4)……………	76
第 19 図	ハケ遺跡第 22 地点土坑・ピット群(縄文時代)(1/60) ……………	32	第 55 図	長宮遺跡第 54 地点出土遺物②(1/4)……………	77
第 20 図	ハケ遺跡第 22 地点土坑・ピット群(古代以降)(1/60) ……………	33	第 56 図	長宮遺跡第 54 地点出土遺物③(1/4)……………	78
第 21 図	ハケ遺跡第 22 地点土坑(近世以降)(1/60)……………	34	第 57 図	長宮遺跡第 55 地点遺構配置図(1/300)、土坑・ピッ ト・溝(1/60)、出土遺物(1/4・1/6・2/3)……………	81
第 22 図	ハケ遺跡第 22 地点土坑・ピット・2017 年度調査区 域図・土層(1/60)……………	35	第 58 図	長宮遺跡第 56 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、 出土遺物(1/1)……………	83
第 23 図	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物①(1/4)……………	36	第 59 図	長宮遺跡第 57 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、 土坑(1/60)、出土遺物(1/4)……………	84
第 24 図	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物②(1/4)……………	37	第 60 図	亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	85
第 25 図	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物③(1/4)……………	38	第 61 図	亀居遺跡第 78 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150) ……………	88
第 26 図	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物④(1/4)……………	39	第 62 図	鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	89
第 27 図	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物⑤(1/4・1/2・2/3・1/1) ……………	40	第 63 図	鶴ヶ舞遺跡第 26 地点調査区域図(1/300)……………	90
第 28 図	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物⑥(1/4・1/6)……………	41	第 64 図	鶴ヶ舞遺跡第 27 地点調査区域図(1/300)……………	91
第 29 図	ハケ遺跡第 23 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、 ピット(1/60)、出土遺物(1/4)……………	45	第 65 図	鶴ヶ舞遺跡第 28 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60)、 出土遺物(1/4)……………	91
第 30 図	権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	46	第 66 図	鶴ヶ舞遺跡第 28 地点炉穴(1/30)、土坑・ピット (1/60)……………	93
第 31 図	権現山遺跡第 27 地点遺構配置図(1/300)、ピット (1/60)、出土遺物(1/4)……………	48	第 67 図	鶴ヶ舞遺跡第 29 地点調査区域図(1/300)、土層(1/60) ……………	94
第 32 図	滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	49	第 68 図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)……………	95
第 33 図	滝遺跡遺構分布図(1/2,000)……………	51	第 69 図	松山遺跡遺構分布図(1/3,000)……………	99
第 34 図	滝遺跡第 28 地点遺構配置図(1/300)、H45 号住居跡 (1/60)……………	54	第 70 図	松山遺跡第 86 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150) ……………	101
第 35 図	滝遺跡第 28 地点竈・掘方(1/30)、出土遺物(1/4)・	55	第 71 図	松山遺跡第 86 地点溝(1/60)、出土遺物(1/4)……………	102
第 36 図	滝遺跡第 29 地点遺構配置図(1/300)……………	56	第 72 図	松山遺跡第 87・89 地点調査区域図・第 88 地点遺構 配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット・溝(1/60)、 第 89 地点出土遺物(1/4)……………	104

第 73 図	松山遺跡第 90 地点調査区域図・第 91 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4・1/1)……105	第 106 図	西ノ原遺跡第 173 地点出土遺物(1/4)……155
第 74 図	松山遺跡第 92 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)……107	第 107 図	西ノ原遺跡第 174 地点遺構配置図(1/300)、トレンチ(1/60)……156
第 75 図	松山遺跡第 93・94 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)……109	第 108 図	西ノ原遺跡第 174 地点出土遺物①(1/4)……157
第 76 図	松山遺跡第 93 地点 H50 号住居跡(1/60)……110	第 109 図	西ノ原遺跡第 174 地点出土遺物②(1/4)……158
第 77 図	松山遺跡第 93 地点 H51 号住居跡(1/60)、竈(1/30)、堀跡(1/60)……111	第 110 図	神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000)……160
第 78 図	松山遺跡第 93 地点溝(1/60)、出土遺物①(1/4)……112	第 111 図	神明後遺跡遺構分布図(1/2,000)……163
第 79 図	松山遺跡第 93 地点出土遺物②(1/4・1/2)……113	第 112 図	神明後遺跡第 55 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、J24 号住居跡(1/60)……165
第 80 図	松山遺跡第 93 地点出土遺物③(1/4・1/1)……114	第 113 図	神明後遺跡第 55 地点 J24 号住居跡遺物出土状況(1/60)……166
第 81 図	松山遺跡第 94 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)……116	第 114 図	神明後遺跡第 55 地点 J28 号住居跡・土坑・ピット(1/60)、炉・掘方・埋甕(1/30)……167
第 82 図	松山遺跡第 94 地点出土遺物(1/4)……117	第 115 図	神明後遺跡第 55 地点出土遺物①(1/4・2/3)……168
第 83 図	江川南遺跡の地形と調査区(1/4,000)……118	第 116 図	神明後遺跡第 55 地点出土遺物②(1/4)……169
第 84 図	江川南遺跡第 27 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)……120	第 117 図	神明後遺跡第 55 地点出土遺物③(1/4)……170
第 85 図	東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)……121	第 118 図	浄禅寺跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)……173
第 86 図	東久保遺跡第 73 地点調査区域図・第 74 地点遺構配置図(1/300)、土層・ピット(1/60)、出土遺物(1/1)……124	第 119 図	浄禅寺跡遺跡遺構分布図(1/2,000)……175
第 87 図	東久保遺跡第 75 地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)……125	第 120 図	浄禅寺跡遺跡第 42・44 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第 42 地点土坑・第 44 地点溝(1/60)……176
第 88 図	亀久保堀跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)……126	第 121 図	浄禅寺跡遺跡第 43 地点調査区域図(1/500)、第 45 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4・1/1)……178
第 89 図	亀久保堀跡遺跡遺構分布図(1/2,500)……127	第 122 図	浄禅寺跡遺跡第 46 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、イモピット(1/60)、出土遺物(1/4)……179
第 90 図	亀久保堀跡遺跡第 32 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)……128	第 123 図	浄禅寺跡遺跡第 47 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、炉穴(1/30)……181
第 91 図	東久保西遺跡の地形と調査区(1/4,000)……129	第 124 図	浄禅寺跡遺跡第 47 地点土坑・ピット(1/60)……182
第 92 図	東久保西遺跡第 22・23 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第 22 地点出土遺物(1/4)……131	第 125 図	浄禅寺跡遺跡第 47 地点出土遺物(1/4)……183
第 93 図	駒林遺跡の地形と調査区(1/5,000)……132	第 126 図	浄禅寺跡遺跡第 48・49 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)……185
第 94 図	駒林遺跡第 33・34・36 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第 33・34 地点出土遺物(1/4・1/1)……136	第 127 図	浄禅寺跡遺跡第 50 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)……186
第 95 図	福岡新田遺跡の地形と調査区(1/4,000)……137	第 128 図	大井宿遺跡の地形と調査区(1/4,000)……187
第 96 図	福岡新田遺跡第 6 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)……138	第 129 図	大井宿遺跡第 18 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4・1/6)……189
第 97 図	東久保南遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第 40 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)……139	第 130 図	大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)……190
第 98 図	東久保南遺跡第 41・42 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)……141	第 131 図	大井氏館跡遺跡第 27 地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)……191
第 99 図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)……142	第 132 図	本村遺跡第 132 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)……192
第 100 図	西ノ原遺跡縄文時代遺構分布図(1/2,000)……145	第 133 図	本村遺跡の地形と調査区(1/4,000)……193
第 101 図	西ノ原遺跡第 169 地点調査区域図・第 170 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)……149	第 134 図	本村遺跡溝分布図(1/3,000)……197
第 102 図	西ノ原遺跡第 170 地点ピット(1/60)、溝(1/80)、出土遺物(1/4)……150	第 135 図	本村遺跡第 132 地点ピット・溝(1/80)、出土遺物(1/4)……198
第 103 図	西ノ原遺跡第 171 地点調査区域図・第 172 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第 172 地点ピット(1/60)、出土遺物(1/4)……151	第 136 図	本村遺跡第 133 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)……199
第 104 図	西ノ原遺跡第 173 地点遺構配置図(1/300)、土層・第 147 号住居跡・ピット(1/60)……152	第 137 図	本村遺跡第 134 地点遺構配置図(1/400)……200
第 105 図	西ノ原遺跡第 173 地点炉(1/30)、住居外ピット(1/60)……153	第 138 図	本村遺跡第 134 地点土層(1/150・1/60)、ピット・溝(1/60)、出土遺物(1/4)……201
		第 139 図	本村遺跡隣接地調査区域図(1/300)、出土遺物(1/4)……202
		第 140 図	大井戸上遺跡の地形と調査区(1/4,000)……203
		第 141 図	大井戸上遺跡第 7 地点遺構配置図(1/300)、土層

(1/150)、ピット(1/60)……………	204	第 159 図	本村遺跡第 136 地点出土石器③(4/5)……………	226	
第 142 図	東台遺跡の地形と調査区(1/5,000)……………	205	第 160 図	本村遺跡第 136 地点出土石器④(2/3)……………	227
第 143 図	東台遺跡遺構分布図(1/2,000)……………	208	第 161 図	本村遺跡第 136 地点出土石器⑤(4/5)……………	228
第 144 図	東台遺跡第 61 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150・1/60)……………	209	第 162 図	本村遺跡第 136 地点出土石器⑥(4/5)……………	229
第 145 図	東台遺跡第 61 地点出土遺物①(1/4)……………	210	第 163 図	本村遺跡第 136 地点の主な石器の出土分布図(1/30)……………	230
第 146 図	東台遺跡第 61 地点出土遺物②(1/4)……………	211	第 164 図	本村遺跡第 136 地点礫群石材別分布図(1/30)……………	232
第 147 図	東台遺跡第 62 地点遺構配置図(1/200)、土層・ピット(1/60)……………	213	第 165 図	本村遺跡第 136 地点礫群接合図(1/30)……………	233
第 148 図	本村遺跡の立地と川越街道沿いの段丘と主要遺跡群……………	214	第 166 図	本村遺跡第 136 地点構成礫重量グラフ……………	234
第 149 図	本村遺跡第 136 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)……………	215	第 167 図	本村遺跡第 136 地点落とし穴(1/60)……………	244
第 150 図	ふじみ野市の地形断面及び段丘区分図……………	216	第 168 図	本村遺跡落とし穴分布図(1/3,000)……………	245
第 151 図	本村遺跡旧石器時代遺跡分布図(1/30,000)……………	217	第 169 図	本村遺跡第 136 地点土坑・ピット・溝(1/60)……………	246
第 152 図	本村遺跡第 136 地点旧石器時代調査区・層位(1/150)……………	218	第 170 図	本村遺跡第 136 地点土層(1/60)……………	247
第 153 図	本村遺跡旧石器時代遺構確認地点(1/2,500)……………	219	第 171 図	北武蔵の旧石器時代遺跡と旧砂川の埋没河川流路図(1/25,000)……………	251
第 154 図	本村遺跡第 136 地点石器・礫分布微細図(1/30)……………	220	第 172 図	本村遺跡と埋没河川周辺の地形と遺跡……………	252
第 155 図	本村遺跡第 136 地点石器・礫分布図(1/30)……………	221	第 173 図	本村遺跡埋没河川の掘り込み・埋没河川内の植物の繁茂状況……………	253
第 156 図	本村遺跡第 136 地点石器器種・石材別分布図(1/40)……………	222	第 174 図	本村遺跡埋没河川発掘調査箇所と流路……………	253
第 157 図	本村遺跡第 136 地点出土石器①(4/5)……………	224	第 175 図	本村遺跡の槍先形尖頭器出土地点(1/2,500)……………	255
第 158 図	本村遺跡第 136 地点出土石器②(4/5)……………	225	第 176 図	本村遺跡のIV層のナイフ形石器出土地点(1/2,500)……………	256
			第 177 図	本村遺跡器種別・石材別組成表……………	262

表 目 次

第 1 表	過去 3 年間の調査件数と面積一覧表……………	1	第 23 表	権現山遺跡調査一覧表……………	47
第 2 表	2016(平成 28)年度埋蔵文化財調査一覧表……………	2	第 24 表	権現山遺跡第 27 地点出土遺物観察表……………	48
第 3 表	2016(平成 28)年度立会い調査一覧表 1(埋蔵文化財包蔵地内)……………	3	第 25 表	滝遺跡調査一覧表……………	50
第 4 表	2016(平成 28)年度立会い調査一覧表 2(埋蔵文化財包蔵地外)……………	3	第 26 表	滝遺跡古代住居跡一覧表……………	52
第 5 表	2017(平成 29)年度埋蔵文化財調査一覧表……………	4	第 27 表	滝遺跡第 28 地点出土遺物観察表……………	56
第 6 表	2017(平成 29)年度立会い調査一覧表 1(埋蔵文化財包蔵地内)……………	5	第 28 表	滝遺跡第 29 地点溝一覧表……………	56
第 7 表	2017(平成 29)年度立会い調査一覧表 2(埋蔵文化財包蔵地外)……………	5	第 29 表	滝遺跡第 29 地点出土遺物観察表……………	56
第 8 表	ふじみ野市遺跡一覧表……………	10	第 30 表	滝遺跡第 32 地点ピット一覧表……………	61
第 9 表	縄文時代中期時期細対比表……………	10	第 31 表	滝遺跡第 32 地点出土遺物観察表……………	63
第 10 表	西遺跡調査一覧表……………	12	第 32 表	西原遺跡調査一覧表……………	65
第 11 表	北野遺跡調査一覧表……………	14	第 33 表	長宮遺跡調査一覧表……………	67
第 12 表	北野遺跡第 38 地点出土遺物観察表……………	15	第 34 表	長宮遺跡縄文時代住居跡一覧表……………	70
第 13 表	北野遺跡第 43 地点出土遺物観察表……………	17	第 35 表	長宮遺跡第 54 地点住居内ピット一覧表……………	72
第 14 表	川崎遺跡調査一覧表……………	20	第 36 表	長宮遺跡第 54 地点出土遺物観察表……………	79
第 15 表	川崎遺跡第 45 地点出土遺物観察表……………	24	第 37 表	長宮遺跡第 55 地点出土遺物観察表……………	82
第 16 表	川崎遺跡第 46 地点出土遺物観察表……………	25	第 38 表	長宮遺跡第 56・57 地点出土遺物観察表……………	83
第 17 表	ハケ遺跡調査一覧表……………	28	第 39 表	亀居遺跡調査一覧表……………	86
第 18 表	ハケ遺跡古代住居跡一覧表……………	28	第 40 表	鶴ヶ舞遺跡調査一覧表……………	90
第 19 表	ハケ遺跡第 22 地点 H18 号住居内ピット一覧表……………	31	第 41 表	鶴ヶ舞遺跡第 28 地点炉穴一覧表……………	92
第 20 表	ハケ遺跡第 22 地点土坑一覧表……………	35	第 42 表	松山遺跡調査一覧表……………	96
第 21 表	ハケ遺跡第 22 地点ピット一覧表……………	35	第 43 表	松山遺跡古代住居跡一覧表……………	100
第 22 表	ハケ遺跡第 22 地点出土遺物観察表……………	42	第 44 表	松山遺跡第 86 地点出土遺物観察表……………	102
			第 45 表	松山遺跡第 91・92 地点出土遺物観察表……………	106
			第 46 表	松山遺跡第 93 地点出土遺物観察表……………	114
			第 47 表	松山遺跡第 94 地点出土遺物観察表……………	117
			第 48 表	江川南遺跡調査一覧表……………	119

第 49 表	江川南遺跡第 27 地点出土遺物観察表	120
第 50 表	東久保遺跡調査一覧表	122
第 51 表	亀久保堀跡遺跡調査一覧表	128
第 52 表	東久保西遺跡調査一覧表	130
第 53 表	駒林遺跡調査一覧表	133
第 54 表	駒林遺跡第 33・34 地点出土遺物観察表	135
第 55 表	福岡新田遺跡調査一覧表	138
第 56 表	東久保南遺跡調査一覧表	140
第 57 表	西ノ原遺跡調査一覧表	143
第 58 表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	146
第 59 表	西ノ原遺跡第 170・172 地点ピット一覧表	150
第 60 表	西ノ原遺跡第 173 地点出土遺物観察表	154
第 61 表	西ノ原遺跡第 174 地点出土遺物観察表	159
第 62 表	神明後遺跡調査一覧表	161
第 63 表	神明後遺跡縄文時代住居跡一覧表	164
第 64 表	神明後遺跡第 55 地点 J24・28 号住居跡ピット一覧表	166
第 65 表	神明後遺跡第 55 地点出土遺物観察表	171
第 66 表	浄禅寺跡遺跡調査一覧表	174
第 67 表	浄禅寺跡遺跡第 45 地点ピット一覧表	177
第 68 表	浄禅寺跡遺跡第 43・45 地点出土遺物観察表	177
第 69 表	浄禅寺跡遺跡第 47 地点土坑一覧表	180
第 70 表	浄禅寺跡遺跡第 47 地点ピット一覧表	180
第 71 表	浄禅寺跡遺跡第 47 地点出土遺物観察表	184
第 72 表	大井宿遺跡調査一覧表	188
第 73 表	大井宿遺跡第 18 地点ピット一覧表	188
第 74 表	大井宿遺跡第 18 地点出土遺物観察表	189
第 75 表	大井氏館跡遺跡調査一覧表	191
第 76 表	本村遺跡調査一覧表	194
第 77 表	本村遺跡第 133 地点ピット一覧表	199
第 78 表	本村遺跡隣接地出土遺物観察表	202
第 79 表	大井戸上遺跡調査一覧表	204
第 80 表	東台遺跡調査一覧表	206
第 81 表	東台遺跡第 61 地点出土遺物観察表	211
第 82 表	本村遺跡旧石器時代調査一覧表	218
第 83 表	本村遺跡第 136 地点石器組成表	223
第 84 表	本村遺跡第 136 地点出土旧石器観察表	235
第 85 表	本村遺跡第 136 地点出土礫観察表	237

写真図版目次

写真図版 1	西遺跡第 4 地点、北野遺跡第 38・39・40・41 地点	267
写真図版 2	北野遺跡第 42・43・44 地点、川崎遺跡第 45 地点(1)	268
写真図版 3	川崎遺跡第 45(2)・46・47 地点	269
写真図版 4	ハケ遺跡第 22 地点(1)	270
写真図版 5	ハケ遺跡第 22 地点(2)	271
写真図版 6	ハケ遺跡第 22 地点(3)	272
写真図版 7	ハケ遺跡第 22 地点(4)	273
写真図版 8	ハケ遺跡第 22 地点(5)	274
写真図版 9	ハケ遺跡第 22 地点(6)	275
写真図版 10	ハケ遺跡第 23 地点、権現山遺跡第 27 地点	276
写真図版 11	滝遺跡第 28・29(1)地点	277
写真図版 12	滝遺跡第 29(2)・30・31・32(1)地点	278
写真図版 13	滝遺跡第 32 地点(2)	279
写真図版 14	西原遺跡第 4 地点、長宮遺跡第 53 地点	280
写真図版 15	長宮遺跡第 54 地点(1)	281
写真図版 16	長宮遺跡第 54 地点(2)	282
写真図版 17	長宮遺跡第 55・56・57 地点	283
写真図版 18	亀居遺跡第 78 地点、鶴ヶ舞遺跡第 26・27・28(1)	284
写真図版 19	鶴ヶ舞遺跡第 28(2)・29 地点、松山遺跡第 86 地点	285
写真図版 20	松山遺跡第 87・88・89・90・91(1)地点	286
写真図版 21	松山遺跡第 91(2)・92 地点	287
写真図版 22	松山遺跡第 93 地点(1)	288
写真図版 23	松山遺跡第 93 地点(2)	289
写真図版 24	松山遺跡第 94 地点、江川南遺跡第 27 地点	290
写真図版 25	東久保遺跡第 73・74・75 地点、亀久保堀跡遺跡遺跡第 32 地点、東久保西遺跡第 22 地点(1)	291
写真図版 26	東久保西遺跡第 23 地点(2)、駒林遺跡第 33・34・36 地点、福岡新田第 6 地点、東久保南遺跡第 40 地点	292
写真図版 27	東久保南遺跡第 41・42 地点、西ノ原遺跡第 169・170 地点(1)	293
写真図版 28	西ノ原遺跡第 170 地点(2)	294
写真図版 29	西ノ原遺跡第 171・172・173(1)地点	295
写真図版 30	西ノ原遺跡第 173(2)・174(1)地点	296
写真図版 31	西ノ原遺跡第 174 地点(2)	297
写真図版 32	神明後遺跡第 55 地点(1)	298
写真図版 33	神明後遺跡第 55 地点(2)	299
写真図版 34	神明後遺跡第 55 地点(3)	300
写真図版 35	浄禅寺跡遺跡第 42・43・44 地点	301
写真図版 36	浄禅寺跡遺跡第 45・46・47(1)地点	302
写真図版 37	浄禅寺跡遺跡第 47 地点(2)	303
写真図版 38	浄禅寺跡遺跡第 47 地点(3)	304
写真図版 39	浄禅寺跡遺跡第 47(4)・48 地点	305
写真図版 40	浄禅寺跡遺跡第 49・50 地点、大井宿遺跡第 18 地点、大井氏館跡遺跡第 27 地点	306
写真図版 41	本村遺跡第 132・133 地点	307
写真図版 42	本村遺跡第 134 地点、本村遺跡隣接地	308
写真図版 43	大井戸上遺跡第 7 地点、東台遺跡第 61 地点(1)	309
写真図版 44	東台遺跡第 61(2)・62 地点	310
写真図版 45	本村遺跡第 136 地点(1)	311
写真図版 46	本村遺跡第 136 地点(2)	312
写真図版 47	本村遺跡第 136 地点(3)	313
写真図版 48	本村遺跡第 136 地点(4)	314
写真図版 49	本村遺跡第 136 地点(5)	315
写真図版 50	本村遺跡第 136 地点(6)	316

第 I 部 試掘調査と個人住宅建設に伴う調査の成果

第 1 章 遺跡と調査の概要

I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」（旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで）として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、建設課（民間の指定確認検査機関含む）への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」（以下「埋蔵文化財事前協議書」）の提出を受けて事前協議を行う。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ現地踏査及び現況確認を実施、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者と協議を行った。

協議後、文化財保護法第 99 条第 4 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。またその個人の用に供する住宅（個人住宅）の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2016 年度の試掘及び発掘調査は第 2 表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査 36 件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査 0 件、公共事業に伴う本調査 1 件、民間開発に伴う本調査 2 件を行った。開発面積は 12,482.99 m²で、そのうち実質調査面積は試掘 1,849.63（本調査面積 800.5）m²である。過去 2 年間の調査件数と調査面積を第 1 表に掲載する。

2017 年度の試掘及び発掘調査は第 5 表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査 47 件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査 3 件、公共事業に伴う本調査 0 件、民間開発に伴う本調査 5 件を行った。開発面積は 23,031.17 m²で、そのうち実質調査面積は試掘 4,181.46（本調査面積 1,321.08）m²である。過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表に掲載する。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第 1 表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

	試掘件数	個人住宅 本調査件数	原因者負担 本調査件数	調査原因の内訳
	開発面積m ²	開発面積m ²	開発面積m ²	
2015（平成 27）年度	47 件	1 件	7 件	個人住宅 17、共同住宅 6、分譲住宅 13、宅地造成 5、店舗 1、駐車場 2、保育所 1、老人介護施設 1、集会所 1
	25,714.7	368.9	9,108.3	
2016（平成 28）年度	38 件	1 件	2 件	個人住宅 14、分譲住宅 14、共同住宅 6、自治会館 1、幼稚園 1、公園 1、道路 1
	12,482.99	40.5	760	
2017（平成 29）年度	48 件	3 件	5 件	個人住宅 24、分譲住宅 11、共同住宅 4、宅地造成 3、店舗 1、資材置場 1、自治会館 1、消防団車庫 1、道路拡幅 1、物置 1
	22,380.17	694.8	7,256.5	

第2表 2016（平成28）年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積 (㎡)	個人住宅等 本調査面積	原因	試掘期間	調査措置
					民間開発 本調査面積		本調査期間	
1	西遺跡第4地点	西2-5904-1の一部、2の一部	489	134.4		共同住宅	7/27・28	試掘調査
2	北野遺跡第38地点	北野2-1807-6・7・8、1808-3・5	106.9	9.5		個人住宅	7/29	試掘調査
3	北野遺跡第39地点	北野1-3129-27・28	119	21		分譲住宅	12/5	試掘調査
4	北野遺跡第40地点	北野2-5-27	65	12.42		分譲住宅	1/30・31	試掘調査
5	北野遺跡第41地点	北野2-1794-2の一部	157.49	13		分譲住宅	2/20・21	試掘調査
6	川崎遺跡第45地点	川崎字山向8-4、7-7・8	254.72	55.65		個人住宅	2/22・24	試掘調査
7	川崎遺跡第46地点	川崎字宮前101-5、103-8	199	4		個人住宅	3/13	試掘調査
8	ハケ遺跡第22地点	福岡3-2061-3の一部	249.32	116.65	40.5	はげ自治会館	12/26～1/19 1/25～2/8	試掘調査・ 本調査
9	滝遺跡第26地点	滝2-5-39～42	557	131.9		分譲住宅	8/24～9/9	市内22報告済
10	滝遺跡第28地点	滝1-4-1・26・27	2,492.15	25		幼稚園改築工事	9/3～6	試掘調査
11	滝遺跡第29地点	滝2-5-46	150.41	34.95		個人住宅	11/10	試掘調査
12	滝遺跡第30地点	滝1-1-3の一部	303	104.5		分譲住宅	2/13～15	試掘調査
13	滝遺跡第31地点	滝1-1-3の一部	109	26.1		個人住宅	2/13～15	試掘調査
14	長宮遺跡第53地点	上ノ原3-6-3	223	53.13		共同住宅	7/11	試掘調査
15	鶴ヶ舞遺跡第26地点	鶴ヶ舞1-99-10～12	252	15.75		分譲住宅	12/5	試掘調査
16	松山遺跡第86地点	築地1-1-4	294	37.9		分譲住宅	7/5～7	試掘調査
17	松山遺跡第87地点	築地3-1-21・22の一部・39・40・41・84	427	29.5		個人住宅	9/14	試掘調査
18	松山遺跡第88地点	築地1-3-36	120	18.8		個人住宅	10/13	試掘調査
19	松山遺跡第89地点	築地2-1-11・16	287.04	89.3		分譲住宅	3/3～6	試掘調査
20	江川南遺跡第27地点	東久保1-123-1・2	380.19	62.35		共同住宅	7/19・20	試掘調査
21	東久保西遺跡第22地点	ふじみ野2-11-11	185.1	45.91		個人住宅	12/22	試掘調査
22	駒林遺跡第33地点	駒林元町1-2-2	129.6	27.79		個人住宅	4/11	試掘調査
23	駒林遺跡第34地点	新駒林3-725-3	163	27.5		共同住宅	10/14	試掘調査
24	東久保南遺跡第40地点	ふじみ野4-7-17	114	37.05		個人住宅	3/13	試掘調査
25	西ノ原遺跡第158地点	旭1-15-6	755	(249.00)	700.0	共同住宅	調査済 3/23・24	市内18・ 23報告済
26	西ノ原遺跡第169地点	苗間1-12-5	173	21.18		共同住宅	9/14	試掘調査
27	西ノ原遺跡第170地点	苗間1-14-2・3	468.36	116.15		分譲住宅	10/18・19	試掘調査
28	西ノ原遺跡第171地点	苗間1-1-4・5	102.32	20.9		個人住宅	11/28	試掘調査
29	西ノ原遺跡第172地点	旭1-7-12	147.45	34.53		分譲住宅	2/16・17	試掘調査
30	苗間東久保遺跡第33地点	苗間字東久保640-1・10・11	313	96.42	60.0	分譲住宅	7/14～25 7/28～8/3	市内19報告済
31	浄禅寺跡遺跡第42地点	苗間字神明前564-3の一部	132.35	38.55		分譲住宅	4/8	試掘調査
32	浄禅寺跡遺跡第43地点	苗間589-1	1,402	165.67		公園	6/20～24	試掘調査
33	浄禅寺跡遺跡第44地点	苗間字神明前564-5	124.05	30.64		分譲住宅	7/1～4	試掘調査
34	浄禅寺跡遺跡第45地点	苗間字神明後349-3、350-4	310	19.44		個人住宅	8/18・19	試掘調査
35	浄禅寺跡遺跡第46地点	苗間588-10	108	70		道路拡幅	2/6	試掘調査
36	大井氏館跡遺跡第27地点	大井1-9-5の一部	301	20.15		個人住宅	9/12	試掘調査
37	本村遺跡第132地点	大井2-17-9	212	63.2		分譲住宅	8/4・5	試掘調査
38	本村遺跡第133地点	大井2-7-6	107.54	18.75		個人住宅	10/11	試掘調査
合計			12,482.99	1,849.63	40.5 760.0			

第3表 2016(平成28)年度立会い調査一覧表1 (埋蔵文化財包蔵地内)

No.	遺跡・地点	申請地住所	開発面積 (㎡)	原因	立会日	備考
1	鶴ヶ岡外	亀久保字三角 1703-17	7225.00	伐採・抜根	6/2	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
2	鶴ヶ岡外	亀久保 1606 番 1	4621.00	設備交換に伴う本柱建替工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
3	西	西 2 丁目 2071 番 3	1.00	土地利用に伴う本柱撤去工事		工事日程連絡待ち
4	西	西 2 丁目 2071 番 1	1.00	土地利用に伴う支線柱・支線移設	8/31	立会済
5	西	西 2 丁目 2068-1 ~ 2071-1	7.80	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
6	北野	北野 2 丁目 4-7 付近	16.68	ガス管新設工事		掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
7	北野	北野 2 丁目 5	9.00	ガス管新設工事	5/27	33 地点 (遺構遺物なし) の隣接地、掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
8	北野	大原 1 丁目 2058 番 1	221.00	土地利用支障に伴う支線移設		工事日程連絡待ち
9	北野	北野 2 丁目 8 番地	16.30	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
10	ハケ 19	福岡 3 丁目 1219 番 2	1.00	土地利用に伴う支柱撤去工事	4/18	H 27.6.2 ~ 9.11 本調査済、縄文・古墳遺構確認、慎重工事
11	ハケ	福岡 3 丁目 1251 番 1・1252 番 11・1254 番 54	262.54	土地利用に伴う本柱移設・支線撤去	4/18	立会済
12	滝 25	滝 1 丁目 2 番 33	100.00	個人住宅	調査済	H26.7 ~ 8 月試掘済、現地表面化 90 cm で遺構遺物確認、保護層有工事立会、工事日程連絡待ち
13	滝 25	滝 1 丁目 2 番 34	100.00	個人住宅	調査済	H26.7 ~ 8 月試掘済、現地表面化 100 cm で古代住居跡確認、保護層有工事立会、工事日程連絡待ち
14	長宮 48	上ノ原 3 丁目 6 番 13	138.00	土地利用に伴う支線撤去	調査済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
15	長宮 51	中丸 1 丁目 3 番 24・35	1.00	宅地開発に伴う本柱・支線新設工事		掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会、工事日程連絡待ち
16	長宮	西原 2 丁目 5 番 32	1.00	宅地開発に伴う支線移設工事	立会済	立会済
17	亀居	亀久保 2 丁目 12-5・6、17-8	1.00	土地利用に伴う電柱移設工事		工事日程連絡待ち
18	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞 1 丁目 58 番 6	53.00	土地利用に伴う小柱支線移設	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
19	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞 1 丁目 61-5	5.24	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
20	松山	松山 2 丁目 5 番 6 号	1.00	土地利用に伴う支線撤去	立会済	立会済
21	松山	築地 1 丁目 1-50	1.44	ガス管新設工事	11/1	GL 下 60 cm で地山ローム層確認、遺構遺物なし
22	松山	中ノ島 1 丁目 2 番 7	0.10	設備腐食に伴う支線打替工事	7/4	立会済
23	城山	福岡 224 番 1	1.00	設備不良に伴う支線打替工事		掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会、工事日程連絡待ち
24	江川東	東久保 1 丁目 144-21 ~ 144-6	4.60	ガス管新設工事	立会済	立会済
25	江川東	東久保 1 丁目 142 番 4	1.84	引込線改修工事	6/3	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
26	神明後	苗間 292 番 2	1.20	土地利用支障に伴う本柱・支線移設工事		工事日程連絡待ち
27	神明後	苗間 375-1 ~ 417-1	257.00	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
28	苗間東久保	苗間東久保 640-10	104.53	建売住宅	立会済	GL 下への影響なし立会のみ、(株)アーネストワンより再提出のため取り消し
29	浄禅寺跡	苗間 564-5	10.00	ガス管新設工事		掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会、工事日程連絡待ち
30	浄禅寺跡	苗間 362	22.20	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
31	本村	大井 2 丁目 7 番 6	1.00	土地利用に伴う支線移設工事	1/30	掘削面積狭く調査不可、工事立会
32	本村	大井 2 丁目 17 番 9	212.00	土地利用に伴う電柱移設・撤去	5/9	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
33	東台	大井 651 番 2	3244.00	設備交換に伴う支線移設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
34	石塔畑	大井 760 番 1	1.00	電柱接地極新設工事		工事日程連絡待ち

第4表 2016(平成28)年度立会い調査一覧表2 (埋蔵文化財包蔵地外)

No.	遺跡・地点	申請地住所	開発面積	原因	立会日	備考
1	鶴ヶ岡近接地	鶴ヶ岡 3 丁目 42-7 他 3 筆	2265.35	宅地造成	11/15・19	立会済
2	鶴ヶ舞隣接地	福岡武蔵野 1397-7	67.00	分譲住宅		工事日程連絡待ち
3	鶴ヶ舞隣接地	福岡武蔵野 1397-10	68.00	分譲住宅		工事日程連絡待ち
4	駒林隣接地	新駒林 1 丁目 654-1 の一部、654-2、659、658-2 の一部	2195.66	サービス付き高齢者向け住宅 (老人ホーム)		6/1 ~ 工事予定
5	駒林隣接地	新駒林 4 丁目 776-1、780-1	707.00	共同住宅	1/16	立会済
6	伊佐島近接地	駒林字伏尾 1066 番地、駒林字北谷 1033 番地	15178.00	し尿処理施設		3/2 ~ 工事予定
7	西ノ原隣接地	うれし野 2 丁目 15 番 39・40	62.00	建売住宅		工事日程連絡待ち
8	浄禅寺跡近接地	苗間 562-22 ~ 724-7	9.40	ガス管新設工事		工事日程連絡待ち
9	浄禅寺跡隣接地	苗間字東久保 724-7	100.00	個人住宅	立会済	立会済
10	本村隣接地	市沢 1 丁目 18 番 16・17	508.00	個人住宅		工事日程連絡待ち、H29/10 ~ 工事予定
11	本村隣接地	大井 1 丁目 3-12	136.07	個人住宅	9/12	※ 5/16 受付分と重複。1.2 ~ 1.7m 改良工事
12	本村隣接地	大井 1 丁目 3-12・13	419.43	個人住宅	6/1・9/21	隣接地につき撤去時立会、工事立会済、8/12 付(1 丁目 3-12)のみ再提出あり
13		鶴ヶ岡 1-12-7	1979.13	高齢者デイサービス施設	4/21	立会済
14		亀久保字大野原 1609 番 7	1507.45	工場・倉庫		工事日程連絡待ち (工事予定 4/15 ~)
15		亀久保 4 丁目 433 番 1・9・15	1392.57	店舗	2/15	立会済
16		亀久保 2 丁目 4 番 4	1083.07	デイサービス (児童福祉施設等)	10/24	立会済
17		北野 2 丁目 2103 番 1	1080.00	分譲住宅	10/14・11/7	立会済
18		亀久保 4 丁目 592 番 1	1502.00	宅地造成		
19		亀久保字亀居 1239 番 3・66・67・68・70	4934.96	店舗		
20		駒林字本町 141 番 1	1165.46	個人住宅	5/6	70 ~ 90 cm まで攪乱、地山ローム確認されず、遺構遺物なし
21		大井武蔵野 404 番 2 外 3 筆	3543.62	雨水調整池整備工事		

第5表 2017（平成29）年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積 (㎡)	個人住宅		原因	試掘期間		調査措置
					本調査面積	民間開発 本調査面積		本調査期間		
1	北野遺跡第42地点	大原 2-5692-9	63.83	7.6			分譲住宅	7/6	試掘調査	
2	北野遺跡第43地点	北野 2-2129-11	86.67	7.7			個人住宅	8/4	試掘調査	
3	北野遺跡第44地点	北野 2-2129-7	68.59	2			分譲住宅	12/14	試掘調査	
4	川崎遺跡第47地点	川崎字山向 15-1、16-1	749.00	5			資材置場	12/19	試掘調査	
5	ハケ遺跡第22地点	福岡 3-2061-3の一部	249.32	16.5			はげ自治会館	9/11	試掘調査	
6	ハケ遺跡第23地点	福岡 3-1183-1の一部	137.00	14.27			個人住宅	7/18	試掘調査	
7	ハケ遺跡第24地点	福岡 3-1178-1、1179-1、1180-1、1181-1、2066-2、2067	1702.15	446	63.75		宅地造成	7/19～27 7/28～8/7	市内23報告済	
8	権現山遺跡第27地点	滝 1-4-6	63.00	25			分譲住宅	7/3・4	試掘調査	
9	滝遺跡第32地点	滝 3-3-14	784.54	176.1			宅地造成	6/26～29	試掘調査	
10	西原遺跡第4地点	西原 1-2-2の一部	167.00	24			個人住宅	11/20	試掘調査	
11	長宮遺跡第54地点	中丸 1-2-16	800.18	241.59			分譲住宅	5/15～23	試掘調査	
12	長宮遺跡第55地点	中丸 2-2-6の一部	191.00	34.2			個人住宅	6/29	試掘調査	
13	長宮遺跡第56地点	中丸 1-3-37	123.00	22.5			個人住宅	7/5	試掘調査	
14	長宮遺跡第57地点	長宮 2-1-16	374.63	45			個人住宅	2/14・15	試掘調査	
15	亀居遺跡第78地点	亀久保 2-17-10・11の各一部	266.57	63.5			個人住宅	2/5	試掘調査	
16	鶴ヶ舞遺跡第27地点	鶴ヶ舞 1-58-8	54.00	3.2			個人住宅	4/13	試掘調査	
17	鶴ヶ舞遺跡第28地点	鶴ヶ舞 1-85-3・4・19～22	497.81	25.65			分譲住宅	11/16～17	試掘調査	
18	鶴ヶ舞遺跡第29地点	鶴ヶ舞 1-69-103	106.00	8			個人住宅	11/17	試掘調査	
19	松山遺跡第90地点	仲 1-1-37の一部	120.00	12			個人住宅	10/12	試掘調査	
20	松山遺跡第91地点	築地 1-3-8の一部	416.00	51.75			個人住宅	10/20	試掘調査	
21	松山遺跡第92地点	築地 3-4-3	621.00	177.75			分譲住宅	10/30・31	試掘調査	
22	松山遺跡第93地点	築地 3-5-72	571.97	114.35			共同住宅	11/27・28	試掘調査	
23	松山遺跡第94地点	築地 3-5-4	1508.00	17.25			ガレージ・作業場・ 物置・カーポート	3/23	試掘調査	
24	東久保遺跡第73地点	ふじみ野 2-3-14	62.35	4.5			分譲住宅	6/19	試掘調査	
25	東久保遺跡第74地点	ふじみ野 2-19-2・3	239.00	26.7			個人住宅	8/1・2	試掘調査	
26	東久保遺跡第75地点	ふじみ野 2-3-13・24	96.87	4.5			分譲住宅	12/18	試掘調査	
27	亀久保掘跡遺跡第32地点	ふじみ野 2-15-3	136.40	26			個人住宅	8/7	試掘調査	
28	東久保西遺跡第23地点	ふじみ野 2-10-5	237.00	47.1			個人住宅	4/20	試掘調査	
29	駒林遺跡第35地点	新駒林 3-709-1～4、 710-1・2	1815.00	470.5	195		分譲住宅	7/27・28 8/21・22	市内23報告済	
30	駒林遺跡第36地点	駒林元町 1-7-4 (26-1)	160.45	41.25			消防団車庫	9/19	試掘調査	
31	駒林遺跡第37地点	新駒林 2-216-1、217-1	2515.35	381.45	189		物販・店舗	3/5～7 3/12～16	市内23報告済	
32	福岡新田遺跡第6地点	駒林字寺脇 845-2	331.00	52.01			個人住宅	7/13	試掘調査	
33	東久保南遺跡第41地点	ふじみ野 4-7-18	114.00	33.41			個人住宅	5/30	試掘調査	
34	東久保南遺跡第42地点	ふじみ野 4-7-11	114.00	24			個人住宅	10/27	試掘調査	
35	東久保南遺跡第43地点	ふじみ野 4-11-2・7	469.00	103.5	27		共同住宅	11/1・2 11/14・15	市内23報告済	
36	西ノ原遺跡第158地点	旭 1-15-6	755.00		700		共同住宅	調査済 3/23～7/18	市内18・23報告済	
37	西ノ原遺跡第173地点	苗間 1-15-3	113.82	32.05	14.19		個人住宅	4/14 4/17～21	試掘調査・本調査	
38	西ノ原遺跡第174地点	旭 1-14-12・13	229.08	46.65			共同住宅	5/24	試掘調査	
39	神明後遺跡第55地点	苗間字神明後 310-1の一部	180.00	28	27.44		個人住宅	5/8 5/9～12	試掘調査・本調査	
40	浄禅寺跡遺跡第47地点	苗間字神明後 354-1	401.00	115.05	104.7		個人住宅	4/24 4/25～5/2	試掘調査・本調査	
41	浄禅寺跡遺跡第48地点	苗間字東久保 717-3	103.00	7			分譲住宅	5/15	試掘調査	
42	浄禅寺跡遺跡第49地点	苗間字東久保 569-1	798.00	252.8			分譲住宅	5/22・23	試掘調査	
43	浄禅寺跡遺跡第50地点	苗間字東久保 717-12	132.00	23.55			個人住宅	7/10	試掘調査	
44	大井宿遺跡第18地点	大井 1067-1の一部	556.00	39.75			個人住宅	11/9	試掘調査	
45	大井戸上遺跡第7地点	大井 231-1・2・8	123.00	23.5			道路拡幅	9/27	試掘調査	
46	本村遺跡第134地点	大井 2-20-2・3・9	2670.63	655.38			道路・宅地造成	6/5～16	試掘調査	
47	東台遺跡第61地点	大井字東台 639-25	249.00	53.7			個人住宅	9/21	試掘調査	
48	東台遺跡第62地点	大井字東台 638-17	57.96	7.5			個人住宅	12/25	試掘調査	
合計			22380.17	4040.76	146.33 1174.75					

第6表 2017(平成29)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積(m ²)	原因	立会日	備考
1	鶴ヶ岡外	亀久保1700-4	1.00	電柱接地極新設工事	立会済	立会済
3	北野	大原1-2049-2(元古市場分)	81.69	個人住宅	5/15	基礎撤去立会時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
5	権現山	滝1-4-6	1.00	地支線撤去工事	6/15	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
6	滝32	滝3-3-14	1.02	ガス管新設工事	8/9	6/26～29試掘済、工事立会
7	滝	滝1-6-2	1.00	電力設備取替工事	11/3	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
8	長宮54	中丸1-2-17～16	7.67	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
9	長宮	中丸1-3-8	11.20	ガス管新設工事	12/4	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
10	亀居	亀久保2-12-5・6、17-8	1.00	電柱移設工事	4/20	深さ50cmで地山、掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
11	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-63-5・6、64--2	118.00	分譲住宅	5/11	基礎撤去立会時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
12	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-85-3・10	2.00	本柱・支線移設工事	8/24・10/11	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
13	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-72-2	84.80	分譲住宅	11/16	基礎撤去立会時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
14	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-100-14	172.56	個人住宅	11/21	基礎撤去立会時一部試掘、現地表面下70～80cmでも地山0-m確認できず、工事立会
15	鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1-72-2	1.00	小柱・小柱支線撤去工事	1/10	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会、遺構遺物確認なし
16	松山89	築地2-1-11	4.79	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
17	松山11次	築地2-1-6	1.00	本柱・支線移設工事	1/31	立会済
18	松山11次	築地2-1-6	5.50	ガス管新設工事	1/31	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会、遺構遺物確認なし
19	松山	仲1-1-39	0.87	ガス管新設工事	1/31	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会、遺構遺物確認なし
20	江川東	東久保1-172-28	63.13	個人住宅	5/1	既存建物解体時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
21	江川東	東久保1-164-10	80.30	分譲住宅	4/27	既存建物解体時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
22	江川東	東久保1-135-8・20	270.27	個人住宅	6/21	基礎撤去立会時一部試掘、遺構遺物なし慎重工事
23	駒林	新駒林3-709-3	1.00	本柱・支線撤去工事	8/7	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
24	駒林	新駒林2-218-1	1.00	本柱・支線撤去工事	8/7・10/11	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
25	駒林	新駒林3-6-18(709-1)	56.50	ガス管新設工事	立会済	工事立会
26	駒林	新駒林3-5-12(720-2)	1.40	ガス管移設工事	12/8	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
27	西ノ原	旭1-15-7	1.00	本柱移設工事	2/8	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
28	中沢前	苗間1-11-14	100.25	個人住宅	8/25	基礎撤去立会時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
29	神明後	苗間字神明後310-1、311-3	2.00	電柱建替工事	5/22・11/7	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
30	浄禅寺跡	大字苗間507-49	165.00	建売住宅	4/28	基礎解体立会
31	浄禅寺跡	苗間717-3付近	32.68	ガス管新設工事	立会済	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
32	浄禅寺跡46	苗間588-1・10	2.00	電柱移設工事	8/2	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
33	大井宿	大井1074-4	1.00	本柱建替工事	10/10	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
35	本村	市沢2-5-2の一部	159.00	子育て支援施設	11/28	基礎撤去立会時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
36	西台	大井911-96～97	0.66	ガス管新設工事	5/29	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
37	西台	大井855-1	1.00	本柱移設工事	11/6・2018/6/8	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
38	西台	大井字西台929-3・7	171.04	分譲住宅	12/22	立会時一部試掘、遺構遺物なし、慎重工事
39	西台	大井901-1	2.00	電柱移設工事	立会済	立会済
40	大井戸上7	大井231-2	2.00	本柱・支線移設工事	9/28	立会済
42	東台	大井639	46.77	ガス管新設工事	12/14・15	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会
43	東台	大井字東台707-39	86.79	建売住宅	12/14	立会済、慎重工事
44	東台61	大井639-25	1.00	支線柱移設工事	12/15	掘削面積極めて狭く調査不可、工事立会

第7表 2017(平成29)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積	原因	立会日	備考
1	鶴ヶ岡外近接地	亀久保字大野原1609-7	1507.45	工場・倉庫	4/26	立会済
2	滝隣接地	滝1-2-12の一部、16の一部	499.12	個人住宅	9/15	立会済
4	富士見台横穴墓群隣接地	富士見台570-5	99.25	分譲住宅	1/11	立会済、遺構遺物確認なし
5	伊佐島近接地	駒林字伏尾1066、駒林字北谷1033	15178.00	し尿処理施設	5/11	立会済
6	西ノ原隣接地	うれし野2-15-38・41～44	139.85	個人住宅	9/18	立会済
7	中沢前近接地	うれし野2-9-1・2	1148.00	分譲住宅	3/13	立会済、遺構遺物確認なし
8	本村隣接地	市沢1-18-16・17	508.00	個人住宅	10/27	立会済
9	本村隣接地	市沢2-12-6	310.00	アスファルト撤去	10/27	立会済
12		亀久保字大野原2197の一部他8筆	4611.97	病院増築	3/19	立会済、遺構遺物確認なし
13		大井武蔵野1391-2外	8417.57	弓道場	3/29	立会済
14		駒林字伏尾1104--1	48432.64	資源物保管庫	12/18	立会済
15		西鶴ヶ岡2158-3	2644.65	特別養護老人ホーム	12/12	立会済
16		駒林元町2-4-2	2152.12	駐車場	10/11	立会済
17		元福岡3-1607-1の163、607-1の10	3680.95	幼稚園建替	10/3	立会済

II 立地と環境

ふじみ野市は、首都圏 30 km 圏内の県南西部に位置する。2005（平成 17）年 10 月 1 日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.64 km²、人口は 2019（平成 30）年 7 月現在 113,297 人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道（大井宿）や新河岸川（福岡河岸）、東武東上線（上福岡駅）などの交通網が発達した交通の要所でもあった。現在も市内には国道 254 号バイパス、東武東上線、川越街道（国道 254 号線）、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工場福岡工場（火工廠）が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高 180 m、扇端部は標高 15 ~ 20 m で比高差 10 m 前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地（大井台）がある。この大井台の中を 3 本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道（埋没河川）、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

III 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

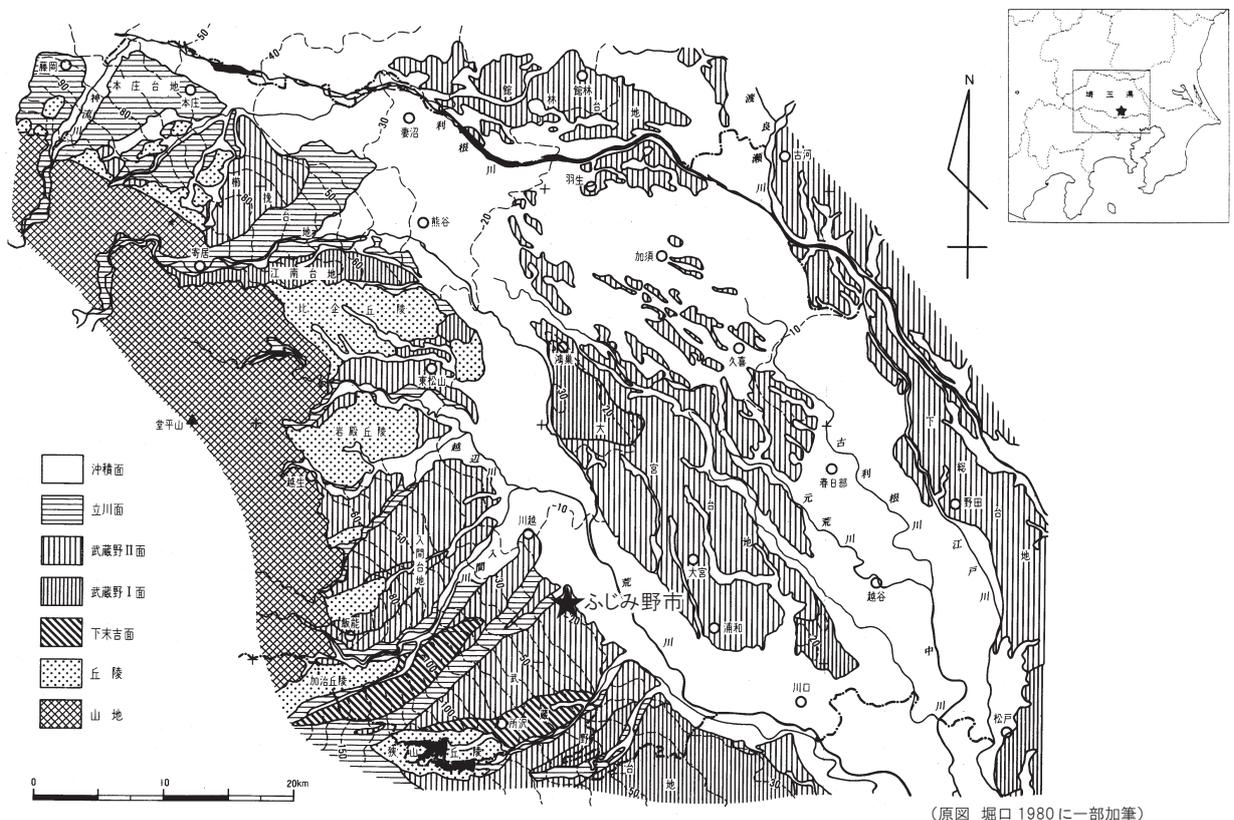
【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として有名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1 km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第Ⅳ層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900 m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3 km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800 m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあ



(原図 堀口 1980 に一部加筆)

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

と再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連綿と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査（2014）で、古墳の周溝から、6世紀後半頃とみられる複数の人物埴輪と、円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査（2015）では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉～9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは銚帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

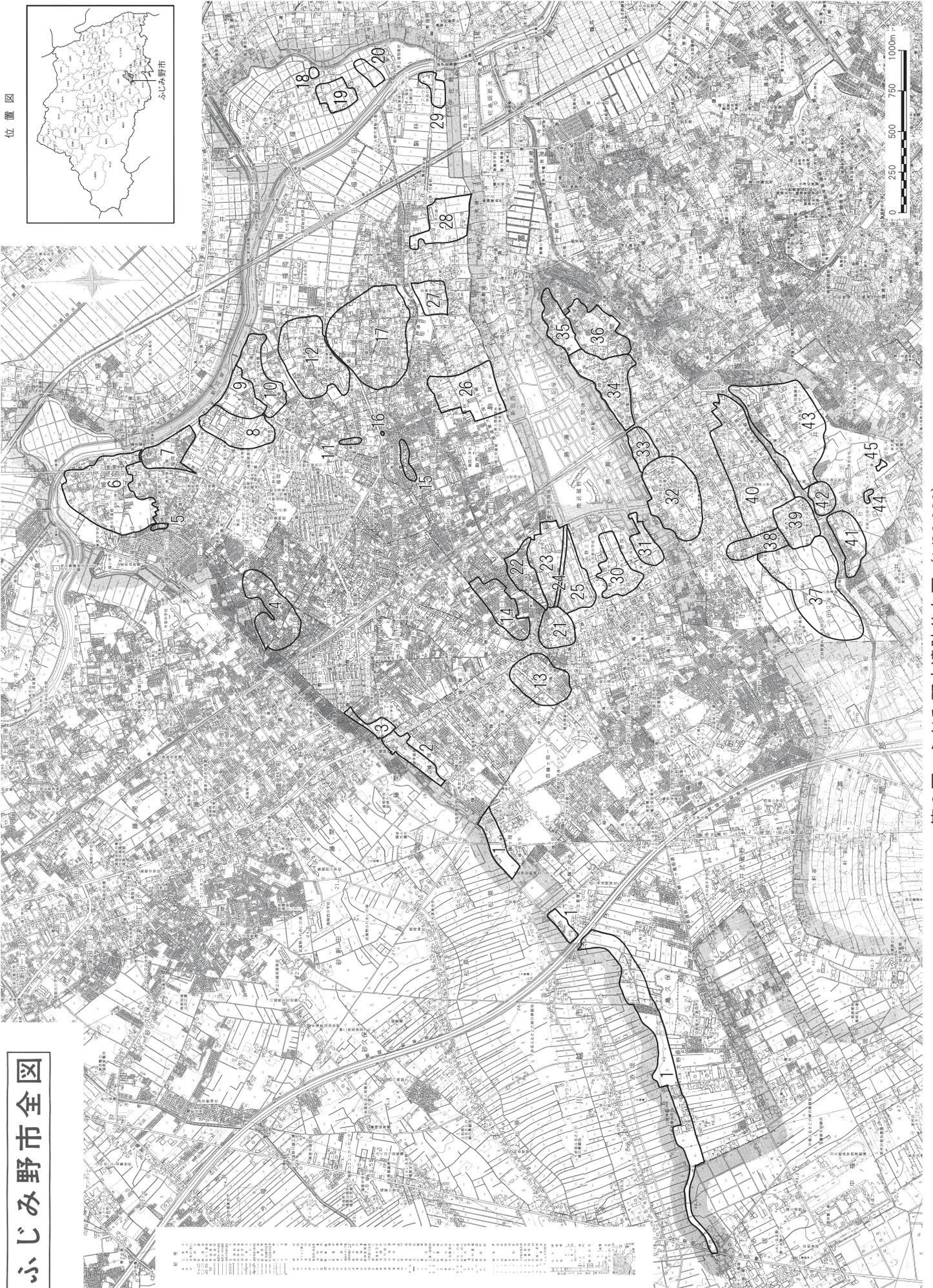
【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半～17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地藏院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所（通称造兵廠「火工廠」）の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枘などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



ふじみ野市全図

第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

第8表 ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡、6世紀代の古墳群	25-005
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006
25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
45	石塔畑	中世の散布地	30-027

第9表 縄文時代中期時期細分対比表

大井町『西ノ原遺跡』 1996
 新地平 2016
 黒尾 1995
 谷井他 1982
 ふじみ野市報告書 2017(18集)
 本書

西ノ原1期		6a	1a中	IVb	貉沢・阿玉台Ib古			
西ノ原2期	VIII群1類	6b	1a新	Va	勝坂I古・新道古・阿玉台Ib新			
西ノ原3期		7a	1b	Vb	勝坂I新・新道新・阿玉台II古	阿玉台II		
西ノ原4期	VIII群2類	7b	2a古	VI	勝坂II古・藤内古・阿玉台II新			
		8a	2a新			勝坂II		
西ノ原5期		8b	2b	VII	勝坂II新・藤内新			
		9a	3a			勝坂II新		
西ノ原6期	VIII群3類	9b	3b古	VIII	勝坂III新・阿玉台III新	勝坂III		
西ノ原7期		9c	3b新					
西ノ原8期	IX群1類	10a	1a	IXa	加曾利E I古	加曾利E I古		
西ノ原9a期		10b	1b			IXb	加曾利E I新 古相	
西ノ原9b期	IX群2類	10c	1c	X	加曾利E I新 中相	加曾利E I中		
西ノ原10期		11a	2a			加曾利E I新 新相	加曾利E I新	
西ノ原11期	IX群3類	11b	2b	XI	加曾利E II 古相	加曾利E II		
西ノ原12期		11c	2c			XI	加曾利E II 中相	
		12a	3a			XIIa	加曾利E II 新相	
西ノ原13期	IX群4類	12b	3b	XIIb	加曾利E III	加曾利E III		
西ノ原14期		12c	3c			XIII	加曾利E III	加曾利E III
		13a	4				XIV	加曾利E IV
	13b							

第2章 西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西遺跡は、藤間江川に面した標高 22m の台地北縁、低地との比高差 8m 以上の急峻な崖面上に立地する南北 150m、東西 200m 以上の遺跡である。上福岡駅まで約 600m に位置する利便性のため、早くから宅地開発が進み遺跡の大部分は住宅地となっている。

周辺の遺跡は、西側に隣接して縄文時代中期の集落である鶴ヶ岡遺跡、川越市八幡神社遺跡がある。約 800m 上流に旧石器時代の礫群・石器群が広がる鶴ヶ岡外遺跡がある。また、藤間江川の支谷をはさんだ対岸には川越市藤原町遺跡があり、八幡神社遺跡とともに縄文時代の集落が広がる。さらに下流へ向かうと、「川崎貝塚」として著名な川崎遺跡、川崎横穴墓群があり、旧石器時代から縄文、古墳、飛鳥・奈良・平安、中・近世にわたる複合遺跡となる。

本遺跡は 1992 年 3 月、駐車場造成に伴い約 3,000 m²が発掘調査され、縄文時代中期中葉の勝坂期～加曾利 E I 期の住居跡 17 軒、集石土坑や土坑等を多数検出、1996 年の第 2・3 次調査でも縄文集落を検出し、弧状に分布する縄文集落が明らかとなってきた。2019 年 4 月現在、4ヶ所で試掘及び発掘調査が行われ、時期不明の溝跡等も検出している。主たる時代は縄文時代中期である。

II 西遺跡第 4 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 7 月 13 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2016 年 7 月 27・28 日に行った。幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を実施した。現地表面から地山ローム層までの深さは 20～50 cm である。調査の結果、時期不明のピット 1 基を確認した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第3図 西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

(2) 遺構と遺物

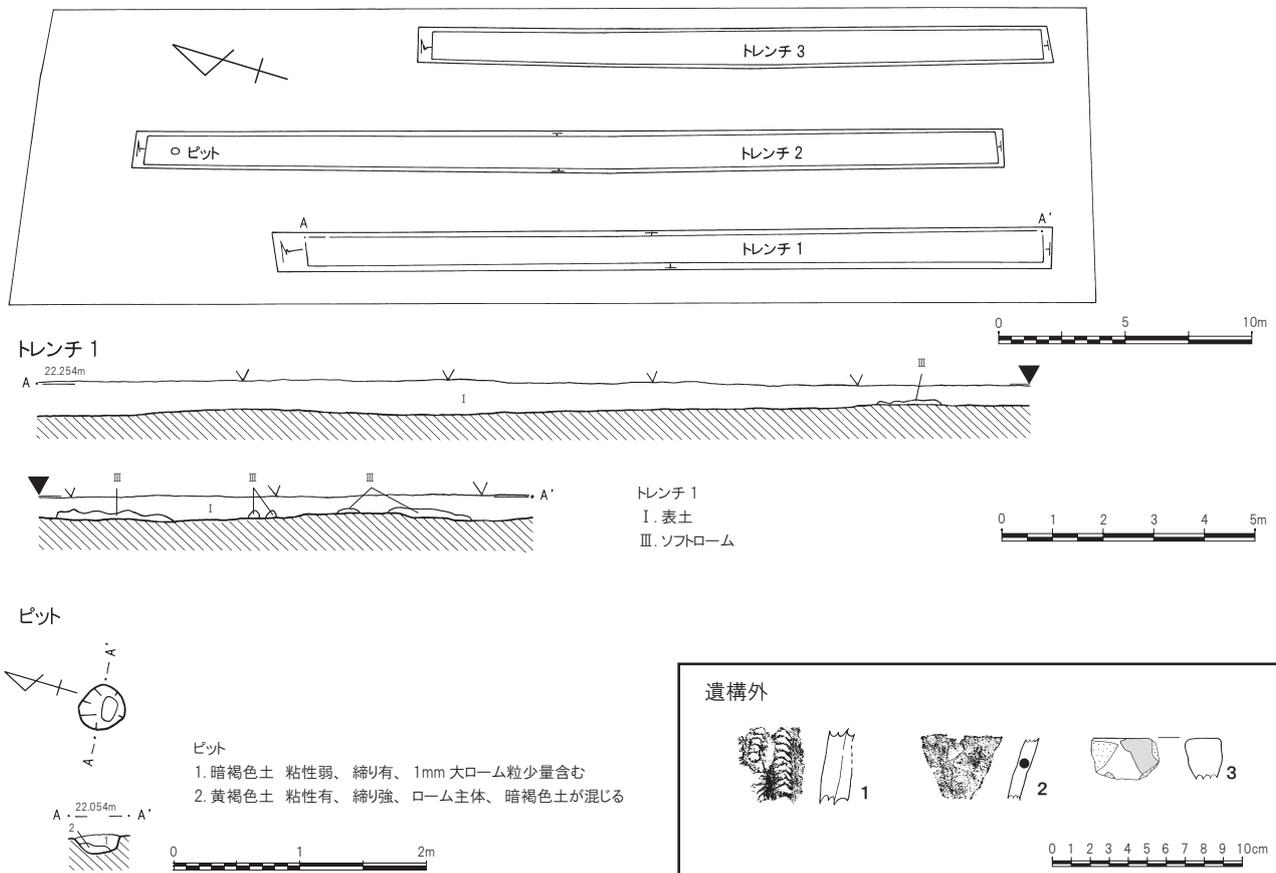
① 出土遺物

遺構は、前述したとおり時期不明のピット1基のみであった。平面形は円形を呈し、確認面径37×35cm、深さは15cmと浅い。遺物は伴わない。

遺物はいずれも表土中から出土した縄文土器片3点である。1は隆帯の両脇に押引文を施す。内面にハジケあり。中期。2は内面に煤が付着する無文土器である。金雲母を多量に含む。中期阿玉台式か。3は口縁部で、外面の一部に赤彩がみられる。中期か。

第10表 西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1991年試	西2-5905	1991.7.23～7.31	350	防火水槽	遺構遺物なし	上埋14
第1次	西2-2068	(1992.1.14～3.19) 1992.3.23～5.2	3,061	駐車場	縄文中期住居17、集石遺構17、土坑65	上調2、市史資1
1992年試(1)	西2-1845	1992.4.24～25	200	共同住宅	遺構遺物なし	上埋15
1992年試(2)	西2-2068-2	1992.12.3～12.9	559.2	共同住宅	縄文中期土器細片	上埋15
第2次	西2-2072-8	1996.5.29～6.5	100	個人住宅	縄文中期住居1、溝1、縄文土器、石器	上埋19
第3次	西2-2072-12	1996.6.6～6.14	111.2	個人住宅	土坑2、集石土坑、溝、縄文土器、石器	上埋19
1996年試	西2-2071-1	1996.5.21～5.28	1,146.2	宅地造成	縄文中期住居跡1、集石土坑、溝(第2・3次地点試掘調査)	上埋19
1996年試①	西2-5891-3他	1996.7.17	1,400	プール改築		H8上社
1996年試②	西2-1827-2	1996.10.16	47.4	個人住宅	遺構遺物なし	H8上社
1999年試(1)	西2-1828-1	1999.4.23～26	497.6	共同住宅	遺構なし、縄文土器片	上埋22
1999年試(2)	西2-1835-4	1999.5.14～17	324	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	上埋22
2001年試	西2-1833-3・4	2001.4.9～11	202.5	宅地造成	溝1条、縄文土器片	上埋24
第1地点	西2-2068-1・3・4、 2069-1	(2007.3.12～26、4.2 ～20)2007.6.4～8.1	3,467	共同住宅及び 分譲住宅	縄文中期住居跡3、集石土坑6、土坑12、ピット68、溝1	市内4
第2地点	西2-5905-1	(2015.5.27～29)	2,393	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑3、土坑4、ピット1	市内22
第3地点	西2-2071-1	(2016.1.25～27)	476	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑1、土坑2、ピット3	市内22
第4地点	西2-5904-1の一部、 2の一部	(2016.7.27～28)	489	共同住宅	ピット1、土器片	市内24



第4図 西遺跡第4地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

第3章 北野遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高 17～18m の台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北 250 m、東西 650 m 以上の遺跡である。上福岡駅まで 600 m に位置する利便性のため、昭和 30 年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

周辺の遺跡は、1km 上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965 年の分布調査、1970 年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980 年以來 2019 年 4 月現在、46ヶ所で試掘調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各 1軒、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。



第5図 北野遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第11表 北野遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は 試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	北野 2-2110-1 の一部、 2112-1	(2006.4.7)	408 (44)	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 3
2	北野 1-3119-11	(2006.8.4)	131	個人住宅	遺構遺物なし	H18 ふ生、市内 3
3	北野 1-3061-4	(2006.4.28)	148	個人住宅	保護層有、遺構遺物なし	市内 3
4	北野 2-8-3	(2006.8.24)	58	個人住宅	遺構遺物なし	H18 ふ生
92-1	大原 2-2079-1	(1992.6.19 ~ 22)	617	駐車場	溝 2、縄文時代中期土器片、土師器片	上埋 15
92-2	北野 2-1809-1	(1992.8.6)	138	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 15
99-1	北野 2-1797-5	(1999.7.2)	157.4	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	上埋 22
99-2	北野 2-1787-1	(1999.8.9 ~ 12)	179.1	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	上埋 22
02	北野 1-3058-1、3114-1 の一部	(2002.11.28 ~ 29)	100	公園歩道	遺構遺物なし	上埋 25
03-1	北野 1-3058-1、3114-1 の一部	(2003.7.1 ~ 11)	1,484	公園	遺構遺物なし	上埋 26
03-2	大原 2-2081-6	(2003.8.8 ~ 11)	350	宅地造成	土坑 1、縄文土器片	上埋 26
04	北野 2-1827-1 ~ 3	(2004.4.16・19)	435	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 27
05	北野 1-3129-3・20	(2005.12.2)	101	個人住宅	遺構遺物なし	H17 ふ生
16	大原 1-2070-1、2071- 1	(2009.4.8 ~ 10)	296 (1,888)	宅地造成	ピット 3、中期初頭土器・石器	市内 8
17	大原 1-2079-1・6	(2009.10.13 ~ 17)	122.5 (412)	共同住宅	土坑 2、阿玉台Ⅳ土器	市内 8
18	北野 2-1828-2・12、 1829-1・2	(2009.3.9 ~ 18)	178 (507.9)	分譲住宅	縄文住居跡 1 (J 1 住)、奈良平安住居跡 (H 1 住)、土坑 3、 ピット 8	市内 8
19	北野 2-1821-1・2、 1820-4	(2010.12.1 ~ 2)	476.3	共同住宅	ピット 2、遺物なし	市内 10
20	北野 2-1835-11	(2011.8.11)	61.3 (4)	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
21	北野 1-3117-3、3118- 1	(2011.12.8 ~ 20)	830	分譲住宅	堀跡 1、縄文土器片、焙烙	市内 14
22	北野 2-1788-8 の一部	(2012.2.6 ~ 8)	48 (207.1)	分譲住宅	遺構なし、須恵器片	市内 14
23	北野 1-3111-4 (1-4-9)	(2012.8.28)	140.8	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
24	北野 1-3063-1	(2012.9.13 ~ 14)	335	分譲住宅	土坑 1、根きり溝 1、縄文土器片	市内 15
25	北野 2-1833-3 (2-6-6)	(2012.12.10)	142.7	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 15
26	北野 2-1795-3	(2012.12.14)	117	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 15
27	北野 1-3119-11	(2014.5.7)	481	共同住宅	遺構遺物なし	市内 20
28	北野 2-2110-9	(2014.5.27 ~ 28)	100.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 20
28	北野 2-2110-8	(2014.5.27) 5.28	101.4	個人住宅	縄文時代集石土坑 1、土器片	市内 20
29	北野 2-1830-8	(2014.10.14 ~ 15)	83.7	分譲住宅	土坑 1、遺物なし	市内 20
30	北野 2-2067-8	(2014.10.30・11.5)	75.9	分譲住宅	溝 1、遺物なし	市内 20
31	北野 2-2130-4・9	(2015.8.18)	179	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	市内 22
32	北野 2-1841-7 他	(2015.8.27)	209	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 22
33	北野 2-1801-3・4・ 42・43	(2015.12.1 ~ 8) 2015.12.15 ~ 21	627.69	分譲住宅	集石土坑 5、縄文土器片	市内 19
34	大原 2-2073-1	(2015.12.7 ~ 8)	276.13	共同住宅	ピット 1、縄文土器片	市内 22
35	北野 2-2116-4	(2015.12.8)	53	個人住宅	遺構遺物なし	市内 22
36	大原 1-2058-10・11 の 各一部	(2016.2.15 ~ 16)	212	共同住宅	遺構なし、土器片	市内 22
37	北野 1-3127-23・25	(2016.3.25)	70.25	個人住宅	遺構遺物なし	市内 22
38	北野 2-1807-6・7・8、 1808-3・5	(2016.7.29)	106.9	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内 24
39	北野 1-3129-27・28	(2016.12.5)	119	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
40	北野 2-5-27	(2017.1.30・31)	65	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
41	北野 2-1794-2 の一部	(2017.2.20・21)	157.49	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
42	大原 2-5692-9	(2017.7.6)	63.83	分譲住宅	溝、ピット、遺物なし	市内 24
43	北野 2-2129-11	(2017.8.4)	86.67	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内 24
44	北野 2-2129-7	(2017.12.14)	68.59	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
45	大原 1-2049-7	(2018.4.16)	119.04	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
46	北野 1-3065-18	(2019.3.12)	103	個人住宅	遺構なし、土器片	未報告

Ⅱ 北野遺跡第 38 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 5 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2016 年 7 月 29 日に行った。幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を実施した。現地表面から地山ローム層までの深さは 30～40 cm である。調査の結果、遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。表土中より縄文土器片が出土している。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて表土中より出土した。詳細については第 6 図及び第 12 表に掲載した。

第 12 表 北野遺跡第 38 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	地文・施文・備考	時期・型式
第 6 図-1	遺構外	縄文・深鉢	楕歯状工具による条線文・胎土に白色粒子、ごく僅かに雲母含む	中期
第 6 図-2		縄文・深鉢	無文・胎土にチャート含む	中期
第 6 図-3		縄文・深鉢	竹管状工具による沈線・内面に赤彩	中期
第 6 図-4		縄文・深鉢	浅い沈線・内面に僅かにハジケあり	中期
第 6 図-5		縄文・深鉢	無文	中期

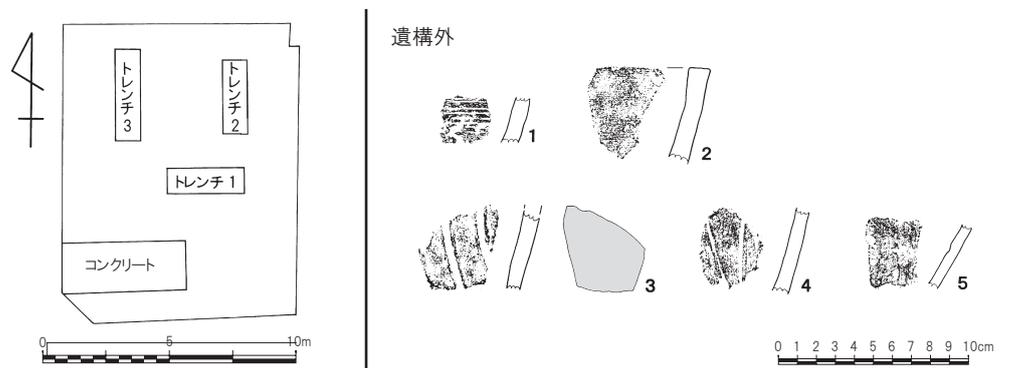
Ⅲ 北野遺跡第 39 地点

(1) 調査の概要

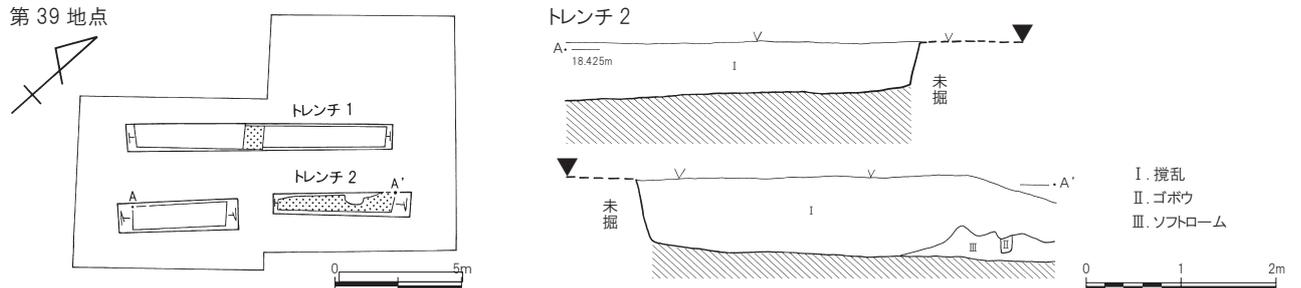
調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 11 月 28 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 12 月 5 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1～1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60cm であった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 38 地点



第 39 地点



第 6 図 北野遺跡第 38・39 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/80)、第 38 地点出土遺物 (1/4)

IV 北野遺跡第40地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2016年12月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年1月30・31日に試掘調査を実施した。

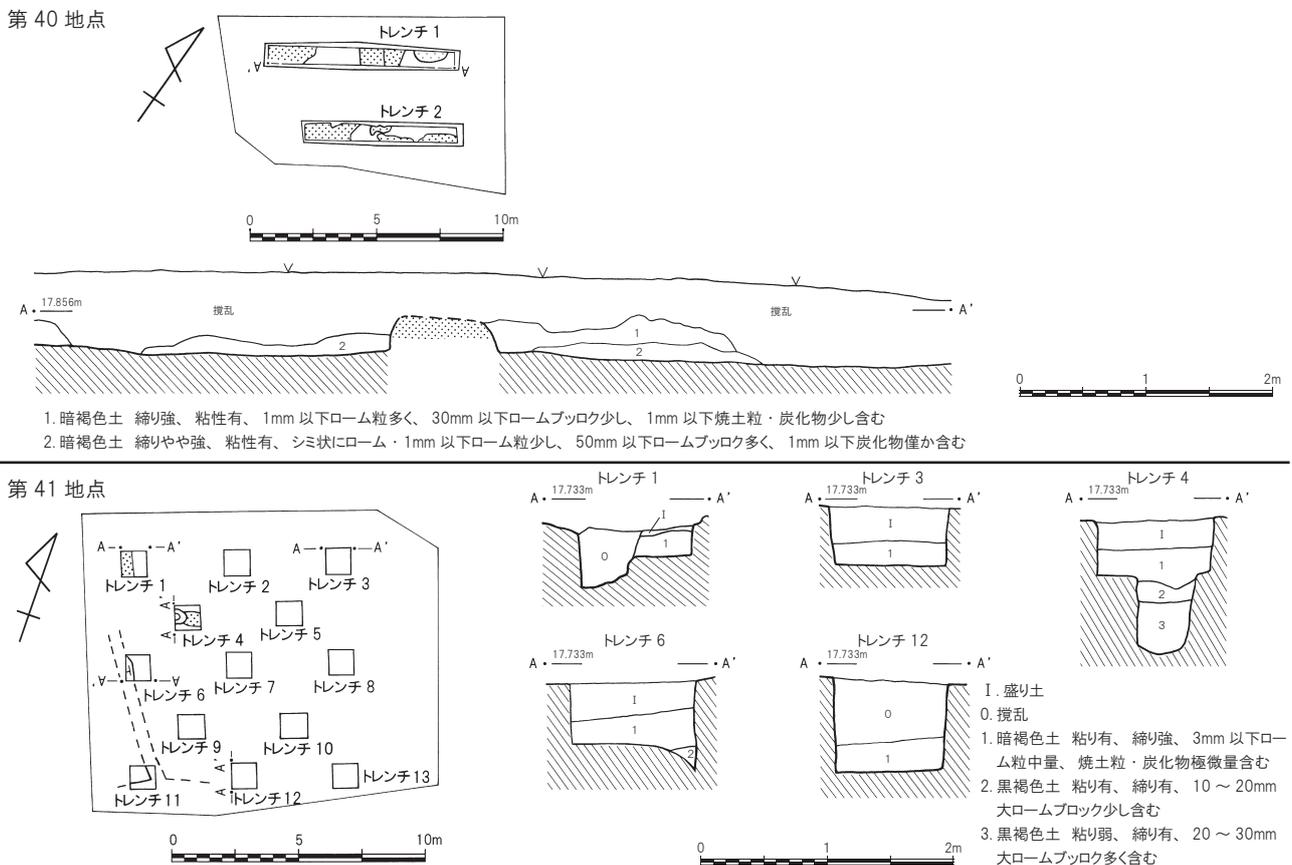
試掘調査は幅1mのトレンチ2本を設定し、人力で表土除去及び表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～70cmであった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

V 北野遺跡第41地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2017年2月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年2月20・21日に試掘調査を実施した。

試掘調査は1m四方のグリッドを13ヶ所を設定し、人力による表土除去及び表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30～70cmであった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第7図 北野遺跡第40・41地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)

VI 北野遺跡第 42 地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 6 月 22 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 7 月 6 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m のトレンチ 1 本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40 ～ 50 cm である。

調査の結果、根切り溝 1 条と土器片を検出した。根切り溝は比較的新しい時期のものである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

VII 北野遺跡第 43 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 8 月 3 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 8 月 4 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 1 本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

調査の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて表土中より出土した。詳細については第 8 図及び第 13 表に掲載した。

第 13 表 北野遺跡第 43 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	地文・施文・備考	時期・型式
第 8 図 -1	遺構外	縄文・浅鉢	-	-	-	無文・胎土に白色粒子含む	中期
第 8 図 -2		縄文・深鉢	-	-	-	半截竹管による押引文	中期
第 8 図 -3		縄文・深鉢	-	-	-	LR 縄文	中期

VIII 北野遺跡第 44 地点

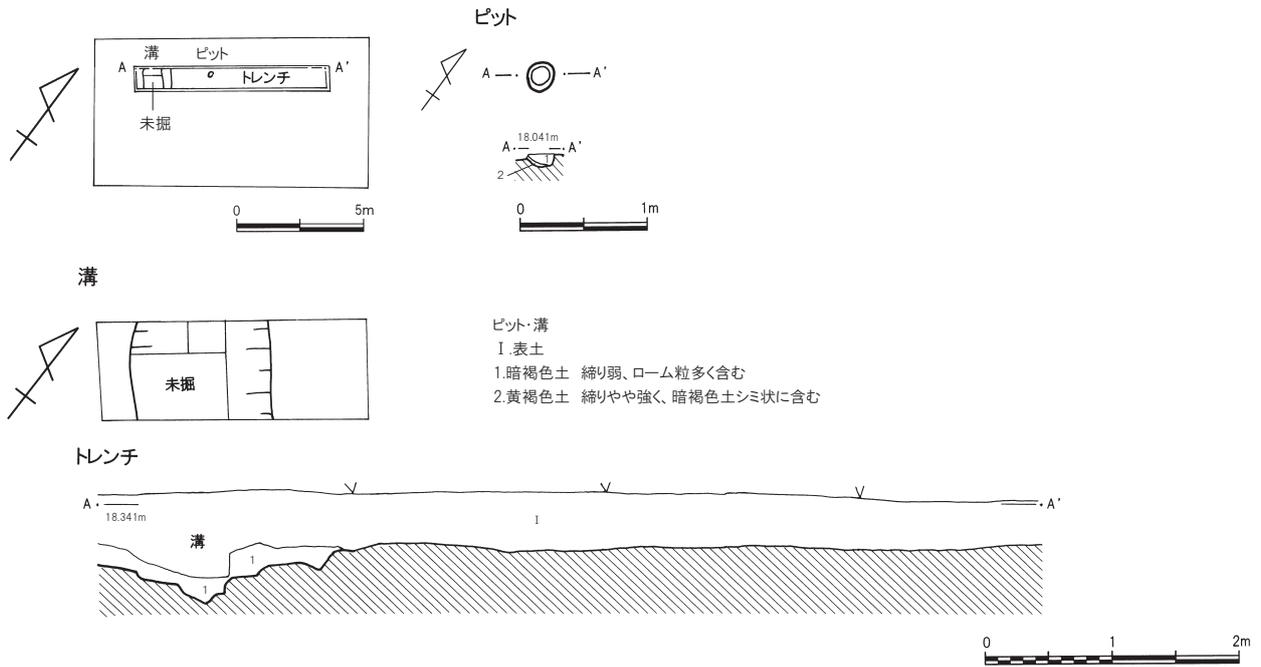
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 10 月 30 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 12 月 14 日に試掘調査を実施した。

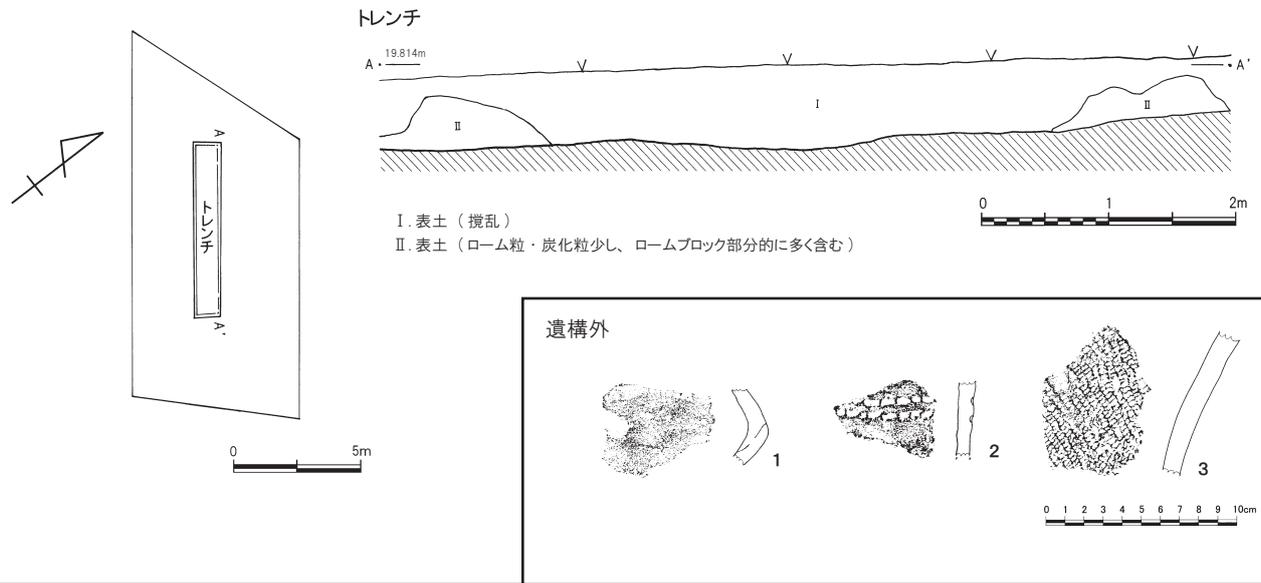
試掘調査は幅約 1m のトレンチ 1 本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70m である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

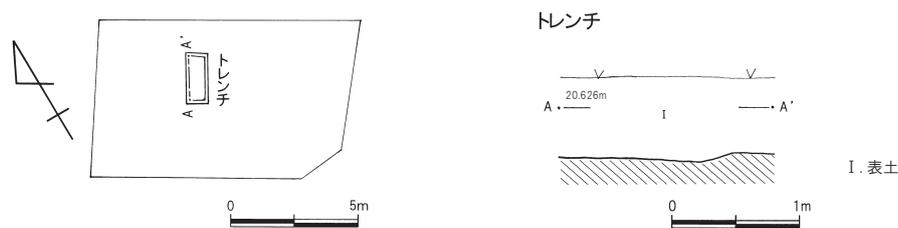
第42地点



第43地点



第44地点



第8図 北野遺跡第42地点遺構配置図 (1/300)、ピット・溝 (1/60)、第43・44地点調査区域図 (1/300)、第43地点出土遺物 (1/4)

第4章 川崎遺跡の調査

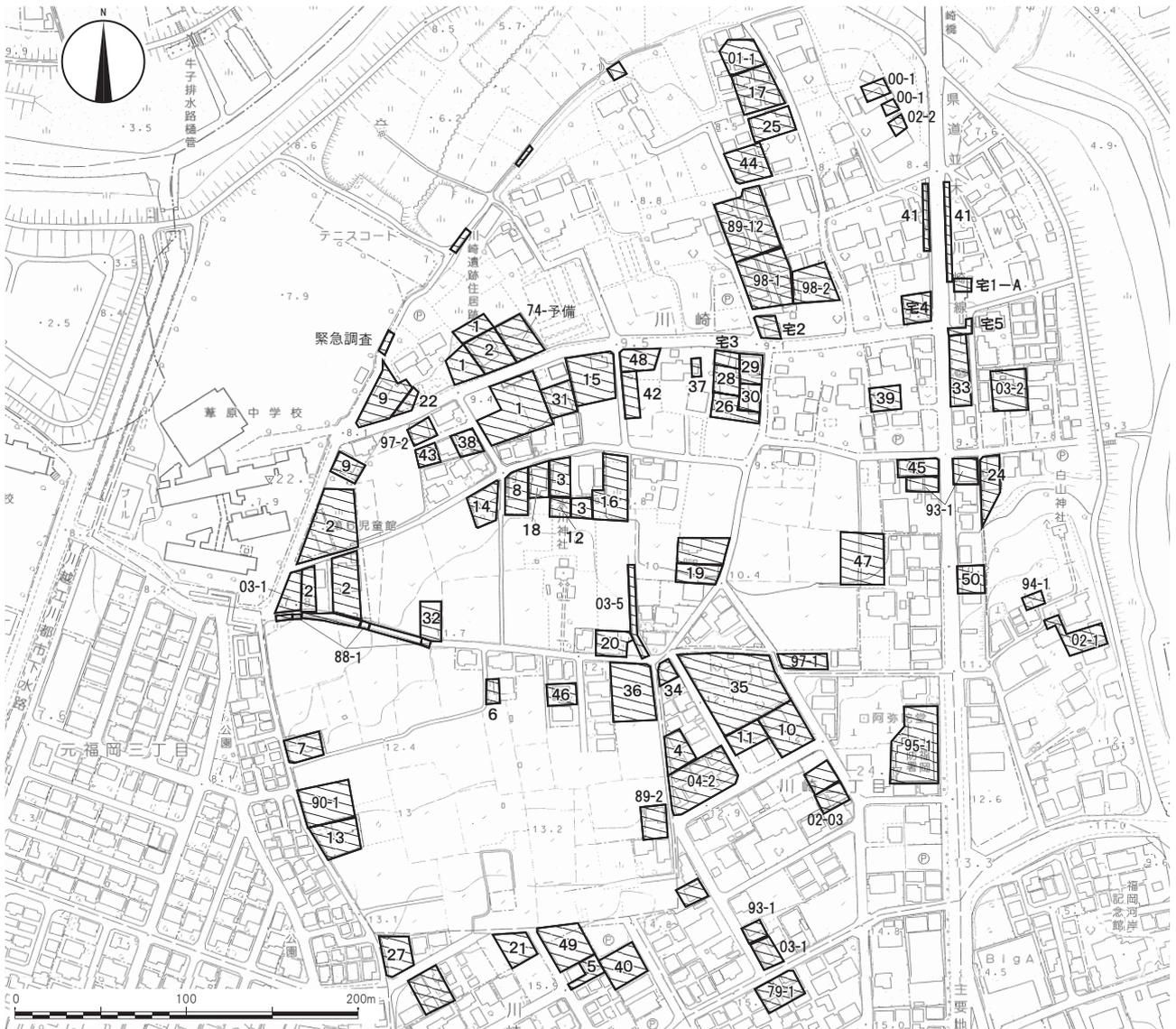
I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917（大正6）年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928（昭和3）年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2019年4月現在82ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

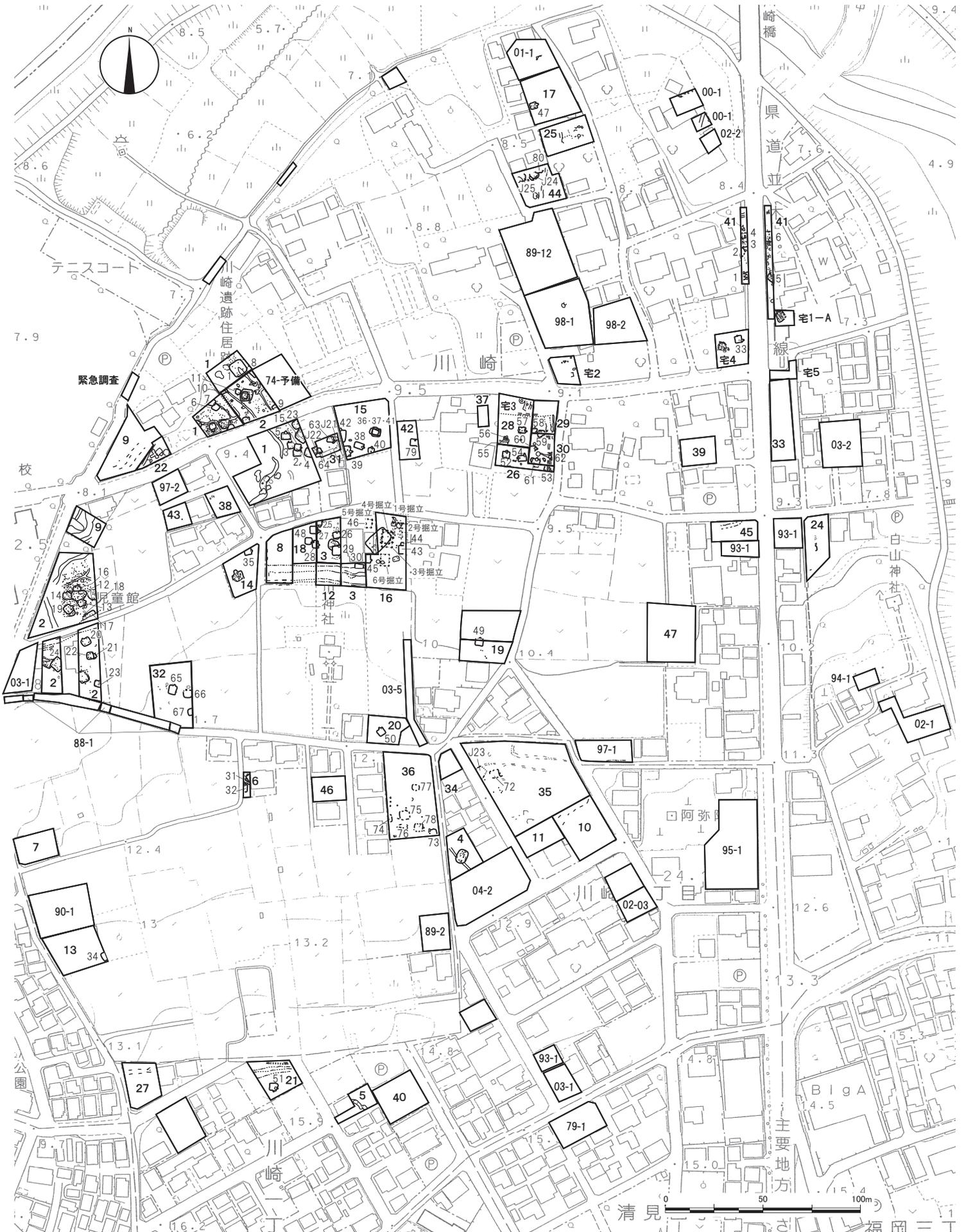


第9図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第14表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎 160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎 162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文時代前期3、古墳時代前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎1次
緊急発掘調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次 (A地区)	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文時代早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎 137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文時代住居跡9、古墳時代住居跡6、奈良平安時代住居跡10、中世遺構他	川崎2次
3次	川崎 149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文時代住居跡2(7・8)、奈良平安時代住居跡6(1・2・4～6・9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎3次
宅地添2次 (B地区)	川崎 198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	上埋I
宅地添3次 (C地区)	川崎 230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸2、地下坑1、溝1	上埋I
4次	川崎 2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期時代住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	上埋II・IV
5次	川崎 1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	上埋II
79年度試掘 (清見)	清見 4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	上埋II
6次	川崎 102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文時代前期住居跡2、平安時代住居跡2、縄文土器片	上埋II
7次	川崎 124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	上埋IV
8次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	上埋VI
宅地添4次	川崎宅地添 219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文時代住居跡1、平安時代住居跡1	上埋VII
9次	川崎字宮後口 172-1・2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安時代土器散布	上埋IX
10次	川崎 224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	上埋X
11次	川崎 2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	遺構遺物なし	上埋11
88試	市道 402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1	上埋11
89試(1)	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	遺構遺物なし	上埋12
89試(2)	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	遺構遺物なし	上埋12
12次	川崎字宮前 149-4・5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	上埋13
13次	大字川崎字宮前 122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良時代住居跡1	上埋13
90試(1)	大字川崎字宮前 122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認	遺構遺物なし	上埋13
14次	大字川崎字宮前 145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文時代前期住居跡1、貝塚、平安時代住居跡1	上埋13
15次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡7、土坑1	上埋14
92試(1)	大字川崎字山向 9-5	(1993.2.18・19)	168	店舗併用住宅	遺構遺物なし	上埋15
93試(1)	川崎 2-2-10・11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構遺物なし	上埋16
93試(2)	川崎 1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	遺構遺物なし	上埋16
94試(1)	川崎字台 258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	遺構遺物なし	上埋17
95試(1)	川崎 2-7-2・3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	遺構遺物なし	上埋18
16次	川崎字宮脇 150-2・3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び 資材置場	縄文時代前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安時代住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	H7 上社
17次	川崎字宅地添 204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安時代住居跡1	上埋19
18次	川崎字宮脇 148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安時代住居跡1	上埋19
97試(1)	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	上埋20
97試(2)	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構遺物なし	上埋20
97試(3)	川崎字宅地添 199-1・2・5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	遺構遺物なし	H9 上社
98試(1)	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文時代前期土坑1他	上埋21
市道 402号 線 2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路	縄文時代前期住居跡1	H11 上社
00試(1)	川崎大字宅地添 209の一部	(2000.6.19～22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	上埋23
範囲確認調査	川崎字宅地添 209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	上埋24
19次	川崎字宮脇 157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安時代初頭住居跡1	上埋24
01試(1)	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29～30)	825	宅地造成	遺構遺物なし	上埋24
02試(1)	川崎 249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構遺物なし	上埋25
02試(2)	川崎 210-1、2の一部	(2002.10.28～29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	上埋25
02試(3)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構遺物なし	H14 上社
02試(4)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構遺物なし	H14 上社
02試(5)	川崎字宮脇 155先	(2003.3.26)	164	市道 401号線	遺構遺物なし	H14 上社

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
03 試(1)	川崎 137-1 の一部	(2003.8.6～7)	257	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 26
03 試(2)	川崎字宅地添 226-14	(2003.12.8・19)	381	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 26
宅地添地区 5次	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16～18	88		古墳時代初頭竪穴住居跡1【調査実施】	H15 上社
04 試(1)	川崎字宮脇 157-1 の一部	(2004.6.14・15)	421	個人住宅	平安時代住居のカマドの一部	上埋 27
04 試(2)	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 27
20次	川崎字宮脇 153-5	(2005.11.22～27) 2005.11.28～12.2	257	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内 1
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良時代住居跡1、溝	市内 3
22	川崎 171-1、174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構遺物なし	市内 4
25	川崎字宅地添 203-1 の一部、203-3 の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内 6
26	川崎字宅地添 230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、土坑、ピット	市内 6
29	川崎字宅地添 230-1	(2008.7.9～11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、溝3	市内 6
30	川崎字宅地添 230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内 6
31	川崎字宮後 161-5 の一部、161-6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡2、奈良平安時代住居跡2、ピット12	市内 8
32	川崎字宮脇 140 の一部	(2011.2.24・25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良平安時代住居跡3、土坑2、建物部分本調査	市内 10
34	川崎 2-5-4	(2011.7.2～26)	117.8	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 14
35	川崎 2-6-4～7・9	(2011.9.27～11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1、奈良平安時代住居跡1他	市内 14
36	川崎字宮前 100-1	(2011.12.15～26) 2012.1.10～17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6他	市内 14
37	川崎字宅地添 232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須恵器片、遺構なし	市内 15
38	川崎字宮後 165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	個人住宅	縄文焼土跡2・中世以降ピット5	市内 15
39	川崎字宅地添 227-1	2013.3.4～5	1,121.33	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須恵器、焙烙	市内 15
40	川崎 1-1-7	(2013.10.11～17)	447	共同住宅	遺構なし、陶器	市内 18
41	川崎 218-1 他	2014.8.1～10.31	419	道路	縄文時代住居跡2・炉穴15・土壇8・ピット15、古代住居跡3、近世の畝跡1・溝1・ピット3、縄文土器、石器、石鏃、土師器瓦破片、須恵器片	県埋文 420
42	川崎字宅地添 233-3	(2015.6.26・7.2)	200	集会所	平安時代住居跡1、須恵器、土師器、土器片	市内 22
43	川崎字宮後 165-5・8・9	(2015.6.26)	175.21	個人住宅	焼土、土器片	市内 22
44	川崎字宅地添 202-1・8	(2015.11.24～12.10) 2016.1.5～20	273.56	分譲住宅	縄文時代住居跡2、奈良平安時代住居跡1、貝塚1、地下式坑1、土坑3、ピット7、溝1、縄文土器、石器、石製品、土師器、須恵器	市内 19
45	川崎字山向 8-4、7-7・8	(2017.2.22～24)	254.72	個人住宅	溝1(近世以降か)、石器(ナイフ形石器)、縄文土器	市内 24
46	川崎字宮前 101-5、103-8	(2017.3.13)	199	個人住宅	掘り込み遺構、土師器、須恵器	市内 24
47	川崎字山向 15-1、16-1	(2017.12.19)	749	資材置場	遺構遺物なし	市内 24
48	川崎字宅地添 234-1	2018.8.27～30	266	個人住宅	縄文時代住居跡1、近世以降溝、縄文土器、土師器、須恵器破片	未報告
49	川崎 1-1-5	2019.2.7・8	509	分譲住宅	根切り溝、土器、播鉢、土師器、須恵器	未報告
50	川崎字山向 10-4 の一部	(2014.9.8)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 20



第10図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

II 川崎遺跡第 45 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 11 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや東寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2017 年 2 月 22 ~ 24 日に行った。幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を実施した。現地表面から地山ローム層までの深さは 70 ~ 100 cm である。

調査の結果、溝 1 条を確認したが保護層確保が可能なため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

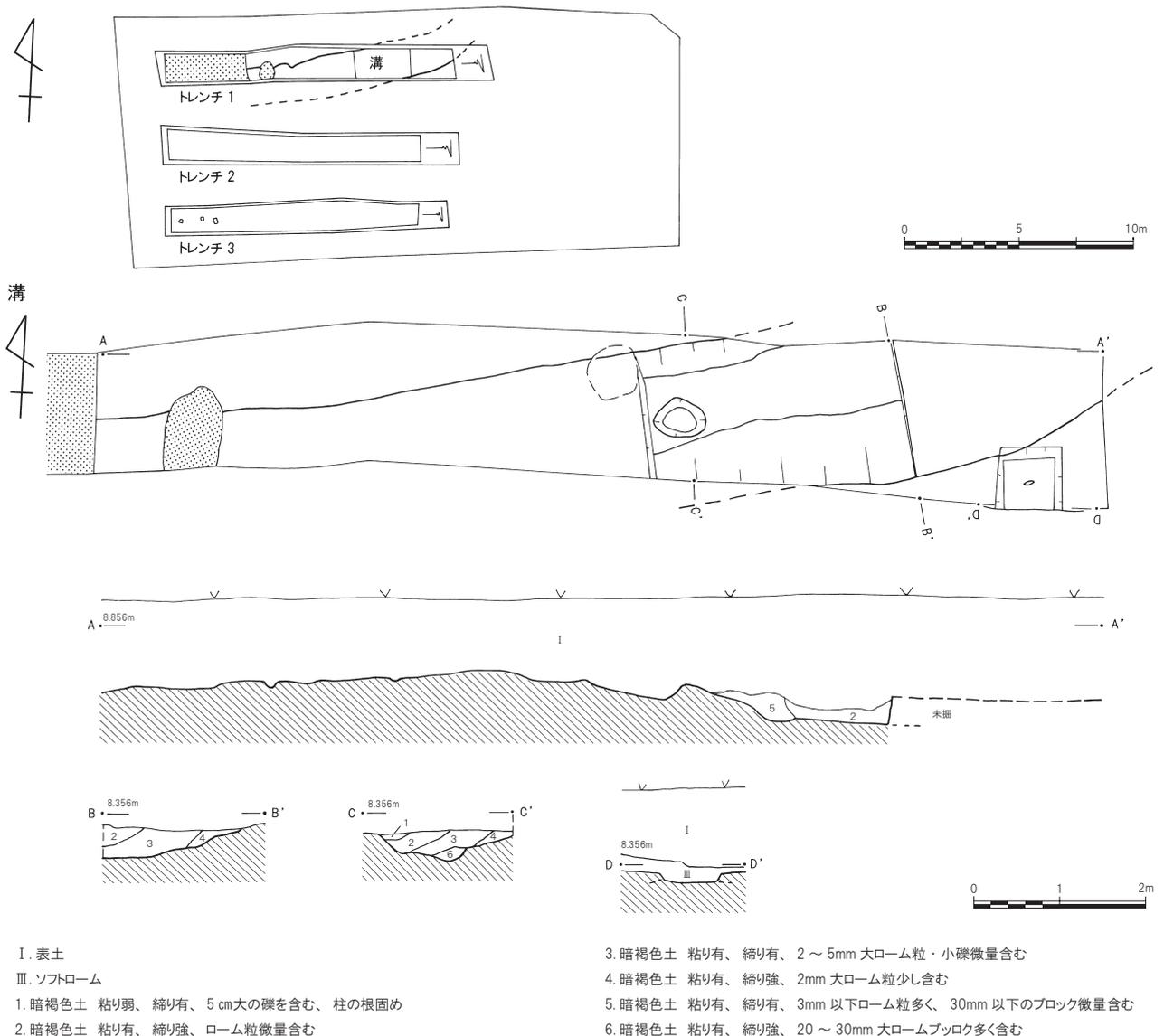
(2) 遺構と遺物

① 溝

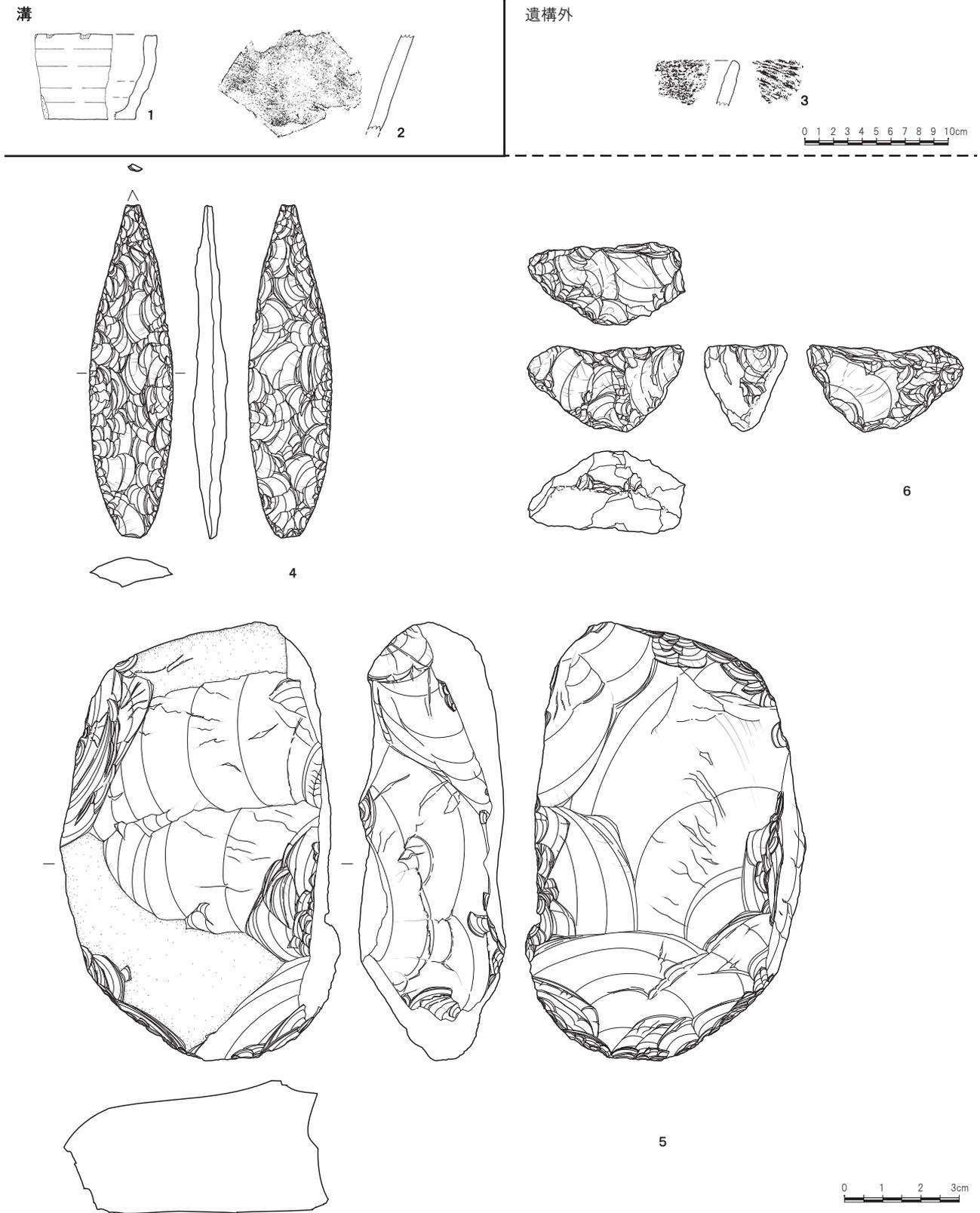
溝は調査区北側、トレンチ 1 で検出した。南側では確認できなかったため、西側調査区外へ延伸するものと考えられる。遺構の規模は上幅約 125 cm、下幅約 65 cm、深さ 25.7 cm である。遺物は伴わない。

② 出土遺物

遺物はすべて覆土中より出土した。詳細については第 12 図及び第 15 表に掲載した。



第 11 図 川崎遺跡第 45 地点遺構配置図 (1/300)、溝 (1/80)



第12図 川崎遺跡第45地点出土遺物 (1/4・2/3)

第15表 川崎遺跡第45地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第12図-1	溝	土器・焙烙	—	—	6.0	—	轆轤成形・外面に煤付着	中近世
第12図-2		須恵器・甕	—	—	—	—	外面僅かに平行タタキ、内面ナデ・白色針状物質含む、南比企産	古代
第12図-3	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部、繊維含む、内面に貝殻条痕文	縄文前期
第12図-4		石器・尖頭器	8.78	2.19	9.01	14.55	石材:頁岩・先端部欠損	縄文草創期
第12図-5		石器・斧形石器	11.57	7.34	3.86	429.36	石材:頁岩	—
第12図-6		石核	2.18	4.10	2.16	19.71	石材:チャート	—

Ⅲ 川崎遺跡第 46 地点

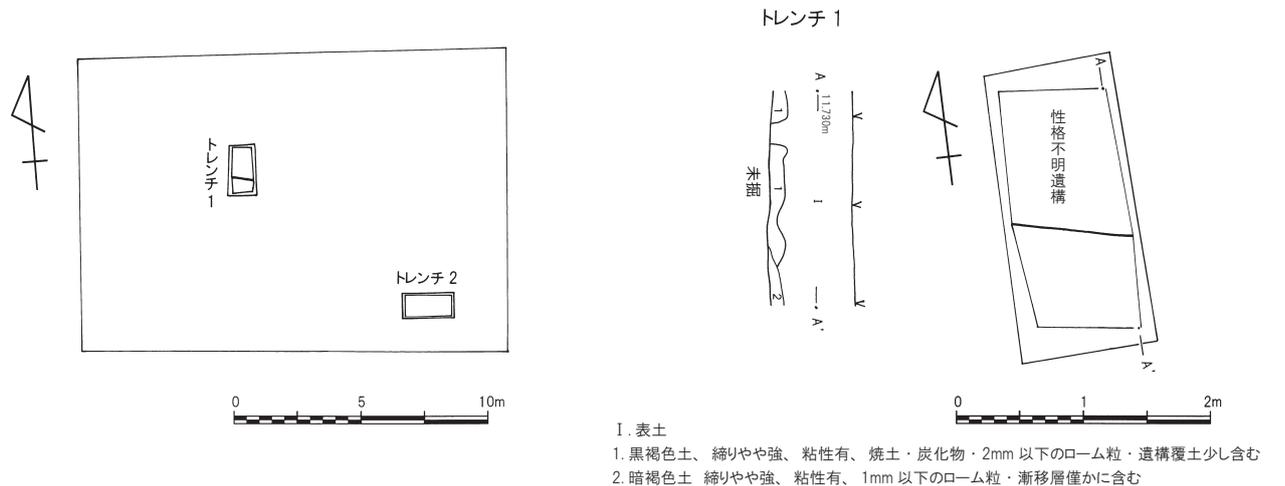
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 1 月 10 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

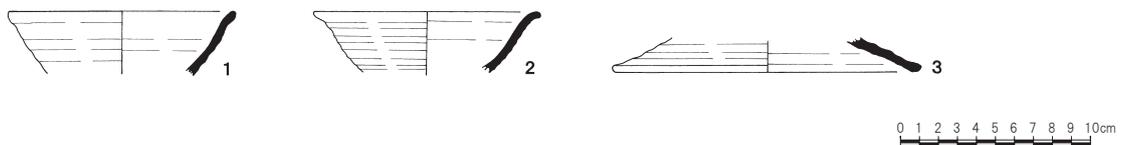
試掘調査は 2017 年 3 月 13 日に行った。2 × 1m のトレンチを 2 ヶ所設定し、人力による表土除去及び表面精査を実施した。調査の結果、現地表面から 70 cm の深さまで掘削したところで包含層である暗褐色土層と、この包含層を掘り込む遺構を確認した。保護層確保が可能のため遺構の掘削は行わず、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

明確に遺構は確認できなかったが、トレンチ 1 で包含層とそれを掘り込む遺構を確認した。遺構の性格は不明だが、須恵器片が出土している。遺物の詳細については第 13 図及び第 16 表に掲載した。



遺構外



第 13 図 川崎遺跡第 46 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第 16 表 川崎遺跡第 46 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

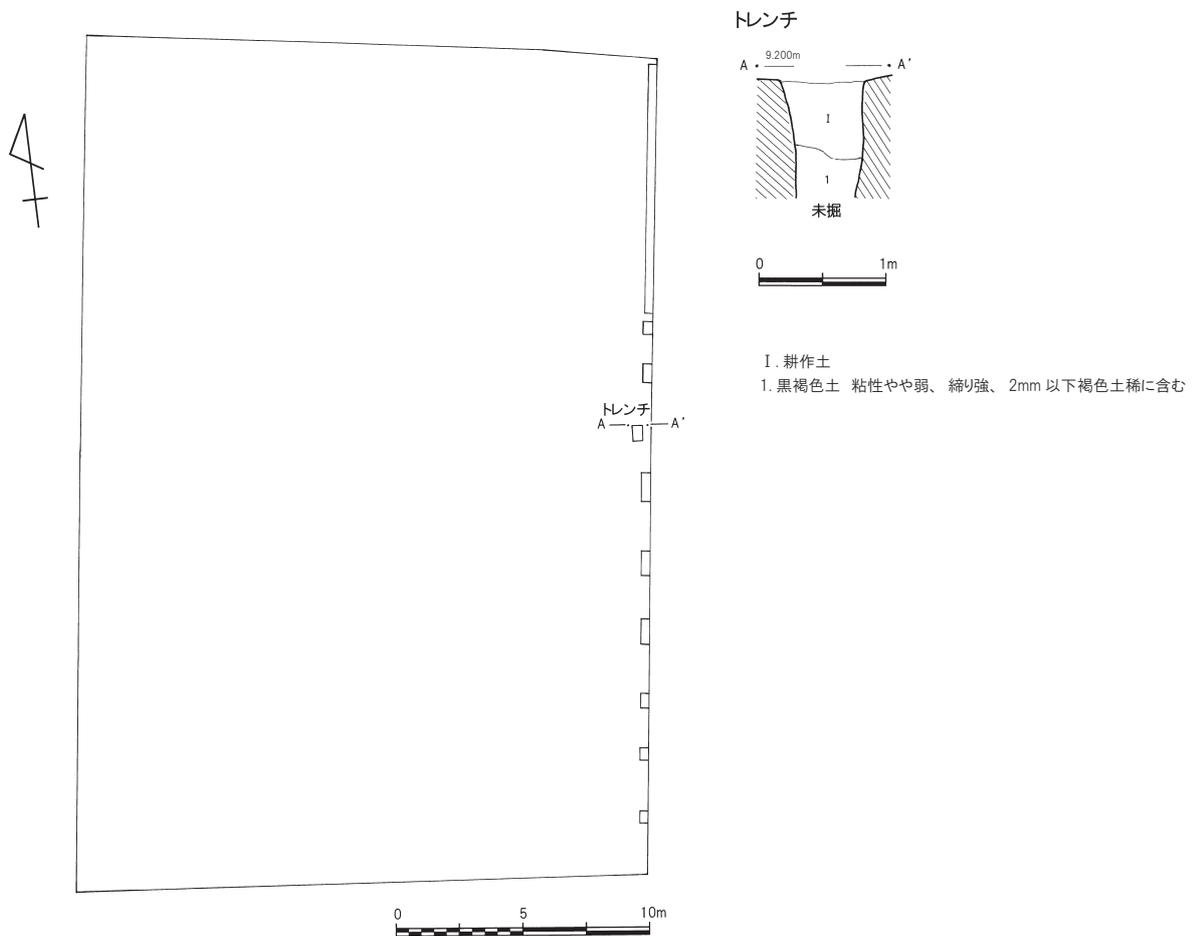
図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第 13 図-1	遺構外	須恵器・坏	(12.0)	—	(3.3)	—	轆轤成形・胎土に白色針状物質含む、南比企産、色調: 5 Y5/1 灰色	9 世紀代
第 13 図-2		須恵器・坏	(12.0)	—	(3.2)	—	轆轤成形・胎土に白色針状物質、チャート含む、南比企産、色調: 7.5 Y4/1 灰色	9 世紀代
第 13 図-3		須恵器・蓋	(16.4)	—	(1.8)	—	轆轤成形・酸化炎焼成、胎土に白色針状物質含む、南比企産、色調: 7.5 YR7/6 橙色	9 世紀後半

IV 川崎遺跡第47地点

(1) 調査の概要

調査は資材置き場の造成に伴うもので、原因者より2017年11月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年12月19日に試掘調査を実施した。試掘調査は敷地外縁部の土留め工事部分幅15cmに対して、人力による調査を行った。現地表面から約60cm掘削したが、地山ローム層は確認できなかった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第14図 川崎遺跡第47地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)

第5章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

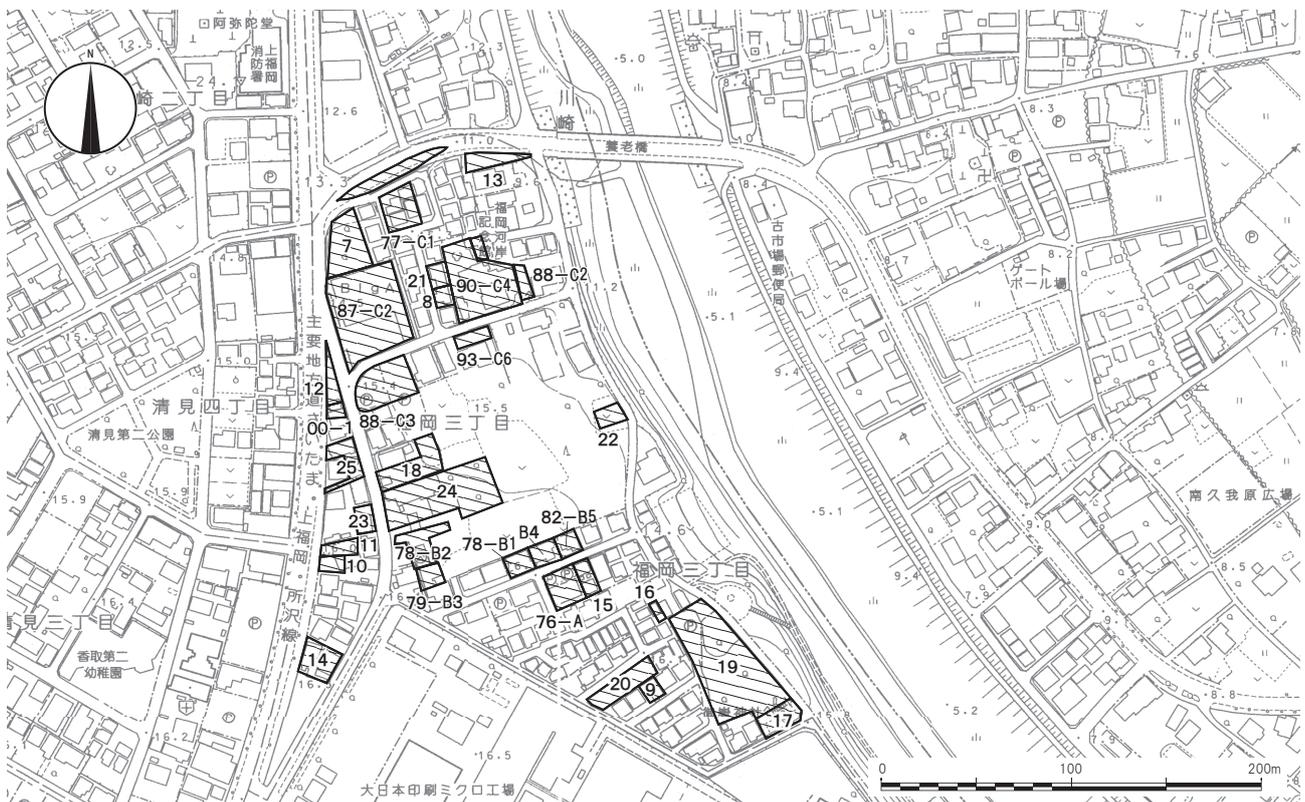
1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2019年4月現在32ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

II ハケ遺跡第22地点

(1) 調査の概要

調査ははけ自治会集会施設建設に伴うもので、原因者より2016年12月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2016年12月26～2017年1月19日及び2017年9月11日に行った。幅約1～1.5m



第15図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第17表 ハケ遺跡調査一覧表

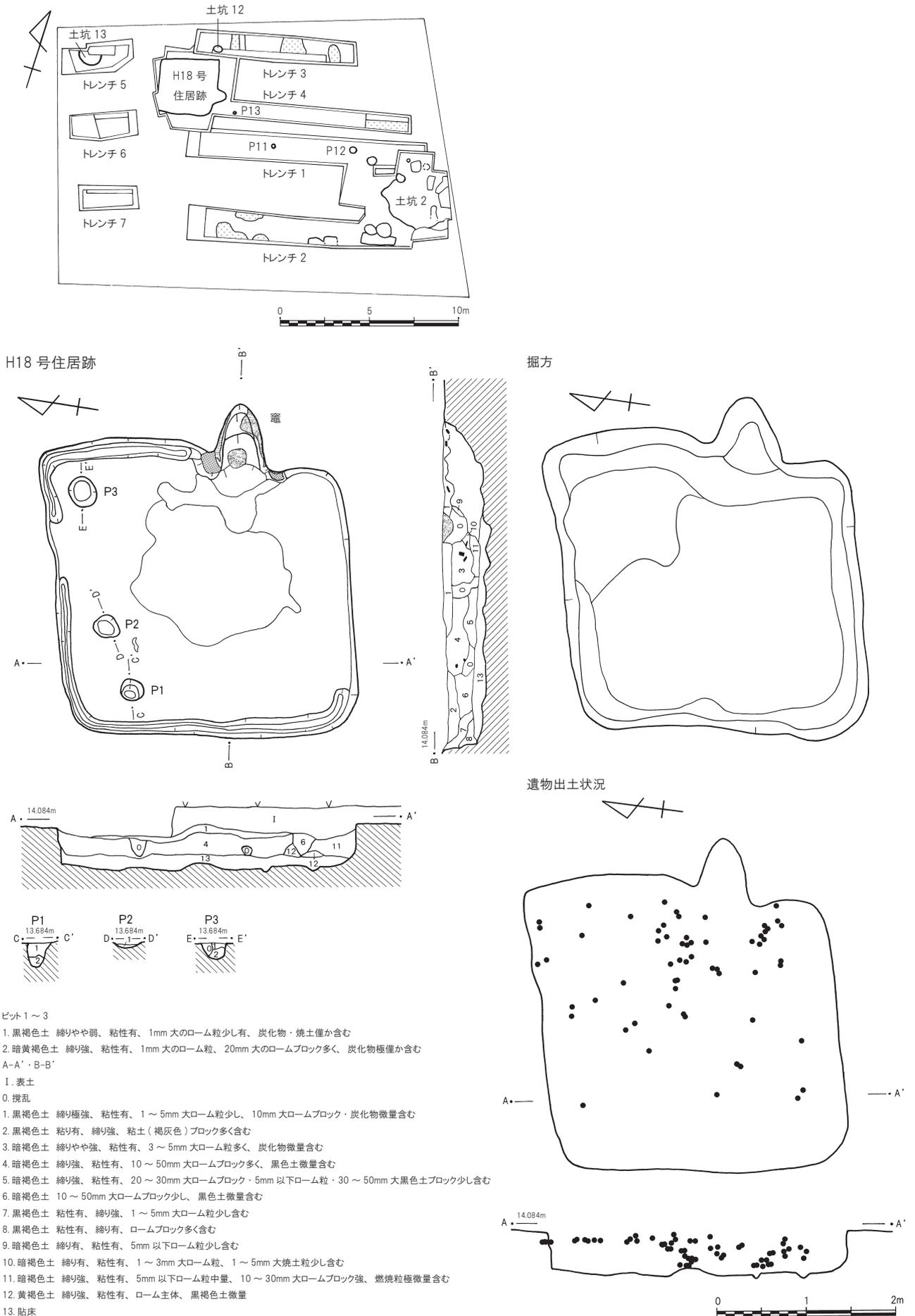
地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見 1228～2021	1976.9.11～16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴状遺構3、縄文土器	上遺調
C-1次	大字中福岡字清見1480	1977.8.2～27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケC
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	上埋I
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	上埋I
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166		土坑3、縄文土器	上埋II
B-5次	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	上埋V
C-2次	福岡3-2068-1・2	1987.4.16～5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居4、掘立1	上埋X
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627	駐車場	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	上埋11
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1	上埋11
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20～9.6 H3.1月末～継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・晩期住居跡3	H2上社、市史資
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑6	上埋16
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10～1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	上埋17
C-試	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	上埋22
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内6
C区9	福岡3-1257-7、 1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	個人住宅	時期不明溝1	市内14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21～22)	157.7	分譲住宅	縄文時代屋外埋壘1、土器	市内14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット1、土器	市内15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2～3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8～9)	184.09	共同住宅	遺構遺物なし	市内20
16	福岡3-1254-7・14・ 17	(2014.8.11～9.2)9.3 ～9	68	分譲住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	市内21
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.26～30)	98.58	個人住宅	現代のゴミ穴1、近世～近代陶磁器、ガラス製品	市内20
18	福岡3-1182、2066- 5	(2014.12.4～10) 2015.1.6～16	510.67	個人住宅	縄文時代中期住居跡1、炉4、土坑2、溝2、縄文土器	市内16
19	福岡3-1222-1、1223 ～1225、1255	(2015.3.17～5/11・ 10/13)6/2～9/19	2,296.5	宅地造成	古墳3、溝2、縄文土器、土師器、埴輪	市内21
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29～30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡1、土坑1、土師器、火工廠境界杭	市内21
21	福岡3-1193-4・15、 2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	市内22
22	福岡3-2061-3の一部	(2016.12.26～ 2017.1.19、9.11) 2017.1.25～2.8	249.32	はげ自治会集会所 施設	古代住居跡1(H18)、土坑13、ピット13、縄文土器、土師器、須恵器、石器、瓦	市内24
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ピット、縄文土器片	市内24
24	福岡3-1178-1、1179-1、 1180-1、1181-1、2066- 2、2067	(2017.7.19～27) 2017.7.28～8.7	1,702.15	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴状遺構1、土坑2、時期不明集石土坑1、ピット12、縄文土器、石器、須恵器、陶磁器	未報告
25	福岡3-1184-5・6	(2018.6.12)	297	分譲住宅	遺構なし、土器片	未報告

第18表 ハケ遺跡古代住居跡一覧表

新住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模 ()は残存 又は推定値	炉 竈：K	設置 壁・炉 位置	周溝	主軸 方向	時期	備考	所収報告書
1	1976	A地区LN01	1/2	隅丸方形	440×	K	北	○		鬼高		上遺調
2	1977	C地区3号住居	完掘	長方形	470×480	K	北	○		8世紀3四半 期		ハケC
3	"	C地区8号住居	完掘	長方形	560×388×44	K	北	○		8世紀4四半 期		ハケC
4	1987	C地区2次6号住居	完掘	方形	300×280	K	北			国分		上埋X
5	"	C地区2次10号住居	完掘	長方形	450×300	K	北	○		8世紀末		上埋X
6	"	C地区2次12号住居	完掘	長方形	400×340	K	南東	○		9世紀後半		上埋X
7	"	C地区2次15号住居	南東1/4		—			○		9世紀後半		上埋X
8	"	C地区2次掘立柱建物		桁行4間×梁間2間	870×470				東面に庇	8世紀中葉		上埋X
9	1988	C地区3次17号住居	完掘	長方形	350×290	K	北東	○		10世紀初頭		上埋11、市史資
10	"	C地区3次20号住居	南東1/6		—					8世紀3四半 期		上埋11、市史資
11	1990	C地区4次27号住居	完掘	方形	400×380		北東	○		10世紀初頭		上埋11、市史資
12	"	C地区4次32号住居		カマドの痕跡が確認されたため住居とした						10世紀初頭		上埋11、市史資
13	"	C地区4次33号住居	ほぼ完掘	方形	320×340			○		8世紀3四半 期	カタイ金具 出土	上埋11、市史資
14	2013	H14号住居		長方形	410×340	K	北	○		8世紀中頃		市内13
15	"	H15号住居		長方形	290×275	K	北			9世紀か		市内13
16	"	H16号住居		不整形	395×468	K	北			8世紀後半		市内13
17	"	H17号住居		不明	(300)×140					8世紀前～中 頃か		市内13
18	2016	H18号住居	完掘	方形	330×340	K	東	○	N-82°-E	9世紀		市内24



第16図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/1,500)



第17図 ハケ遺跡第22地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H18号住居跡(1/60)

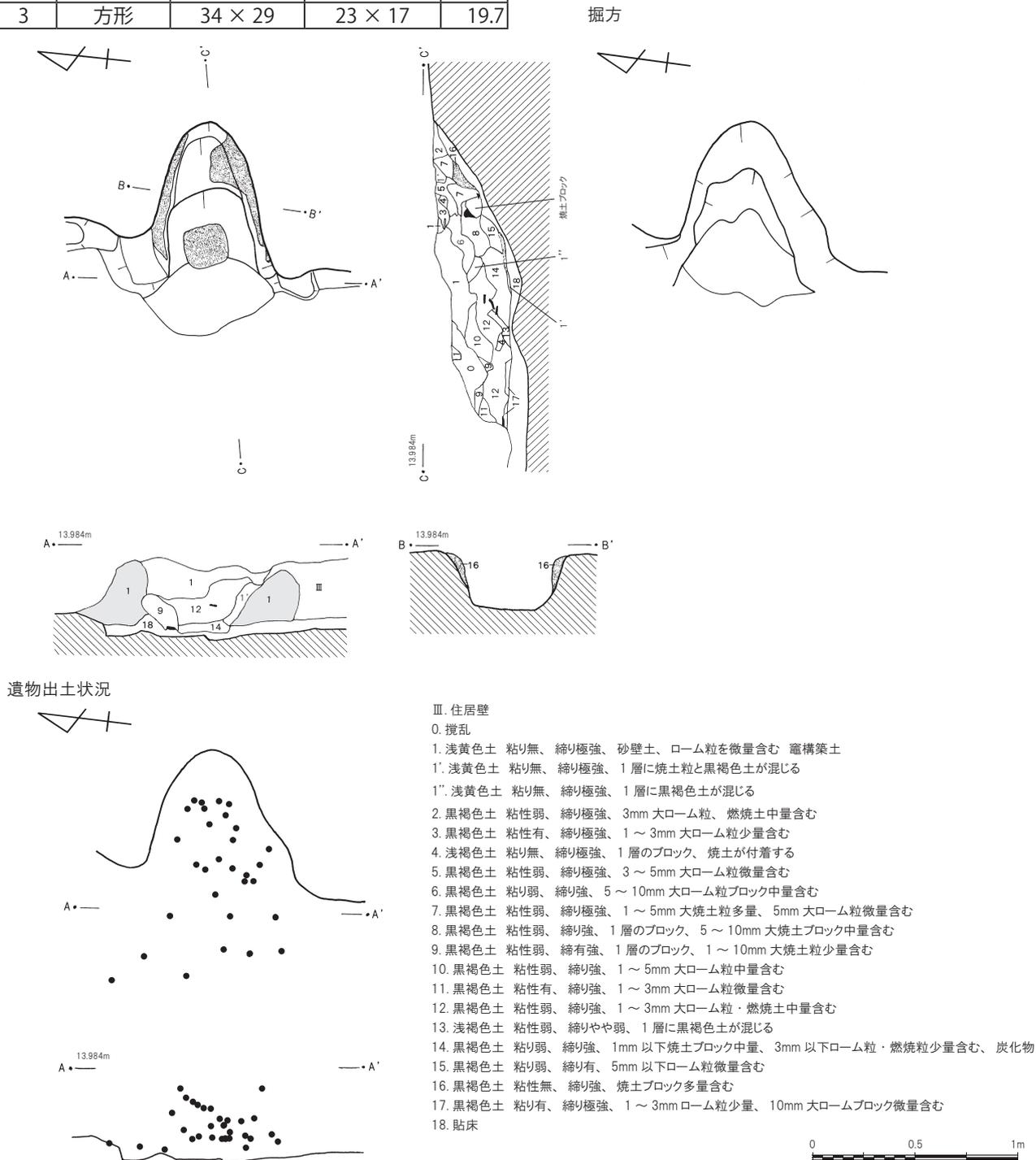
のトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を実施した。現地表面から地山ローム層までの深さは20～60cmである。

調査の結果、古代住居跡1軒と複数の土坑及びピットを確認した。保護層の確保が難しいため、原因者と再協議の結果本調査を実施した。

本調査は2017年1月25日～2月8日まで実施した。古代住居跡部分を中心に、人力による拡張後調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

第19表 ハケ遺跡第22地点H18号住居内ピット
一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	方形	26×23	15×8	31.3
2	方形	25×24	22×16	5.5
3	方形	34×29	23×17	19.7



第18図 ハケ遺跡第22地点H18号住居跡竈掘方・遺物出土状況(1/30)

(2) 遺構と遺物

① H18号住居跡

【位置】 本住居跡は調査区北側、トレンチ4に位置する。

【形状・規模】 平面形態はほぼ正方形である。規模は南北330cm、東西340cm、深さは約30cmである。

【構造】 主軸はN-82°-Eである。ピットは住居内に3基確認した。いずれも明確に柱穴とは判断できないが、ピット1及び3は柱穴であった可能性が考えられる。規模等詳細については第19表に掲載した。周溝は全体の1/3程で確認した。南側から南東隅にかけては検出していない。上幅約16cm、下幅約8cm、深さ7cmである。掘方は地山ローム層まで全体的に掘り下げた後、貼床を行う。

【竈】 東側に位置する。天井は崩落しているが、奥壁・燃烧部・両袖部が部分的に残存していた。残存規模は長軸90cm、短軸70cmで、袖部の構築材は浅黄色を呈する砂質土である。

【遺物出土状況】 本住居跡に帰属する遺物は竈周辺に集中する。また、縄文時代後晩期の遺物は住居覆土上層に集中していた。

【時期】 出土遺物から9世紀代と考えられる。

②土坑

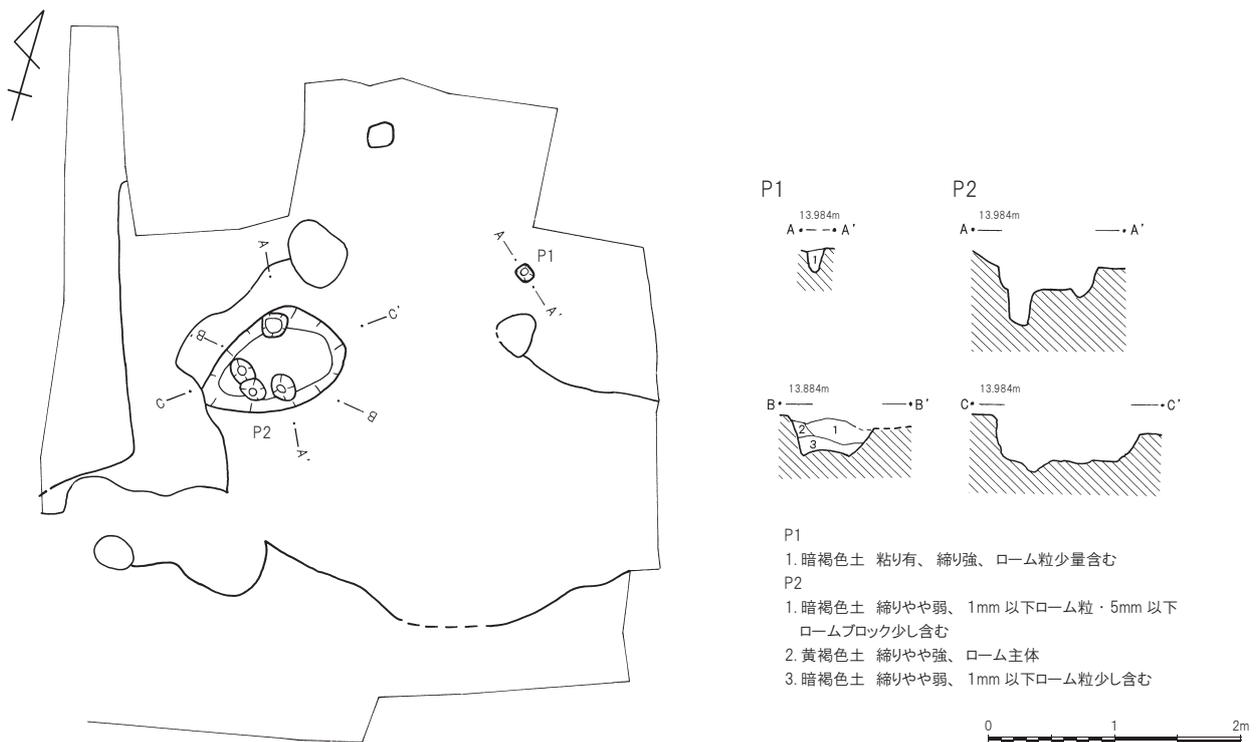
土坑は全部で13基検出した。古代以降が3基、近世以降が9基である。土坑7は周囲に粘土を張り、凝灰岩を平らに加工した石材を敷いている。下層からは焼土と灰を確認した。土坑8はイモビツである。規模等詳細については、第20表に掲載した。

③ピット

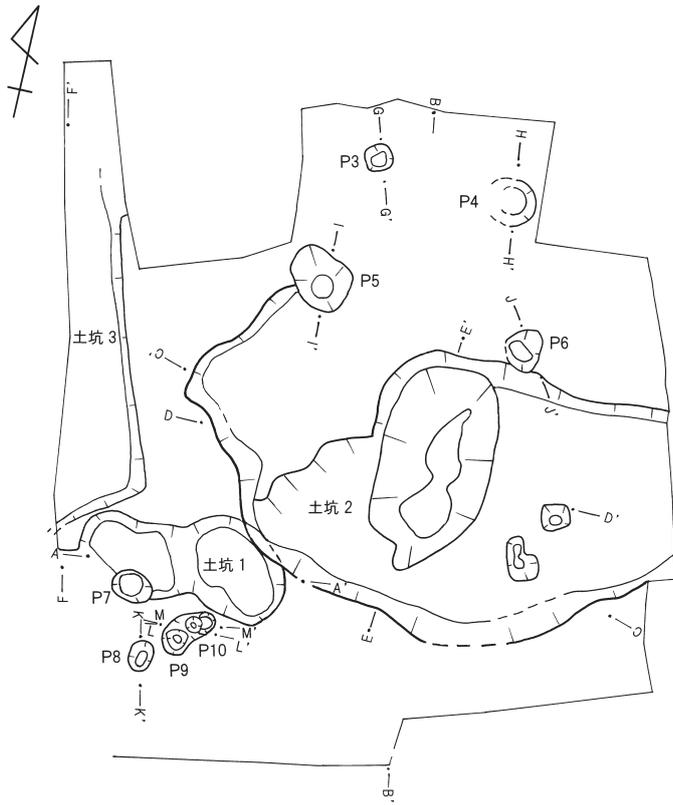
ピットは全部で13基検出した。縄文時代が2基、古代以降が8基、近世以降が2基である。規模等詳細については第21表に掲載した。

④出土遺物

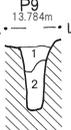
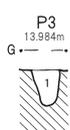
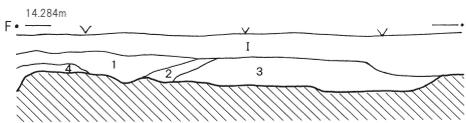
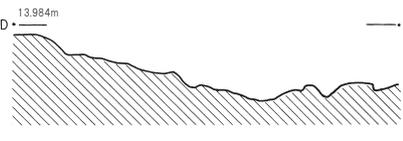
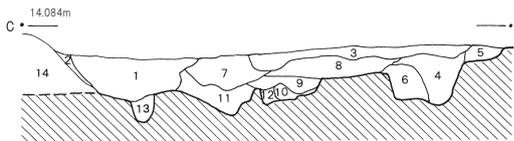
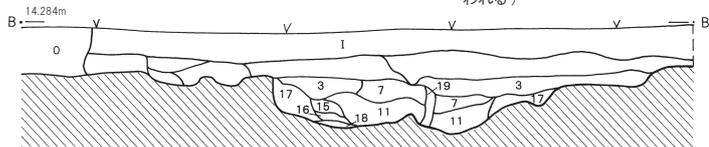
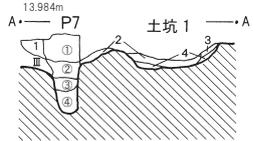
出土遺物については第23～28図及び第22表に掲載した。



第19図 ハケ遺跡第22地点土坑・ピット群（縄文時代）(1/60)



- I. 表土
 III. ソフトローム
 A-A'
1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、3~5mm大ローム粒多く、20~50mm大ロームブロック微量含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、1~3mm大ローム粒少量含む
 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、しみ状に黄褐色土が混じる
 4. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、5~10mm大ローム粒少量含む
 - ①暗褐色土 締りやや強、10mm大ロームブロック・1mm大ローム粒少し、1mm大焼土・白色粒子(骨?)僅かに含む
大焼土・白色粒子(骨?)僅か含む
 - ②暗褐色土 締りやや弱、20mm以下ロームブロック、1mm以下ローム粒・焼土ブロック多く、炭化物少し含む
 - ③暗褐色土 締りやや弱、1mm以下ローム粒少し、焼土ブロック・白色粒子(骨?)僅かに含む
 - ④暗褐色土 締りやや弱、1mm以下ローム粒少し、白色粒子(骨?)極僅かに含む
- B-B'・C-C'
0. 攪乱
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5~10mm大ロームブロック中量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性やや強、5~20mm大ロームブロック多量含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、1~3mm大ローム粒少量含む(耕作土)
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、1~3mm大ローム粒少し、10~20mm大ロームブロック微量含む
 5. 暗褐色土 締りやや強、粘性やや弱、しみ状にロームが混じる
 6. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、10mm以下ロームブロック少量含む、しみ状にロームが混じる
 7. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、10~50mm大ロームブロック多量含む
 8. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、5~10mm大ロームブロック少量含む
 9. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1~3mm大ローム粒微量含む
 10. 黒褐色土 締りやや強、粘性強、20mm以下ロームブロック少量含む
 11. 暗褐色土 締り強、粘性有、10~50mm大ロームブロック多量含む
 12. 黒褐色土 締り有、粘性有、1~3mm大ローム粒少量含む
 13. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック微量含む
 14. ロームブロックを多量に含み非常に締りが強い 地山ではない
 15. 黄褐色土 締り極強、粘性有、ロームブロック
 16. 暗褐色土 締り極強、粘性有、3~10mmロームブロック微量含む
 17. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、5mm以下ローム粒微量含む(自然堆積)
 18. 黄褐色土 締り有、粘性有、ローム主体、黒色土が混じる
 19. 黒褐色土 締り弱、粘性弱、1~5mm大ローム粒少量含む(杭の跡と思われる)



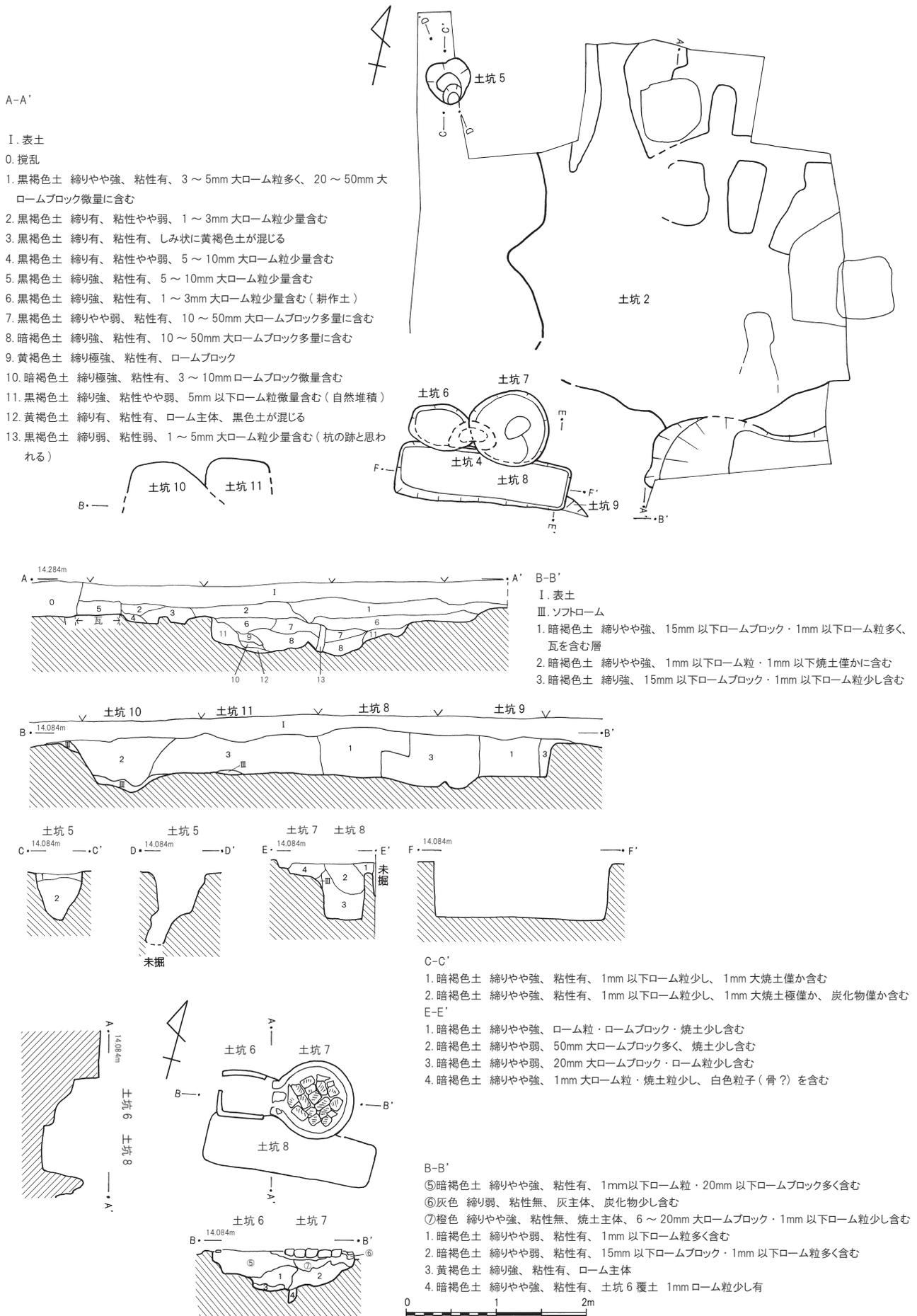
F-F'

- I. 表土
1. 黒褐色土 締りやや弱、粘性弱、1~5mm大ローム粒多く、炭化・燃焼粒極微量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、1~3mm大ローム粒・炭化物・焼土粒微量含む
 3. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1~3mm大ローム粒極微量含む 土坑12覆土
 4. 黒褐色土 締り弱、粘性やや弱、1~5mm大ローム粒少量、焼土粒微量含む
- ピット3
1. 暗褐色土 締りやや強、1mm以下ローム粒多く、1mm以下焼土少し含む
- ピット4
1. 暗褐色土 粘り有、締り有、ロームブロック微量、ローム粒少量含む

ピット5

1. 暗褐色土 締りやや弱、1mm以下ローム粒・5mm以下ロームブロック少し含む
 2. 暗褐色土 締り強、1mm以下ローム粒僅かに含む
- ピット6
1. 黄褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く、暗褐色土しみ状に含む
- ピット8
1. 暗褐色土 締りやや強、2mm以下ローム粒多く含む
- ピット9
1. 暗褐色土 締りやや強、1mm以下ローム粒少し、1mm大焼土・炭化物・白色粒子(骨?)僅か含む
 2. 暗褐色土 締りやや強、1mm以下ローム粒少し、白色粒子(骨?)極僅か含む

第20図 ハケ遺跡第22地点土坑・ピット群(古代以降)(1/60)



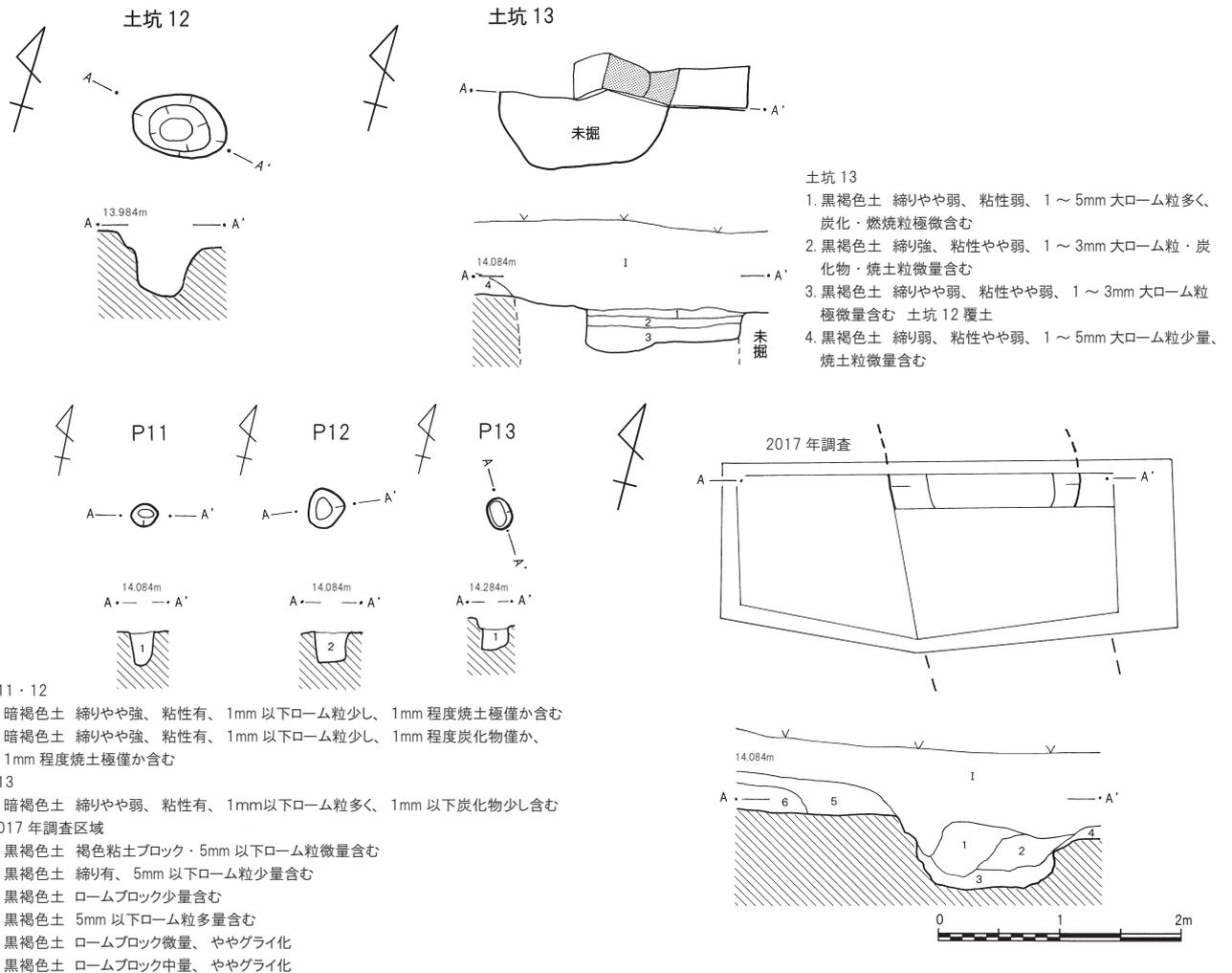
第 21 図 ハケ遺跡第 22 地点土坑 (近世以降) (1/60)

第20表 ハケ遺跡第22地点土坑一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	(166 × 80)	76 × 52	28.5	古代
2	不明	(395 × 231)	110 × 40	41.9	古代
3	不明	(252 × 63)	(252 × 50)	20	古代
4	楕円形	53 × 28	32 × 15	19.8	近世
5	不整形	55 × 49	14 × 11	84.5	近世
6	不明	61 × 52	52 × 39	32.7	近世
7	(円形)	92 × 85	78 × 76	28.7	近世
8	長方形	192 × 61	184 × 46	67.9	近世
9	不明	(31 × 13)	—	—	近世
10	不明	(126 × 54)	—	54	近世
11	不明	(65 × 63)	—	—	近世
12	楕円形	78 × 53	27 × 19	57	—
13	不明	(139 × 61)	—	37	近世以降

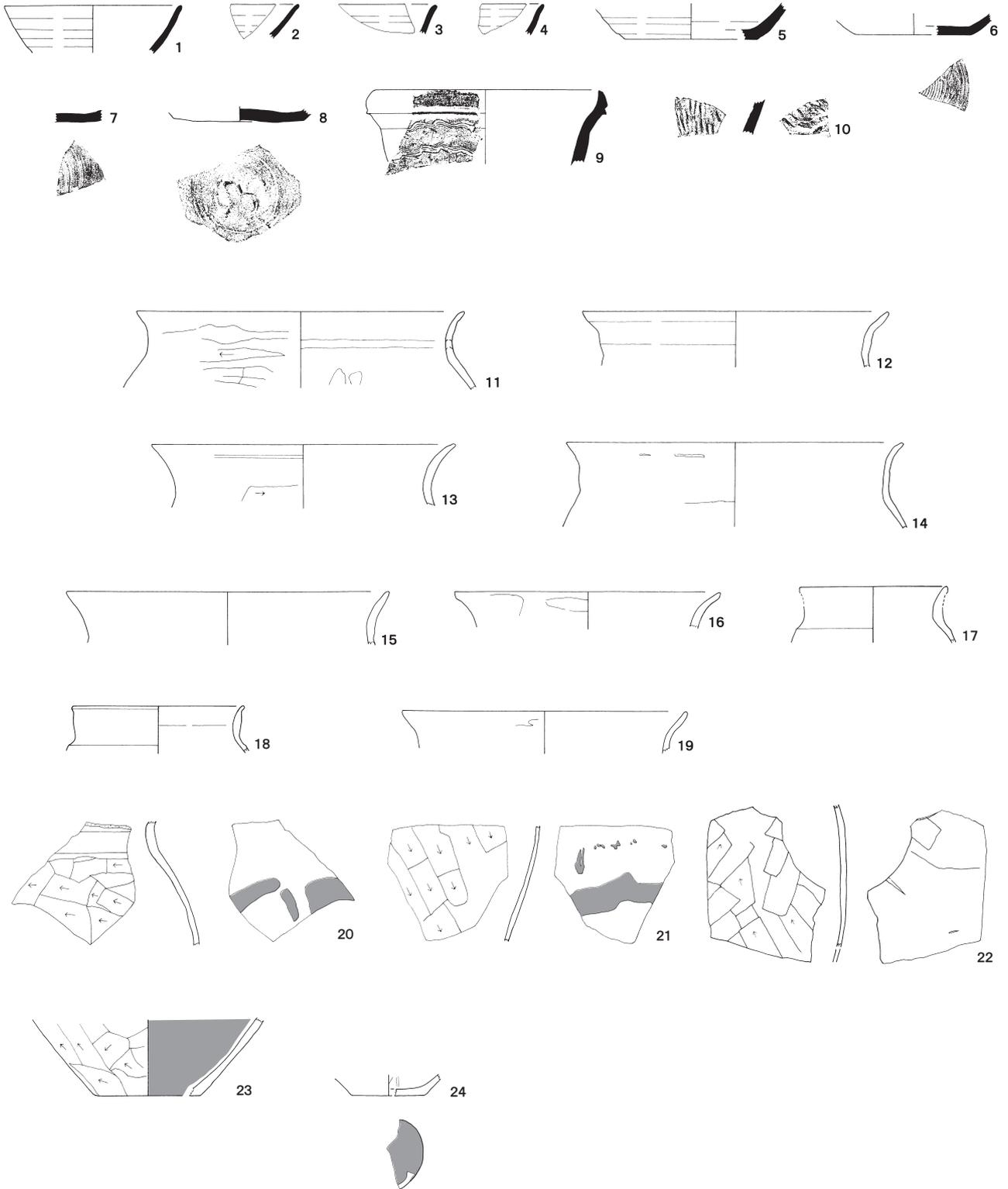
第21表 ハケ遺跡第22地点ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	方形	13 × 12	7 × 7	17.1	縄文
2	楕円形	119 × 77	91 × 50	40.3	縄文
3	方形	20 × 20	13 × 12	29.3	古代
4	不明	38 × (19)	21 × 13	26.4	古代
5	方形	54 × 31	19 × 18	19.8	古代
6	方形	32 × 28	20 × 10	18.7	古代
7	楕円形	31 × 28	21 × 18	40.7	古代
8	楕円形	24 × 18	14 × 8	48.4	古代
9	円形	17 × 17	7 × 7	32.8	古代
10	だるま形	22 × 14	5 × 5	57.1	古代
11	円形	22 × 18	12 × 6	30.4	近世
12	円形	31 × 31	18 × 13	28	近世
13	円形	25 × 20	21 × 11	17	—

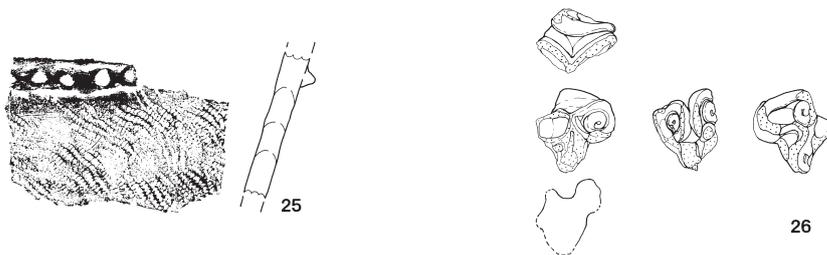


第22図 ハケ遺跡第22地点土坑・ピット・2017年度調査区域図・土層 (1/60)

H18号住居跡



P2



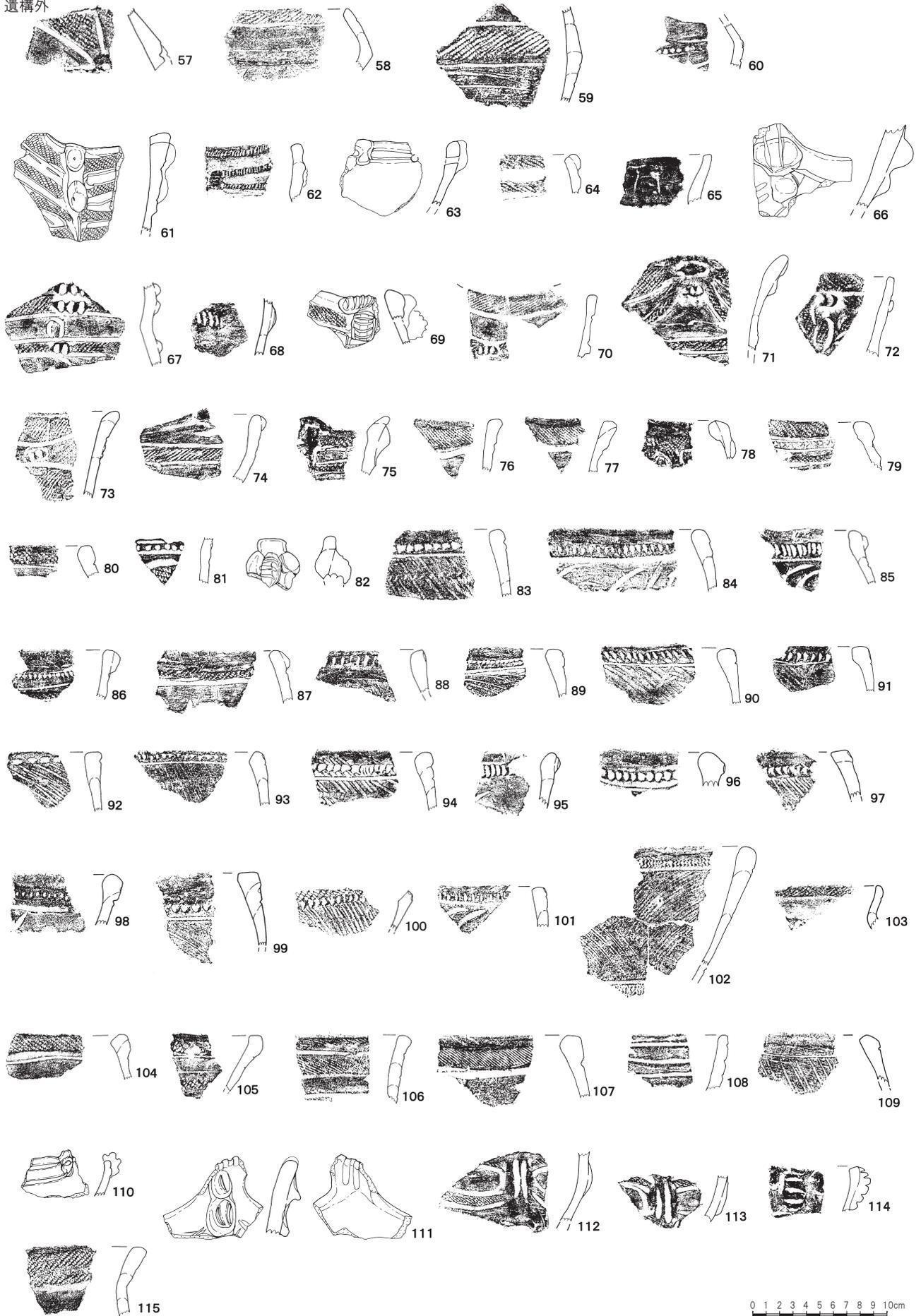
第23図 ハケ遺跡第22地点出土遺物① (1/4)

遺構外



第24図 ハケ遺跡第22地点出土遺物② (1/4)

遺構外



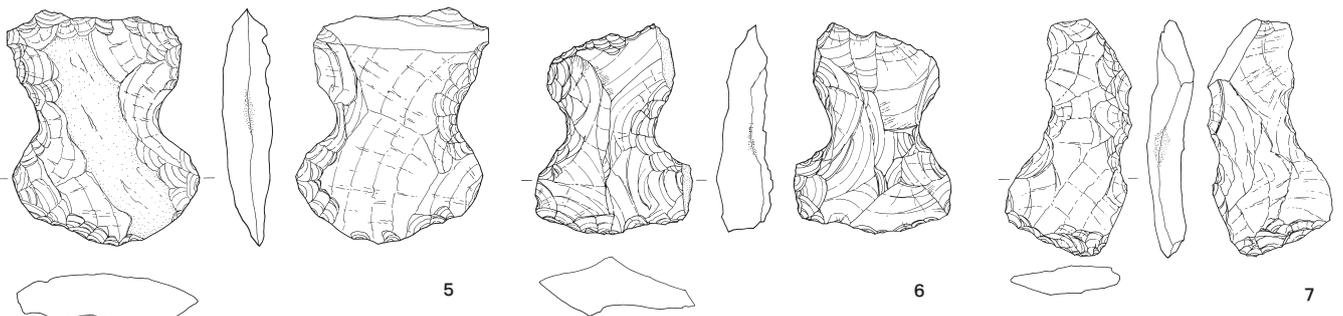
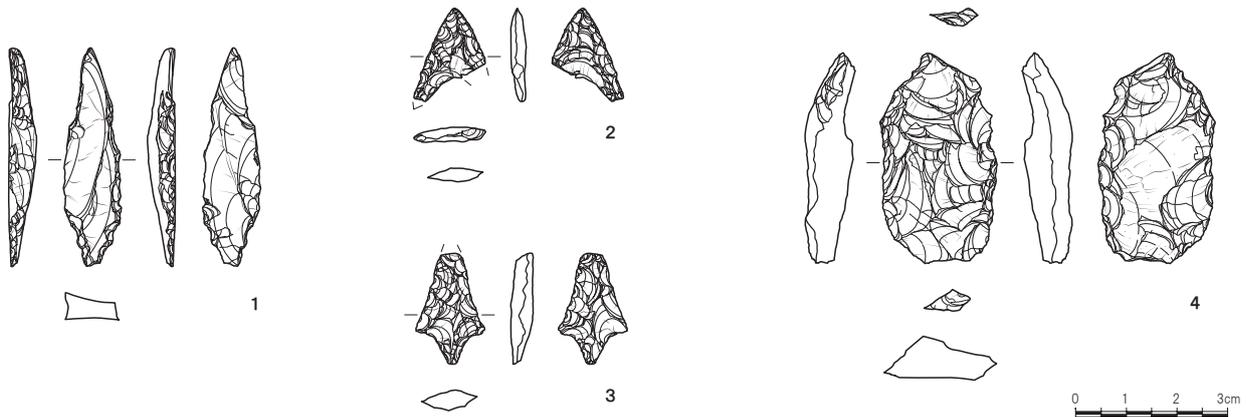
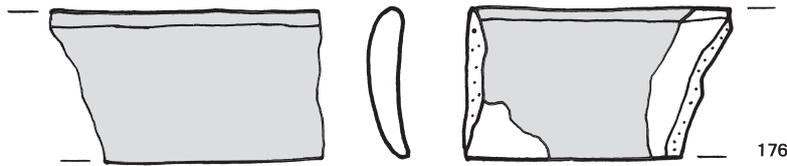
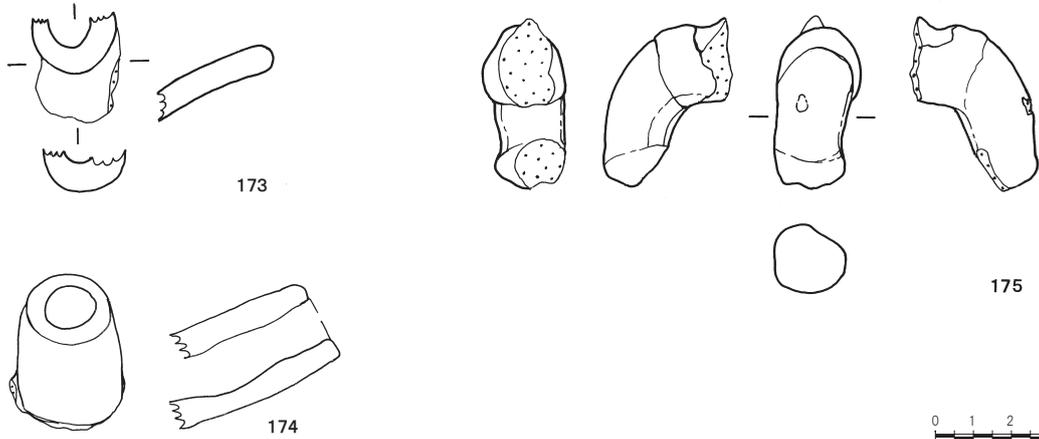
第 25 図 ハケ遺跡第 22 地点出土遺物③ (1/4)

遺構外



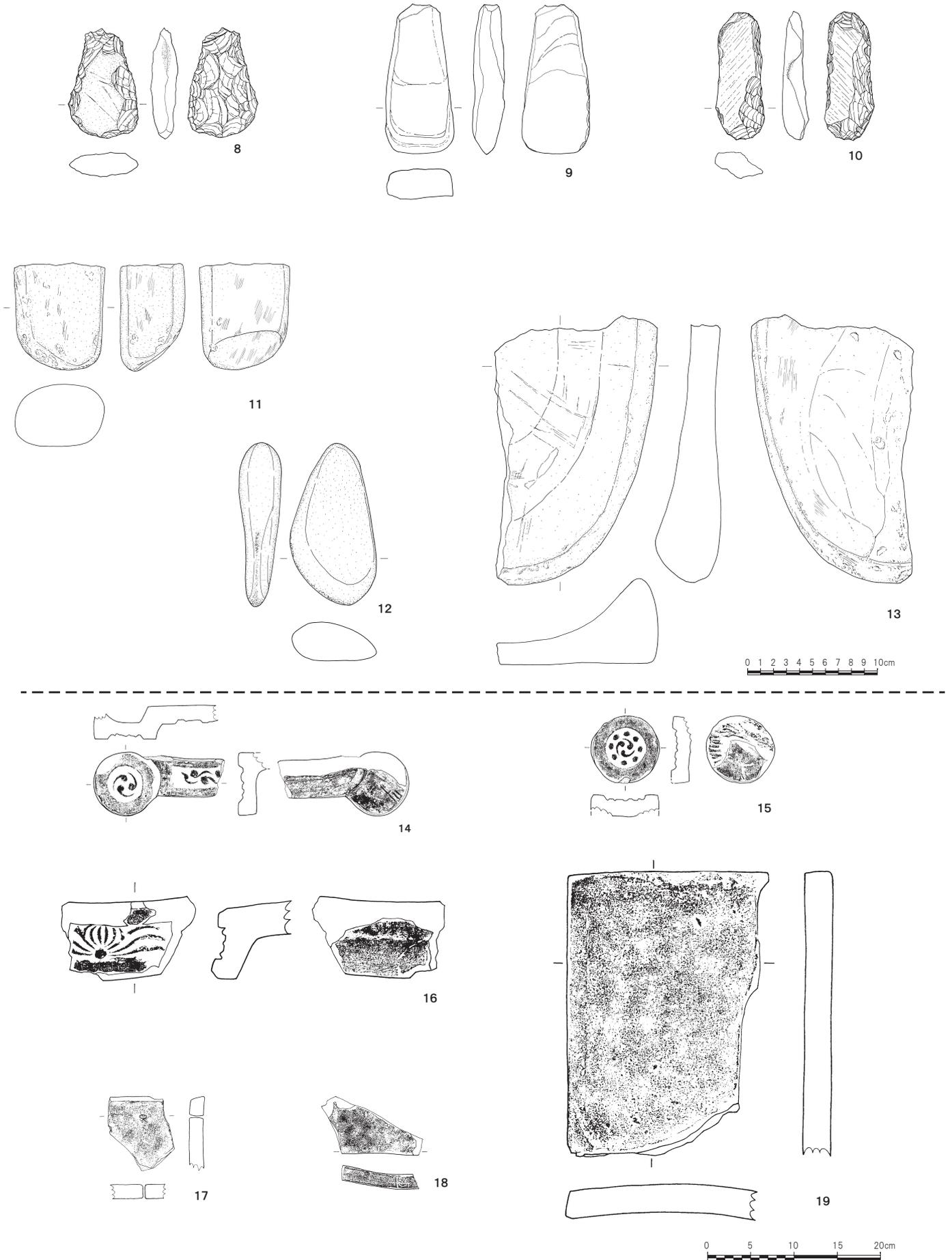
第26図 ハケ遺跡第22地点出土遺物④ (1/4)

遺構外



第27図 ハケ遺跡第22地点出土遺物⑤ (1/4・1/2・2/3・1/1)

遺構外



第28図 ハケ遺跡第22地点出土遺物⑥ (1/4・1/6)

第22表 ハケ遺跡第22地点出土遺物観察表(単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文/施文/備考	時期・型式
第23図-1	H18号住居跡	須恵器・坏	(12.0)	—	(3.2)	—	轆轤成形/胎土に白色針状物質、チャートを含む、南比企産、色調:2.5Y 8/1 灰白色	8世紀後半
第23図-2		須恵器・坏	—	—	(2.2)	—	轆轤成形/胎土に白色針状物質を含む、南比企産、色調:2.5Y 7/1 灰白色	—
第23図-3		須恵器・坏	—	—	(2.0)	—	轆轤成形/胎土に白色針状物質を含む、南比企産、色調:10YR 6/3 黄褐色	—
第23図-4		須恵器・坏	—	—	(2.3)	—	轆轤成形/焼成不良、胎土に白色針状物質を含む、南比企産、色調:10YR 8/2 灰白色	—
第23図-5		須恵器・壺?鉢?	—	(9.0)	(2.5)	—	轆轤成形/焼成不良、底部ヘラズリ痕有、胎土にチャートを含む、色調:10YR 7/4 にぶい黄褐色	8世紀後半
第23図-6		須恵器・坏	—	(7.8)	(1.5)	—	轆轤成形/底部回転系切り後回転ヘラズリ、胎土に白色針状物質を含む、南比企産、色調:2.5Y 7/1 灰白色	8世紀中～後半
第23図-7		須恵器・坏	—	—	(2.3)	—	轆轤成形/焼成不良、胎土に白色針状物質を含む、南比企産、色調:10YR 8/2 灰白色	8世紀後半
第23図-8		須恵器・坏?	—	8.8	(0.8)	—	轆轤成形/焼成やや不良、底部回転系切り後回転ヘラズリ、胎土に砂礫を多く含む、底部中央に指頭痕有、色調:5Y 8/2 灰白色	8世紀後半
第23図-9		須恵器・壺?	(15.4)	—	(4.7)	—	轆轤成形/口縁部に低い突帯、頸部に2段の波状縞施文、内面に自然釉、胎土に白色針状物質を含む、色調:7.5Y 4/1 灰白色	8世紀中～後半
第23図-10		須恵器・壺?	—	—	(2.4)	—	外面:平行タタキ、内面:平行あるいは格子状の当て具、胎土に白色針状物質を僅かに含む、色調:2.5Y 7/1 灰白色	—
第23図-11		土師器・壺	(22.5)	—	(5.2)	—	胴部ヘラズリ、他ナデ・内面に煤付着、胎土に雲母を含む、色調:5YR 6/6 褐色	8世紀後半
第23図-12		土師器・壺	(21.0)	—	(3.8)	—	内外面ナデ/内面に僅かに煤付着、色調:5YR 6/6 褐色	8世紀後半～9世紀初頭
第23図-13		土師器・壺	(20.6)	—	(4.3)	—	内外面ナデ、外面一部ヘラズリ/内外面に煤付着、胎土に白色粒子を含む、色調:2.5YR 6/6 褐色	8世紀後半～9世紀
第23図-14		土師器・壺	(22.8)	—	(5.8)	—	胴部ヘラズリ、他ナデ・内面に煤付着、色調:5YR 7/4 にぶい褐色	9世紀代
第23図-15		土師器・壺	(22.0)	—	(3.5)	—	内外面ナデ/胎土に雲母、白色粒子を含む、色調:7.5YR 7/4 にぶい褐色	8世紀後半
第23図-16		土師器・壺	(18.0)	—	(2.6)	—	内外面ナデ、口縁部外面に指頭痕有/胎土に白色粒子を含む、色調:5YR 6/6 褐色	8世紀～9世紀
第23図-17		土師器・小型台付壺	(10.0)	—	(3.8)	—	胴部ヘラズリ、他ナデ/口縁部外面に指頭痕有、胎土に雲母、白色粒子を含む、色調:5YR 5/4 にぶい赤褐色	9世紀代
第23図-18		土師器・小型台付壺	(11.6)	—	(3.0)	—	内外面ナデ/内面に僅かに煤付着、胎土に白色粒子、雲母を含む、色調:5YR 6/6 褐色	9世紀代
第23図-19		土師器・壺	(14.9)	—	(2.9)	—	内外面ナデ/胎土に白色粒子、雲母を含む、色調:5YR 6/6 褐色	9世紀代力
第23図-20		土師器・壺	—	—	—	—	口縁部～内面ナデ、外面胴部ヘラズリ/内面に僅かに煤付着、胎土に雲母、白色針状物質を含む、色調:7.5YR 6/6 褐色	9世紀前半
第23図-21		土師器・壺	—	—	—	—	外面ヘラズリ、内面ナデ/内面にタール付着、胎土に白色粒子、雲母を含む、色調:7.5YR 7/4 にぶい褐色	—
第23図-22	土師器・壺	—	—	—	—	外面ヘラズリ、内面ナデ/胎土に黒色粒子、白色粒子を含む、器厚:約2.2mm、色調:7.5YR 6/4 にぶい褐色	—	
第23図-23	土師器・壺	—	(7.3)	(5.0)	—	外面ヘラズリ、内面ナデ/内面にタール付着、胎土に白色粒子、白色針状物質、雲母を含む、色調:10YR 4/3 にぶい黄褐色	8～9世紀力	
第23図-24	土師器・小型壺	—	(5.0)	(1.5)	—	外面ヘラズリ、内面ナデ/底部にタール付着、胎土に白色粒子、雲母を含む、色調:10YR 4/2 灰黄褐色	—	
第23図-25	ビット2	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/地文 RL 縄文/横位隆帯貼付後指頭圧痕/内面ミガキ、胎土に黒色を呈する、胎土に繊維を含む	後期・加曽利 B
第23図-26		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁突起部/隆帯で渦巻文貼付/胎土に白色粒子を多く含む	後期・加曽利 B
第24図-1	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	横位に三条の爪型文	前期・諸磯 a
第24図-2		縄文・深鉢	—	—	—	—	沈線による肋骨文/内面に煤付着	前期・諸磯 a
第24図-3		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 R 縄文/口縁部に粘土貼付後横位縞系文/胎土にチャートを含む	前期・十三哥提
第24図-4		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 R 縄文/半載竹管による平行沈線/胎土に白色粒子を多く含む、内面に煤付着	前期・十三哥提
第24図-5		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 LR 縄文/半載竹管による平行沈線/胎土に白色粒子を多く含む、内面に煤付着	中期・加曽利 E I
第24図-6		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口縁部に平行沈線、半載竹管による沈線、区画内にベンツ工具による刺突文を充填/胎土に白色粒子を多く含む	中期・加曽利 E III
第24図-7		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 LR 縄文/口縁部に平行に沈線/内面ミガキ、外面に僅かに煤付着	後期・称名寺
第24図-8		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文/全体的に器面磨滅	後期・称名寺
第24図-9		縄文・深鉢	—	—	—	—	波状口縁の波頂部大型把手部/隆帯貼付後沈線と円形刺突、沈線による区画、区画内 Lr 縄文充填、胎土に白色粒子を多く含む、外面に僅かに煤付着	後期・称名寺 II
第24図-10		縄文・深鉢	—	—	—	—	波状口縁の波頂部(径約1cmの円形刺突)/胎土に砂礫・白色粒子を多く含む	後期・称名寺 II
第24図-11		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁把手部か/中央を精円形に穿孔し、周囲に半円形に沈線を複数施す/胎土に砂礫を多く含む	後期
第24図-12		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/LR 縄文、口縁部に沿って角押文、波状沈線/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-13		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線、口縁部内面に沈線/内外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-14		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線か、口縁部内面に沈線/胎土に僅かに雲母を含む	後期・加曽利 B
第24図-15		縄文・深鉢	—	—	—	—	波状口縁/地文 LR 縄文/口縁部に沿って沈線、角押文、横位縞系文、区画内磨消/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-16		縄文・深鉢	—	—	—	—	地文 RL 縄文/口縁部隆帯貼付後指頭圧痕/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B 並行
第24図-17		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部隆帯貼付後指頭圧痕、胴部集合沈線/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B 並行
第24図-18		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部隆帯貼付後指頭圧痕、胴部集合沈線/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B 並行
第24図-19		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部隆帯貼付後指頭圧痕/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B 並行
第24図-20		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部隆帯貼付後指頭圧痕/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B 並行
第24図-21		縄文・浅鉢	—	—	—	—	胴部集合沈線/胎土に白色粒子を含む、内外面黒色化	後期・加曽利 B 並行
第24図-22		縄文・浅鉢?	—	—	—	—	口縁部/無文/内外面黒色化、注口土器の可能性もある	後期・加曽利 B
第24図-23		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線/胎土に白色粒子・チャートを含む、内外面黒色化、内面ミガキ	後期・加曽利 B 並行
第24図-24		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 LR 縄文/磨消縞文、横位縞系文/胎土に白色粒子を含む、内外面黒色化、ミガキ	後期・加曽利 B II
第24図-25		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 LR 縄文/口縁部に平行に沈線、口縁部側面に棒状工具による刻目/胎土に白色粒子を含む、内外面黒色化、ミガキ	後期
第24図-26		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文 LR 縄文/横位縞系文を施し、それより下は磨消/胎土に白色粒子を含む、内外面黒色化、ミガキ	後期
第24図-27		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線、口縁部刻目、連続爪型文/胎土に白色粒子を含む、一部黒色化	後期
第24図-28		縄文・深鉢	—	—	—	—	波状口縁・口縁部に刻目、集合沈線/胎土に白色粒子を含む、内外面黒色化、ミガキ	後期・加曽利 B
第24図-29		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線、口縁部に刻目、口唇部に縞文を施すか/内面黒色化、ミガキ	後期・加曽利 B
第24図-30		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口縁部に平行に沈線を施し、無文帯をつくる、沈線下に半載竹管状工具による押引文、集合沈線、内面に半載竹管状工具による隆起縞文/胎土に砂礫を多く含む	後期・加曽利 B
第24図-31		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/半載竹管状工具による押引文、横位縞系文、下部は集合沈線/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-32		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線/内面ミガキ、白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-33		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口縁部に沿って横位縞系文、沈線による三角文/胎土に砂礫を多く含む	後期・加曽利 B II
第24図-34		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線、内面口縁部に沈線/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-35		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文/内面に隆帯、列点文/外面に煤付着、内面赤彩、胎土に雲母を僅かに含む	後期・加曽利 B I
第24図-36		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/頸部に沈線/内外面ミガキ	後期・加曽利 B III
第24図-37		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/集合沈線/内面板状工具による調整、胎土に白色粒子・チャートを含む	後期・加曽利 B III 並行
第24図-38		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部～胴部/胴部より下部に沈線による区画、区画内磨消、集合沈線/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B III
第24図-39		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/横位縞系文、集合沈線/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を僅かに含む	後期・加曽利 B III
第24図-40		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/集合沈線、横位角押文/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-41		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/集合沈線/胎土に白色粒子・砂礫を多く含む	後期・加曽利 B
第24図-42		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/集合沈線/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-43		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁突起部か/胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B
第24図-44		縄文・深鉢	—	(7.0)	—	—	底部/網代痕か/外面ミガキ、内面ハジケ、胎土に白色粒子を含む	後期・加曽利 B III
第24図-45		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文/斜格子状沈線、口唇部内面に沈線/胎土に白色粒子、チャートを含む	後期・加曽利 B III

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文/施文/備考	時期・型式
第24図-46	遺構外	縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/無文/縦位集合沈線施文後、横位に沈線を施す/胎土に砂礫を多く含む、内面ミガキ	後期・加曾利BⅢ
第24図-47		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/横位沈線、斜位集合沈線、口縁上に刻み/胎土に黒色粒子を含む	後期・加曾利BⅡ～Ⅲ
第24図-48		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/無文/斜格子状沈線/胎土に砂礫を多く含む、内面ミガキ	後期・加曾利BⅢ
第24図-49		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/無文/縦位集合沈線施文後、斜位に沈線を施す/胎土に白色粒子を含む、内面ミガキ	後期・加曾利BⅢ
第24図-50		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/無文/斜位集合沈線、口唇部指頭圧痕、口唇部内面に沈線を施す/胎土に砂礫を多く含む、内面ミガキ	後期・加曾利BⅡ～Ⅲ
第24図-51		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/斜位集合沈線/胎土に白色粒子を含む、内外面ミガキ、器厚が薄い	後期・加曾利BⅡ～Ⅲ
第24図-52		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/斜位集合沈線、口唇部に刻み、口唇部内面に沈線/胎土に砂礫を多く含む、内面ミガキ、一部黒色化	後期・加曾利BⅡ
第24図-53		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部、3単位突起の1つ/集合沈線、十字状突起、突起の両脇と内面に盲孔、内面に横位隆起線文/胎土に砂礫を多く含む、内外面ミガキ、黒彩	後期・加曾利BⅡ
第24図-54		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/屈曲部上の盲孔を中心に弧線文と沈線を施す、屈曲部に刻み/胎土に白色粒子・砂礫を多く含む、内外面ミガキ、黒彩	後期・加曾利BⅡ
第24図-55		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/地文LR縄文/弧線文内磨消、刻目のある隆起線文を横位に施文、下部は集合沈線/胎土に砂礫を多く含む、内外面ミガキ	後期・加曾利BⅡ
第24図-56		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/地文RL縄文/弧線文内磨消、屈曲部に沿って沈線/胎土に砂礫を多く含む、内外面ミガキ、No57と同一個体か	後期・加曾利BⅡ
第25図-57		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/地文RL縄文/弧線文内磨消、盲孔から放射線状に沈線/胎土に砂礫を多く含む、内外面ミガキ、No56と同一個体か	後期・加曾利BⅡ
第25図-58		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/地文LR縄文/沈線間磨消/胎土に砂礫を多く含む、内外面ミガキ	後期・加曾利BⅡ
第25図-59		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/地文LR縄文/沈線間磨消、下部は集合沈線/胎土に砂礫を多く含む、内外面ミガキ、内面黒色化	後期・加曾利BⅡ
第25図-60		縄文・深鉢	-	-	-	-	甕蓋玉型土器/屈曲部に刻み/胎土に白色粒子を含む、内外面ミガキ	後期・加曾利BⅡ
第25図-61		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁の波底部/口縁部に3本の帯縄文、縦長の貼付文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子と僅かに雲母を含む	後期・安行1
第25図-62		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/刻みを持つ縦長の貼付文、3本の刻目隆起帯/胎土に砂礫を多く含む、外面黒色化	後期・安行1～2
第25図-63		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/胎土に結晶片岩を含む	後期・安行1～2
第25図-64		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/2本の帯縄文、RL縄文施文/胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-65		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/無文/内外面ミガキ、黒色化	後期
第25図-66		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁の波底部/波頂部に豚鼻状貼付文/胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-67		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部屈曲部/2本の帯縄文の上に豚鼻状貼付文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-68		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/横長の貼付文に刻み/胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-69		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁の波底部/口縁部に帯縄文、その上に刻目を持つ貼付文/内面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-70		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁/口縁部と胴部に2本の帯縄文、豚鼻状貼付文、口縁部帯縄文下に沈線/外面ミガキ、黒色化、内面ハジケ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-71		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁の波頂部/口縁部に帯縄文、波頂部に豚鼻状貼付文、帯縄文と沈線による三角形区画/内外面ミガキ、外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-72		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文RL縄文/磨消縄文、口縁部帯縄文下に沈線を施す、豚鼻状貼付文/内面ミガキ、内外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-73		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文LR捺糸文/横位沈線間磨消、豚鼻状貼付文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-74		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁/地文横位RL縄文/磨消縄文、沈線による区画、波頂部に横長の貼付文か/内外面ミガキ、ケールが僅かに付着、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-75		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁突起部/折り返し口縁、2本の帯縄文、沈線間磨消、縦長の貼付文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-76		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁/口縁部帯縄文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-77		縄文・深鉢	-	-	-	-	波状口縁/口縁部帯縄文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-78		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/内面に口縁貼付、LR縄文施文の隆起貼付による区画/胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-79		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、2本の帯縄文下に列点文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-80		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、口縁部に縄文施文/内面黒色化、胎土に白色粒子を多く含む	後期・安行2
第25図-81		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/地文縄文/沈線による区画、沈線間刺突文/胎土に微かな白色粒子を多く含む	後期・安行2
第25図-82		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁突起部/刻目を持つ縦長の貼付文、三方に粘土貼付、内面に棒状工具による縦位沈線/外面に煤付着、胎土に白色粒子を含む	後期・安行2
第25図-83		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/口縁部に刺突文、横位沈線、胴部に集合沈線/内面に煤付着、胎土に黒色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-84		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、口縁部粘土貼付後列点文、胴部に集合沈線/胎土にチャートを含む	後期・安行1～2
第25図-85		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、口縁部粘土貼付後列点文、胴部に集合沈線/胎土に砂礫を多く含む	後期・安行1～2
第25図-86		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、口縁下に列点文/胎土に白色粒子を含む、摩滅が激しい、内面に僅かに赤彩が残る	後期・安行1～2
第25図-87		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/口縁部粘土貼付後LR縄文施文、粘土紐下に沈線/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-88		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/粘土貼付後列点文/胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-89		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、口縁部に押引状の列点文と沈線/胎土に砂礫と白色粒子を多く含む	後期・安行1～2
第25図-90		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、口唇部に刻み目状の列点文と沈線/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-91		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、口唇部に内側に折り返す、口唇部に押引状の列点文と沈線を施す、胎土に白色粒子を含む、内面僅かに煤付着	後期・安行1～2
第25図-92		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、口唇部に列点文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-93		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、折り返し口縁、口唇部に刻目と沈線/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む、外面に僅かに煤付着	後期・安行1～2
第25図-94		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、折り返し口縁、押引状の列点文と沈線を施す/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-95		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/口唇部に刻目を持つ細線文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む、口唇部僅かに黒色化	後期・安行1～2
第25図-96		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/口唇部に刻目を持つ細線文と沈線/胎土に白色粒子を含む、内面ハジケ	後期・安行1～2
第25図-97		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、口唇部に刻目を持つ細線文/内外面ミガキ	後期・安行1～2
第25図-98		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、口唇部に列点文と沈線、胴部に沈線による文様か/胎土に白色粒子と僅かに雲母を含む、内面ハジケ、口唇部に煤付着	後期・安行1～2
第25図-99		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線、折り返した口縁下部に列点文と沈線を施す/胎土に僅かに白色粒子と雲母を含む	後期・安行1～2
第25図-100		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/地文集合沈線/甕蓋玉型土器の屈曲部、張り出し部分にLR縄文と刻目を施す/なお面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・安行1～2
第25図-101		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/口縁部に列点文と沈線、胴部に入組文か/内外面ミガキ、口唇部僅かにハジケ	後期・安行1～2
第25図-102		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線/口唇部と胴部に縦位波状の刻目と沈線を施す/内外面ミガキ、胎土に白色粒子と砂礫を多く含む	後期
第25図-103		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/磨消縄文/内外面ミガキ、外面に煤付着、全体的に摩滅が激しい	晩期・安行3a～3b
第25図-104		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、RL縄文と沈線施文/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を多く含む	晩期・安行3a～3b
第25図-105		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、地文縄文か/平行沈線間磨消/内外面ミガキ、外面僅かに黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行3a～3b
第25図-106		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/横位に3本の平行沈線施文後、上2段に細かいRL縄文を施す/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行3a～3b
第25図-107		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/折り返し口縁、折り返し部分に細かなRL縄文と竹管状工具による沈線/内外面赤彩か、胎土に白色粒子と長石を含む	晩期・安行3a～3b
第25図-108		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/横位に平行沈線を施す/内外面ミガキ、胎土に僅かにチャートを含む	晩期・安行3a～3b
第25図-109		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁部/地文集合沈線/口唇部に横位沈線/胎土に白色粒子を含む	晩期・安行3a～3b
第25図-110		縄文・深鉢	-	-	-	-	口縁突起部/刻みのある縦長の貼付文、2本の平行沈線/胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行3a～3b
第25図-111		縄文・深鉢	-	-	-	-	大波状口縁部/刻みを伴う突起部、直下に豚鼻状貼付文を重ねる/胎土に白色粒子を含む、内面ミガキ	晩期・安行3a～3b
第25図-112		縄文・深鉢	-	-	-	-	胴部/地文縄文/棒状工具による縦位沈線を施す貼付文、沈線による区画/内外面に僅かに煤付着、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行3a～3b

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文/施文/備考	時期・型式
第25図-113	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/地文縄文/棒状工具による縦位沈線を施す貼付文、沈線による区画/内外面に僅かに煤付着、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第25図-114		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/横位に刻みを持つ縦長の貼付文、両脇に沈線施文か/内面に煤付着、全体的に摩滅	晩期・安行 3a~3b
第25図-115		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/LR縄文施文/内外面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-116		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/縄文と沈線施文/内外面ミガキ、胎土にチャートと白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-117		縄文・浅鉢	—	—	—	—	口縁部/横位に2本の沈線、口唇部内側に沈線を施す、内面ミガキ、煤付着、胎土に白色粒子と僅かに炭母を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-118		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/磨消縄文/内外面ミガキ、外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-119		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文縄文/口縁部磨消、沈線/内外面ミガキ、胎土に白色粒子を含む、外面に赤彩か	晩期・安行 3a~3b
第26図-120		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文縄文/2箇1単位の小突起、三叉文/内面ミガキ、僅かに煤付着、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-121		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/算盤玉型土器の屈曲部/平行沈線/内外面ミガキ、内面黒色化、胎土に僅かに炭母を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-122		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文/胎土に白色粒子と僅かに炭母を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-123		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文/胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-124		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文縄文か/口縁部に横位沈線、円形粘土貼付後に盲孔、沈線による入組文か/内面ミガキか、全体的に摩滅が激しい	晩期・安行 3a~3b
第26図-125		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部に粘土細貼付/内外面ミガキ、胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-126		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文LR縄文か、縦長の貼付文/内面ミガキ	晩期・安行 3a~3b
第26図-127		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文LR縄文/横位平行沈線、沈線間磨消、2段目に列点文/内外面煤付着	晩期・安行 3a~3b
第26図-128		縄文・注口土器か	—	—	—	—	胴部/屈曲部、刻みのある粘土貼付/内外面ミガキ、黒色化	晩期
第26図-129		縄文・浅鉢	—	—	—	—	口縁部/地文縄文、沈線による区画/内面ミガキ、内外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期
第26図-130		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文縄文、沈線間磨消、2箇一組の小突起、三叉文/胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行 3a
第26図-131		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文縄文、沈線間磨消、2箇一組の小突起、三叉文/内外面ミガキ、黒色化	晩期・安行 3a
第26図-132		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部小突起、平行沈線と2段の列点文/胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行 3c
第26図-133		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/平行沈線と列点文/内外面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-134		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/粘土貼付で口唇部を厚くする、胴部に粘土細痕を残す/内外面ミガキ、外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行
第26図-135		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/山型の小突起、集合沈線/内面ミガキ、胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-136		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/集合沈線/内面黒色化、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-137		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部に列点文、入組文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行 3a~3b
第26図-138		縄文・深鉢	(16.1)	—	(3.3)	—	口縁部/口唇部小突起、連弧状に沈線と列点文/内面ハジケ、胎土に砂礫を多く含む	後晩期
第26図-139		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/平行沈線による施文、口唇部上部に列目/胎土に砂礫を多く含む	晩期
第26図-140		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/入組文か/全体的に摩滅が激しい	晩期
第26図-141	縄文・深鉢	(10.2)	—	(4.8)	—	口縁部/内外面ミガキ、僅かに煤付着、胎土に白色粒子を含む	後晩期	
第26図-142	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文、口唇部に粘土細貼付/内外面ミガキ	晩期・安行	
第26図-143	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁、外面に粘土細痕を残す/胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行	
第26図-144	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁、内外面に粘土細痕を残す/胎土に砂礫を多く含む、内外面赤彩か	晩期・安行	
第26図-145	縄文・浅鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁/胎土に砂礫を多く含む、内面に煤付着	晩期・安行	
第26図-146	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/外面に粘土細痕を残す/胎土に白色粒子と砂礫を含む、内面赤彩か	晩期・安行	
第26図-147	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁/胎土に砂礫を多く含む、内面赤彩か	晩期・安行	
第26図-148	縄文・浅鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁/胎土に砂礫を多く含む、外面に僅かに煤付着、内外面赤彩か	晩期・安行	
第26図-149	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁/外面ケズリ、胎土に砂礫を多く含む、外面僅かに赤彩か	晩期・安行	
第26図-150	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁/内面ミガキ、煤付着	晩期・安行	
第26図-151	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/無文、折り返し口縁/外面ケズリ、胎土に砂礫を多く含む、内面に煤付着	晩期・安行	
第26図-152	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/粘土細貼付/外面ケズリ、胎土に白色粒子を含む	晩期・安行	
第26図-153	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/折り返し口縁/内外面ケズリ、胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行	
第26図-154	縄文・浅鉢	—	—	—	—	口縁部/無文/胎土に砂礫を多く含む、内外面に僅かに赤彩か、内面に僅かに煤付着、ミガキ	晩期・安行	
第26図-155	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/無文/内外面ケズリ、外面にタール付着、胎土に砂礫を多く含む	晩期・安行	
第26図-156	縄文・深鉢	—	(8.8)	(4.4)	—	底部/胎土にチャート等の砂礫を多く含む	中期以降	
第26図-157	縄文・浅鉢	—	(9.0)	(3.8)	—	底部/胎土に砂礫を多く含む、底部に植物圧痕か	中期以降	
第26図-158	縄文・深鉢	—	(5.0)	(1.8)	—	底部/内外面ミガキ、内面割がれ、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第26図-159	縄文・深鉢	—	(7.0)	(3.5)	—	底部/輪積み成形/胎土に砂礫を多く含む	中期以降	
第26図-160	縄文・深鉢	—	(6.2)	(6.0)	—	底部/輪積み成形/内面ナデ、煤付着、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第26図-161	縄文・深鉢	—	(9.2)	(7.4)	—	底部/輪積み成形/内外面ナデ、外面僅かに煤付着、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第26図-162	縄文・深鉢	—	(4.5)	(3.8)	—	底部/輪積み成形/外面ミガキ、内面ナデ、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第26図-163	縄文・深鉢	—	(6.5)	(5.3)	—	底部/輪積み成形/外面ミガキ、内面ナデ、煤付着、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第26図-164	縄文・深鉢	—	(7.0)	(1.2)	—	底部/内外面ナデ	中期以降	
第26図-165	縄文・台付鉢?	—	(5.6)	(2.6)	—	底部/内面ミガキ、胎土に砂礫を多く含む	中期以降	
第26図-166	縄文・深鉢	—	—	—	—	底部/内外面ミガキ、底部に煤付着、内面赤彩、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第26図-167	縄文・ミニチュア土器	—	(3.9)	(2.8)	—	底部/手づくね成形	後晩期	
第27図-168	縄文・注口土器	—	—	—	—	胴部/算盤型の張出部、細い刻みのある隆帯と半円形の粘土貼付、中央に盲孔、下部に縦位の平行沈線か/内外面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・加曾利 B	
第27図-169	縄文・注口土器	—	—	—	—	胴部/地文LR縄文/内盤状の粘土貼付後、横位に沈線を施す/内面ミガキ、僅かに煤付着、胎土に白色粒子を含む	後期・加曾利 B II	
第27図-170	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/刻みのある隆帯による区画/内面ミガキ、胎土に砂礫を含む、全体的に摩滅が激しい	後期	
第27図-171	縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部に刻み/内外面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期以降	
第27図-172	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/沈線による渦巻文の突起部/外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	後期・加曾利 B	
第27図-173	縄文・注口土器	(3.6)	—	—	—	注口部のみ残存・注口部外径(2.2)cm、内径(1.2)cm、外面ミガキ、胎土に砂礫を多く含む	後期以降	
第27図-174	縄文・注口土器	(5.0)	—	—	—	注口部のみ残存・注口部外径2.0cm、内径1.3cm、外面ミガキ、胎土に砂礫を多く含む	後期以降	
第27図-175	土製品・土偶	—	—	—	—	左肩~腕部/立体形式の中実作り、肩部に粘土紐を巻き付ける、胎土に白色粒子と砂礫を含む	後期以降	
第27図-176	土製品・耳環	—	(2.0)	—	—	内外面赤彩、胎土に白色粒子を含む	中期以降	
第27図-1	石器・ナイフ	4.342	(1.145)	0.55	(2.62)	石質:チャート、左側面欠損	—	
第27図-2	石器・石鏃	(1.852)	(1.408)	(0.305)	(0.51)	石質:黒曜石、右側面欠損	縄文	
第27図-3	石器・石鏃	(2.204)	1.356	0.445	(1.06)	石質:チャート、先端部欠損	縄文	
第27図-4	石器・スクレイパー	4.182	2.312	0.991	9.58	石質:チャート、完形	縄文	
第27図-5	石器・打製石斧	12.148	9.646	2.363	341.72	石質:ホルンフェルス、完形、分銅型	縄文	
第27図-6	石器・打製石斧	11.267	8.106	3.409	221.13	石質:ホルンフェルス、完形、分銅型、くびれ部摩滅	縄文	
第27図-7	石器・打製石斧	12.111	6.042	2.045	131.13	石質:ホルンフェルス、完形、ややくびれる分銅型	縄文	
第28図-8	石器・打製石斧	8.472	5.275	1.887	106.05	石質:ホルンフェルス、完形、撥型、自然面残す	縄文	
第28図-9	石器・打製石斧	11.584	5.222	2.309	219.75	石質:ホルンフェルス、先端欠損、撥型	縄文	
第28図-10	石器・打製石斧	9.922	3.565	2.031	90.82	石質:結晶片岩、短冊型、大きく自然面を残す	縄文	
第28図-11	石器・敲き石	(8.079)	(7.094)	(4.868)	(318.03)	石質:安山岩、基部欠損、先端が摩滅し平滑	縄文	
第28図-12	石器・敲き石	12.559	6.565	3.212	480.37	石質:砂岩、完形、大きく自然面を残す、先端から側面にかけて敲痕	縄文	
第28図-13	石器・石皿	(21.0)	(12.467)	(6.403)	(1664.53)	石質:多孔質安山岩、1/4残存	縄文	
第28図-14	小丸軒椀瓦	—	(14.3)	(1.99)	—	小丸瓦当:巴文、瓦当外径:7.4cm、瓦当内径:4.2cm、平部瓦当:垂れ部分に巴文	近代	
第28図-15	軒丸瓦	(7.75)	(7.75)	(2.16)	—	巴文と珠文を配する、瓦当内径:4.5cm	近代	
第28図-16	軒椀瓦	(4.18)	(6.6)	(1.89)	—	垂れ部分に唐草文、大部分欠損	近代	
第28図-17	椀瓦?平瓦?	(8.5)	(6.5)	(1.6)	—	表面から穿孔	近代	
第28図-18	椀瓦	(5.5)	(8.3)	(1.77)	—	小口に刻印あり	近代	
第28図-19	平瓦	(16.4)	(11.5)	(1.7)	—	色調:10YR 7/3 にふい黄褐色を呈する	近代	

Ⅲ ハケ遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年6月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年7月18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約20～30cmである。

調査の結果、ピット2基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

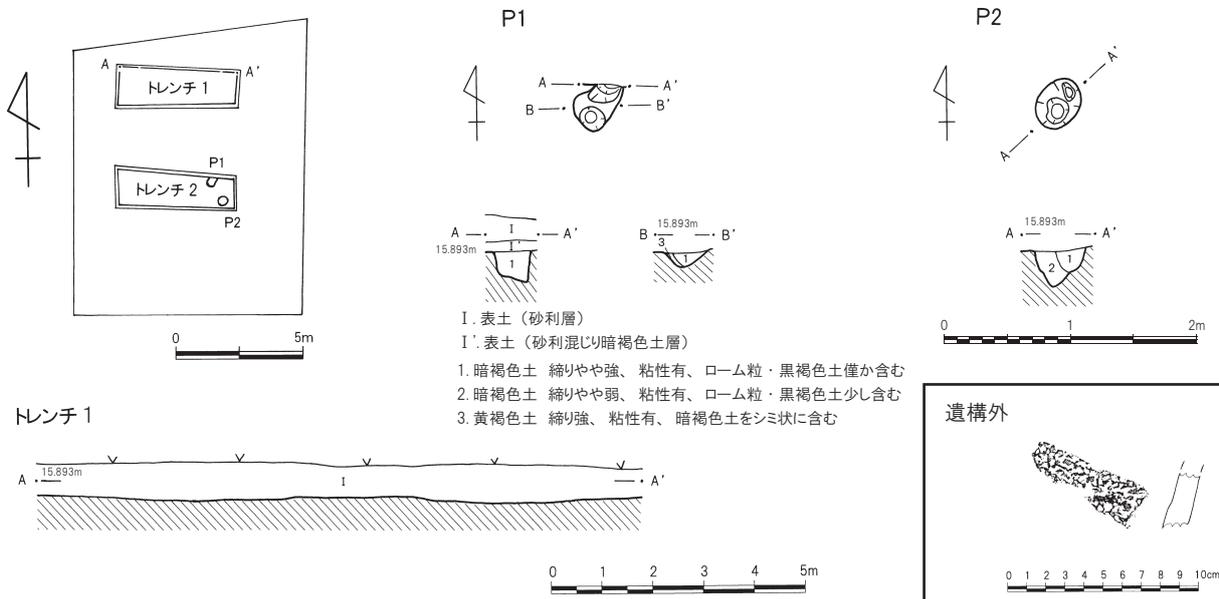
(2) 遺構と遺物

①ピット

ピット2基はいずれも調査区中央部で検出した。ピット1は平面形態が不整形で、確認面径(37)×33cm、底径12×(4)cm、深さ26.9cmを測る。ピット2は確認面径40×32cm、底径10×10cm、深さ32.2cmで円形を呈する。いずれも出土遺物はないが、土層の観察から縄文時代のものと考えられる。

②出土遺物

遺物は表土中より出土した縄文土器片である。深鉢の破片で、地文LR縄文のようだが摩耗が激しく判然としない。胎土に雲母を含む。内面が黒色化している。中期か。



第29図 ハケ遺跡第23地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

第6章 権現山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16～18mを測る。遺跡の範囲は南北300m、東西300m以上ある。

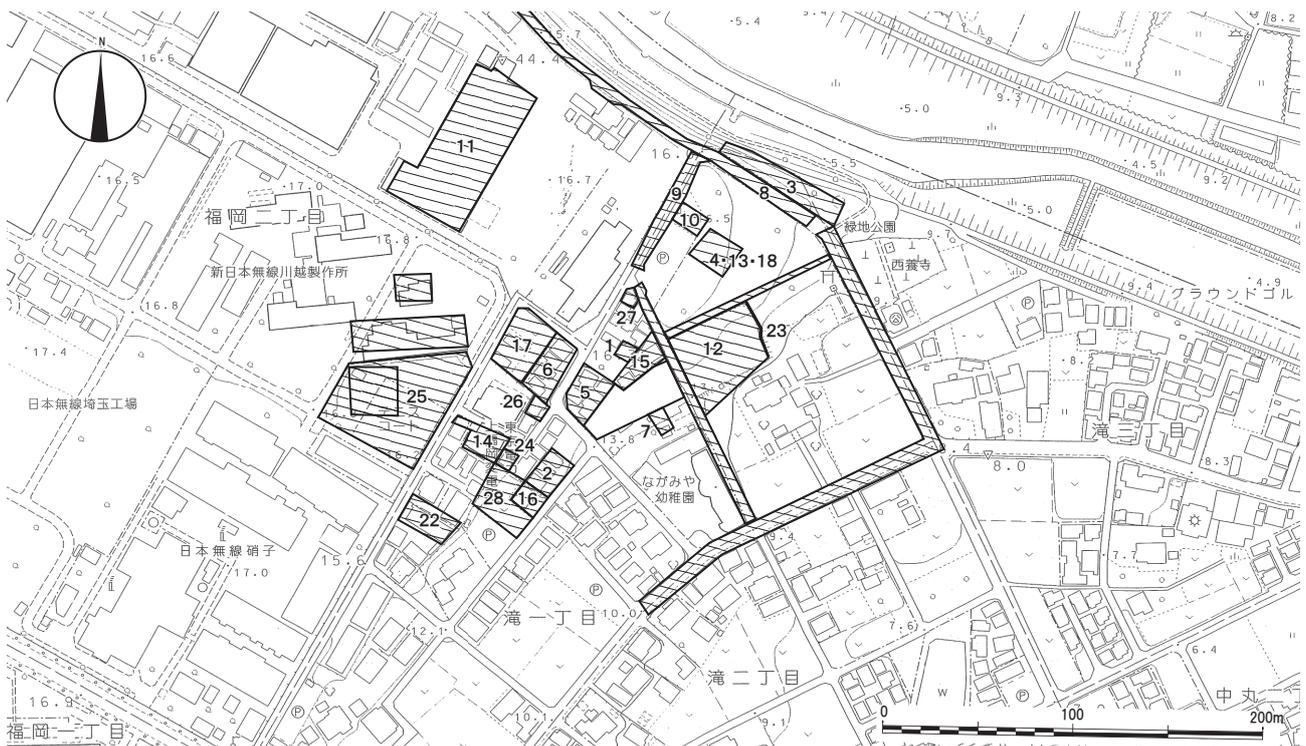
周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晩期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である滝遺跡がある。

権現山遺跡は大正6年に安部立郎氏により「権現山といふ円形古墳」（安部1917）として紹介された。その後、1937年（昭和12年）に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。（山内1937）戦後は『埼玉縣史』（1951）、『古墳調査報告書—入間地区—』（1961）等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行われた通称「厄病塚」（権現山北古墳群2M・3M）の調査では古墳の確証が得られず、十三塚の可能性が考察されている。

一方、通称「権現山」（権現山古墳群2M）は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財（上福岡市）に指定された。資料上の初見は元禄12（1699）年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現社地」の記載があり、塚の上には天保11（1840）年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

その後1982年～1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群（11基）が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来2019年4月現在、28ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、滝遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡第1・2・5～7・14・17地点へ変更した。



第30図 権現山遺跡の地形と調査区（1/4,000）

II 権現山遺跡第 27 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 6 月 26 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 7 月 3～4 日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は 2m 四方のグリッドを設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

調査の結果、時期不明のピット 1 基を検出した。隣接地で権現山古墳群 6 号墳の周溝が確認されているため周溝の続きが見込まれたが、検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①ピット

ピット 1 基は調査区中央部で検出した。平面形態は不正円形を呈し、確認面径 57 × (37) cm、底径 40 × (27) cm、深さ 15.1 cm を測る。出土遺物はなく、帰属時期は不明である。

②出土遺物

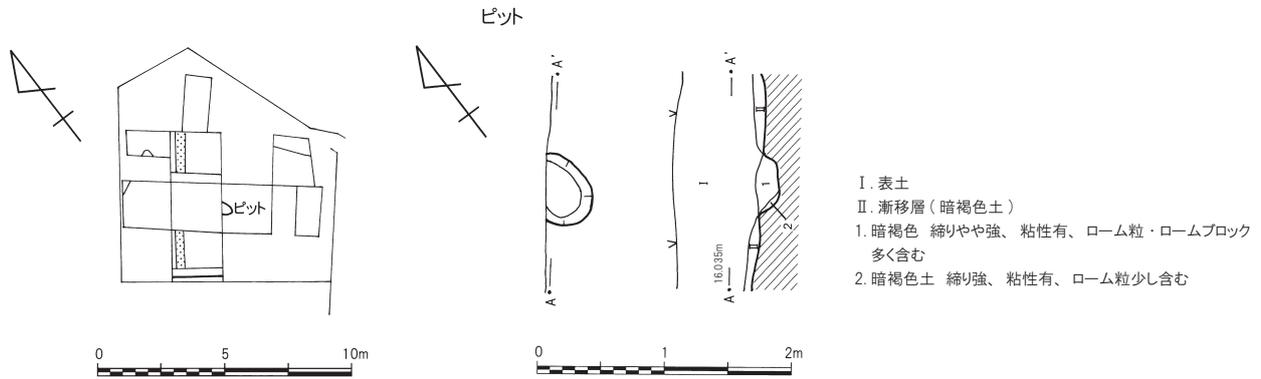
遺物はすべて表土中からの出土である。詳細については第 31 図及び第 24 表に掲載した。

第 23 表 権現山遺跡調査一覧表

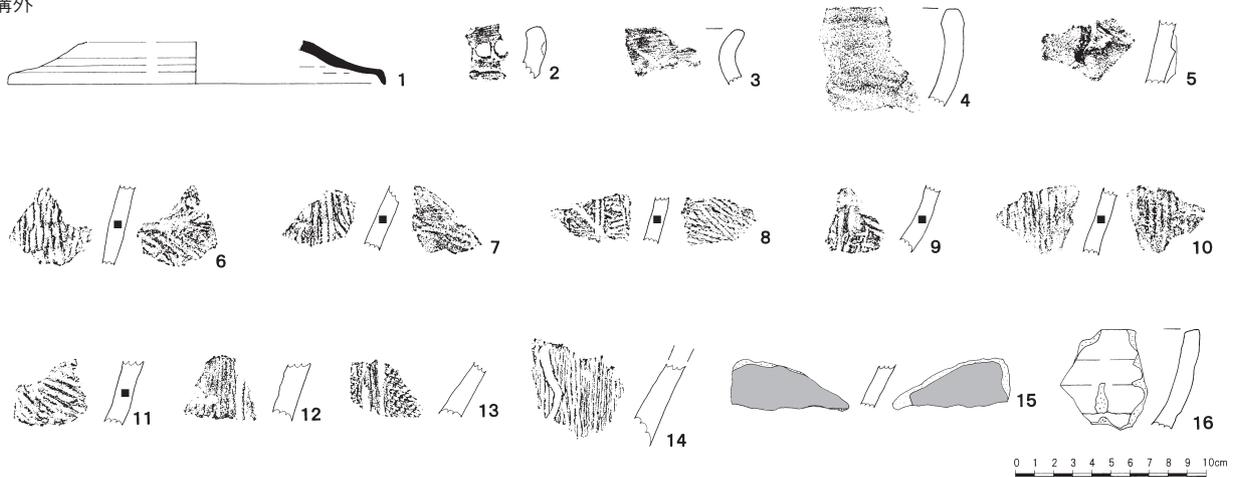
地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	収録報告書
1	滝 1-4-15	1980.6.27～7.3	76	個人住宅	古墳住居跡 1、壺 (旧滝 3 次)	上埋 III
2	滝 1-3-21	1980.7.20～31	330		遺構なし、中世以降陶器片 (旧滝 5 次)	上埋 III
3	滝 3-4-7	1982.1.20～2.6	50	自転車置場設置 (公共事業)	古墳方形周溝墓、壺形土器、縄文中期住居跡 1、縄文土器多数	S56 上社
	滝 1-5-4	1982.12.8～28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓 6、古墳住居跡 1	上埋 V、市史資 1
4	滝 1-5-4	1983.5.18～6.28	100	範囲確認調査	古墳住居跡 1、方形周溝墓 1	上埋 VI
5	滝 1-4-4	1984.5.11～22	466	住宅建設	溝 2 (旧滝 9 次)	上埋 VII、市史資 1
6	滝 1-3-17	1984.6.1～12	363	住宅建設	古墳住居跡 1、溝 4、土坑 3 (旧滝 10 次)	上埋 VII、市史資 1
7	滝 1-4-2	1984.6.28～30	33	物置建設	集石 2、土坑 2 (旧滝 11 次)	上埋 VII、市史資 1
8	大字福岡 1500	1985.1.20～2.25		道路築造	方形周溝墓 2、古墳 3、須恵器・壺形土器	S59 上社、市史資 1
9	滝 1-4-8	1985.8.9～9.9	430	範囲確認調査	古墳住居跡 2、平安住居跡 2	上埋 VIII
10	滝 1-5-9・10	1986.2.10～22	202	範囲確認調査	第 2 周溝墓の前部部の調査	上埋 VIII
11	福岡 3-1187-4	1988.6.7～14	3,200	工場増築	古墳 1、奈良・平安住居跡 4	
12 次	滝 1-6-7	1989.2.20～3.6	2,000	農地改善	古墳住居跡 3、方形周溝 4、古墳溝跡 1、中世大溝跡 1、時期不明溝跡 1	上埋 11、市史資 1
12	滝 1-6-1	1989.5.8～	1,724	農地改善	方形周溝 4	H1 上社
13	滝 1-5-4	1993.7～8		範囲確認調査	2 号墳、11 号墳のトレンチ調査	市史資 1
14	滝 1-3-13	1995.11.27～30	462	共同住宅	なし (旧滝試掘)	上埋 18
15	滝 1-4-3	1996.4.15～5.7	396	個人住宅	古墳住居跡 1 軒、溝 1 (時期不明)	上埋 19
16	滝 1-3-49	2002.5.29～30	165	個人住宅	なし (旧滝試掘)	上埋 25
17	滝 2-6-2	2004.5.17～27	856	範囲確認調査	奈良堅穴住居跡 2 (23、24 号) 【調査済み】	上埋 27
18	滝 1-5-4	2006.4.25～27		古墳群保存整備		
19	字福岡 2-1500-23 (工場内)			工場増築		
20	字福岡 2-1500-23 (工場内)			工場増築		
21	字福岡 2-1500-23 (工場内)			工場増築		
22	滝 1-3-58～60			住宅建設		
23	滝 1-6-7	2008.10.23～29	1,576	古墳群保存整備	土坑 3、集石 1、須恵器、土器	市内 6
24	滝 1-3-25	(2013.5.17)	90	個人住宅	遺構なし、土師器、土器	市内 18
25	福岡 2-1-1	(2014.6.2～7.18) 2014.7.22～9.2	3,588	事務所	縄文時代の炉穴 2・土坑 1、古代住居跡 3・溝 3、須恵器・土師器	市内 16
26	滝 1-3-23	(2015.11.30)	97	個人住宅	遺構遺物なし	市内 22
27	滝 1-4-6	(2017.7.3～4)	63	分譲住宅	ピット 1 (時期不明)、縄文土器、土師器、須恵器破片	市内 24
28	滝 1-3-3	(2019.2.25・26)	624	分譲住宅	ピット 5、土師器片、陶磁器片	未報告

第24表 権現山遺跡第27地点出土遺物観察表(単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・備考	時期・型式
第31図-1	遺構外	須恵器・坏蓋	20.0	—	2.2	轆轤成形・白色針状物質を多量に含む、南比企産	9世紀
第31図-2		縄文・深鉢	—	—	—	口縁部に円形刺突(径8mm)、下に横位沈線か	中期
第31図-3		縄文・深鉢	—	—	—	口縁部	中期
第31図-4		縄文・浅鉢	—	—	—	無文・胎土に白色粒子を含む	中期
第31図-5		縄文・深鉢	—	—	—	三叉文・胎土に白色粒子を多く含む	中期
第31図-6		縄文・深鉢	—	—	—	条痕文・繊維含む	早期末
第31図-7		縄文・深鉢	—	—	—	条痕文・繊維含む	早期末
第31図-8		縄文・深鉢	—	—	—	条痕文・繊維含む	早期末
第31図-9		縄文・深鉢	—	—	—	条痕文・繊維含む	早期末
第31図-10		縄文・深鉢	—	—	—	条痕文・繊維含む	早期末
第31図-11		縄文・深鉢	—	—	—	条痕文・繊維含む	早期末
第31図-12		縄文・深鉢	—	—	—	無文、縦位沈線	中期
第31図-13		縄文・深鉢	—	—	—	地文RL縄文、沈線による懸垂文	中期
第31図-14		縄文・深鉢	—	—	—	地文条線、縦位蛇行沈線	中期
第31図-15		縄文・深鉢	—	—	—	無文・内外面に赤彩、胎土に長石を含む	中期か
第31図-16		土器・焙烙	—	—	—	胎土に黑色粒子を含む	中近世



遺構外



第31図 権現山遺跡第27地点遺構配置図(1/300)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

第7章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

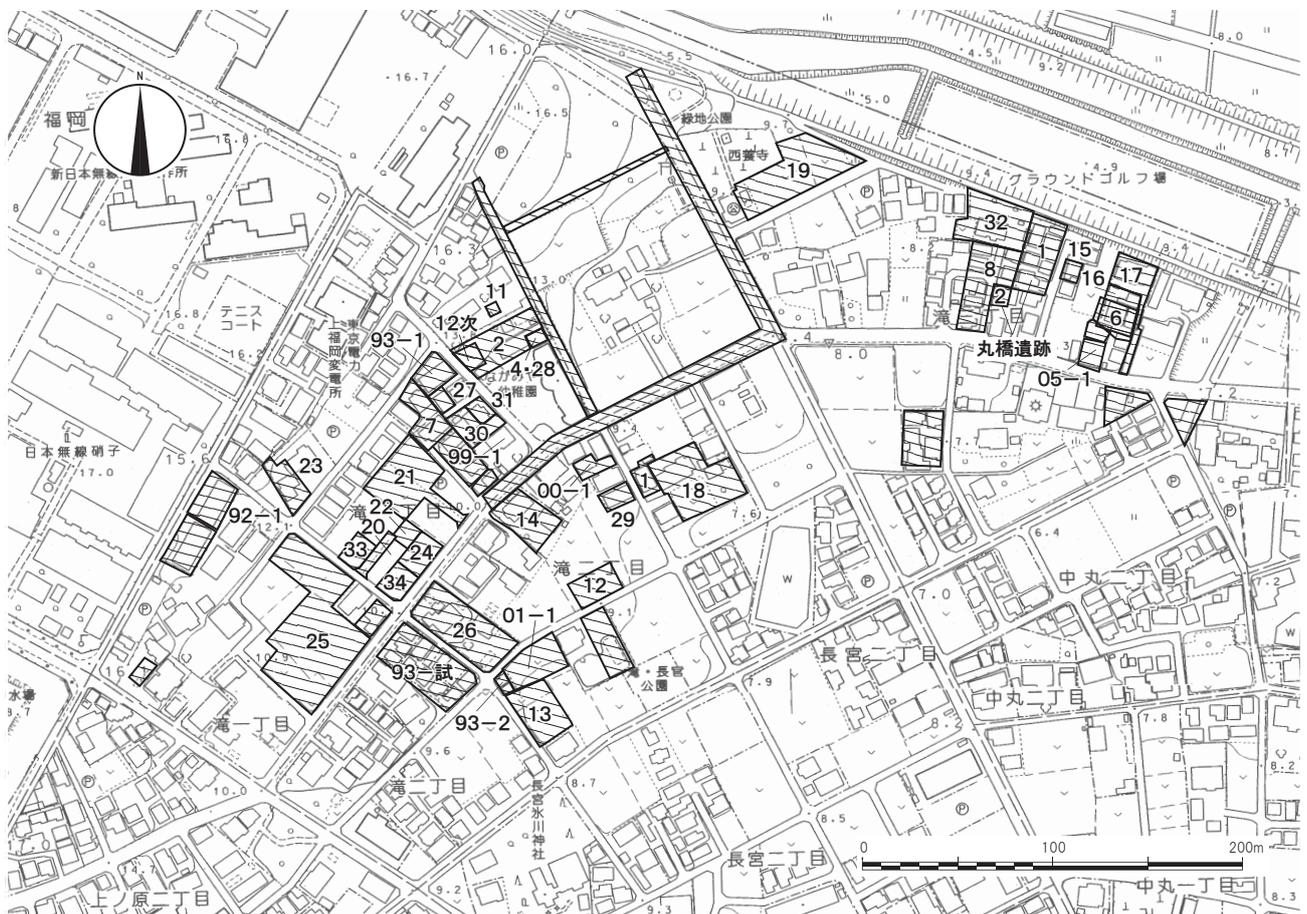
滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12 m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250 m、東西500 m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来2019年4月現在、46ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査（1）は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

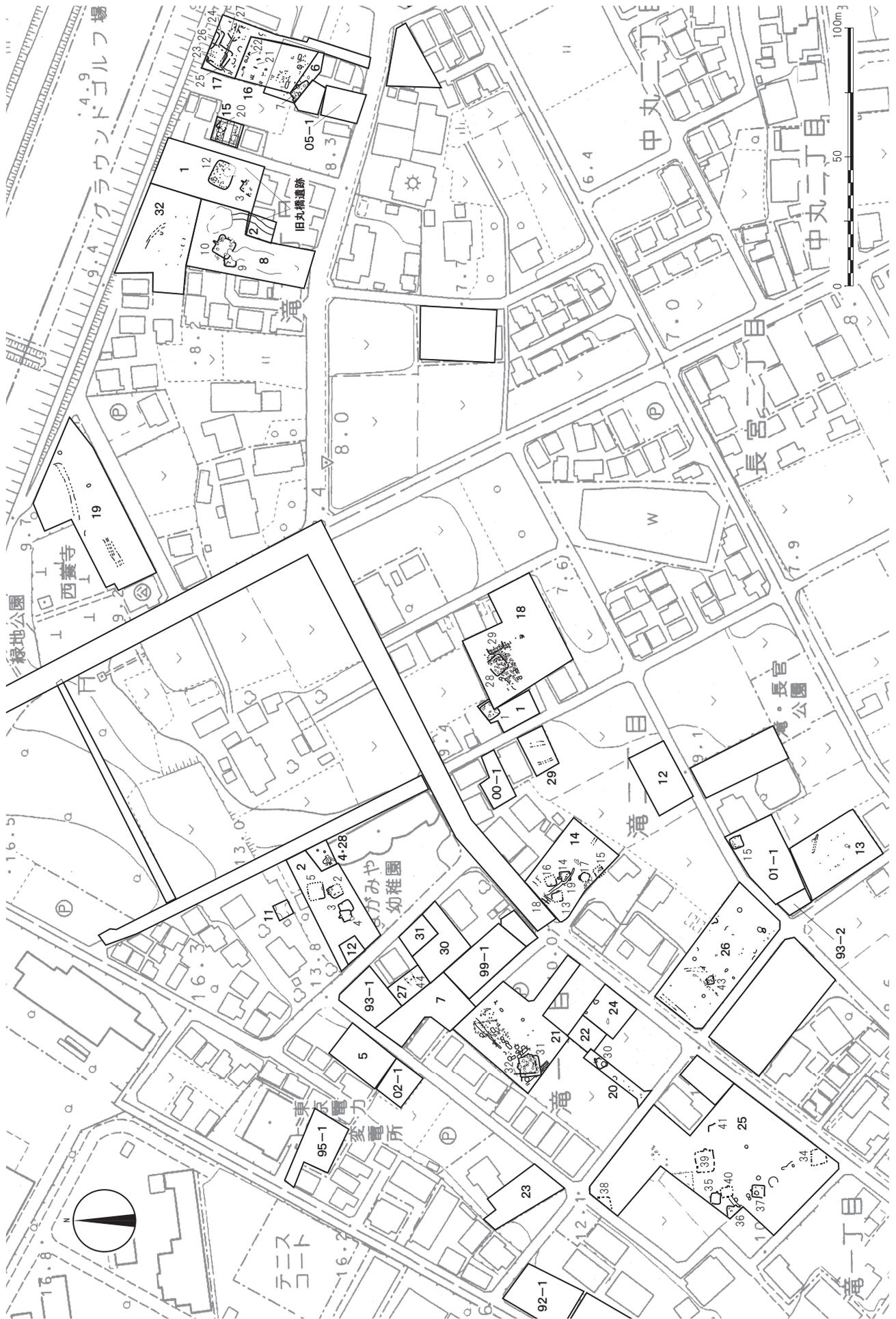
遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴う）である。



第32図 滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第25表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
丸橋1次	滝3-3-77～81	(1976.6.26～27) 1976.7.24～8.12	543	建売住宅	古墳前期住居跡1・後期住居跡1	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合	上遺調
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26～8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1		上埋Ⅰ
1次	滝2-6-11	1978.10.2～13	129	住宅建設	住居跡1、土師器		上埋Ⅰ
2次	滝1-4-2	1979.4.15～5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、周溝、土坑、長甕、土器		上埋Ⅱ
3次	滝1-4-15	1980.6.27～7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅲ
4次	滝1-4-15	1980.7.7～12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片		上埋Ⅲ
5次	滝1-3-21	1980.7.20～31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅲ
6次	滝3-3-6	1980.11.20～12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他		上埋Ⅲ
7次	滝1-1-19	1981.7.30～31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋Ⅳ
8次	滝3-3-15他	1983.11.14～26	990	住宅建設	古墳住居跡2		上埋Ⅵ
83試							上埋Ⅵ
9次	滝1-4-4	1984.5.11～22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅶ
10次	滝1-3-17	1984.6.1～12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅶ
11次	滝1-4-2	1984.6.28～30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅶ
12次	滝1-4-2	1984.12.22～24	94	住宅建設	遺構遺物なし		上埋Ⅶ
92試(1)	滝1-2-14の一部	(1992.7.6～8)	400	倉庫建設	遺構遺物なし		上埋15
93試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23～28)	313.08	共同住宅	遺構遺物なし		上埋16
93試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし		上埋16
95試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27～30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋18
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21～26)	511.09	宅地造成 (土地分譲)	遺構遺物なし		上埋22
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23～24)	154.7	個人住宅	遺構遺物なし		上埋23
01試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17～20)	519.64	共同住宅	奈良初頭住居跡1		上埋24
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29～30)	165	個人住宅	権現山遺跡16地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋25
05試(1)	滝3-3-5・143	(2005.6.24～27)	350	個人住宅	遺構遺物なし		市内1
立会	滝1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	遺構遺物なし		
12	滝2-5-3・4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	遺構遺物なし		市内3
13	滝2-2-6	2007.10.24～11.1	737.7	共同住宅	焼土範囲2、ピット8		市内4
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8～19) 2007.11.20～12.6	692	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、須恵器、土師器		市内4
15	滝3-3-84	(2009.9.2～14) 2009.10.23～11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1、井戸1、土坑8、ピット20、須恵器、土師器、紡錘車		市内7
16	滝3-145	(2009.12.2～14)	434	宅地造成	ピット3		市内8
17	滝3-3-6・144	(2010.5.6～6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、集石		市内10
18	滝2-6-4・6	(2011.6.6～13) 2011.6.14～7.14	1,164	個人住宅	古墳時代住居跡2他、土師器、近世陶磁器等		市内14
19	滝3-4-2	(2011.10.17～24)	1,277.16	分譲住宅	溝2、陶磁器等		市内14
20	滝1-8・9	(2012.5.9～11)	124.45	道路築造	奈良・平安時代住居跡1、時期不明井戸、土坑、ピット		市内12
21	滝1-1-7・26・31	(2012.5.11～21) 2012.7.17～8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代鍛冶炉付住居跡1(H31)・奈良平安時代住居跡2(H32・H33)、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他		市内12
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16～18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑2、ピット2		市内20
25	滝1-2-4・32	(2014.7.17～8.26) 2014.9.8～10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡8(H34～H41)、掘立柱建物跡1、井戸4、土坑3、溝2、ピット23、須恵器、土器		市内16
26	滝2-5-6・8	(2015.10.19～27) 2015.11.9～10	1,231	個人住宅	縄文時代落とし穴1、古代住居跡2(H42・H43)、時代不明井戸5、土坑7、ピット44、溝2、縄文土器、石器、土師器、須恵器		市内22
	滝2-5-39・40・41・42	(2016.8.24～9.9)		分譲住宅			
27	滝1-1-25	(2015.11.27～12.1)	155	個人住宅	古代住居跡1(H44)、ピット3、土師器、砥石		市内22
28	滝1-4-1・26・27	(2016.9.3～6)	2,492.15	幼稚園園舎建設	古代住居跡1(H45)、ピット、土師器、支脚		市内24
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150.41	個人住宅	溝2、縄文土器、土師器		市内24
30	滝1-1-3の一部	(2017.2.13～15)	303	分譲住宅	遺構なし、縄文土器		市内24
31	滝1-1-3の一部	(2017.2.13～15)	109	個人住宅	遺構遺物なし		市内24
32	滝3-3-14	(2017.6.26～29)	784.54	分譲住宅	井戸1、ピット10(近世以降か)、縄文土器、近世陶磁器、泥面子		市内24
33	滝1-1-9の一部	(2018.12.14)	187	個人住宅	掘立柱建物跡、ピット、土師器片		未報告
34	滝1-1-8	(2019.2.20・21) 2019.4.12	333	個人住宅兼診療所	遺構なし、須恵器片、土師器片		未報告



第33図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第26表 滝遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

新住居番号	旧調査年度	調査名	調査率	平面形()は推定	規模()は残存又は推定値	炉	設置壁・炉位置	周溝	主軸方向	時期	備考	所収報告書
1	1978	第1次1号住居	5/6	隅丸方形	640×(580)×40	炉	中央西寄り	○	S-55-W	4世紀前半	4本主柱穴、方形貯蔵穴 110×95×40	上埋Ⅰ
2	1979	第2次2号住居	ほぼ完掘	正方形	(460)×470×45	K	北	○	N-32-W	7世紀前半	焼失住居、方形貯蔵穴 62×55×45	上埋Ⅱ
3	1978	丸橋第1次3号住居	2/3	正方形	(510×470)×15	K	北東	○	N-38-W	7世紀前半	焼失住居、(4本主柱穴)	上遺調
6		第2次3号住居	完掘	方形	(480×460)×15	—	—	○		9世紀前半		上埋Ⅱ
4	1979	第2次4号住居	ほぼ完掘	長方形	南北340×東西380 ～415×30	K	北	○	N-14-W	8世紀前半		上埋Ⅱ
5	1979	第2次5号住居	3/8	(正方形)	(490)×610×60	—	—	○	不明	8世紀前半	竈は調査区外未調査	上埋Ⅱ
—	1980	第3次5号住居	1/5	不明	(260×270)×30	—	—	○	不明	4世紀前半	権現山遺跡1号住居跡に変更	上埋Ⅲ
7	1980	第6次7号住居	1/3	正方形	620×(250)×12	K2基	A竈:北 B竈:西	○	N-52-E N-37-W	7世紀前半	建て替有り、不整形貯蔵穴 175×95×20 床面焼土範囲有	上埋Ⅲ
8	2001	2001年度範囲確認調査第15号住居跡	完掘	方形	400×400×	K	北	○	不明	(8世紀前半)	今後15号住居跡から8号住居跡に名称変更	上埋24
9	1983	第8次9号住居	2/3	隅丸方形	(500)×470×20	炉3	中央北西寄り	○	—	4世紀前半	焼失住居、床面硬化範囲2ヶ所	上埋Ⅵ
10	1983	第8次10号住居	完掘	正方形	690×660×15	K	北東	○	N-52-E N-37-W	6世紀前半	4本主柱穴 方形貯蔵穴 (80)×75×35	上埋Ⅵ
11	1984	第10次11号住居	完掘	隅丸方形	445×(380)×35	K	北	○	N-5-W	6世紀前半	権現山遺跡に変更	上埋Ⅶ
12	1978	丸橋第1次12号住居	ほぼ完掘	隅丸長方形	980×770×20	土器囲炉	北部	○	N-54-W N-36-E	4世紀前半	床面焼土点在	市史資1
13	2007	第14次13号住居	1/2	方形	370×370×45	K	東	○	N-36-E		貼床	市内4
14	2007	第14次14号住居	4/5	(長方形)	385×(380)×202	K	北	○	真北	8世紀前半	比企型坏多数出土、貼床	市内4
15	2007	第14次15号住居	1/3	不明	(370×-)×20	—	—	—	—		竈未検出、貼床	市内4
16	2007	第14次16号住居	1/4	不明	(250×170)×40	—	—	○	—		竈未検出、貼床	市内4
17	2007	第14次17号住居	1/3	不明	(344×360)×102	—	—	○	—		竈未検出、貼床	市内4
18	2008	第14次18号住居	1/5	不明	(297×270)×30	—	—	○	—		竈未検出、貼床	市内4
19	2008	第14次19号住居	1/5	不明	(450×-)×350	K	北	—		8世紀前半～	14号住居より新	市内4
20	2009	第15地点H20号住居	2/3	隅丸長方形	370×350×398					8世紀		市内7
21	2009	第16地点H21号住居	一部	不明	285×(135)×-	K	東					市内8
22	2009	第16地点H22号住居	一部	不明	—							市内8
23	2010	第17地点H23号住居	プラン	長方形	595×700×27	K	北		N-46-W	8世紀	H24、H25住居より新	市内10
24	2010	第17地点H24号住居	プラン	(方形)	590×(265)×30					8世紀	H23、H26住居より古、H25住居より新	市内10
25	2010	第17地点H25号住居	プラン	長方形	810×700×12				N-46-W	7世紀	H23、H24住居より古	市内10
26	2010	第17地点H26号住居	プラン	(方形)	450×(110)×40					8世紀	H24住居より新	市内10
27	2010	第17地点H27号住居	プラン	方形	420×400×10					8世紀		市内10
28	2011	第18地点H28号住居	完掘	隅丸方形	660×630×18.2	炉			N-34-W	4世紀後半		市内14

新 住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模 ()は残存 又は推定値	炉	設置 壁・炉 位置	周溝	主軸 方向	時 期	備 考	所収報告書
29	2011	第 18 地点 H29 号住居	1/2	(隅丸長方形)	290 × 648 × 18.2					4 世紀後半		市内 14
30	2012	第 20 地点 H30 号住居	4/5	方形	410 × 390 × 5	K	東	○	N-75-E	9 世紀		市内 12
31	2012	第 21 地点 H31A 号住居	完掘	方形	780 × 770 × 50	K	北・東	○	N-92-E	8 世紀前半		市内 12
31	2012	第 21 地点 H31B 号住居	完掘	方形	640 × 640 × 50	K	北	○	N-2-E	8 世紀前半	鍛冶炉	市内 12
32	2012	第 21 地点 H32 号住居	一部	(方形)	— × — × 25						保存のため未調査	市内 12
33	2012	第 21 地点 H33 号住居	一部	(方形)	—		北		N-0-E		保存のため未調査	市内 12
34	2014	第 25 地点 H34 号住居		(方形か 長方形)	420 以上	K	東	○		7 世紀中頃	全容は不明	市内 16
35	2014	第 25 地点 H35 号住居	完掘	長方形	360 × 220 × 48.6	K2 基	北 東	○		8 世紀中～後半	別住居の重複か建替	市内 16
36	2014	第 25 地点 H36 号住居		(正方形か 長方形)	415 × 535 × 105	K	東	○2		8 世紀前半～ 中頃		市内 16
37	2014	第 25 地点 H37 号住居		正方形	460 × 460 × 66	K	北	○		7 世紀後半	井戸 1 と重複、住居のほうが古	市内 16
38	2014	第 25 地点 H38 号住居									未調査	市内 16
39	2014	第 25 地点 H39 号住居									未調査	市内 16
40	2014	第 25 地点 H40 号住居									未調査	市内 16
41	2014	第 25 地点 H41 号住居									未調査	市内 16
42	2015	第 26 地点 H42 号住居	1/2 以下	(正方形か 長方形)	(250 × 192) × 20	K	北	○?		7 世紀後半		市内 22
43	2016	第 26 地点 H43 号住居	完掘	方形	345 × 303 × 20	K	北	○		8 世紀中頃～ 後半		市内 22
44	2016	第 27 地点 H44 号住居	完掘	不明	305 × (250)			○		7 世紀後半～		市内 22
45	2016	第 28 地点 H45 号住居	—	不明	—	K				8 世紀		市内 24

II 滝遺跡第26地点

(1) 調査の概要

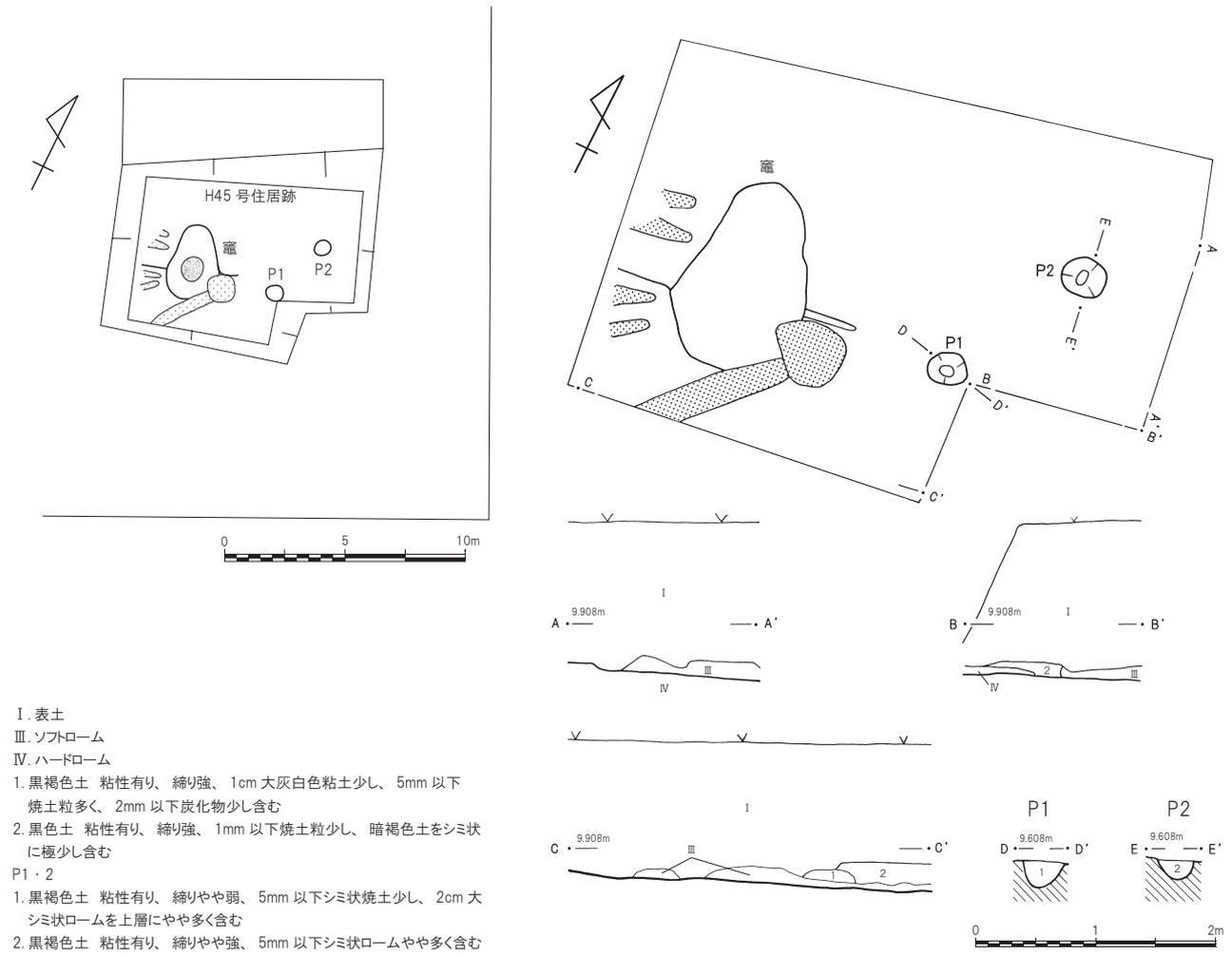
調査は分譲住宅建設に伴い、2015年10月19～27日及び2016年8月24日～9月9日まで試掘調査、2015年11月9～10日まで本調査を行った。調査の結果、平安時代の住居跡2軒、落とし穴1基、土坑7基、井戸5基、ピット多数、溝2条を検出した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第23集『市内遺跡群22』（2019年3月刊行）にて報告済みであるため本書では割愛する。

III 滝遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は幼稚園園舎建設に伴うもので、原因者より2016年5月26日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年9月3～6日に試掘調査を実施した。

試掘調査は既存建物撤去時に実施し、重機による表土除去後、人力による精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約120cmである。調査の結果、古代住居跡と考えられる焼土範囲を検出したが、攪乱によって大部分が破壊されており、周辺にも他に遺構・遺物が確認されなかったため、工事立会の措置とした。焼土範囲については写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第34図 滝遺跡第28地点遺構配置図(1/300)、H45号住居跡(1/60)

(2) 遺構と遺物

① H45 号住居跡

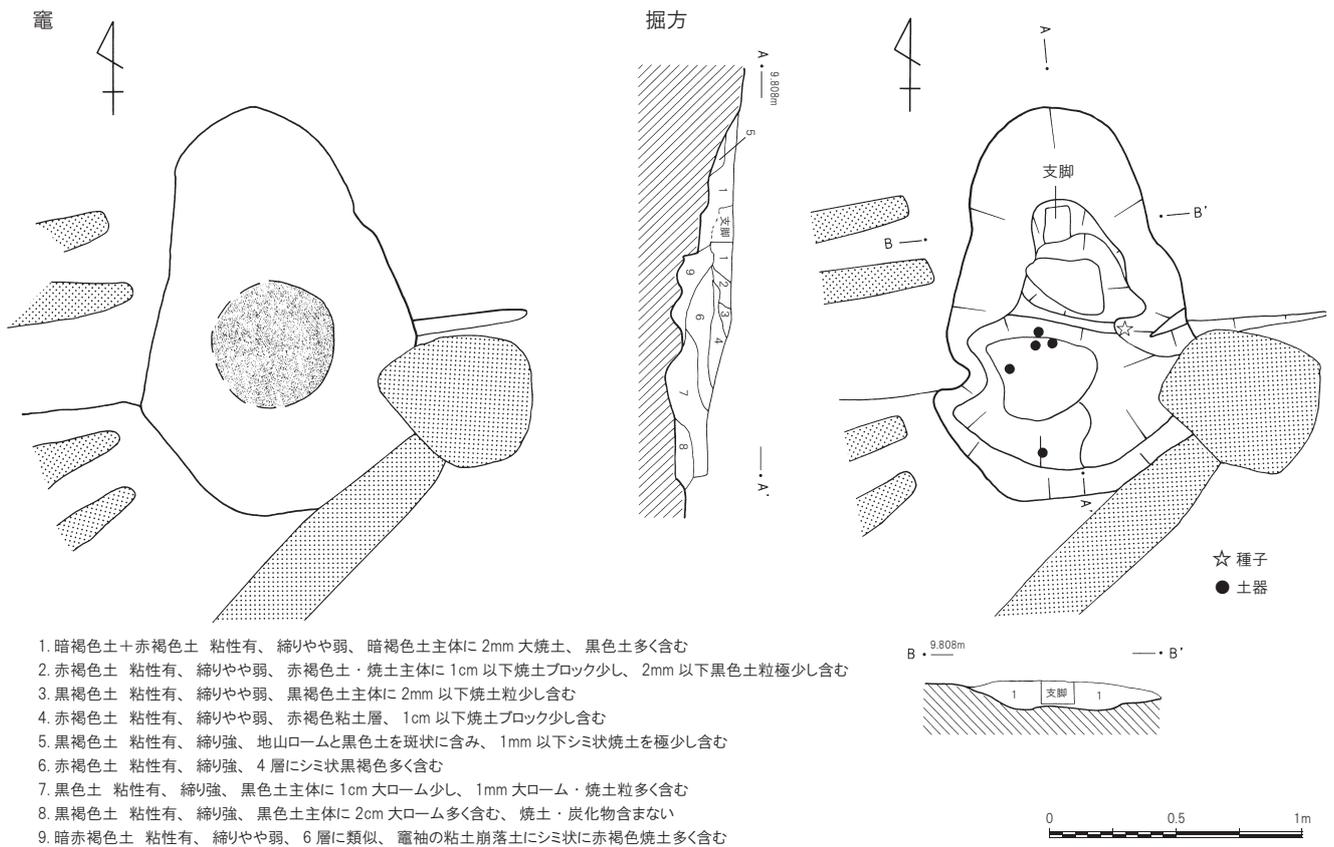
調査で確認した焼土範囲は竈の支脚が確認されたことから住居跡とし、H45 号住居跡とした。竈の燃焼部がごく僅かに残存していただけのため、規模等は不明。竈の規模は長軸 (155) × 短軸 (95) cm である。竈中央部には支柱に利用したと考えられる凝灰岩が出土した。支柱は (12) × (10.5) cm で、四角柱に加工されて使用されたものと考えられる。出土遺物から 8 世紀代の可能性が考えられるが、判然としない。遺構は他にピット 2 基を検出したが、住居跡に伴うものではない。

②ピット

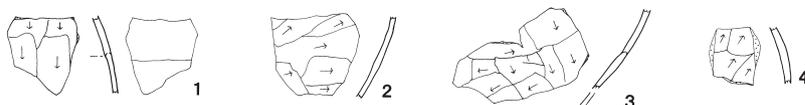
ピット 1 は調査区中央部で検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径 31 × 25 cm、底径 11 × 8 cm、深さ 21.6 cm を測る。ピット 2 は調査区東側に位置している。平面形態は円形を呈し、確認面径 38 × 32 cm、底径 13 × 8 cm、深さ 20.8 cm を測る。いずれも出土遺物はなく、帰属時期は不明である。

③出土遺物

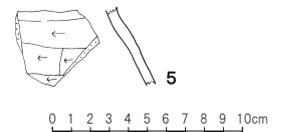
出土遺物は H45 号住居跡の竈周辺から出土した土師器片である。詳細については第 35 図及び第 27 表に掲載した。いずれも非常に器厚の薄い土師器甕の破片である。また、竈付近で出土した植物種子の詳細については本書で附編として報告している。



H45 号住居跡



遺構外



第 35 図 滝遺跡第 28 地点竈・掘方 (1/30)、出土遺物 (1/4)

第27表 滝遺跡第28地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第35図-1	H45号住居跡	土師器・甕	外面ケズリ、内面ナデ、器厚が非常に薄い	8世紀代
第35図-2		土師器・甕	外面ケズリ、内面ナデ、器厚が非常に薄い	8世紀代
第35図-3		土師器・甕	外面ケズリ、内面ナデ、器厚が非常に薄い	8世紀代
第35図-4		土師器・不明	外面ケズリ、内面ナデ	—
第35図-5	遺構外	土師器・甕	外面ケズリ、内面ナデ	—

IV 滝遺跡第29地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年11月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年11月10日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～80cmである。調査の結果、溝2条を検出したが保護層確保が可能なため、本調査は実施していない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

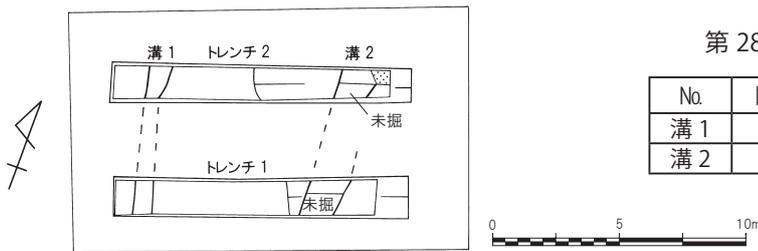
(2) 遺構と遺物

①溝

溝跡はどちらも南北方向に走行する。溝1は調査区西側で、溝2は調査区東側で確認した。断面形態はどちらも逆台形を呈する。規模の詳細については第28表に掲載した。溝1の方が溝2に比べて規模が小さい。どちらも覆土中より遺物が出土しているが、遺構の時期を決定するようなものは確認できなかった。

②出土遺物

出土遺物は溝1より1点、溝2より2点が出土、その他は遺構外から出土した。詳細については第37図及び第29表参照。



第28表 滝遺跡第29地点溝一覧表 (単位cm)

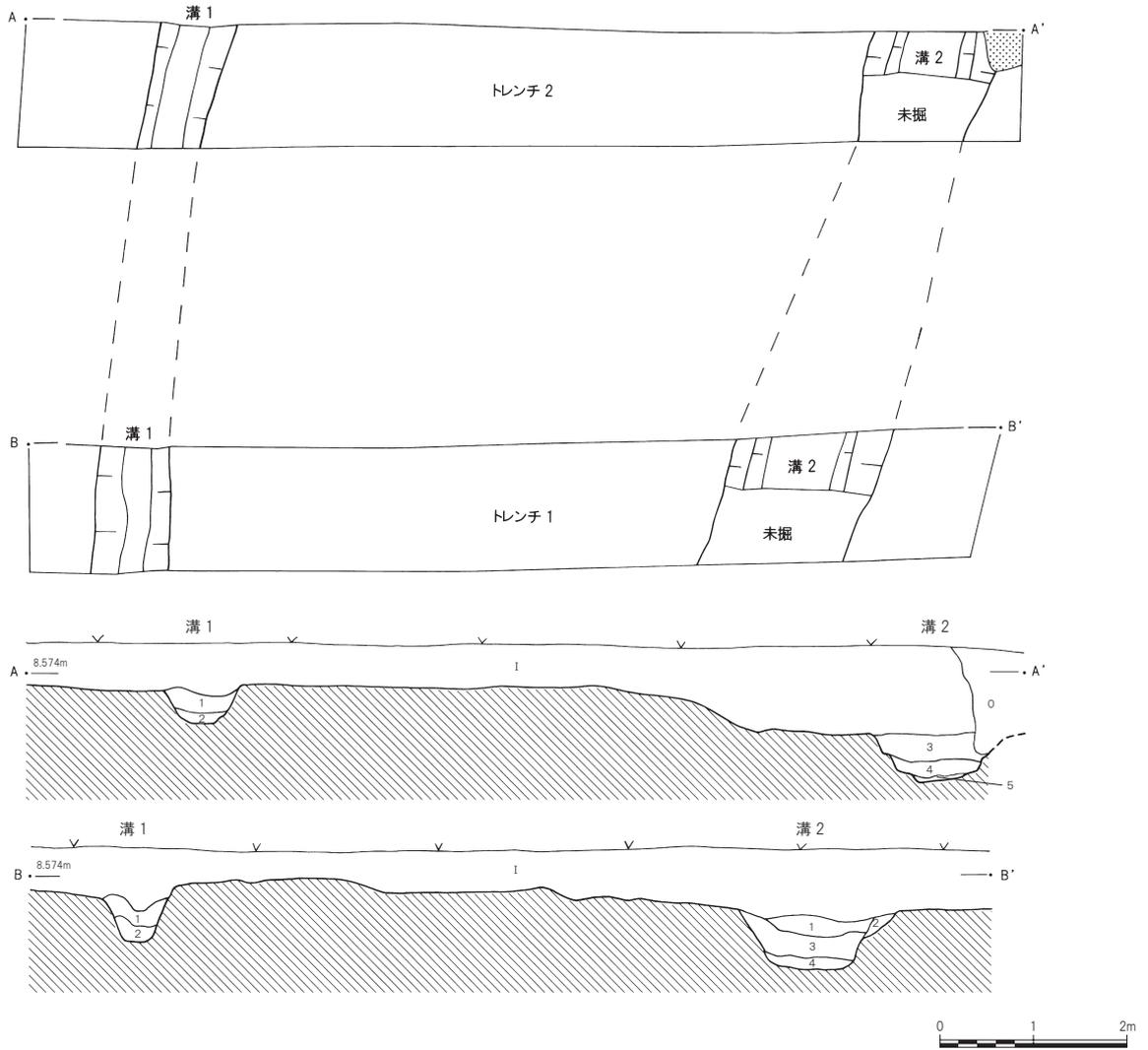
No.	断面形態	上幅	下幅	深さ
溝1	U字	63～80	23～35	51.5
溝2	逆台形	111～161	60～77	61.8

第36図 滝遺跡第29地点遺構配置図 (1/300)

第29表 滝遺跡第29地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

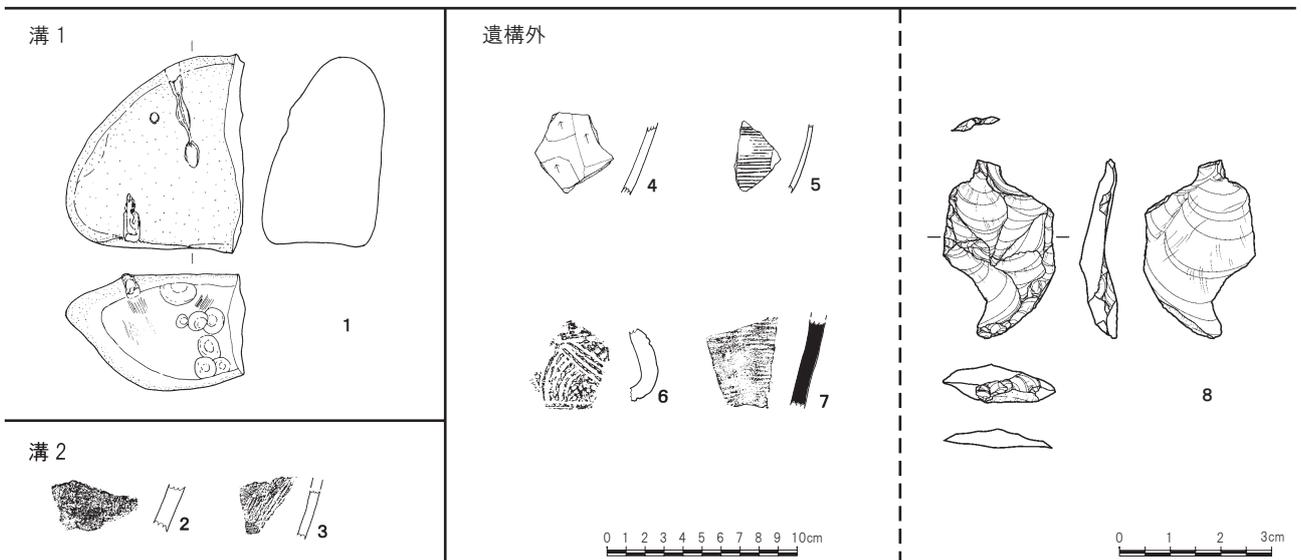
図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・施文・備考	時期・型式	
第37図-1	溝1	石器/敲き石	10.58	9.48	6.14	802.55	砂岩・全面に使用痕あり、特に下部に顕著、部分的に鉄分付着	—	
第37図-2	溝2	縄文/深鉢	—	—	—	—	無文	—	
第37図-3		縄文/深鉢	—	—	—	—	条痕文力	—	
第37図-4	遺構外	土師器/甕	—	—	—	—	外面ケズリ、内面ナデ	古代	
第37図-5		土師器/甕	—	—	—	—	外面ハケ目、内面ナデ・外面に僅かに朱が付着か	古墳時代前期	
第37図-6		縄文/深鉢	—	—	—	—	地文RL・弧状に集合沈線、上下に区画の横位沈線	縄文時代中期	
第37図-7		須恵器/甕	—	—	—	—	内外面ナデ、外面に自然釉・白色針状物質含む、南比企産	古代	
第37図-8		遺構外	石器/錐	3.53	2.19	0.73	2.86	黒曜石	旧石器?
			—	—	—	—	—	—	—

溝1・2



- I. 表土
- 0. 攪乱
- 溝1
- 1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く、ロームブロック少し含む

- 溝2
- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、2~3mm炭化物粒多く含む
- 2. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む、部分的に酸化する
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・15mm以下ロームブロック多く含む、全体的に酸化、若干粘質土
- 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、15mm以下ロームブロック多く含む



第37図 滝遺跡第29地点溝(1/80)、出土遺物(1/4・2/3)

V 滝遺跡第30・31地点

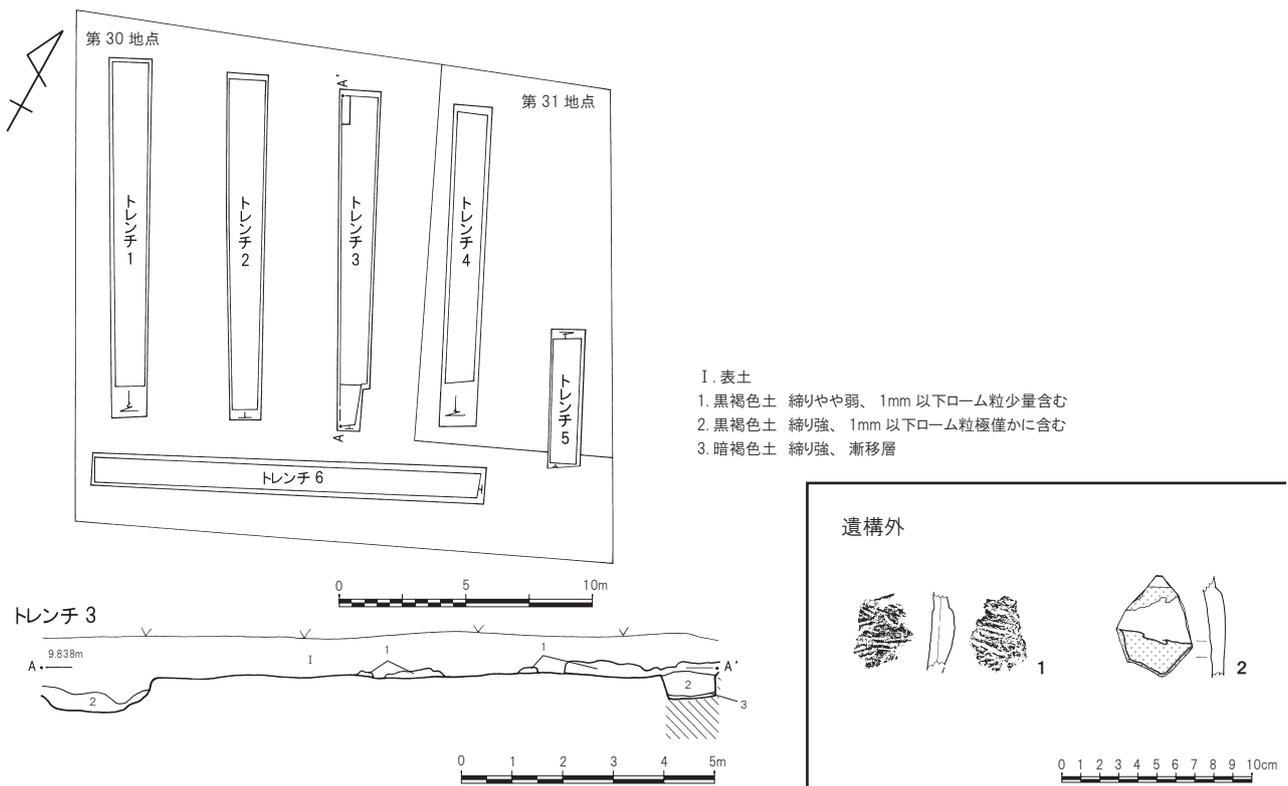
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設及び分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2017年2月2日及び13日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会にそれぞれ提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。原因者と協議の結果、分譲住宅建設部分を第30地点、個人住宅建設部分を第31地点とし、隣接地のため同時に試掘調査を実施することとなった。

試掘調査は2017年2月13日～15日に実施した。幅約1～1.5mのトレンチ6本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。地山ローム層までの深さは120cm以上あり、遺構への影響がないため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺構は検出されなかったが、覆土中より遺物が2点出土した。1は縄文土器片で深鉢の胴部。内外面に条痕文を施す。内面は炭化する。前期か。2は陶器の壺か甕の破片。轆轤成形で、外面に緑色の釉がかかる。近代。



第38図 滝遺跡第30・31地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第30地点出土遺物(1/4)

VI 滝遺跡第 32 地点

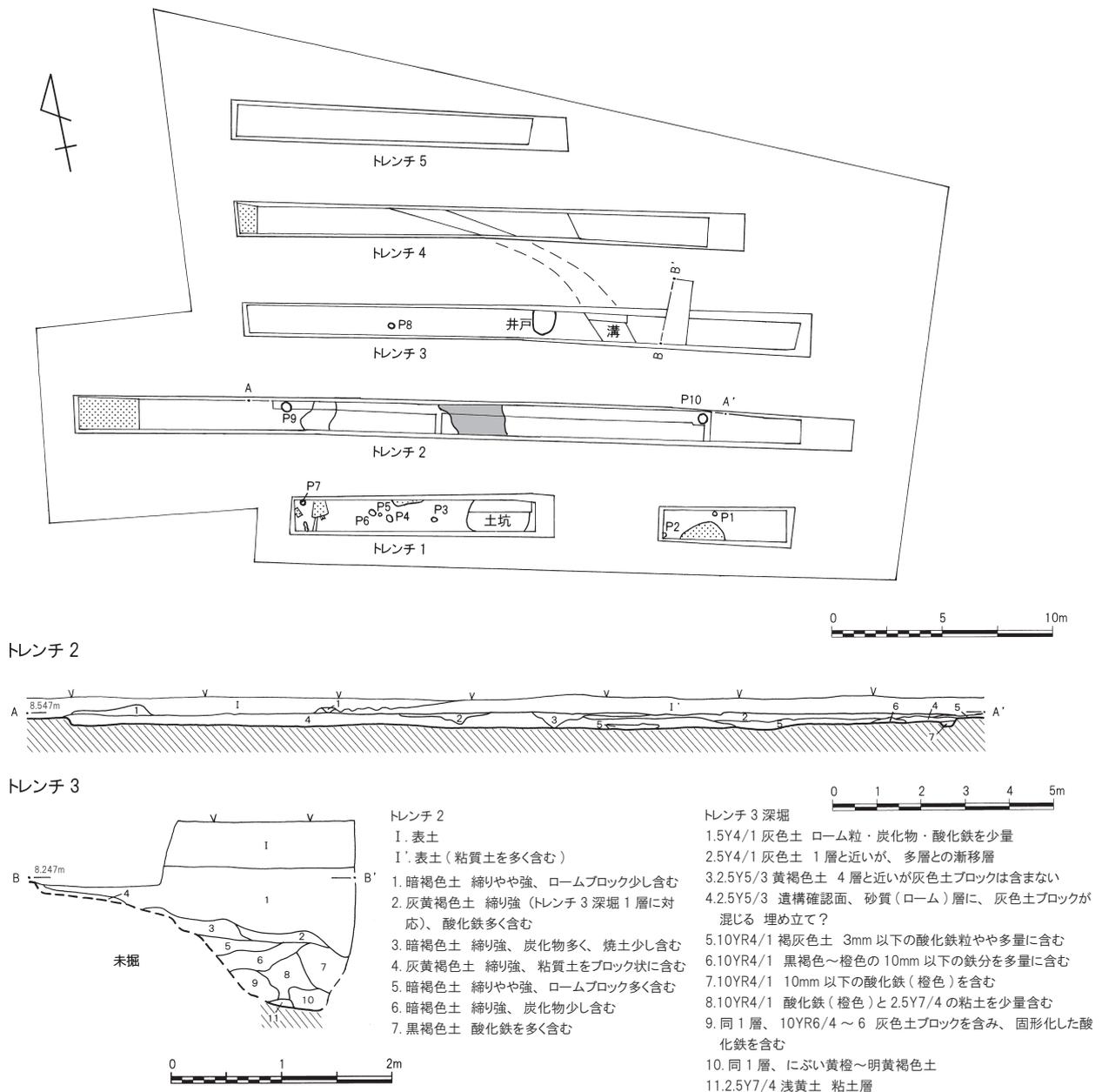
(1) 調査の概要

調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 4 月 16 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 6 月 26～29 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 5 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50～80 cm であるが、調査区東側では現地表面下約 160 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、井戸 1 基、ピット 10 基、溝 1 条を検出したが、いずれも時期不明である。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 39 図 滝遺跡第 32 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150・1/60)

(2) 遺構と遺物

①井戸

井戸は調査区のほぼ中央部で検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径 115 × (100) cmを測る。深さ約 180 cmまで掘削したが底面まで至らなかった。深さ 180 cm地点での直径は 78 × 62 cmで、漏斗状を呈することがわかる。

②ピット

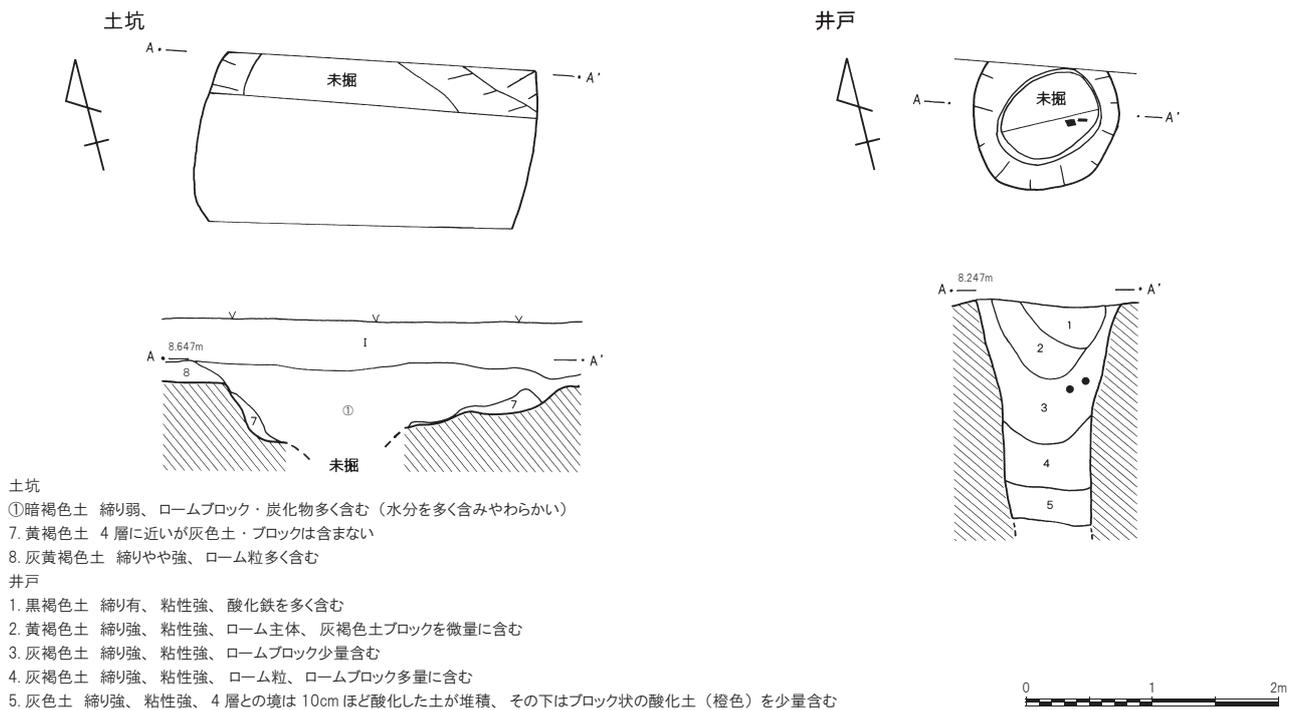
ピットは合わせて 10 基を検出した。そのほとんどが調査区南側に位置する。詳細については第 30 表に掲載した。いずれも時期は不明である。

③溝

溝は調査区中央やや東寄りトレンチ 3 で検出した。上幅 185 cm、下幅 91 cm、深さ 27.3 cmで、断面形態は浅い U 字状を呈する。北側はトレンチ 4 で続きを検出したが、さらに北側のトレンチ 5 では確認できなかった。途中で方向を変えるかまたは途切れてしまうものと考えられる。南側もトレンチ 2 では検出されていないため、北側同様に方向を変えるか途切れてしまうようである。

④出土遺物

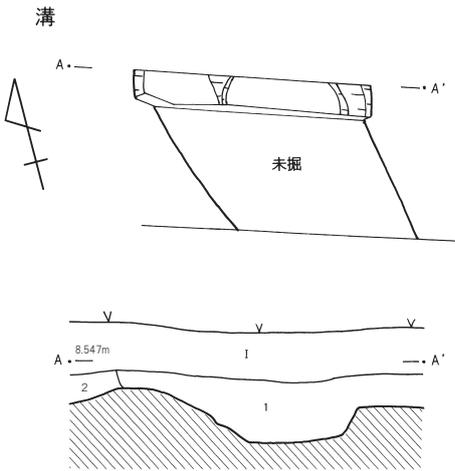
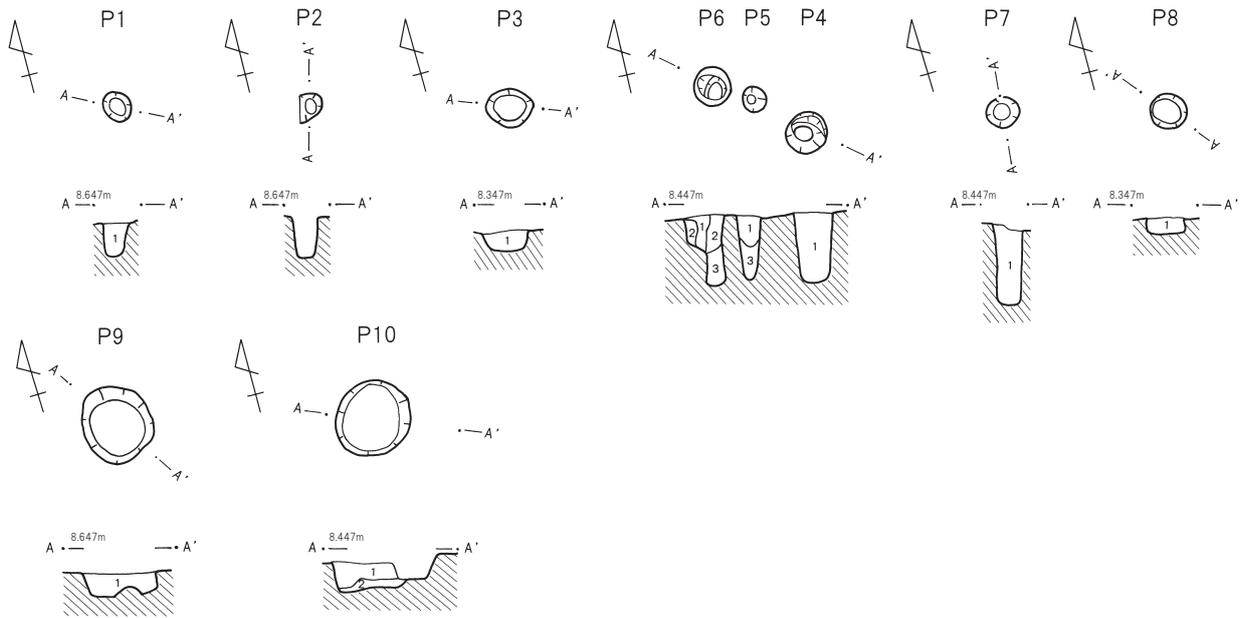
遺物はピット 9・10、溝及び遺構外から出土した。詳細については第 42・43 図及び第 31 表に掲載した。



第 40 図 滝遺跡第 32 地点土坑・井戸 (1/60)

第30表 滝遺跡第32地点ピット一覧表 (単位 cm)

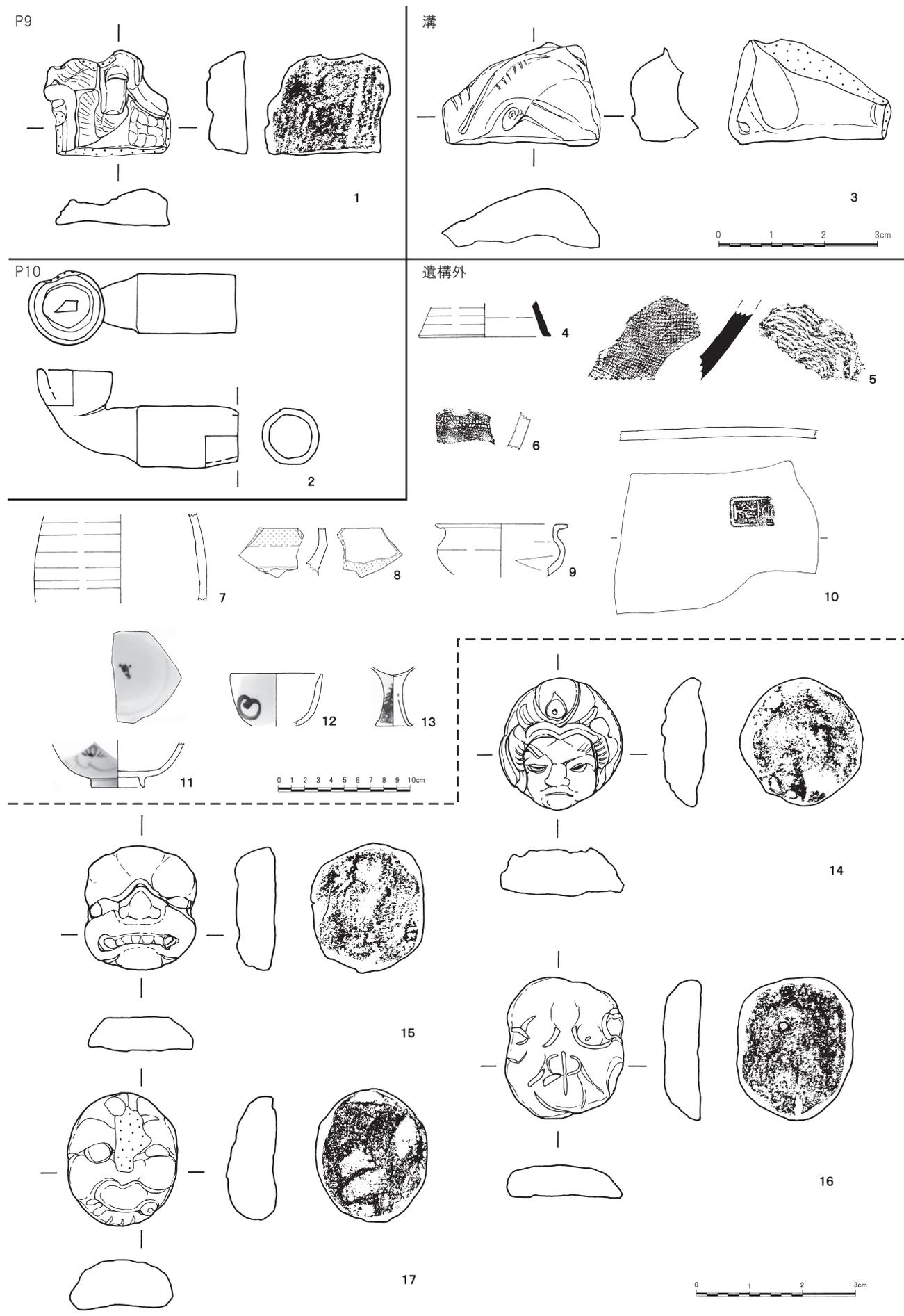
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	26 × 22	15 × 12	27.2
2	不明	23 × (17)	12 × 8	32.9
3	楕円形	35 × 31	27 × 19	18
4	円形	34 × 31	16 × 12	59.2
5	円形	20 × 20	6 × 6	54
6	円形	30 × 28	15 × 11	60.2
7	円形	25 × 25	13 × 13	69.6
8	円形	30 × 27	23 × 18	13.7
9	円形	60 × 54	46 × 40	32.3
10	円形	59 × 56	52 × 43	25.9



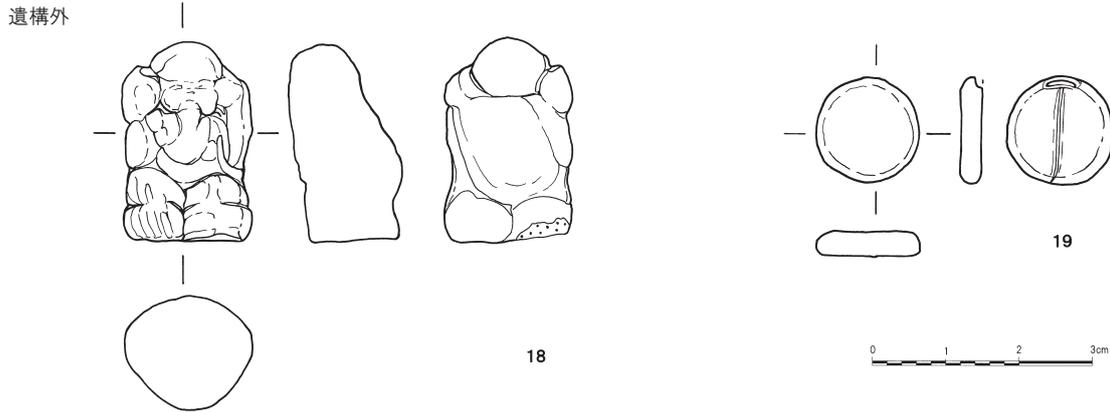
- ピット1・7
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下のローム粒少し、焼土を僅か含む
- ピット3.8.9
1. 灰黄褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック多量に含む
- ピット4.5.6
1. 灰黄褐色土 粘性強、締り強、ロームブロック少し含む
 - 2.1 よりもロームブロック多く含む
 3. ピット1の1層
- ピット10
1. 灰黄褐色土 締り強、ローム粒僅か、炭化物少し含む
 2. 黄褐色土 ローム粒僅か、灰黄褐色土シミ状に含む
- 溝
- I. 表土 (下端はグライ化している)
1. 灰褐色土 粘性強、締り強、ローム粒、炭化物、酸化鉄を少量含む
 2. 灰色土 粘性強、締り強、ロームブロックを多く含む



第41図 滝遺跡第32地点ピット・溝 (1/60)



第42図 滝遺跡第32地点出土遺物① (1/4・1/1)



第 43 図 滝遺跡第 32 地点出土遺物② (1/1)

第 31 表 滝遺跡第 32 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・備考	時期・型式
第 42 図 -1	P9	土製品・泥面子	—	—	—	型押し成形・芥子面・一部欠損	近世以降
第 42 図 -2	P10	金属製品・煙管	(3.8)	—	—	雁首部分のみ	近世以降
第 42 図 -3	溝	土製品・土人形	—	—	—	型押し成形・内面に指紋有	近世以降
第 42 図 -4	遺構外	須恵器	—	(10.0)	(2.6)	轆轤成形・胎土に黒色粒子を含む	古代
第 42 図 -5		須恵器・甕	—	—	—	平行タタキ、同心円状当て具・胎土に白色粒子含む	古代
第 42 図 -6		土器・焙烙?	—	—	—	轆轤成形・外面に格子状のタタキ	近世以降
第 42 図 -7		陶器・徳利	—	—	—	轆轤成形・外面と内面の一部に透明釉、最大径 13 cm、肥前	近世以降
第 42 図 -8		陶器・甕	—	—	—	轆轤成形・内外面に鉄釉・瀬戸美濃	近世以降
第 42 図 -9		磁器・香炉	(10.0)	—	(4.0)	轆轤成形・青磁香炉?、肥前	近世以降
第 42 図 -10		土器・焙烙	—	—	—	底部のみ、底面に煤付着、刻印あり (丸に一、その下に極上か)	近世以降
第 42 図 -11		磁器・碗	—	(4.0)	(3.5)	轆轤成形・染付・瀬戸美濃	近世以降
第 42 図 -12		磁器・碗	(7.0)	—	(4.2)	轆轤成形・色絵・瀬戸美濃	近世以降
第 42 図 -13		磁器・仏飯具?	—	2.7	(4.6)	轆轤成形・染付・脚部のみ残存、瀬戸美濃	近世以降
第 42 図 -14		土製品・泥面子	2.5	2.25	—	型押し成形・芥子面 (役者?)	近世以降
第 42 図 -15		土製品・泥面子	2.45	2.1	—	型押し成形・芥子面	近世以降
第 42 図 -16		土製品・泥面子	2.7	2.2	—	型押し成形・芥子面	近世以降
第 42 図 -17		土製品・泥面子	2.55	2.1	—	型押し成形・芥子面 (火男?)・摩耗が激しい	近世以降
第 43 図 -18		土製品・土人形	2.8	1.8	—	型押し成形・大黒天・全体的に摩耗が激しい	近世以降
第 43 図 -19		ガラス製品・おはじき	1.5	1.4	—	型流し成形	近代以降

第8章 西原遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西原遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、標高約 18 m の台地上に立地する。遺跡の北側約 100 m には現在、市立福岡中学校のグラウンドがあるが、かつては「滝」の地名の由来となった、段丘上から滝が落ちていたと言われる付近である。

周辺の遺跡は、武蔵野段丘面から一段低い立川段丘面にかけて滝遺跡、長宮遺跡、松山遺跡が広がる。南側約 100 m に古墳時代後期の横穴墓の福遺跡、同約 250 m に富士見台横穴墓群が位置する。

本遺跡周辺は早くから宅地化が進み、また残された部分も山林等であった。昭和 1965 年の分布調査で「中飛西原 遺物の散布地は、西に向ってゆるやかに傾斜する台地の肩部に位置し、その範囲も極めて狭いが、縄文式土器の細片（野島、加曾利 E 期）が発見できた」。以後、1985 年の試掘調査で縄文時代の集石土坑 1 基が検出されているが、1994 年と 1997 年の試掘調査で遺構、遺物は確認されていない。

西原遺跡は、2019 年 4 月現在 4 ヶ所で調査が行われている。

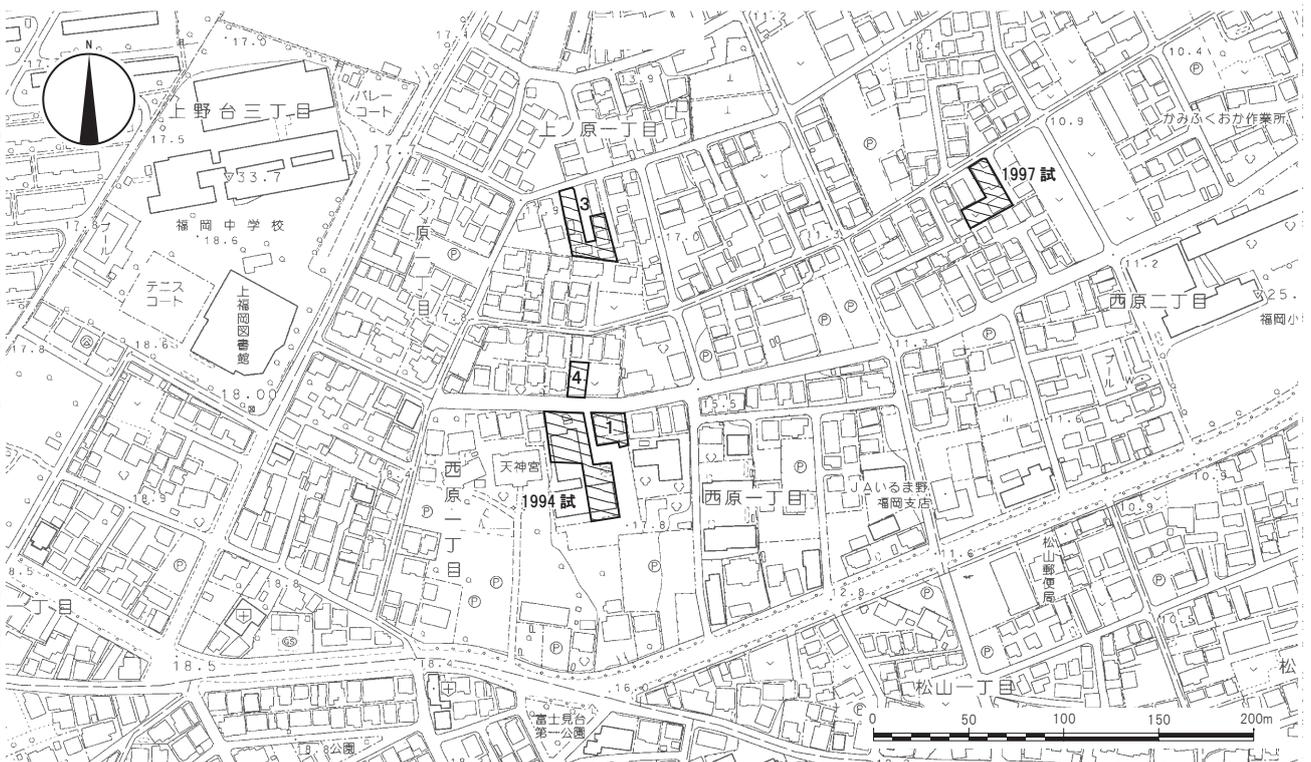
II 西原遺跡第 4 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 11 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 11 月 20 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は道路拡幅部分に合わせて重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60cm である。

調査の結果、炉穴 1 基を確認した。遺物は出土していない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 44 図 西原遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

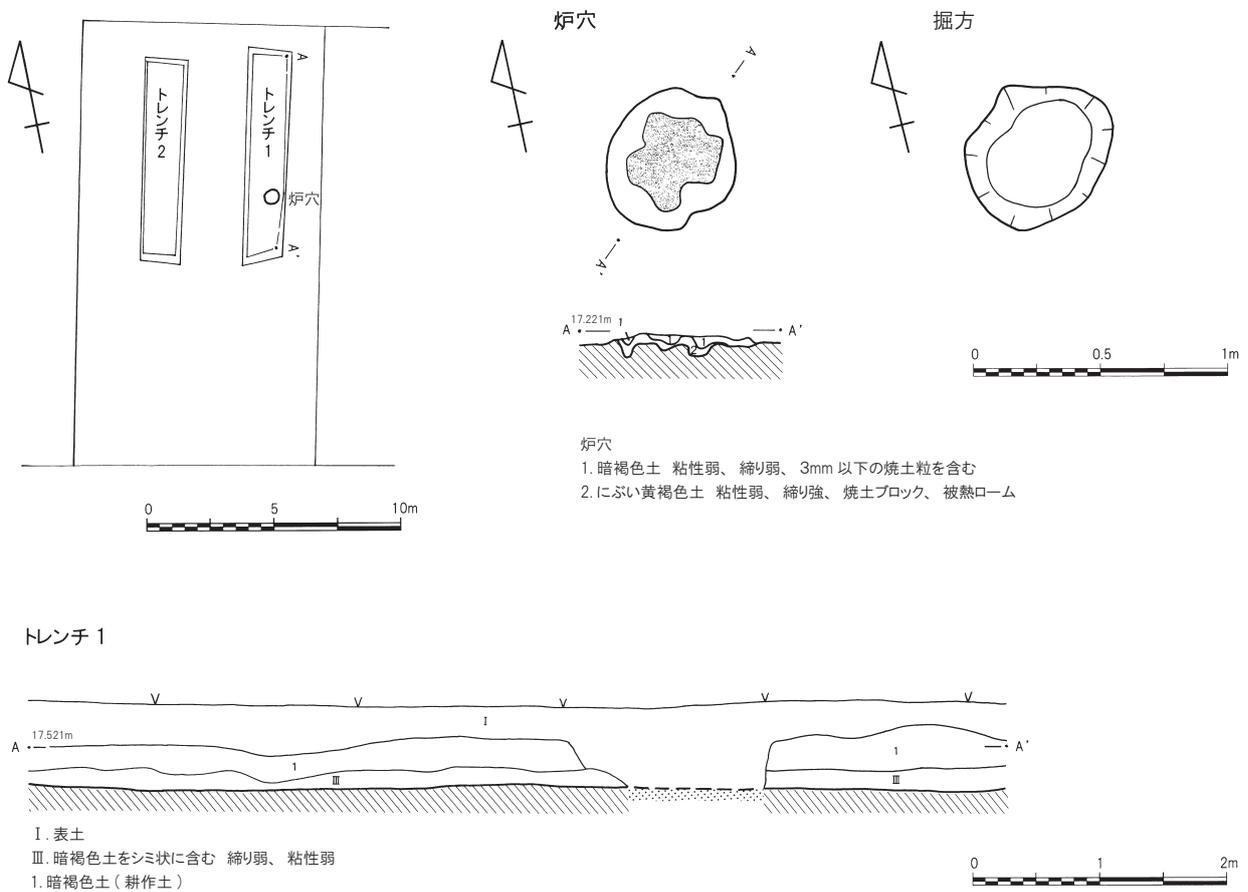
(2) 遺構と遺物

① 炉穴

調査区東側のトレンチ1で検出した。周辺には広がらず、1基単独である。規模は確認面径 59 × 51 cm、底径 35 × 33 cmでほぼ円形を呈する。出土遺物はない。

第 32 表 西原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	西原 1-1-37	(1985.4.25 ~ 30)	360	個人住宅	集石遺構 1	上埋Ⅷ
試掘調査 1994 試	西原 1-33 外	(1994.6.15 ~ 24)	1,738	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 17
試掘調査 1997 試	西原 2-3-12	(1997.12.9 ~ 12)	616,34	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 20
3	上ノ原 1-2-25・57	(2013.4.4 ~ 11)	578	分譲宅地	落とし穴、土器片	市内 18
4	西原 1-2-2 の一部	(2017.11.20)	167	個人住宅	炉穴 1、遺物なし	市内 24



第 45 図 西原遺跡第 4 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/60)、炉穴・掘方 (1/30)

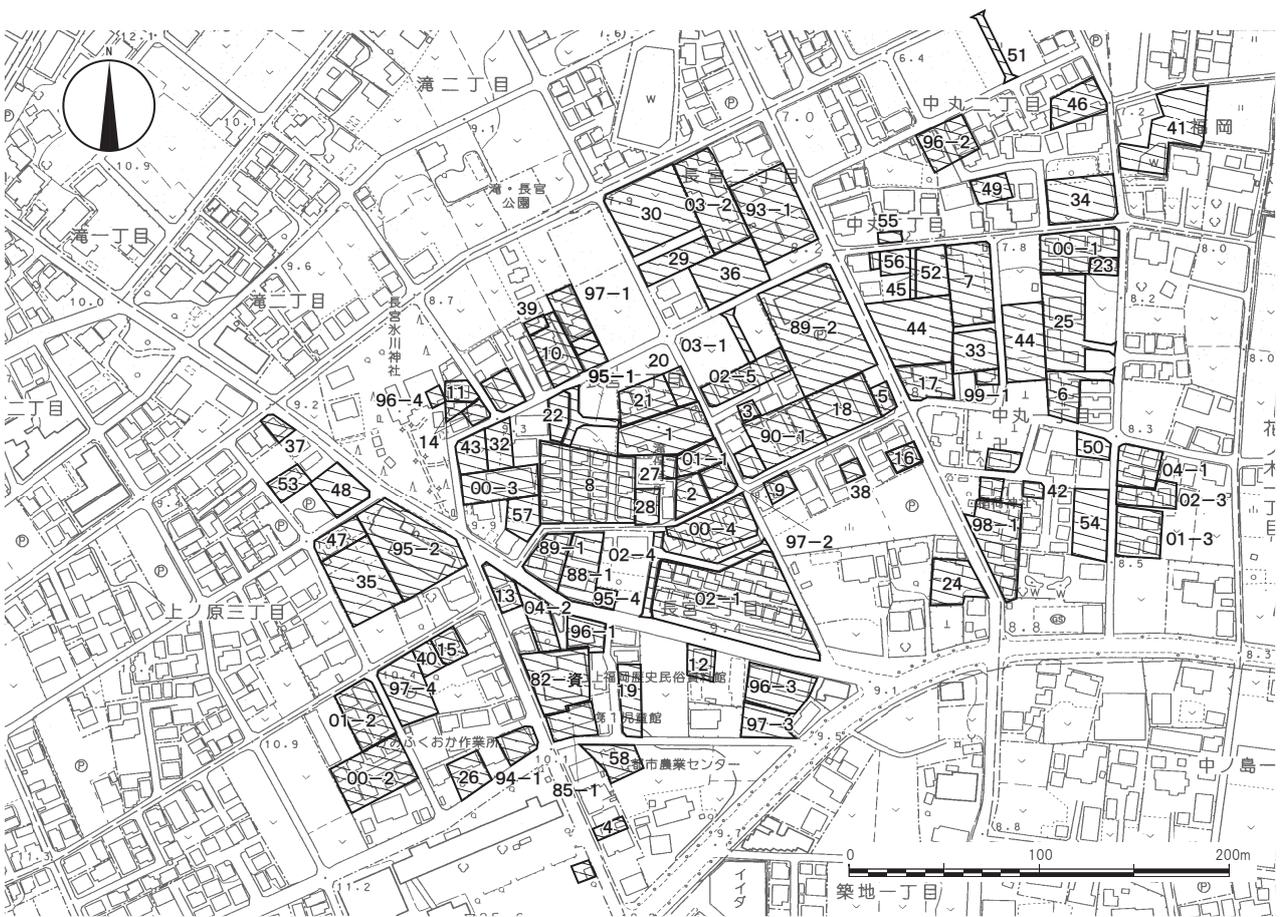
第9章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅 100 m ほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500 m 南側には福岡江川が流れ、標高 9 ～ 10 m 前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北 300 m、東西 500 m 以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国時代に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977 年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる。

遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより 2019 年 4 月現在 96 ケ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に關係のある溝跡などである。

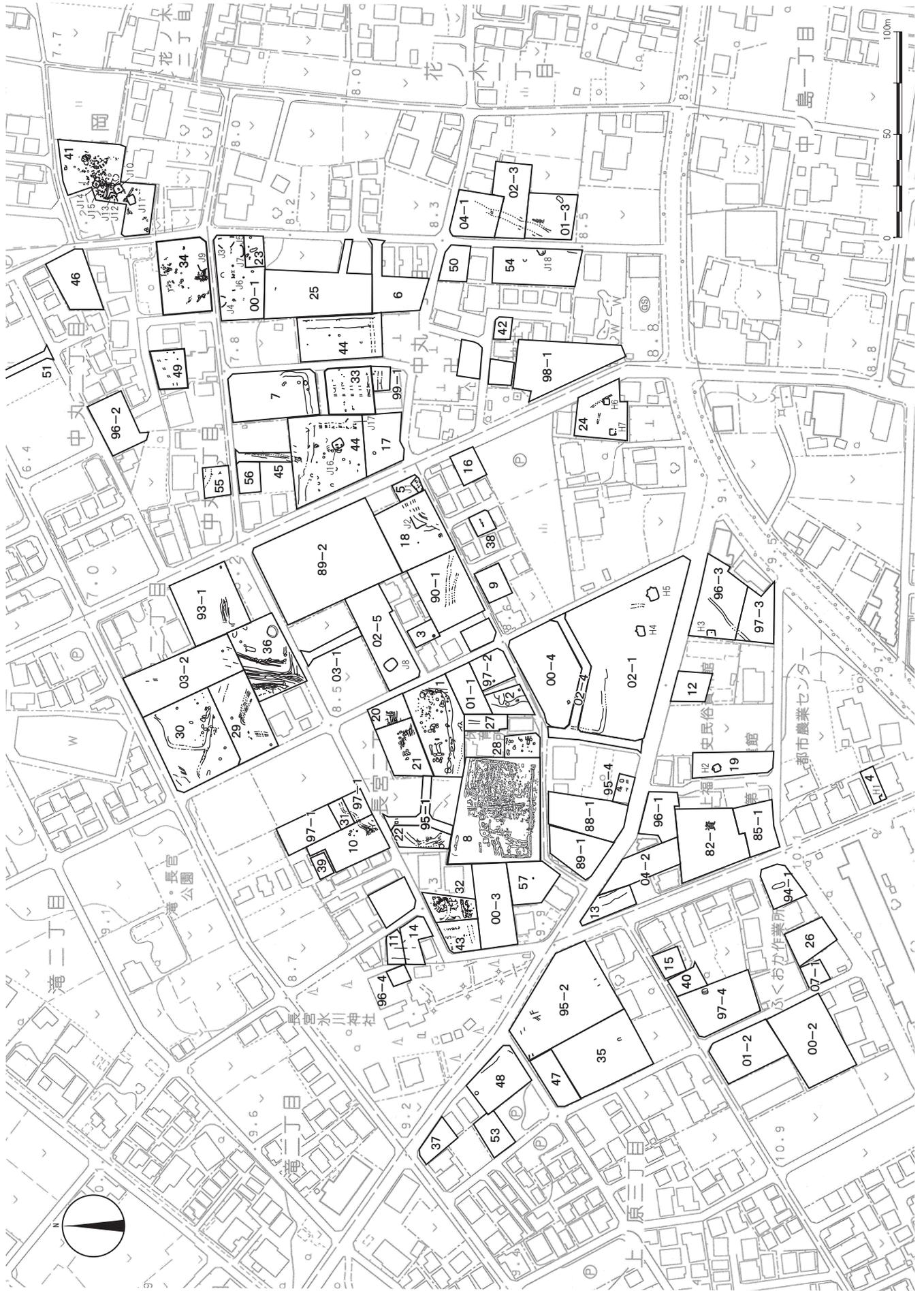


第 46 図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第33表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	長宮 2-1-23	1977.10.3～30	1,000	保育園	溝3、土坑48、柱穴	川崎3次
2次	長宮 2-1-27	1978.4.25～5.15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石臼、板碑、砥石、古銭、陶器、馬骨	上埋Ⅰ
3次	長宮 2-5-11	1978.7.24～30	111	民間宅地	土坑1	上埋Ⅰ
4次	長宮 1-1-14	1978.10.6～9	37		住居跡1、土師器、須恵器、鉄製品	上埋Ⅰ
5次	長宮 2-5-2	1979.4.16～20	110		縄文前期住居跡1、縄文土器片	上埋Ⅱ、Ⅳ
6次	中丸 1-4-13	1980.4.21～30	515		遺構なし、中世以降陶器片	上埋Ⅲ
7次	中丸 1-3-6	1980.5.13～31	869		溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	上埋Ⅲ
8次	長宮 2-1-10～13	1980.9.8～10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、板碑、砥石、陶磁器、古銭、馬歯	上調Ⅰ
9次	長宮 1-4-10	1980.9.21～30	200		遺構なし、中世以降陶器片	上埋Ⅲ
10次	長宮 2-3-4	1980.12.5～15	485		溝、土坑他、縄文前期土器・石器、中世以降古銭・陶器	上埋Ⅲ
11次	長宮 2-2-10	1980.12.16～22	117		溝、縄文土器片、中世以降陶器	上埋Ⅲ
12次	長宮 1-2-7	1981.5.26～30	160	個人住宅	縄文土器片	上埋Ⅳ
13次	長宮 1-2-13	1981.6.3～11	251	個人住宅	溝、縄文土器片	上埋Ⅳ
82試	長宮 1-2-12		1,000	歴史民俗資料館	溝2	S57 上社
14次	長宮 2-2-1	1985.9.24～27	156	個人住宅	溝1	上埋Ⅷ
15次	西原 2-5-8	1985.10.22～31	116	個人住宅	遺構遺物なし	上埋Ⅷ
85試	長宮 1-2-11	(1986.3.6～15)	400	学童保育	溝2	S60 上社
16次	長宮 1-4-7	1986.6.9～17	173	個人住宅	縄文土器片	上埋Ⅸ
17次	中丸 1-3-11	1987.6.19～30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	上埋Ⅹ
88試	長宮 1-3-8	(1988.9.13～16)	657	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 11
89試(1)	長宮 1-3-9	(1989.9.20～30)	448	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 12
89試(2)	長宮 2-5-19	(1989.11.14～24)	1,778	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 12
90試	長宮 2-5-4	(1990.11.27～30)	919	共同住宅	溝、遺物なし	上埋 13
18次	長宮 2-5-3	1992.10.6～12.2	925	共同住宅	縄文住居跡1、中近世土坑2、溝5	上埋 15
19次	長宮 1-2-21,35	1993.12.17～ 1994.1.22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	上埋 15
93試	長宮 2-4-2の一部	(1994.2.10～28)	1,501.54	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期板碑	H5 上社
94試	西原 2-5-1	(1994.7.25～8.2)	314	心身障害者 デイケア施設	断面函形溝1	上埋 17
20次	長宮 2-1-22の一部	1995.4.10～5.9	169.59	個人住宅	中近世溝4	上埋 18
21次	長宮 2-1-63,65	(1995.6.19～8.8)	360.94	個人住宅	中近世溝1、井戸7	上埋 18
95試(1)	長宮 2-1-20外	(1995.8.9～28)	421	市道敷設	遺構遺物なし	上埋 18
95試(2)	上ノ原 3-1-6外4筆	(1995.10.4～12)	1,528	共同住宅	溝1	上埋 18
22次	長宮 2-1-60	(1995.10.23～25) 1995.10.27～11.9	269	駐車場	中近世井戸跡4、土坑3、溝1、陶器、板碑破片、かわらけ	上調6、上埋 18
95試(4)	長宮 1-3-13	(1995.12.12～25)	120	駐車場	土坑、溝、遺物なし	上埋 18
96試(1)	長宮 1-2-16	(1996.7.12～18)	348.52	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 19
96試(2)	中丸 2-2-9他3筆	(1996.11.7)	568	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 19
96試(3)	長宮 1-2-4	(1997.1.14～21)	794.16	共同住宅	古墳～奈良住居跡1	上埋 19
96試(4)	長宮 2-2-4	(1997.2.24)	204.78	社務所改築	遺構遺物なし	H8 上社
97試(1)	長宮 2-3-3	(1997.4.8～9)	611	農地天地返し	溝1(時期不明)	上埋 20
97試(2)	長宮 2-1-2	(1997.4.9～11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	上埋 20
97試(3)	長宮 1-2-36,37	(1997.6.4～5)	423.33	駐車場	溝1	上埋 20
97試(4)	西原 2-5-6	(1997.8.15～21)	753	駐車場	中近世竪穴状遺構1	上埋 20
98試	中丸 1-2-4	(1998.11.24～27)	1,014	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 21
99試	中丸 1-3-12	(1999.11.8～16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期集石2	上埋 22
00試(1)	中丸 1-4-7	(2000.7.4～11)	932	宅地造成(土地 分譲)	縄文前期(関山期)住居跡5、土坑13	上埋 23
00試(2)	西原 2-4-8,10	(2000.7.17～24)	1,081	宅地造成(土地 分譲)	遺構遺物なし	上埋 23
00試(3)	長宮 2-1-17	(2000.8.21～23)	687	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 23
00試(4)	長宮 1-3-3A,4A	(2001.1.17～23)	1,118.9	宅地造成(土地 分譲)	近世以降土坑1	上埋 23
23次	中丸 1-4-7	2001.7.18～26	137.01	個人住宅	土坑6(縄文早期後葉1、前期4、近世以降1)	上埋 24
01試(1)	長宮 2-1-3	(2001.4.20～24)	330	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 24
01試(2)	西原 2-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 24
01試(3)	中丸 1-1-3	(2001.8.7～24)	513	共同住宅	道路状遺構1、縄文前期土坑1	上埋 24
01試(4)	長宮 2-3-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	遺構遺物なし	H13 上社

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
02試(1)	長宮 1-3-2～5	(2002.6.5～11)	3,536	宅地造成 (土地分譲)	住居跡2【盛土保存】	上埋 25
24次	長宮 1-4-3	(2002.6.20～7.2) 2003.1.30～2.14	575	個人住宅	住居跡2、溝2	上埋 25、H14 上社
02試(3)	中丸 1-1-5	(2002.9.3～11)	622	宅地造成 (土地分譲)	道路状遺構1	上埋 25
02試(4)	長宮 1-3-31	(2002.9.20～25)	362.19	地区計画道路	溝1	上埋 25
02試(5)	長宮 2-5-6	(2003.3.10～12)	827	宅地造成	住居跡1【盛土保存】	H14 上社
03試(1)	長宮 2-5-30、32	(2003.9.16)	196.64	区画道路	遺構遺物なし	上埋 26
03試(2)	長宮 2-4-7	(2003.12.16～18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	上埋 26
04試(1)	中丸 1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	道路状遺構、遺物なし	上埋 27
04試(2)	長宮 1-2-15	(2004.12.7～9)	466	農地改良	遺構遺物なし	上埋 27
25	中丸 1-4-8	(2007.2.15～16)	1,161	個人住宅	ピット3、縄文土器・石器他	市内 3
26	西原 2-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内 3
27	長宮 2-1-4	(2007.5.30～31)	174.58	個人住宅	溝。保存措置	市内 4
28	長宮 2-1-8	(2007.5.31～6.5) 2007.6.6～22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ピット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内 4
29	長宮 2-4-6の一部	(2007.11.20～12.3) 2007.12.4～5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ピット10、縄文土器、中近世土器他	市内 4
30	長宮 2-4-6	(2009.9.28～11.2) 2009.11.4～12.8	1,362.1	老人福祉施設	中近世土坑、井戸、ピット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内 7、8
31	欠番					
32	長宮 2-1-18	(2010.1.15～25) 2010.2.4～26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ピット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器他	市内 7、8
33	中丸 1-3-2	(2011.5.19～31)	534	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、土坑4、ピット13、溝3、縄文土器、瓦器、陶磁器	市内 14
34	中丸 2-2-2,46	(2011.6.27～7.16) 2011.11.2～12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(関山)住居跡1、近世溝、縄文土器他	市内 11
35	上ノ原 3-1-4	(2011.9.9～26)	1,157.88	分譲住宅	縄文時代炉穴1、土器、石鏃	市内 14
36	長宮 2-4-3	(2011.10.4～17) 2011.10.21～11.14	981	分譲住宅	中近世井戸16、土坑4、溝16、ピット20、板碑他	市内 11
37	上ノ原 3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
38	長宮 1-4-27	(2011.11.24～25)	101	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 14
39	長宮 2-3-23	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
40	西原 2-5-7の一部	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内 15
41	福岡字丸橋 988-1～3、989-2～5、990-3	(2012.4.17～25) 2012.6.11～7.25	1,152.62	分譲住宅	縄文時代炉穴10、縄文時代前期住居跡6、落とし穴2、土坑27、ピット190、溝4、縄文前期土器片、石器、近世陶磁器等	市内 12
42	仲丸 1-2-24	(2012.7.31)	101	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 15
43	長宮 2-1-72	(2013.2.27～3.1)	231	個人住宅	中世～近世溝2・土坑3・ピット17、土器、磁器	市内 15
44	中丸 1-3-3,4-5	(2013.5.14～6.24) 2013.6.25～7.30	1,329	分譲住宅	縄文前期住居跡1、炉穴6、落とし穴1、土坑15、井戸5、溝9、ピット4、縄文時代前期の土器、石器、中近世以降の陶磁器や板碑	市内 13
45	中丸 1-3-17・18、3-5	(2013.8.7～10)	119	道路築造	溝2、土師器、石器、板碑	市内 18
46	中丸 2-22・13	(2013.9.6～10)	488	高齢者 デイサービス センター	遺構なし、磁器	市内 18
47	上ノ原 3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	遺構遺物なし	市内 18
48	上ノ原 3-6-1	(2014.4.2～8)	555	分譲建売	井戸1、溝1、遺物なし	市内 20
49	中丸 2-2-4	(2014.10.23～30)	293.09	集合住宅	焼土跡5(縄文時代)、遺物なし	市内 20
50	中丸 1-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	市内 20
51	中丸 2-3-45・46	(2012.4.5)	176	道路	遺構なし、土器片1	市内 15
52	中丸 1-3-24	(2016.3.11～17)	484	分譲住宅	土坑1、井戸3、ピット6、溝2、土器片、石器、古銭、陶磁器	市内 22
53	上ノ原 3-6-3	(2016.7.11)	223	共同住宅	遺構なし、土器片、陶磁器	市内 24
54	中丸 1-2-16	(2017.5.16～23)	800	分譲住宅	縄文前期住居跡1、土坑1、溝1、縄文土器、石器	市内 24
55	中丸 2-2-6の一部	(2017.6.29)	191	個人住宅	土坑1、溝1、土器片、石器、石臼	市内 24
56	中丸 1-3-37	(2017.7.5)	123	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
57	長宮 2-1-16	(2018.2.15)	374.63	個人住宅	土坑1(縄文時代か)、縄文土器片	市内 24
58	長宮 1-1-7	(2018.7.2)	360	寄宿舎	溝1、土師器片、須恵器片	未報告



第 47 図 長宮遺跡遺構分布図 (1/2,500)

第34表 長宮遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm)

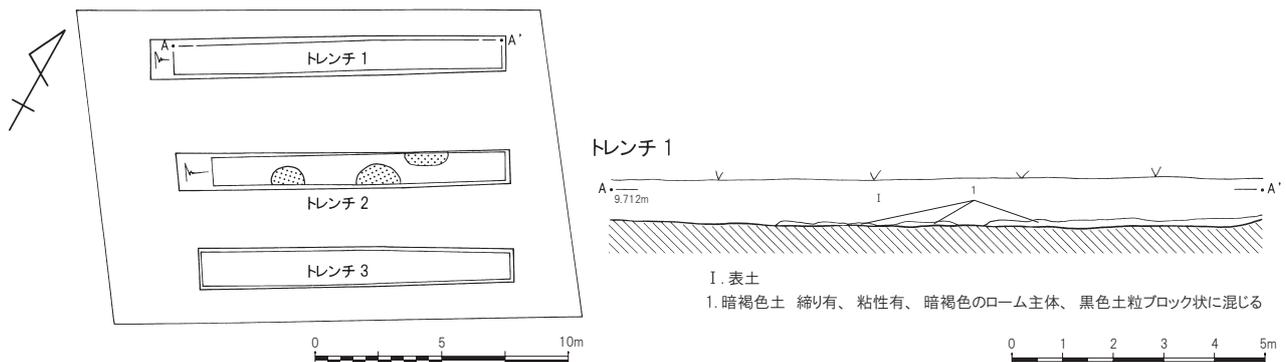
住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形()は推定	規模	炉	設置壁	炉	周溝	主軸方位	時期	備考	所収報告書
								規模 (cm)					
J1	1979	5 地点 2 号住居		長梯形	600 ×	炉		×	○		関山期		上埋 II、IV
J2	1992	18 地点 3 号住居			×			×			関山期		上埋 15
J3	2000	00 年試掘(1) 1 号住	プラン		×								上埋 23
J4	2000	00 年試掘(1) 2 号住	プラン		×								上埋 23
J5	2000	00 年試掘(1) 3 号住	プラン		×								上埋 23
J6	2000	00 年試掘(1) 4 号住	プラン		×								上埋 23
J7	2000	00 年試掘(1) 5 号住	プラン		×								上埋 23
J8	2002	02 年試掘 (5)	プラン		×			×	○				H14 上社
J9	2011	34 地点 J9 号住	1/4	(方形)	(395) × (330)	炉 2		① 52 × 68 ② 70 × 51			関山 II		市内 11
J10	2012	41 地点 J10 号住	完掘	方形	400 × 418	炉		123 × 78	○	N -108- W	関山 II		市内 12
J11	2012	41 地点 J11 号住	完掘	長方形	420 × 365	炉 2		① 57 × 60 ② 55 × 41		N -94- W	関山 II		市内 12
J12	2012	41 地点 J12 号住	1/2	(方形)	(320) × (360)				○	N -25- W	関山 II		市内 12
J13	2012	41 地点 J13 号住	3/4	(長方形)	(355) × (340)	炉		78 × 49		N -60- W	関山 II		市内 12
J14	2012	41 地点 J14 号住	完掘	方形	310 × 310	炉		125 × 98	○	N -34- E	関山 II		市内 12
J15	2012	41 地点 J15 号住	一部	(方形)	(125) × (170)				○	N -34- E	関山 II		市内 12
J16	2012	44 地点 J16 号住	完掘	隅丸長方形	515 × 404	炉	北	120 × 75	○	N -34- E	関山 II		市内 13
J17	2012	44 地点 J17 号住	未掘	不明	(500 以上) × 450	—	—		—	—	関山	プランのみ確認	市内 13
J18	2017	54 地点 J18 号住	2/5	隅丸長方形か	(205) × 330	炉		36 × 44	—	—	関山 II		市内 24

II 長宮遺跡第 53 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 5 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 7 月 11 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70 ~ 80cm であった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 48 図 長宮遺跡第 53 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

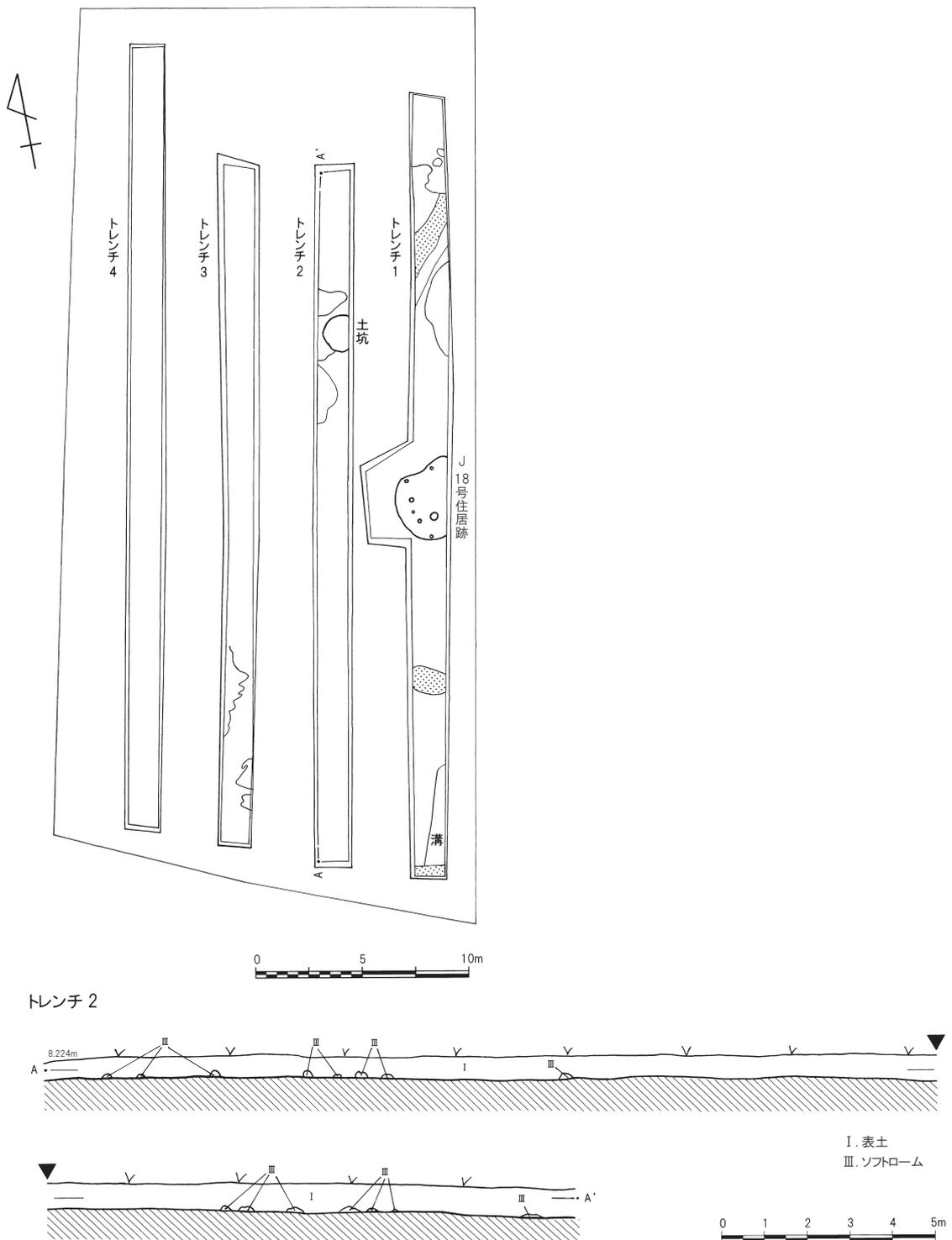
Ⅲ 長宮遺跡第54地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2017年4月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年5月16～23日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～70cmである。

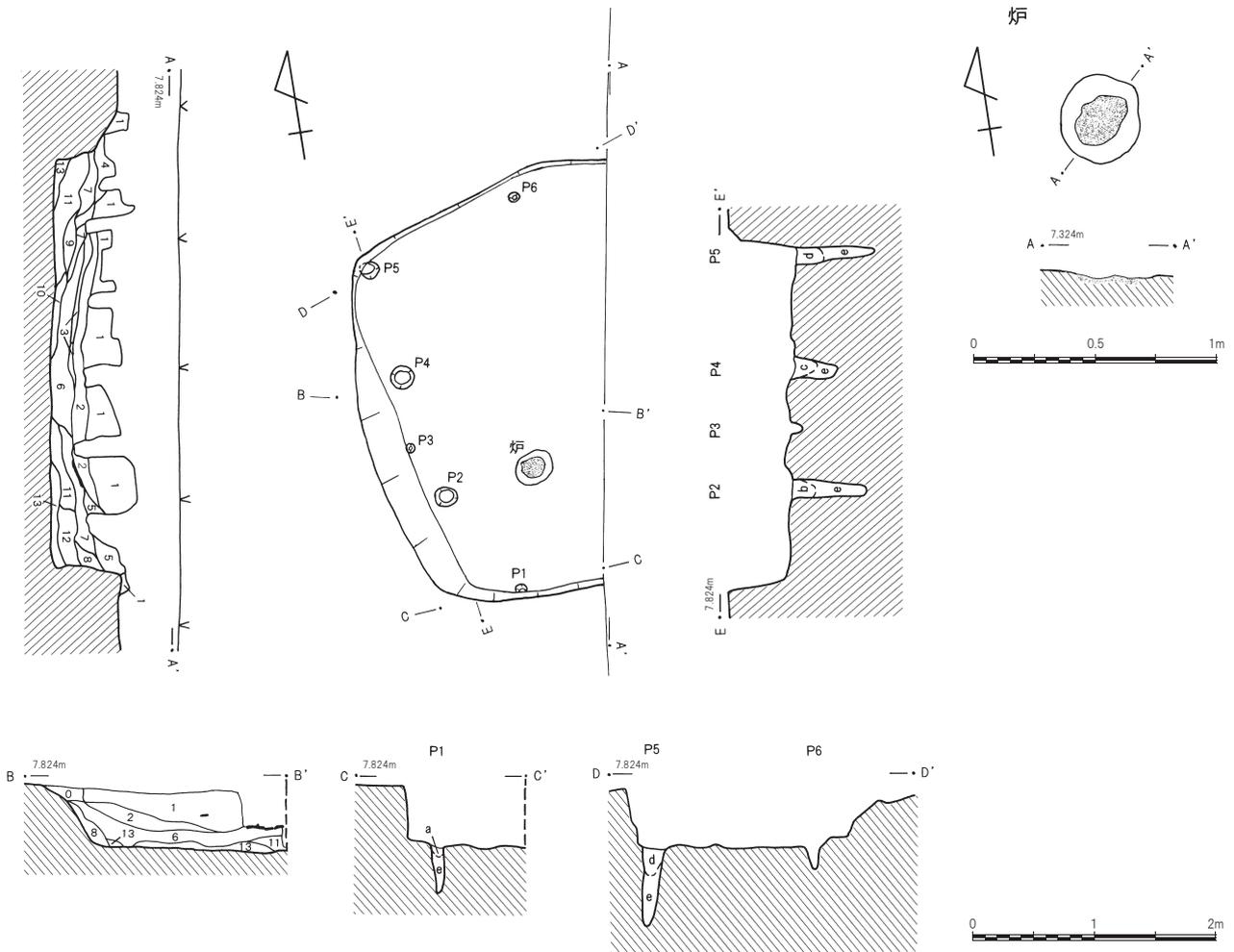
調査の結果、縄文時代住居跡1軒、土坑1基、溝1条を検出したが保護層確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第49図 長宮遺跡第54地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第35表 長宮遺跡第54地点住居内ピット一覧表
(単位 cm)

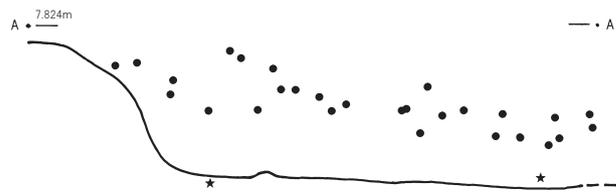
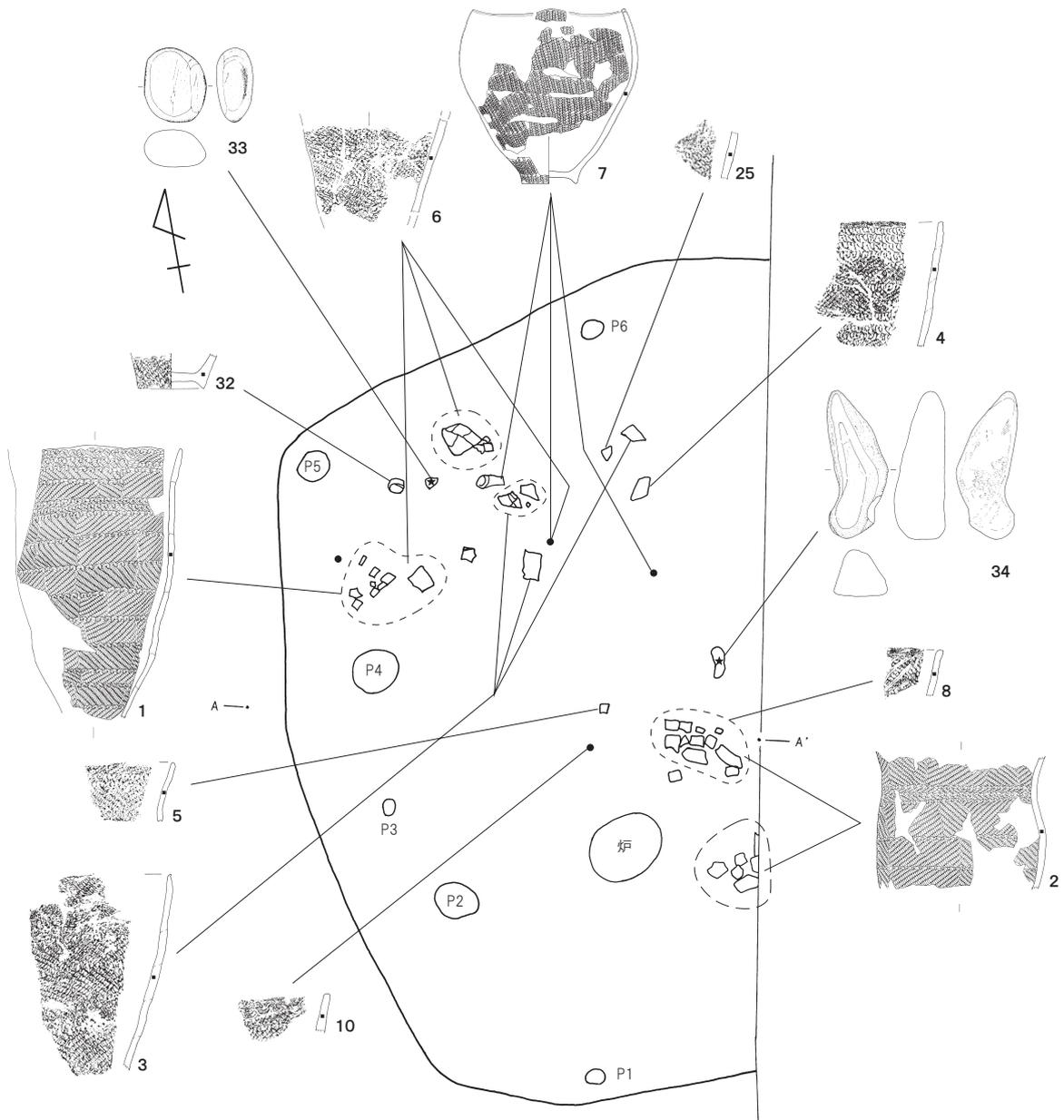
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	不明	9 × (6)	3 × 3	29.9
2	円形	20 × 15	11 × 9	64.7
3	円形	7 × 6	2 × 2	10.2
4	円形	20 × 18	13 × 9	36.4
5	円形	14 × 13	12 × 9	69.9
6	円形	9 × 8	3 × 2	18.8



- a. 黒褐色土 粘性有、締り弱、5mm以下のローム粒・ロームブロック少量含む
- b. 黒褐色土 粘性有、締り弱、5mm以下のローム粒少量、炭化物微量含む
- c. 黒褐色土 粘性有、締り弱、ピット1と同じ
- d. 黒褐色土 粘性有、締り有、5mm以下ローム粒多、ロームブロック少量含む
- e. 黒褐色土 粘性強、締り弱、水分・炭化物微量含む
- 0. 攪乱
- 1. 暗灰色土 (N31) 粘性強、締り極強、2mm以下のローム粒白色粒子微量、酸化鉄粒少量含む (水性堆積層3まで)
- 2. 暗灰色土 (N31) 粘性強、締り強、2mm以下のローム粒・酸化鉄粒少量、下に黒色粒(炭化物)が多い
- 3. 暗灰色土 (N31) 粘性強、締り強、3mm以下のローム粒少量、酸化鉄粒微量含む
- 4. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性有、締り極強、3mm以下のローム粒少量含む
- 5. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性有、締り強、5mm以下のローム粒少量、炭化物と酸化鉄粒を微量含む

- 6. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性極強、締り強、3mm以下のローム粒中量含む
- 7. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性有、締り強、5mm以下のローム粒多量、炭化物微量含む
- 7'. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性やや弱、締り有、7層中でローム粒が集中し、ロームブロックも混じる
- 8. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性強、締りやや強、2mm以下ローム粒多量含む
- 9. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性有、締り極強、10mm以下のロームブロック・5mmのローム粒少量含む (人為堆積層11まで)
- 10. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性強、締り極強、7mm以下のローム粒多量、10mm以下のロームブロック微量含む
- 11. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性強、締り極強、7mm以下のローム粒多量、10~20mmロームブロック少量含む
- 12. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性有、締りやや強、5mm以下のローム粒多量含む
- 13. 黒褐色土 (2.5Y3/1) 粘性有、締り有、5mm以下のローム粒、10mm以下のロームブロック微量、自然堆積層か

第50図 長宮遺跡第54地点J18号住居跡 (1/60)、炉 (1/30)



第51図 長宮遺跡第54地点J18号住居跡遺物出土状況(1/30)

(2) 遺構と遺物

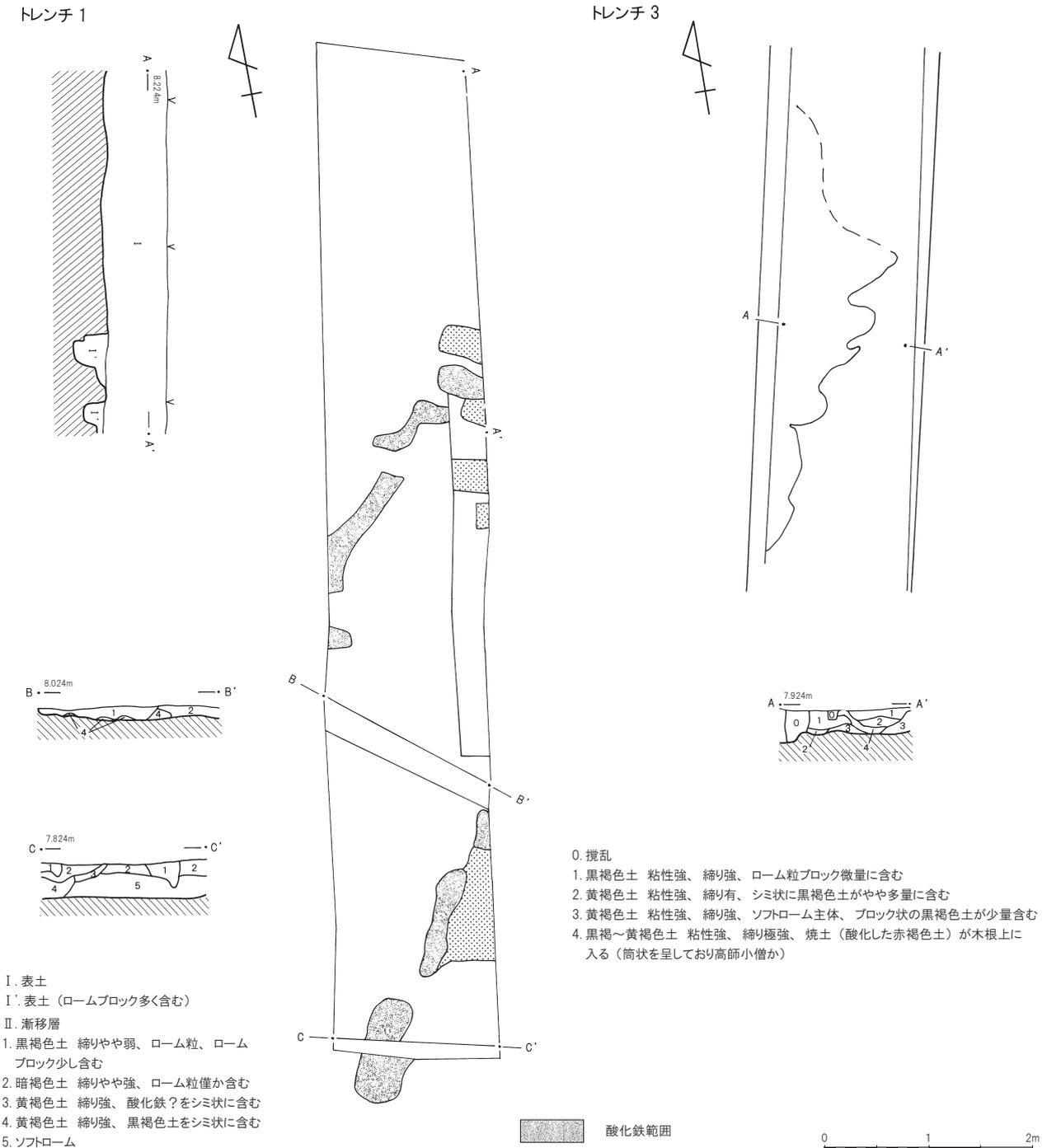
① J18号住居跡

【位置・検出状況】 調査区東端に位置する。今回の調査では全体の約40%を検出し、残りは調査区外へ広がる。

【形状・規模】 隅丸方形または隅丸長方形を呈すると考えられる。規模は長軸(205)×短軸330cm、深さ58cmである。

【構造】 ピットは壁際に6基検出した。その内ピット2・4が支柱穴であると考えられる。ピットの詳細については第35表に掲載した。

【炉】 検出範囲のやや南寄りに位置する地床炉。ほぼ円形を呈し、確認面径34×36cmを測る。



第52図 長宮遺跡第54地点トレンチ1・3酸化鉄範囲(1/60)

【遺物出土状況】 遺物は炉の周辺と住居北側の覆土中程から集中して出土した。

【時期】 出土遺物から関山Ⅰ式か。

②土坑

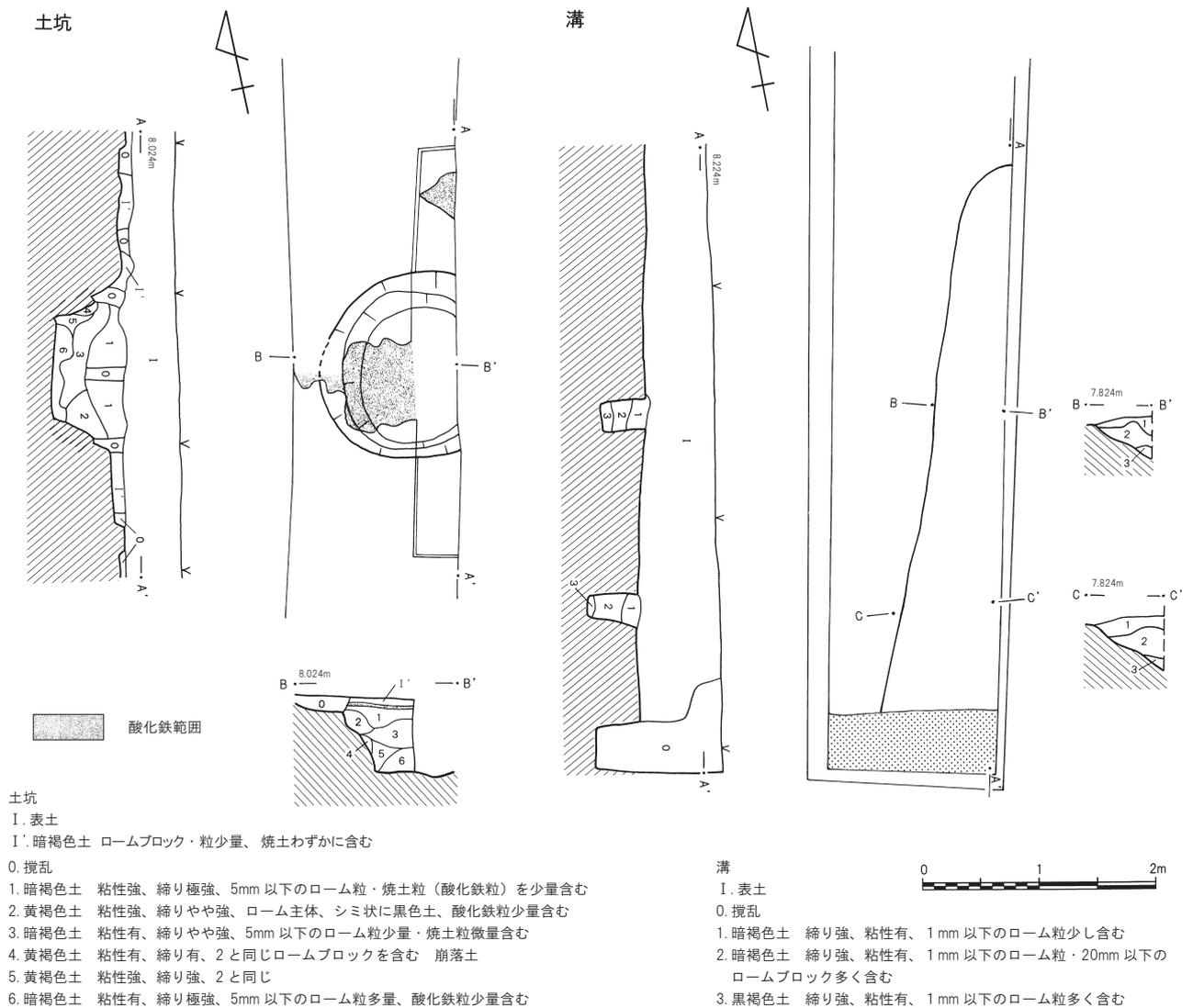
土坑は調査区やや北東部で検出した。ほぼ円形を呈し、確認面径 160 × (130)cm、底径 116 × (84)cm、深さ 60 cmを測る。土層の観察から縄文時代に帰属するものと考えられる。縄文土器片 2 点が出土した。覆土上層に近代以降のものと思われる酸化鉄が 2cm ほどの厚さで広がる。

③溝

調査区南東部に位置し、溝の東側半分と両端は調査区外へ延伸する。遺構の規模、時期は共に不明。出土遺物はない。

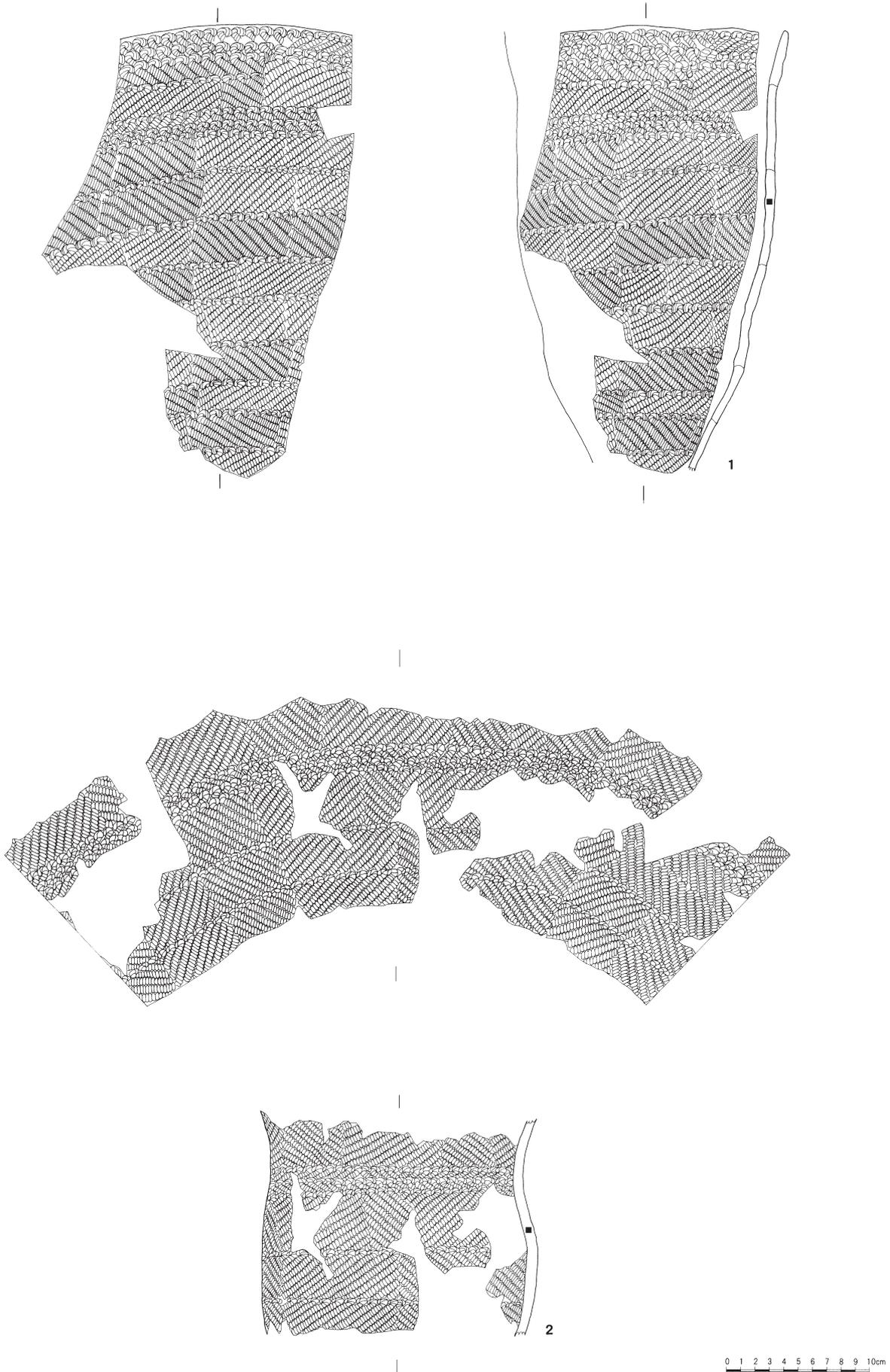
④出土遺物

主に J18 号住居跡と遺構外からの出土である。遺物の詳細については第 54 ~ 56 図及び第 36 表に掲載した。



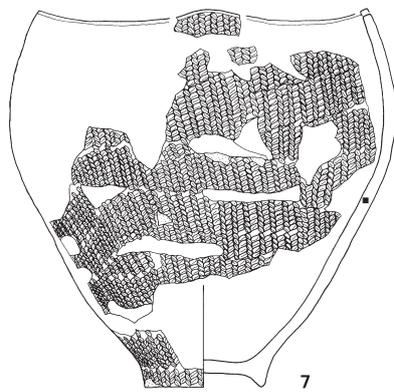
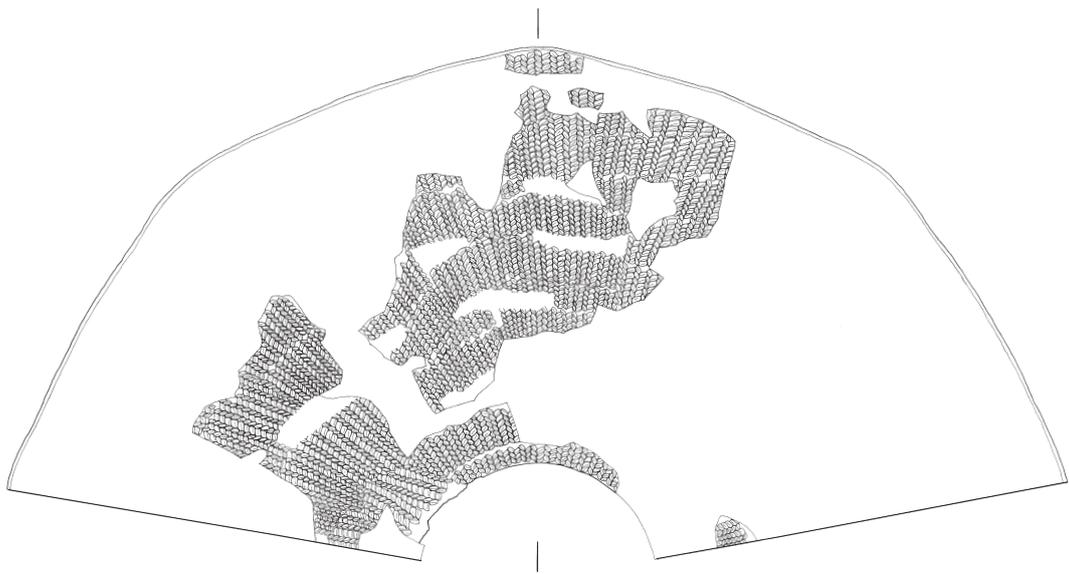
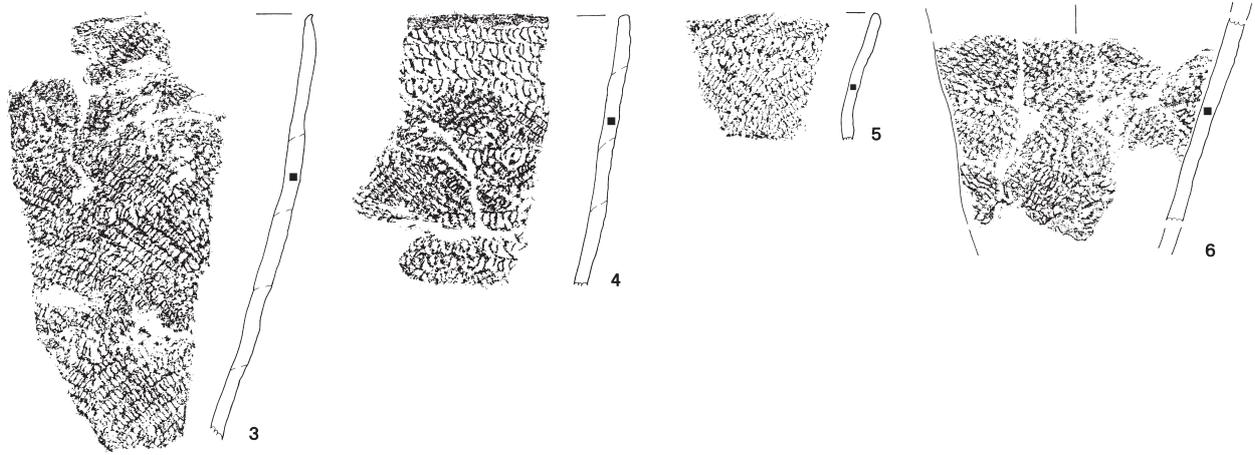
第 53 図 長宮遺跡第 54 地点土坑・溝 (1/60)

J18号住居跡



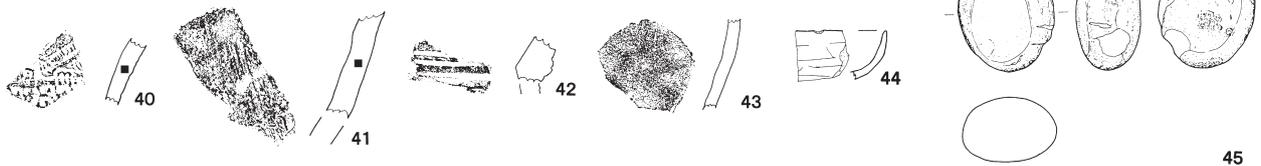
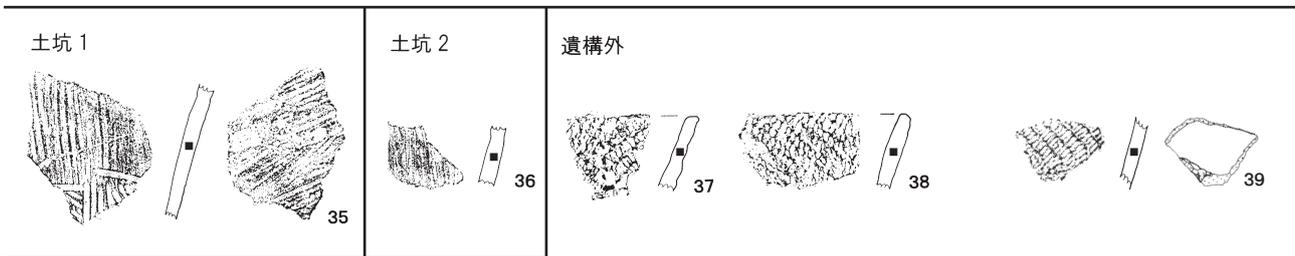
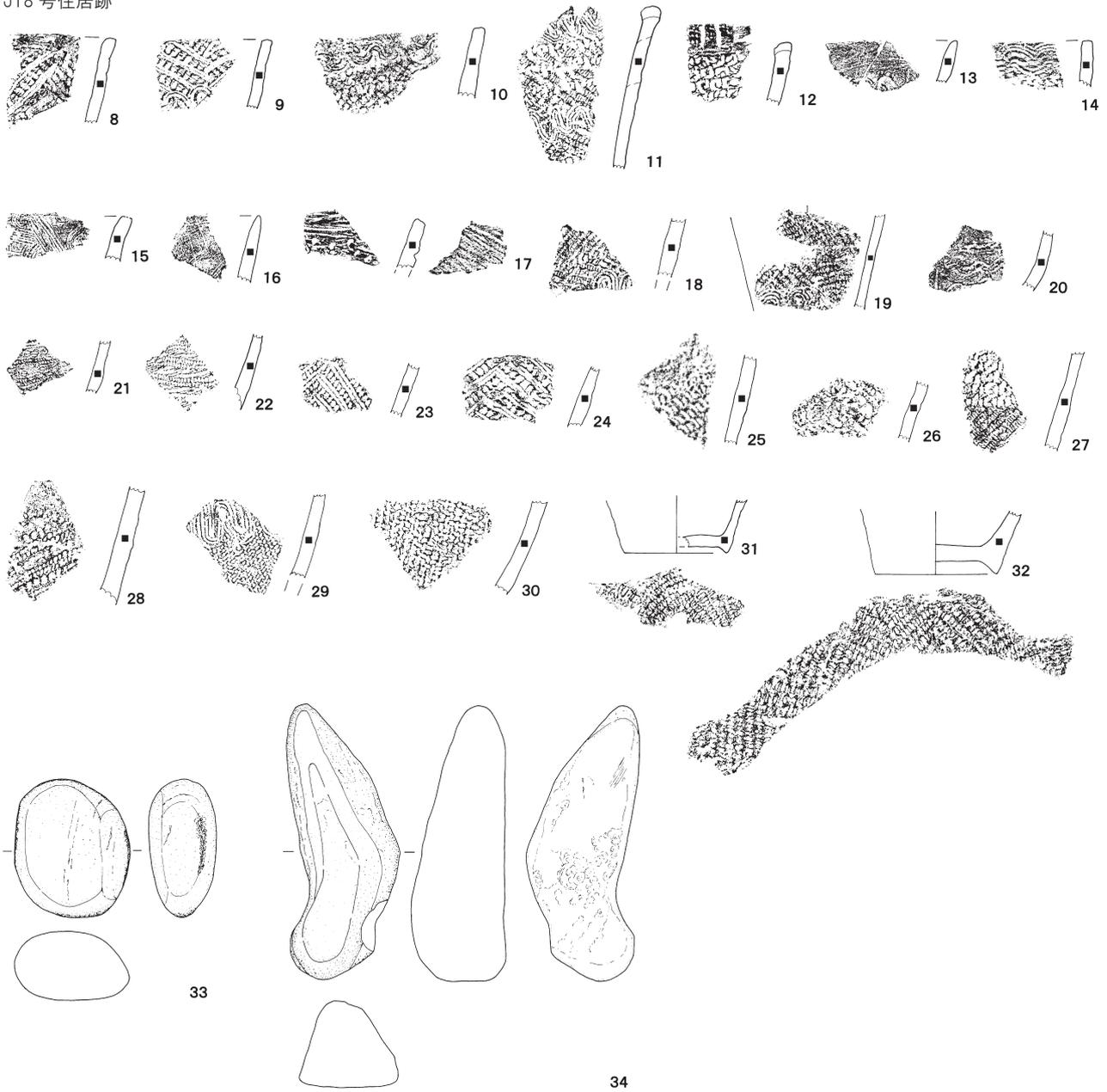
第54図 長宮遺跡第54地点出土遺物① (1/4)

J18号住居跡



第55図 長宮遺跡第54地点出土遺物② (1/4)

J18号住居跡



第56図 長宮遺跡第54地点出土遺物③ (1/4)

第36表 長宮遺跡第54地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第54図-1	J18号住居跡	縄文・深鉢	(19.8)	—	(31.5)	—	緩い波状口縁/1段目と3段目に3段のループ文、0条3段LRとRL羽状縄文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-2		縄文・深鉢	—	—	(15.3)	—	胴部/先端ループの0条3段LRとRLによる羽状縄文、くびれ部分に3段のループ文/内面ミガキ、煤付着、胎土に砂礫と白色粒子を多く含む	前期・関山II
第54図-3		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁~胴部/3回追加成形、先端ループの0条3段LRとRLの羽状縄文、口唇部はLR(0条3段か)の斜状縄文/胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-4		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部に4段のループ文、0条3段LRとRLの菱形羽状縄文、口唇部磨消/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-5		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部に0条3段LR縄文、先端ループの0条3段LRとRL羽状縄文、2段ループ文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-6		縄文・深鉢	—	—	(12.4)	—	胴部/先端ループの0条3段LRとRLによる羽状縄文/胎土に砂礫と白色粒子を多く含む	前期・関山II
第54図-7		縄文・深鉢	(16.8)	(6.2)	(20.1)	—	波状口縁/組紐LLRR/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-8		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/左燃りの直前段合燃、口唇部磨消/胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-9		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/右燃りの直前段合燃、コンパス文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-10		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/0条3段RLとLRの羽状縄文、口縁部に幅7mmのコンパス文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-11		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部に小突起、先端ループの0条3段RLとLR、2段の幅8mmのコンパス文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-12		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口唇部には上部に櫛歯状工具による刺突文のある小突起、複数段の多段ループ文/内面ミガキ	前期・関山II
第54図-13		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口縁部無文帯、ループ文か/胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-14		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/口縁部に波状の平行沈線、LR縄文か/内面にタール付着、胎土に僅かに白色粒子を含む	前期
第54図-15		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文平行沈線	前期・関山
第54図-16		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文平行沈線/胎土にチャートを含む	前期・関山
第54図-17		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/貝殻条痕文、刺突文/内面具殻条痕文、胎土に白色粒子を含む	早期・茅山下層
第54図-18		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/0条3段のRLとLRの羽状縄文、下部にコンパス文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-19		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部復元径9.5cm/0条3段LRの斜状縄文、下部は無節の羽状縄文とコンパス文か/外面全体的に摩滅が激しい、内面ミガキ、煤付着、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第54図-20	J18号住居跡	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/横位波状文か/胎土に白色粒子を含む	前期
第54図-21		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/軸縄不明、RIを2本付加/内面ミガキ、外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	前期・黒浜
第54図-22		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/軸縄LrにRLを2本逆方向付加/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・黒浜
第54図-23		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/直前段合撚りの羽状縄文/内面ミガキ、黒色化、胎土に白色粒子を含む	前期・関山
第54図-24		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/直前段合撚りの羽状縄文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山
第54図-25		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/RI+LR縄文か/器面荒れ、胎土に白色粒子を含む	前期・黒浜
第54図-26		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/地文RI縄文か/器面荒れ、内面ミガキ、内面に赤彩か、胎土に白色粒子を含む	前期・黒浜
第54図-27		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/0条3段LR縄文と5~6段の多段ループ/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-28		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/左撚りの直前段合撚/内面ミガキ、煤付着、胎土に白色粒子を含む	前期・関山
第54図-29		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/0段の組紐、幅8mmのコンパス文/内面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山II
第54図-30		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/組紐RRLL/内面ミガキ	前期・関山II
第54図-31		縄文・深鉢	—	7.7	(4.1)	—	底部/LR・RL羽状縄文/内面黒色化、底面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山?
第54図-32		縄文・深鉢	—	(6.4)	(3.2)	—	底部/LR・RL羽状縄文/内面と底面ミガキ、胎土に白色粒子を含む	前期・関山?
第54図-33		石器・磨石	86.41	70.94	42.02	374.34	石材:砂岩	縄文
第54図-34		石器・敲き石?	172.68	60.14	56.50	715.89	石材:砂岩、一部欠損	縄文
第54図-35	土坑1	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/内外面貝殻条痕文/内面黒色化、胎土に砂礫を多く含む	早期・野島
第54図-36	土坑2	縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/貝殻条痕文/胎土に白色粒子を多く含む	早期か
第54図-37	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	波状口縁か/0条3段RLとLRの羽状縄文/内面ミガキ	前期・関山
第54図-38		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部/地文RL縄文/胎土に砂礫を多く含む	前期・関山
第54図-39		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/0条3段RL縄文/内面ミガキ、内面に鉄付着、胎土に白色粒子を含む	前期・関山
第54図-40		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/上部半截竹管状工具による平行沈線と刻み、下半部ループ文/内面ミガキ	前期・関山
第54図-41		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/条痕文か/内面摩擦が激しい、胎土に白色粒子を多く含む	早期か
第54図-42		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/隆帯貼付後平行沈線/内面ミガキ、胎土に砂礫と白色粒子を多く含む	中期初頭・五領ヶ台
第54図-43		縄文・深鉢	—	—	—	—	胴部/無文/胎土に白色粒子を含む	中期か
第54図-44		土器・皿?	—	—	—	—	轆轤成形/内外面施釉	近世以降
第54図-45		石器/磨石?	65.93	50.49	34.93	116.0	石材:安山岩、一部欠損	縄文

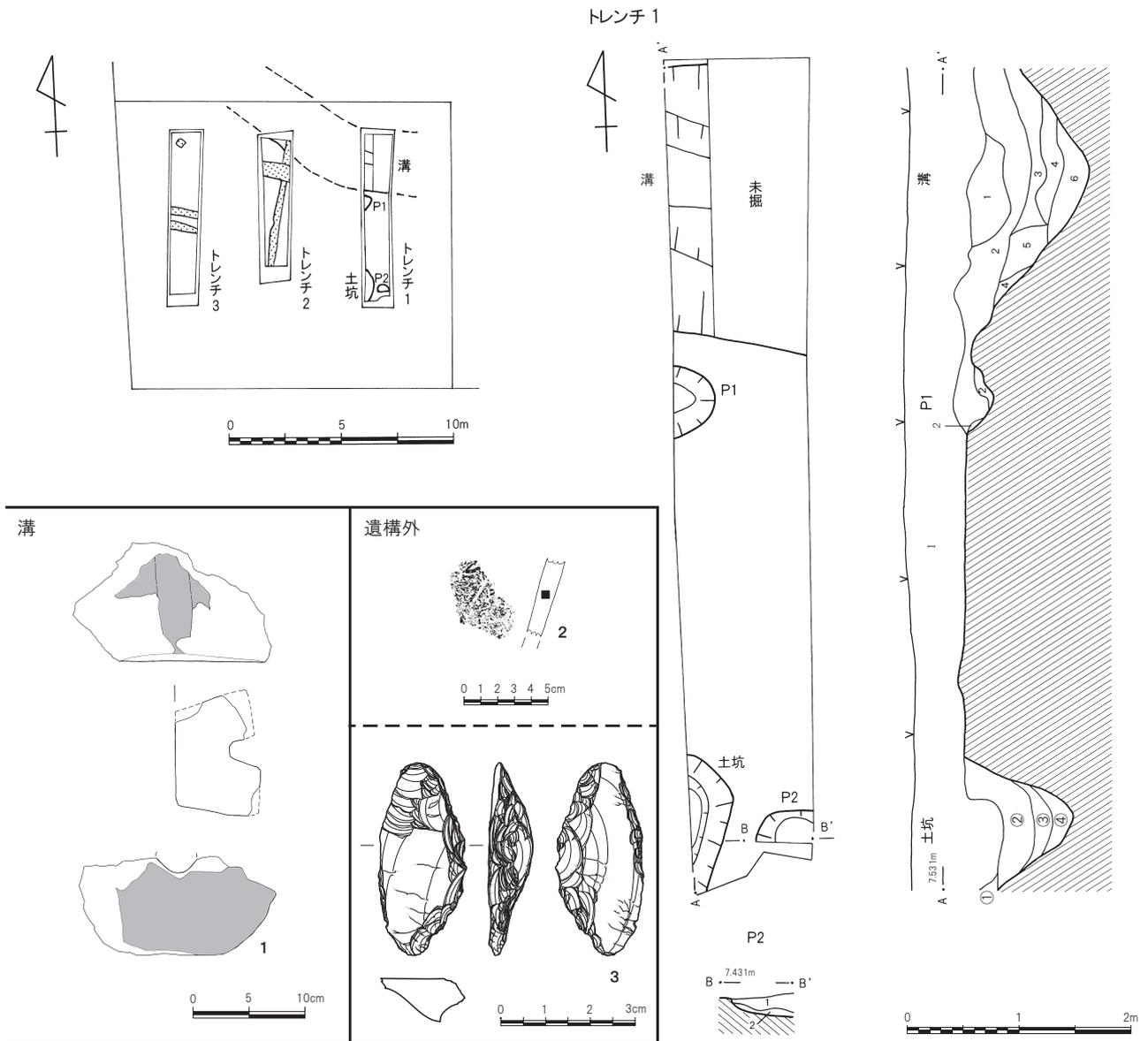
IV 長宮遺跡第 55 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 6 月 9 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 6 月 29 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60～70 cm である。

調査の結果、中近世以降の溝 1 条を検出したが保護層確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



土坑

I. 表土

- ① 黒褐色土 締りやや強、粘性有、ローム粒少し含む
- ② 黒褐色土 締り強、1mm 以下のローム粒多く含む
- ③ 黒褐色土 締り強、ローム粒・ロームブロック少し含む
- ④ 黒褐色土 締り強、ロームブロック多く、ローム粒少し含む

ピット 1・2

- 1. 暗褐色土 締りやや強、ローム粒少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、ローム粒・ロームブロック多く含む

溝

- 1. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、ロームブロック・ローム粒多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、ロームブロック・ローム粒非常に多い 下層一部酸化鉄含む
- 3. 灰褐色土 締り強、粘質土、酸化鉄多く、ローム粒少し含む
- 4. 灰褐色土 締り強、粘質土、ローム粒・酸化鉄僅か含む
- 5. 灰褐色土 締り強、ロームブロック・ローム粒・酸化鉄多く含む
- 6. 灰褐色土 締りやや強、砂質土・ローム鉄・酸化鉄(粒子状)多く含む

第 57 図 長宮遺跡第 55 地点遺構配置図(1/300)、土坑・ピット・溝(1/60)、出土遺物(1/4・1/6・2/3)

(2) 遺構と遺物

①土坑

調査区東側、トレンチ1で検出した。平面形態は不明。確認面径(123×38)cm、深さ97.4cmを測る。出土遺物はない。

②ピット

ピットはトレンチ1で2基検出した。どちらも平面形態は不明で、比較的浅い。規模はピット1が確認面径66×(37)cm、底径24×(21)cm、深さ23.4cm、ピット2が確認面径(52×30)cm、深さ19cmを測る。どちらも時期は不明。出土遺物はない。

③溝

調査区北東部、トレンチ1からトレンチ2にかけて検出した。両端はそれぞれ北側と東側に延伸する。断面形態はU字形を呈し、上幅245cm、下幅55cm、深さ110cmを測る。土層の観察から中近世以降の溝と考えられる。遺物は石臼の破片1点が出土したのみである。

④出土遺物

出土遺物について詳細は第57図及び第37表に掲載した。

第37表 長宮遺跡第55地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第57図-1	溝	石製品・石臼	—	(25.0)	(10.5)	—	礪臼・上臼で横打込穴が残る、下臼との接地面と供給口内に煤附着、 石材：安山岩	近世以降
第57図-2	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	無文・胎土に繊維を含む	前期力
第57図-3		石器・ナイフ形石器	4.367	20.00	10.29	6.5	石材：安山岩	—

V 長宮遺跡第 56 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 6 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 7 月 5 日に試掘調査を実施した。

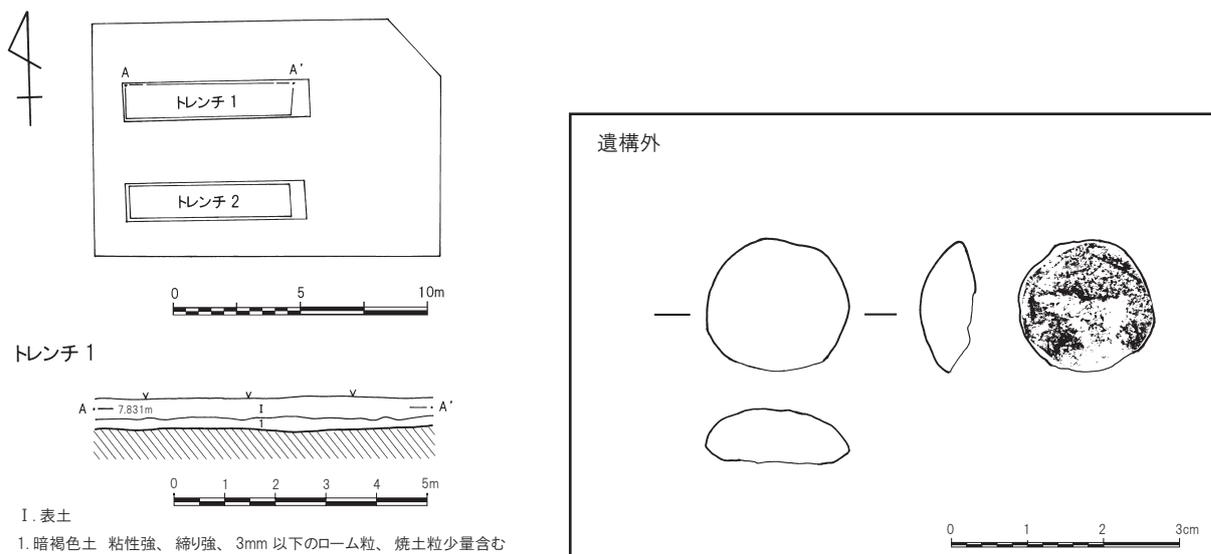
試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約 60 ～ 70 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構は検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 出土遺物

遺構外で土製品 1 点が出土した。詳細については第 58 図及び第 38 表に掲載した。



第 58 図 長宮遺跡第 56 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/1)

第 38 表 長宮遺跡第 56・57 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

地点	図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第 56 地点	第 58 図	遺構外	土製品・泥面子	1.8	1.9	—	1.92	型押し成形・無文・おはじき、一部欠損	近世以降
第 57 地点	第 59 図-1		縄文・深鉢	—	—	—	—	地文 RL 縄文力、隆帯貼付・全体的に摩耗が激しい	縄文
	第 59 図-2		石器・磨石	8.767	6.408	4.995	360.24	石材：安山岩	—

VI 長宮遺跡第57地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2018年1月31日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2018年2月15日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約60～70cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、土坑1基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

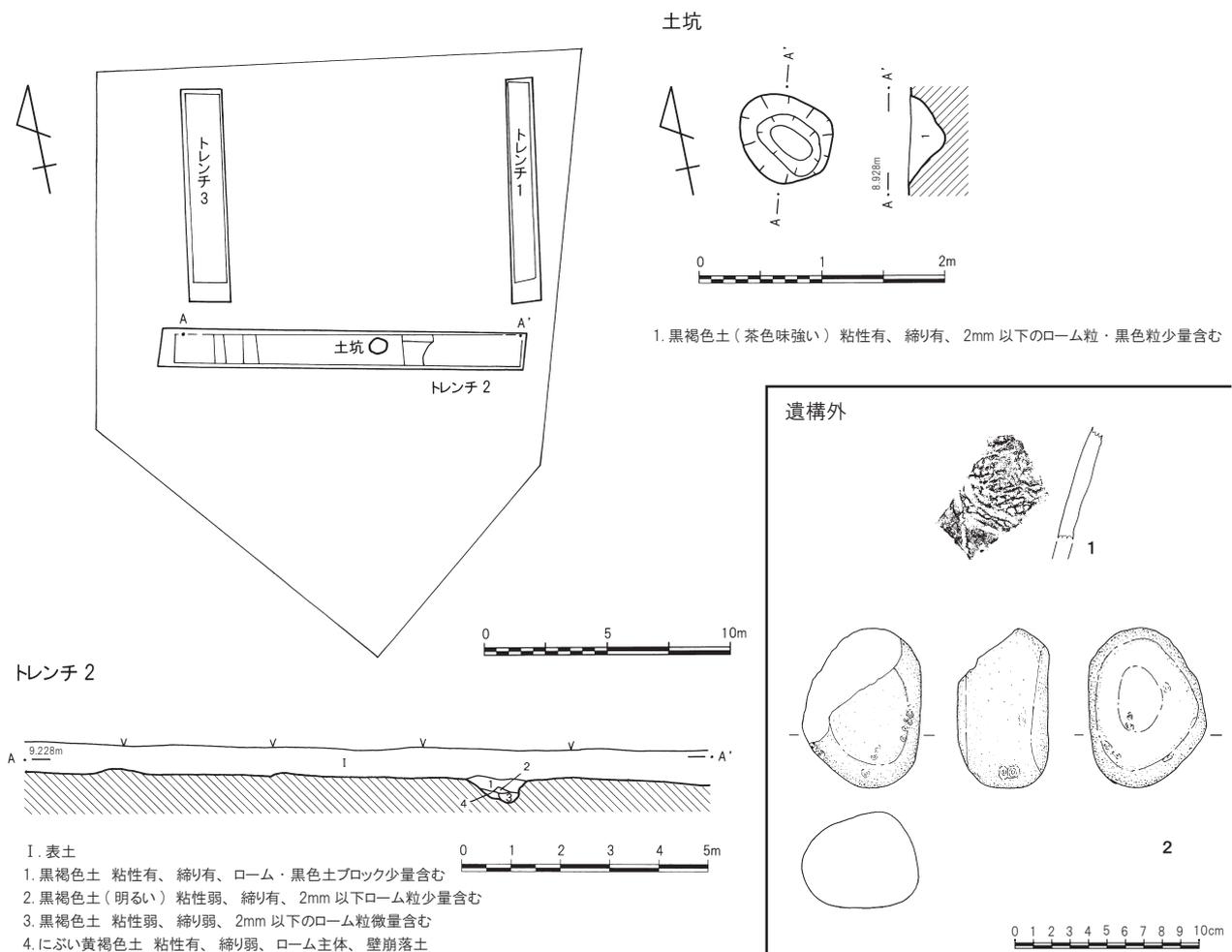
(2) 遺構と遺物

①土坑

調査区中央部に位置する。平面形態は円形を呈し、確認面径80×71cm、底径39×20cm、深さ33.9cmを測る。出土遺物はない。

②出土遺物

遺構外より縄文土器片1点と石器1点が出土した。詳細については第59図及び第38表に掲載した。



第59図 長宮遺跡第57地点遺構配置図（1/300）、土層（1/150）、土坑（1/60）、出土遺物（1/4）

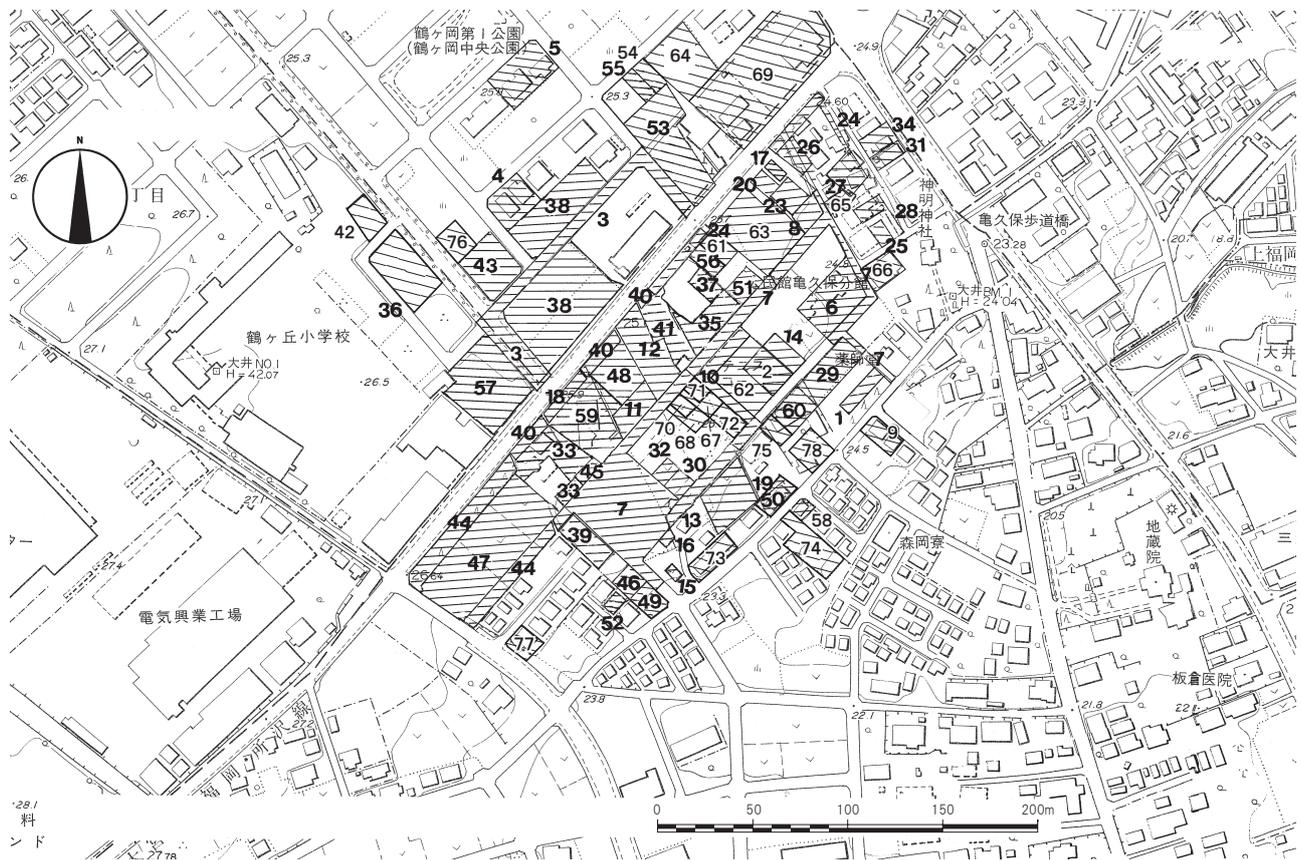
第10章 亀居遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高 25～26m で現谷底との比高差は 5m を測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から2018年4月現在まで78地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡16軒、屋外埋甕2基、集石土坑99基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。



第60図 亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第39表 亀居遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	遺構と遺物						所収報告書
					住居	集石 土坑	土坑	ピット	屋外	埋塞	
1	亀久保 1001	1972	155	農地転用	遺構なし						町史資料編1、 調査会報告8集
2	亀久保 1005	1973	350	農地転用	遺構なし						
3	鶴ヶ岡 161-1	1979.11～12	750	区画整理	2	1	6			1	東部遺跡群Ⅰ、 調査会報告8集
4	鶴ヶ岡 2-2	(1984) 試掘		区画整理	遺構なし						
5	鶴ヶ岡 2-4-3	(1984) 試掘		区画整理				1			
6	亀久保 1000	1985	914	区画整理		7	4	30			東部遺跡群Ⅵ
7	亀久保 999	1986.8	2,740	区画整理	2	7	84	138			調査会報告8集
8	亀久保 1001	1986.8	181	個人住宅		2	3	11			東部遺跡群Ⅶ
9	亀久保 989-1	(1986.9) 試掘		住宅建設	遺構なし						
10	亀久保 1010-1	1986.10	650	区画整理	1		20	17			調査会報告8集
11	亀久保 1011-3	1987.10.13～11.13	389	個人住宅		2		73			東部遺跡群Ⅷ
12	亀久保 1011-1	1987.11.16～12.16	387	個人住宅		1		48		1	東部遺跡群Ⅷ
13	亀久保 1007-3	1988.8	242	区画整理	2						調査会報告8集
14	亀久保 999-4	(1988.7.22～8.3)	165	個人住宅	遺構なし						東部遺跡群Ⅸ
15	亀久保 1007	(1989.2) 試掘		個人住宅	遺構なし						東部遺跡群Ⅸ
16	亀久保 1007	(1989.2)	45	個人住宅	遺構なし						東部遺跡群Ⅸ
17	亀居 995-3	1989.9.14～18	112	個人住宅			3	8			東部遺跡群Ⅹ
18	県道拡幅	1990.3	210	区画整理	遺構なし						東部遺跡群Ⅹ
19	亀居 1007	1990.3.12～26	613	個人住宅	遺構なし						東部遺跡群Ⅹ
20	亀久保 1001-3	1990.5.21～25	118	個人住宅			1				東部遺跡群Ⅺ
23	亀久保 1001-14・15	1990.9.3～10	160	個人住宅				10			東部遺跡群Ⅺ
24	亀久保 995-4	1990.12	1,324	区画整理			1	3			調査会報告8集
25	亀久保 995-7	1991.3.12～16	162	個人住宅	遺構なし						町内遺跡群Ⅰ
26	亀久保 1001-14	1991.2.14～3.15	259	個人住宅		2		60			町内遺跡群Ⅰ
27	亀久保 995-2	1991.5	249	個人住宅				5			町内遺跡群Ⅰ
28	亀久保 995-6	1991.1.24～2.1	475	個人住宅		6					東部遺跡群Ⅺ
29	亀久保 992-2	1991.7	925	集合住宅	1	2		36			調査会報告3集
30	亀久保 1007-3、1008-3	1991.7	116	個人住宅	遺構なし						町内遺跡群Ⅰ
31	亀久保 995-2・7	1991.9	197	個人住宅	遺構なし						町内遺跡群Ⅰ
32	亀久保 1008-1	1991.12.3～9	115	個人住宅				6			町内遺跡群Ⅰ
33	亀久保 1011-7	1991.12～1992.4	998	個人住宅	1	3		42			町内遺跡群Ⅱ
34	亀久保 955-2	(1992.2.13)	634	個人住宅	遺構なし						町内遺跡群Ⅰ
35	亀久保 1012-7	1993.9.28～11.5	470	個人住宅	1	2	7	56			町内遺跡群Ⅲ
36	鶴ヶ岡 1-2-2	(1994.2.17～18)	798	礼拝所建設			1			落とし穴1	町内遺跡群Ⅲ
37	亀久保 1003-2・6 他	1994.2.18～25	566	店舗併用住宅			1	13			町内遺跡群Ⅲ
38	鶴ヶ丘 2-1-1、2-2-1	(1994.8.22～30) 1994.9	3,162	店舗		37	21	29		落とし穴2	調査会報告8集
39	亀久保 1008-5	(1994.8.26～29)	342	駐車場造成			1	5		炉穴4	町内遺跡群Ⅳ
40	亀久保 1012-5 他	1995.5	380	道路築造	遺構なし						調査会報告8集
41	亀久保 995-23・24 他	1995.5.31～8.4	530	道路築造	1			66			調査会報告8集
42	鶴ヶ岡 1-3-14	(1995.7.11～18)	196	歯科医院建設	遺構なし						町内遺跡群Ⅴ
43	鶴ヶ岡 2-3-1	(1995.8.9～30)	818	店舗兼用 共同住宅		4	2				町内遺跡群Ⅴ

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	遺構と遺物						所収報告書
					住居	集石 土坑	土坑	ピット	屋外	埋蔵	
44	亀久保 1013-1	1995.10.22～12.4	1,030	道路築造	炉穴 3、礫群 1		7	29			調査会報告 8 集
45	亀久保 1008-5、1011-5	(1996.5.15～17)	619	共同住宅				5	炉穴 1		町内遺跡群VI
46	亀久保 1007-17	(1996.6.24～25)	192	分譲住宅	遺構なし						町内遺跡群VI
47	亀久保 1013-1 他	(1996.9.11～17) 1996.10.1～12.11	2,741	共同住宅	1	14	4	174	落とし穴 1		調査会報告 8 集 町内遺跡群VI
48	亀久保 995-19	(1997.1.20～29)	858	プレハブ事務所			1		炉穴 1		町内遺跡群VI
49	亀久保 1007-14	(1997.11.6～10)	214	店舗併用住宅							町内遺跡群VII
50	亀久保 1007-5	(1998.2.9～20) 1998.2.6	197	個人住宅	1		1				町内遺跡群VII
51	亀久保 3 街区 4 画地	1999.6.15～7.9	222	個人住宅		6	4	11			町内遺跡群IX
52	亀久保 7 街区 14 画地	(2000.2.1～2)	121	個人住宅							町内遺跡群IX
53	鶴ヶ岡 2-28-1	(2000.10.30～ 2001.1.18)	1,422	店舗		7					町内遺跡群X
54	鶴ヶ岡 2-28-17	(2001.4.24～27)	148	個人住宅							町内遺跡群XI
55	鶴ヶ岡 2-28-16	(2001.11.14～16)	148	個人住宅							町内遺跡群XI
56	亀久保 2-13-14	2002.11.5～21	172	個人住宅				38			町内遺跡群XII
57	鶴ヶ岡 1-1-1	2003.4.24～28	1,356	店舗							町内遺跡群XII
58	亀久保 2-975-19・24	(2005.4.18)	79	個人住宅							市内遺跡群 2
59	亀久保 2-10-5	(2005.8.3～31) 2005.9.1～16	1,073	共同住宅	2	1	1				調査会報告 18 集
60	亀久保 2-17-7	(2005.9.16)	293	個人住宅							市内遺跡群 2
61	亀久保 2-13-4 の一部	(2006.10.4) 2006.10.10～13	88	個人住宅	1	2	1	5			市内遺跡群 3
62	亀久保 2-12-3	(2007.11.12～26) 2008.1.7～18	1,284	共同住宅			28	28			市内遺跡群 4
63	亀久保 2-13-5	2008.9.17～10.15	998.15	モデルルーム	1						市内遺跡群 6
64	鶴ヶ岡 2-28-19	2008.9.1～2	907	分譲住宅建設	遺構なし						市内遺跡群 6
65	亀久保 2-14-9 の一部、 13	(2011.4.25～26)	179	公民館分館	遺構なし						市内遺跡群 14
66	亀久保 2-16-1	(2011.7.15～19)	408.5	神社社務所新築	遺構なし						市内遺跡群 14
67	亀久保 2-12-11・12	(2011.8.1～8)	136.8	個人住宅			1				市内遺跡群 14
68	亀久保 2-12-2 の一部	(2011.9.1)	136	個人住宅	遺構なし						市内遺跡群 14
69	鶴ヶ岡 2-159-1、160- 10、28-4・11～13	(2011.12.6～9)	2,426	店舗							市内遺跡群 14
70	亀久保 2-12-13	(2012.3.21) 2012.3.22	111	個人住宅		1					市内遺跡群 14
71	亀久保 2-12-2	(2012.8.27)	111.92	個人住宅	遺構なし						市内遺跡群 15
72	亀久保 2-12-16、12-15	(2012.10.11)	247.88	個人住宅				1			市内遺跡群 15
73	亀久保 2-17-14	(2014.7.8)	326.14	個人住宅	遺構なし						市内遺跡群 20
74	亀久保 2-975-1・34	(2014.11.27～12.4)	557	分譲住宅			1				市内遺跡群 20
75	亀久保 2-17-10 の一部	(2015.6.8)	67	個人住宅	遺構なし						市内遺跡群 22
76	鶴ヶ岡 2-3-2	(2015.8.6)	263	分譲住宅	遺構なし						市内遺跡群 22
77	亀久保 2-9-24	(2016.3.18)	168	個人住宅	遺構なし						市内遺跡群 22
78	亀久保 2-17-10・11 の 各一部	(2018.2.5)	266.57	個人住宅	遺構なし						市内遺跡群 24

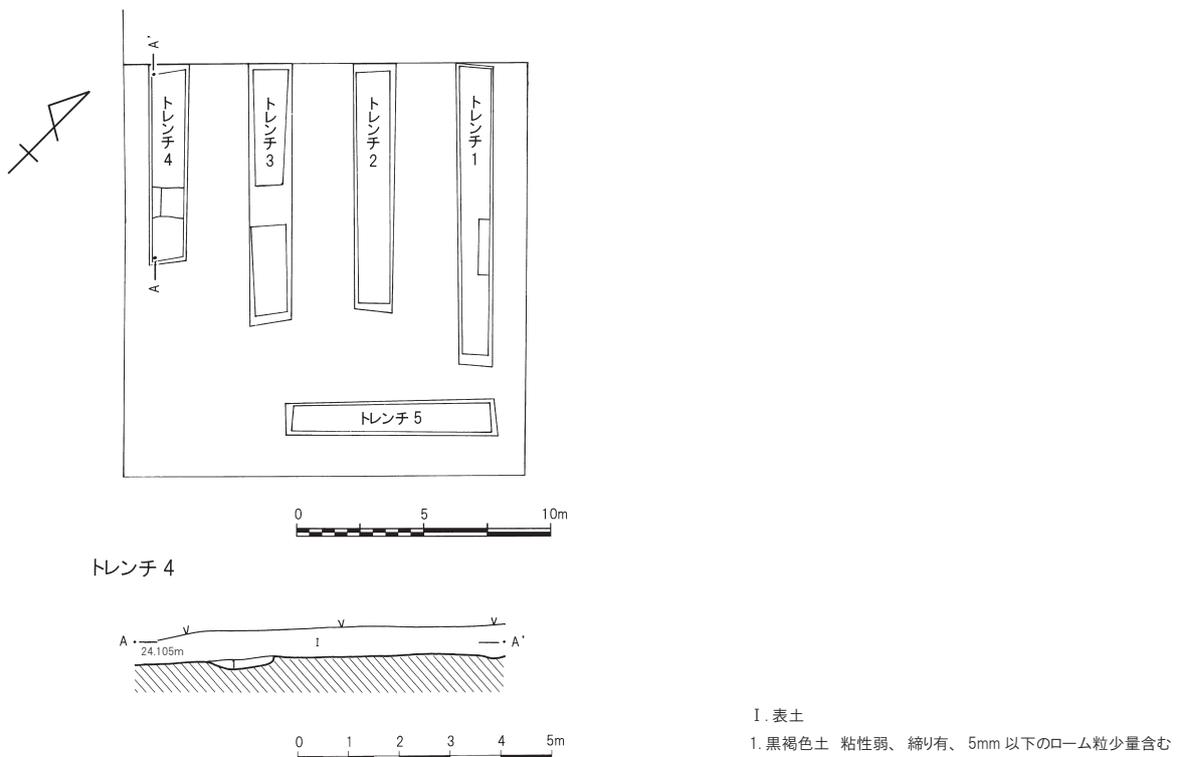
II 亀居遺跡第 78 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2018 年 1 月 30 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2018 年 2 月 5 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 5 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約 10 ～ 60 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 61 図 亀居遺跡第 78 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第 11 章 鶴ヶ舞遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約 500～900 m 程下った左岸に位置している。標高 21～23 m で現谷底との比高差は 5 m を測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち、僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は約 200 m 西に亀居遺跡、約 150 m 南に江川南遺跡、約 200 m 南東に東久保遺跡がある。

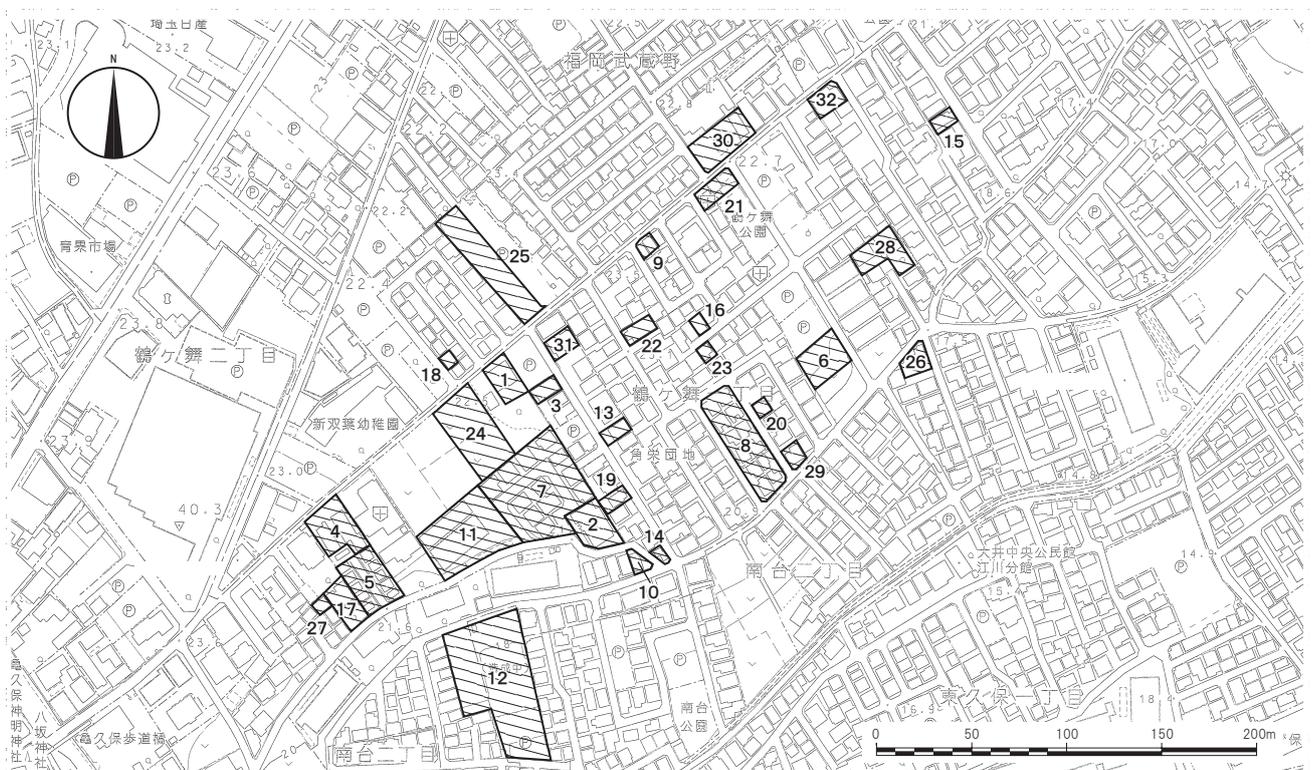
1987 年の最初の調査から 2019 年 4 月現在、32 地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落とし穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壺が出土している。

II 鶴ヶ舞遺跡第 26 地点

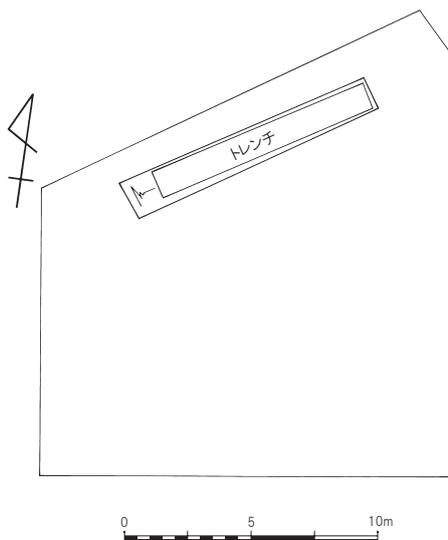
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 11 月 14 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 12 月 5 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 1 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から 80cm まで掘削したが、地山ローム層は確認できなかった。調査区は南に向かって傾斜しており、その傾斜に合わせて 1m 以上の盛土による整地が確認できることから、保護層の確保が可能であると判断した。写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。



第 62 図 鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第 63 図 鶴ヶ舞遺跡第 26 地点調査区域図 (1/300)

第 40 表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ舞 67- 3	(1986.1.28 ~ 29)	499	個人住宅	土坑 1、縄文中期土器片	東部VI
2	鶴ヶ舞 1-65-6	(1987.4.16 ~ 30)	495	個人住宅	炉穴 3、土坑 2、平安時代溝 1、旧石器、土器片、須恵器	東部VIII
3	鶴ヶ舞 1-69-1	(1994.7.10)	141	駐車場造成	遺構なし	町内IV
4	鶴ヶ舞 1-60-6・10	(1997.8.26 ~ 29)	318	共同住宅	近代溝 6、井戸 1	町内VII
5	鶴ヶ舞 1-61-3	(1997.11.4 ~ 6)	266	分譲住宅	近世溝 2	町内VII
6	鶴ヶ舞 1-84	(2002.9.10 ~ 13)	474	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
7	鶴ヶ舞 1-65-1	(2003.5.29 ~ 6.14) 2003.6.23 ~ 7.3	2,030	分譲住宅	旧石器礫群、縄文土坑 1	町内XII
8	鶴ヶ舞 1-69-46 ~ 51・61 ~ 66	(2005.7.11 ~ 8.11) 2005.8.24	1,087	分譲住宅	炉穴 6、ピット 3	大調 18
9	鶴ヶ舞 1-16-5	(2005.11.1)	104	共同住宅	ピット 3、遺物なし	市内 2
10	鶴ヶ舞 1-64-6	(2006.6.5)	96	個人住宅	根きり溝 1、旧石器時代礫群 1	市内 3
11	鶴ヶ舞 1-65-2・6	(2006.9.21 ~ 10.5)	1,316	建物解体工事	遺構遺物なし	市内 3
12	鶴ヶ舞 1-58-4	(2011.7.19 ~ 21)	97.7	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
13	鶴ヶ舞 1-78-7	(2011.7.21)	115	個人住宅	遺構なし、土器片	市内 14
14	鶴ヶ舞 1-79-7	(2011.9.22)	56.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
15	南台 798-33	(2011.11.22)	100.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
16	鶴ヶ舞 1-73-10	(2012.9.7)	63	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 15
17	鶴ヶ舞 1-58-2	(2012.11.16) 2012.11.16	324.2	個人住宅	溝 1、土器片、近世陶磁器	市内 15
18	福岡武蔵野 1408-4 (9-6)	(2013.1.21)	61	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
19	鶴ヶ舞 1-79-25	(2013.4.10)	94.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 18
20	鶴ヶ舞 1-69-70	(2013.5.13)	68.55	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
21	鶴ヶ舞 1-73-27・51・ 52・54	(2013.10.23)	135.55	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 18
22	鶴ヶ舞 1-69-35・36	(2014.12.4)	171	個人住宅	遺構遺物なし	市内 20
23	鶴ヶ舞 1-73-19	(2015.6.29)	72	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 22
24	鶴ヶ舞 1-67-3・4の一部	(2015.8.31)	499	個人住宅	遺構遺物なし	市内 22
25	福岡武蔵野 1406-7・8・ 10・11	(2013.5.2)	1,124.99	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 18
26	鶴ヶ舞 1-99-10 ~ 12	(2016.12.5)	252	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
27	鶴ヶ舞 1-58-8	(2017.4.13)	54	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
28	鶴ヶ舞 1-85-3・4・19・ 20・21・22	(2017.11.16 ~ 17)	497.81	分譲住宅	炉穴 6、土坑 1、ピット 2、縄文土器	市内 24
29	鶴ヶ舞 1-69-103	(2017.11.17)	106	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
30	福岡武蔵野 1398-1	(2018.6.28)	265.92	宅地造成	遺構遺物なし	未報告
31	鶴ヶ舞 1-69-94	(2018.9.10)	297	個人住宅	土坑 1、縄文土器片	未報告
32	南台 793-2の一部、17	(2019.3.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

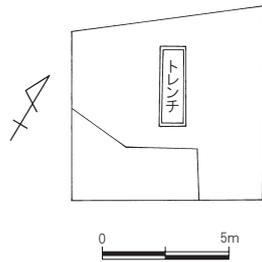
Ⅲ 鶴ヶ舞遺跡第 27 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 2 月 21 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 4 月 13 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m のトレンチ 1 本を設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から約 50 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

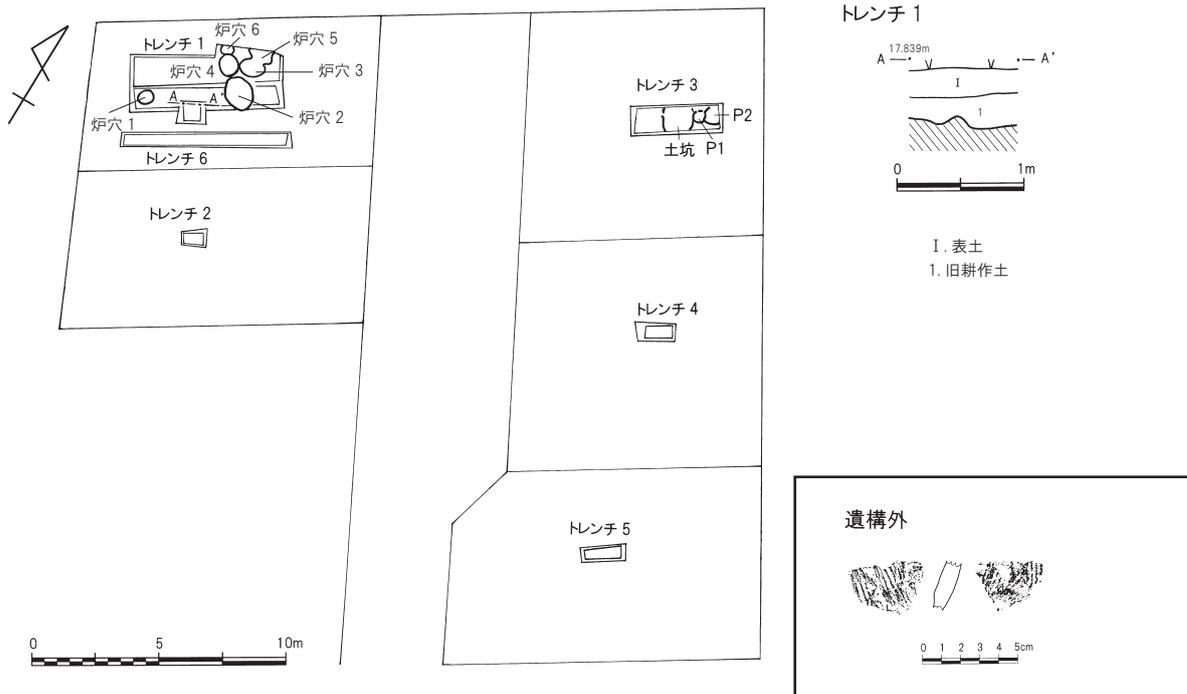


第 64 図 鶴ヶ舞遺跡第 27 地点調査区域図 (1/300)

Ⅳ 鶴ヶ舞遺跡第 28 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 10 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 11 月 16・17 日に試掘調査を実施した。



第 65 図 鶴ヶ舞遺跡第 28 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/60)、出土遺物 (1/4)

試掘調査は幅約0.7～1mのトレンチ6本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約30～70cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、炉穴6基を検出したが保護層の確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 炉穴

炉穴は調査区北西部で6基まとまって検出した。本地点は南側に向かって傾斜しており、今回検出した炉穴群は南には広がらず、北側に向かって延伸しているものと考えられる。規模等詳細については第41表に掲載した。出土遺物はない。

② 土坑

調査区北東部で検出した。ピット1と東側で接しており、切り合い関係からピット1より古い。平面形態は不明。確認面径は102×(57)cm、底径81×(53)cm、深さ55.2cmを測る。出土遺物はない。

③ ピット

ピットは調査区北東部、トレンチ3で2基検出した。ピット1は西側で土坑、東側でピット2と接している。切り合い関係から土坑及ピット2より新しい。平面形態はほぼ円形を呈し、確認面径52×(26)cm、底径11×7cm、深さ37.2cmを測る。ピット2はトレンチ3の東端で検出した。西側でピット1と接する。平面形態は不明。規模は確認面径(55×35)cm、底径(53×33)cm、深さ14.6cmである。いずれも出土遺物はない。

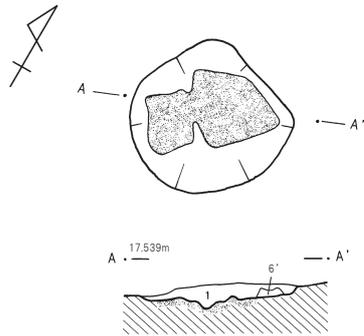
④ 出土遺物

遺物はわずかに遺構外で出土した。図化が可能だったものは縄文土器片1点のみである。深鉢の胴部で、外面に条痕文を施す。胎土に繊維を含み、白色粒子が目立つ。前期か。

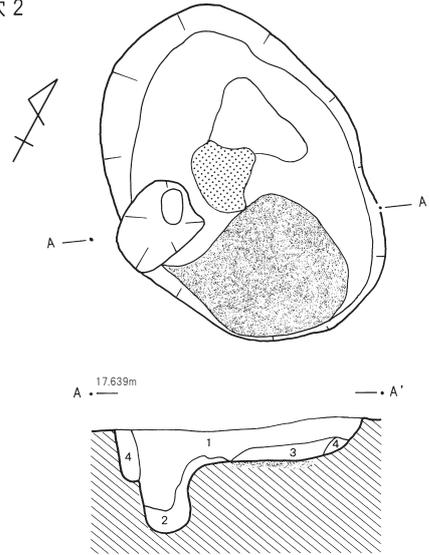
第41表 鶴ヶ舞遺跡第28地点炉穴一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	64×61	53×30	11	4	不明	(87)×69	53×(52)	18.6
2	楕円形	138×98	74×56	21.8	5	不明	99×(59)	58×(49)	37
3	不明	101×79	60×56	23.2	6	不明	—	60×(30)	25

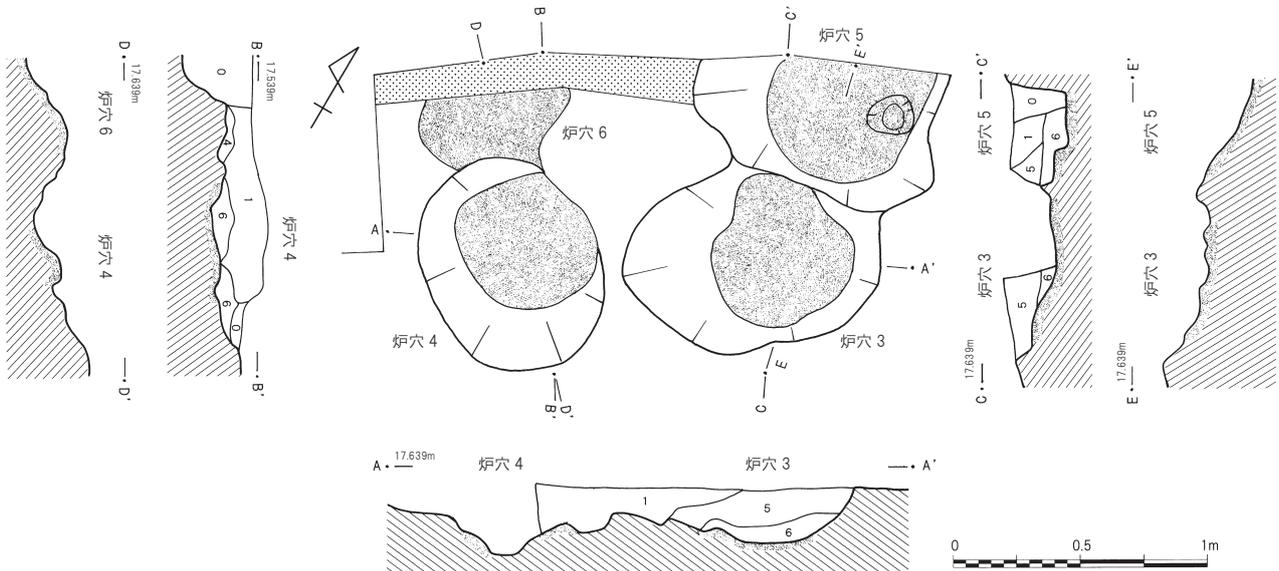
炉穴 1



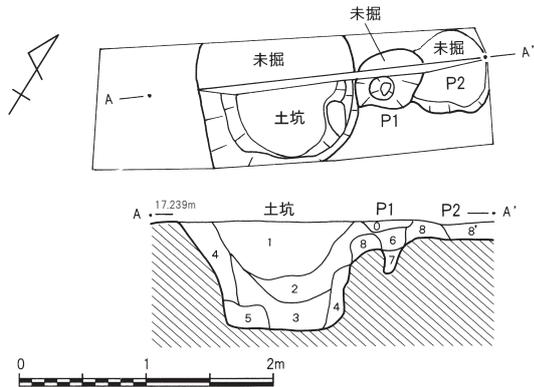
炉穴 2



炉穴 3~6



土坑・ピット



炉穴

0. 攪乱

- 1. 黒褐色土 粘性弱、締り強、2mm以下のローム粒・炭化物・焼土粒微量含む
- 2. 黒褐色土 粘性有、締りやや強、3mm以下のローム粒少し、炭化物・ロームブロック微量含む
- 3. 黒褐色土 粘性やや弱、締り強、3mm以下の焼土粒・ローム粒微量、炭化物まれに含む
- 4. 黒褐色土 粘性やや弱、締りやや弱、シミ状にロームを含む
- 5. 黒褐色土 粘性弱、締り極強、3mm以下の焼土粒・ローム粒微量に含む
- 6. 黒褐色土 粘性やや弱、締り強、3mm以下の焼土粒少量、焼土ブロックまれに含む
- 6'.6層に比べて焼土粒微量

土坑・ピット

0. 攪乱

- 1. 黒褐色土 (1層のみ他より暗め) 粘性有、締り強、2mm以下のローム粒・炭化物微量含む
- 2. 黒褐色土 粘性有、締り強、シミ状にロームブロック・5mm以下のローム粒微量含む
- 3. 暗褐色土 粘性強、締り強、5mm以下のローム粒少量含む
- 4. 鈍い黄褐色土 粘性強、締り強、ローム主体、炭化物微量含む
- 5. 鈍い王褐色土 粘性強、締り強、ロームブロック少量含む
- 6. 黒褐色土 粘性有、締り強、2層に近い
- 7. 黒褐色土 粘性有、締り有、5mm以下のローム粒少量、炭化物微量含む
- 8. 黒褐色土 粘性有、締り強、シミ状にロームブロック・5mm以下のローム粒・炭化物微量含む
- 8'. 黒褐色土 粘性有、締り強、8層にロームブロックを稀に含む

第66図 鶴ヶ舞遺跡第28地点炉穴 (1/30)、土坑・ピット (1/60)

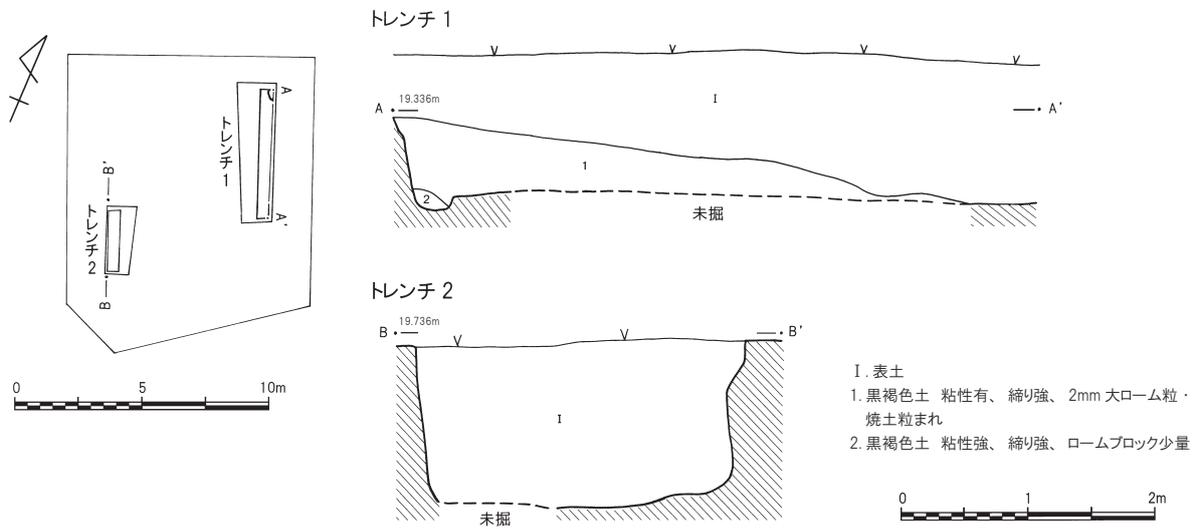
V 鶴ヶ舞遺跡第 29 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 10 月 12 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 11 月 17 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。調査区北側では、現地表面から約 100 ～ 120 cm で地山ローム層を確認したが、南側は傾斜地になっており、地山ローム層は確認できなかった。

調査の結果、遺構・遺物は検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 67 図 鶴ヶ舞遺跡第 29 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)

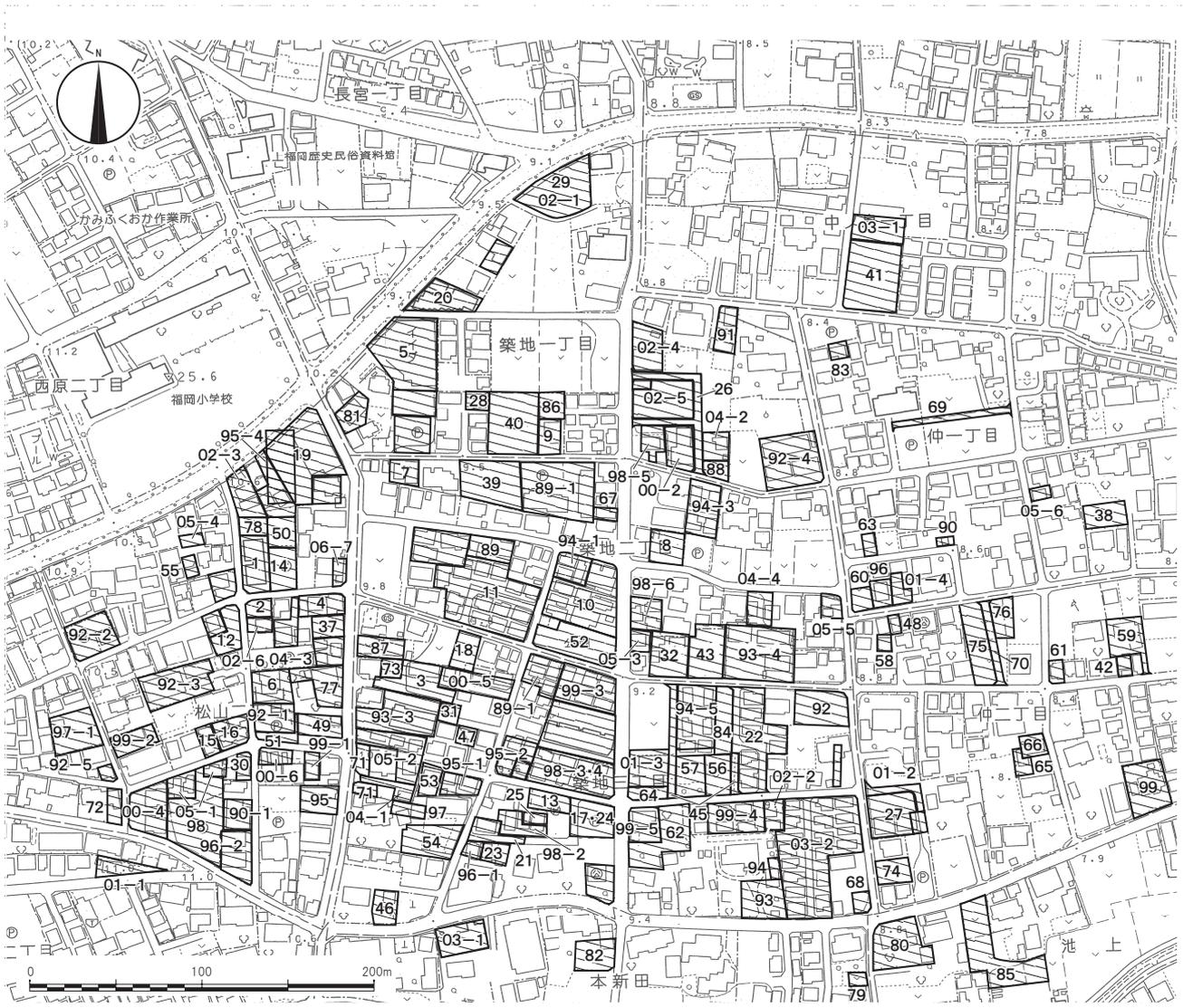
第12章 松山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2019年4月現在、約150地点で試掘および調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。



第68図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第42表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	松山 2-5-4	1978.10.14～11.6	479		住居跡 2	上埋 I
2次	松山 2-6-7	1979.4.26～5.1	161		住居跡 1、土師器	上埋 II
3次	築地 3-1-20	1979.8.7～16	733		住居跡 1、土器	上埋 II
4次	松山 2-6-9	1982.9.13～24	277		遺構なし、平安土器	上埋 V
5次	築地 1-1-16	1983.4.20～28	1,461	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 VI
6次	松山 2-6-16	1984.8.13～28	330	住宅建設	溝 1、土坑 5	上埋 VII
7次	築地 2-3-19	1986.1.13～21	237	個人住宅	溝 1	上埋 VIII
8次	築地 2-4-12	1986.7.1～8	319	個人資材置場	平安土器散布地	上埋 IX
9次	築地 1-1-50	1987.10.1～3	288	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 X
88試	築地 3-3-4	(1989.1.9～10)	370	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 11
89試	築地 2-3-11	(1989.6.27～30)	1,342	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 12
90試	松山 2-2-9	(1990.9.7～12)	304	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 13
10次	築地 2-2-6	1991.10.14～18	450	個人住宅	平安住居跡(国分期) 2、溝 1	上埋 14
11次	築地 2-1-10	1991.10.18～21	2,029	宅地造成	平安住居跡(国分期) 1、溝 1、土坑 2、井戸状遺構 1	上埋 14
92試(1)	松山 2-6-22、23	(1992.4.17～24)	567	駐車場	遺構遺物なし	上埋 15
92試(2)	松山 2-4-7	(1992.5.6～11)	571	駐車場	遺構遺物なし	上埋 15
12次	松山 2-3-11	1992.5.12～20	393	宅地造成	平安井戸跡 1	上埋 15
13次	築地 3-2-18	1992.5.18～30	234	宅地造成	平安住居跡 1	上埋 15
14次	松山 2-5-17	(1992.5.21～30)	432	宅地造成	中世井戸跡 2	上埋 15
92試(3)	松山 2-3-31、13	(1992.6.12～18)	871.9	宅地造成	なし	上埋 15
92試(4)	築地 1-3-17	(1992.6.3～11)	998	共同住宅	溝遺構、井戸状遺構	上埋 15
92試(5)	松山 1-4-32	(1992.10.30)	78.4	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 15
93試(1)	松山 2-3-1	(1993.4.5～16)	509.19	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 16
15次	松山 2-3-41	1993.4.19～28	148	個人住宅	平安住居跡 1	上埋 16
17次	築地 3-2-19	1993.5.10～24	597	駐車場	古墳末期住居跡 1	上埋 16
16次	松山 2-3-43、44	1993.7.2～15	156.76	個人住宅	平安住居跡 1	上埋 16
93試(3)	築地 3-1-17、31	(1993.10.15～20)	994.22	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 16
93試(4)	築地 2-5-2の一部	(1993.10.22～26)	1,246.63	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 16
18次	築地 3-1-16	1993.12.1～7	290	駐車場	奈良末～平安住居跡 1	H5 上社
19次	松山 2-5-9	1994.1.17～2.3	1,531.38	貸店舗	平安住居跡 2、溝跡 1	上調 3
94試(1)	築地 2-2-3	(1994.5.30)	310.48	分譲住宅	遺構遺物なし	上埋 17
20次	築地 1-2-4	1994.6.24～7.1	559.17	共同住宅	古墳末期竪穴住居跡 1、土師器、須恵器破片	上埋 17、上調 5
94試(3)	築地 2-4-7	(1994.8.3～12)	532.36	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 17
95試(1)	築地 3-1-9、10	(1995.5.10～19)	303	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 18
95試(2)	築地 3-3-2	(1995.5.22～6.15)	542	宅地造成	古墳末期住居跡 1	上埋 18
95試(3)	築地 3-2-23	(1995.10.17～20)	153.25	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 18
21次	築地 3-2-23	1995.10.17～20	378.53	市道敷設	古墳末期住居跡 1	上埋 18
95試(4)	松山 2-5-8、16	(1995.12.22)	413	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 18
96試(2)	松山 2-2-1	(1996.7.22～24)	489	宅地造成	溝 1(時期不明)	上埋 19
97試(1)	松山 1-4-17	(1997.9.11～18)	591	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 20
22次	築地 3-4-15、23	1997.12.15～24	419	個人住宅	平安初頭住居跡 1、奈良末期掘立柱建物 3、縄文集石土坑 7、土師器、須恵器、縄文土器、墨書土器 1	上埋 20
98試(1)	築地 3-2-13、24	(1998.4.16)	240	宅地造成	23次調査参照	上埋 21
98試(2)	築地 3-2-23 外 2 筆	(1998.4.17、5.20～22)	450	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 21
98試(3,4)	築地 3-3-1	(1998.4.20～5.20)	922	宅地造成	中近世溝 1 他	上埋 21
23次	築地 3-2-24 の一部	1998.5.11～14	120	個人住宅	奈良後半住居跡 1	上埋 21
98試(5)	築地 1-3-18	(1998.7.1)	167.06	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 21
24次	築地 3-2-4 の一部	1998.9.8～21	50	農地改良	飛鳥住居跡 1	H10 上社
98試(6)	築地 2-5-6	(1998.9.1～4)	363	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 21
25次	築地 3-2-23 外 2 筆	1999.3.3～12	240	個人住宅	奈良初頭住居跡 2	上埋 21
99試(1)	松山 2-1-10	(1999.4.16)	166	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 22
99試(2)	松山 2-3-3	(1999.5.6～12)	340		溝 1(時期不明)	上埋 22
99試(3)	築地 3-3-14、15	(1999.6.22～24)	778.29	宅地造成(分譲)	遺構遺物なし	上埋 22
99試(4)	築地 3-5-15 の一部、24、27	(1999.8.2～6)	745.58		ピット 5	上埋 22
99試(5)	築地 3-5-28	(1999.8.26～9.1)	331.3	個人住宅	溝 1(時期不明)	上埋 22
26次	築地 1-3-21	2000.5.15～6.2 (2000.4.27～5.12)	627.9	市道設置	井戸 2、竪穴住居跡 1、土師器、須恵器、陶磁器片	上埋 23
00試(2)	築地 1-3-5、25、27、35	(2000.5.17～25)	687.3	共同住宅	土坑 1	上埋 23
27次	仲 2-1-10 の一部	2000.6.12～7.3 (2000.5.22～6.8)	912	共同住宅建設及び市道設置	奈良竪穴住居跡 1、土師器、須恵器、陶磁器片	上埋 23
00試(4)	松山 2-2-5	(2000.10.30)	592	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 23

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
28次	築地 1-1-28	2001.2.8～21	165.6	個人住宅	奈良住居跡 1	上埋 23
00試(5)	築地 3-1-28	(2001.2.2～13)	614	宅地造成(分譲)	飛鳥～奈良住居跡 1	上埋 23
00試(6)	松山 2-1-8、17	(2001.3.21)	174.9		遺構遺物なし	H12 上社
01試(1)	新田 2-450-1	(2001.4.12～13)	204.15	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 24
01試(2)	仲 2-1-10	(2001.5～18)	168	地区計画道路	近代以降溝 3	上埋 24
01試(3)	築地 3-4-10	(2001.5.10～15)	434.59	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 24
01試(4)	仲 1-1-2、3、14	(2001.9.12)	694.68	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 24
02試(1)	築地 1-2-8	(2002.5.20～23)	978	遺構所在確認	竪穴住居跡 1	上埋 25
02試(2)	築地 3-5-35、36	(2002.7.11)	248.09	宅地造成(分譲)	遺構遺物なし	上埋 25
29次	築地 1-2-8の一部	2002.7.2～8.9	36	個人住宅	竪穴住居跡 1	上埋 25
02試(3)	松山 2-5-7	(2002.8.5)	358.57	宅地造成(分譲)	遺構遺物なし	上埋 25
02試(4)	築地 1-3-28	(2002.8.20～21)	479	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 25
02試(5)	築地 1-3-22、25、30	(2002.8.22～28)	640.68	遺構所在確認	竪穴住居跡 1【盛土保存】	上埋 25
02試(6)	松山 2-6-5	(2002.9.9)	147	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 25
03試(1)	本新田 1-23	(2003.4.16～21)	1,080.48	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 26
03試(2)	築地 3-5-3 他 6筆	(2003.8.19～20)	2,578.02	宅地造成	飛鳥竪穴住居跡 2【盛土保存】	上埋 26
30次	松山 2-2-3	2003.10.3～10	142.47	個人住宅	奈良竪穴住居跡 1【調査実施】	上埋 26
04試(1)	築地 3-1-16、32	(2004.4.22～23)	976	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 27
04試(2)	築地 1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 27
04試(3)	松山 2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 27
04試(4)	築地 2-5-14、25、27	(2004.8.5)	280	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 27
04試(5)	築地 3-4-12	(2004.9.6～8)	911	宅地造成	溝 1	上埋 27
05試(1)	松山 2-2-4の一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05試(2)	築地 3-1-32、34、43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05試(3)	築地 2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
31次	築地 3-1-69	2005.6.14～23 (2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡 1	市内 1
05試(8)	築地 2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡 1	市内 1
32次	築地 2-5-3の一部	(2005.8.30～9.7) 2005.9.8～13	132	個人住宅	平安時代住居跡 2	市内 1
05試(5)	築地 2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05試(4)	松山 2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05試(6)	仲 1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05試(7)	松山 2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
37	松山 2-6-10、13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
38	仲 1-4-3、9、12、13、24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
39	築地 2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
40	築地 1-1-5	(2007.2.2～8) 2007.2.21～3.9	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡 1、中世遺構検出	市内 3
41	中ノ島 1-2-5	(2007.2.7～9) 2007.2.21～3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内 3
42	仲 2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
43	築地 2-5-2	(2007.4.11～24)	668.13	分譲住宅	掘跡 1、土坑 1、旧石器ナイフ 1点	市内 4
44	築地 3-2-10、14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
45	築地 3-4-7の一部外	(2008.9.4～30) 2008.10.1～23	390	道路	奈良平安時代住居跡 2、掘立柱建物跡 2、竪穴状遺構 1、時期不明の溝 10、土坑、ピット	市内 6
46	築地 3-1-33、35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
47	築地 3-1-52	(2009.5.11～12)	121	個人住宅	ピット	市内 8
48	仲 2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
49	松山 2-6-1、14、22の一部	(2009.10.17～22) 2009.10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代住居跡 1(住居内鍛冶炉検出)、土坑 1、溝 1、ピット 1	市内 8
50	松山 2-5-3、17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝 1、ピット 7	市内 8
51	松山 2-6-22、23、28の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 10
52	築地 2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝 1、落とし穴 1、工事立会	市内 10
53	築地 3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝 3、アナグラ 1、慎重工事	市内 10
54	築地 3-1-6、76～83	(2010.9.21～10.1) 2010.10.4～11.5	539.51	宅地造成	奈良平安時代住居跡 3 確認、西側 1 の住居は盛土保存、他 2 は本調査	市内 9
55	松山 2-4-24の一部	(2011.1.17) 2011.1.18～31	226.37	個人住宅	奈良平安時代住居跡 1、掘立柱建物跡 1、本調査	市内 10
56	築地 3-4-7、8の一部	(2011.4.4～14) 2011.4.11～15	482.53	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡 2 他、本調査(一部工事立会)	市内 11
57	築地 3-4-47	(2011.4.4～15)	241	分譲住宅	隣接する 45 地点から続く H34 号住居跡と溝、遺物なし	市内 14
58	仲 2-2-31	(2011.6.6～8) 2011.6.14	114.54	個人住宅	井戸 1、溝 1、ピット 1、本調査	市内 14

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
59	仲 2-3-6、9	(2011.8.8～9) 2011.8.10～11	559.7	個人住宅	土坑 2、溝 3、縄文土器、須恵器、本調査	市内 14
60	仲 1-1-15	(2012.3.26～27)	165.31	個人住宅	堀跡 1、溝 1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内 14
61	仲 2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝 1、土坑 3、陶磁器	市内 15
62	築地 3-5-11、14、19	(2012.6.11～21) 2012.7.23～8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、奈良平安時代住居跡 1、溝 6、縄文土器、銭貨、他	市内 12
63	仲 1-1-55、56、57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
64	築地 3-4-9	(2012.6.7～15)	314	分譲住宅	溝 4、近世の土坑、陶磁器	市内 15
65	仲 2-1-25、36	(2013.2.13～18)	630	物置	奈良平安時代住居跡 2、掘立柱建物跡 3、土坑 6、溝 6、須恵器、旧石器	市内 15
66	仲 2-1-53、54	2013.2.19～3.21	179	個人住宅		市内 15
67	築地 3-3-13	(2013.2.19)	91.97	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
68	築地 3-5-1	(2013.3.7～8)	166	個人住宅	井戸 1、土坑 1、ピット 4、須恵器、土師器等	市内 15
69	仲 1-51、53、55	(2013.9.10～11) 2013.9.12～17	298	道路	縄文時代集石土坑 1、溝 1	市内 18
70	仲 2-2-39、41	(2013.4.11～16) 2013.4.17～23	220.41	道路	奈良平安時代住居跡 1、中世以降井戸 1、集石土坑 1、溝 2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内 18
71	築地 3-1-16、32、34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ピット 1、古銭、陶器片 1	市内 18
72	松山 1-4-1	(2013.5.24)	198.86	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
73	築地 3-1-56	(2013.8.19) 2013.8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡 1、須恵器	市内 18
74	仲 2-1-37	(2013.12.24～26)	280.24	分譲住宅	井戸 1、集石土坑 1、溝 2、土坑 1、陶磁器	市内 18
75	仲 2-2-2、4	(2014.1.14～20) 2014.8.5～11	606	分譲住宅	平安時代住居跡 1、溝 3、須恵器、土師器	市内 18
76	仲 2-2-48	(2014.1.22～28) 2014.9.26～10.2	120	個人住宅	土坑 1、井戸 1、溝 1、土器	市内 18
	仲 2-2-37 (6区画)	(2014.1.22～28) 2014.11.12～17	120	個人住宅	奈良時代住居跡 1 (70地点と同一)、土師器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22～28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡 1 (70地点と同一)、井戸 2、溝 2、土坑 3、土師器、須恵器、中世陶器	市内 18
77	松山 2-6-2、3、12 の各一部	(2014.3.3～12) 2014.3.13～27	493	個人住宅	平安時代住居跡 1、土坑 3、土師器、須恵器	市内 18
78	松山 2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内 20
79	本新田 395-1 の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内 20
80	池上 372	(2015.3.12)	1,183.4	個人住宅	遺構なし、土器、陶磁器	市内 20
81	築地 1-1-12	(2015.3.23)	247.49	分譲住宅	溝 1、遺物なし	市内 20
82	本新田 411 の一部	(2015.7.30～31)	194	個人住宅	溝 1、堀 1、土器片	市内 22
83	仲 1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝 1、土器片	市内 22
84	築地 3-4-13	(2015.9.15～16)	455	宅地造成	平安時代住居跡 1、井戸 1、縄文土器片、陶磁器	市内 22
85	池上 362-1 の一部、 364、365、366 の一部	(2015.10.1～19) 2015.10.20～26	1,244.47	分譲住宅	奈良平安時代住居跡 2、屋外の焼土跡 1、中近世以降の溝 5、須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石製品	市内 19
86	築地 1-1-4	(2016.7.5・7)	294	分譲住宅	溝 1、陶磁器	市内 24
87	築地 3-1-21、22 の 一部、39、40、41、84	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
88	築地 1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑 1、ピット 2、溝 1、遺物なし	市内 24
89	築地 2-1-11、16	(2017.3.3～6)	287.04	分譲住宅	遺構なし、須恵器片	市内 24
90	仲 1-1-37 の一部	(2017.10.12)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
91	築地 1-3-8 の一部	(2017.10.24)	416	個人住宅	溝 (近世以降) 3、陶磁器、土製品	市内 24
92	築地 3-4-3	(2017.10.30・31)	621	分譲住宅	土坑 (時期不明) 2、ピット (時期不明) 1、縄文土器	市内 24
93	築地 3-5-72	(2017.11.27～28)	571.97	共同住宅	古代住居跡 2、堀跡 1、溝 1、近世以降土坑 2、土師器、須恵器、陶磁器、墨書土器、焙烙	市内 24
94	築地 3-5-4	(2018.3.23)	1,508	作業場	古代住居跡 1、時期不明ピット 1、土師器、陶磁器	市内 24
95	松山 2-1-12	(2018.8.1～10・ 9.13)	353	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
96	仲 1-1-34	(2018.8.20)	165.43	分譲住宅	溝 1、陶磁器片、ガラス容器	未報告
97	築地 3-1-5、7 の各 一部	(2018.10.30)	253	個人住宅	遺構なし、土器片	未報告
98	松山 2-2-4	(2018.11.1)	1,291.34	店舗	遺構なし、土器片、土師器、須恵器、陶磁器	未報告
99	仲 2-4-2	(2019.1.11～15) 2019.1.21・22	673.35	土地分譲	堀状遺構 1、陶磁器、ガラス瓶	市内 23



第69図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

第43表 松山遺跡古代住居跡一覧表(単位 cm)

新住居番号	旧調査年度	調査名	調査率	平面形()は推定	規模()は残存又は推定値	炉 竈: K	設置壁・炉位置	周溝	主軸方向	時期	備考	所収報告書
1	1978	第1次1号住居	完掘	正方形	390×380	K	東	○		国分前半		上埋I
2	"	第1次2号住居	完掘	台形	360×320	K	東	○		国分前半		上埋I
3	1979	第2次3号住居	2/3	(方形)	350×-×10	K	東	一部		国分後半		上埋II
4	"	第3次4号住居	完掘	方形	530×475	K	北	○	N-14-E	国分後半		上埋II
5	1991	第10次5号住居	完掘	長方形	230×350	K	北→東	○		9世紀2半期		上埋14
6	"	第10次6号住居	2/3	方形	340×300	K	東	○		9世紀2半期		上埋14
7	"	第11次7号住居	完掘	正方形	400×400		遺存状態悪い	○		8世紀4半期		上埋14
8	1992	第13次8号住居	3/4	(方形)	400×				N-10-E	8世紀3半期		上埋15
9	1993	第15次9号住居	完掘		A 440×350 B 420×310 C 260×300	K	東→北	○		9世紀1半期	鉄鉢型須恵器出土	上埋16
10	"	第16次10号住居	1/3	正方形	560×560	K	北	○		8世紀4半期		上埋16
11	"	第17次11号住居	完掘	方形	600×600	K	北	○	最大住居	7世紀4半期	黒色土師器出土	上埋16
12	"	第18次12号住居	完掘	方形	400×320	K	北	(○)		8世紀4半期		上埋16、市史通上
13	1994	第19次13号住居	完掘	長方形	450×300	K	北	○	N-5-E	9世紀1半期		上調3
14	"	第19次14号住居	完掘	長方形	450×500	K	東→北	○	N-5-E	9世紀1半期	土錘出土	上調3
15	"	第20次15号住居	完掘	長方形	370×470	K	北西	○		7世紀4半期		上調5
16	1995	7年試掘(2)16号住居			—				N-20-W	6世紀		未報告
17	"	第21次17号住居	完掘	長方形	480×400	K	北	○		7世紀4半期		上埋19
18	1997	第22次18号住居	完掘	長方形	240×460	K	東	○	N-50-E	8世紀末		上埋20
	"	第22次1号掘立	部分	長方形	東西5間・南北3間					8世紀末～9世紀初		上埋20
	"	第22次2号掘立	部分	長方形	東西2間・南北2間					8世紀末～9世紀初		上埋20
	"	第22次3号掘立	部分	長方形	(東西2間)・南北3間					8世紀末～9世紀初		上埋20
19	1998	第23次19号住居	4/5	長方形	260×290			○	N-30-W	8世紀後半	土錘6点出土	上埋21
20	1999	第25次20号住居			—					8世紀初頭	暗紋土師器	市史通上
21	"	第25次21号住居			—					8世紀初頭		未報告
22	2000	第26次22号住居	完掘		360×	K	北	○		7世紀後半	14年度完掘、焼失住居	上埋23
23	"	第27次23号住居	完掘	台形	600×720	K	北	○		8世紀半ば		上埋23
24	2001	第28次24号住居	1/2		340×	K	北西	○		8世紀中葉		上埋24
25	2000	12年度試掘5	2/3				遺存状態悪い					上埋23
26	2002	第29次26号住居	完掘	長方形	420×360	K	北	○		7世紀後半		上埋25
27	2003	15年度試掘27号住居	一部		(盛土保存)						プラン確認	上埋26
28	"	15年度試掘28号住居	1/2		(盛土保存)						プラン確認	上埋26
29	"	第30次29号住居	完掘	長方形	360×420	K	東	○		9世紀前半		上埋26
30	2005	第31次30号住居	完掘	長方形	360×600	K	北	○			土錘出土	市内1
31	"	第32次31号住居	完掘	長方形	380×330×	K	東	○	S-65-E	9世紀中葉		市内1
32	"	第32次32号住居	1/2	長方形	東西4m×南北3m以上	K	東	○	S-85-E			市内1
33	2006	40地点H33号住居	完掘	方形	455×420	K	北	○	N-5-E	8世紀後半		市内3
34	2008	45地点H34号住居	完掘	方形	364×361	K	東	○	N-96-E			市内6
35	2008	45地点H35号住居	1/2	(方形)	504×(222)			○			焼失住居	市内6
36	2009	49地点H36号住居	完掘	方形	280×290	K	東	○	N-92-E	8世紀後半	鍛冶炉1	市内7
37	2010	54地点H37号住居	完掘	方形	434×524	K	北	○	N-13-E	8世紀1四半期		市内9
38	2010	54地点H38号住居	一部	方形	(440)×468	K	東	○	N-107-E	8世紀1四半期	プラン確認	市内9
39	2010	54地点H39号住居	完掘	方形	336×459	K	北	○	N-4-E	8世紀1四半期		市内9
40	2011	55地点H40号住居	3/4	(方形)	(300)×(320)	K	東	○	N-90-E	9世紀前半		市内10
41	2012	62地点H41号住居	3/4	(方形)	410×(300)	K	北	○	N-18-E			市内12
42	2013	65・66地点H42号住居		方形	460×440	K	東	○	N-62-E	9世紀前半		市内15
43	2013	66地点H43A号住居		方形	470×470	—	—	—	N-66-E	9世紀中葉前後以降		市内15
	2013	66地点H43B号住居		方形	700×700	K	東	○	N-66-E	9世紀中葉前後以降		市内15
44	2013	70・76地点H44号住居		(長方形)	(420)×340	K	北	○		8世紀前半		市内18
45	2013	73地点H45号住居		不明	(238×125)			○		8世紀後半		市内18
46	2013	75地点H46号住居		不明	(320×145)			○		8世紀前半～中		市内18
47	2013	77地点H47号住居		不明	410×(95)	K	北	○		8世紀中～後半		市内18
48	2015	85地点H48号住居	完掘	(長方形)	356×(270)	K	北	○	N-65-E	9世紀後半		市内19
49	2015	85地点H49号住居	1/2	(長方形)	(225×70)	K	北	○	N-60-E	9世紀後半		市内19
50	2017	93地点H50号住居	未掘	長方形	473×381	K	北			7世紀末～8世紀前半		市内24
51	2017	93地点H51号住居	一部	不明	—	K	東		N-72-E	8世紀前半		市内24
52	2017	94地点H52号住居	一部	不明	—			○		8世紀		市内24

Ⅱ 松山遺跡第86地点

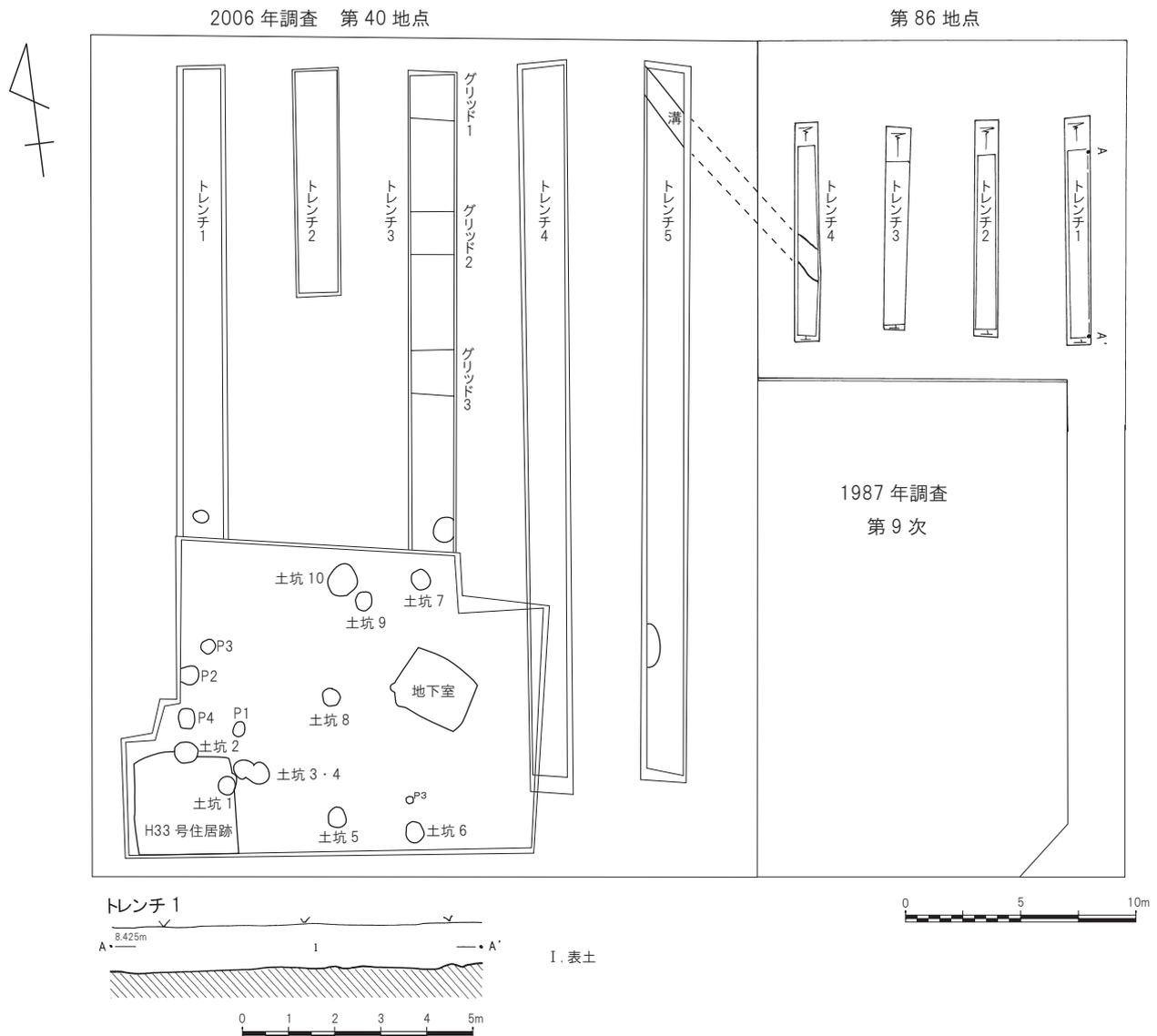
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2016年6月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年7月5日・7日に試掘調査を実施した。

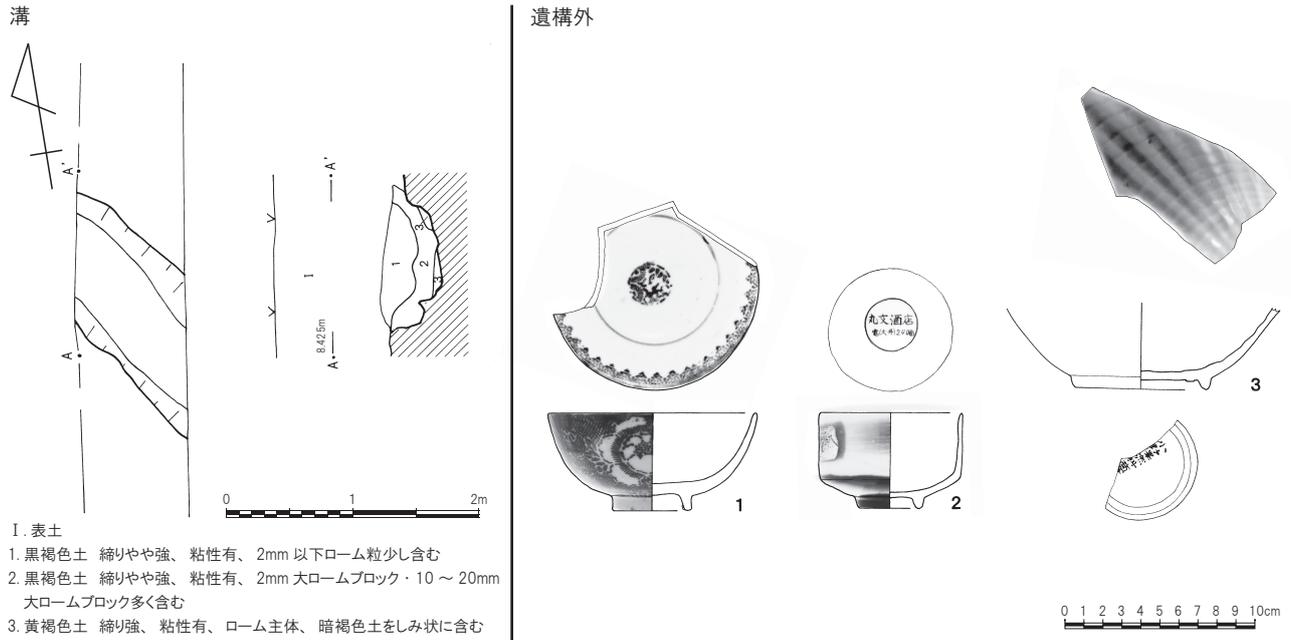
試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。地山ローム層までの深さは約90cmである。調査の結果、隣接する第40地点より続く溝跡1条を検出したが、30cmの保護層確保が可能なため、工事立会の措置をとった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

今回発見された溝跡は西側に隣接する第40地点から続くものである。遺構の規模は上幅110cm、下幅60cm、深さ40cmである。断面形態は不整形だが浅くU字形を呈し、底面は凹凸が目立つ。出土遺物はない。遺物はすべて遺構外の出土である。詳細については、第70図及び第44表に掲載した。



第70図 松山遺跡第86地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)



第 71 図 松山遺跡第 86 地点溝 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第 44 表 松山遺跡第 86 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別 / 器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	地文 / 施文 / 備考	時期 / 型式
第 71 図 -1	遺構外	磁器 / 丸碗	11	4.2	5.2	轆轤成形 / 型紙絵付 / 外面花文他、内面口縁部 瓔珞文、見込み一重圏線、松竹梅文・瀬戸美濃	1880 年以降
第 71 図 -2		磁器 / 湯のみ碗	7.6	3.6	5.1	轆轤成形 / 絵付 / 見込み「丸文酒店 電 (大井) 240 番」ゴム印・瀬戸美濃	昭和 30 年代 後半
第 71 図 -3		磁器 / 鉢?	-	7	-	轆轤型打成形 / クロム青磁 / 底裏に「小野澤燃料商□」	20 世紀代

Ⅲ 松山遺跡第 87 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 7 月 29 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 9 月 14 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1 ～ 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機及び人力で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 ～ 70cm である。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅳ 松山遺跡第 88 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設によるもので、原因者より 2016 年 9 月 20 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北寄りに位置する。協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 10 月 13 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。地山ローム層までの深さは 70 ～ 80 cm である。調査の結果、土坑 1 基、ピット 2 基、溝 1 条を検出した。いずれも近世以降で遺物も伴わないため、今回は遺構として扱わない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

Ⅴ 松山遺跡第 89 地点

(1) 調査の概要

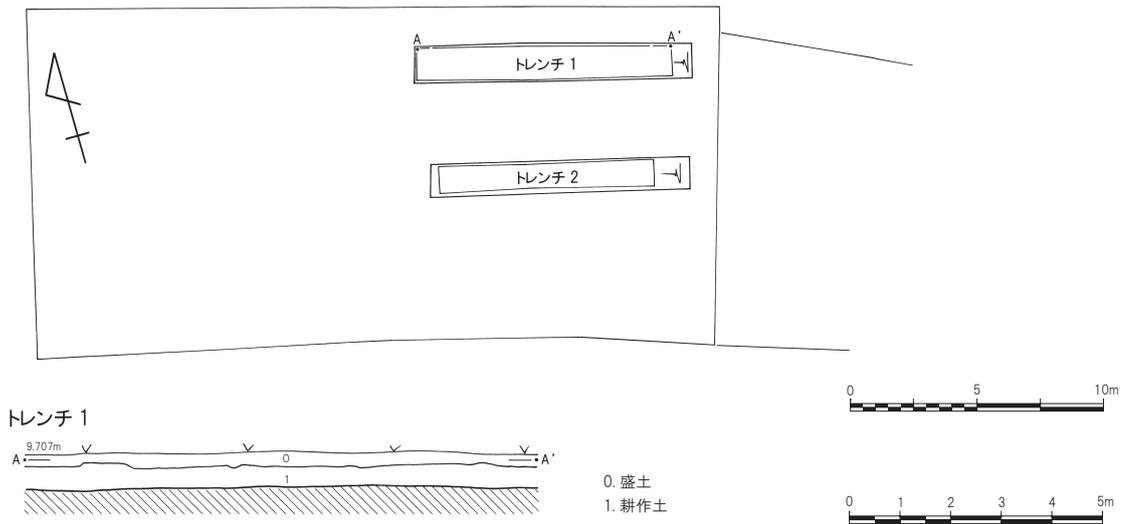
調査は分譲住宅建設も伴うもので、原因者より 2016 年 12 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 3 月 3 日～ 6 日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1 ～ 1.5m のトレンチ 4 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。地山ローム層までの深さは 50 ～ 70 cm である。調査の結果、遺構は確認されなかった。遺構外より須恵器片が 1 点出土している。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

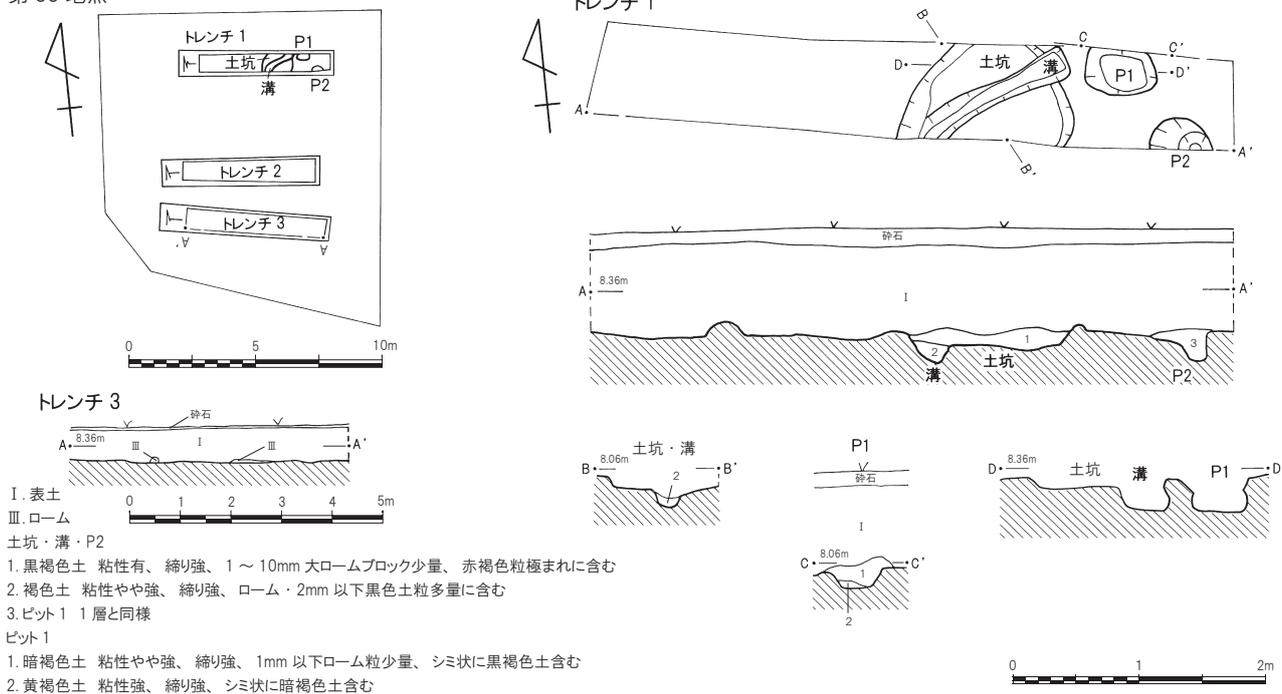
(2) 遺構と遺物

遺物はトレンチ覆土中より出土した。須恵器甕の破片である。外面は平行タタキ、内面はナデによる調整を施す。また外面には自然釉がかかる。胎土に白色粒子が目立ち、白色針状物質もわずかながら見られるため、南比企産である可能性が高い。

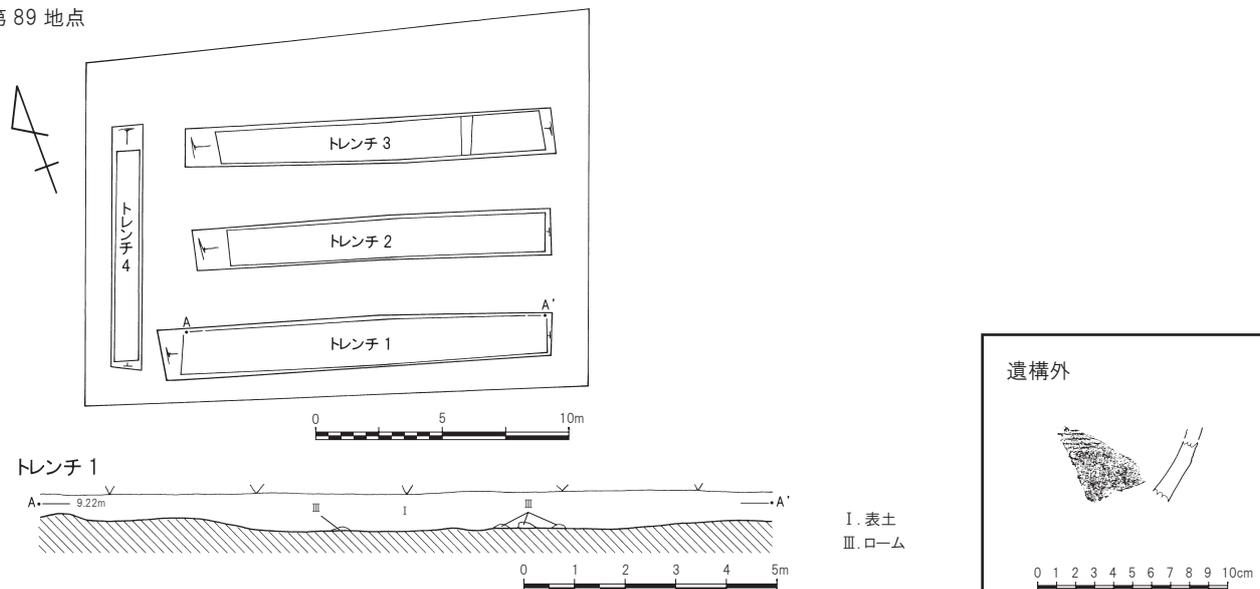
第87地点



第88地点



第89地点

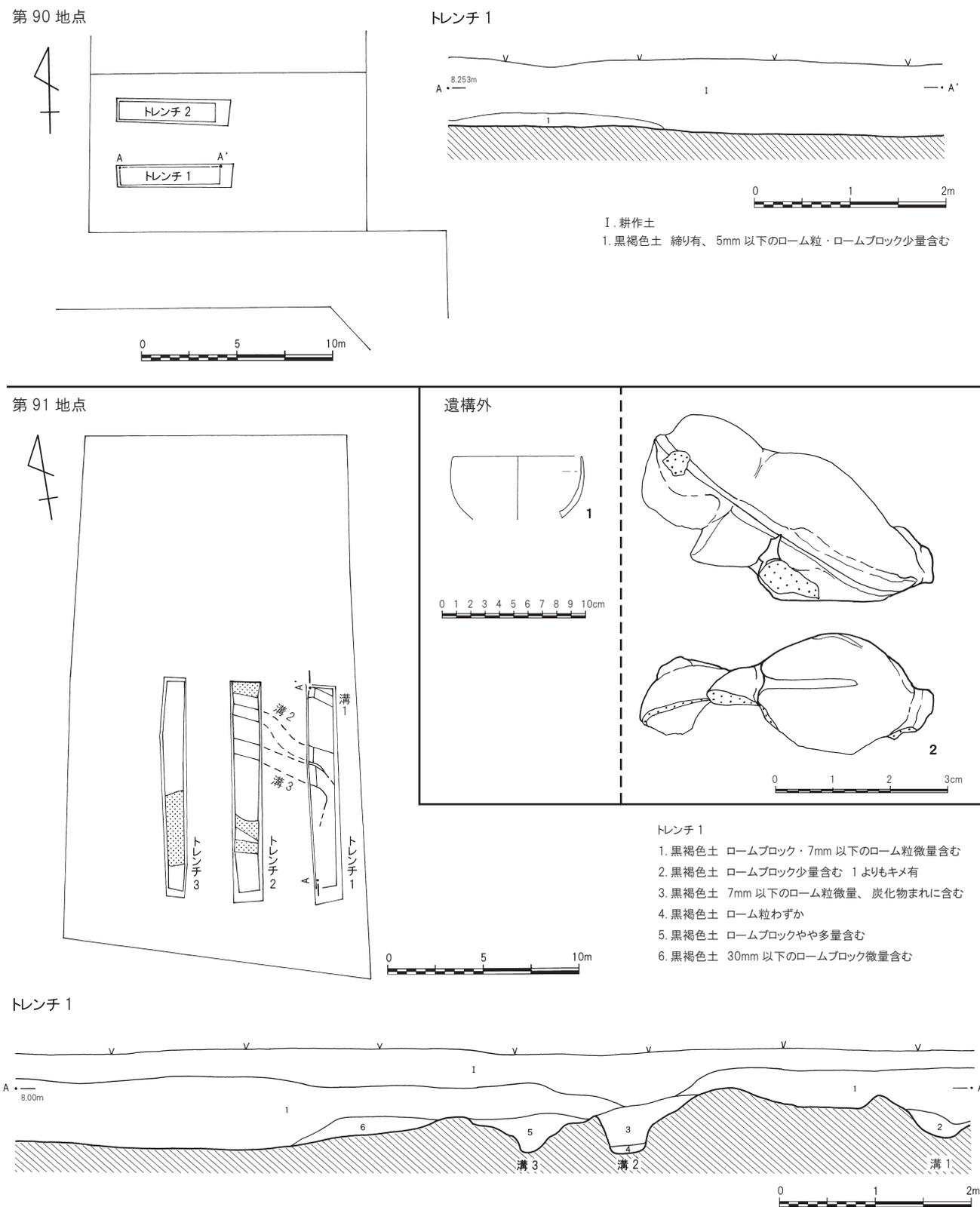


第72図 松山遺跡第87・89地点調査区域図・第88地点遺構配置図(1/300)、土層 (1/150)、土坑・ピット・溝 (1/60)、第89地点出土遺物 (1/4)

VI 松山遺跡第90地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年9月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年10月12日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約



第73図 松山遺跡第90地点調査区域図・第91地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4・1/1)

70cmであった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅶ 松山遺跡第91地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年9月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年10月24日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約40～100cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、近世以降の溝3条を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 溝

溝は全部で3条検出した。いずれも近世以降のものと考えられる。溝1は調査区の最も北側で検出した。トレンチ2では確認されなかったため、調査区外へ延伸するものと考えられる。断面形態は浅いU字形を呈し、上幅60cm、下幅50cm、深さ17.4cmを測る。溝2は溝1と溝3の間に位置し、トレンチ1からトレンチ2にかけて検出した。トレンチ3では確認されなかったため、両者の間で方向を変えるか途切れるものと想定される。断面形態は逆台形を呈し、上幅160cm、下幅50cm、深さ53.6cmを測る。溝3は溝2の南側に位置し、溝2と同様にトレンチ1から2にかけて検出した。トレンチ1では溝2と接する。遺構の規模は上幅110cm、下幅70cm、深さ33.6cmで、断面形態は浅いU字形を呈する。いずれも出土遺物はない。

② 出土遺物

出土遺物はいずれも遺構外からの出土である。詳細については第73図及び第45表に掲載した。

第45表 松山遺跡第91・92地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・備考	時期・型式
第73図-1	遺構外	陶器・碗	(9.0)	—	(4.5)	轆轤成形・透明釉・瀬戸美濃	近代以降
第73図-2		土製品・土人形	—	—	—	型押し成形・内面に指紋有、犬力	近代以降
第74図-1		縄文・深鉢	—	—	—	波状口縁・口縁部に刻み目、2重の波状沈線、連続刺突文・胎土に白色粒子、黒色粒子を含む	縄文中期初頭
第74図-2		土師器・坏?	—	—	—	口縁部・外面に僅かに赤彩	—

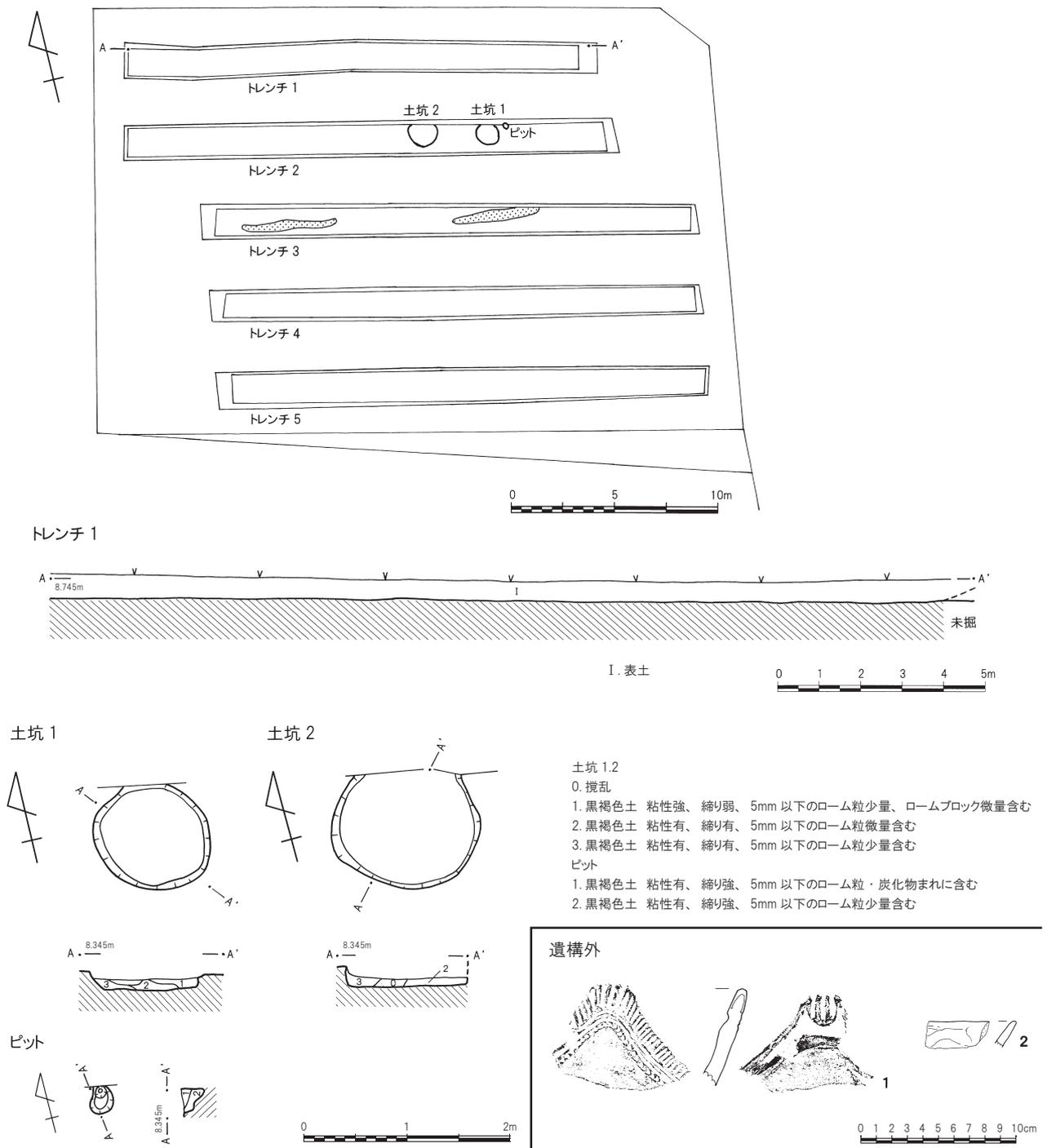
Ⅷ 松山遺跡第92地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2017年10月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年10月30・31日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約50cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、土坑2基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第74図 松山遺跡第92地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

(2) 遺構と遺物

①土坑

土坑は調査区北側、トレンチ2で2基検出した。土坑1は平面形態円形を呈し、確認面径113×103cm、底径100×89cm、深さ21.1cm、土坑2は平面形態円形で、確認面径137×(120)cm、底径129×(116)cm、深さ17.1cmを測る。いずれも出土遺物はなく、帰属時期も不明である。

②ピット

ピットはトレンチ2、土坑1の東側で検出した。平面形態は楕円形で、確認面径(27)×21cm、底径5×4cm、深さ34cmを測る。出土遺物はない。

③出土遺物

出土遺物はいずれも遺構外からの出土である。詳細については第74図及び第45表に掲載した。

IX 松山遺跡第93地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2017年11月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年11月27・28日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約30～60cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、古代住居跡2軒、土坑2基、溝1条、堀跡1～2本を検出したが保護層の確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H50号住居跡

【位置・検出状況】 調査区北東部、トレンチ3で検出した。南側の一部を土坑によって破壊されているが、全体的によく残る。

【形状・規模】 平面形態は長方形を呈する。長軸473×短軸381cm、床面までの深さは約30cmである。

【構造】 主軸は南北を指向する。周溝は北西隅から南東隅にかけての南側で確認した。床面及びピット・周溝等は保護層の確保が可能なため未掘であり、詳細は不明である。

【竈】 住居の北側に位置する。保存措置のため検出は行っていない。竈周辺に粘土塊が集中する箇所があり、竈の構築材であった可能性が考えられる。

【遺物出土状況】 遺物は住居内全域に散逸しており、比較的床面近くに集中する傾向を示す。

【時期】 7世紀末～8世紀前半

② H51号住居跡

【位置・検出状況】 調査区北西部、トレンチ1で検出した。大部分が調査区外に該当する。

【形状・規模】 平面形態は不明である。主軸で300cm以上を測る。確認面からの深さは約40cmである。

【構造】 主軸はN-72°-Eである。柱穴及び周溝は確認できなかった。

【竈】 住居の東側に位置する。大半が調査区外であり、東側は堀跡によって壊されている。今回の調査では、北側の立ち上がりを確認するに留めた。

【遺物出土状況】 点数は多くないが、床面直上から出土した。

【時期】 8世紀前半

③土坑

土坑は2基確認した。いずれも調査区北東部、H50号住居跡の南側に位置しており、前述の通りそれ

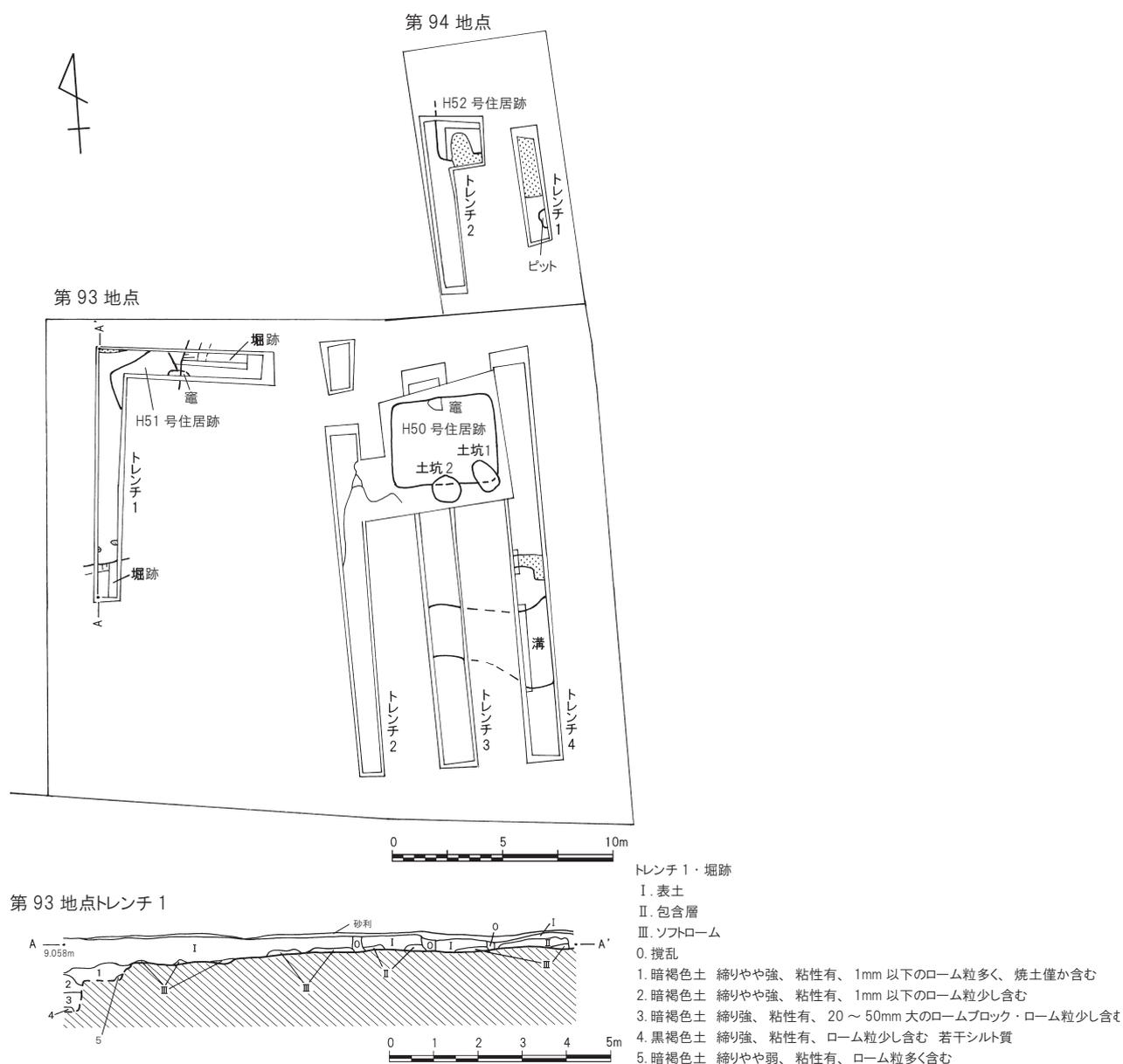
ぞれが H50 号住居跡と切り合い関係にある。出土遺物はないが、土層の観察よりどちらも近世以降のものであると考えられる。

【土坑1】平面形態は楕円形を呈し、確認面径 145 × 95 cmを測る。完掘していないため、底径は不明である。

【土坑2】平面形態は不整形で、確認面径 167 × 164 cm、深さ 33 cmを測る。完掘していないため、底径は不明。

④堀跡

堀跡はトレンチ 1 に位置する。北側に位置する東西方向に入れたトレンチの東端と、西側に位置する南北方向のトレンチの南端で確認した。北側では南北方向に走行し、南側では東西方向に走行するが、土層の観察から本来は 1 本の同一の堀であると考えられる。確認できた堀跡の規模は、上幅 316 cm以上で調査区外へ続く。トレンチ 2 で検出していないため、600 cm以内に収まるものと考えられる。深さは遺構確認面から 130 cm以上である。時期を特定するような遺物は出土していないが、周辺の傾向から中世以降の堀跡であろう。



第75図 松山遺跡第93・94地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)

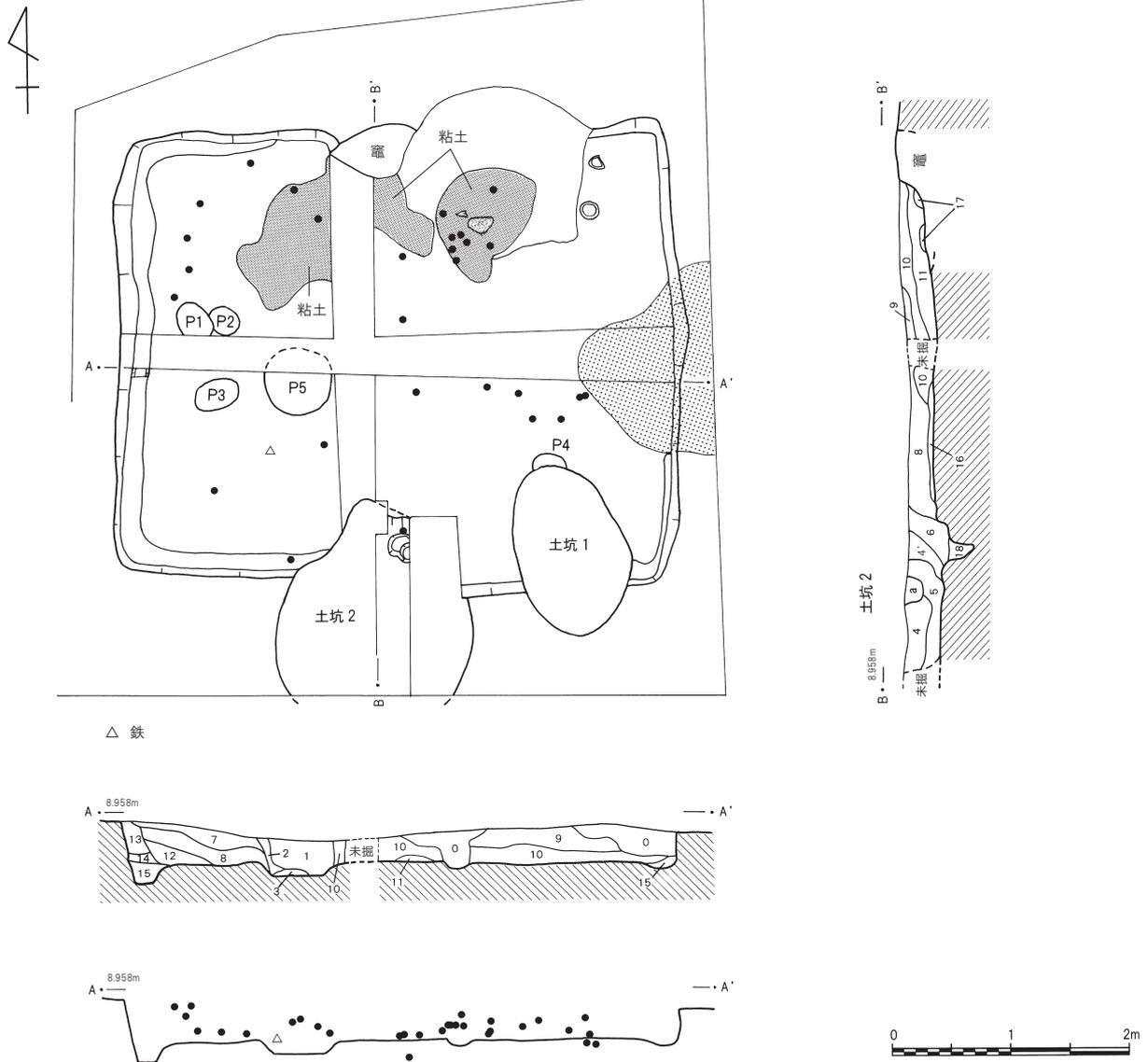
⑤溝

溝は調査区の南東部に位置する。トレンチ3及び4にかけて検出した。東西方向に走行するが、トレンチ2では確認されなかったため途中で方向を変えるか途切れるものと考えられる。遺構の規模は上幅375cm、下幅323cm、深さ41.5cmを測る。断面形態は逆台形を呈する。底部は平らではなく凹凸が激しい。土層に僅かに酸化鉄が混入する。出土遺物がないため時期の特定が難しいが、近世以降の溝と考えられる。

⑥出土遺物

出土遺物の詳細については第78～80図及び第46表に掲載した。

遺物出土状況



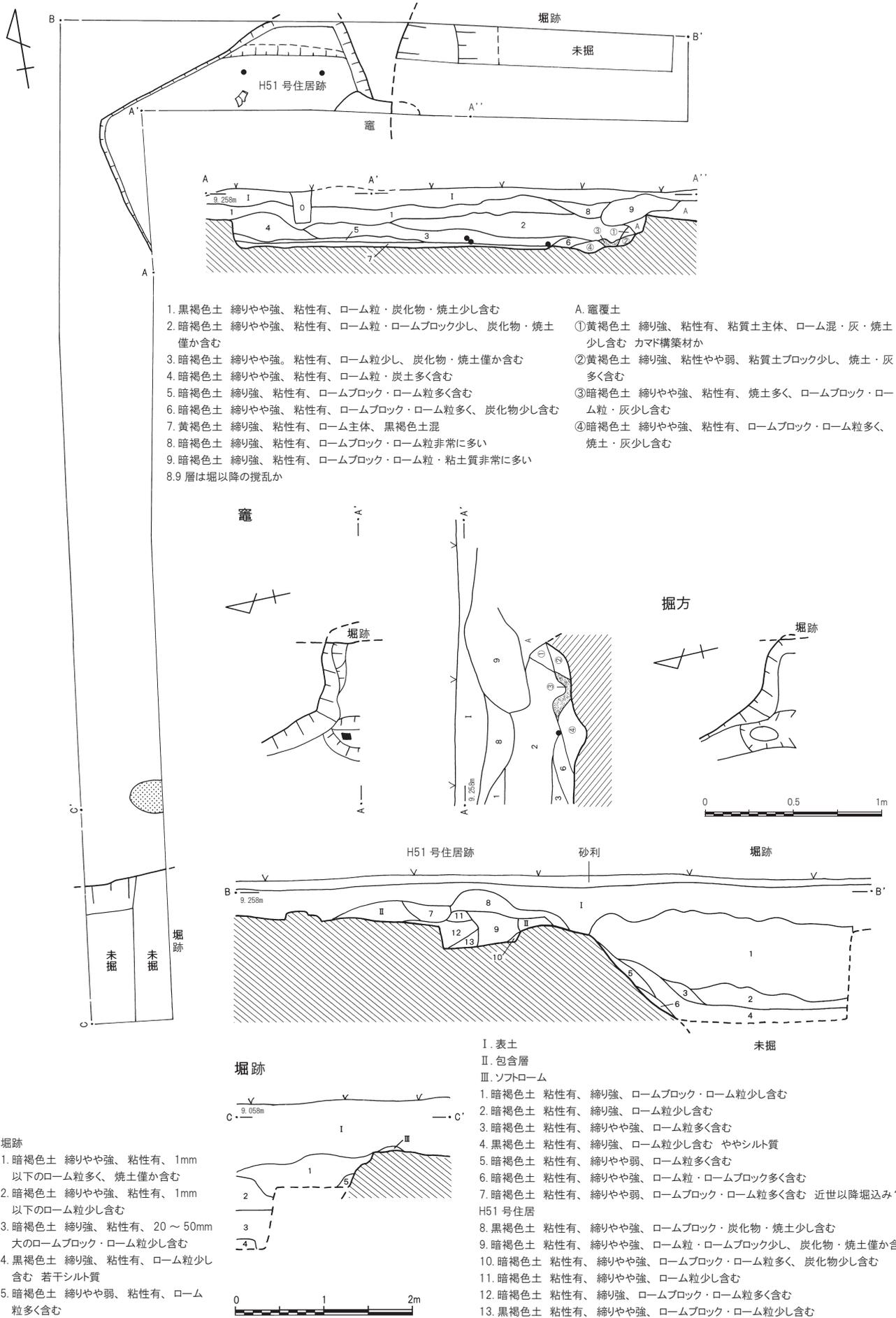
△ 鉄

0. 攪乱

- 1. 黒褐色土 粘性有、締り極強、黒色土ブロック少量、3～5mm 大のローム粒・灰黄色粘土微量、焼土粒まれに含む（住居より新しいピット）
- 2. 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm 以下のローム粒微量に含む（住居より新しいピット）
- 3. 黒褐色土 ロームブロック少量含む（住居より新しいピット）
- a. 灰白色 粘性強 締り強、粘土層（土坑2 粘土貼土坑）
- 4. 灰白色 粘性有、締り強、灰白色粘土ブロック少量含む（住居より新しいピット）
- 4'. 灰白色 粘性有、締り強、粘土ブロック微量含む（住居より新しいピット）
- 5. 黒褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック微量含む（住居より新しいピット）
- 6. 黒褐色土 粘性有、締り強、5mm 以下のローム粒少量含む（住居より新しいピット）
- 7. 黒褐色土 粘性有、締り有、3mm 以下のローム粒少量、炭化物・焼土粒微量含む

- 8. 黒褐色土 粘性有、締り有、7層よりもローム粒が多い
- 9. 黒褐色土 粘性有、締り弱、7層に2mm 以下の白色粘土粒微量含む
- 10. 黒褐色土 粘性強、締り強、9層と同じ
- 11. 黒褐色土 粘性有、締り強、10層よりも粘土粒多い
- 12. 黒褐色土 粘性有、締り有、3mm 以下のローム粒少量、炭化物・焼土粒微量含む
- 13. にぶい黄褐色土 粘性有、締り有、シミ状に黒色土・2mm 以下のローム粒・炭化物微量含む
- 14. 黒色土 粘性有、締り有、シミ状に黒褐色土
- 15. 褐灰色土 粘性強、締り強、2mm 以下のローム粒中量含む
- 16. 黒褐色土 粘性強、締り強、2mm 以下のローム粒多量含む
- 17. 灰白色土 粘性強、締り有、3mm 以下の焼土粒微量含む
- 18. 黒褐色土 ロームブロック少量含む

第76図 松山遺跡第93地点H50号住居跡(1/60)



第77図 松山遺跡第93地点 H51号住居跡 (1/60)、竈 (1/30)、堀跡 (1/60)



I. 表土

III. ソフトローム

1. 黒褐色土 粘性強、締り強、弱グライ化層、3mm以下の酸化鉄粒少量、ローム粒微量含む

2. 黒褐色土 粘性有、締り極強、7mm以下、5mm以下のローム粒微量含む

3. 黒褐色土 粘性やや弱、締り強、3mm以下の焼土粒微量、炭化物まれに含む

4.3と同様

5. 黒褐色土 粘性有、締り極強、ロームブロック多量含む

6. 黒褐色土 粘性弱、締り強、2mm以下のローム粒・炭化物微量含む

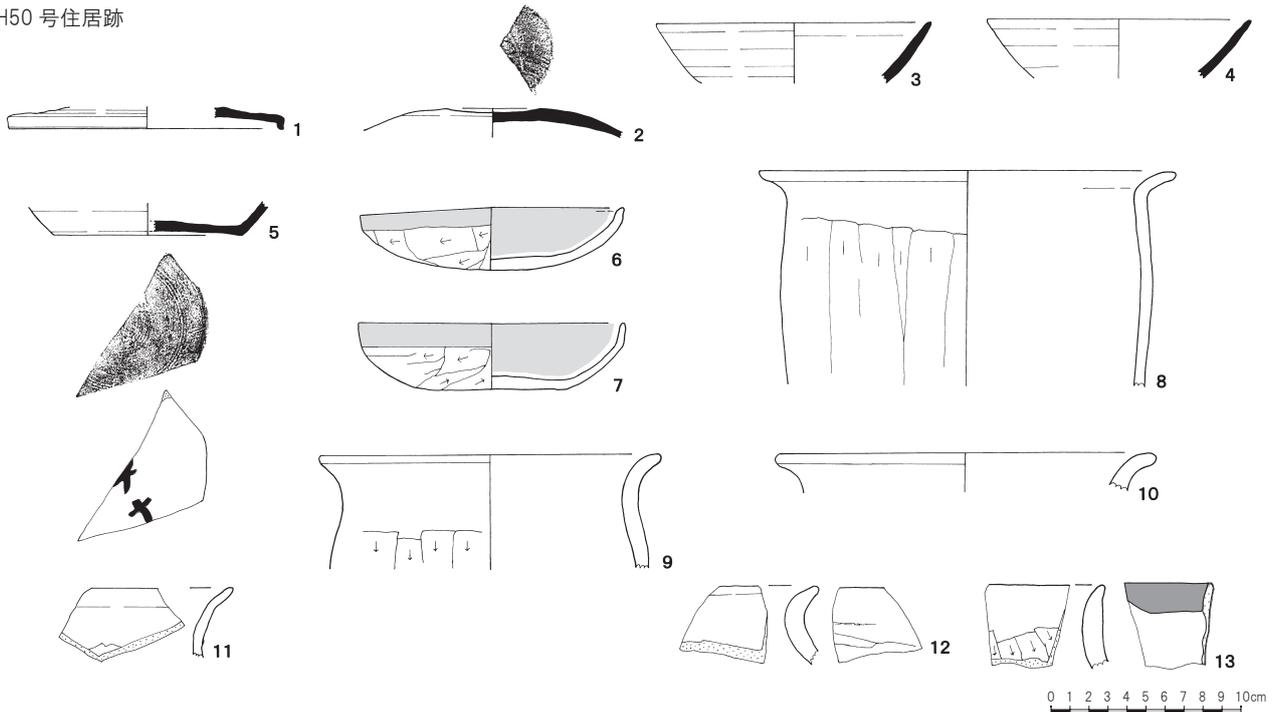
7. 黒褐色土 粘性弱、締りやや強、5mm以下のローム粒少量、焼土粒微量含む

8.1層にロームブロック少量含む

9. 黄褐色土 粘性有、締り有、ロームブロック多量含む

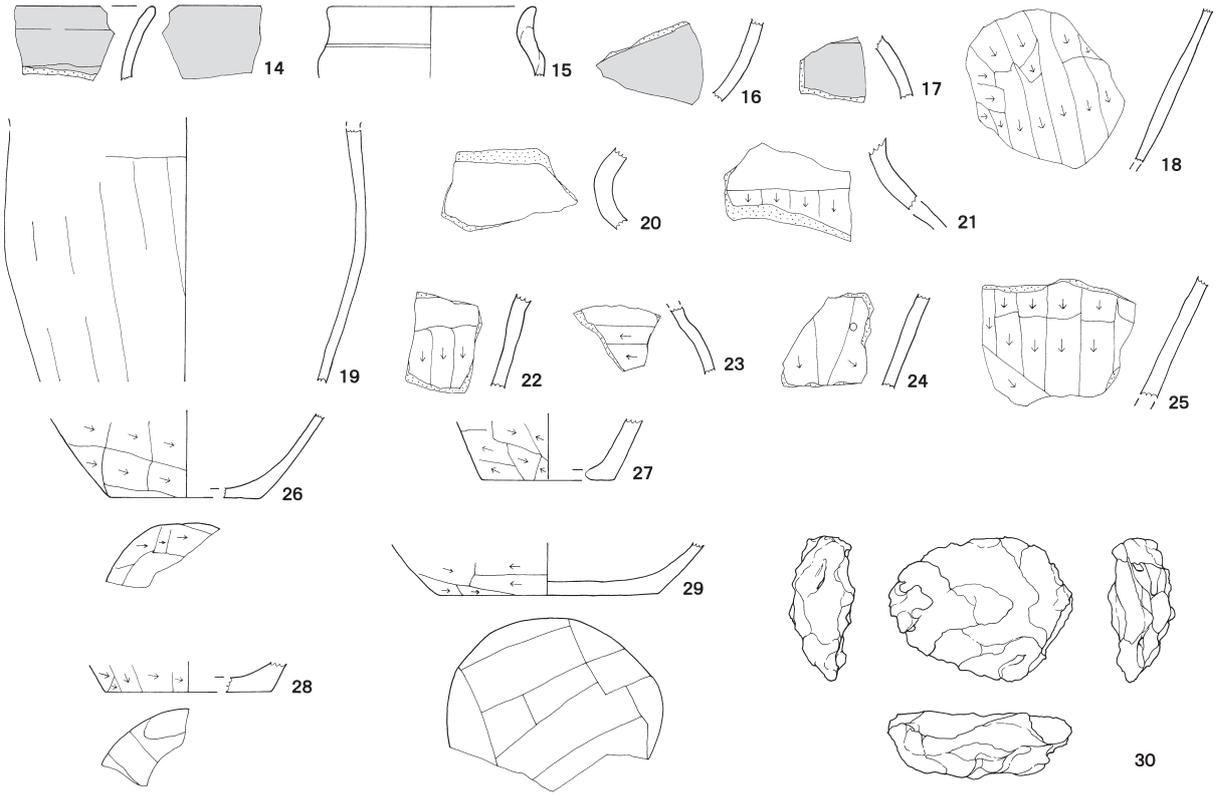
10. 黒褐色土 粘性有、締り有。ローム主体、黒色土が混じる

H50号住居跡

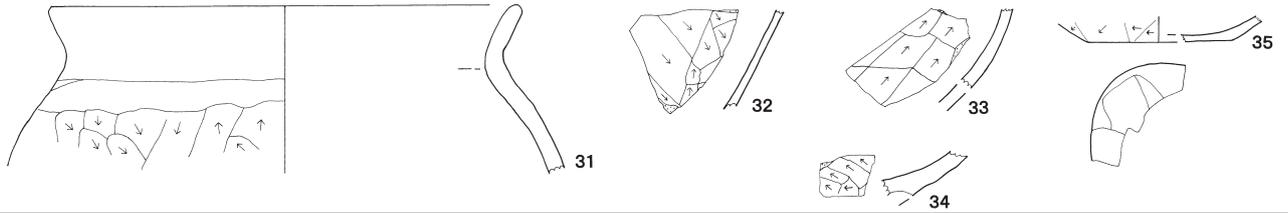


第78図 松山遺跡第93地点溝(1/60)、出土遺物①(1/4)

H50 号住居跡



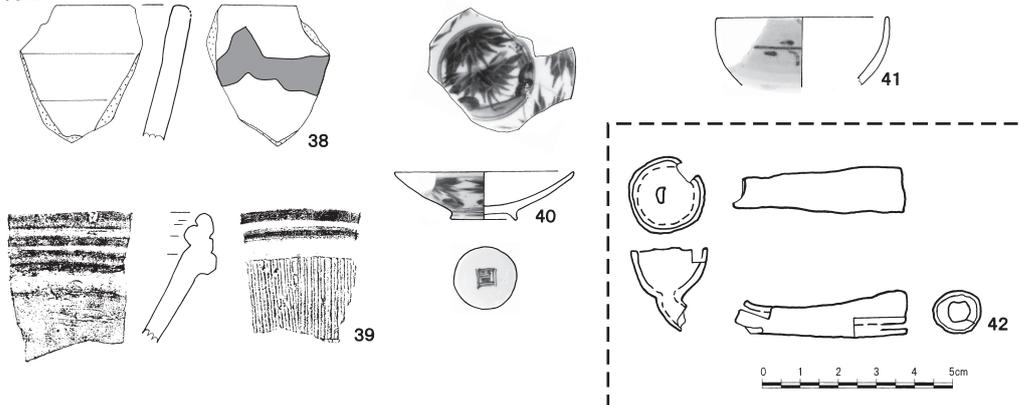
H51 号住居跡



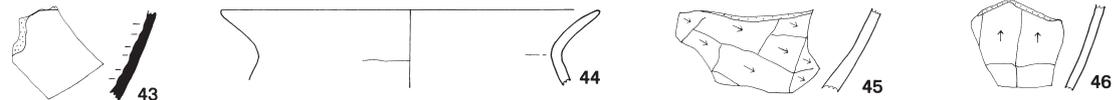
土坑 1



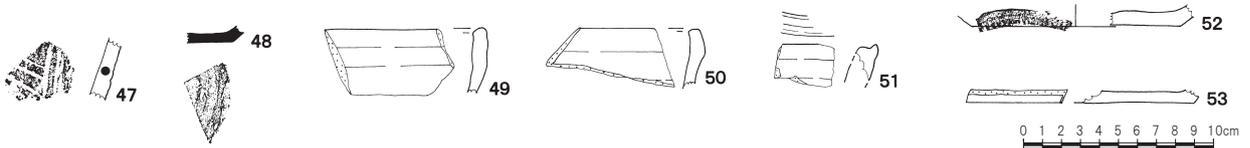
土坑 2



堀跡

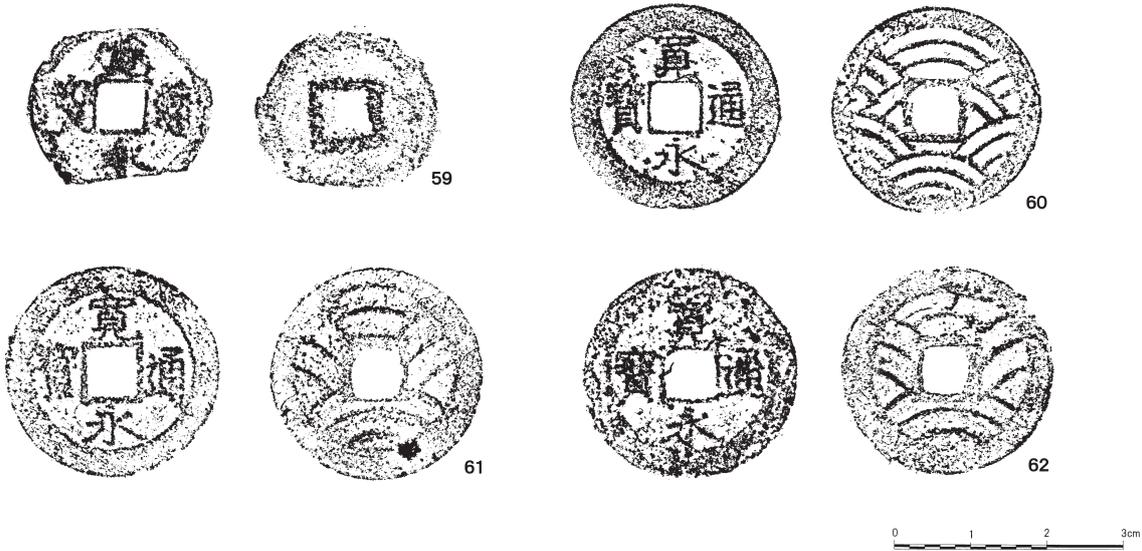
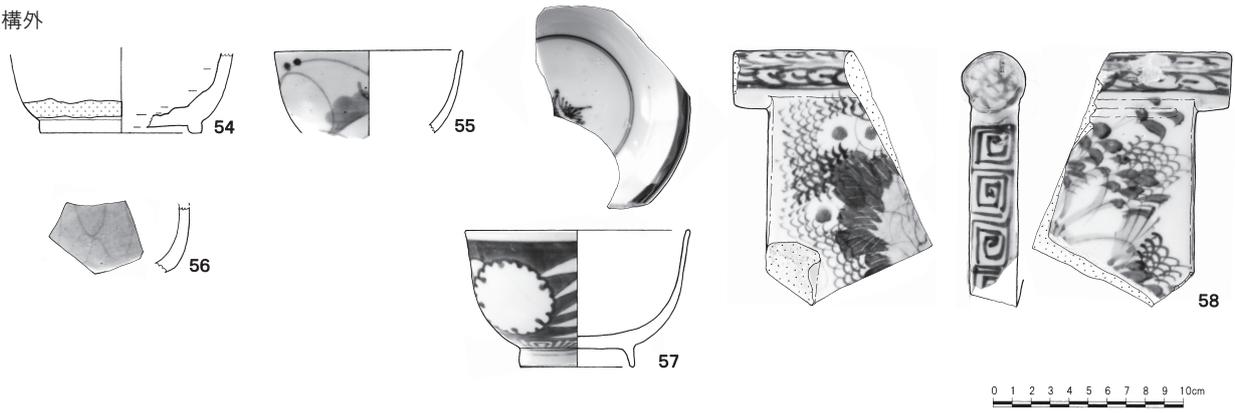


遺構外



第 79 図 松山遺跡第 93 地点出土遺物② (1/4・1/2)

遺構外



第80図 松山遺跡第93地点出土遺物③ (1/4・1/1)

第46表 松山遺跡第93地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第78図-1	H50号住居跡	須恵器・坏蓋	(14.4)	—	—	—	1/8 残存・轆轤成形・胎土に白色針状物質含む、南比企産	8世紀代
第78図-2		須恵器・坏蓋	(14.0)	—	—	—	1/3 残存・轆轤成形・胎土に白色針状物質含む、南比企産	8世紀代
第78図-3		須恵器・坏	(14.5)	—	(3.1)	—	1・8 残存・轆轤成形・胎土に白色針状物質含む、南比企産	8世紀代
第78図-4		須恵器・坏	(14.0)	—	(3.1)	—	1/8 残存・轆轤成形・胎土に白色針状物質含む、南比企産	8世紀代
第78図-5		須恵器・坏	—	(10.0)	(1.8)	—	底部 1/6 残存・轆轤成形、底部回転糸切・胎土に白色針状物質含む、南比企産、内面に僅かに煤付着、底部に墨書で「十」	8世紀代
第78図-6		土師器・坏	13.8	—	3.4	—	ほぼ完形・外面：ヘラケズリ、内面～口縁部：ナデ・外面口縁部～内面にかけて赤彩、内面に煤付着	8世紀前半
第78図-7		土師器・坏	(14.0)	7.6	3.5	—	3/4 残存・外面：ヘラケズリ、内面～口縁部：ナデ・外面口縁部～内面にかけて赤彩、ヘラケズリで底部を作り出す、胎土に白色針状物質含む。底部に墨書で「子」か	8世紀前半
第78図-8		土師器・甕	(22.0)	—	(11.5)	—	口縁部 1/3 残存・外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ、口縁部：横方向ナデ	7世紀末～8世紀前半
第78図-9		土師器・甕	(18.0)	—	(6.0)	—	口縁部 1/5 残存・外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ、口縁部：横方向ナデ・内面に煤付着	7世紀末～8世紀前半
第78図-10		土師器・甕	(20.0)	—	(2.1)	—	口縁部 1/7 残存・横方向ナデ	7世紀末～8世紀前半
第78図-11		土師器・甕	—	—	—	—	口縁部、横方向ナデ	8世紀後半
第78図-12		土師器・壺	—	—	—	—	口縁部、横方向ナデ	7世紀末～8世紀前半
第78図-13		土師器・壺	—	—	—	—	口縁部、横方向ナデ、ヘラケズリ・内面に煤付着	—

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式	
第79図-14	H50号住居跡	土師器・甕	—	—	—	—	口縁部・横方向ナデ・内外面赤彩、外面に僅かに煤付着	8世紀後半	
第79図-15		土師器・小型壺	(11.0)	—	(3.3)	—	口縁部1/8残存・横方向ナデ、外面ヘラケズリ、内面に指頭痕・内面に僅かにタール付着、胎土に小礫を含む	8世紀前半	
第79図-16		土師器・小型壺?	—	—	—	—	体部ヘラナデ・外面赤彩、胎土に白色粒子を含む、17と同一個体	—	
第79図-17		土師器・小型壺?	—	—	—	—	体部ヘラナデ・外面赤彩、胎土に白色粒子を含む、16と同一個体	—	
第79図-18		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ	—	
第79図-19		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ、口縁部：横方向ナデ・内外面に僅かに煤付着	—	
第79図-20		土師器・甕	—	—	—	—	内外面：ナデ、頸部	7世紀末～8世紀前半	
第79図-21		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、ナデ、内面：ナデ・胎土に白色粒子を含む	—	
第79図-22		土師器・甕?	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、ナデ、内面：ナデ	—	
第79図-23		土師器・壺?	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ナデ	—	
第79図-24		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ナデ・外面に植物種子痕カ	—	
第79図-25		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ナデ・内面に僅かに煤付着	7～8世紀	
第79図-26		土師器・甕	—	(8.0)	(4.9)	—	底部1/3残存・外面～底部：ヘラケズリ、内面：ナデ	7～8世紀	
第79図-27		土師器・甕	—	(7.0)	(3.1)	—	底部1/3残存・外面：ヘラケズリ、内面：ナデ・内外面に僅かに煤付着	8世紀代	
第79図-28		土師器・甕	—	(8.8)	(1.5)	—	底部1/5残存・外面～底部：ヘラケズリ、内面：ナデ	—	
第79図-29		土師器・甕	—	(11.5)	(2.2)	—	底部2/3残存・外面～底部：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ・外面に僅かに煤付着	7～8世紀	
第79図-30		鉄製品・椀型滓	7.7	9.6	3.7	299.2	含鉄、色調：茶褐色	—	
第79図-31		H51号住居跡	土師器・壺	(25.0)	—	(9.0)	—	口縁部1/5残存・外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ、口縁部ナデ・胎土に白色粒子、雲母を含む、内外面に煤付着	8世紀前半
第79図-32			土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ	—
第79図-33			土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ・胎土に白色粒子を含む	—
第79図-34	土師器・甕		—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ・底部剥かれ	—	
第79図-35	土師器・甕		—	(7.6)	(1.3)	—	底部2/5残存・外面～底部：ヘラケズリ、内面：ナデ	7～8世紀	
第79図-36	土坑1	土師器・小型壺?	—	—	—	—	外面：口縁部ナデ、内面：ナデ・胎土に白色粒子を含む	—	
第79図-37		磁器・碗	—	(4.0)	(2.8)	—	染付、透明釉	18世紀以降・瀬戸美濃	
第79図-38	土坑2	土器・鉢?	—	—	—	—	轆轤成形・内外面に僅かに煤付着、在地産	中近世以降	
第79図-39		土器・播鉢	—	—	—	—	轆轤成形	19世紀以降	
第79図-40		磁器・小皿	(9.5)	3.5	2.5	—	轆轤成形・染付・底面裏に銘・瀬戸美濃産	近代	
第79図-41		磁器・碗	(9.1)	—	(3.5)	—	轆轤成形・染付、透明釉、肥前産	19世紀以降	
第79図-42		金属製品・煙管	—	—	—	—	火皿径：2.0cm、雁首部分のみ残存	18世紀以降	
第79図-43	堀跡	須恵器・壺?	—	—	—	—	轆轤成形・内外面ナデ・外面に自然釉	—	
第79図-44		土師器・甕	(20.1)	—	(4.0)	—	内外面：ナデ、頸部	7世紀後半	
第79図-45		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ・胎土に砂礫を多く含む	—	
第79図-46	土師器・甕?	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ・内面に煤付着	—		
第79図-47	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	沈線・胎土に白色粒子、金雲母を含む	中期前半・阿玉台式期	
第79図-48		須恵器・坏	—	—	—	—	轆轤成形、底部回転糸切後ヘラケズリ・胎土に白色針状物質を含む、南比企産	8世紀	
第79図-49		土器・焙烙	—	—	—	—	口縁部のみ残存	中近世以降	
第79図-50		土器・焙烙	—	—	—	—	口縁部のみ残存	中近世以降	
第79図-51		土器・焙烙	—	—	—	—	口縁部のみ残存、口唇部に凹み	中近世以降	
第79図-52		土器・鉢?	—	(11.0)	—	—	轆轤成形・底部のみ残存、底部と胴部の接点に刻み目を施す	近世以降	
第79図-53		土器・焙烙	—	—	—	—	底部のみ残存	中近世以降	
第80図-54		陶器・碗	—	(8.5)	(4.2)	—	轆轤成形・外面と底部に緑色の釉薬が掛かる	近世以降	
第80図-55		磁器・碗	(10.0)	—	(4.5)	—	轆轤成形・染付・瀬戸美濃産	19世紀以降	
第80図-56		磁器・碗	—	—	—	—	轆轤成形・染付、網目文・肥前産	18世紀	
第80図-57		磁器・碗	(12.0)	(6.0)	(7.3)	—	轆轤成形・染付・見込み	19世紀以降	
第80図-58		磁器・便器	(13.6)	(10.5)	(3.3)	—	型押し成形・染付	明治以降	
第80図-59		銅貨・寛永通宝	(2.0)	2.4	—	2.32	一部欠損、新寛永か	18世紀	
第80図-60		真鍮貨・寛永通宝	2.7	2.7	—	5.18	寛永21波	18世紀後半	
第80図-61		銅貨・寛永通宝	2.8	2.8	—	4.32	寛永11波	19世紀	
第80図-62		銅貨・寛永通宝	2.8	2.8	—	3.77	寛永11波	19世紀	

X 松山遺跡第94地点

調査は作業場等建設に伴うもので、原因者より2018年1月18日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2018年3月23日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。

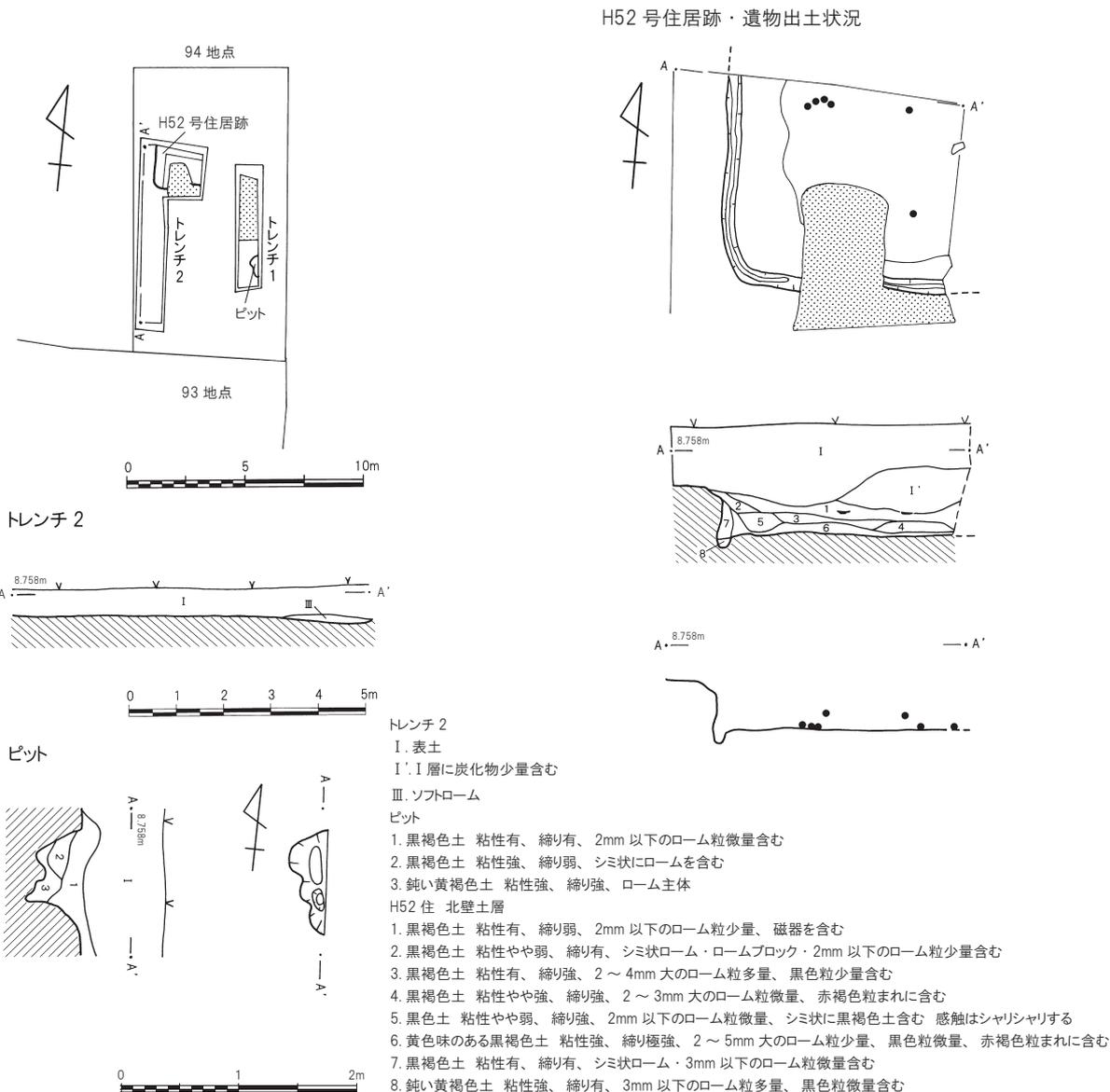
調査の結果、古代住居跡1軒、ピット1基を検出したが保護層の確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H52号住居跡

【位置・検出状況】 調査区のほぼ中央、トレンチ2に位置する。住居の北西隅を検出した。住居跡の南側からトレンチ1にかけて大きく攪乱が入っているため、住居の規模は把握できない。

【構造】 柱穴は確認できなかった。周溝は西側壁面から南側にかけて存在するが、南側壁面で部分的に途切れるようである。壁から50cm程離れた床面では、住居中央部に向かって硬化面を確認した。



第81図 松山遺跡第94地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、ピット (1/60)

【遺物出土状況】 点数は多くないが、住居中央部寄りの覆土中から集中して出土している。

【時期】 8世紀代

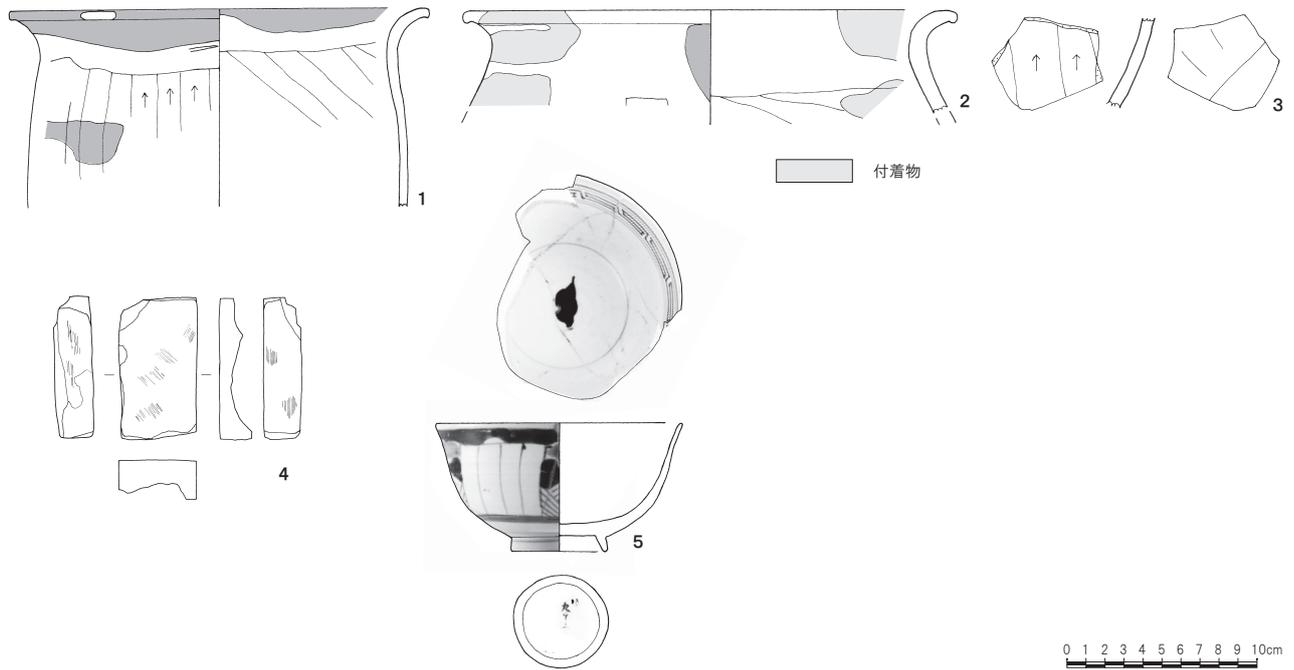
②ピット

ピットは調査区南東部、トレンチ1に位置する。トレンチの東側に続くため、平面形態は不明。遺構の規模は確認面径89×(31)cm、底径5×2cm、深さ46.5cmを測る。出土遺物はないが、土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。

③出土遺物

出土遺物については第82図及び第47表に詳細を掲載を掲載した。

H52号住居跡



第82図 松山遺跡第94地点出土遺物 (1/4)

第47表 松山遺跡第94地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第82図-1	H52号住居跡	土師器・甕	(22.0)	—	(10.5)	—	外面：ヘラケズリ、口縁部ナデ、内面：ヘラナデ・内外面に煤付着	8世紀
第82図-2		土師器・甕	(26.0)	—	(6.0)	—	外面：ヘラケズリ、口縁部ナデ、内面：ヘラナデ・外面に煤付着、内外面に付着物有	7世紀後半
第82図-3		土師器・甕	—	—	—	—	外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ、胎土に金雲母を含む	—
第82図-4		石製品・砥石	(7.439)	4.042	(2.049)	86.61	石材：変質流紋岩製、砥沢産	近世以降
第82図-5		磁器・碗	(13.0)	5.0	6.8	—	轆轤成形・染付、外面：内面口縁：雷文繫ぎ、見込み：雲、底面：朱書きで「九十三」カ・肥前	19世紀以降

第13章 江川南遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川南遺跡は福岡江川の谷頭部から、約300～500m程下った右岸に位置している。遺跡の標高は20～21mで、現谷底との比高差は1～2mを測る。福岡江川北側の左岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。東武東上線福岡駅から約1kmのため、昭和40年代から急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の対岸に亀居遺跡と鶴ヶ舞遺跡が位置し、東側に江川東遺跡が隣接する。

本遺跡は当初、地蔵院遺跡と江川南遺跡であったが、平成5年に遺跡の変更増補を行い統一した。また平成9年には亀久保堀跡遺跡と江川南遺跡に分ける変更増補を行った。

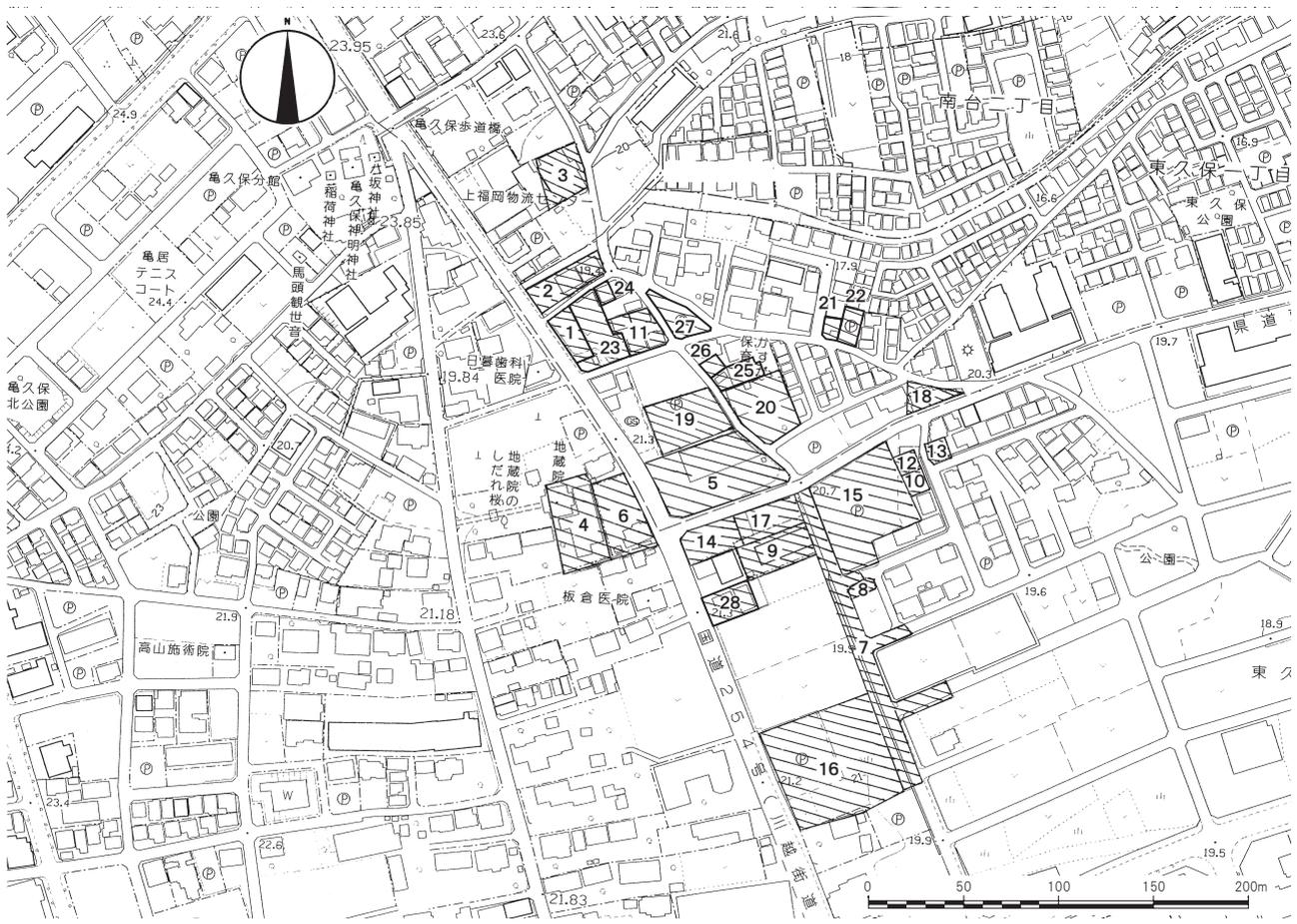
本遺跡では旧石器時代の石器集中・礫群、縄文時代中期の住居跡・土坑など、古代～中世の堀跡、地蔵院に関わる近世の遺構群で、また時期は多岐にわたる。2019年4月現在、28地点で調査を行っている。

II 江川南遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年5月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年7月19日・20日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30cmである。遺構は確認されなかった。



第83図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

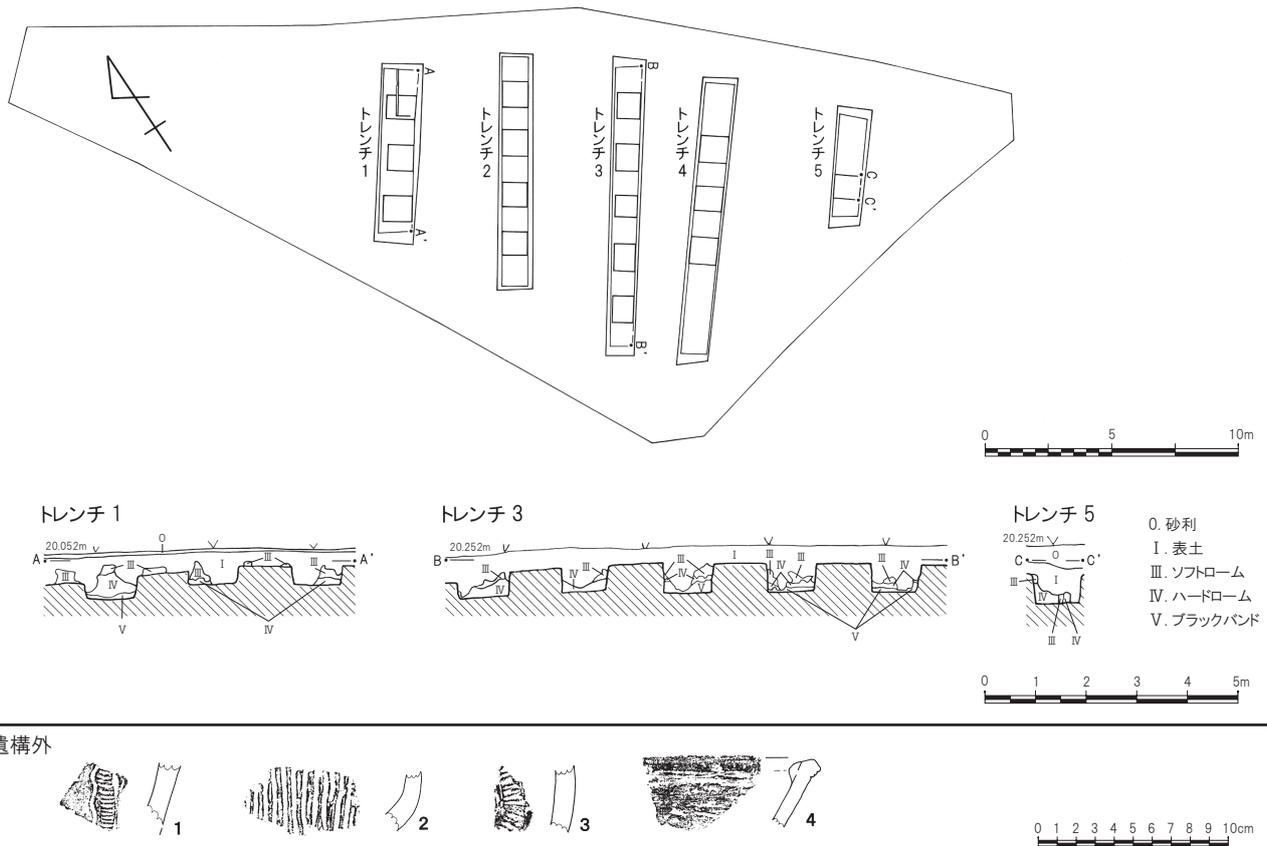
その後、旧石器の遺構と遺物を確認するため、各トレンチ内に 1m 四方の小トレンチを約 1m 間隔で設定した。調査の結果、旧石器時代の遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

表土中より縄文土器片が僅かに出土した。詳細は第 49 表に掲載した。

第 48 表 江川南遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保 121-1	1977.8.30 ~ 9.30	64	町史編纂事業	縄文中期：住居跡 1 (1号)	大史 7
2	東久保 1-120-3	(1991.5.28 ~ 5.31) 1991.6.1 ~	580	共同住宅	旧石器：礫群 3、縄文土器片、中世：堀跡	東部 XI
3	鶴ヶ舞 1-110-5	(1992.3.25)	646	資材置場	鶴ヶ舞遺跡第 3 地点として報告 遺構・遺物無し	町内 I
4	亀久保 192	(1995.8.28 ~ 9.21)	825	庫裏建設	縄文中期：住居跡 1 (2号)・土器・石器、近世以降：土坑 24、 井戸 1、焼土跡 1、近世以降：陶磁器	町内 V
5	東久保 1-194・195 の一部	(1996.8.5 ~ 8.8) 1996.8.20 ~ .8.29	2,092	店 舗	縄文：ピット 10、溝 4 本、中世：堀跡	町内 VI、大調 14
6	亀久保 (旧地藏院遺 跡第 1 地点)	(1985.10.17 ~ 11.8)	837	町史編纂	縄文中期：土坑 4、近世以降：池状遺構 1、竪穴遺構 1、溝 3 本、 肥前系磁器、灯明皿、古銭、煙管出土	町内 V
	亀久保 3-193	(2003.4.16 ~ 4.24)	929	店 舗	平成 15 年 3 月調査、2 号住居跡の続き検出	町内 XII
7	亀久保 196-1 他	1996.11.19 ~ 2.13	1,322	区画整理道路	縄文：落とし穴 2、中世：堀跡、近世以降：溝、ピット 2	大調 14
8	東久保 7 街区 1 画地	(1997.10.13 ~ 10.15)	50	墓地移転	縄文：落とし穴 1、ピット 4、かわらけ片 1 点	町内 VII
9	東久保 1 街区 2・3 画 地	(1998.10.6 ~ 10.9)	875	共同住宅	遺構遺物なし	町内 VIII
10	東久保 2 街区 9・10 画地	(1999.5.24 ~ 5.26)	133	個人住宅	遺構遺物無し	町内 IX
11	東久保 1-122-2・4	(1999.9.20 ~ 9.27) 1999.9.28 ~ 10.15	465	共同住宅	旧石器：石器ブロック 4、礫群 5、中世：堀跡、土壇墓 1、旧石 器コンテナ 2 箱、土器片コンテナ 2 箱、銭貨	町内 IX
12	東久保 2 街区 4・5 画 地	(1999.10.26 ~ 10.28)	104	個人住宅	遺構なし、縄文：無文土器片 1 点	町内 IX
13	東久保 3 街区 21 画 地	(2000.6.7) 2000.6.8 ~ 6.21	123	個人住宅	縄文：集石土坑 3、土坑 1	町内 X
14	東久保 1 街区 1 画地	(2000.7.5 ~ 7.10) 2000.7.10 ~ 7.18	461	店 舗	縄文：ピット 20、近世以降：柵列 1、溝 1、土坑 1、ピット 3	町内 X
15	東久保 2 街区 1 画地	(2000.12.8 ~ 12.26) 2001.1.10 ~ 1.19	2,375	共同住宅	中世：堀跡 1、溝 3、柵列 1、ピット、旧石器：黒曜石剥片、縄 文：土坑 1、ピット、縄文土器片、近世：陶磁器片	町内 X、大調 14
16	東久保 1 街区	(2002.9.24 ~ 10.4)	3,752	給油所	遺構遺物なし	町内 XII
17	東久保 196-1 (1 街 区 20 ~ 23 画地)	(2002.10.29 ~ 11.11)	474	宅地分譲	ピット 6、溝 2、堀跡、旧石器、土器片、石器	町内 XII
18	東久保 285-51・52 他	(2003.7.11 ~ 2003.7.16)	240	共同住宅	遺構遺物なし	町内 XII
19	東久保 1-185-1	(2003.9.18 ~ 10.8) 2003.10.10 ~ 11.14	1,129	店 舗	旧石器：礫群、土坑 22、ピット 69、堀跡、溝、旧石器：石器 群 3	町内 XII
20	東久保 1-183-5	(2005.8.1 ~ 8.11) 2005.8.18 ~ 9.10	951	分譲住宅	縄文中期住居跡 2 (3号、4号)、集石土坑 5、ピット 1、溝 6	大調 18
21	東久保 1-29-1	(2006.10.10)	99	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
22	東久保 132-11	(2006.10.11 ~ 11.6) 2006.11.7 ~ 11.9	206	分譲住宅	旧石器礫群 5	市内 3
23	東久保 1-121-1	(2007.1.24 ~ 2.1) 2007.2.19 ~ 3.16	1,011	分譲住宅	旧石器礫群 6、縄文中期住居跡 2 (1・5号)、集石土坑 2、土坑 2、 ピット 30、溝 4	市内 3
24	東久保 1-122-5	(2009.12.4 ~ 10) 2009.12.14 ~ 28	178	分譲住宅	旧石器礫群 4、石器集中 1、縄文時代集石土坑 1、堀跡、ナイ フ形石器他、縄文土器・石器	市内 7・8
25	東久保 1-183-8・13	(2012.7.4)	252.88	分譲住宅	溝 2、土器	市内 15
26	東久保 1-183-14	(2013.9.24 ~ 26)	99.1	建売住宅	遺構遺物なし	市内 18
27	東久保 1-123-1・2	(2016.7.19・20)	380.19	共同住宅	遺構なし、土器片	市内 24
28	ふじみ野 2-1-8・9	(2019.3.18・19)	436.17	建物解体	遺構なし、土器片	未報告



第84図 江川南遺跡第27地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)

第49表 江川南遺跡第27地点出土遺物観察表(単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	地文・施文・備考	時期・型式
第84図-1	遺構外	縄文・深鉢	隆帯脇に押引文力・胎土に雲母含む	中期・阿玉台
第84図-2		縄文・深鉢	押引文、波状沈線・胎土にチャート、白色粒子含む	中期・勝坂II
第84図-3		縄文・深鉢	縦位沈線文・胎土にチャート含む	中期
第84図-4		縄文・浅鉢	口縁部内面が強く突出する	中期

第14章 東久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、市立亀久保小学校が建ち、区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

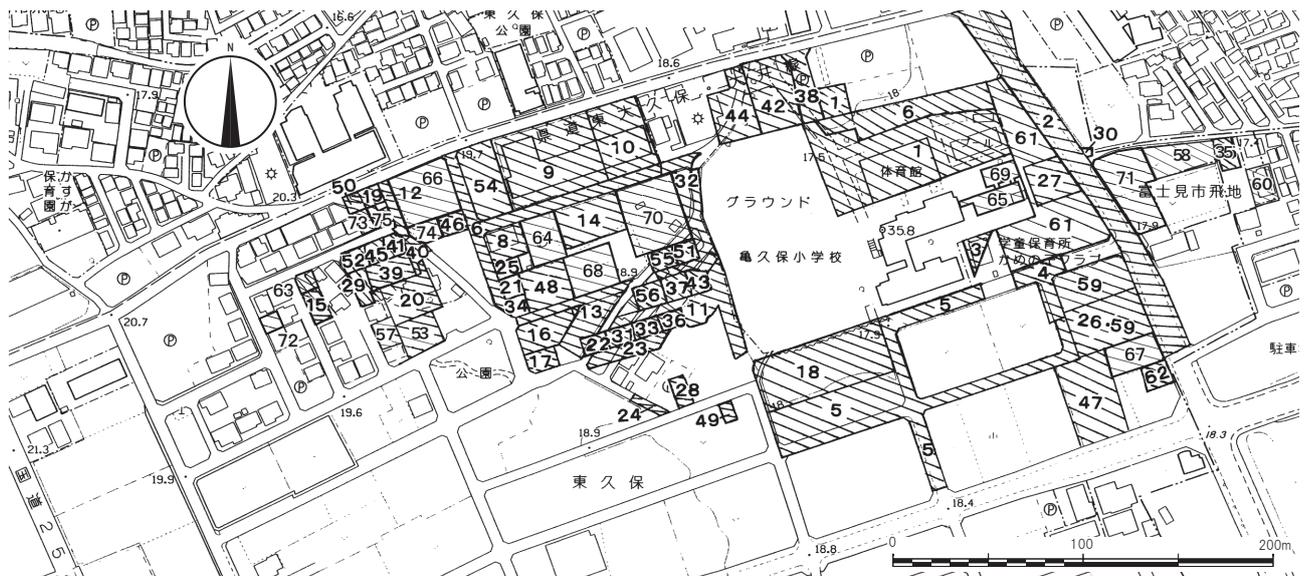
周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川の間で平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保掘跡遺跡が位置する。本遺跡の調査は1976年以来2018年4月現在、75地点で試掘調査および発掘調査を行っている。これまでの調査で、旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑など、中近世は溝や柵跡が確認されている。

II 東久保遺跡第73地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年5月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年6月19日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅1mのトレンチ1本を設定し、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40～50cm、敷地北側の盛土面では地山ローム層は約70～80cmであった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第85図 東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第50表 東久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保字東久保 285-1 他	(1976.6.29 ~ 7.27)	10,000	亀久保小学校	縄文時代集石土坑 6、土坑 3、井戸 2、溝 2、縄文土器・石器	東久保
2	亀久保 293-1 他	1994.12.19 ~ 1995.3.23 (1995.5.18 ~ 22)	2,472	区画整理道路	中近世の溝 5、ピット 4、土坑 2、縄文土器片	大調 14
		(1996.11.15)	25	水道管埋設	溝 1	
3	亀久保 284-1	(1996.5.20 ~ 29)	270	学童保育所	溝 2、柵列 1、遺物なし	町内VI
4	亀久保 364-1	(1996.6.7 ~ 10) 1996.9.2 ~ 4	320	区画整理道路	旧石器礫群 1	町内VI・大調 14
5	亀久保 366	1996.11.22 ~ 1997.3.5	3,314	区画整理道路	土坑 3、中世の堀跡 1、溝 2、ピット 1、土器・石器	大調 14
6	亀久保 271-1	<A区>1997.1.20 ~ 2.13 <B区>1997.2.24 ~ 3.19	2,309	区画整理道路	縄文時代落とし穴 2、集石土坑 1、土坑 1、ピット 5、溝 8、縄文土器・石器	大調 14
		<C区>1997.7.24 ~ 7.25 <D区>1997.8.6	168			大調 14
		(亀久保掘跡遺跡第1地点に変更)				
8	東久保 18 街区 12 画地	(1997.7.29 ~ 8.2)	305	個人住宅	縄文時代土坑 2、ピット 2	町内VII
9	亀久保 279,280	(1997.8.18 ~ 28) 1998.3.1 ~ 5.18	2,117	共同住宅	縄文時代集石土坑 5、土坑 13、ピット 7、近世以降の溝 3、旧石器時代石器、縄文時代土器・石器	町内VII、大調 14
10	東久保 19 街区	(1997.9.2 ~ 10.1)	1,067	分譲住宅	縄文時代集石土坑 1、近世以降の溝 1、縄文土器片	町内VII
11	東久保	1998.7.13 ~ 8.6、 1999.3.11 ~ 12	588	区画整理道路	中世以降の柵列 1、ピット 3、溝 1、縄文土器・石器	大調 14
12	東久保	1999.1.19 ~ 1.21	282	区画整理道路	縄文時代集石土坑 1、ピット 10、近世以降の溝 2	大調 14
13	東久保 381-5 他	1999.5.19・20	360	区画整理道路	遺構遺物なし	大調 14
		1999.11.2	162	個人住宅		町内IX
14	東久保 18 街区 3 画地	(1999.6.29 ~ 7.16) 1999.7.19 ~ 29	823	共同住宅	溝 2、柵列 1、縄文土器片、瓦質陶器片	町内IX、大調 1
15	東久保 5 街区 14 ~ 16 画地	(1999.8.2)	178	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
16	東久保 15 街区 1 ~ 5・32 画地	(1999.10.1 ~ 6)	334	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
17	東久保 381-5	(1999.6.14 ~ 15)	168	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
18	東久保 27 街区 2 画地	(1999.11.30 ~ 12.15)	14,989	小学校グラウンド	柵列	町内IX
19	東久保 3 街区 9・10 画地	(1999.12.20 ~ 21)	108	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町内IX
20	東久保 4 街区 9 画地	(2000.2.28 ~ 3.3)	478	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
21	東久保 18 街区 14 画地	(2000.3.23 ~ 28)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
22	東久保 15 街区 28 画地	(2000.3.22 ~ 23)	150	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
23	東久保	2000.3.13 ~ 16、 2000.3.27 ~ 4.6	280	区画整理道路	縄文時代土坑 1、焼土跡 1	大調 14
24	東久保 14 街区	2000.1.19	390	区画整理道路	遺構遺物なし	大調 14
25	東久保 18 街区 13 画地	(2000.4.13 ~ 14)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
26	東久保 31 街区 9 画地	(2000.4.14)	1,107	砂利敷駐車場	溝、ピット、縄文土器片他	町内X
27	東久保 26 街区	2000.5.17 ~ 6.8	560	区画整理調整池	縄文時代ピット 15、近世土坑 1、柵列 1、溝 2	大調 14
28	東久保 14 街区 8 画地	(2000.6.29 ~ 7.4)	130	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
29	東久保 4 街区 18・20 画地	(2000.6.30 ~ 7.4)	218	個人住宅	溝 2	町内X
30	東久保 294 番 2	2000.7.4	48	区画整理道路	溝状遺構、遺物なし	大調 14
31	東久保 15 街区 26 画地	(2000.6.7)	126	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
32	東久保 277・381 番地他	2000.7.12 ~ 8.4	265	区画整理道路	旧石器時代石器製作跡 2、縄文時代土坑 2、ピット 12、時期不明の溝・柵列各 1、ナイフ形石器他	大調 14
		2001.7.16 ~ 11.30	590			
33	東久保 15 街区 24 画地	(2000.8.2 ~ 3)	128	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
34	東久保 18 街区 15 画地	(2000.8.29 ~ 30)	110	個人住宅	ピット 4	町内X
35	東久保 23 街区 3・4 画地	(2000.12.7 ~ 9)	139	個人住宅	溝 1、ピット 1	町内X
36	東久保 15 街区 21・22 画地	(2001.1.19 ~ 25)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
37	東久保 15 街区 13・33 画地	(2000.12.11)	149	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
38	東久保 284-1、285-1	2000.12.13 ~ 15	501	区画整理道路	縄文時代ピット 1、遺物なし	大調 14
39	東久保 4 街区 8・9 画地	(2001.3.22 ~ 27)	317	個人住宅	縄文時代落とし穴	町内X
40	東久保 270-3・4	2001.3.23・2001.6.1	128	区画整理道路	遺構遺物無し	大調 14

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
41	東久保4街区6・7画地	(2001.5.28～29)	112	個人住宅	近世以降の溝1、遺物なし	町内XI
42	東久保19街区10画地	(2001.4.18～21)	864	駐車場	近世以降の溝1、遺物なし	町内XI
43	東久保15街区14・15画地	(2001.5.22～25)	142	個人住宅	遺構遺物なし	町内XI
44	東久保19街区9・11・12画地	(2001.5.10～6.29)	757	倉庫	縄文時代落とし穴1、風倒木跡、ピット5、溝2、縄文土器・石器他	町内XI
45	亀久保258-21	(2001.6.1)	100	個人住宅	遺構遺物なし	町内XI
46	東久保17街区3・4画地	(2001.6.4～6)	135	個人住宅	溝1、縄文土器片2、磁器片1	町内XI
47	東久保31街区6・13画地	(2001.10.11～26)	1,203	店舗	縄文時代落とし穴1、溝1	町内XI
48	東久保18街区9・10画地	(2001.12.12～25)	518	分譲住宅	遺構遺物なし	町内XI
49	東久保13街区7画地	(2002.2.12～13)	100	分譲住宅	遺構遺物なし	町内XI
50	東久保3街区22画地	(2002.9.24)	102	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
51	東久保18街区11画地	(2002.12.3)	155	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
52	東久保4街区3画地	(2003.2.6～7)	64	個人住宅	溝、井戸	町内XII
53	東久保4街区10画地	(2003.5.7～22)	408	共同住宅	ピット1	町内XII
54	亀久保字東久保272 (19街区1画地)	(2003.5.9～22)	798	共同住宅	溝3、ピット4、落とし穴1	町内XII
55	亀久保字東久保488 (18街区7画地)	(2003.6.9～12)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
56	亀久保字東久保15街区12画地	(2003.7.31～8.1)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
57	亀久保258-26 (4街区14画地)	(2003.9.29～10.1)	133	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
58	ふじみ野2-27-2	(2004.4.13～14)	558	分譲住宅	溝2	町内XII
59	ふじみ野2-25-7～9	(2004.6.29) 2004.7.12～23	1,804	店舗	土坑4、ピット9、溝2	町内XII、大調14
60	ふじみ野2-26-16	(2004.7.22～24)	337	個人住宅	ピット1	町内XII
61	東久保26街区	2004.9.29～11.26	2,376	区画整理 公園緑地	縄文時代土坑7、ピット9、溝6、(調査区内の一部は第27地点で調査済)	大調14
62	ふじみ野2-2-5-16	(2004.10.12～15)	220	宅地造成	溝3	町内XII
63	ふじみ野2-5-10・12	(2006.2.1)	105	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
64	ふじみ野2-18-6の一部	(2006.10.12～20) 2006.10.24～26	437	共同住宅	近世の柵列1、溝4	市内3
65	ふじみ野2-22-2、5～7	(2008.1.18～28)	260	小学校増築	遺構遺物なし	市内4
66	ふじみ野2-19-4、19-5	(2008.5.22～6.11)	862	分譲住宅	溝3	市内6
67	ふじみ野2-25-10・11	(2009.11.9)	492	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
68	ふじみ野2-18-3	(2010.11.22～26) 2010.11.29～12.8	791	分譲住宅	縄文時代集石1、近世以降溝跡2、柵列1、本調査	市内9
69	ふじみ野2-22-2・3・5の 一部・6・7	(2011.3.28)	17,276.3	小学校増築	遺構遺物なし	市内10
70	ふじみ野2-18-8・9・10	(2013.1.16～24)	1,156	共同住宅	遺構遺物なし	市内15
71	ふじみ野2-27-1・9	(2013.6.17～19)	998	店舗	溝1、遺物なし	市内18
72	ふじみ野2-6-7	(2015.7.2)	100	個人住宅	溝1、遺物なし	市内22
73	ふじみ野2-3-14	(2017.6.19)	62.35	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
74	ふじみ野2-19-2・3	(2017.8.1・2)	239	個人住宅	ピット1、古銭	市内24
75	ふじみ野2-3-13・24	(2017.12.18)	96.87	個人住宅	遺構遺物なし	市内24

Ⅲ 東久保遺跡第74地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年6月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年8月1・2日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約40～50cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、時期不明のピット1基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

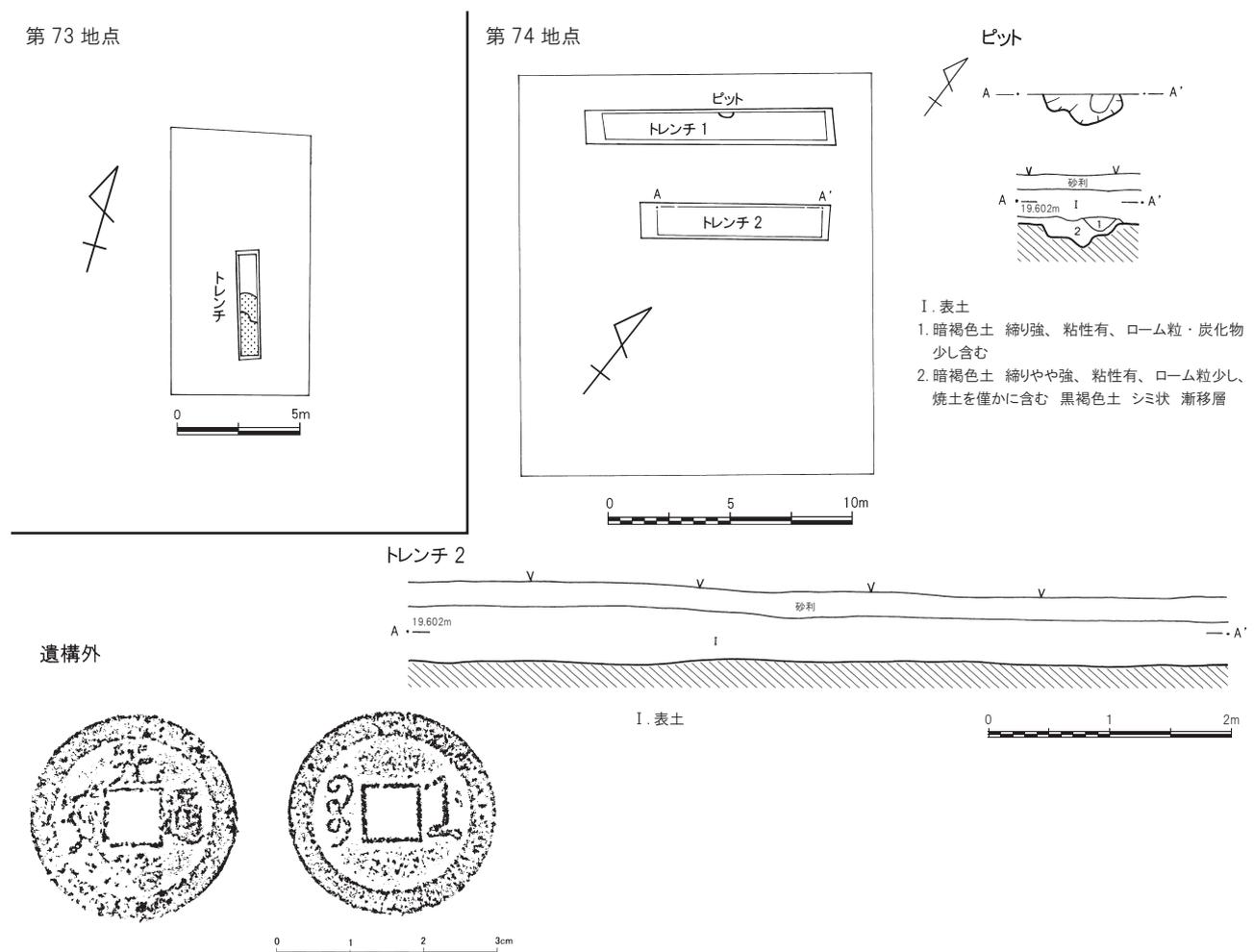
(2) 遺構と遺物

①ピット

ピットは調査区北側、トレンチ1に位置する。調査区の北壁面で確認したため、完掘してない。平面形態は不明で、遺構の規模は確認面径62×(24)cm、底径(16)×14cm、深さ20cmを測る。出土遺物はない。土層の観察から近世以降のものと推察される。

②出土遺物

遺構外から銅貨が1点出土した。径2.8cm、孔0.7cmの光緒通宝である。(1875年以降)



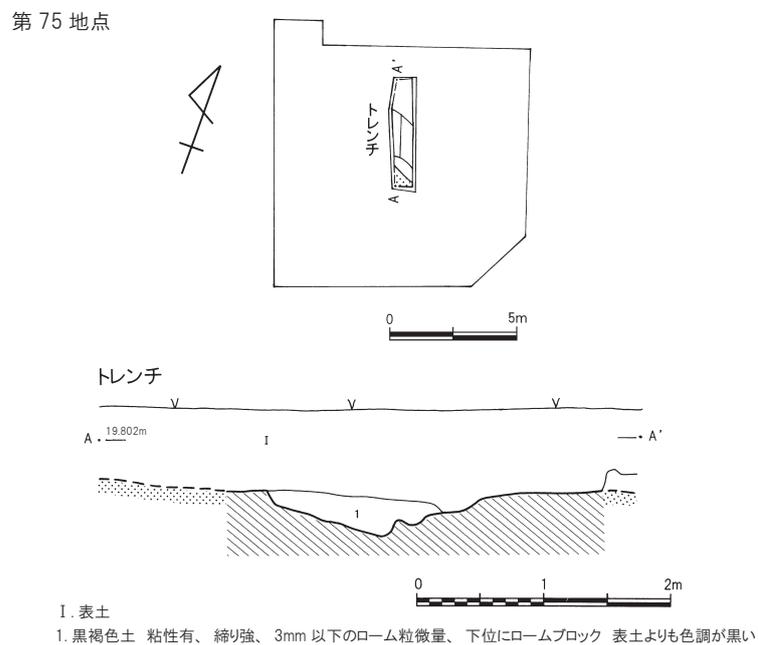
第86図 東久保遺跡第73地点調査区域図・第74地点遺構配置図(1/300)、土層・ピット(1/60)、出土遺物(1/1)

IV 東久保遺跡第 75 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 12 月 14 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 12 月 18 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1 m のトレンチ 1 本を設定し、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 87 図 東久保遺跡第 75 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)

第15章 亀久保堀跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は、福岡江川とさかい川の間低位台地に位置している。遺跡の標高は18.0～21.0 mで、堀跡は自然の地形を考慮せずに直線的にのびる。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

これまでの調査から、堀跡は福岡江川付近から南下し江川南遺跡の中央部を南北にのびた後、地蔵院の東約80 m付近で南東に向きを変える。向きを変えた堀跡は、東久保遺跡と東久保西遺跡の間を約600 m以上直線で延び富士見市域へと続く。富士見市域では調査が行われていないため遺跡の有無は不明である。

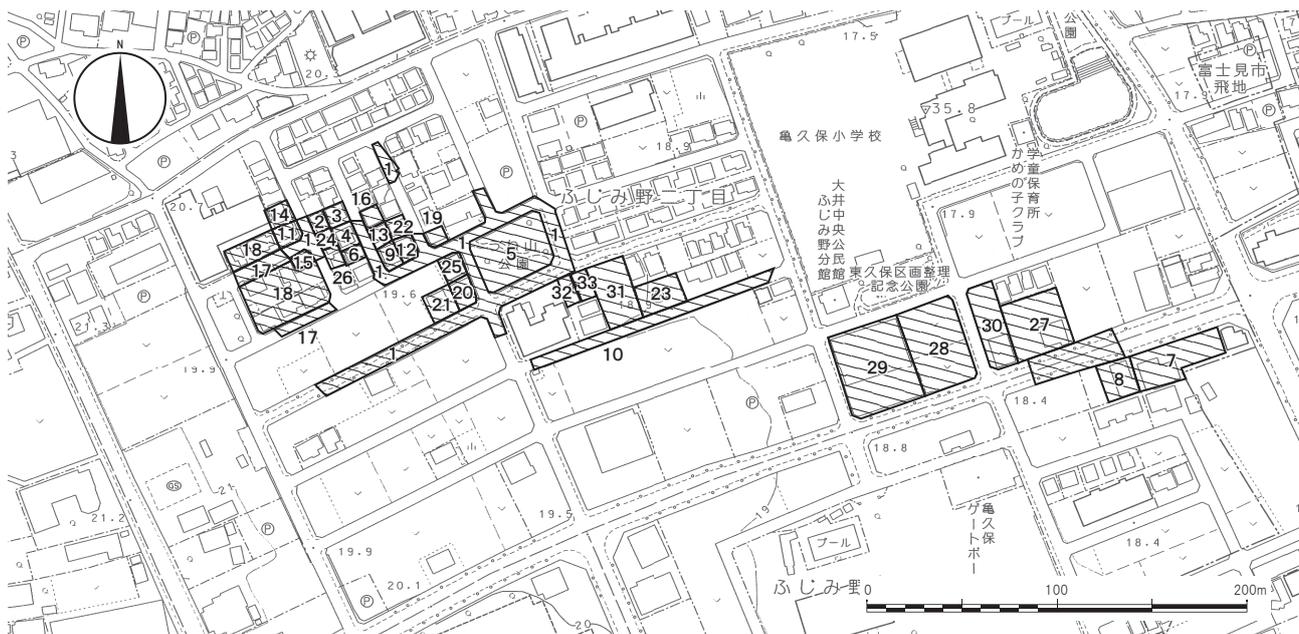
堀跡の規模は上幅約3 m、底幅約1.5 m、深さは地表面から約1 m、長さは800 m以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが出土遺物は無く、時代などは不明であるが、本遺跡の第30地点と江川南遺跡第17・19地点の調査で検出した堀跡の覆土層に含まれるテフラ分析を行った結果、堀跡の時期が平安時代の11世紀以前に遡るとする検査結果が出ている。

II 亀久保堀跡遺跡第32地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年8月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年8月7日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅1.5 mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から70cmを掘削したが、地山ローム層を確認できなかった。保護層が確保できるため、これ以上の掘削は行っていない。

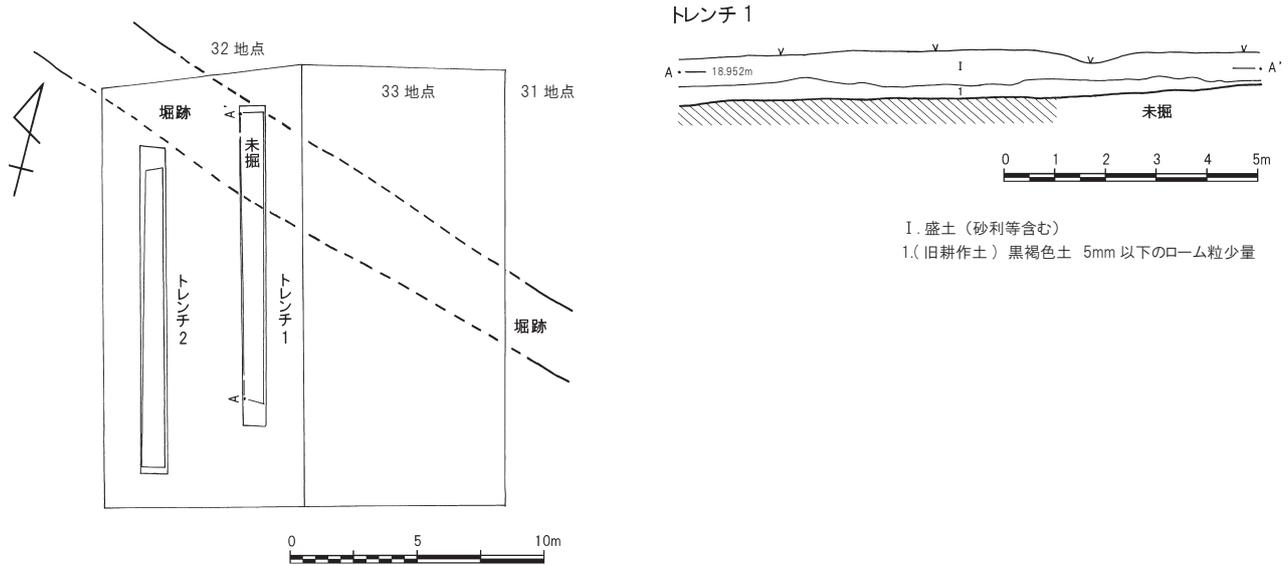
遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第88図 亀久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第 89 図 亀久保跡遺跡遺構分布図 (1/2,500)



第 90 図 亀久保堀跡遺跡第 32 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)

第 51 表 亀久保堀跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保 260-1・2 他	<A ~ C 区>1997.4.2 ~ 6.19	2,610	区画整理道路	縄文：屋外炉 1、土坑 3、ピット 73、中世：堀跡、溝 6、縄文土器片他、(旧東久保遺跡第 7 地点)	大調 14
		<D 区>1997.9.8 ~ 9.12	120			
		<E 区>2000.5.16 ~ 19				
2	東久保 6 街区 4・5 画地	(1997.9.11 ~ 25)	127	個人住宅	近世以降：溝 2	町内 VII
3	東久保 6 街区 7・8 画地	(1997.9.11 ~ 25)	130	個人住宅	近世以降：溝 1	町内 VII
4	東久保 6 街区 9・10 画地	1997.9.11 ~ 25	113	個人住宅	中世：堀跡	町内 VII
5	亀久保 264-1・2・3、266 (2 号緑地)	1997.9.22 ~ 10.27	1,200	区画整理公園	縄文：落とし穴 1、土坑 4、中世の堀跡、溝 2、柵列 1	大調 14
6	東久保 6 街区 11・12 画地	(1997.9.11 ~ 25)	102	個人住宅	中世：堀跡、近世以降の溝 1	町内 VII
7	東久保 32 街区 5・6 画地	(1997.10.29 ~ 11.4)	739	店 舗	縄文：落とし穴 1、中世の堀跡、溝 2、柵列 1	町内 VII・VIII 本書
		1998.2.2 ~ 2.19				
	東久保 32 街区 7 画地	(1998.11.12 ~ 16)	165	砂利敷駐車場	中世：堀跡	町内 VIII
8	東久保 32 街区 2 画地の一部	(1998.2.6 ~ 19)	318	共同住宅	近世以降：溝 2、柵列	町内 VII
9	東久保 5 街区 9・10 画地	1998.2.24 ~ 3.10	131	個人住宅	中世：堀跡、縄文中期：土器片 2	町内 VII
10	東久保 382・385 他	<A 区>1998.3.9 ~ 16	436	区画整理道路	縄文：落とし穴 1、ピット 3、石鏃 1、近世：陶磁器片	大調 14
		<B 区>1998.4.23	324			
		<C 区>1998.5.20 ~ 21				
11	東久保 2 街区 12 画地	(1998.4.8 ~ 22)	151	個人住宅	中世：堀跡	町内 VIII
12	東久保 258-46	(1998.5.8 ~ 21)	123	個人住宅	中世：堀跡	町内 VIII
13	東久保 5 街区 11・12 画地	(1998.5.8 ~ 21)	107	個人住宅	中世：堀跡	町内 VIII
14	東久保 2 街区 11 画地	(1998.5.1 ~ 7)	132	個人住宅	近世以降：溝 1	町内 VIII
15	東久保 7-2 街区 4・画地	(1998.5.8 ~ 21)	111	個人住宅	近世以降：溝 1	町内 VIII
16	東久保 5 街区 18・19 画地	(1998.5.29 ~ 6.1)	117	個人住宅	溝 2	町内 VIII
17	東久保 253・254 他	1998.10.21 ~ 12.2	360	区画整理道路	中世以降：溝 2、近世以降：土壌 2、旧石器：剥片 2	大調 14
18	東久保 7-2 街区 1・2・7 ~ 9 画地	(1998.11.3 ~ 30)	908	個人住宅 4 軒分	縄文：落とし穴 1、溝 6、土坑 2、ピット 3	町内 VIII
19	東久保 4 街区 11・12 画地	(1998.11.3 ~ 10)	99	個人住宅	溝 3、土坑 1、ピット 2	町内 VIII
20	東久保 8 街区 5 画地	(1998.11.21 ~ 24)	185	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 VIII
21	東久保 262・263・266	(1999.4.19 ~ 22)	232	個人住宅	溝 1、ピット 7	町内 IX
22	東久保 5 街区 7・20 画地	(1999.6.10 ~ 12)	99	個人住宅	近世以降：ピット 5	町内 IX
23	東久保 14 街区 10 画地	(1999.10.4 ~ 8)	386	駐車場	中世：堀跡	町内 IX
24	東久保 6 街区 14 画地	1999.12.14 ~ 16	105	個人住宅	中世：堀跡	町内 IX
25	東久保 8 街区 9 画地	2000.4.10 ~ 12	187	個人住宅	中世：堀跡、土坑 1	町内 X
26	東久保 6 街区 13 画地	(2000.5.11 ~ 17)	105	個人住宅	溝、柵列	町内 X
27	東久保 31 街区 2・3 画地	(2000.5.29 ~ 6.1)	1,011	駐車場	中世：堀跡	町内 X
		東久保 31 街区 2・3 画地	(2002.6.10 ~ 11)			
28	東久保 29 街区 3-6・9 画地	(2000.9.28 ~ 29)	1,365	整地工事	中世：堀跡 (西側半分は第 29 地点で再調査)	町内 X
29	東久保 29 街区 1・2・7・8 画地	(2001.4.17)	1,769	店 舗	中世：堀跡 (第 28 地点でプラン確認した部分の再調査)	町内 XI
		2001.4.18 ~ 20				
30	ふじみ野 2-25-1	(2005.1.11 ~ 12) 2005.1.31 ~ 2.7	695	店 舗	中世：堀跡、土坑 1 (風倒木痕)	大調 14
31	ふじみ野 2-15-4	(2009.2.6 ~ 10)	661	個人住宅	古代～中世：堀跡 1	市内 6
		2009.2.12 ~ 13				
32	ふじみ野 2-15-3	(2017.8.7)	136.4	個人住宅	堀跡、遺物なし	市内 24
33	ふじみ野 2-15-24	(2018.12.10) 2018.12.19 ~ 21	138	個人住宅	堀跡、遺物なし	未報告

第16章 東久保西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保西遺跡は、人間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川との間の低位台地に位置する。

遺跡の南側から東側にかけて埋没河川が流れ、現在では用水路になっている。以前は埋没河川を取り巻くように段差などが見られたが、こうした地形や環境も、区画整理事業と大規模な開発によりなくなりつつある。以前の標高は 18.0～21.0 m だったが、区画整理後は 19.5～20 m である。

周辺の遺跡は北西に江川南遺跡、北側に亀久保堀跡遺跡・東久保遺跡、南側に東中学校西遺跡が隣接する。

本遺跡は遺物の散布地であったが、1993年に東久保西遺跡として新規登録し、さらに1997年東久保土地区画整理事業に伴い区画道路部分を調査した際、遺構の検出範囲が広がったため、遺跡の変更増を行った。

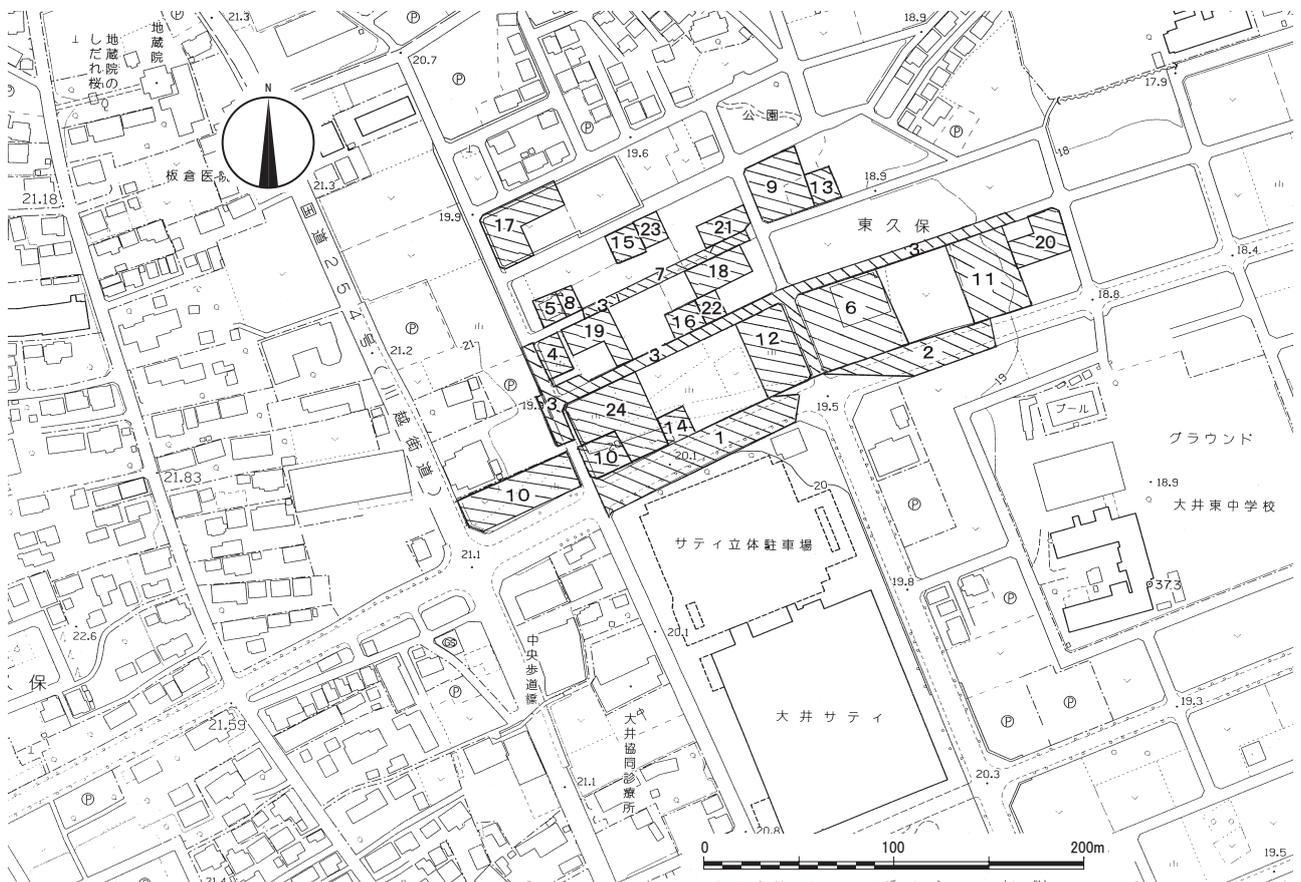
1994年の初調査以来、2019年4月現在24地点で調査を行ない、埋没河川であった用水路周辺から旧石器時代の礫群、縄文時代の落とし穴、屋外炉、中・近世の溝などを検出している。

II 東久保西遺跡第22地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年11月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年12月22日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。



第91図 東久保西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第52表 東久保西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保 399-1、400-1、407-1、407-2、408-1	1995.1.9～2.1	1,392	区画整理道路	溝状プラン確認、遺物なし	大調 14
		(1993.8.24～26)	75	区画整理竪坑	第1地点調査区内で工事立会、遺構遺物なし	
2	亀久保 419-1 他	1997.11.27～1998.1.27 1998.2.23～3.9	1,400	区画整理道路	縄文時代の落とし穴1、土坑1、ピット16	大調 14
3	東久保	<A区>1998.1.19～2.3	680	区画整理道路	縄文時代の落とし穴1、土坑1、ピット9、溝3	大調 14
		<B区>1998.6.1～1	1,754			
		<C区>1998.7.14～29				
		<D区>1998.12.21～22 <E区>1999.1.18～22				
4	東久保 10 街区 1 画地	(1998.12.1～2)	298	砂利敷駐車場	溝1	町内VIII
5	東久保 9 街区 9 画地	(1998.12.10～14)	194	個人住宅	遺構遺物なし	町内VIII
6	東久保 12 街区 1・2・10 画地	(1999.2.9～15) 1999.2.24～3.1	1,959	店 舗	旧石器時代の石器ブロック3、縄文時代の落とし穴1 黒曜石製の削器1	町内VIII、大調 14
7	東久保 250-1 他	1999.6.8～7.24	528	区画整理道路	中近世以降の溝1	大調 14
8	東久保 9 街区 13 画地	(1999.11.2～5)	135	個人住宅	ピット1	町内IX
9	東久保 14 街区 1・2・12 画地	(2000.1.28～2.9)	1,074	共同住宅	溝1、ピット11	町内IX
10	東久保 11 街区 3・11 画地	(2000.5.8～10)	1,760	店 舗	遺構遺物なし	町内X
11	東久保 12 街区 5・9 画地	(2001.6.11～12)	1,445	駐車場	遺構なし、土器片3	町内XI
12	東久保 11 街区 9・13 画地	(2001.6.25～7.2)	1,074	店 舗	遺構なし、近世以降の陶磁器片7	町内XI
13	東久保 14 街区 11 画地	(2001.10.13～26)	275	個人住宅	黒色プラン確認、遺物なし	町内XI
14	東久保 11 街区 10 画地	(2002.1.31～2.4)	237	店 舗	遺構遺物なし	町内XI
15	東久保 9 街区 3 画地	(2003.2.3～5)	225	個人住宅	溝2、土坑1、ピット1	町内XII
16	東久保 10 街区 6 画地	(2003.6.3～4)	273	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
17	ふじみ野 2-9-1・2・3	(2006.10.26)	919	共同住宅	遺構遺物なし	市内3
18	ふじみ野 2-11-8・5	(2007.1.16～19)	478	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
19	ふじみ野 2-11-3・4	(2008.7.2～3)	824	個人住宅建設	遺構遺物なし	市内6
20	ふじみ野 2-13-7・8	(2012.12.20)	519	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
21	ふじみ野 2-10-8	(2013.1.31)	319	コンテナ設置	近現代イモビツ1、遺物なし	市内15
22	ふじみ野 2-11-11	(2016.12.22)	185	個人住宅	遺構なし、土器片	市内24
23	ふじみ野 2-10-5	(2017.4.20)	237	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
24	ふじみ野 2-12-2	(2018.10.2～4)	1,586	貸店舗	遺構なし、土器片、土師器、瓦	未報告

現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。遺構は確認されなかったが、表土中より土器片数点が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて表土中より出土した。1 は土師器壺の底部である。底径 5.8 cm、外面はヘラケズリと指ナデ、内面はヘラナデで調整し、赤彩を施す。7 世紀代のものか。2 は陶器片で、器種は不明。内外両面に鉄釉を施す。肥前産か。近世以降のものであろう。

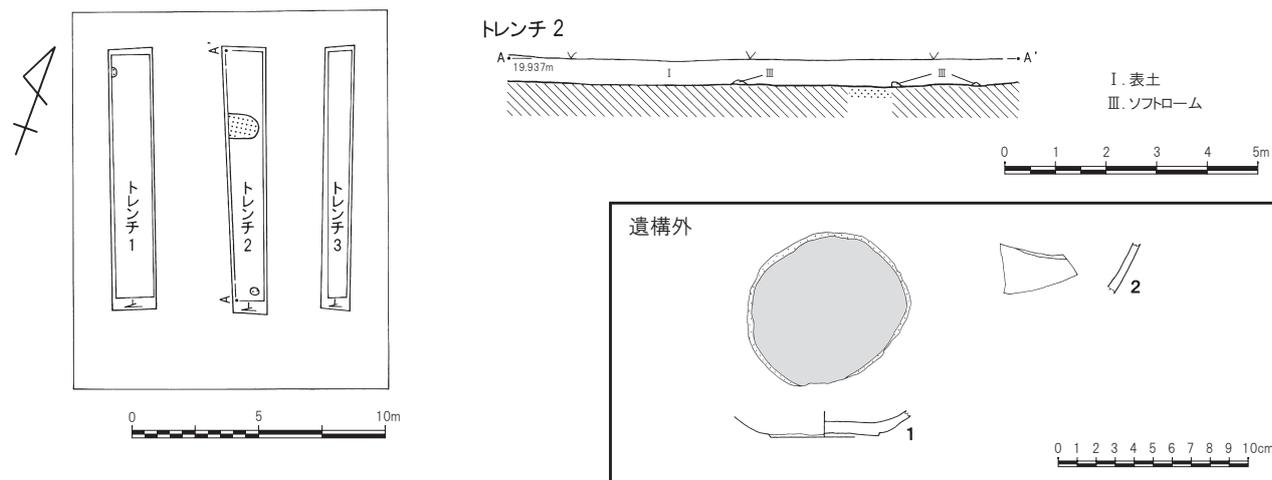
III 東久保西遺跡第 23 地点

(1) 調査の概要

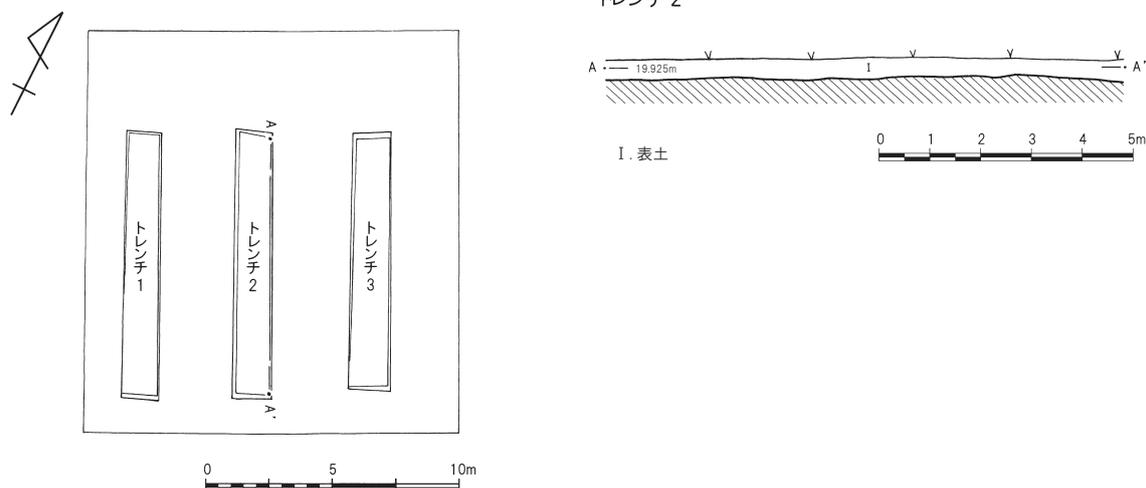
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 3 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 4 月 20 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 20 ~ 30cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 22 地点



第 23 地点



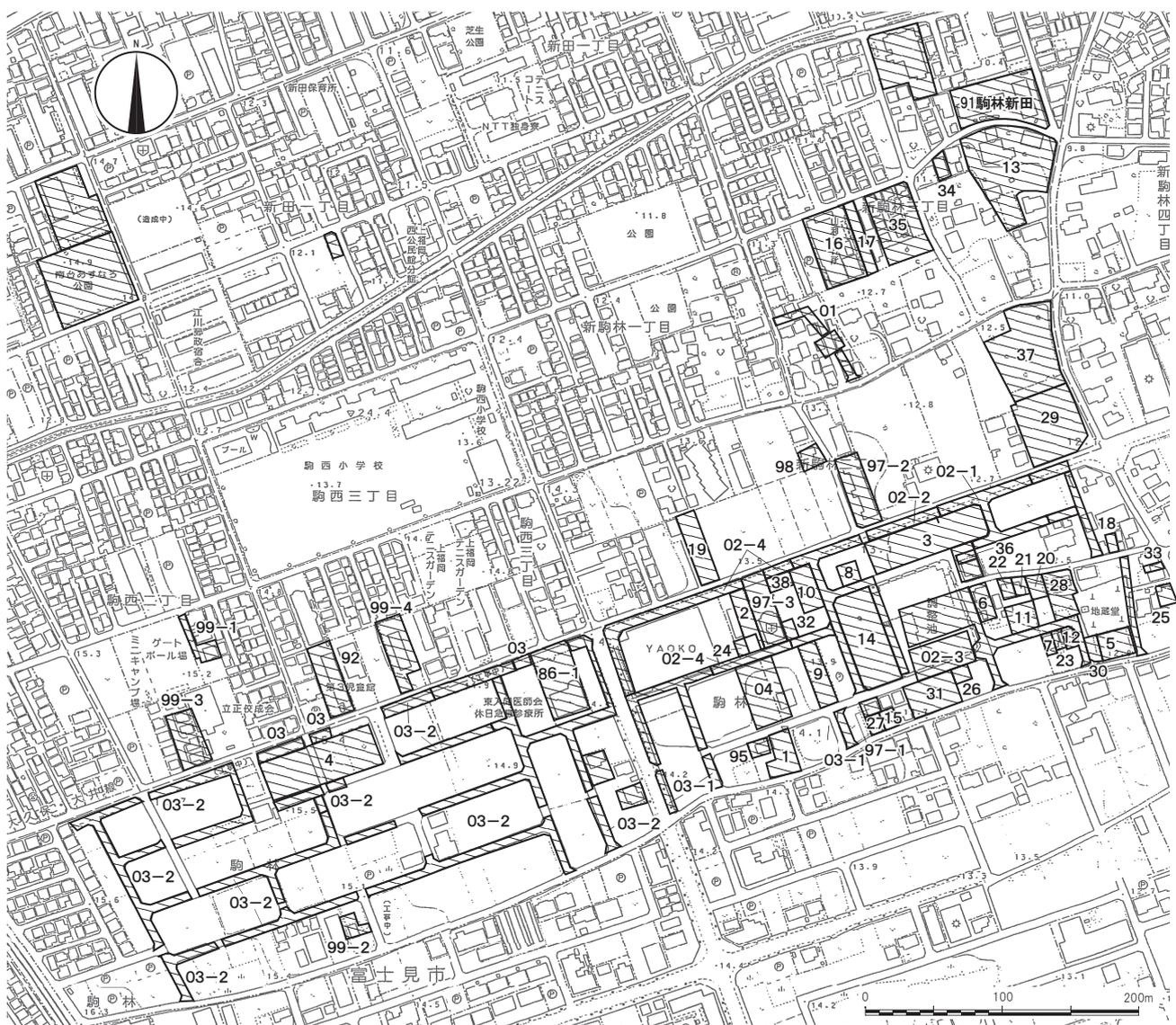
第 92 図 東久保西遺跡第 22・23 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、第 22 地点出土遺物 (1/4)

第 17 章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高 12～15 m 前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北 300 m、東西 800 m の範囲であったが、2002 年～2004 年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北 160m、東西 80m の範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として 2004 年 3 月に追加した。しかし、第 3 地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺 140～160m の台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008 年 2 月に再び遺跡範囲の変更増補を行い、北側の葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓と東側の地下式坑を検出した駒林新田前遺跡を統合した。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は 500m 下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002 年以降の試掘調査の結果、幅 5m、深さ 2 m の大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。



第 93 図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第53表 駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
86-1	駒林字南原 353・354	1986.13～25	1,536	範囲確認	溝、土師器	上埋IX
91 駒林新田	駒林新田 727-1-3	1991.8.3	2,186	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 14
92	駒林字南原 341	1992.9.16～18	987.6	共同住宅	遺構遺物なし	上埋 15
95	駒林字新田前 271-2	1995.11.8～24	231	個人住宅	溝 1、遺物なし	上埋 18
96	駒林本町 153-3・4	1996.6.10～13	231	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 19
97-1	駒林新田前 266-2	1997.5.8～12	132	個人住宅	溝 1、遺物なし	上埋 20
97-2	駒林字新田前 223	1997.5.9～15	991.55	共同住宅	溝 1、遺物なしピット 1、須恵器片	上埋 20
97-3	駒林字新田前 291-1・2	1997.10.6～17	991	診療所	溝 1、甕、すり鉢片	上埋 20
98	駒林字新田前 312	1998.8.10	234	個人住宅	遺構なし、陶磁器片	上埋 21
99-1	駒林字南原 424-2・20の一部、23	1999.4.9	330.38	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 22
99-2	駒林字南原 394-2	1999.5.25	125.91	個人住宅	遺構なし、陶磁器片	上埋 22
99-3	駒林字南原 420-1	1999.7.1	1,322	礼拝堂	溝 1、遺物なし	上埋 22
99-4	駒林字南原 344-2	2000.1.18～20	785.79	共同住宅	溝 1、遺物なし	上埋 22
01	駒林 702・717の一部	2001.8.27～9.5	300	宅地造成	遺構なし、板碑片	上埋 25
02-1	駒林字新田前 238、240～242-1の一部	2002.6.3～21	650	区画整理予定地	溝 1、遺物なし	上埋 25
02-2	駒林字新田前 243～245	2002.8.9～30	275	区画整理予定地	溝 1、遺物なし	上埋 25
02-3	駒林字新田前 261-2、263、264の一部	2002.8.30～9.19	1,120	区画整理予定地	土坑 1、遺物なし	上埋 25
02-4	駒林字新田前 280～282-2、290、292-1～298	2002.11.11～27	1,150	区画整理予定地	溝 4、遺物なし	上埋 25
03-1	駒林字新田前 263、273、275	2003.5.16～21	558	土地区画整理	溝 1、遺物なし	上埋 26
03-2	駒林字南原 364 外 43 筆	2003.4.25～12.22	7,278.5	土地区画整理	溝 3、遺物なし	上埋 26
04	駒林字新田前 281	2005.1.7～24	1,487	範囲確認	溝 1、カワラケ、動物の歯、骨	上埋 27
1	駒林土地区画整理事業地内 20 街区 4・8・9	2006.7.13～28	646	共同住宅	堀跡、茶毘跡検出	市内 3
2	駒林土地区画整理事業地内 17 街区 7・8の一部	2006.11.21～29	421	専用住宅	堀跡検出	市内 3
3	駒林土地区画整理事業地内 21 街区 3・4の一部	2006.11.30～12.18	1,916	店舗	近世遺構建設	市内 3
4	駒林 B 地区 7 街区 3・4	2007.6.11～13	1,866	共同住宅	縄文：土坑 1	市内 4
5	大字駒林字新田前 256 (仮換地指定 30 街区 2)	(2008.4.9～16) 2008.5.30～6.28	509	分譲住宅	縄文：集石 3、中近世：地下式坑 1、竪穴状遺構 25、溝 4、柵列、ピット	市内 5・6
6	大字駒林字新田前 248-2 (仮換地 1 街区 27 符号 1)	(2008.8.27)	257	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
7	駒林土地区画整理事業地内 28 街区 5 画地	(2009.2.3) 2009.2.4・5	152	個人住宅	時期不詳の堀・溝跡 2	市内 6
8	大字駒林字新田前 245-5	(2009.6.8)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
9	大字駒林字新田前 284	(2009.7.22～30) 2009.7.30～8.5	892	共同住宅	縄文：集石土坑 1、土坑 2、ピット 9、溝 1	市内 8
10	大字駒林字新田前 288-1の一部	(2010.2.17・18)	400	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
11	駒林区画整理事業 27 街区 2、10 画地、11 画地の一部	(2010.4.12～21)	689.45	個人住宅	遺構遺物なし	市内 10
12	駒林字新田前 258-2 (28 街区 12 画地)	(2010.7.14)	115	個人住宅	中世～近世：溝確認	市内 10

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
13	新駒林 3-722-1・3・4	(2010.7.27～29)	927	共同住宅	近世の土坑 2、ピット 11	市内 10
14	駒林字新田前 285～287、288-2・3 (22 街区内)	(2010.9.1～8)	2,000	公園工事	遺構遺物なし	市内 10
15	大字駒林字新田前 266-3 (24 街区 12 符号)	(2011.2.16・17) 2011.2.17	115	個人住宅	時期不詳の土坑 1	市内 10
16	新駒林 3-706	(2011.5.2～25) 2011.5.25～6.1	1,454	分譲住宅	堀、溝 1、井戸 2、土坑 2、ピット 4、縄文土器片、近世陶磁器	市内 14
17	新駒林 3-707	(2011.5.16～19)	495	分譲住宅		
18	駒林 234-2、238-2(仮換地)、31-4・5	(2011.4.28～5.2) 2011.8.25～31	238	個人住宅	土坑 2、近世陶磁器類破片	市内 14
19	新駒林 2-305-1	(2011.11.28～12.5) 2011.12.12	671	分譲住宅	中・近世の溝 1、縄文土器	市内 14
20	駒林元町 1-3-13	(2012.3.5～8)	178.8	共同住宅	土坑 1	市内 14
21	駒林元町 1-3-13 の一部	(2012.3.5～8)	110	個人住宅	ピット 6、倒木痕 1	市内 14
22	駒林元町 1-3-20	(2012.3.5～8)	118	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
23	駒林元町一丁目 4 番 12	(2012.4.10～16)	127	専用住宅	ピット 2、溝 3 (うち 1 は掘状)、遺物なし	市内 15
24	駒林元町二丁目 1-7	(2012.5.16)	127	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
25	駒林元町一丁目 2 番 7	(2012.6.4)	212	個人住宅	遺構なし、土器	市内 15
26	駒林元町一丁目 5 番 16	(2012.8.29・30)	136	個人住宅	ピット 6、溝 1、遺物なし	市内 15
27	駒林元町 1-5-9・10	(2012.12.21)	133	個人住宅	時期不明土坑 1、遺物なし	市内 15
28	駒林元町 1-3-8・14～16	(2013.2.21～25) 2013.5.21～27	1,208	宅地造成	中近世以降堀跡、溝 1、磁器片、須恵器、陶器	市内 14
29	新駒林 2-231-1	(2013.6.3～17)	2,200	店舗	土坑 2、溝 6、石器、近世陶磁器	市内 18
30	駒林元町 1-3-7	(2013.6.19・20)	68.16	個人住宅	近世以降ピット 3、陶磁器	市内 18
31	駒林元町 1-5-5・6	(2013.9.17～27)	925	宅地造成	溝 4、遺物なし	市内 18
32	駒林元町 2-1-16	(2014.2.10)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
33	駒林元町 1-2-2	(2016.4.11)	129.6	個人住宅	遺構なし、土器片、須恵器	市内 24
34	新駒林 3-725-3	(2016.10.14)	163	共同住宅	泥面子、陶磁器	市内 24
35	新駒林 3-709-1～4、710-1・2	(2017.7.27・28、 8.21・22) 2017.8.23 ～9.4	1,815	分譲住宅	堀跡 (古代～中世) 溝 4、土坑 2 (時期不明)、石器、古銭、焙烙	市内 23
36	駒林元町 1-7-4	(2017.9.19)	160	消防団倉庫	遺構遺物なし	市内 24
37	新駒林 2-216-1、217-1	(2018.3.5～7) 2018.3.12～16	2,515	店舗	堀跡 1 (中近世)、溝 1 (近世以降)、陶磁器片、泥面子、土器片、砥石、須恵器	市内 23
38	駒林元町 2-1-3	(2018.5.8)	396.06	店舗兼共同住宅	遺構なし、土器片	未報告

II 駒林遺跡第 33 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 3 月 30 日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 4 月 11 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。地山ローム層までの深さは約 50 cm である。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。表土中よりわずかに土器片が出土した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて表採または表土中より出土した。詳細については第 54 表及び第 93 図に掲載した。

III 駒林遺跡第 34 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 7 月 22 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 10 月 14 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40 cm である。

調査の結果、遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物は表土中より出土した。詳細については第 54 表及び第 94 図に掲載した。

第 54 表 駒林遺跡第 33・34 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

地点	図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法/文様/備考	時期/型式
第 33 地点	第 94 図-1	遺構外	縄文/浅鉢	—	—	—	内面口縁部に沈線と押引文/胎土に雲母を含む、内面にハジケ	中期/五領ヶ台
	第 94 図-2		土器/壺	(6.0)	—	—	轆轤成形/素焼きの小壺	近世以降か
第 34 地点	第 94 図-1		磁器/皿	(11.0)	(7.0)	(1.9)	轆轤成形/型紙染付/漢詩文、瀬戸美濃	1880 年代以降
	第 94 図-2		土製品/泥面子	2.5	2.4	0.9	型押し成形/芥子面(ひよっこ)、裏面に指頭痕	近世以降

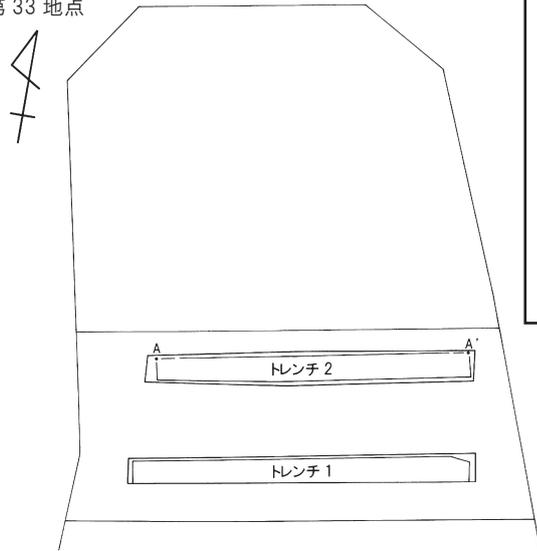
IV 駒林遺跡第 36 地点

(1) 調査の概要

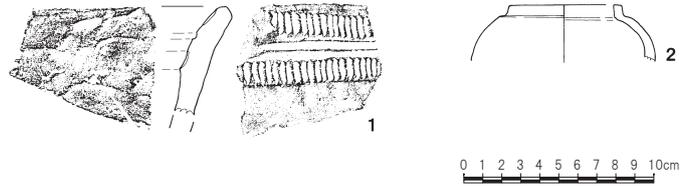
調査は消防団車庫の建設に伴うもので、原因者より 2017 年 9 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 9 月 19 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30～70cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

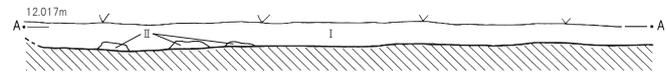
第 33 地点



遺構外

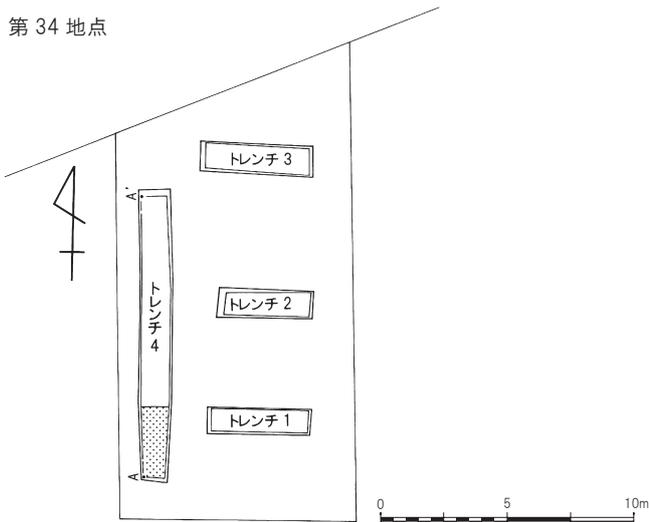


トレンチ 2

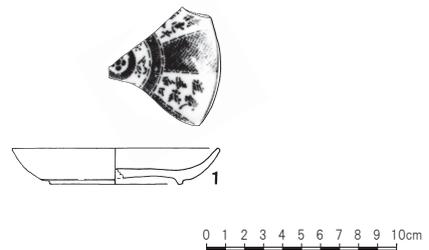


I. 暗褐色土 締り弱、粘性有、表土にロームシミ状・2mm 以下ローム粒少し含む
 II. ソフトローム、黄褐色土 締りやや強、粘性有

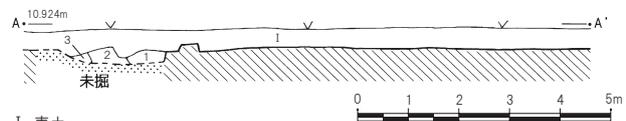
第 34 地点



遺構外

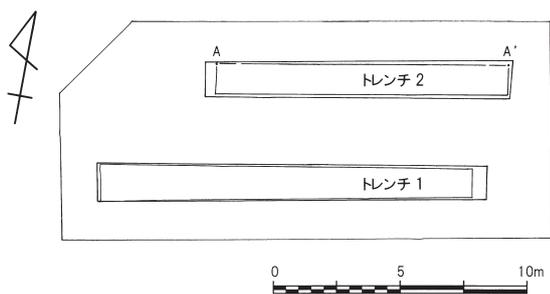


トレンチ 4

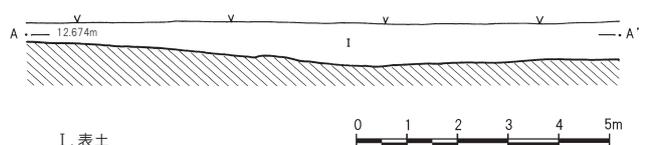


I. 表土
 1. 暗褐色土 粘性有、締り有、20mm 以下ロームブロック多量に含む
 2. 暗褐色土 粘性有、締り有、5mm 以下ローム粒少量含む
 3. 暗褐色土 粘性有、締り強、10mm 以下ロームブロック少量含む

第 36 地点



トレンチ 2



I. 表土

第 94 図 駒林遺跡第 33・34・36 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、第 33・34 地点出土遺物 (1/4・1/1)

第18章 福岡新田遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

福岡新田遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面上で、標高7～10m前後の平坦地に位置する。遺跡周辺は福岡江川が僅かに南に湾曲し、江川の侵食による蛇行なのか、埋没谷や湧水などの影響によるものかは不明である。江川から南に広がる窪地と周辺部には僅かな微高地状の起伏もみられる。

福岡新田は江戸時代の慶安年間（1648～52年）に川越藩の新田開発により成立した村で、『新編武蔵風土記稿』によると、村域は江川左岸の「東西25町許、南北5町」とあり、東西約2.7km・南北約500mである。

遺跡範囲は当初、江川の北側にも延びていたが、北側は松山遺跡に統合し、南側のみを福岡新田遺跡とした。遺跡の範囲は南北230m、東西240mであるが、広がる可能性もある。

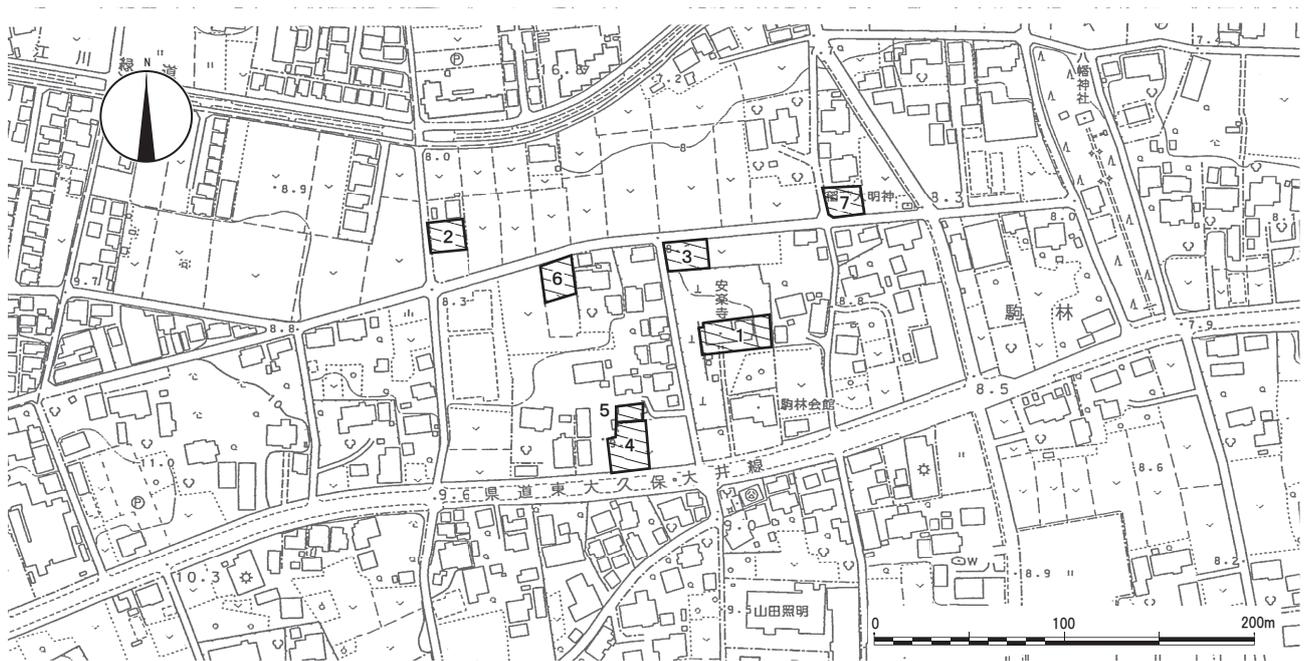
遺跡周辺は宅地開発もされるが、畑地も多く残っている。周辺の遺跡は、江川の対岸に松山遺跡、200m東側に鷺森遺跡、350m西側に駒林遺跡（2008年駒林新田前遺跡と統合）がある。

本遺跡周辺の調査は、1982年新田2丁目の試掘調査以来、2018年4月現在6ヶ所で実施している。2013年1月、第4地点の本調査で奈良平安時代の住居跡1軒を検出、遺物も出土している。

II 福岡新田遺跡第6地点

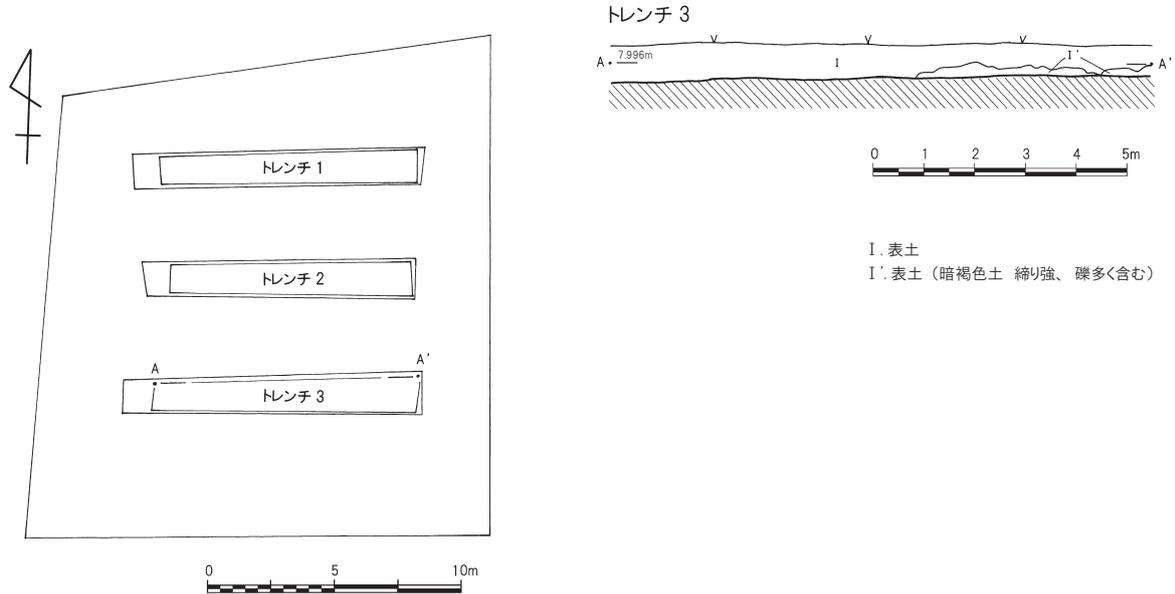
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年4月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の中心部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年7月13日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～80cmであった。



第95図 福岡新田遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 96 図 福岡新田遺跡第 6 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第 55 表 福岡新田遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1982 年度 新田 2 丁目 遺跡試掘	新田 2-481 ~ 482	(1982.8.27 ~ 9.14)	1,454	民間開発	近世陶磁器、松山遺跡に変更	上埋 V
1989 年度 新田遺跡試掘	新田字本新田 400-1	(1989.6.22 ~ 27)	495	宅地造成	遺構遺物なし、松山遺跡に変更	上埋 12
1991 年度 福岡新田試掘	駒林 817-1	(1991.4.23 ~ 26)	482	個人住宅	自然堤防でなく後世盛土	上埋 14
1991 年度 駒林新田試掘	駒林新田 727-1-3	(1991.8.3)	2,186	共同住宅	遺構遺物なし、駒林遺跡に変更	上埋 14
1992 年度 福岡新田試掘	中福岡 362	(1992.7.17 ~ 22)	998	共同住宅	遺構遺物なし、松山遺跡に変更	上埋 15
1	駒林字寺脇 861-1、 866-1、862・864・ 865 の一部	(2007.10.9 ~ 24)	1,754	寺院建設	中・近世以降の土坑 6、溝 5、縄文土器、近世陶磁器	市内 4
2	駒林字寺脇 841-3	(2011.9.12 ~ 14)	231	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
3	駒林字寺脇 869-4	(2012.12.18) 2012.12.19 ~ 21	281.49	個人住宅	土坑 3、溝 4、ピット 10、土器	市内 15
4	駒林 859-1	(2013.1.7) 2013.1.8 ~ 23	568	駒林会館	平安時代住居 1、土坑 4、溝 2、近世以降のイモビツ、土師器、陶磁器	市内 15
5	駒林寺脇 852-2・7	(2013.12.18・19)	153	個人住宅	遺構なし、平瓦	市内 18
6	駒林寺脇 845-2	(2017.7.13)	331	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
7	駒林寺脇 883-1	(2019.3.14・26)	412	個人住宅	ピット 1、土坑 1、土器片、石器、須恵器、陶磁器	未報告

第19章 東久保南遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保南遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐさかい川の谷頭部から、約400～500m程下った左岸に位置している。標高19～21mで現谷底との比高差は1m以下でほぼ平坦である。さかい川は富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源をもつ伏流水で現在は下水路となっている。なお、富士見市にも遺跡範囲は広がり、同じ東久保南遺跡で登録され、同遺跡と接して「オトウカヤマ」と呼ばれる塚がある。周辺の遺跡は、さかい川の対岸に西ノ原遺跡、下流の左岸には中沢遺跡がある。

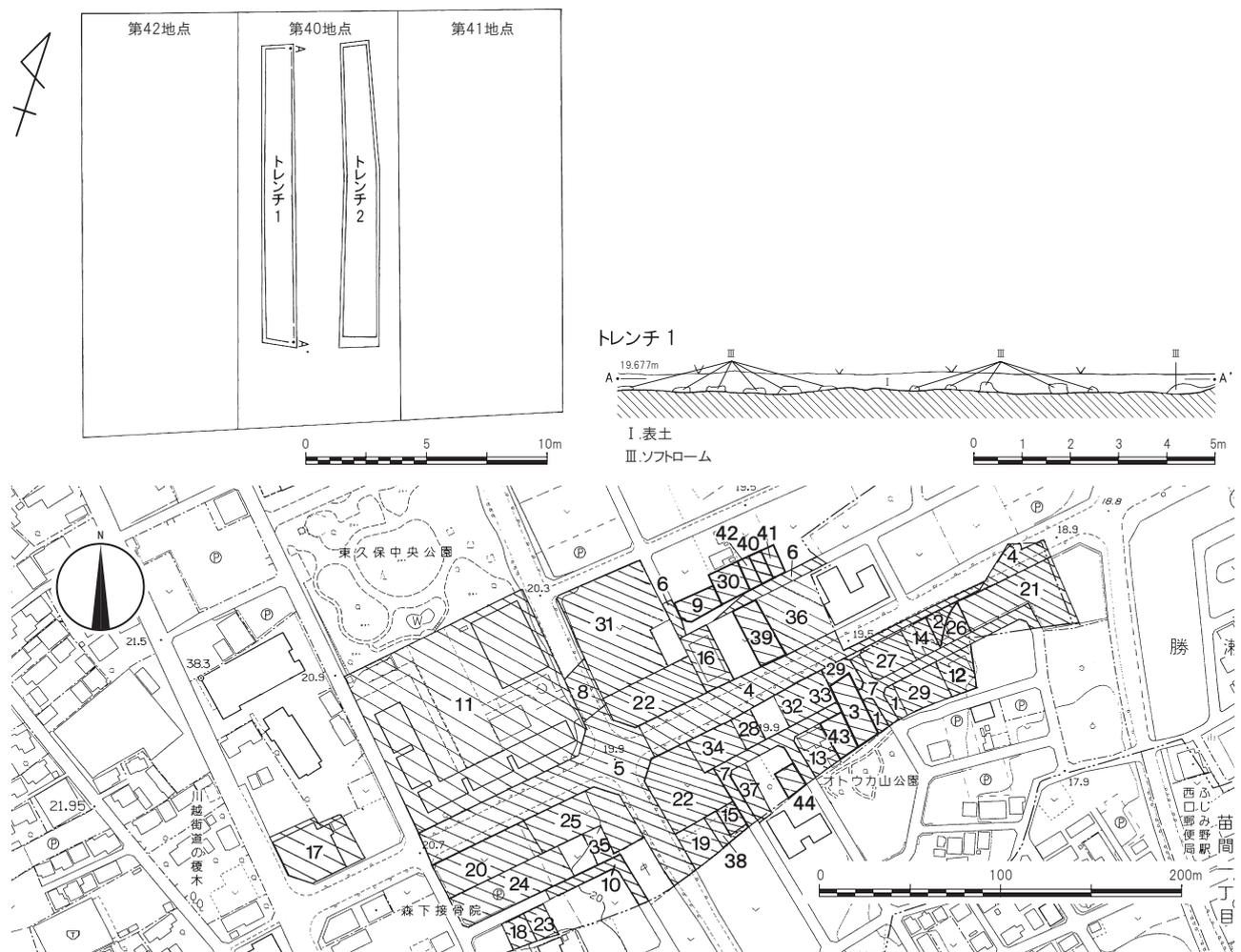
2019年4月現在44ヶ所で調査が行われ、縄文時代中期の住居跡2軒、奈良・平安時代の住居跡4軒（1軒は富士見市域内）、縄文時代の落とし穴・土坑・炉穴や時期不明の溝跡が確認されている。

II 東久保南遺跡第40地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年3月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017年3月13日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約20～30cmである。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第97図 東久保南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第40地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第56表 東久保南遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保字東久保 547	1981.11.24～12.14	320	農地天地返し	溝1、縄文土器、石器、近世：内耳土器3	東部Ⅲ
2	亀久保字東久保 546-2	1983.5.30～6.2	264	住宅建設	ピット1	東部Ⅴ
3	亀久保字東久保 549-4	1983.6.7～7.4	326	住宅建設	溝1、縄文土器、寛永通寶1	東部Ⅴ
4	亀久保 549-1 他	1993.12.1～3.18	1,680	区画整理道路	縄文中期：住居跡1、落とし穴1、炉穴3、土坑8、ピット37、平安：住居跡1、中世以降：溝6、縄文土器等コンテナ1箱、須恵器、土師器	大調14
		1994.9.26～11.22	444		大調14	
5	亀久保 557-1、559、560 他	1994.9.26～12.19	2,500	区画整理道路	縄文：土坑2、ピット12、旧石器1、縄文土器片	大調14
		(1996.6.17～21)	680	区画整理道路	遺構遺物なし、報告書では第4地点の続きとして掲載	町内Ⅵ
6	亀久保 551-4 他	1995.6.20～7.11 1995.11.22～12.6	480	区画整理道路	縄文：土坑3、ピット24、溝1、縄文土器片、陶磁器片	大調14
7	亀久保 554 他	1995.7.12～12.5	1,500	区画整理道路	縄文：落とし穴1、土坑39、ピット60、近世：溝6、柵列1、縄文土器片、陶磁器片	大調14
		1996.8.23～26	360		大調14	
8	亀久保 494 他	1995.11.16～12.13	467	区画整理道路	縄文：土坑7、ピット48、縄文土器片	大調14
		1996.2.14～22	75			大調14
9	東久保 518-1	(1996.7.1～3)	225.02	個人住宅	縄文早期：炉穴1、ピット2、近世以降：溝1	町内Ⅵ
10	亀久保 562 他	1996.8.19～26	440	区画整理道路	ピット1	大調14
11	東久保 464、499 他	(1996.11.22～1997.1.31)	10,500	共同住宅	時期不明：ピット7、土坑1、溝8	町内Ⅵ
12	東久保 64 街区 1 画地	(1997.5.8～16) 1997.5.19～6.7	446	個人住宅	縄文：落とし穴1、平安：住居跡1、土坑1、須恵器・土師器	町内Ⅶ
13	東久保 62 街区 1・2・3 画地	1997.8.25～9.1	460	個人住宅	縄文：土坑1、ピット4、溝1	町内Ⅶ
14	東久保 63 街区 2 画地	(1998.6.23～7.1)	333	個人住宅	縄文：落とし穴1、屋外炉跡2、土坑1、ピット4、溝1	町内Ⅷ
15	東久保 60 街区 6 画地	(1998.7.4～7.9)	143	個人住宅	縄文：落とし穴1	町内Ⅷ
16	東久保 59 街区 3 画地	(1998.12.12～.14)	541	共同住宅	遺構なし、縄文土器片	町内Ⅷ
17	東久保 46 街区 9・10・17 画地	1999.1.27～2.3)	1,264	自動車 ショールーム	ピット9、溝1	町内Ⅷ
18	東久保 48 街区 4 画地	(1999.5.14～18)	202	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅸ
19	東久保 60 街区 6 画地	(1999.7.8～12)	466	駐車場	溝状のプラン3本確認	町内Ⅸ
20	東久保 49 街区 1 画地	(1999.12.22～2000.1.15)	1,106	店舗	遺構遺物なし	町内Ⅸ
21	東久保 64-1 街区	2001.1.15～31)	1,283	共同住宅	遺構遺物なし、水成堆積した黒色土を確認	町内Ⅹ
22	東久保 60 街区 1 画地	(2001.2.4～15) 2001.2.14～26	2,703	中古車展示場	縄文早期：集石土坑1、炉穴14、落とし穴1、ピット11、中・近世：溝2、縄文土器、石器	町内Ⅹ、大調14
23	東久保 48 街区 6 画地	(2001.3.7・8)	208	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅹ
24	東久保 49 街区 6 画地	(2001.4.2～8)	1,051	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅺ
25	東久保 49 街区 2・3 画地	(2001.9.26～10.12)	1,388	中古車展示場	溝4、ピット33	町内Ⅺ
26	東久保 63 街区 3 画地	(2001.10.30～11.1)	208	店舗	遺構遺物なし	町内Ⅺ
27	東久保 63 街区 1 画地	(2002.5.29～6.7)	610	共同住宅	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
28	東久保 549-1、5503 (60 街区 3・4 画地)	(2002.9.13～21)	322	共同住宅	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
29	東久保 64-1 街区 1・4 画地	(2003.3.17～20) 2003.3.24～4.7	736	駐車場造成	試掘調査後本調査、縄文中期：住居跡1、炉穴12土坑3、奈良・平安：住居跡1、溝3、縄文土器、石器、土師器	大調14
30	東久保 58 街区 13 画地	(2003.8.4・5)	164	個人住宅	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
31	東久保 59 街区 1・2 画地	(2003.8.21～10.5) 2003.9.3～10.2	2,948	店舗	試掘調査後本調査、縄文早期：炉穴32、土坑6、ピット19、溝1、縄文土器	大調14
32	ふじみ野 4-9-4 の一部 (60 街区 4 画地)	(2004.1.26～29)	289	店舗	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
33	ふじみ野 4-9-4	(2004.7.8・9)	354	店舗	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
34	ふじみ野 4-9-2 (60 街区 2 画地)	(2004.7.8～12)	555	共同住宅	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
35	ふじみ野 1-5-8	(2005.1.17)	194	個人住宅	試掘調査、整理作業中	町内Ⅻ
36	ふじみ野 4-8-7	(2005.1.21～27) 2005.2.2～17	1,005	事務所建設	縄文：落とし穴1、土坑2(風倒木痕)、溝3、縄文土器片	町内Ⅻ、大調14
37	ふじみ野 4-10-1	2005.1.7	695	駐車場	遺構遺物なし	町内Ⅻ
38	ふじみ野 4-9-11・12	2010.10.13	177	個人住宅	遺構なし、縄文土器片、近世陶磁器片	市内10
39	ふじみ野 4-8-6	(2011.8.11～16)	695	事務所	遺構遺物なし	市内14
40	ふじみ野 4-7-17	(2017.3.13)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
41	ふじみ野 4-7-18	(2017.5.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
42	ふじみ野 4-7-11	(2017.10.27)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
43	ふじみ野 4-11-2・7	(2017.11.1・2) 2017.11.14・15	469	共同住宅	縄文時代住居跡1、ピット4、近世以降溝1、縄文土器、陶磁器	市内23
44	ふじみ野 4-10-2	(2018.4.23)	289	個人住宅	遺構なし、土器片、須恵器、陶磁器	未報告

Ⅲ 東久保南遺跡第 41 地点

(1) 調査の概要

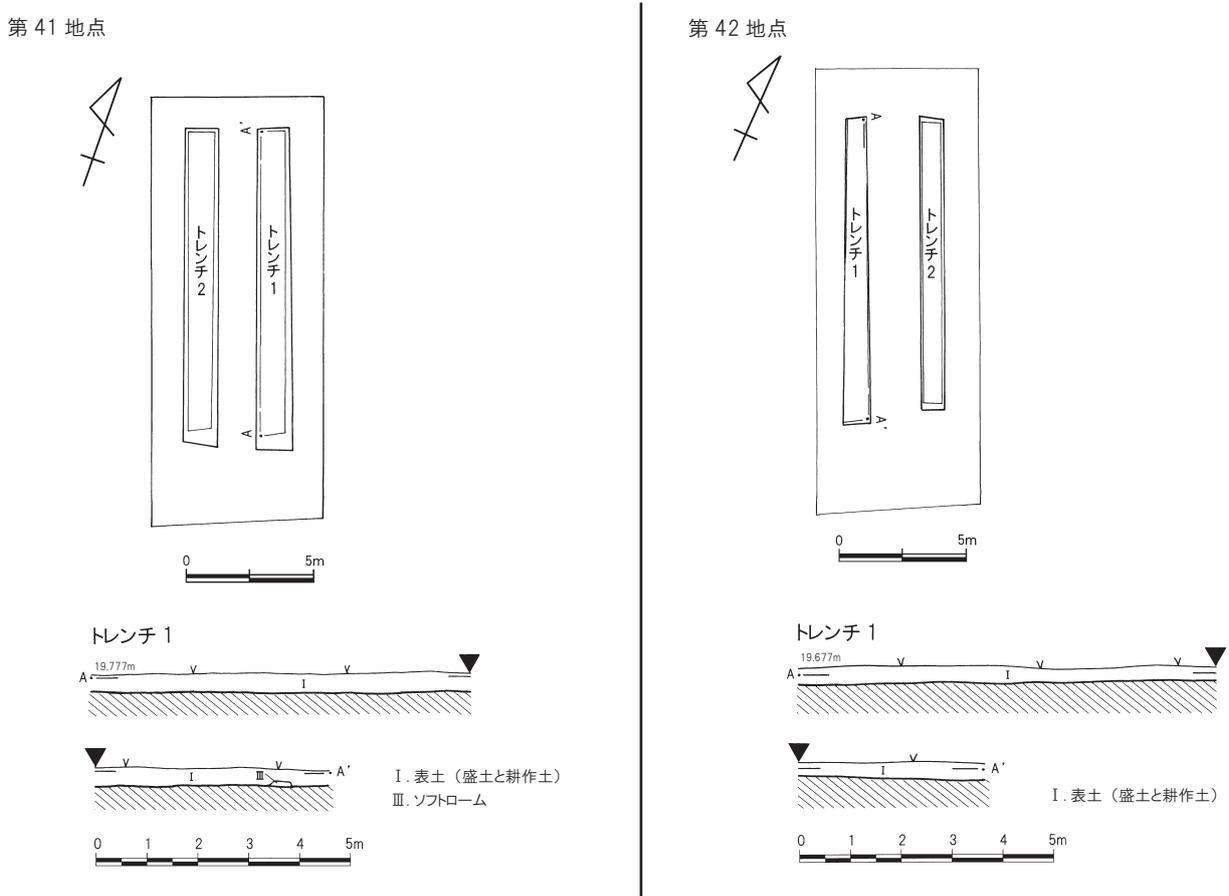
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 5 月 15 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 5 月 30 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1.3 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 20 ~ 30cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅳ 東久保南遺跡第 42 地点

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 10 月 16 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 10 月 27 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 98 図 東久保南遺跡第 41・42 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

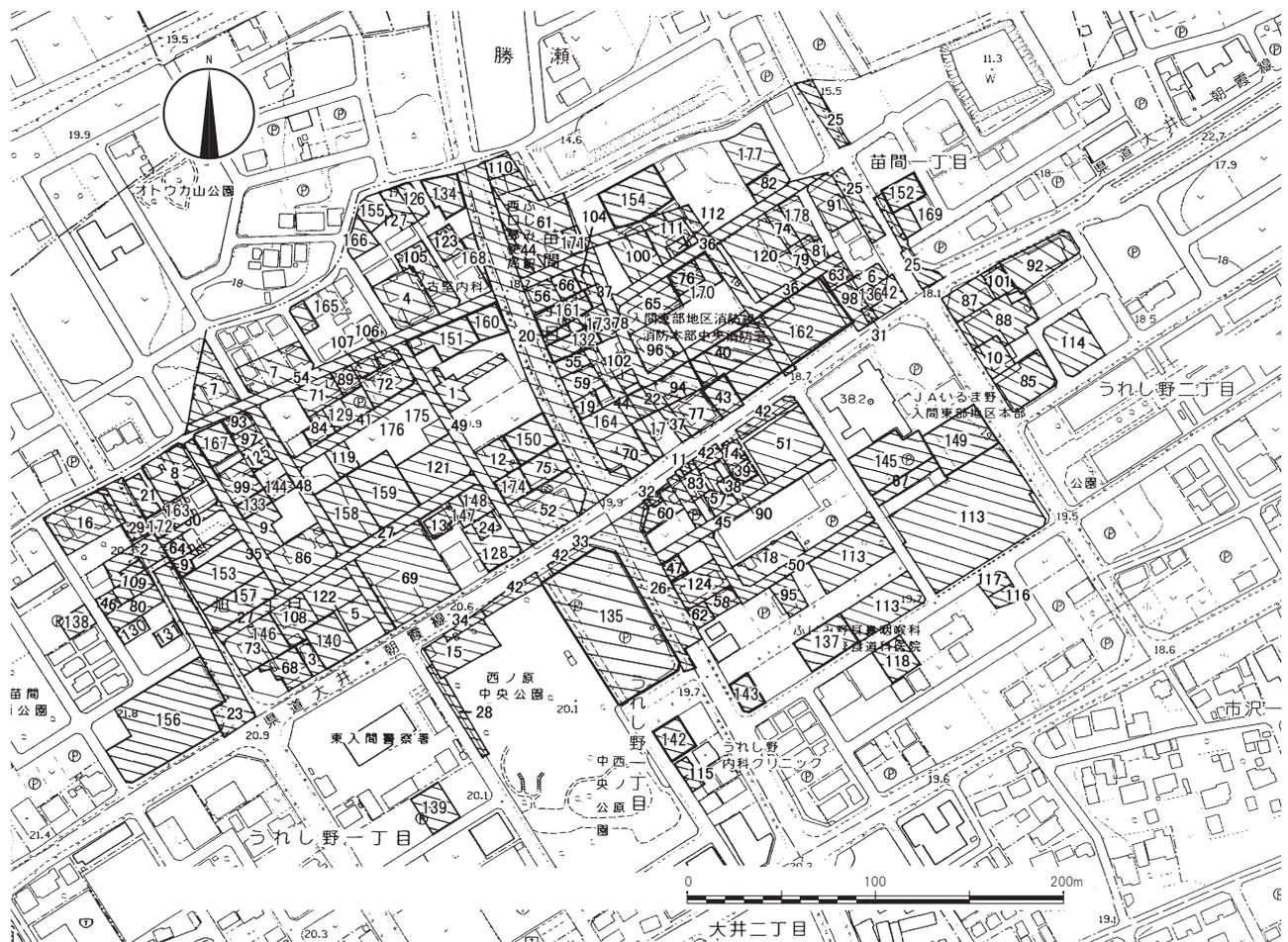
第20章 西ノ原遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。1971年以来2019年4月現在で178地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第99図 西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第57表 西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書	地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書
1		1971			住居跡 1、土坑 3、集石土坑 1	町史資 1	44		1990.6～8	3,224	区画道路	屋外埋壘、炉穴 3、落とし穴 2、土坑 16、集石土坑 1	大調 6
2	西ノ原 83	1978.12.6～12.26	270	宅地造成	住居跡 1、溝 2、旧石器、縄文土器 1979「西ノ原遺跡」	西ノ原	45		1991.2		区画道路		
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土		46	苗間 83-2	1991.4.9～10	199	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町内 I
4	西ノ原 125-1	1979.7.2～9	668	宅地造成	遺構なし、縄文中期土器	東部 I	47	苗間 136-2	1991.7.15～7.26	141	個人住宅	遺構なし、石鏃、土器片のみ	町内 I
5		1979.8.1～14		町史編纂事業	住居跡 1、土坑 1、早期炉穴 2、縄文中期土器「大井町史料 7 集」	大史 7	48		1991.9～10	2,610	区画道路	縄文中期住居跡、土坑 3	大調 6
6	西ノ原 170-2	1980.6.19～27	450	宅地造成	土坑 2、柱穴 2、堀の内 II 式土器他	東部 II	49		1991.12～1992.1		区画道路	縄文中期住居跡 12、集石土坑 1、土坑 8	大調 6
7	西ノ原 96-1	1980.10.1～29	563	宅地造成	旧石器群 2、縄文土坑 1	東部 II	50		1991.11～12	区画道路	縄文中期住居跡 15、屋外埋壘 1、土坑 3	大調 6	
8	西ノ原 95-2・3	1980.10.30～11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑 2、土坑 1、溝 2、縄文中期土器	東部 II	51	苗間 153-2	1991.2.4～12	1,190	モデルルーム	縄文中期住居跡 2、掘立柱跡、土坑 2、ピット 5	町内 I
9	西ノ原 93-1、98-1	1981.6.1～23	600		柱穴 6、溝 2、石器、土器	東部 III	52	苗間 122	1991.2.10～20	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡 14、集石土坑 7、土坑 5、野外炉 1、ピット 19	大調 5
10	西ノ原 180-2	1981.11.4～13	400	個人住宅	柱穴 11	東部 III	53	西ノ原 133-2	1992.6	261	分譲住宅		
11	西ノ原 143-4	1983.5.23～27	198	宅地造成	縄文土坑 1、縄文中期土器	東部 V	54		1992.5～7	区画道路	集石土坑 1、土坑 1	大調 6	
12	西ノ原 123-3	1983.7.6～8.11	330		縄文中期住居跡 2、縄文土坑 39	東部 V	55	西ノ原 135-5 他	1992.5.21～6.23	241	駐車場	縄文中期住居跡 2、炉穴 5、土坑 1	大調 5
13	西ノ原 114-6	1983.9.13～10.18	350		縄文中期住居跡 1、縄文土坑 56、集石 1、溝 1	東部 V	56	西ノ原 133-2	1992.6.23～26	261	分譲住宅	集石土坑 1、土坑 3、ピット 6、溝 1	町内 II
14	西ノ原 143	1983.10.24～11.7	240		縄文中期住居跡 2、縄文土坑 3、集石 1、溝 1	東部 V	57	西ノ原 143-3・4	1992.7.6～9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡 2、土坑 1	町内 II
15				共同住宅	縄文土坑 2、ピット 6		58	西ノ原 137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし、縄文土器若干	町内 II
16					遺構なし		59	西ノ原 135-1	1992.10.6～11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡 3、炉穴 11、屋外埋壘 1、土坑 1、ピット 12	町内 II
17	西ノ原 135-3	1985.5.13～22	165	宅地造成	縄文土坑 2、溝 1	東部 VI	60	西ノ原 136-2	1992.12.10～25	253	個人住宅	縄文中期住居跡 2、炉穴 4、土坑 1、ピット 34、落とし穴 1	町内 II
18	西ノ原 141-2	1985.7.26～8.5	569	宅地造成	縄文中期住居跡 1、縄文土坑 1、ピット群	東部 VI	61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴遺構 1、落とし穴 3、土坑 2、炉穴	大調 6
19	西ノ原 135-1	1986.7.8～21	230	住宅建設	縄文中期住居跡 1、縄文土坑 1、屋外埋壘 2	東部 VII	62						
20	西ノ原 135-1	1986.11～1987.4	3,553	区画道路	縄文早期炉穴 4、中期住居跡 12、竪穴状遺構、屋外埋壘 2、落とし穴 5、土坑 40	大調 6	63	西ノ原 162-3、169	1993.4.13～22	147	共同住宅	中(近世)ピット群、遺物なし	町内 III
21	西ノ原 95-1	1986.12.11～1987.1.9	447	住宅	竪穴状遺構 1	東部 VII	64	西ノ原 94-1	1993.4.27～28	327	共同住宅	近世・近代溝、前期土器	町内 III
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡 2、縄文土坑 11、ピット 2	東部 VIII	65	西ノ原 145-1	1993.6.7～11	615	共同住宅	縄文中期土坑 3、平安時代住居跡 1、土器器、須恵器	町内 III
23		1987.7～8	1,024	区画道路	土坑 2	大調 6	66	西ノ原 133-2	1993.6.30～7.19	474	共同住宅	近代溝、縄文土器	町内 III
24		1987			縄文中期住居跡 2 確認、未検出		67	西ノ原 159-2	1994.1.20～21	308	倉庫	縄文中期土坑、ピット、近代溝	町内 III
25		1988.1～2	781	区画道路	遺構なし	大調 6	68	西ノ原 91-2・6	1994.3.22～25	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町内 III
26		1988.3～4	1,649	区画道路	旧石器群、縄文中期住居跡 3、土坑 9、ピット、屋外埋壘 1	大調 6	69	苗間 106	(1994.4.8～27) 1994.5.16～10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡 28、土坑 6、ピット 11、溝 1	大調 13
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡 5、縄文土坑 2、炉穴 1、集石土坑 1	大調 6	70	苗間 136	1994.5	551	店舗	屋外埋壘 4、土坑 14	大調 6
28		1988.11		区画道路	遺構なし	大調 6	71	苗間 112	1994.6～7	309	個人住宅	落とし穴 1	
29		1988.12		区画道路		大調 6	72	苗間 112-109	1994.11.2～28	321	個人住宅	縄文中期住居跡 3、土坑 2、溝 2	町内 IV
30		1989.2～3		区画道路	土坑 1	大調 6	73	苗間 92-1	1994.3.27～29	274	個人住宅	遺構遺物なし	町内 IV
31	西ノ原 115-1	1989.11.4～11	21	下水管理設	遺構なし	東部 IX	74	苗間 163	(1994.4.21～5.13)	169	事務所	ピット 6	町内 V
32	西ノ原 122	1989.1.10～19	21	区画道路	縄文中期住居跡 1、屋外埋壘 3	東部 IX	75	苗間 122	(1995.5.16～23) 1995.6.2～9.23	379	事務所	縄文中期住居跡 17、集石土坑 1、土坑 4、集石 2、ピット 9、溝 1	大調 13
33	西ノ原 153-2	1989.1.10～19	21	区画道路	縄文中期住居跡 1	東部 IX	76	苗間 151-2 他	(1995.4.20～27)	468	倉庫	ピット 1、溝 1	町内 V
34	西ノ原 171	1989.1.24～31	21	区画道路	縄文中期住居跡 1	東部 IX	77	苗間 143-2	(1995.5.24～25) 1995.6.1～7.28	347	店舗	縄文中期住居跡 1、土坑 18、溝 4、ピット 58	大調 13
35		1989.2～3	4,000	区画道路	縄文中期住居跡 1、土坑 1	大調 6	78	苗間 22-3-2	(1995.6.28～8.8)	45	貯水槽	縄文中期住居跡 3	町内 V
36		1989.3～4		区画道路	縄文中期住居跡 4、縄文土坑 5、落とし穴 2、井戸 1	大調 6	79	苗間 162-2 他	(1995.6.29～7.24)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町内 V
37		1989.5～8	200	区画道路			80	苗間 83-2	(1995.7.19～25)	319	駐車場	遺構遺物なし	町内 V
38	西ノ原 142-2	1989.8.29～9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡 1、土坑 3	東部 X	81	苗間 169	(1995.8.2～7)	223	店舗付住宅	溝 1、遺物なし	町内 V
39	西ノ原 142-2	1989.8.29～9.12	94	個人住宅	土坑 2、溝 2	東部 X	82	苗間 168	(1995.8.1～5)	249	事務所	遺構遺物なし	町内 V
40		1989.9.18～10.16・1989.10.19～11.4	980	消防訓練塔	縄文中期住居跡 4、土坑 4、集石土坑 1、ピット 28	東部 X	83	苗間 136-2	1995.8.23～10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡 2、集石土坑 2、土坑 2、ピット 22	町内 V
41		1989.9～10	476	区画道路	縄文中期住居跡 4、土坑 1	大調 6	84	苗間 108、109	(1995.11.30～12.9)	135	個人住宅	土坑 1、ピット 5	町内 V
42		1991.12～1992.7		区画道路	屋外埋壘 2、土坑 19	大調 6	85	苗間 181-3	(1996.1.9～26)	654	パチンコ店	遺構遺物なし	町内 V
43	苗間 153-3	1990.6.26～7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡 4、土坑 3	東部 XI	86	苗間 113-2、93-1	(1996.4.19) 1996.4.22～5.15	698	個人住宅	土坑 6、ピット 26、溝 2	町内 VI
							87	苗間 182-1	(1996.6.14～17)	344	学習塾	遺構遺物なし	町内 VI
							88	苗間西ノ原 182-3、189-2、202-1	(1996.7.16～22) 1996.8.1～8	745	共同住宅	土坑 3、ピット 29、楯列 1、落とし穴 1、銭	大調 13

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書
89	苗間西ノ原 112	(1996.7.17～18)	143	個人住宅	溝、土器片のみ	町内VI
90	苗間西ノ原 142-2	(1996.7.3) 1996.8.7～30	177	個人住宅	縄文中期住居跡 2、炉 2、土坑1、ピット 9	町内VI
91	苗間 169	(1996.8.1～5)	477	店舗	遺構遺物なし	町内VI
92	苗間 192-2	(1996.10.23～28)	684	店共用住宅	遺構遺物なし	町内VI
93	苗間 315	(1996.10.22～23)	141	分譲住宅	遺構なし、土器片のみ	町内VI
94	苗間 145-2	(1996.11.11～12)	165	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町内VI
95	苗間 154	(1996.11.14～19)	283	商業ビル	炉1	町内VI
96	苗間 441	(1996.12.17～20) 1997.1.9～14	333	個人住宅	縄文中期住居跡 2、炉 2、土坑1、ピット3	町内VI
97	苗間 97-2	(1996.12.19～20)	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町内VI
98	苗間 171-2	(1997.1.6)	206	個人住宅	盛土保存	町内VI
99	苗間 97-1	(1997.1.20～24)	396	個人住宅	土坑1、落とし穴1、 ピット12、溝1	町内VI
100	苗間 150-2	(1997.4.5～12)	447	共同住宅	土坑2、ピット3	町内VII
101	苗間 183-1・3	(1997.7.22～25)	187	モデルハウス	遺構遺物なし	町内VII
102	大井苗間 22 街区 5 画地	(1997.10.9～20)	179	個人住宅	ピット2、溝2	町内VII
103						
104	苗間 22 街区 2 画地	(1997.10.6～8)	223	個人住宅	焼土、溝2	町内VII
105	苗間 125-2、 126-2	(1998.1.13～2.12)	565	共同住宅	縄文中期住居跡 1、炉 穴1、溝9	町内VII
106	苗間 112	(1998.1.28～2.4)	135	個人住宅	ピット1	町内VII
107	苗間 112	(1998.2.9～13)	135	個人住宅	ピット4、溝1	町内VII
108	苗間 91-1、 92-1、99-1	(1998.3.3) 1998.3.4～17	413	個人住宅	縄文住居跡 1、土坑1、 近世溝3	町内VII
109	苗間 83-4、429	(1998.3.11～18)	429	店舗付共 同住宅	遺構遺物なし	町内VII
110	苗間 146-2	(1998.4.20～5.28)	385	郵便局	落とし穴1、集石1、 礫群1	町内VIII
111	大井苗間 23 街区 9 画地	(1998.10.23～27)	354	個人住宅	ピット1、近世の溝1、 道1	町内VIII
112	大井苗間 23 街区 9 画地	(1999.2.9)	144	個人住宅	近世の溝のみ	町内VIII
113	大井苗間 57・ 58 街区	(1999.4.5～12.14) 2000.1.6～3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット、 中期住居跡 6、炉 穴2、土坑、ピット、 近世溝	町内IX
114	西ノ原 194-1	(1999.8.4～12)	676	駐車場	落とし穴1、ピット2	町内IX
115	大井苗間 52 街区 3 画地	(1999.9.27～29)	135	事務所	遺構遺物なし	町内IX
116	大井苗間 59 街区 11 画地	(1999.12.2～3)	119	個人住宅	遺構遺物なし	町内IX
117	大井苗間 199-2	(1999.12.2～4)	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町内IX
118	大井苗間 59 街区 45 画地	(2000.4.3～12)	548	店舗住宅	遺構なし、縄文中期 土器片	町内X
119	大井苗間 18 街区 4 画地	2000.11.15～12.6	221	倉庫	縄文中期住居跡 3、土 坑1、近世溝1	町内X
120	大井苗間 24 街区 4 画地	(2001.5.7～15)	1,120	共同住宅	遺構なし、縄文中期 土器片	町内XI
121	旭 1-15	2002.2.7～3.8	803	個人住宅	縄文中期住居跡 2、土 坑2、ピット35、近 世溝4	町内XI
122	大井苗間 14 街区 8 画地	(2002.3.9～19) 2002.6.21～7.22	593	共同住宅	縄文中期住居跡 4、溝 3	町内XI
123	大井苗間 19 街区 10 画地	(2002.9.3～9)	252	共同住宅	根切溝のみ	町内XII
124	苗間 137-2	(2002.10.2～6) 2002.10.8～11	524	個人住宅	縄文中期住居跡 1、土 坑2、溝2	町内XII
125	旭 1-8-2	(2003.2.14～19)	182	個人住宅	ピット5	町内XII
126	旭 1-13-6・7	(2004.2.23～25)	153	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
127	旭 1-13-4・19	(2004.5.24～25)	327	個人住宅	土坑1	町内XII
128	旭 1-16-9・10	(2004.6.14～7.15) 2004.7.16～9.29	614	店舗	縄文中期住居跡 17、集石 5、土坑10、ピット17	町内XII
129	旭 1-11-5	(2004.9.30～10.7)	235	共同住宅	縄文中期住居跡 1	町内XII
130	旭 1-5-8	(2004.10.14～15)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
131	旭 1-5-13	(2004.10.22)	97	店付個人 住宅	遺構遺物なし	町内XII
132	苗間 1-15-17	(2005.7.28～8.2) 2005.8.3～11	272	店舗併用 共同住宅	縄文中期住居跡 3、炉 穴7、土坑1	大調 18
133	旭 1-8-8	(2005.10.11～12)	176	個人住宅	遺構なし、土器片	市内2
134	旭 1-13-8	(2005.10.6～11)	348	店舗	道跡1	市内2
135	うれし野 1-5-2	(2006.3.14～4.28) 2006.5.29～6.19 (2007.11.5～12)	3,341	店舗併用 共同住宅	縄文中期住居跡 1、炉 穴1 土坑1、ピット3	市内3 市内4
136	苗間 1-13-22・ 23	(2006.6.23)	629.66	学生寮	遺構遺物なし	市内3

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書
137	うれし野 2-17- 5・6・7	(2006.8.3～7)	861	共同住宅	遺構遺物なし	市内3
138	旭 1-4-7・8	(2006.11.21～22)	247.33	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
139	うれし野 1-4- 4・5・6	(2007.2.1)	474	共同住宅	遺構遺物なし	市内3
140	旭 1-16-14 の 一部	(2007.5.7～10)	487	学習塾	遺構遺物なし	市内4
141	市沢 1-8-8	(2007.5.8～9)	735	店舗兼事務所	土坑1、ピット1	市内4
142	うれし野 1-6-2	(2008.4.4～7)	296.01	寄宿舎(24戸)	遺構遺物なし	市内6
143	うれし野 2-17-3	(2009.3.23)	287	寄宿舎(25戸)	遺構遺物なし	市内6
144	旭 1-8-11	(2009.9.18～25)	155	店舗兼事 務所	遺構遺物なし	市内8
145	うれし野 2-4- 1・10	(2010.7.23～8.25)	4,938	農協事務所・ 農産物直売所	近世以降の溝5	市内10
146	旭 1-16-3	(2010.10.8～13)	246	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
147	旭 1-16-8 の一 部	2010.12.8～ 2011.1.18	135	個人住宅	縄文中期住居跡 1、集 石土坑 1、土坑 1、ピッ ト 50、近世以降溝 2	市内10
148	旭 1-16-8 の一 部	2011.1.19～2.1	211	個人住宅	縄文中期住居跡 1、土 坑 3、ピット 20、近 世以降溝 2	市内10
149	うれし野 2-4-7	(2011.2.7～10)	625	農協事務所・ 農産物直売所	近世以降の溝 1	市内10
150	旭一丁目 14- 5・6	(2012.1.23～16 2012.2.20～3.4)	108	宅地造成	縄文中期住居跡 12、 集石土坑 2、土坑 2、 ピット 36、縄文土器・ 石器	市内11
150	旭 1-14-18	2013.1.23～2.14	111	個人住宅	縄文中期住居跡 5、風 倒木痕 1、縄文中期土 器・石器コンテナ 14 箱	市内15
150	旭 1-14-19	2012.6.26～27	107	個人住宅	縄文中期住居跡 1、縄 文土器・石器	市内15
150	旭 1-14-17	2013.7.1～26	111	個人住宅	縄文中期住居跡 3、土 坑 3、ピット 2、縄文 土器・石器	市内18
151	旭 1-14-1	(2012.1.25～27)	467	分譲住宅	溝5、縄文土器片	市内14
152	苗間 1-12-3	(2012.1.27～31)	324	分譲住宅	遺構遺物なし	市内14
153	旭 1-6-2 の一 部、1-6-4・5	(2012.5.28～30)	951	共同住宅	縄文中期住居跡 1、縄 文土器、石器	市内15
154	苗間 1-2-2・3	(2011.10.24～28)	846	共同住宅	遺構なし 縄文土器片	市内14
155	旭 1-13-3・25	(2013.10.21～22)	234	分譲住宅	地表面から 1.7m 掘削 するも確認面まで達 せず、遺構遺物なし	市内18
156	旭 1-17-1・2	(2013.11.26～ 12.9)	2,345.1	店舗付工場	縄文住居跡床面確認、 遺存状態悪く本調査 不可	市内18
157	旭 1-6-3	(2013.12.9～17)	602	分譲住宅		市内18
158	旭 1-15-6 の一 部	(2014.1.7～14)	739	共同住宅	縄文時代住居跡 12 軒 検出、要本調査	市内18
159	旭 1-15-8	(2014.1.30～2.10) 2014.3.4～5.2	869	共同住宅	縄文時代住居跡 9 (フ ラン、炉、ピットの みの検出含む)	市内 16・18
160	旭 1-14-2	(2014.4.15～16)	309	駐車場	土坑1、縄文土器	市内20
161	旭 1-15-18	(2014.6.17) 2014.6.18～23	442	個人住宅	縄文時代中期住居跡 2、 溝1、土器片、石器	市内20
162	苗間 1-13-2～ 5・11	(2014.8.29・9.4)	2,526.76	葬祭場	溝1(時期不明、中近 世以降)、土器片	市内20
163	旭 1-7-10	(2015.2.2～3)	148.98	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
164	苗間 1-15-8	(2015.5.11～18)	647	駐車場	住居跡 1、屋外埋置 1、 土坑 6、ピット 1、縄 文土器、石器	市内22
165	旭 1-12-1	(2015.9.30)	160	個人住宅	遺構なし、土器片	市内22
166	旭 1-13-1・17・18	(2015.11.5)	212.01	分譲住宅	遺構遺物なし	市内22
167	旭 1-8-1	(2015.11.9～10)	349	駐車場	遺構なし、土器片	市内22
168	旭 1-13-20・23	(2013.10.21)	76.8	店舗	遺構遺物なし(旧西 ノ原遺跡第 154 地点 の名称を変更)	市内18
169	苗間 1-12-5	(2016.9.14)	173	共同住宅	遺構遺物なし	市内24
170	苗間 1-14-2・3	(2016.10.18～19)	468.36	分譲住宅	ピット 4、溝 1、土器、 石器、陶磁器	市内24
171	苗間 1-4・5	(2016.11.28)	102.32	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
172	旭 1-7-12	(2017.2.16・17)	147.45	分譲住宅	ピット 2、土器	市内24
173	苗間 1-15・3	(2017.4.14) 2017.4.17～21	113.82	個人住宅	縄文住居跡 1、縄文土 器、ピット 1	市内24
174	旭 1-14-12・13	(2017.5.24)	229.08	共同住宅	縄文住居跡 5、溝 1、 縄文土器、石器	市内24
175	旭 1-15-7	(2018.4.9) 2018.4.10～20	121.00	個人住宅	縄文時代住居跡 2、中 近世以降溝 3、石器	未報告
176	旭 1-11-2	(2018.7.3)	238.11	分譲住宅	遺構なし、土器片	未報告
177	苗間 1-2-6	(2018.12.7)	620.00	診療所・住宅	遺構なし、土器片、 土師器、陶磁器	未報告
178	苗間 1-14-5	(2019.2.4)	418.84	共同住宅	遺構遺物なし	未報告



第100図 西ノ原遺跡縄文時代遺構分布図 (1/2,000)

第58表 西ノ原遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	地点	平面形()は推定	規模	炉			埋張	周溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲					
1	1	楕円形	456×398	○			有	○	完掘、床直上土器	E II 古	町史 資 I
2	2	不整形	400×400	○	△				完掘	阿 II a	大調 6
3	5	楕円形	634×530	○	△	△			完掘	勝 II 新	大調 6
4	12・150	隅丸方形	540×485			○	有	○	調査率 75%、111号と複合	E I 新新	東部 V
5	13・69	隅丸方形	不明	○					調査率 60%、111号に切られる	E I 新	東部 V
6	14	(隅丸方形)	520×?			○	有		調査率 70%	E II 新	東部 V
7	14	(隅丸方形)	440×430			○			調査率 80%	E II 新	東部 V
8	15	不明	削平			○			攪乱、石皿	E II	
9	18	(不整形)	(540)	○					調査率 90%	E II	東部 VI
10	19	楕円形	460×415	○				建替	調査率 95%	勝 III 古	町内 II
11	20	楕円形	550×497	○	○			建替	完掘、土製品・浮子	勝 III 古	大調 6
12	20	(円形)	(440)×?						調査率 30%、下層土器	E I 新古	大調 6
13	20	円形	630×660	○				△	完掘、炉西埋設	E II 古	大調 6
14	20	楕円形	(430×350)	○	○				完掘	勝 III 古	大調 6
15	20	(円形)	543×?	○	○		有	○	調査率 80%	E I 古	大調 6
16	20・59	楕円形	548×516	○	○			建替	完掘、耳栓	E I 古	大調 6、町内 II
17	20	楕円形	665×590	○	○		2回 拡張	○	完掘、復元 26 個体	勝 III 新	大調 6
18	20	楕円形	420×353	○			有	○	完掘、22号と複合	(勝 III)	大調 6
19	20	円形	515×488	○					完掘	E II 中	大調 6
20	20	楕円形	500×450	○	○		有		完掘、有効鍍付完形・復元 15 個体	勝 III 新	大調 6
21	20	不整形	615×635	○			○	建替	完掘	E II 新	大調 6
22	20	楕円形	550×450	○	○			○	完掘、床直上土器・人面	勝 III 新	大調 6
23	21	楕円形	425×370	○					完掘	勝 II 古	東部 VII
24	22	(円形)	不明	○	○				調査率 85%、工事中止・調査	勝 III 古	東部 VIII
25	22	楕円形	床部削平			攪乱	○		調査率 85%、工事中止・調査	E II 新	東部 VIII
26	26	(円形)	?×(530)	○			○		調査率 30%、下層土器	E II 古	大調 6
27	26	隅丸方形	570×460	○				○	完掘、掘付台石・耳栓	E I 新中	大調 6
28	26	円形	床部削平	○	○		○		調査率 65%、下層土器	E II 中	大調 6
29	27	円形	460×420	○	○				完掘	E I	大調 6
30	27・69	楕円形	405×403	○			有	○	調査率 80%、121号と複合	勝 III	大調 6
31	27・69	円形	半掘	○					完掘、122号と複合	勝 III	大調 6
32	27	(不整形)	(380)×350	○	○				調査率 50%	勝 II 新	大調 6
33	27・122	楕円形	?×(340)	○	○				完掘、2回発掘	E I 新	町内 XII
34	32	楕円形	580×490	○				建替	完掘、121号と複合	E II 中	大調 6
35	33	楕円形	605×550			○			完掘、耳栓・石皿	E II 中	大調 6
36	34	隅丸方形	560×530			○		△	完掘、掘付台石・耳栓	E I 新中	大調 6
37	35	楕円形	440×390	○			△		完掘、柱穴内土器	阿 II 新	大調 6
38	36	隅丸方形	530×524	○					調査率 90%、掘付台石・耳栓	E II 新	大調 6
39	36	円形	(610)×?			○			調査率 70%	E I 新	大調 6
40	26	楕円形	420×380	○				○	調査率 95%	E I 古	大調 6

住居番号	地点	平面形()は推定	規模	炉			埋張	周溝	備考	時期	文献			
				地床	埋設	石囲								
41	38・57	(楕円形)	一部のみ調査						未掘		○	調査率 20%	E II 新	町内 II
42	41	楕円形	610×510	○								調査率 60%、111号に切られる	E I 新	大調 6
43	41・72	円形	506×470					有	不明		○	完掘、床大部分攪乱	不明	大調 6、町内 IV
44	41	楕円形	(約 500)×?	○								調査率 50%	E I 新	大調 6
45	41・129	楕円形	560×530			○		建替	○			完掘、耳栓	勝 III 新	大調 6、町内 XII
46	40	楕円形	600×496	○								完掘、掘付台石・耳栓	E II	東部 X
47	40	円形	約 460×約 450			○						調査率 98%、有孔鍍付・硬玉大珠	E II 新	東部 X
48	40・43	円形	550×560	○	○							完掘、掘付台石・耳栓	E II 新	東部 XI
49	40・43	楕円形	半掘×740	○								調査率 75%、111号と複合	E II	東部 XI
50	44・161	円形	530×約 500			○					○	完掘、掘付台石・耳栓	E II	大調 6、市内 20
51	132	大部分未掘	540×630	③	○			有	×			調査率 80%	E II 新	大調 18
52	132	大部分未掘	460×?	○	○				×			調査率 60%、111号に切られる	E I 新	大調 18
53	44・70	大部分未掘	690×560			○		建替	○			調査率 90%、朱塗多い	勝 III 古	大調 6
54	43	円形	335×355									完掘、55号と複合	E II	東部 XI
55	43	不明	690×?	○								攪乱、54号と複合	E III	東部 XI
56	42	楕円形	600×496	○								完掘、床直上土器	E I 新	大調 6
57	42	不明	?×約 500									調査率 35%	E I 新	大調 6
58	42	円形	550×560	○				△				完掘、柱穴内土器	E II 新	大調 6
59	42	楕円形	半掘×740	○				○				調査率 40%、58号と複合	E II 新	大調 6
60	48	楕円形	590×540	○	○			有	○			調査率 85%、復元 27 個体・石器 36	勝末~E	大調 6
61	48・158	楕円形	490×440×30					○	有	○		完掘	勝 III 古	大調 6、市内 18・23
62	48・158	楕円形	475×410×30	○								完掘	E I 新	大調 6、市内 18・23
63	48・69・122	楕円形	550×492	○				有	○			完掘、異系土器	E I 新古	大調 6
64	50	不整形	418×420	○									E II	大調 6
65	49	円形	550×565					3回 拡張	○			完掘、耳栓・連弧文・復原 33 個体	E II	大調 6
66	49	楕円形	670×570	○				○	○			調査率 90%、耳栓・土器・77・75号と複合	E II	大調 6
67	50・124	楕円形	670×620	○	○	○		有	○			調査率 75%、土器・建替有	E I 古	町内 II・XII
68	49・121	円形	625×610	○				○	有			調査率 75%、3回発掘	E II 中	町内 XI
69	49	円形	618×?	○				○				調査率 80%、曾利式多い	E II 新	大調 6
70	49	東半未掘	468×?									調査率 30%、床直上土器	E I 新中	大調 6
71	49	円形	420×?									調査率 20%、石皿	勝 III 古	大調 6
72	49	隅丸方形	不明					有	○			調査率 15%	勝 III 古	大調 6
73	49	楕円形?	570×440	○								調査率 80%、大磨製石斧・器台	E II 新	大調 6

住居番号	地点	平面形()は推定	規模	炉			埋	拡	周	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
74	52	隅丸方形	520×410	○	○			有	○	調査率95%、 曾利系・98号と複合	E I 新中	大調5・6
75	49・28・148	楕円形	(600)×(600)		○				○	調査率80%、 ミニ土器・66・77号と複合	勝III古	大調6
76	49・121	円形	512×545	○	○				○	完掘、3回発掘	E II 中	町内VI・XI
77	49・128	楕円形	(550)×(550)	○					○	調査率80%、 石棒・石皿・75号と複合	E I 新中	大調6
78	96	楕円形	402×352	○						完掘	勝III	町内VI
79	42	南半未掘	?×570	○	△			3回拡張	○	調査率55%、 炉上土器	勝III新	大調6
80	83	東半未掘	422×460	○				有		調査率80%	E II 新	大調6、 町内V
81	50・60	円形	588×未掘	○					○	調査率65%、 曾利系	E II	大調6、 町内II
82	83	楕円形	(560~570)	○					○	調査率70%	E II 中	大調6、 町内V
83	50	円形	364×?					未掘		調査率45%	E II	大調6
84	52	隅丸方形	732×674	○				有	○	完掘、複合・ 小形磨製石斧	E I 新中	大調5
85	52	楕円形	620×598	○	△				○	完掘、84号と複合	E II 新	大調5
86	52	隅丸方形	520×490	○				有	○	完掘、97号と複合	E I 新新	大調5
87	52	円形	354×374	○						完掘、88号と複合	E II	大調5
88	52	隅丸方形	640×559	○	○			有	○	調査率85%、 複合・復原31個体	E I 古	大調5
89	52	円形?	420×(390)	○						完掘、85号と複合	E I 新	大調5
90	54	楕円形	?×560	○					○	調査率70%	勝III新	大調6
91	57・90	隅丸方形	746×?	○	○			有	○	調査率80%	勝III新	町内II・VI
92	55	楕円形	508×422	○	○			有	○	完掘	勝III	大調5
93	55	楕円形	580×490	○					○	完掘	E II	大調5
94	52	円形	不明	○	○					調査率70%、 床掘乱	E II	大調5
95	96	(円形)	(600×500)	○						完掘	E II	町内VI
96	52	楕円形	(560×580)		○					完掘、小形磨製石斧	E II	大調5
97	52	楕円形	602×505	○						完掘、86号と複合	E II 古	大調5
98	52	楕円形	472×(234)	○	○					調査率60%、 74号と複合	勝III古	大調5
99	52・75	不明	?×402	○						完掘、100号と複合	E II 新	大調5・13、 町内V
100	52	隅丸方形	614×644	○	○			有	○	完掘、小形磨製石斧・99号と複合	E II 新	大調5
101	59	円形	414×420	○	○			有		完掘	E I 新中	町内II
102	60	円形	?×376							調査率40%、 58号と複合%	E II	町内II
103	52	楕円形	?×380	○	○					調査率55%、 炉上土器	阿I古	大調5
104	69	(楕円形)	(524×449)	○	○			有	○	調査率90%	勝III	大調13
105	69	円形	405×420	○	○			有		完掘	E I 新	大調13
106	69	円形	560×520	②				有	○	完掘	E I 新中	大調13
107	69	円形	520×510	②	○			有		完掘	勝II新	大調13
108	69	円形	385×340	○	○				○	完掘	勝III新	大調13
109	69	楕円形	560×494	○	○				○	完掘	E I 新	大調13
110	69	不整形円形	418×370	○						完掘		大調13
111	69	楕円形	不明					未掘		調査率30%、 5・125号と複合	E	大調13
112	69	隅丸方形	600×574	○	○			有	○	完掘、124・126号と複合	E I 新中	大調13

住居番号	地点	平面形()は推定	規模	炉			埋	拡	周	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
113	69	隅丸方形	520×496	○	○				○	完掘、120号と複合	E I 新古	大調13
114	69	円形	480×480	○	○			有	○	完掘	勝III古	大調13
115	69	隅丸方形	460×340	○	○					完掘	勝III	大調13
116	69	楕円形	540×498		○	○			○	完掘、添石埋 竈炉	E I 古 (中峙)	大調13
117	69	隅丸方形	?×440	○	○					調査率70%	勝III新	大調6
118	69	楕円形	520×374	○	○			建替		完掘	E II 新	大調6
119	69	楕円形	580×480	○				有	○	調査率90%	E II・曾III	大調13
120	69	円形	392×400	○						完掘、113・124号と複合	E I 新古	大調13
121	69	(円形)	380×390	○	○					完掘、30号と複合	E II	大調13
122	69	隅丸方形		②				有	○	完掘、31号と複合	E II	大調13
123												大調13
124	69	円形?	418×420	○	○					完掘、112・120・126号と複合	勝III新	大調13
125	69	不明	不明					未掘		調査率10%、 111号と複合	E	大調13
126	69	(円形)	550×565		○	○		有	○	完掘、 112・124号と複合	E I 新	大調13
127	69	不明	645×?					未掘		調査率10%、 111号と複合%	E	大調13
128	69	楕円形	(610×580)	○						完掘、削平著しい	E	大調13
129	69	楕円形	618×?	○						完掘	E	大調13
130	72	円形	542×465	○	○					完掘	勝III古	町内IV
131	72	楕円形	560×442	○	○				○	完掘	勝III新	町内IV
132	77	楕円形	590×580	②				有		完掘	E III	大調13
133	75	楕円形	?×460	○				有		調査率60%、 138号と複合	E III	大調13
134	75	隅丸方形	630×530	②				有		完掘、141号と複合	E I 新	大調13
135	75	隅丸方形	540×460	○	○				○	完掘	勝III	大調13
136	75	楕円形	?×610	②				有		調査率70%		大調13
137	75	不明	×?	○				有	○	調査率20%、 138・140号と複合	E	大調13、 市内24
138	75	隅丸方形	450×360	○	○			有		完掘、133・139・140号と複合	勝III	大調13
139	75・150	不明	(546)×不明	○	○					調査率55%、 138号と複合、 4・213号と重複		大調13、 市内24
140	75	楕円形	(762)×不明	○						調査率40%、 137・138号と複合		大調13
141	75	不明	528×不明	○						調査率55%、 134号と複合		大調13
142	75	不明	不明	○						調査率50%、 143・144号と複合		大調13
143	75	楕円形	479×421					建替	○	掘、142・151号と複合		大調13
144	75・144	(隅丸長方形)	595×430×40	○	○			有		調査率90%、 142号と複合	勝III新	大調13、 市内14
145	75	不明	不明×325	○						調査率60%、 149・151号と複合		大調13
146	78・132	楕円形	585×?	○				有		調査率85%、 炉穴群と複合	E II	大調17
147	78	楕円形	(236×272)	○					○	調査率30%、 148号と複合	E II	町内V、 市内24
148	78	楕円形	不明	○						完掘、147号と複合	E II	町内V
149	75	(楕円形)	430×336		○	○				調査率90%、 145・150号と複合	E II 新	大調13
150	75	(円形)	581×不明						○	調査率80%、 149・151号と複合		大調13

Ⅱ 西ノ原遺跡第 169 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 9 月 1 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 9 月 14 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 95 ~ 150cm であった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅲ 西ノ原遺跡第 170 地点

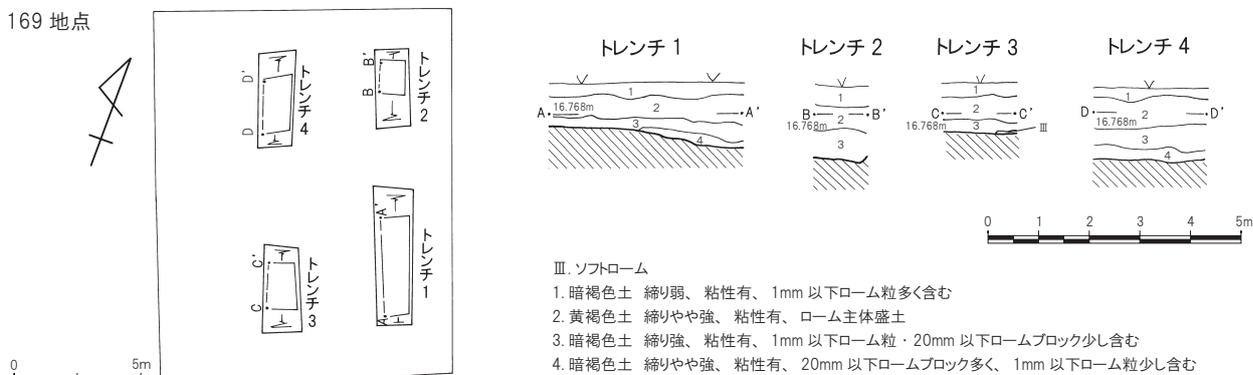
(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 10 月 12 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 10 月 18・19 日にかけて試掘調査を実施した。

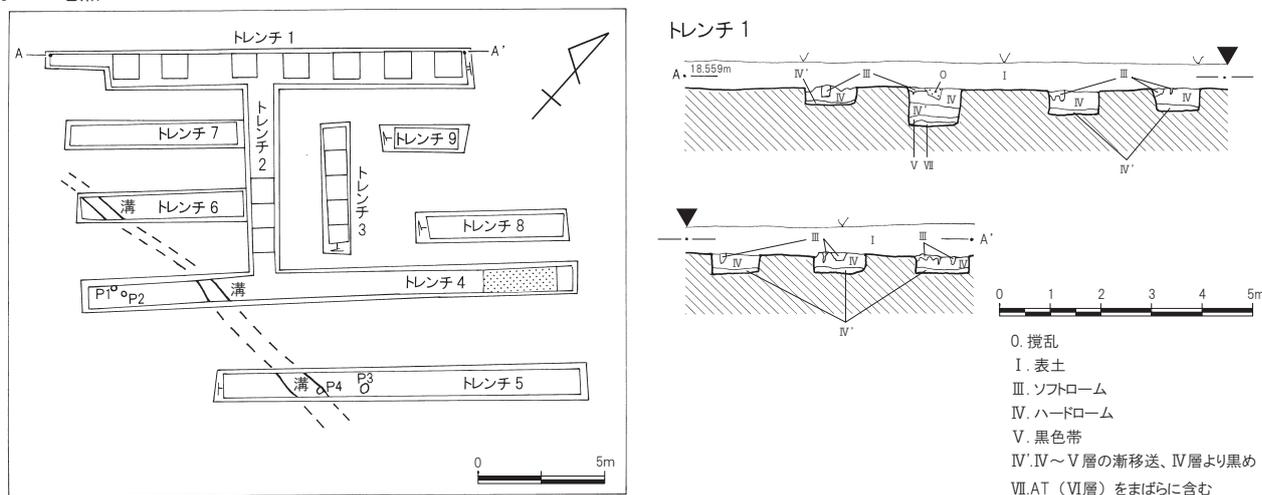
試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 9 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30 ~ 50 cm である。その後、旧石器時代の確認調査のため 1m 四方のトレンチ 12 ヶ所を設定した。

調査の結果、中近世以降の溝 1 条とピット 4 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

第 169 地点



第 170 地点



第 101 図 西ノ原遺跡第 169 地点調査区域図・第 170 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)

(2) 遺構と遺物

①ピット

ピットは全部で4基検出した。詳細については第102図及び第59表に掲載した。いずれも時期は不明である。

②溝

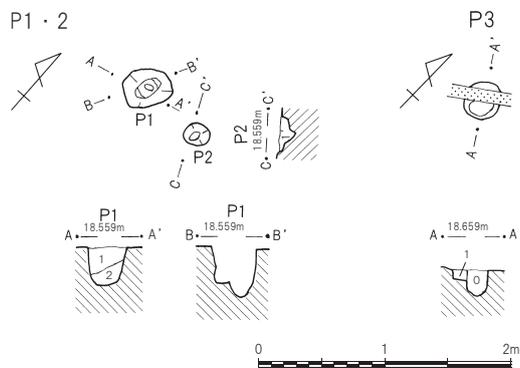
溝は調査区南側で検出した。ほぼ東西方向に走行し、上幅60~95cm、下幅20~50cm、深さ19cmを測る。出土遺物はない。土層の観察から中近世以降のものと考えられる。

③出土遺物

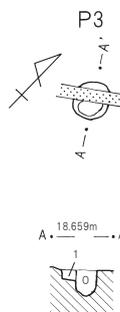
遺構外で石器1点を検出した。半分ほどが欠損している敲き石。砂岩製で残存長9.3cm、幅4.6cm、厚さ3.7cm、重量227.41gを測る。

第59表 西ノ原遺跡第170・172地点ピット一覧表 (単位 cm)

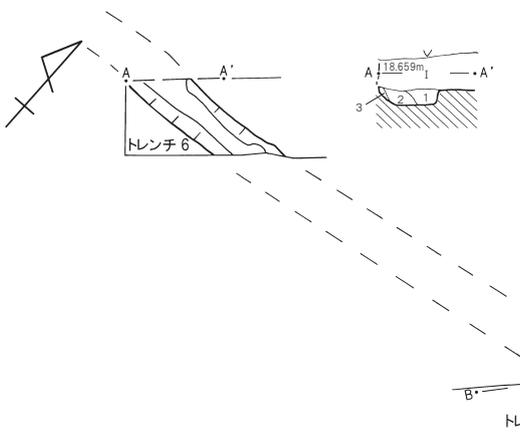
地点	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
170	1	楕円形	39 × 30	7 × 4	39.8
	2	方形	20 × 17	10 × 4	13.0
	3	円形	31 × 26	17 × (10)	15.1
	4	方形	23 × 15	14 × 8	15.0
172	1	楕円形	41 × 29	25 × 16	12.6
	2	楕円形	74 × 54	11 × 4	57.9



P1・2



P4・溝



P1 ~ 3

0. 攪乱

1. 暗褐色土 粘性有、締り有、20mm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒少量含む

1'. 暗褐色土 粘性有、締り有、20mm以下ロームブロック少量含む

2. 褐色土 粘性有、締り強、30mm以下ロームブロック少量含む

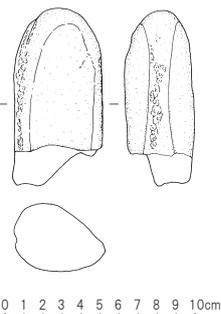
溝

1. 暗褐色土 粘性弱、締り強、2mm以下ローム粒多量含む

2. 暗褐色土 粘性強、締り有、5mm以下ローム粒微量含む

3. 暗褐色土 粘性強、締り有、2mm以下ローム粒多量含む

遺構外



第102図 西ノ原遺跡第170地点ピット (1/60)、溝 (1/80)、出土遺物 (1/4)

IV 西ノ原遺跡第 171 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 11 月 10 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 11 月 28 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60～80cm である。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

V 西ノ原遺跡第 172 地点

(1) 調査の概要

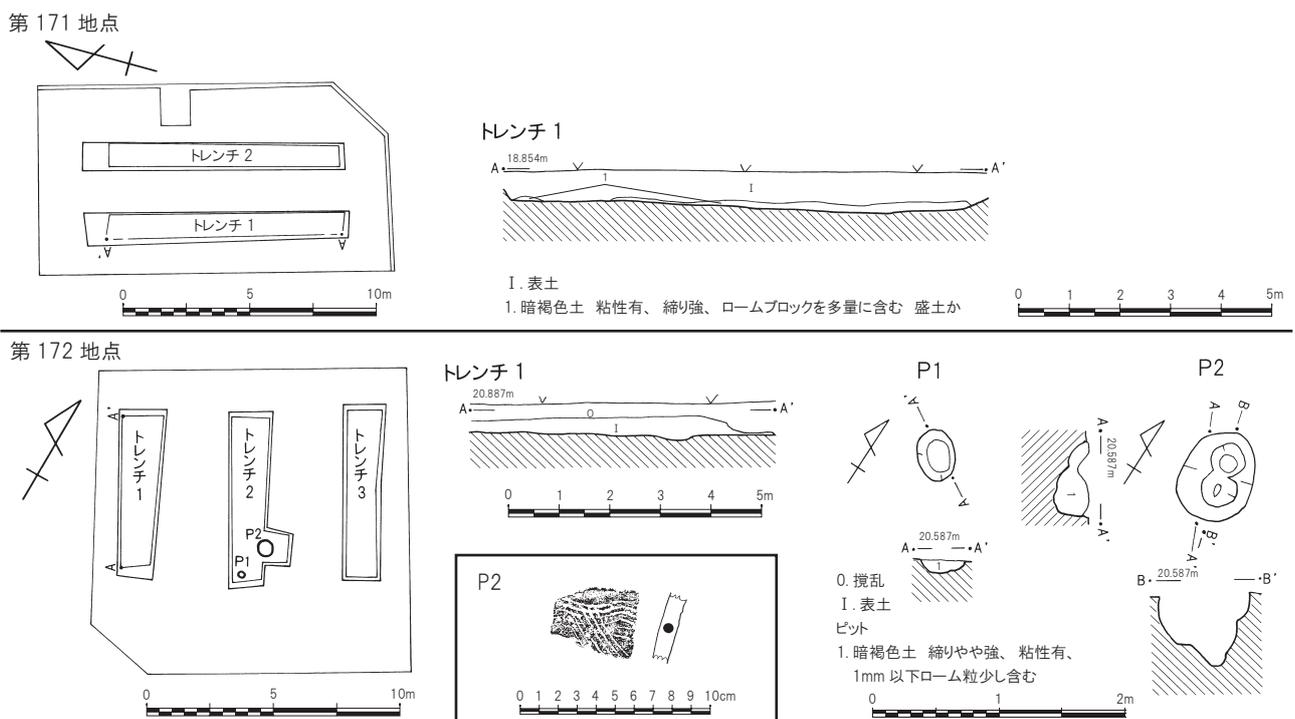
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 2 月 1 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 2 月 16・17 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 40～70cm である。

調査の結果、ピットを検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺構はピット 2 基を検出した。詳細については第 103 図及び第 59 表に掲載した。時期はどちらも近世以降である。遺物はピット 2 の覆土中より縄文土器片 1 点が出土した。深鉢の胴部で、地文条線文に波状の沈線を施す。胎土に石英、金雲母を含む。縄文時代中期、阿玉台式土器か。



第 103 図 西ノ原遺跡第 171 地点調査区域図・第 172 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第 172 地点ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

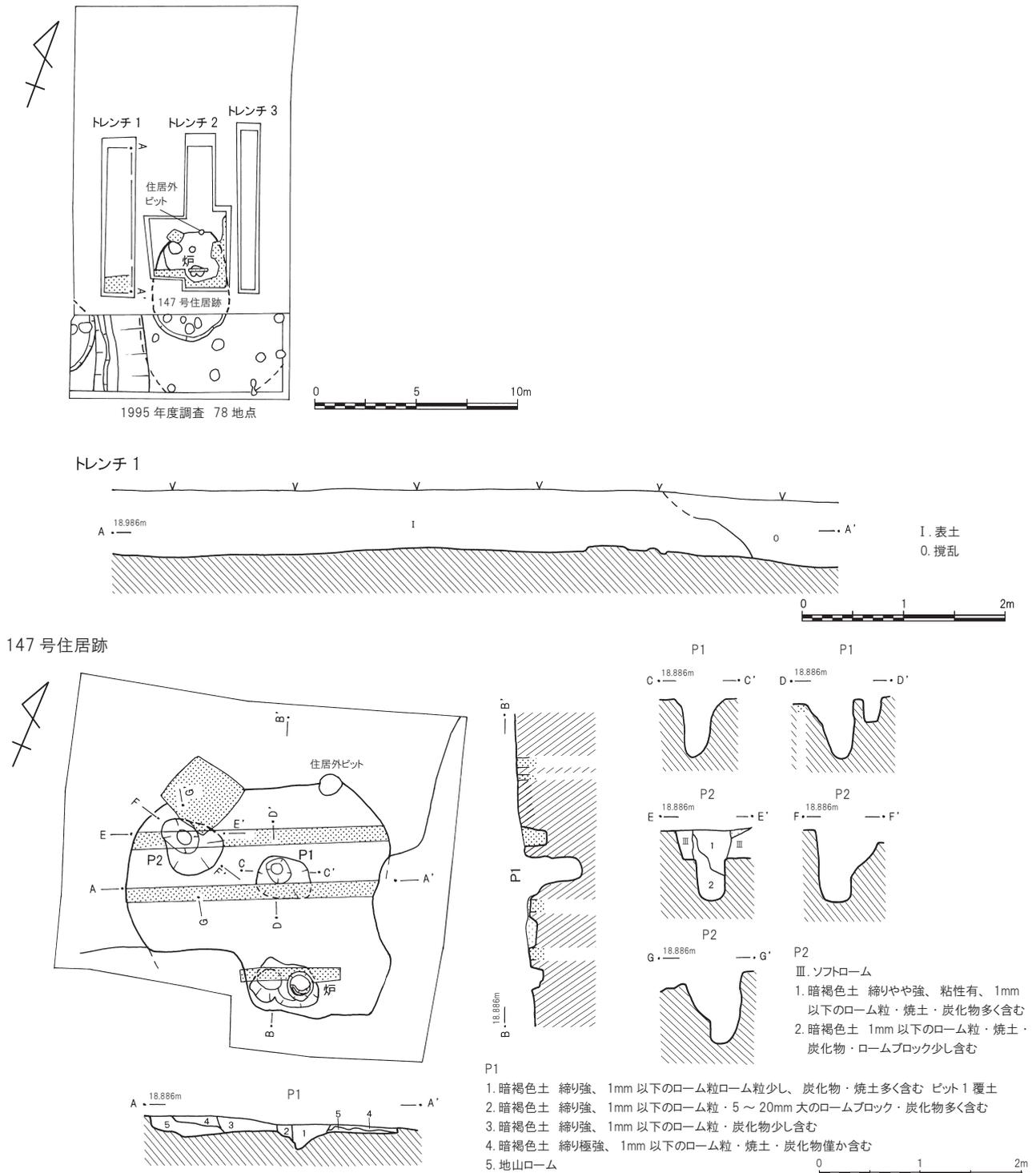
VI 西ノ原遺跡第173地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年3月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年4月14日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約60～70cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、縄文時代住居跡1軒を検出した。遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、



第104図 西ノ原遺跡第173地点遺構配置図(1/300)、土層・第147号住居跡・ピット(1/60)

本調査を実施した。

本調査は 2017 年 4 月 17 ～ 21 日まで、調査区南側の縄文時代住居跡が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 147 号住居跡

【位置】 調査区南側に位置する。隣接する第 78 地点の調査で検出した 147 号住居跡と同一である可能性が考えられる。

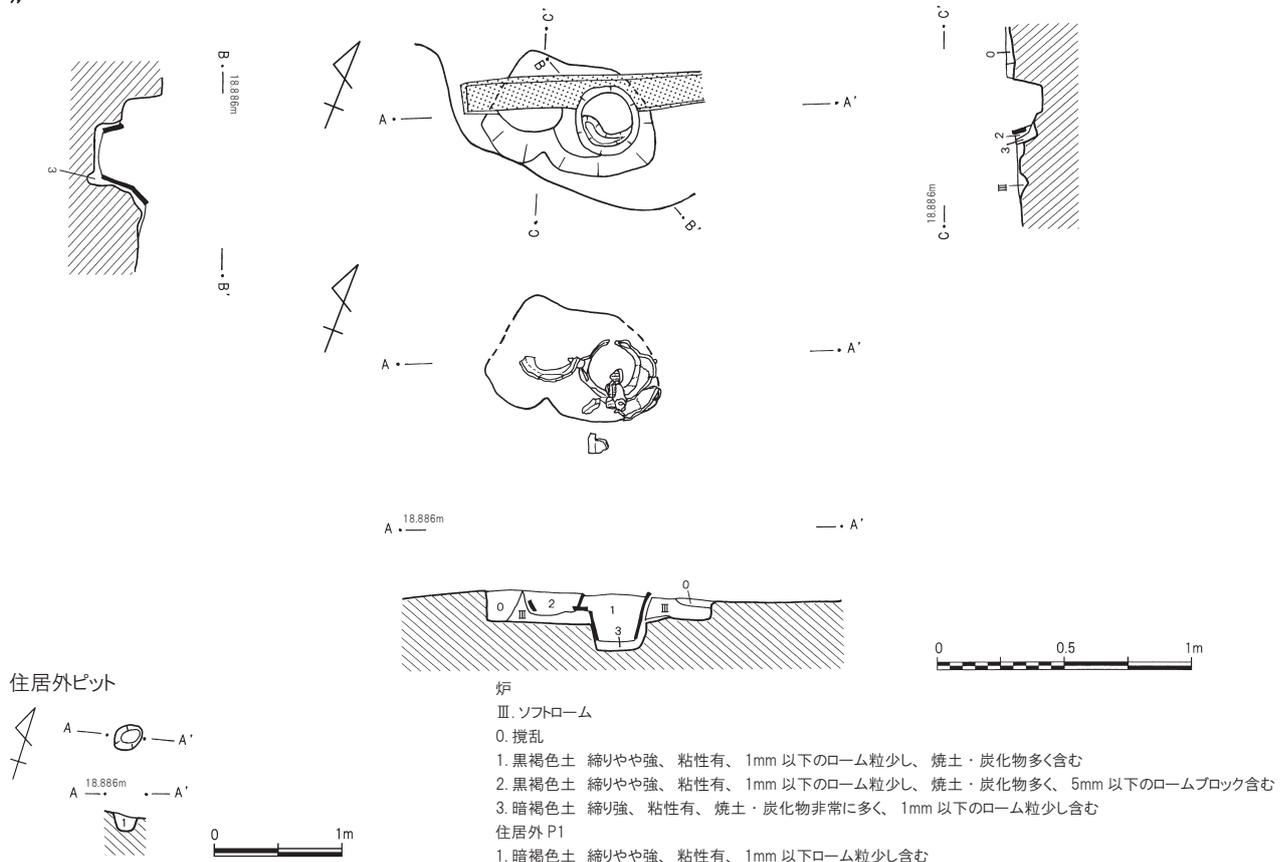
【形状・規模】 攪乱が多く入るため形状は不明だが、楕円形を呈するものと想定される。今回検出した住居の規模は南北 (236) × 東西 (272) cm である。第 78 地点と合わせると 5m を超える住居跡になる。深さは 10 cm に満たず、非常に浅く、立ち上がりも不明瞭である。

【構造】 ピットは 2 基検出した。ピット 1 は平面形態が楕円形を呈し、確認面径 54 × 39 cm、底径 11 × 10 cm、深さ 58.6 cm を測る。ピット 2 は不整形円形を呈し、確認面径 63 × 55 cm、底径 16 × 10 cm、深さ 72.8 cm を測る。第 78 地点の調査で確認されている柱穴と比較して、少なくともピット 2 は主柱穴であったと考えられる。周溝は確認していない。

【炉】 炉は中央から北側に位置する。2 基が重複しており、いずれも炉体土器を設置する埋甕炉である。土層の切り合いから東側に位置する方が古く、西側が新しい。攪乱で北側半分が破壊されている。しかしながら攪乱が浅かったため、旧炉は底部が残存していた。

新炉は径 40cm 程を掘り込み、深さは 10 cm 程度である。炉体土器は正位で設置され、内面が部分的に黒色化する。

炉



第 105 図 西ノ原遺跡第 173 地点炉 (1/30)、住居外ピット (1/60)

旧炉は約 50 ～ 60 cmの円形に掘り込み、深さは 25 cm程度である。炉体土器は正位で設置され、内面が一部黒色化する。

【遺物出土状況】遺物は、炉体土器以外はほとんどが表土中からの出土であり、出土量も少ない。

【時期】炉体土器から勝坂Ⅲ式期新段階。

②ピット

ピット 1 基は調査区中央部に位置し、147 号住居跡と切り合う。平面形態は円形を呈し、確認面径 21 × 20 cm、底径 15 × 10 cm、深さ 25.8 cmを測る。切り合い関係から住居跡より新しい。出土遺物はない。

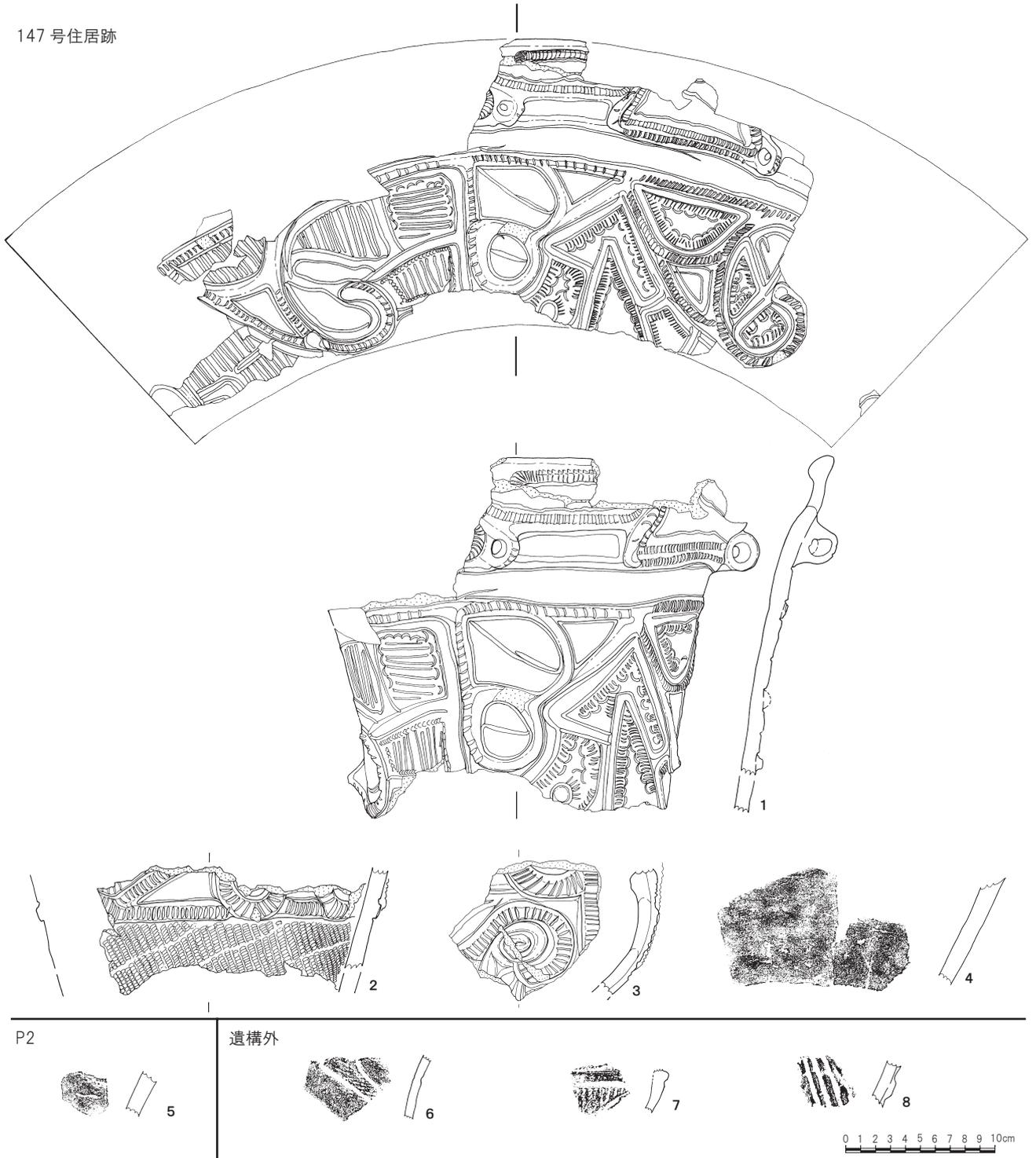
③出土遺物

出土遺物の詳細については第 106 図及び第 60 表に掲載した。

第 60 表 西ノ原遺跡第 173 地点出土遺物観察表（単位 cm・g）

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	地文・施文・備考	時期・型式
第 106 図 -1	147 号住居跡	縄文・深鉢				炉体土器	中期・勝坂Ⅲ
第 106 図 -2		縄文・深鉢	—	—	(14.7)	地文 RL 縄文・刻目を施す横位隆線文による文様帯区画、同様に隆線文で円形や三角形をつくり、枠内に沈線を施す・口縁部欠損、体部下半打ち欠き、被熱によるハジケ、白色粒子を含む、胴部最大径 24.0 cm、炉体土器	中期・勝坂Ⅲ新
第 106 図 -3		縄文・深鉢	—	—	—	刻目隆帯を半円形に貼付、両脇に沈線、隆帯の区画内を沈線で充填する・白色粒子を含む、キャリパー型深鉢口縁部	中期・勝坂Ⅲ新
第 106 図 -4		縄文・浅鉢	—	—	—	無文・白色粒子を含む	中期
第 106 図 -5	ピット 2	縄文・深鉢	—	—	—	内外面に僅かに煤付着、胎土に砂礫を含む	中期か
第 106 図 -6	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	2 本の沈線間に Lr 縄文? を充填	後期・称名寺
第 106 図 -7		縄文・深鉢	—	—	—	地文 Lr 撚糸文・半截状竹管を横位に施す	中期・勝坂
第 106 図 -8		縄文・深鉢	—	—	—	多截状竹管による平行沈線・白色粒子を含む	中期・勝坂

147 号住居跡



第 106 図 西ノ原遺跡第 173 地点出土遺物 (1/4)

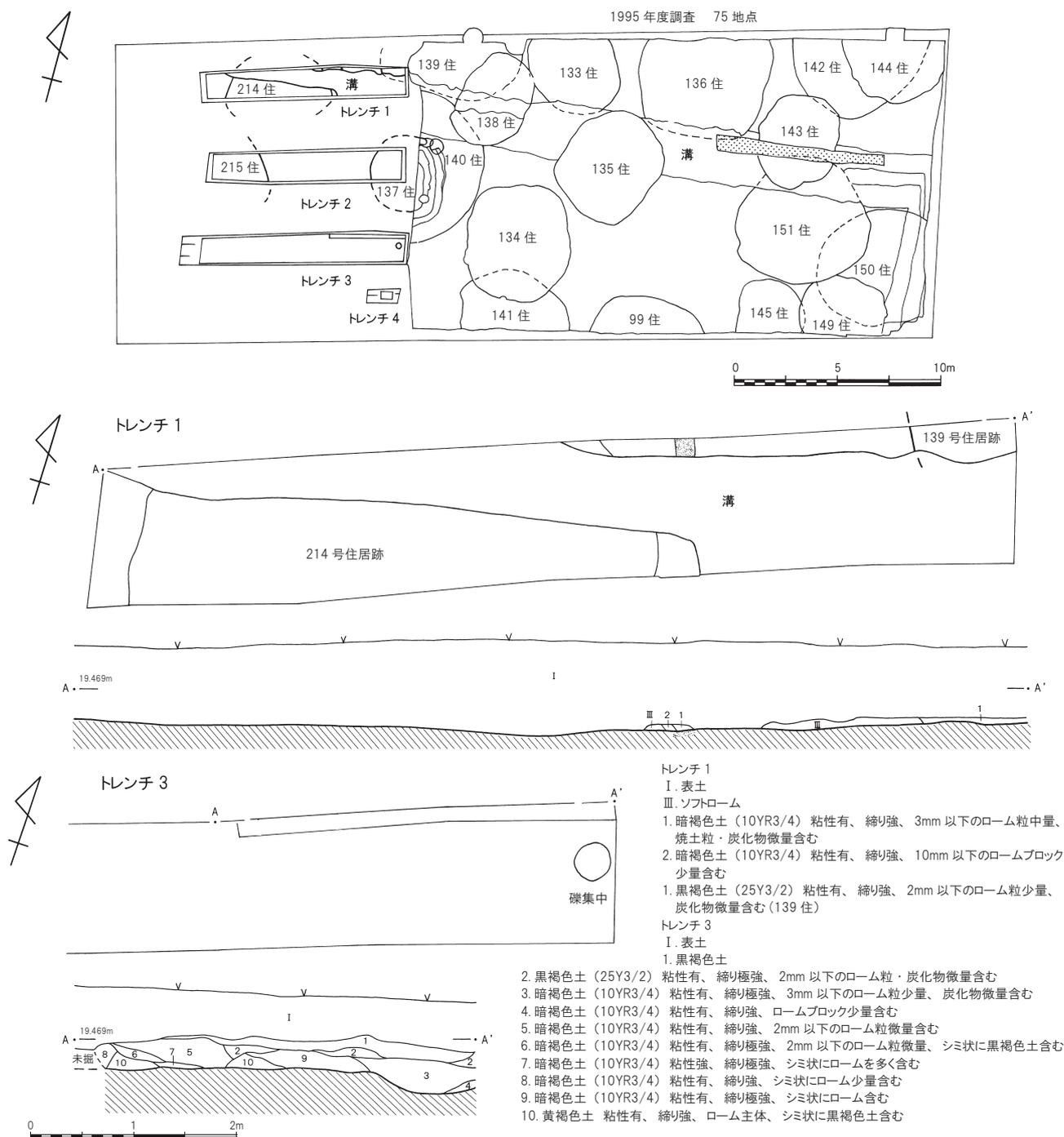
Ⅶ 西ノ原遺跡第174地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2017年5月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年5月24日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約50～80cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、縄文時代住居跡5軒以上、石器集中1ヶ所、溝1条を検出したが保護層の確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第107図 西ノ原遺跡第174地点遺構配置図(1/300)、トレンチ(1/60)

(2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代の住居跡と礫集中、溝のプランのみを確認し、その際の出土した遺物を第108・109図及び第61表に掲載した。

①住居跡

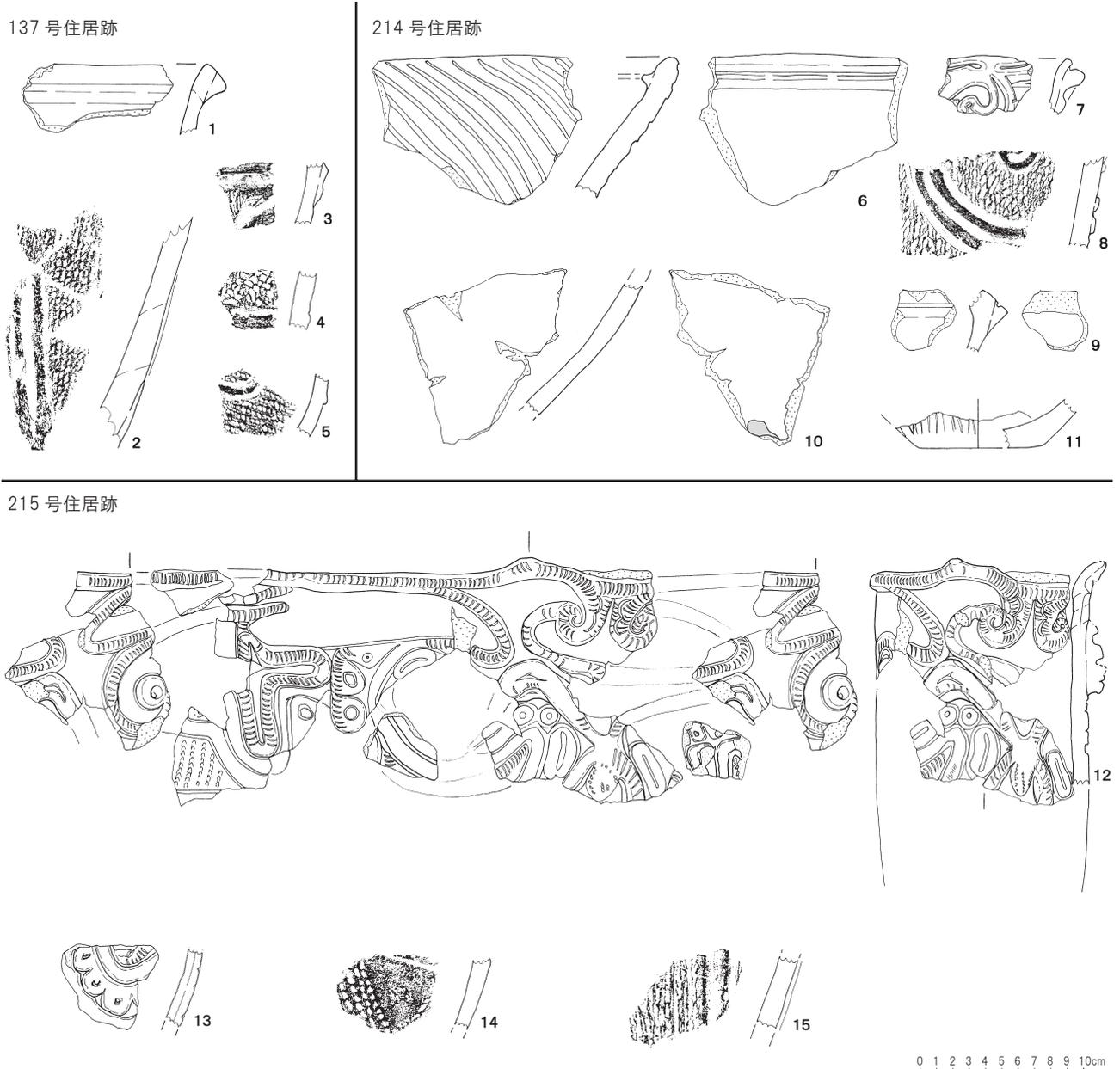
今回確認した住居跡は少なくとも5軒以上存在するものと考えられる。本調査区東側に隣接する第75地点の調査で検出した137号住居跡、139号住居跡、140号住居跡の未検出部分を含む。さらに西側では少なくとも2軒の住居プランを確認した。

②礫集中

調査区南東部、トレンチ3で検出した。礫の集中範囲は径約35cmの範囲である。こちらも掘削は行っていないため、詳細は不明である。

③溝

溝は調査区北側、トレンチ1で確認した。75地点から続く溝で、東西方向に走行する。



第108図 西ノ原遺跡第174地点出土遺物① (1/4)

遺構外



第109図 西ノ原遺跡第174地点出土遺物② (1/4)

第61表 西ノ原遺跡第174地点出土遺物観察表(単位mm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/色調					時期/型式			
第108図-1	137号 住居跡	浅鉢/口縁部	口唇断面は外側に折り返し肥厚/地文は無文/白色粒子・砂を多量に含む/よく研磨されて焼成良好。内外面ともに暗褐色					加曾利EⅠ			
第108図-2		深鉢/胴下半部	地文にL縦位回転の燃糸、半裁竹管状工具による平行沈線で懸垂文を描く/胎土に赤褐色シャモット・砂を混入。/外面暗褐色、内面暗灰褐色。					加曾利EⅠ			
第108図-3		深鉢/口縁下半部	口縁部文様体下端の区画/縦の集合沈線を地文とする/胎土に白色粒子混入/外面暗褐色、内面暗灰黄褐色である					加曾利EⅠ			
第108図-4		深鉢/口縁下半部	地文RL縄文/半裁竹管状工具を横位/砂質/外面暗灰黄褐色、内面暗灰褐色					加曾利E			
第108図-5		深鉢/口縁下半部	地文RL縄文を斜位に回転/半裁竹管状工具で弧状隆帯を描く/赤褐色シャモット、黒雲母を混入する。/黒斑あり、暗灰黄褐色、内面暗灰褐色。					加曾利E			
第108図-6	214号 住居跡	浅鉢/口縁部	口縁内面に5mm程度のツマミ上げの稜をもつ/地文は半裁竹管状工具による3~4mmの条線を斜位に描く/胎土は多量の砂を混入する。焼成の際の亀裂が内面に著しい。内面に黒斑が認められる。					曾利系			
第108図-7		深鉢/口縁部	2本組の細い隆帯で渦巻区画を作る/地文には非常に細かい燃糸が横位に入る/胎土にはシルト、微細白色粒が混入					曾利系			
第108図-8		深鉢/胴部	地文はLの縦位回転の燃糸文/2本の平行隆起線を施す/胎土は砂質で外面暗褐色、内面褐色である。焼成は比較的良好。					加曾利EⅠ古			
第108図-9		浅鉢/口唇部	断面三角に隆帯を貼り、横位沈線で区画する/胎土は砂、小礫、赤褐色シャモット混入。/外面は茶褐色、内面黒褐色で焼成は良い。					中期			
第108図-10		浅鉢/胴部	入念な研磨を内外面に施す/胎土は多量の砂・小礫を含む/外面暗茶褐色、内面黒褐色を呈する/内面に赤色付着物が見られる					加曾利E			
第108図-11		浅鉢/底部	櫛歯状工具で縦位に条線を描く/外面灰黄褐色、内面褐色/胎土はシルト質で緻密で焼成は良好。					中期			
第108図-12	215号 住居跡	深鉢/口縁~胴部	円筒形深鉢で復元径13.5cm。現存高15.5cm。2箇所の小波頭を隆帯でつくる。口縁から胴上半部まで残存する。口唇部から隆帯を巡らせ、隆帯による曲線文によって十字文・円形文・渦巻文を施文し、沈線による区画内には幾何学形文、三角押文が施される。隆帯上には刻み目文を施す。胎土は白色微粒子を多量に含み、砂粒を混入する。内外面ともに暗褐色。焼成は良好である。					勝坂Ⅱ			
第108図-13		深鉢/胴部	隆起線文で弧状を描き、浅い爪形文が連続される。細い工具で半円を繰り返し、中央に刺突する。胎土は白色粒を多量に含む/外面灰褐色、内面暗褐色					勝坂Ⅱ			
第108図-14		深鉢/胴部	先端2mm前後の工具の右角で一見すると三角押文的な連続文を施す。区画沈線も角押す/13と同一個体。					勝坂Ⅱ			
第108図-15		深鉢/胴部	断面三角の隆帯を2本懸垂する。地文は燃糸文。/胎土は砂粒が多い。内面は黒褐色、外面暗灰黄褐色。/焼成は良好である。					-			
第109図-16	遺構外	深鉢/把手	把手の上半部に隆帯を横に貼付、丁寧に刻みを施す。把手の内径は上下6.5cm、幅3.5cm。下半にはやや太い隆帯を貼付、裾に沈線に沿わせさらに左側に刻み目を斜めに施す。胎土は極めて砂質で、多量の砂を混入する。内外面とも暗褐色で表面に黒斑が一部みられる。焼成は比較的良好。					勝坂Ⅱ			
第109図-17		深鉢/口縁部	地文は角押文を縦位に施す/胎土は白色粒子を多量に含む/外面暗灰褐色、内面褐色で焼成良好					勝坂			
第109図-18		深鉢/口縁部	口唇部直下に沈線を入れ、微隆帯上に爪形文を施す/胎土は砂質で外面暗褐色、内面褐色/焼成はやや不良である					勝坂			
第109図-19		深鉢/胴部	半隆帯上に刻み目を施す。地文はLR縄文を縦に回転する/やや砂粒を含む。外面暗灰褐色、内面黒褐色である。					勝坂Ⅲ			
第109図-20		深鉢/口縁部	小渦巻文が上をむく、地文はLR縄文/胎土に砂粒を含み、内外面ともに暗褐色である。焼成は良好					加曾利EⅠ古			
第109図-21		深鉢/口縁部	キャリパー類深鉢口縁部で地文RL。内外面とも暗褐色/胎土は白色粒子ふくむ砂を混入					加曾利EⅠ			
第109図-22		深鉢/口縁部	短く直立する無文の口縁をもつ。隆帯下には地文RL縄文を施す。内外面は灰褐色で焼成は良好					加曾利EⅠ			
第109図-23		深鉢/口縁部	肥厚した口唇部直下から斜位に沈線を描く。胎土は若干の白色粒子を含む砂質。内外面とも暗褐色。焼成良好。					曾利系			
第109図-24		深鉢/口縁部	文様構成は23とほぼ同様である。色調は外面が褐色、内面暗灰黄褐色。胎土は砂質である。焼成良好。					曾利系			
第109図-25		深鉢/口縁部	口縁部無文帯下は、櫛歯状工具で平行沈線を垂下させる。砂粒、褐色粒子を含み、内外面とも灰褐色である。焼成は良好。					曾利系			
第109図-26		深鉢/口縁部	太い沈線懸垂文が口唇部直下から始まる/区画内は縦位沈線/外面灰褐色、内面灰褐色で白色粒子含む					加曾利EⅡ新			
第109図-27		深鉢/口縁部	口唇内側に折り返し口縁である。白色粒子、多量に含む。内外面とも灰黄褐色。					加曾利EⅡ			
第109図-28		深鉢/口縁部	焼成良好。外面灰褐色、内面暗褐色。					加曾利EⅡ			
第109図-29		深鉢/頸部	頸部無文帯。隆帯で区画した口縁部文様区画内は燃糸Lを地文にもつ。胎土は砂粒・石英が目立つ/内外面ともに暗褐色。					加曾利EⅠ新			
第109図-30		深鉢/頸部	頸部無文帯と二本の微隆帯で画し、地文には燃糸Lが施される/胎土に白色粒子多量含む。外面暗褐色、内面褐色である。					加曾利EⅠ新			
第109図-31		深鉢/胴部	地文はLR縄文の横位回転。その上に細い蛇形隆帯が施される/胎土は砂質である。内外面ともに暗灰黄褐色。焼成はやや不良。					曾利系か			
第109図-32		深鉢/胴部	地文LR縄文の横位回転で、平行する沈線を懸垂する/胎土には砂粒を含む。外面暗褐色、内面黒灰褐色。焼成は良好					加曾利EⅡ			
第109図-33		深鉢/胴部	32と文様構成は同じ。縄文繊維痕が明瞭に残る。内面はへら磨きの縦位の研磨痕を残す。内外面とも灰褐色。/胎土には黒色粒子含む。					加曾利EⅡ			
第109図-34		深鉢/胴部	地文RL縄文を横位回転。沈線は弧状を描く。/胎土はやや砂質で赤褐色シャモット、シルトを混入する。外面は暗褐色、内面暗灰褐色。焼成良好。					加曾利EⅠ			
第109図-35		深鉢/胴部	R縦位回転の燃糸文を施文し、半隆帯で区画する。胎土は白色粒子が混入する。内外面とも暗灰黄褐色。焼成良好					加曾利EⅠ			
第109図-36		深鉢/胴部	L縦位回転の燃糸文を施文。胎土に赤褐色シャモット混入。外面暗褐色、内面灰黄褐色。焼成は比較的良好					加曾利EⅠ			
第109図-37		深鉢/胴部	L燃糸を全面に施す/胎土に白色粒子多量に含む。外面は灰黄褐色、内面灰褐色。焼成は良好					加曾利EⅠ			
第109図-38		深鉢/胴部	櫛歯状工具による条線を地文とし、蛇形沈線を描く/胎土は極めて砂質で器面はざらつく。外面暗灰褐色、内面灰褐色。焼成不良					加曾利EⅠ			
第109図-39		深鉢/胴部	幅8mm程のへら状工具に櫛歯を刻み施文。/胎土はシルト質で砂をわずかに混入する。外面灰褐色、内面暗褐色で焼成良好					加曾利EⅠ			
第109図-40		深鉢/胴部	外面は斜位のへら磨きによる無文帯で、灰褐色。内面は横位のへら磨きで暗灰褐色/胎土は砂・赤褐色シャモット・チャート等の亜角礫を混入する					加曾利EⅠ			
第109図-41		深鉢/底部	胎土は砂、白色粒子を含む。外面灰黄褐色、内面暗灰褐色。焼成比較的良好								
第109図-42		深鉢/底部	胎土はシルト質で、白色微粒子混入。外面暗褐色、内面暗灰褐色。焼成比較的良好								
第109図-43		深鉢/底部	胎土はシルト質で、焼成不良で外面の剥落が生じている暗灰黄褐色、内面は黒褐色								
第109図-44		深鉢/底部	胎土は極めて砂質である。外面暗灰褐色、内面灰褐色。焼成比較的良好								
図版番号		出土遺構	種別・器種	長さ	幅	厚さ	重量	石材	時期	残存/備考	
第109図-45		遺構外	打製石斧	110.68	43.92	14.01	86.76	安山岩	縄文時代	完形	
第109図-46			打製石斧	105.12	46.34	8.07	56.04	砂岩	縄文時代	完形	
第109図-47			打製石斧	(68.30)	49.60	20.76	(64.80)	ホルンフェルス	縄文時代	基部欠損	
第109図-48			打製石斧	(86.04)	42.14	16.89	(49.19)	砂岩	縄文時代	刃部欠損	
第109図-49			打製石斧	(71.56)	55.82	15.64	(104.56)	ホルンフェルス	縄文時代	基部欠損	
第109図-50			打製石斧	(41.12)	41.06	6.19	(15.71)	粘板岩	縄文時代	基部欠損	
第109図-51			凹石		(117.12)	(42.55)	(6.19)	(15.71)	白雲母石英片岩	縄文時代	部分のみ

第 21 章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12～16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は 1987 年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2019 年 4 月現在、55 地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

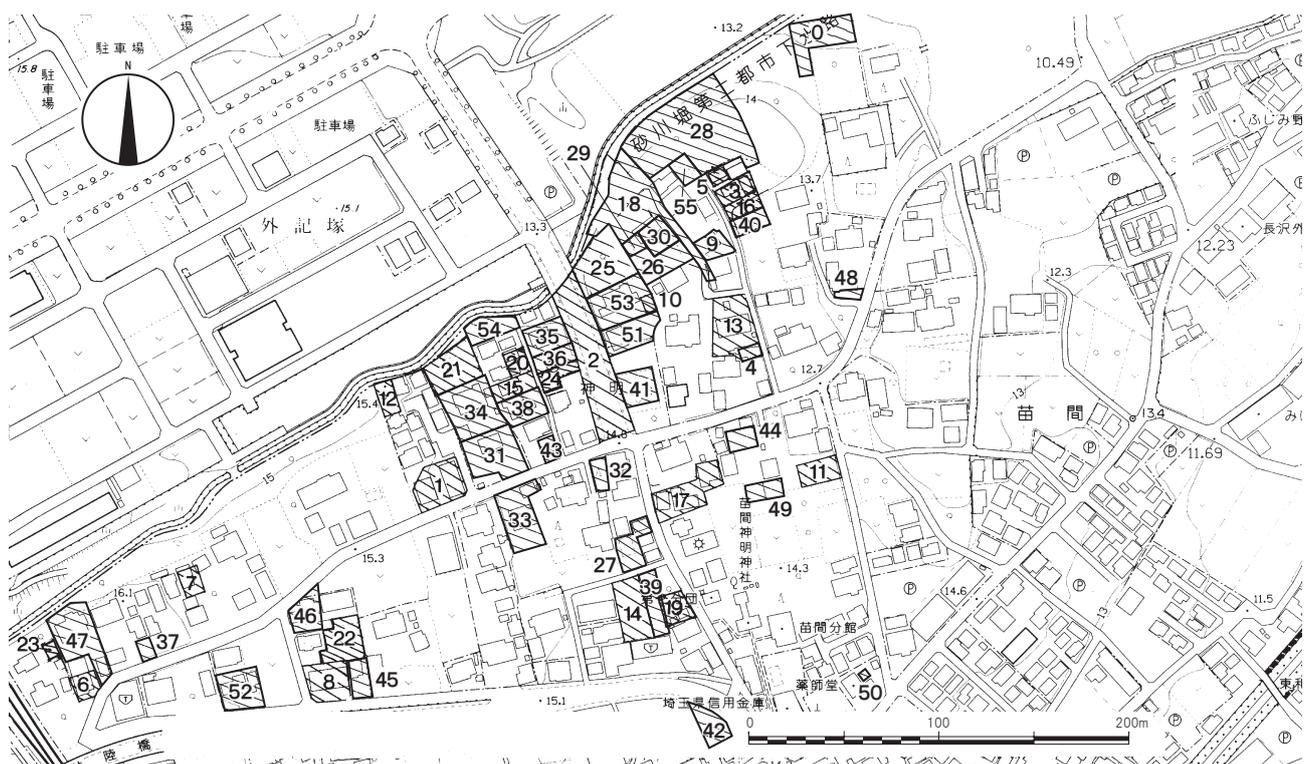
II 神明後遺跡第 55 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 4 月 10 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 5 月 8 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約 40～70 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、縄文時代住居跡 2 軒を検出した。遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、



第 110 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

本調査を実施した。

本調査は 2017 年 5 月 9 ～ 12 日まで、調査区南側の縄文時代住居跡が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代中期の住居跡 2 軒を検出した。J28 号住居跡の埋甕については、規模等から考えて屋外埋甕の可能性も考えられる。

① J24 号住居跡

【位置】 調査区西側に 1/4 程度を検出。

【形状・規模】 残りが非常に悪いため、形状・規模は不明。

【構造】 詳細は不明だが、今回の調査で周溝を確認した。また、ピット 4 は柱穴である可能性がある。

【遺物出土状況】 狭い範囲での検出だが、比較的遺物量は多い。ほとんどが覆土中よりの検出である。

【時期】 出土遺物の時期幅が広く、断定はできない。

② J28 号住居跡

【位置】 調査区中央部に位置する。

【形状・規模】 掘り込みが確認できなかったため、形状・規模は不明。

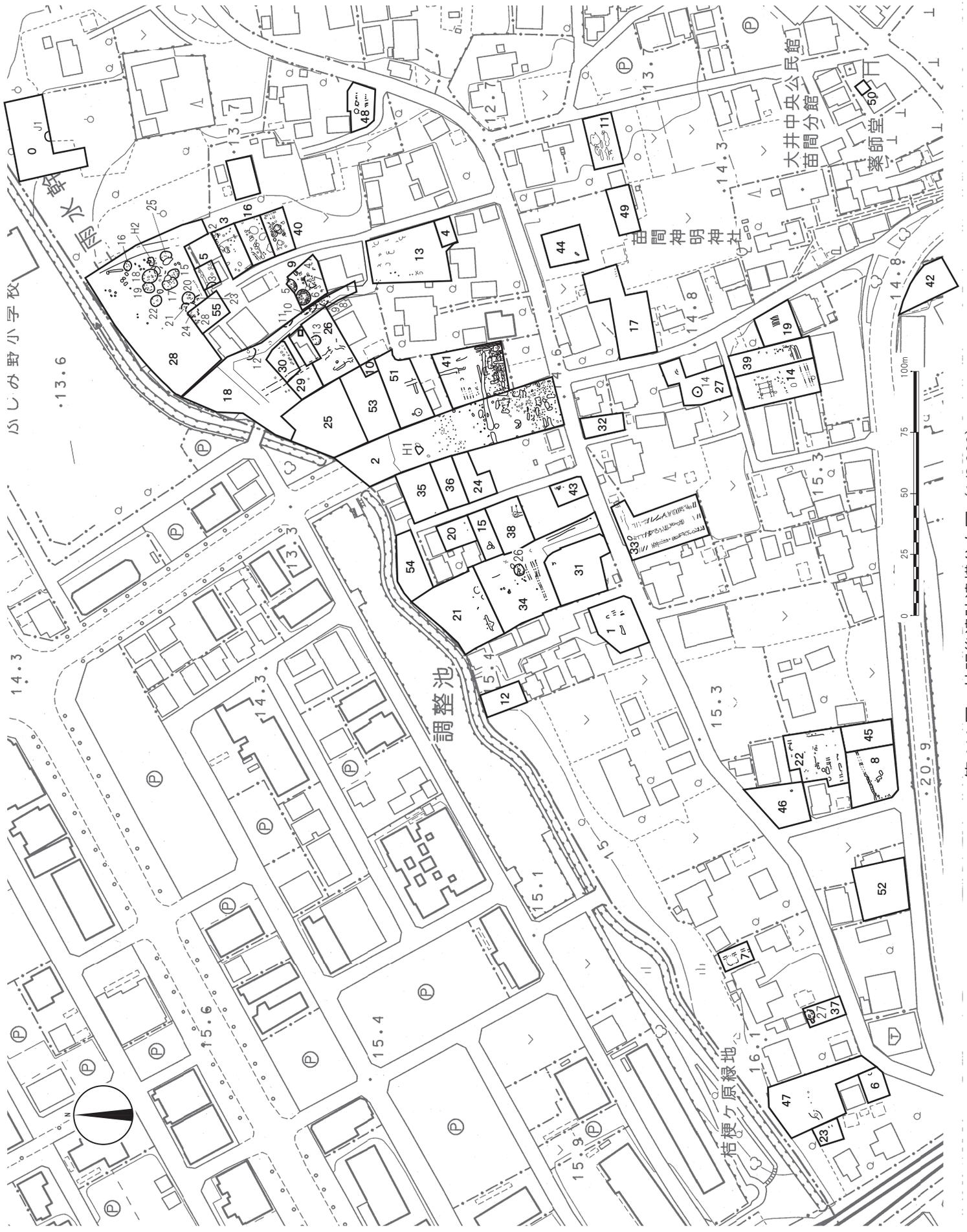
【炉】 平面形態はほぼ円形を呈し、確認面径 54 cm、底面は中央部分が盛り上がる。深さ約 20 cm。原位置を保つ炉体土器の中に、別の土器片が折り重なるように出土した。

【埋甕】 深鉢を逆位に設置し、下半部を打ち欠く。確認面径 72 × 54 cm、底径 55 × 44 cm、深さ 20 cm を測る。

第 62 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
0	苗間 322 の裏の山林	1986.4.9 ～ 4.28	200	大井町史編	縄文住居跡 1 (J1 号)、集石、堀跡	町史資 I
1	苗間 281-1	1993.5.6 ～ 11	615	共同住宅	溝、平安時代須恵器片、陶器片	町内 III
2	苗間 295-2、299-3	1993.5.12 ～ 20	1,688	道路築造	落とし穴 1、平安住居跡 1 (H1 号)、縄文土坑 1、平安住居跡 1 (H1 号)、中・近世掘建柱建物跡、地下式壙 1、井戸、堀	町内 III
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ～ 29) 1995.4.3 ～ 5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡 1 (2 号)、伏甕 2、埋甕 1、土坑 2、ピット 34 他	町内 VI
4	苗間 302	(1996.6.17 ～ 19)	703	物置	遺構なし、縄文土器片	町内 VI
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ～ 4.2	80	個人住宅	縄文住居跡 1 (3 号)、土坑 5、溝、縄文中期後半～後期初頭土器	町内 VI
6	苗間 255、227-2	(1997.9.29 ～ 30)	150	個人住宅	土坑 1、土器片・石器片	町内 VII
7	苗間 260	(1998.6.1 ～ 2)	1,460	個人住宅	近世地下室 1	町内 VIII
8	苗間 235-1	(1998.7.13 ～ 24)	458	共同住宅	縄文土器片	町内 VIII
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ～ 11) 1998.9.14 ～ 10.15	219	共同住宅	縄文住居跡 4、集石土坑 1、落とし穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ピット 33	町内 VIII
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町内 IX
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22 ～ 26	239	個人住宅	土坑 17、ピット 7	町内 IX
12	苗間 282-2・5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構遺物なし	町内 IX
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ～ 19)	694	個人住宅	土坑 12、ピット	町内 X
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ～ 23)	357	共同住宅	土坑 1、近世掘建柱建物跡 1、溝 2、井戸 1、柵列、ピット 38	町内 X
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12 ～ 13	163	個人住宅	集石土坑 1 (阿玉台期)	町内 XI
16	苗間 309-14	(2001.7.23 ～ 24) 2001.7.25 ～ 9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋甕 4、土坑 13、溝 2、地下式壙 1、地下室 1、竪穴状遺構 1、ピット 38	町内 XI
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町内 XI
18	苗間 304-1、303-6	(2002.5.15 ～ 25) 2002.5.27 ～ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡 5 (8 ～ 12 号)、土坑、古代・中世堀跡	町内 XII
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ～ 20)	216	個人住宅	根切溝、溝 4	町内 XII
20	苗間 293-11	(2003.1.14 ～ 15)	143	個人住宅	中・近世溝 2、ピット 2	町内 XII
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ～ 30)	674	土地造成	ピット 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1	町内 XII
22	苗間 235-2・3	(2003.7.8 ～ 29)	430	分譲住宅	井戸 1、土坑 10、ピット 38、江戸後期陶磁器	町内 XII
23	苗間 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室 1、銭貨	町内 XII

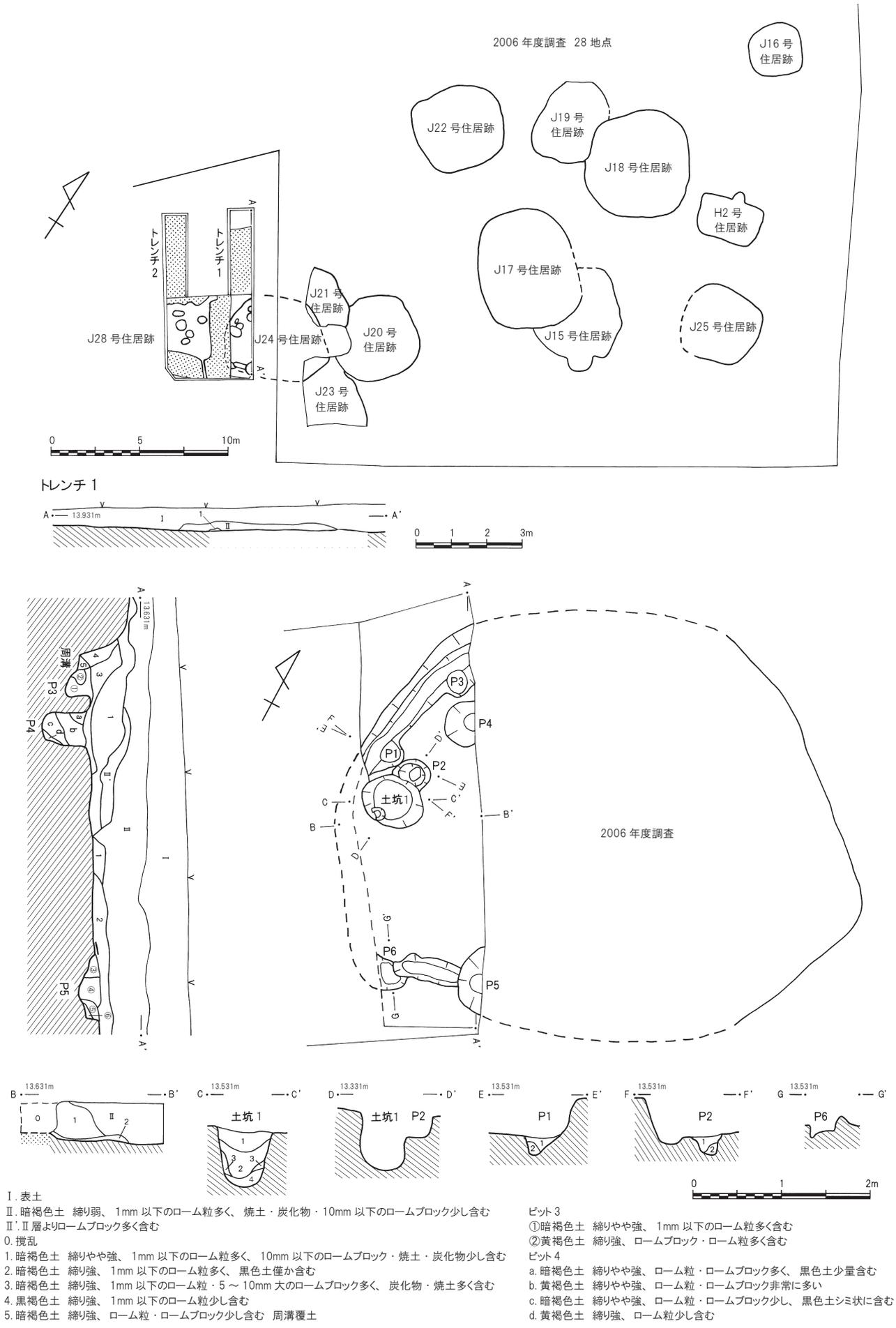
地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
24	苗間神明後 293-4・10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町内XII
26	苗間神明後 301、 303-3 ~ 5・7、304-1	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡 1 (13号)、中世地下式塙、近世土坑 5、溝	大調 18
27	苗間 248-2、249-1	(2005.7.20 ~ 25) 2005.7.27 ~ 29	385	共同住宅	縄文中期住居跡 1 (14号)	大調 18
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡 11 (15 ~ 25号)、集石 23、土坑 5、落とし穴 1、 炉穴 3、ビット、溝 4、平安住居跡 1 (H 2号)、古代・中世堀跡 1	市内 3・24
29	苗間神明後 303- 21・24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	135.9	個人住宅	ビット 1、古代・中世堀跡 1	市内 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101.13	個人住宅	ビット 12	市内 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑 2	市内 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代攪乱	市内 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	個人住宅	落とし穴 1、中世以降溝 6、井戸 2、土坑 38、ビット 16	市内 6
33b	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	357	分譲住宅		市内 6
34	苗間字神明後 283-1、 284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡 1 (26号)、落とし穴 1、集石 3、ビット	市内 5
35	苗間字神明後 293-6・20	(2008.8.1)	247	個人住宅	ビット 1	市内 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30	120	個人住宅	縄文後期住居跡 1	市内 8
38	苗間字神明後 293-1、 292-13	(2009.7.6 ~ 7) 2009.7.8 ~ 16	265	個人住宅	中近世溝 1	市内 8
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中～近世溝 2、ビット 28、落とし穴 1	市内 7
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 16) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑 1、中世地下式坑 2、井戸 1、竪穴状遺構 1、土坑 9	市内 8
41	苗間字神明後 298-1、 299-1 の一部	(2010.5.25 ~ 6.7) 2010.6.15 ~ 7.21	486.36	共同住宅	縄文時代集石土坑 1、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構 16、溝 7、 木炭窯 2、ビット 214	市内 9
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	宅地造成	遺構遺物なし (隣接地)	市内 10
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世期ビット 7、本調査	市内 10
44	苗間神明後 367-1、 368-1 の一部	(2011.7.8) 2011.7.11 ~ 13	1,535.8	個人住宅	落とし穴 1、土器・陶器片	市内 14
45	苗間神明後 235-9	(2011.12.5)	200	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
46	苗間神明後 235-6	(2012.4.9 ~ 10)	233	個人住宅	縄文土坑 1、土器片	市内 15
47	苗間神明後 227-2	(2012.4.24) 2012.4.25 ~ 5.10	340	個人住宅	縄文時代集石 3、ビット 4、縄文土器片	市内 15
48	苗間神明後 315-1 の 一部	(2012.5.7) 2012.5.8 ~ 14	171	個人住宅	井戸 2、溝 3、土坑 8、ビット、板碑、カワラケ、近世陶磁器、石 臼片	市内 15
49	苗間神明後 367- 1,368-6	(2013.1.30)	27.5	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
50	苗間 375	(2013.12.11)	531	薬師堂	遺構遺物なし	市内 18
51	神明後 295-1、297- 1・2 の一部、298-1、 299-1	(2014.11.5 ~ 13) 2014.11.20 ~ 25	487.33	集合住宅	縄文時代土坑 2、中近世溝 2、縄文土器	市内 16
52	苗間字神明後 231-1	(2015.1.28)	379	個人住宅	遺構なし、土器片	市内 20
53	苗間字神明後 298-1	(2015.1.28)	495	個人住宅	遺構遺物なし	市内 20
54	苗間字神明後 293- 7・9	(2015.12.3)	342	共同住宅	遺構遺物なし	市内 22
55	苗間字神明後 310-1 の一部	(2017.5.8) 2017.5.9 ~ 12	180	個人住宅	縄文住居跡 2 (24・28号)、縄文土器、石器	市内 24



第 111 図 神明後遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第 63 表 神明後遺跡縄文時代住居跡一覧表

住居 番号	地点	調査率	平面形 () は推定	規模	炉			埋塞	拡張	周溝	備考	時期	所収報告書
					地床	埋設	石囲						
1	0	10%	(円形)	不明	未掘					○	中世土塁の下	加曾利 E II	町史資 I
2	3	65%	(円形)	不明×435×16	○	○		○	有		土坑と複合	加曾利 E IV、埋塞も E IV	町内VI
3	5	45%	(円形)	410×不明×30			○		有		北半未掘	加曾利 E II 新	町内VI
4	9	15%	不明	不明			○		不明	○	攪乱著しい	加曾利 E II 中	町内VIII
5	9	45%	(円形)	565×?×33	○				有		東北部未掘	加曾利 E II 新	町内VIII
6	9	95%	円形	596×542×45	○	②		②	有・ 建替	○	拡張と建替各 2	加曾利 E I 新古相	町内VIII
7	9	70%	円形	不明×498×18	○		○	○	不明		東南部床まで削平	加曾利 E I 新中相	町内VIII
8	18	70%	(円形)	580×?			○	○	不明		床面攪乱	加曾利 E I	大調 16
9	18	50%	(不整形円形)	(490×270)	未掘				有	○	10 号に切られる	(加曾利 E I 新新相)	大調 16
10	18	50%	不明	(300×250)×50	未掘					○	9 号を切る	曾利 III 式	大調 16
11	18	40%	(不整形円形)	(490×?)×55	未掘					○	貼床	加曾利 E II	大調 16
12	18	70%	(不整形円形)	(570)×550×80	○					○		加曾利 E III	大調 16
13	26	完掘	隅丸方形	343×370×13		○	○	○				加曾利 E I	大調 18
14	27	完掘	円形	404×403×20	○						2 本柱のみ	阿玉台 II	大調 18
15	28	完掘	円形	573×499×35			②				入口に張り出し有、17 住を埋める	加曾利 E III	市内 3
16	28	完掘	隅丸方形	338×337×25	②			○				加曾利 E II 新	市内 3
17	28	完掘	隅丸長方形	684×525×70	②			○	有	○	拡張 3、15 住に切られる	加曾利 E I 新	市内 3
18	28	完掘	隅丸方形	608×600×90	○		△	○		○	石囲いの可能性有、19 住に切られる	加曾利 E I 新	市内 3
19	28	完掘	隅丸長方形	476×448×60	②		△				石囲いの可能性有、18 住を切る	加曾利 E II～III	市内 3
20	28	完掘	隅丸方形	473×483×28			○				妻り口近くに配石、伏塞	加曾利 E II	市内 3
21	28	40%	(隅丸)	?×?×10	○					○	20・24 住より古	加曾利 E I 新	市内 3
22	28	完掘	隅丸五角形	491×513×113	○					○		加曾利 E I 新	市内 3
23	28	25%	不明	?×?×21	②		△				石囲いの可能性有。20 住より古、24 住より新	加曾利 E II	市内 3
24	28	10%	不明	?×?×55	未掘					○	20・23 住より古、21 住より新	加曾利 E	市内 3、24
25	28	完掘	不明	(500×400)×5	○			○				加曾利 E II 新	市内 3
26	34	完掘	隅丸長方形	585×486×31	○						土坑 1 より新、落とし穴より旧	加曾利 E III	市内 5
27	37	ほぼ完掘	柄鏡方	(550×390)×27.6				○	○			称名寺 I 新	市内 8
28	55			不明		○						加曾利 E II	市内 24



第 112 図 神明後遺跡第 55 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、J24 号住居跡 (1/60)

【時期】 炉体土器及び埋甕から加曾利 E II 式期。

③土坑及びピット

土坑 1 は J24 号住居跡ピット 2 と切り合う。土層の観察より住居跡より新しい。平面形態は楕円形を呈し、確認面径 73 × 57 cm、底径 46 × 41 cm、深さ 71.5 cm を測る。土坑 2 は J28 号住居跡埋甕の北側に位置する。平面形態は楕円形を呈し、確認面径 62 × 34 cm、底径 22 × 13 cm、深さ 12.7 cm を測る。

ピットの詳細については第 64 表に掲載した。J24 号住居跡ピット 4 及び J28 号住居跡ピット 1 については、住居に伴う柱穴である可能性がある。

④出土遺物

出土遺物の詳細については第 65 表に掲載した。

第 64 表 神明後遺跡第 55 地点 J24・28 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

住居 No.	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
J 24 号 住居跡	1	不明	47×38	24×20	22.8
	2	不明	37×(27)	30×(21)	24.5
	3	不明	(27)×-	25×22	28.9
	4	不明	50×(34)	21×(11)	59.5
	5	不明	78×(28)	23×(13)	22.2
	6	不明	39×(31)	26×(26)	6.9

住居 No.	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
J 28 号 住居跡	1	楕円形	48×40	25×16	33.1
	2	楕円形	47×36	16×11	15.3

ピット 5

- ③暗褐色土 粘り強、1mm 以下のローム粒多く含む
- ④暗褐色土 粘りやや強、ローム粒・ロームブロック多く含む
- ⑤暗褐色土 粘り強、ローム粒・ロームブロック少し含む
- ⑥暗褐色土 粘り強、ローム粒多く、ロームブロック少し含む

土坑 1

- 1.暗褐色土 粘性有、粘りやや弱、1mm 以下のローム粒、焼土・炭化物多く含む
- 2.暗褐色土 粘性有、粘りやや弱、1mm 以下のローム粒多く、焼土・炭化物少し含む

- 3.暗褐色土 粘性有、粘りやや強、1mm 以下のローム粒、焼土・炭化物少し含む
- 4.暗褐色土 粘性有、粘り強、1mm 以下のローム粒僅か含む

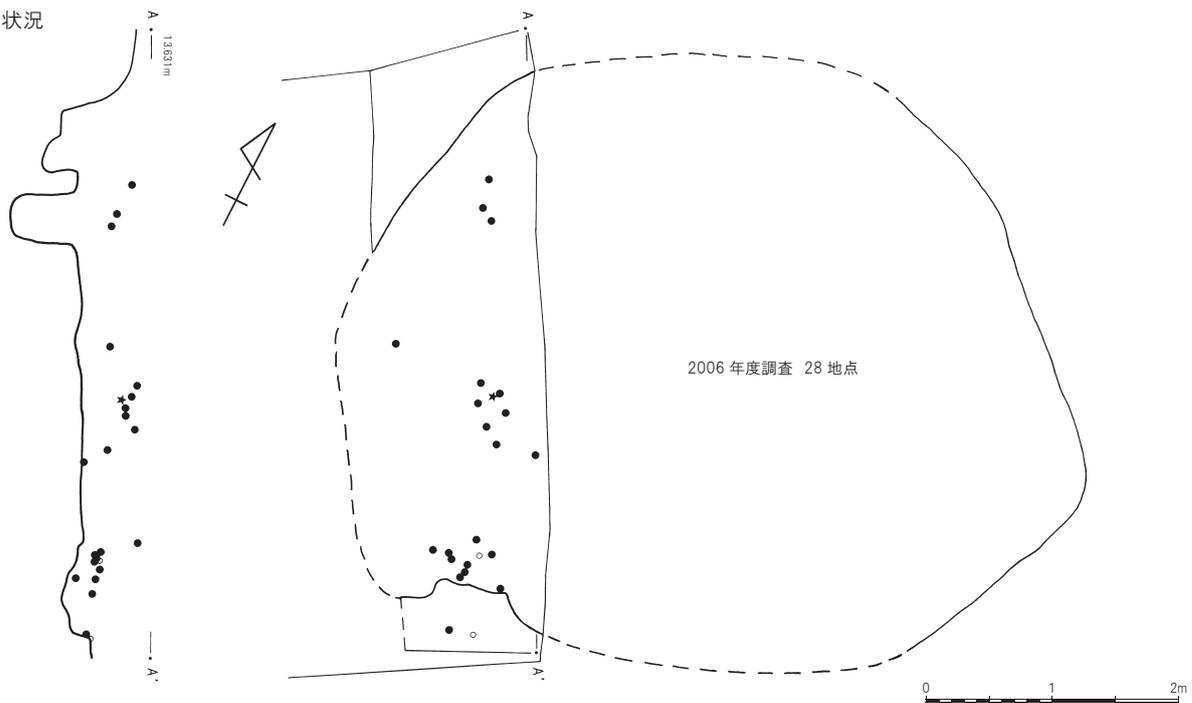
ピット 1

- 1.暗褐色土 粘りやや強、1mm 以下のローム粒・炭化物・焼土多く含む
- 2.黄褐色土 粘り強、1mm 以下のローム粒多く、焼土・炭化物少し含む 周溝覆土

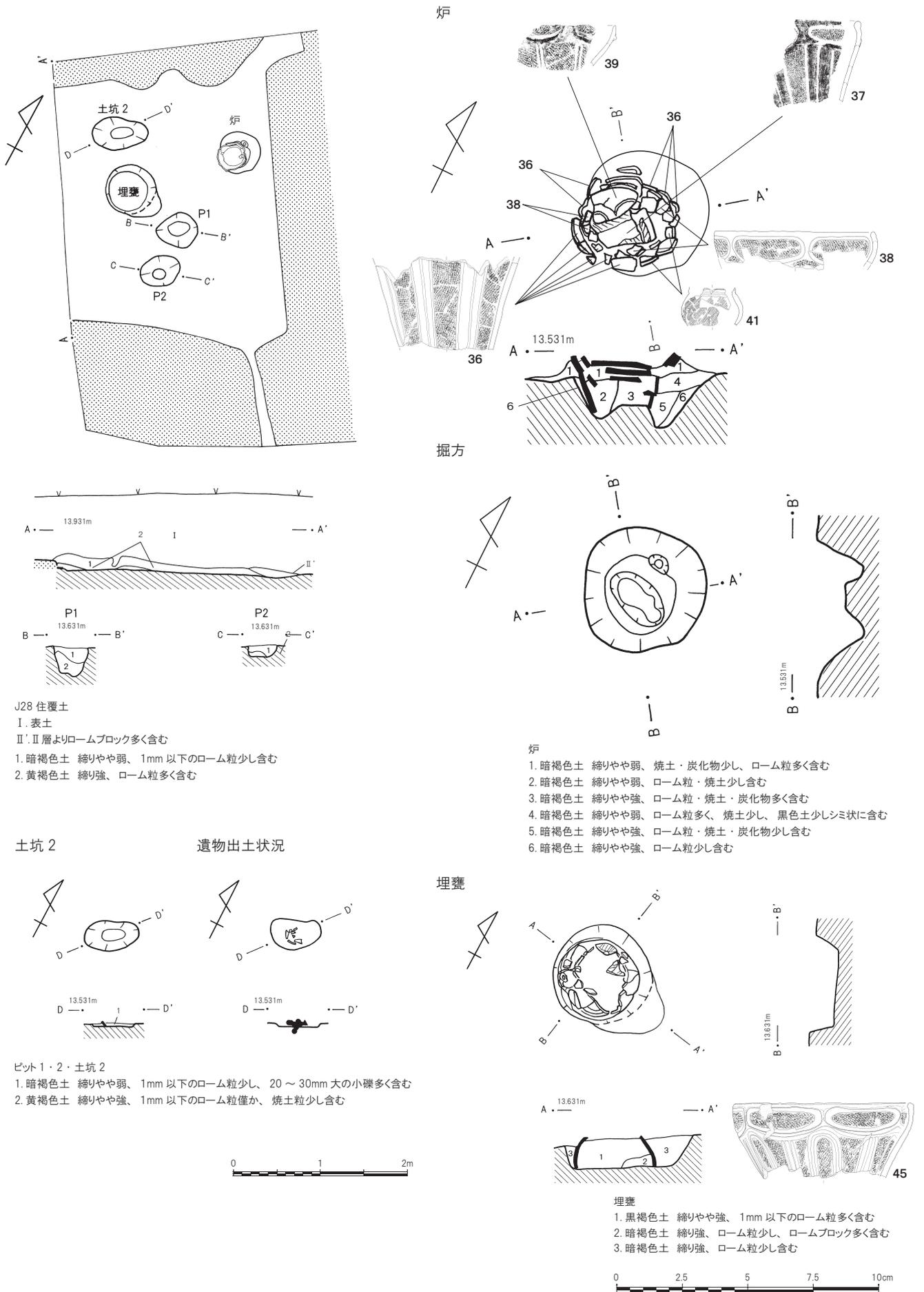
ピット 2

- 1.暗褐色土 粘りやや強、ローム粒・ロームブロック・炭化物少し含む
- 2.暗褐色土 粘りやや強、ローム粒・ロームブロック多く含む

遺物出土状況

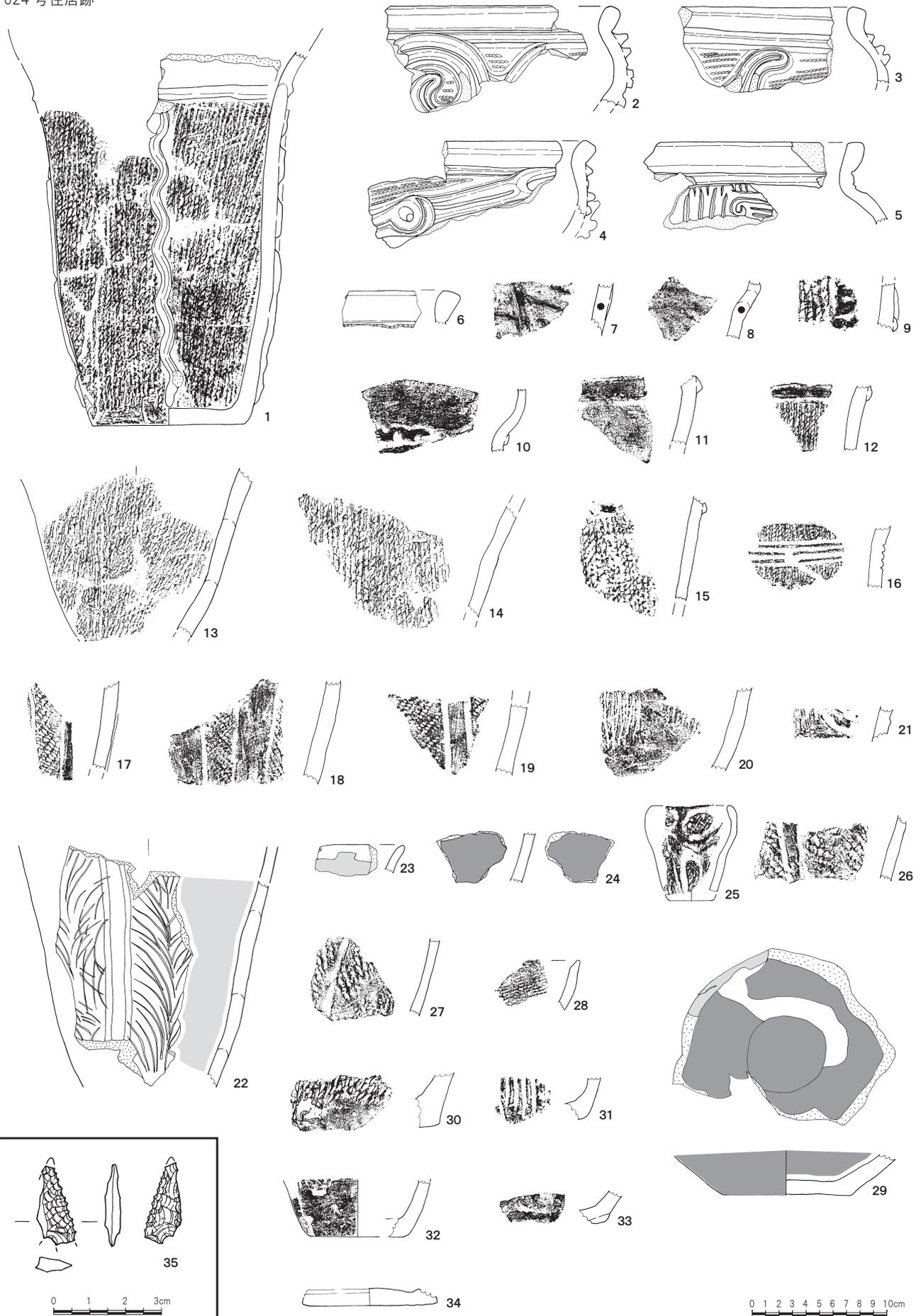


第 113 図 神明後遺跡第 55 地点 J24 号住居跡遺物出土状況 (1/60)



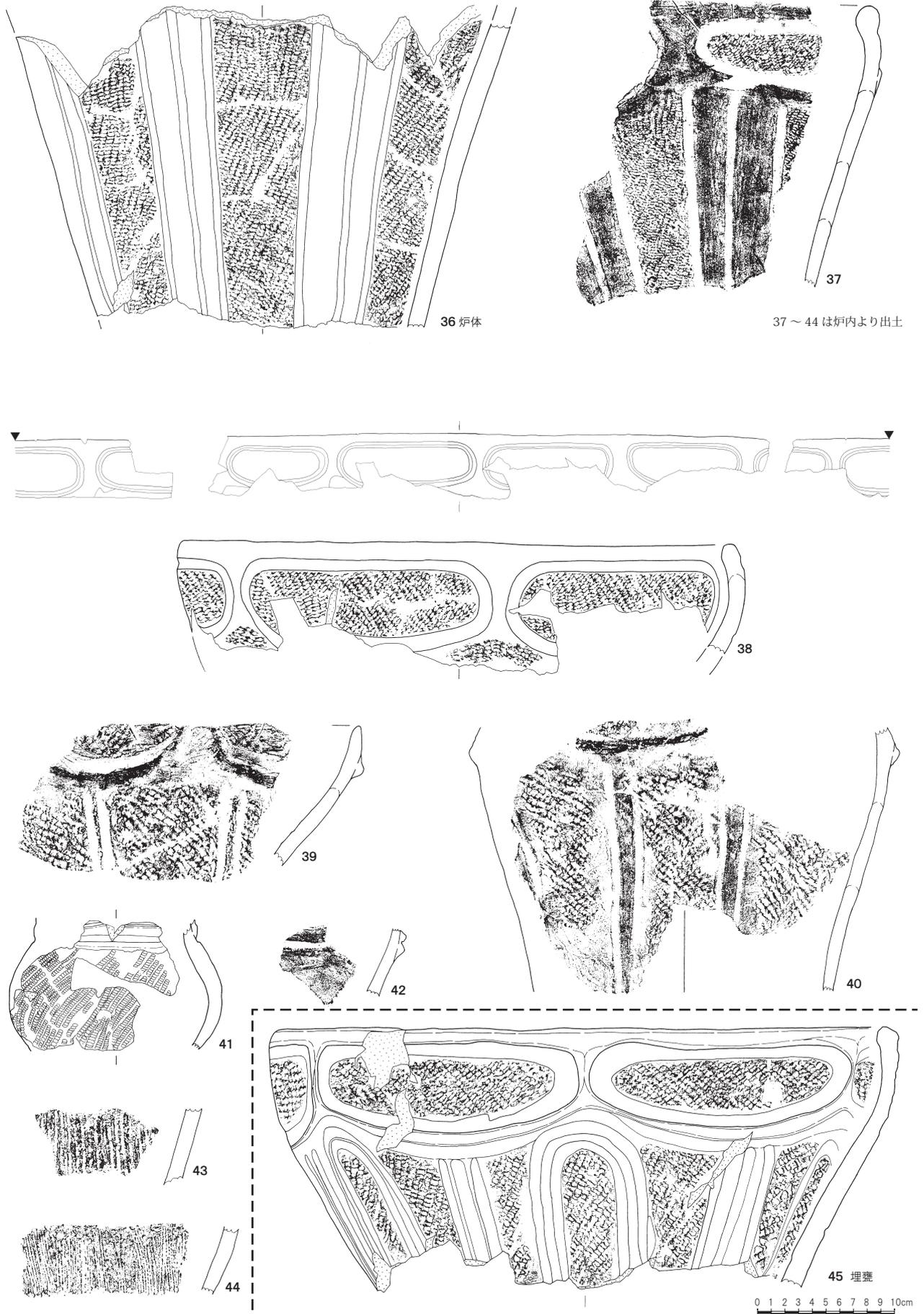
第 114 図 神明後遺跡第 55 地点 J28 号住居跡・土坑・ピット (1/60)、炉・掘方・埋甕 (1/30)

J24 号住居跡



第 115 図 神明後遺跡第 55 地点出土遺物① (1/4・2/3)

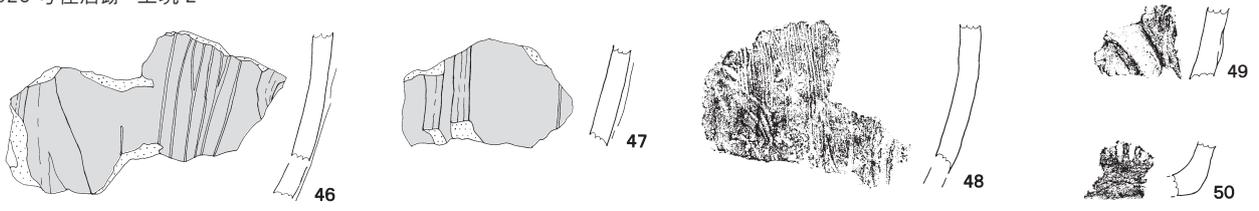
J28 号住居跡



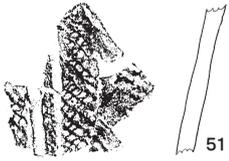
37 ~ 44 は炉内より出土

第 116 図 神明後遺跡第 55 地点出土遺物② (1/4)

J28 号住居跡 土坑 2



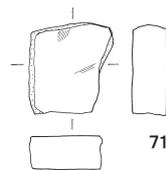
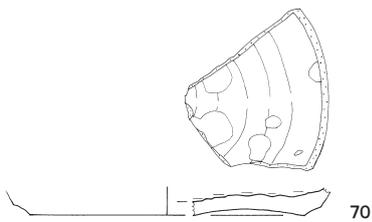
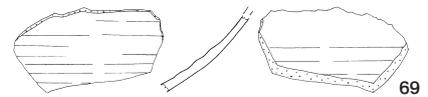
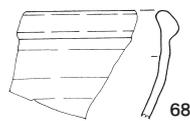
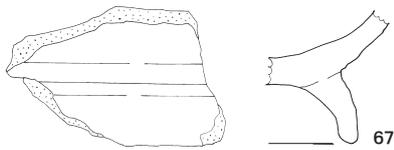
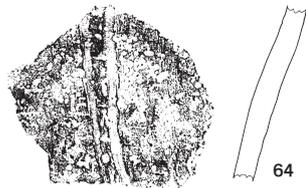
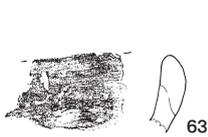
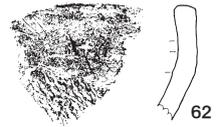
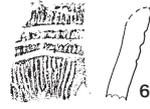
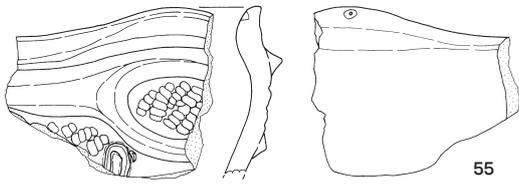
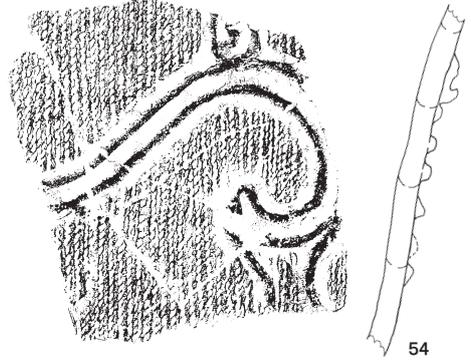
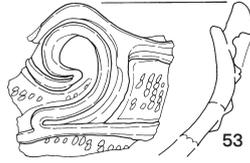
J28 号住居跡 P1



J28 号住居跡 P2



遺構外



第 117 図 神明後遺跡第 55 地点出土遺物③ (1/4)

第 65 表 神明後遺跡第 55 地点出土遺物観察表

図版番号	出土遺構	器形 / 部位	地文 / 施文 / 胎土 / 色調	時期 / 型式	
第 115 図 -1	J24 号住居跡	深鉢 / 頸部～ 底部	頸部から底部まで残存するキャリパー深鉢。頸部文様は施文せず、横位の篋磨きを施す。胴部との間を区画する隆帯を巡らす。胴部には 1 本隆帯を 4 箇所配置し懸垂させる。地文は L 縦位回転の擦糸である。復元最大径は 21.5 cm、現存高 27.8 cm である。胎土は砂粒を多く含み、チャートの小礫を混入する。外面暗褐色、内面暗褐色である。焼成は比較的良好	加曾利 E I 新	
第 115 図 -2		深鉢 / 口縁部	2～4 はキャリパー深鉢類の同一個体である。水平口縁で、口唇断面肥厚し、短く立ち上がる。口縁部文様帯は上下を隆帯で区画し、2 本隆帯で大柄な渦巻文を描く。地文は L の擦糸文で横位回転で施文している。復元推定口径は 36 cm。胎土は多量の砂と石英等の亜角礫を混入する。外面は暗黄褐色、内面は褐色で焼成は良好	加曾利 E I 古	
第 115 図 -3		第 115 図 -4	浅鉢 / 口縁部	口唇部が直立する浅鉢である。器形が大きく「く」の字状に張り出す。胴部との区画を隆帯で画し裾を沈線でなぞる。胴部文様帯は棒状工具先端による刺突文を施し、同施文具で縦位沈線、窓枠状区画文を描く。胎土には砂・小礫・褐色シャモットを混入。内外面ともに灰黄褐色。焼成は良好	加曾利 E I 併行
第 115 図 -5		深鉢 / 口縁部	水平口縁で、口唇断面肥厚し、短く立ち上がる。横位の沈線で区画する。胎土は白色粒子を混入するシルト質。外面灰褐色、内面黒褐色。焼成良好	加曾利 E I	
第 115 図 -6		深鉢 / 胴部	つまみあげた背の低い隆帯を貼り付ける。地文に指頭圧痕が見られる。胎土に多量の金雲母粒子を混入する。外面暗褐色、内面灰褐色。焼成は良好	阿玉台 II	
第 115 図 -7		深鉢 / 胴部	連続する押引文が施文される。胎土は多量の砂粒、金雲母粒子。小礫を混入する。外面黒褐色、内面灰褐色。焼成は良好	阿玉台 II	
第 115 図 -8		深鉢 / 胴部	地文に擦糸 L を縦位回転し施文し、隆帯を縦に張りつけ、半円状の刻みを付す。胎土は砂粒を含み、シルト質。外面灰褐色、内面黒褐色。焼成は比較的良好	勝坂	
第 115 図 -9		小型深鉢 / 頸部	頸部無文帯は、横位の篋磨きを施す。胴部との区画に「V」字状隆帯を連続的に貼付する。胎土はシルト質で、砂を若干混入する。内外面とも暗褐色。焼成良好	曾利系	
第 115 図 -10		深鉢 / 口縁部	断面三角の隆帯を貼付け直下は横位の篋磨きで無文とする。胎土は砂粒・黒雲母粒子・小礫を混入する。外面灰褐色、内面褐色。焼成良好	加曾利 E	
第 115 図 -11		深鉢 / 胴部	頸部区画隆帯直下は地文 L 擦糸を縦位回転し施文する。胎土はシルト質で外面暗褐色、内面灰褐色。焼成は比較的良好である	加曾利 E I 新	
第 115 図 -12		深鉢 / 胴部	地文に擦糸 L を縦位回転し施文する。胎土は砂粒を多量に含み、小礫を混入する。外面灰黄褐色で二次焼成で表面の剥落がみられる。内面は炭化物の付着が顕著にみられ黒褐色。焼成は不良	加曾利 E I 新	
第 115 図 -13		深鉢 / 胴部	地文に擦糸 L を縦位回転し施文する。胎土は小礫及び砂粒を多量に混入する。外面暗褐色、内面は暗褐色。焼成比較的良好	加曾利 E I 新	
第 115 図 -14		深鉢 / 胴部	頸部と胴部を区画する隆帯下に地文擦糸 L を縦位回転し施文。胎土は白色微粒子が目立つ。外面暗褐色、内面は暗褐色～黒褐色である。焼成比較的良好だが二次焼成による風化がみられ、器表面の剥落がはなはだしい	加曾利 E I 新	
第 115 図 -15		深鉢 / 胴部	地文に擦糸 L を縦位回転し、半裁竹管状工具による半隆帯で分断区画する。胎土に白色粒子を多く混入。外面暗褐色、内面灰褐色。焼成良好	加曾利 E I 新	
第 115 図 -16		深鉢 / 胴部	半裁竹管状工具による半隆帯両脇に沈線を巡らす。地文は単節 RL 縄文が施されている。胎土はシルト質で、若干の砂を混入する。外面暗褐色、内面に黒斑がみられ、灰褐色をなす。胎土良好	加曾利 E I	
第 115 図 -17		深鉢 / 胴部	胴部に 2 本 1 組の磨り消し沈線文を垂下させる。地文は単節 LR の縄文を縦方向に施文している。胎土はシルト質で、外面暗褐色、内面灰褐色。焼成良好	加曾利 E II	
第 115 図 -18		深鉢 / 胴部	2 本 1 組の磨り消し沈線文を垂下させる。地文は単節 RL の縄文を縦位に施文する。胎土はシルト質で砂粒・シャモットを混入する、内外面灰褐色。焼成良好	加曾利 E II	
第 115 図 -19		深鉢 / 胴部	地文に擦糸 L を縦位回転で施文。胎土に黒雲母粒子、砂粒を多く混入する。外面暗灰褐色、内面灰黄褐色。焼成は比較的良好	加曾利 E I	
第 115 図 -20		深鉢 / 胴部	沈線による弧状と細い櫛引状工具で縦に施文する。胎土はシルト質で赤褐色シャモットの混入が目立つ。内外面とも黒褐色。焼成はとても良好	連弧文系か	
第 115 図 -21		深鉢 / 胴部	キャリパー深鉢の器形。地文には単沈線で長楕円状の弧状を描き、図上右下隅に集合させる。両側に開く草葉状文を想定させる。地文を磨消、平行沈線文を懸垂させる。内面は横位の篋磨きを入念に施す。胎土はシルト質で、シャモットを若干混入する。外面暗赤褐色～灰褐色、内面灰褐色で黒斑がみられる。焼成は抜群に良好	加曾利 E II 併行の曾利系	
第 115 図 -22		深鉢 / 口縁部	無文の口縁部。胎土に赤褐色シャモット混入。外面は暗赤褐色、内面黒褐色。焼成良好		
第 115 図 -23		深鉢 / 胴部	内外面とも横位の篋磨きで入念にみがき状に調整研磨する。胎土はシルト質で黒褐色でツヤを保っている。焼成は良好		
第 115 図 -24		ミニチュア深鉢	深鉢形のミニチュア土器である。推定口径 6 cm。口縁には沈線で渦巻文を描き、胴部には沈線で逆 U 字文を垂下させている。地文は無節 L を施文。胎土はシルト質で赤褐色シャモットを混入。内外面とも暗褐色。焼成は良好である	加曾利 E III	
第 115 図 -25		深鉢 / 胴部	地文に無節 L 縄文を縦位回転し施文し沈線で磨消する。胎土はシルト質で、外面暗褐色、内面茶褐色。焼成良好。	加曾利 E III	
第 115 図 -26		深鉢 / 胴部	地文に無節 L の縄文を縦方向に施文している。沈線で U 字状に磨消懸垂する。胎土はシルト質で、シャモットの混入がある。外面灰黄褐色、内面灰褐色で黒斑がある。焼成は良好である	加曾利 E III	
第 115 図 -27		深鉢 / 口縁部	口唇部内面をそぎ落とし断面三角を呈する。地文には細い LR 縄文を横位回転し施文する。胎土はシルト質で砂粒を多量に混入する。内外面ともに灰褐色。焼成は良好である	後期	
第 115 図 -28		浅鉢 / 底部	底径 9.4 cm。無文帯で、横位の篋磨きが施される。胎土は黒雲母粒子、砂粒、小礫を多量に混入する。内面全面に赤色塗彩が施され、断面にも観察されるところから底部を二次利用として使用していた可能性が高い。外面黒褐色、内面には黒色付着物が観察される。焼成は比較的良好		
第 115 図 -29		深鉢 / 底部	22 mm の厚さで地文に擦糸 L を施す。胎土は小礫を混入するシルト質。外面は赤褐色、内面は灰黄褐色。焼成は良好	加曾利	
第 115 図 -30		深鉢 / 底部	集合沈線を縦に施す。胎土に砂を若干混入する。外面褐色、内面黒褐色で炭化物の付着が認められる。焼成比較的良好	加曾利	
第 115 図 -31		深鉢 / 底部	縦方向の沈線の末端が観察できる。胎土はシルト質で、白色粒子を多量に混入する。外面褐色、内面灰褐色で黒斑が付着する。焼成良好	加曾利	
第 115 図 -32		浅鉢の底部か?	胎土はシルト質で、シャモット、砂粒の混入がある。外面赤褐色、内面灰褐色。焼成良好		
第 115 図 -33		深鉢 / 底部	底径 10.0 cm。胎土はシルト質で、底面灰褐色、内面灰黄褐色。焼成良好		
第 115 図 -34		石鏃	両脚折損する。挟入がわずかに残る。石材は青灰色チャート。長さ 2.3 mm、幅 0.9 mm、厚さ 4.15 mm、重さ 0.94 g		
第 115 図 -35		J28 号住居跡炉体	深鉢 / 胴部	炉内から出土したキャリパー系深鉢形土器の胴部である。最大径 37.3 cm。3 本 1 組の磨消沈線文が 10 単位施文される。地文は単節 LR の縄文を横方向に施文している。現存する器高は 23 cm である。胎土はやや砂質でシャモットを多く含む。外面黄褐色、内面灰褐色～暗茶褐色。焼成は良いが、内外面とも部分的には二次焼成による風化がみられ、器表面がはげ黒斑が残る	加曾利 E II

図版番号	出土遺構	器形 / 部位	地文 / 施文 / 胎土 / 色調	時期 / 型式
第 116 図 -37	J28 号 住居跡炉内	深鉢 / 口縁部～ 胴部	36 の炉体土器内から出土したキャリパー系深鉢形土器である。口縁はやや内湾し、口縁部文様は沈線で楕円形区画文を施文し、その直下から 3 本 1 組の磨消沈線文が施文される。楕円区画内文は単節 RL 縄文を右から横位に、胴部は左から横位に単節 LR 縄文を横方向に施文している。胎土はシルト質で赤色シャモット、小礫を含む。外面黄褐色、内面灰褐色。焼成は良好	加曾利 E II
第 116 図 -38		深鉢 / 口縁部	口径 41 cm。現存高 9.8 cm。口縁部は平縁で 1 本の沈線で 7 単位の楕円区画文を配置する。地文は単節 RL の縄文を楕円区画内は横方向に、頸部は縦方向に施文している。胎土はシルト質である。外面灰褐色～暗褐色、内面褐色で黒斑がみられる。部分的に二次焼成による風化がみられる。焼成は比較的良好	加曾利 E II
第 116 図 -39		深鉢 / 口縁部	口縁部はゆるやかに内湾するキャリパー系深鉢の器形。隆帯により口唇部から楕円形区画文を描き、2 本 1 組の磨消沈線文を施文する。単節 RL の縄文を横から斜め方向に施文し地文とする。楕円区画内は縦方向に施文する。胎土は砂粒を混入するシルト質。外面暗黒褐色、内面暗褐色。焼成は良好	加曾利 E II
第 116 図 -40		深鉢 / 口縁部～ 胴部	38 と同様の施文構成。胴部の地文は単節 LR の縄文を縦方向に施文する。胎土はシルト質で若干の砂粒を混入する。外面黒褐色、内面暗褐色。焼成良好である	加曾利 E II
第 116 図 -41		壺形土器胴部	推定口径 11.5 cm。胴部最大径 15.5 cm。口縁部と胴部の区画に浅い沈線文を 2 本巡らせる。地文は LR の縄文を横方向に施文する。外面全面に赤彩、黒斑が部分的にみられる。暗赤褐色。内面灰黄褐色。胎土に小礫混入。焼成良好	
第 116 図 -42		深鉢 / 頸部	つまみあげた背の低い隆帯を貼り付け沈線を沿わせる。胎土はシルト質で黒雲母粒子を混入する。内外面とも褐色。焼成は良好	
第 116 図 -43		深鉢 / 胴部	地文として条線を縦方向に施文する。胎土に砂粒を多量に混入し、外面はザラつく。外面褐色。内面褐色。焼成は良い	
第 116 図 -44		深鉢 / 胴部	4 本 1 組の細い櫛歯状工具で条線を縦に施文する。胎土はシルト質でシャモットを混入する。外面は灰黄褐色、内面褐色。焼成良好	
第 116 図 -45		J28 号 住居跡埋塞	深鉢 / 口縁部～ 胴部	口縁部を逆に伏せた状態で出土した深鉢土器。最大径は 44 cm。現存高 20.5 cm である。口縁から胴部上半が埋塞に使用され、胴下半から底部は欠損するものである。口縁部は平縁で、ゆるやかに内湾し、胴部の括れはないバケツ状の器形をなすものと考えられる。口縁部には沈線によって楕円形区画文を 6 単位施文している。楕円区画文との間から 2 本 1 組の沈線で逆 U 字状を描き、楕円区画中央部直下から 3 本 1 組、2 本 1 組の磨消沈線文を垂下している。地文は単節 LR の縄文を胴部は斜め方向に、口縁部区画内には RL の縄文を横方向に施文している。胎土にシルト質で、赤褐色シャモットや小礫を混入する。内外面とも灰黄褐色で黒斑がみられ、内面はハジゲが多くみられる。焼成は良好である
第 117 図 -46	J28 住 土坑 2	深鉢 / 胴部	微隆起文を貼り付け、地文に 3 本一組の櫛歯状工具を縦位に施す。外面に黒色付着物、内面には黒斑の付着が著しい / 胎土はシルト質で、白色粒子・赤褐色シャモットを混入する / 外面褐色～灰褐色、内面灰黄褐色で外面に黒色付着物がみられる	加曾利 E II 新
第 117 図 -47		深鉢 / 胴部	46 と同一個体。断面背の低い微隆帯を 2 本貼る。ヘラで縦位の入念な研磨を施す	加曾利 E II 新
第 117 図 -48		深鉢 / 胴部	幅 5 mm ほどの櫛歯状工具で 4 本の細い条線を繰り返し縦位に施す / 胎土はシルト質で白色粒子を混入する / 外面褐色、内面は黒斑に覆われる。地は外面と同じ。焼成良好	加曾利 E II
第 117 図 -49		深鉢 / 胴部	幅広の沈線で弧状の懸垂文を描く / 胎土はシルト質で赤褐色シャモット混入 / 外面暗灰褐色、内面灰褐色。焼成は良好である	加曾利 E II
第 117 図 -50		深鉢 / 底部	沈線による懸垂文を描く。胎土はやや砂質で、外面暗黄褐色、内面灰褐色	加曾利 E
第 117 図 -51	J28 住 ピット 1	深鉢 / 胴部	地文に LR 単節縄文を縦位回転させ平行沈線で懸垂文を描く / 胎土はシルト質で、シャモットを混入する / 外面暗褐色、内面暗褐色	加曾利 E II
第 117 図 -52	J28 住 ピット 2	深鉢 / 胴部	地文は単節 LR の縄文を横位回転して施し、磨り消す 2 本の沈線文を施文する。胎土はシルト質で砂を多く混入する。外面黄褐色、内面灰褐色	加曾利 E II
第 117 図 -53	遺構外	深鉢 / 口縁部	キャリパー系深鉢で 2 本隆帯で大柄の渦巻文を描く。地文は L の捺糸を縦回転施文する。頸部は無文帯となる。胎土は黒雲母、赤褐色シャモット、小粒な砂を混入する。外面明灰褐色、内面暗褐色。	加曾利 E I 古
第 117 図 -54		深鉢 / 胴部	2 本の帯で大柄の渦巻文を描き、モチーフ末端に小渦巻文を配する。器面全体に L 縦位回転の捺糸文を施文する / 胎土は少量の砂を含み、黒雲母粒子が混じる。外面暗褐色～褐色、内面褐色である。焼成は比較的良好	曾利式
第 117 図 -55		深鉢 / 口縁部	4 単位の波状口縁部をもつキャリパー系深鉢で、渦巻文部が、口縁の波頂部下にくる。地文は単節 LR 縄文を横位回転施文する。胎土はシルト質で小礫を含む。外面は褐色、内面暗灰黄褐色。焼成は良好	加曾利 E II 新
第 117 図 -56		深鉢 / 口縁部	沈線区画内に単節 LR 縄文を縦方向に施文する。胎土はシルト質で、砂を少量混入する。内外面とも灰黄褐色である。焼成は比較的良好	加曾利 E II 新
第 117 図 -57		深鉢 / 口縁部	沈線区画内に単節 LR 縄文を斜位に施文する。内面は幅 5 mm ほどのヘラ磨き。胎土はシルト質で白色微粒子を混入する。内外面とも灰黄褐色。焼成は良好である	加曾利 E II 新
第 117 図 -58		深鉢 / 口縁部	隆帯下に RL 縄文を施文する。胎土はシルト質で砂粒を混入する。内外面とも灰褐色。焼成は良好	加曾利 E II 新
第 117 図 -59		深鉢 / 口縁部	平行沈線文の巡る連弧文を、地文 4 本の条線上に施す。口唇部は半裁竹管工具を連続刺突する。胎土はシルト質で、褐色シャモット、白色粒子を混入する。外面は黒褐色、内面暗褐色。焼成良好	連弧文系
第 117 図 -60		深鉢 / 口縁部	地文に細捺糸 R を縦位回転し、平行沈線文を施す。胎土は砂粒を混入する。外面は暗灰褐色、内面灰褐色。焼成比較的良好	連弧文系
第 117 図 -61		深鉢 / 口縁部	隆帯直下から地文に条線を施す。胎土は砂を多量に混入する。外面暗褐色～灰褐色、内面は灰褐色。焼成不良	加曾利 E II
第 117 図 -62		深鉢 / 口縁部	波状をなす口縁部で、無文部直下は材質が硬く弱い RL 縄文が縦回転に施文されている。胎土に赤褐色シャモットを多量に混入する。外面に黒斑が付着し、灰黄褐色。内面は黒褐色。焼成は良好である	加曾利 E II 新
第 117 図 -63		深鉢 / 口縁部	内外面とも横位の磨磨きを施し文様はない。胎土はシャモット混入し、シルト質。外面黒褐色、内面は灰褐色。焼成良好	加曾利 E
第 117 図 -64		深鉢 / 胴部	2 本の沈線を垂下させている。地文は無文だが入念な縦位の磨磨きを施す。胎土は砂粒多く混入する。外面は褐色でハジゲが目立つ。内面は灰黄褐色。焼成良好	加曾利 E
第 117 図 -65		土師質 / 口縁部	横位の研磨を施す。胎土は黒雲母片を混入する。内外面とも黒褐色	
第 117 図 -66		瓦質土器 / 風口 底部	内外面ナデ調整し、外面黒色光沢有り	
第 117 図 -67		瓦質土器 / 養蚕 火鉢底部	轆轤成形 / 外面叩き目 胎土は灰褐色。内外面とも黒褐色。山王焼 (産地: 東松山市)	20 世紀中頃?
第 117 図 -68		磁器 / 捏鉢口縁	轆轤成形 / 灰釉 / 内面施釉 / 胎土灰色	
第 117 図 -69		磁器 /	轆轤成形 / 灰釉 / 外面全面にスス付着 / 胎土灰白色	
第 117 図 -70		陶器 / 皿底部	底径 16.5 cm。胎土は灰黄褐色	
第 117 図 -71		土器 / 砥石転用	縄文土器片 (加曾利 E II 期の土器) を用いた簡易的な砥石。面のほとんどを研ぎ面とする。内面を主研ぎ面とする。B 面に縄文施文痕が残る。胎土は砂粒、赤色シャモットを混入する。外面灰黄褐色、内面暗褐色。焼成は良好	

第22章 浄禅寺跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

浄禅寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禅寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12～14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禅寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禅寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は市街化が進み、残された畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

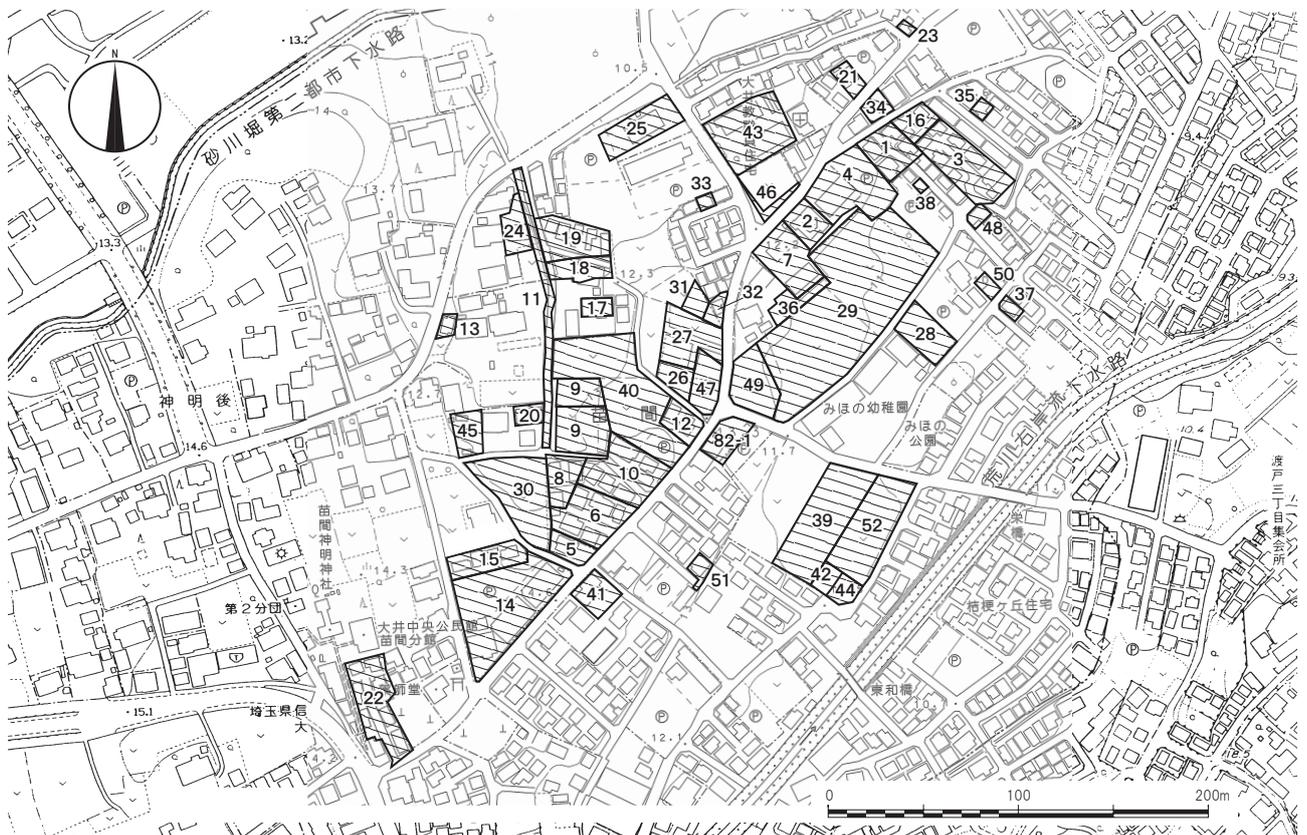
2019年4月現在52地点で試掘調査及び発掘調査を行い、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中期住居跡4軒、中・近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禅寺墓域から土壙墓157基、一字一石経約76,000点が出土している。浄禅寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

II 浄禅寺跡遺跡第42地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年4月8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約70cmである。



第118図 浄禅寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第66表 浄禅寺跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間東久保 579	1979.4.3 ~ 21	605	共同住宅	苗間東久保1地点として報告済み炉穴10、土坑14、縄文早期後半・中期	東部I
2	苗間東久保 573	1982.4.1 ~ 3	396	共同住宅	苗間東久保7地点として報告済み遺構なし、磨耗縄文土器	東部III
82-1		1982.4.2 ~ 9			旧苗間東久保遺跡第8地点、遺構遺物なし	東部IV
3	苗間東久保 581	1984.7.20 ~ 21	320	共同住宅	苗間東久保12地点を浄禅寺3地点とする遺構なし、縄文中期末	未報告
4	苗間神明後 346-1	1989.11.15 ~ 25	150	開発予定地	炉穴10、土坑7、ピット14、縄文早期後半・前・中期	東部X
5	苗間 374-9	1991.8.28 ~ 9.3	100	個人住宅	遺構なし、縄文前期・中期土器片	町内I
6	苗間 358-1	1991.9.21 ~ 12.26	826	個人住宅	遺構遺物なし	町内I
7	苗間東久保 573-4	1992.10.20 ~ 11.20	831	共同住宅	炉穴8、井戸3、堀3、縄文草〜中期	大調5
8	苗間 357-1	(1994.9.20 ~ 27)	615	宅地分譲	落とし穴、根切溝	大調IV
9	苗間 353	(1994.10.18) 2007.5.22 ~ 24	1,266	農地改良	土坑、溝、縄文土器、磁器	大調IV、市内4
10	苗間 356-1	1994.10.31 ~ 11.2	999	宅地分譲	近世土壌墓、一石経埋納土坑、六道銭、江戸中後期	大調12
11	苗間 352-1 他	(1995.1.9 ~ 2.3)	572	道路	湧水口	町内IV
12	苗間 35-95	1995.9.25 ~ 10.21	140	個人住宅	屋外炉、遺物集中3、ピット16、溝5、縄文中期土器、磁器	町内V
13	苗間 314-2	(1996.1.8 ~ 29)	101	個人住宅	土坑13、ピット11、井戸1、溝2、縄文早〜後期、陶磁器	町内V
14	苗間 360-1,362-2	(1996.6.3 ~ 12) 1996.6.18 ~ 7.11	2,178	個人住宅	礫群3、落とし穴1、溝4、ピット251、旧石器、縄文土器、陶磁器片	町内VI
15	苗間 362-4・5	(1996.6.3 ~ 12) 1996.7.12 ~ 8.2	494	分譲住宅	炉穴7	町内VI
16	苗間 579-1	1997.11.10 ~ 12.19	291	個人住宅	縄文住居1、炉穴14、ピット61、土坑16、溝4、縄文早期後半、前期、中期	町内VII
17	苗間 345-2・10	(1998.9.29 ~ 10.2)	877	個人住宅	遺構なし、縄文早期後半、中期後半	町内VIII
18	苗間 345-3・4	(1999.5.26 ~ 6.24) 1999.6.26 ~ 8.3	599	個人住宅	炉穴8、集石土坑3、土坑13、ピット27、溝、縄文後期土器、土師器	町内IX
19	苗間神明後 345-4	1999.8.28 ~ 9.14	703	分譲住宅	炉穴1、集石2、焼土痕4、土坑22、井戸2、溝8、掘立5、縄文早〜晩期土器、石器、中近世陶磁器、板碑	大調15
20	苗間神明後 351-1	(2001.10.26 ~ 29)	223	倉庫	遺構なし、近世磁器	町内XI
21	苗間東久保 591-3、 592-7	(2001.11.19 ~ 20)	182	個人住宅	遺構遺物なし	町内XI
22	苗間 373-5・8、377-5・3・4	(2002.4.23 ~ 5.14)	935	分譲住宅	土坑1、ピット4、溝、遺物なし	町内XII
23	苗間 592-1	(2003.4.28)	100	個人住宅	ピット2、溝、遺物なし	町内XII
24	苗間神明後 346-1・2の 一部	(2004.8.30 ~ 31)	391	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
25	苗間 339-1・2	(2004.9.22 ~ 10.12)	721	共同住宅	ピット2	町内XII
	苗間神明後 338-8、 339-2	(2012.6.27)	844.8	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
26	苗間神明後 354-2の一部	(2005.3.3 ~ 8) 2006.4.17 ~ 28、6.7 ~ 15	216	分譲住宅	炉穴10、土坑8、ピット21、溝1、縄文中期片	市内3
27	苗間神明後 354-2	(2005.12.1 ~ 2006.1.22) 2006.1.23 ~ 2.23	696	道路・分譲住宅	住居跡1、炉穴15、埋塞2、土坑117、ピット127、溝1	市内2
28	苗間字東久保 719-7、720-1	(2007.1.23)	2,478	園舎改築	溝2	市内3
29	苗間 570-1・2、571- 1・2、575	(2007.8.7 ~ 9.21) 2007.9.25 ~ 11.6	4,920	分譲住宅	掘立柱建物跡3、井戸15、土坑15、堀跡1、溝17、陶磁器・板碑他	市内4
30	苗間 359-1	(2007.9.14 ~ 10.9) 2007.10.9 ~ 11.2	1,298	分譲住宅	茶毘跡5、木炭窯1、土坑15、溝2、陶磁器・板碑他	市内4
31	苗間字神明後 342-14 一部	(2007.2.19) 2007.2.19 ~ 3.5	171	個人住宅	住居跡1、炉穴1、土坑1、ピット26、縄文土器・石器	市内4
32	苗間字神明後 340- 17,342-10・15	(2007.2.25 ~ 3.4)	188	個人住宅	堀跡1、ピット1、縄文土器	市内4
33	苗間字神明後 340-21	(2010.8.6)	76	個人住宅	土坑1	市内10
34	苗間字東久保 586- 7,587-2の一部	(2012.8.24)	160	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
35	苗間字東久保 582-8	(2012.4.4)	80	個人住宅	ピット1、縄文土器片	市内15
36	苗間字東久保 573-5	(2012.8.6 ~ 9) (2012.9.5 ~ 12)	401	宅地造成	土坑2、ピット14、溝5	市内15
37	苗間字東久保 727-17	(2012.11.21)	100.52	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
38	苗間東久保 578-11	(2013.5.14)	53.42	個人住宅	遺構なし、表採土器	市内18
39	苗間 565-1	(2013.6.25 ~ 7.3)	1,709	分譲住宅	中世以降の溝、遺物なし	市内18
40	苗間字神明後 355-1・2・ 12	(2015.8.19 ~ 9.30) 2015.10.1 ~ 11.9	2,308.06	分譲住宅	縄文時代住居跡1、集石土坑3、溝6、土坑13、ピット51、地下式坑1、井戸1、縄文土器	市内19
41	苗間字神明前 509-1・5	(2015.12.21)	349.73	分譲住宅	土坑1、ピット1、土器片	市内22
42	苗間字神明前 564-3の一部	(2016.4.8)	132.35	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内24
43	苗間字 589-1	(2016.6.20 ~ 24)	1,402	公園	遺構なし、土器片	市内24
44	苗間字神明前 564-5	(2016.7.1 ~ 4)	124.05	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内24
45	苗間字神明後 349-3、 350-4	(2016.8.18 ~ 19)	310	個人住宅	ピット12、縄文土器、泥面子	市内24
46	苗間 588-10	(2017.2.6)	108	道路拡幅	遺構なし、縄文土器片	市内24
47	苗間字神明後 354-1	(2017.4.21 ~ 24) 2017.4.25 ~ 5.2	401	個人住宅	炉穴、土坑、ピット、縄文土器	市内24
48	苗間字東久保 717-3	(2017.5.15)	103	分譲住宅	遺構遺物なし	市内24
49	苗間字東久保 569-1	(2017.5.22 ~ 23)	798	分譲住宅	遺構遺物なし	市内24
50	苗間字東久保 717-12	(2017.7.10)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内24
51	苗間字神明前 510-12・13	(2018.4.26)	112.58	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
52	苗間字神明前 564-1	(2019.2.12・13)	1,186	老人ホーム・ディーラーズ	ピット2、土師器、陶磁器、鉄製品	未報告



第119図 浄禅寺跡遺跡遺構分布図 (1/2,000)

調査の結果、土坑 1 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

土坑は調査区北東部、トレンチ 1 で検出した。確認面径 124 × 97 cm、底径 106 × 79 cm、深さ 90.8 cm で隅丸方形を呈する。出土遺物はない。土層の観察から縄文時代と推測される。

III 浄禅寺跡遺跡第 44 地点

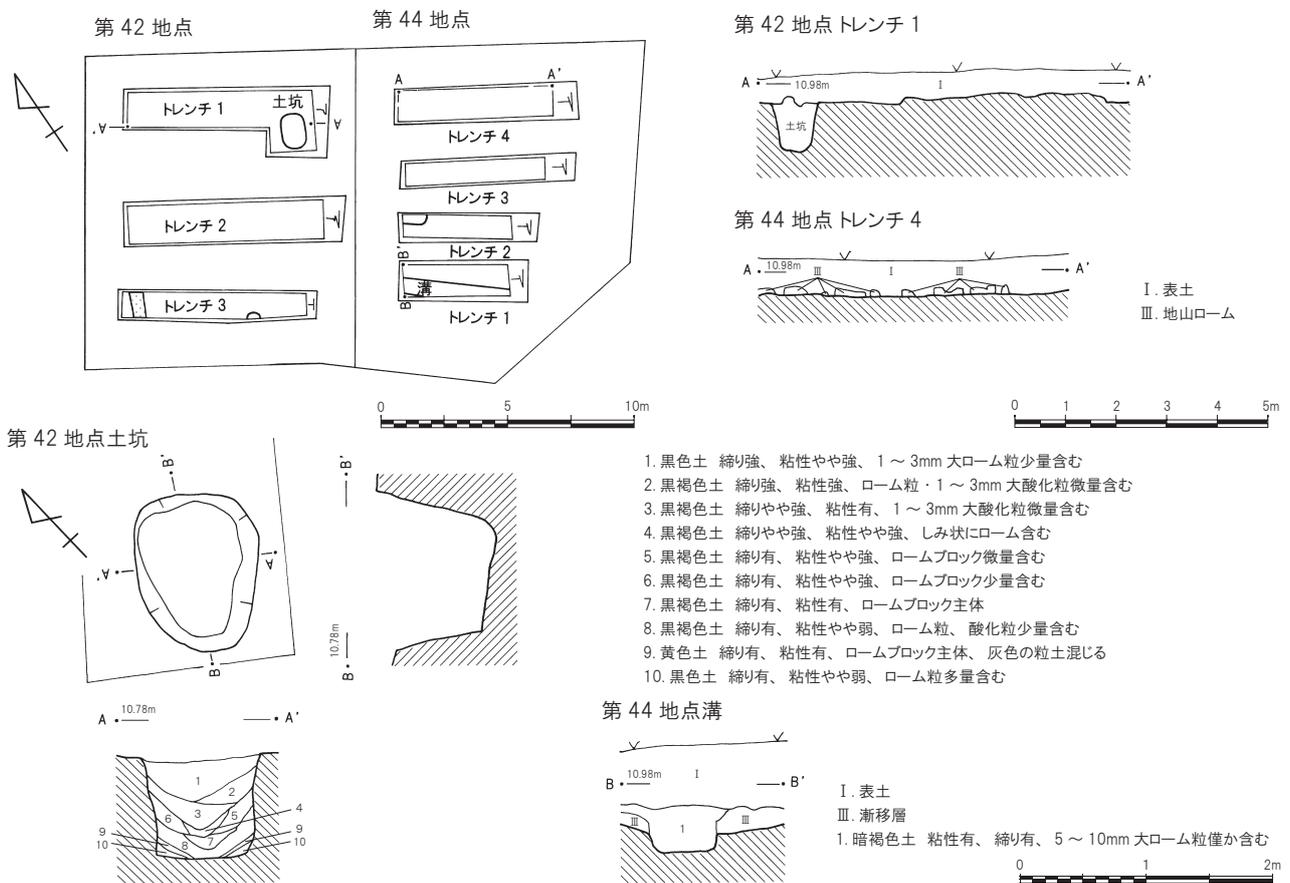
(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 6 月 10 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 7 月 1～4 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1～1.5 m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70cm であった。

調査の結果、溝 1 条を確認した。遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

溝は調査区南側、トレンチ 1 で検出した。東西方向に走行し、幅 60 cm、深さ 13.7 cm である。他のトレンチや隣接する第 42 地点では確認されてない。出土遺物はないが、土層の観察から近世以降のものと考えられる。



第 120 図 浄禅寺跡遺跡第 42・44 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第 42 地点土坑・第 44 地点溝(1/60)

IV 浄禅寺跡遺跡第 43 地点

(1) 調査の概要

調査は公園建設に伴うもので、原因者より 2016 年 5 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 6 月 20～24 日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 5 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 130～150 cm である。また、旧石器時代の確認調査のため、1m 四方のトレンチを 6ヶ所設定した。

調査の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて覆土中より出土した。詳細については第 121 図及び第 68 表に掲載した。

V 浄禅寺跡遺跡第 45 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 7 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 8 月 18～19 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70～80 cm である。

調査の結果、ピット 12 基を検出したが、保護層確保が可能なため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

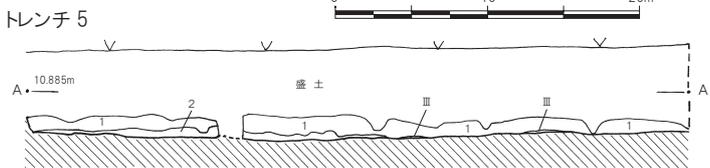
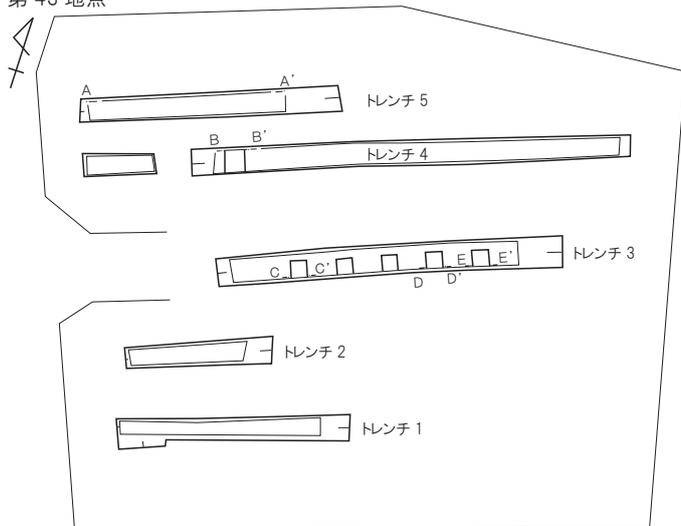
第 67 表 浄禅寺跡遺跡第 45 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	楕円形	50×20	7×6	56.2	7	楕円形	40×26	15×12	22
2	不明	27×(24)	15×(15)	11.4	8	楕円形	(30)×25	15×9	23.3
3	三角形	25×19	14×10	14.6	9	方形	28×28	20×10	16.9
4	不明	30×(29)	17×8	17.1	10	方形	24×23	16×13	8
5	方形	23×21	13×12	8.1	11	不明	25×(20)	15×(14)	12.9
6	不明	37×22	13×10	28.6	12	方形	17×14	8×5	10.7

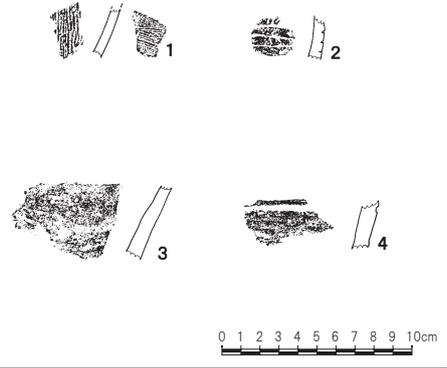
第 68 表 浄禅寺跡遺跡第 43・45 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

地点	図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・備考	時期・型式
第 43 地点	第 121 図-1	遺構外	縄文	—	—	—	3 本単位の先端矢羽根状櫛歯状文様、内面櫛歯状文様	前期末
	第 121 図-2		縄文・深鉢	—	—	—	地文沈線・内面炭化	—
	第 121 図-3		縄文・深鉢	—	—	—	無文・胎土に白色粒子、僅かに雲母含む	縄文中期
	第 121 図-4		縄文・深鉢	—	—	—	横位沈線・外面に黒斑	縄文中期
第 45 地点	第 121 図-1	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	地文 RL 縄文、一部磨り消しか・内面ハジケ、胎土に金雲母含む	縄文中期
	第 121 図-2		縄文・深鉢	—	—	—	無文・胎土に砂礫を含む	—
	第 121 図-3		縄文・深鉢	—	—	—	隆帯両脇に押引文、弧状に沈線・胎土に砂礫を含む	縄文中期
	第 121 図-4		土製品・泥面子	2.2	2.1	0.8	芥子面 (ひよつとこ)・裏面に指頭痕あり	近世以降

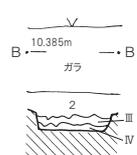
第 43 地点



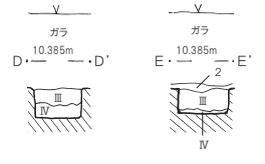
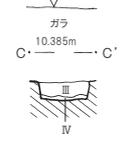
遺構外



トレンチ 4

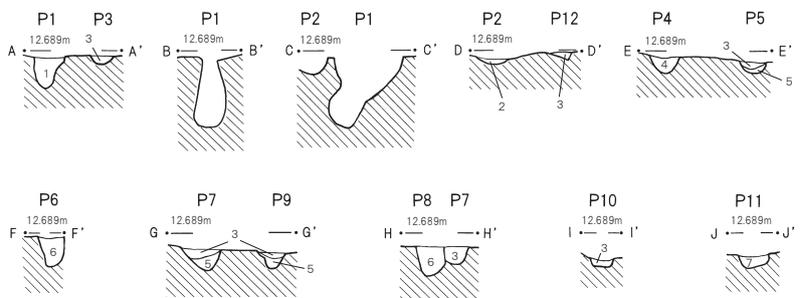
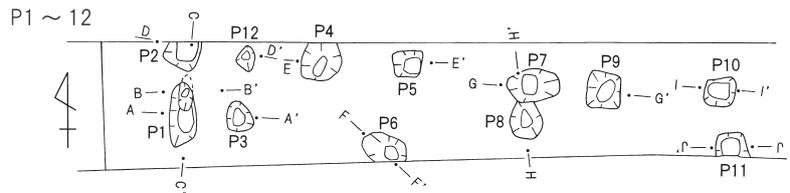
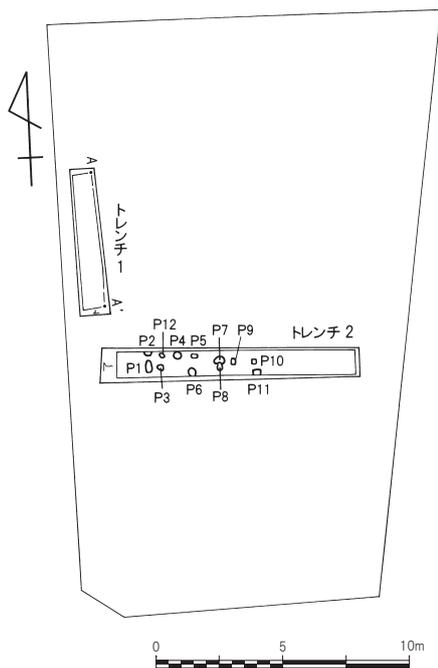


トレンチ 3



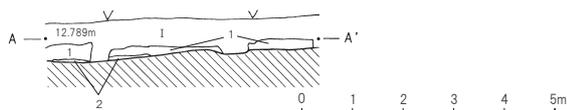
- Ⅲ. ソフトローム
- Ⅳ. ハードローム
- 1. 暗褐色土 粘性有、締り強、1～10mm 大ローム粒多量、1～5mm 大炭化物・1～5mm 大赤色粒微量含む
- 2. 黒色土 粘性有、締り強、ロームブロックを含む 耕作土

第 45 地点



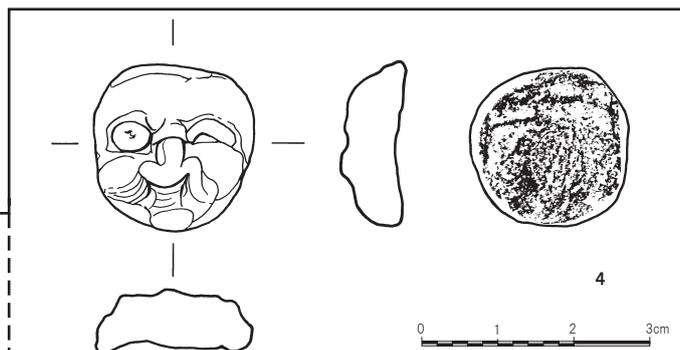
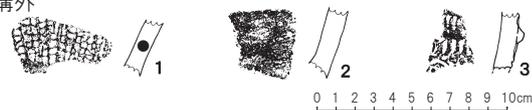
- 1. 暗褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック微量
- 2. 黒色土 粘性有、締り弱、キメの粗いボソボソした土
- 3. 暗褐色土 粘性有、締り強、5～10mm 大ローム粒中量、5～10mm 大黒色土・ロームブロック微量含む
- 4. 黒褐色土 粘性弱、締り有、ロームブロック・1～5mm 大ローム粒少量含む
- 5. 暗褐色土 粘性有、締り有、1～10mm 大ローム粒多量含む
- 6. 黒褐色土 粘性強、締りやや強、1～5mm 大ローム粒中量含む
- 7. 黒褐色土 粘性弱、締り有、ローム粒を筋状に含む

トレンチ 1



- 1. 暗褐色土 粘性有、締り強、1mm 以下ローム粒・白色粒微量含む (30 地点のⅢ層)
- 2. 暗褐色土 粘性やや強、締り強、10～20mm 大ロームをシミ状に、1～5mm 大の赤色粒・黒色粒極微量含む (30 地点のⅣ層)

遺構外



第 121 図 浄禅寺跡遺跡第 43 地点調査区域図 (1/500)、第 45 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、ピット (1/60)、出土遺物 (1/4・1/1)

(2) 遺構と遺物

①ピット

ピットはトレンチ 2 で検出した。詳細については第 67 表に掲載した。ピットの帰属時期は不明である。

②遺物

遺物はすべて遺構外からの出土である。詳細については第 121 図及び第 68 表に掲載した。

VI 浄禅寺跡遺跡第 46 地点

(1) 調査の概要

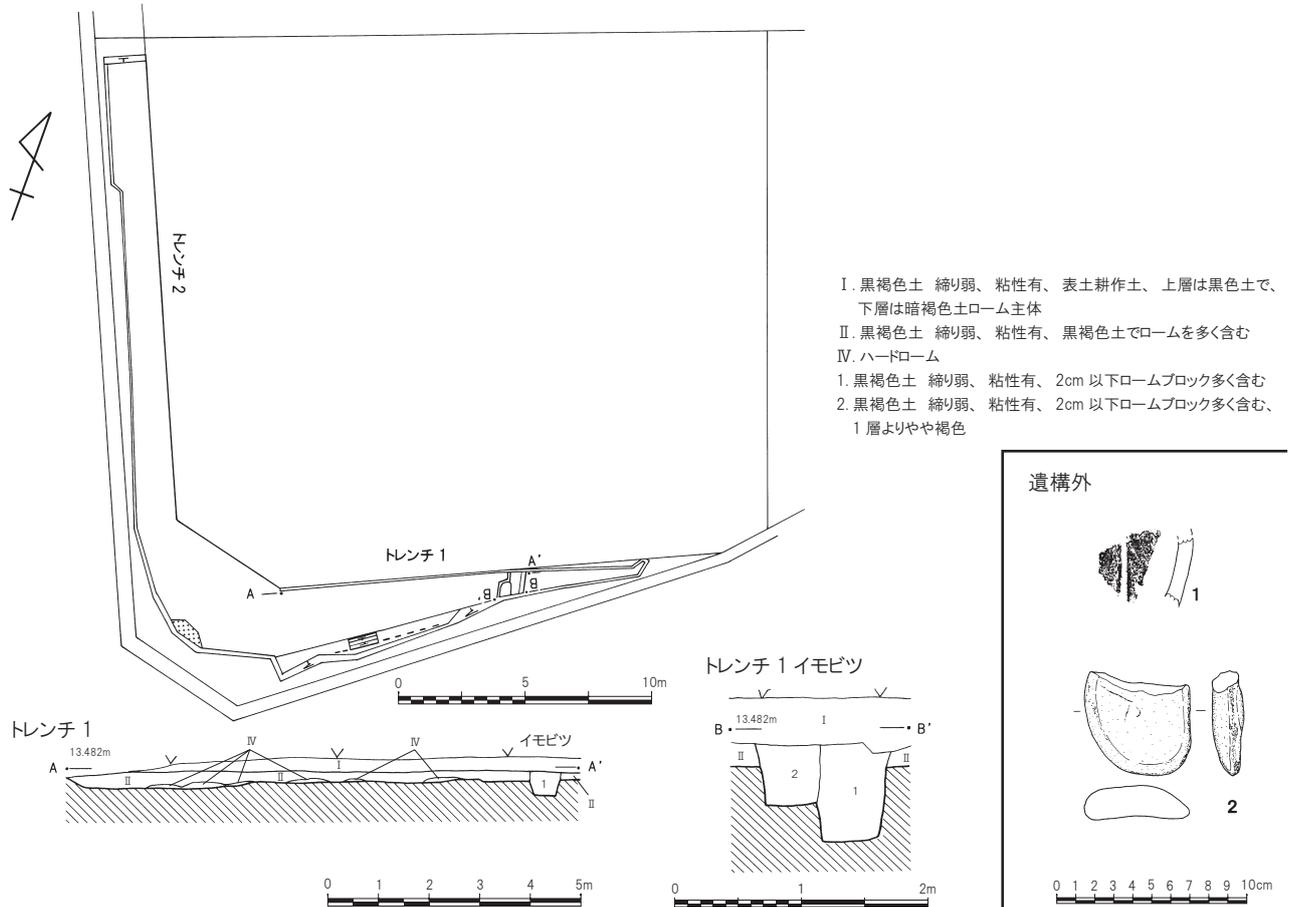
調査は道路拡幅工事に伴うもので、原因者より 2016 年 12 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 2 月 6 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は道路拡幅部分に合わせて重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30～40cm である。

調査の結果、近世以降と考えられるイモビツと縄文土器片、石器を確認した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて遺構外で出土した。1 は縄文土器深鉢の胴部である。縦位沈線が施され、胎土に砂礫を多く含む。中期か。2 は敲き石の一部と考えられる。砂岩製で残存する大きさは(5.3×5.4)cm、厚さ 1.7 cm、重さ 70.83g である。



第 122 図 浄禅寺跡遺跡第 46 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、イモビツ (1/60)、出土遺物 (1/4)

VII 浄禅寺跡遺跡第 47 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 3 月 14 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 4 月 21～24 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 4 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約 25～80 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、縄文時代炉穴、土坑、ピットを検出した。遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は 2017 年 4 月 25～5 月 2 日まで、調査区西側を重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

本地点は西から東に向かって傾斜しており、約 1m の高低差がある。遺構はすべて西側の最も高い位置に集中している。

① 炉穴

【炉穴 1】調査区北西部に位置する。平面形態は楕円形を呈し、確認面径 76 × 56 cm、底径 36 × 20 cm、深さ 21.2 cm を測る。焼土の範囲は 41 × 41 cm で、出土遺物はない。

【炉穴 2】調査区北西部、炉穴 1 より約 3m 北側に位置する。平面形態は楕円形を呈し、確認面径 101 × 70 cm、底径 7 × 6 cm、深さ 26.6 cm を測る。焼土範囲は 34 × 25 cm で、出土遺物はない。

② 土坑

土坑は 3 基検出した。土坑 1 は調査区南西部、土坑 2・3 は調査区北西部に位置する。土坑 3 の覆土中から遺物が出土したが、流れ込みであろう。詳細については第 69 表に掲載した。

③ ピット

ピットは全部で 11 基検出した。詳細については第 70 表に掲載した。

④ 出土遺物

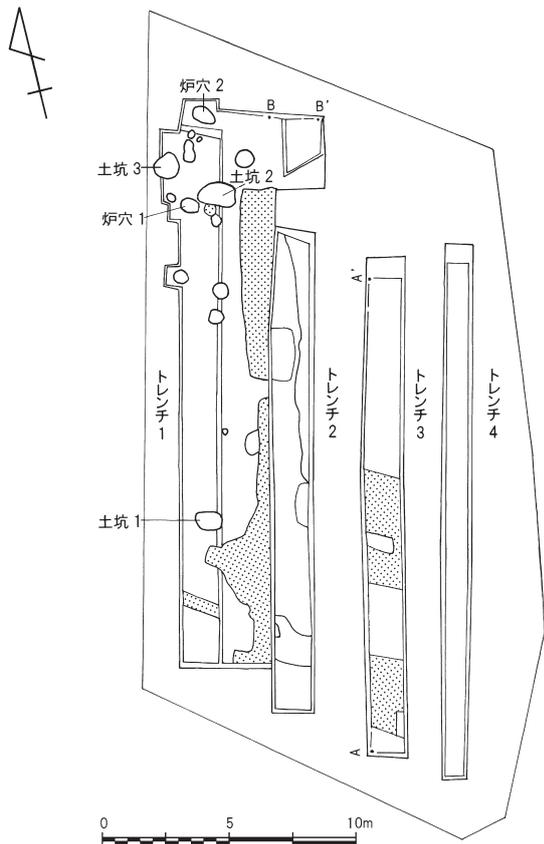
土坑 3 及びピット 11 の覆土中以外はすべて遺構外からの出土である。詳細については第 124 図及び第 71 表に掲載した。

第 69 表 浄禅寺跡遺跡第 47 地点土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	隅丸方形	103×77	90×60	13.4	縄文
2	楕円形	138×90	105×47	24.9	縄文
3	台形	103×94	75×58	33.2	中近世以降

第 70 表 浄禅寺跡遺跡第 47 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	65×49	8×5	40.1	中近世以降
2	不明	49×(45)	(41)×36	10.8	縄文
3	楕円形	44×38	18×18	18.8	中近世以降
4	円形	53×50	19×10	26.6	縄文
5	楕円形	30×23	12×7	33.7	縄文
6	円形	43×39	21×13	19.6	縄文
7	円形	65×60	45×43	13	縄文
8	円形	62×57	43×37	13.8	縄文
9	方形	23×19	10×8	21.2	中近世以降
10					土坑 3 へ
11	楕円形	68×59	57×37	70	中近世以降
12	楕円形	43×40	25×18	12.7	縄文



炉穴 1

1. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、焼土粒多く、炭化物・ローム粒少し含む
2. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、焼土塊を含む
3. 赤褐色土 締りやや強、粘性なし、焼土含む
4. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、焼土・炭化物少し含む

炉穴 2

1. 暗褐色土 粘性有、締りやや強、1mm以下のローム粒・炭化物・焼土僅かに含む
2. 暗褐色土 粘性有、締りやや弱、1mm以下のローム粒・炭化物・焼土少し含む
3. 暗褐色土 粘性有、締りやや強、1mm以下のローム粒・焼土・炭化物多く、焼土塊を含む
4. 暗褐色土 炭化物・焼土僅かに含む
5. 黄褐色土

トレンチ 3

- I. 表土
- II. 表土に比べロームブロック少し含む
- III. ソフトローム

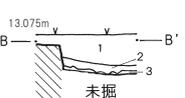
北壁土層

1. 暗褐色土 粘性有、締りやや弱、1mm以下のローム粒多く、炭化物少し含む ゴミ混じる
2. 黒褐色土 粘性有、締りやや弱、1mm以下のローム粒僅か含む
3. 黒褐色土 粘性有、締りやや強、ロームブロック・1mm以下のローム粒少し含む

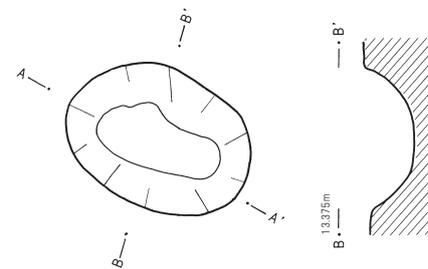
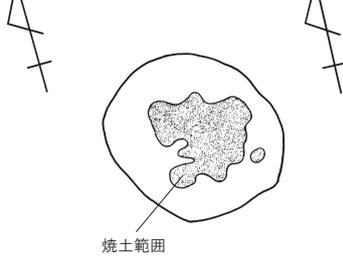
トレンチ 3



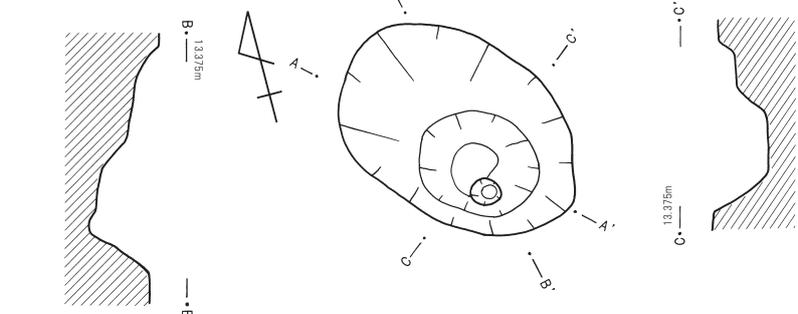
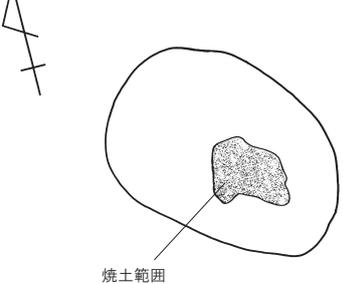
トレンチ 1



炉穴 1

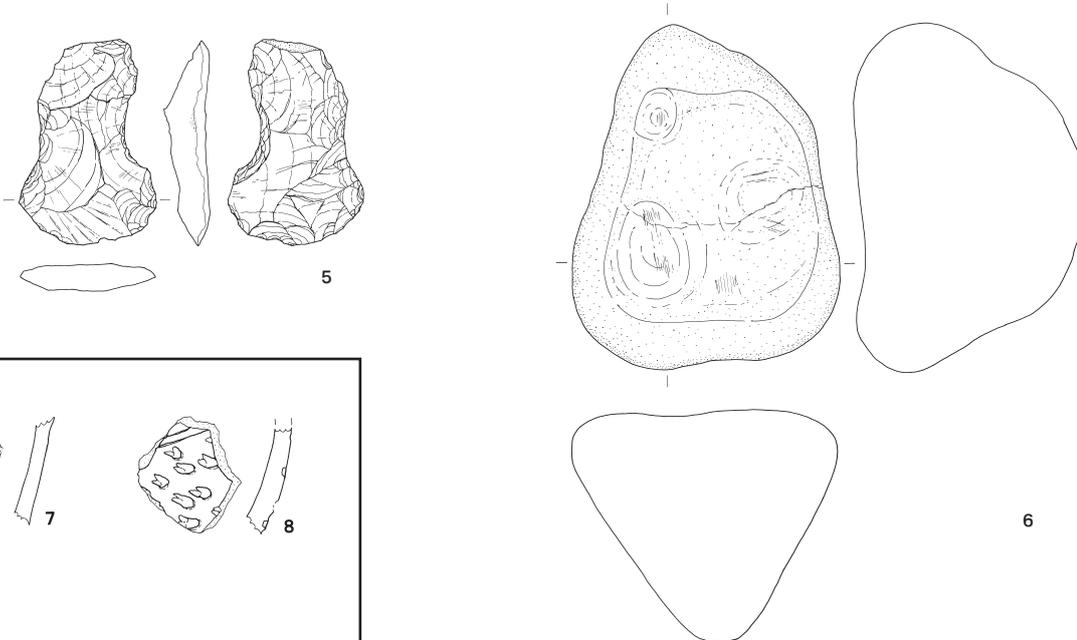
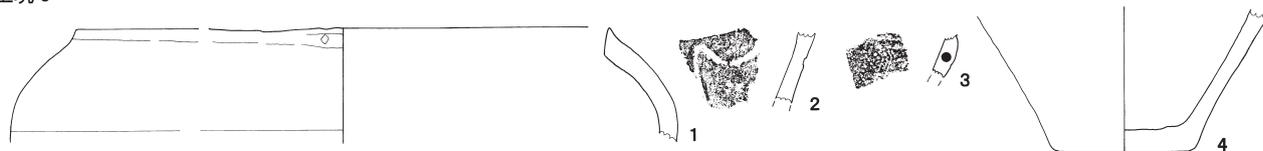


炉穴 2

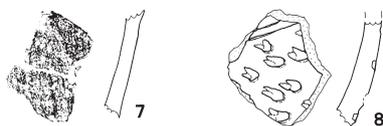


第 123 図 浄禅寺跡遺跡第 47 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、炉穴 (1/30)

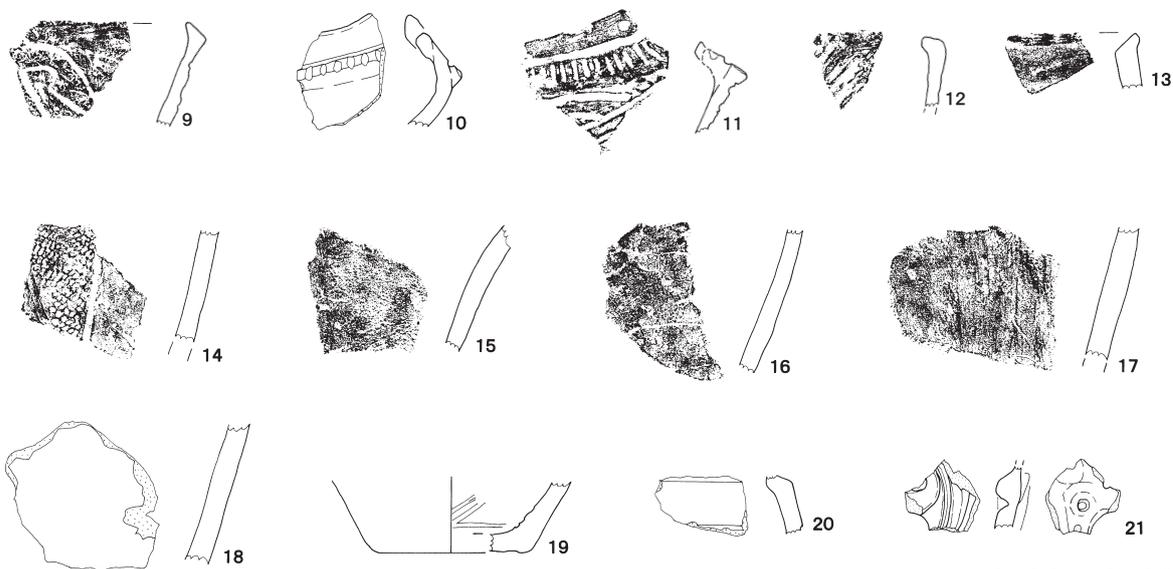
土坑 3



P11



遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第 125 図 淨禪寺跡遺跡第 47 地点出土遺物 (1/4)

第 71 表 浄禅寺跡遺跡第 47 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文・施文・備考	時期・型式
第 125 図 -1	土坑 3	縄文・深鉢	(28.0)	—	(6.3)	—	無文・内外面ミガキ・外面に煤付着	中期
第 125 図 -2		縄文・深鉢	—	—	—	—	波状沈線・胎土に砂礫を多く含む	中期
第 125 図 -3		縄文・深鉢	—	—	—	—	LR 縄文か、摩滅が激しい・胎土に金雲母を含む、内面に煤付着	中期
第 125 図 -4		縄文・深鉢	—	7.0	(7.3)	—	無文・底部、内面に煤付着	中期
第 125 図 -5		石器・打製石斧	10.649	7.066	2.2	137.51	基部一部欠損、材質：ホルンフェルス	縄文
第 125 図 -6		石器・敲き石	18.1	14.1	12.2	3775.0	材質：砂岩	縄文
第 125 図 -7	P11	縄文・深鉢	—	—	—	—	被熱によるハジケ、内外面に煤付着	—
第 125 図 -8		縄文・深鉢	—	—	—	—	矢羽状の刺突文、外面に赤彩、被熱によるハジケ	後期・称名寺 2
第 125 図 -9	遺構外	縄文・深鉢	—	—	—	—	沈線による施文・口縁部内傾、全体的に摩滅、胎土に白色粒子を含む	後期・堀之内 2
第 125 図 -10		縄文・浅鉢	—	—	—	—	波状口縁、刻み目隆帯貼付、上部に沈線・外面上部と内面ミガキ、白色粒子を含む	後期・堀之内
第 125 図 -11		縄文・深鉢	—	—	—	—	波状口縁、突起部に刻み目、上部に沈線、胴部に沈線を施す、口唇部に円形刺突、内面～口唇部にかけてミガキ・胎土に白色粒子を含む	中期・勝坂 2
第 125 図 -12		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁部、無文、内外面ミガキ	中期
第 125 図 -13		縄文・浅鉢	—	—	—	—	無文	—
第 125 図 -14		縄文・深鉢	—	—	—	—	横位 RL 縄文、縦位沈線	中期・加曾利 E III
第 125 図 -15		縄文・深鉢	—	—	—	—	無文・胎土に砂礫を多く含む	—
第 125 図 -16		縄文・深鉢	—	—	—	—	無文・全体的に摩滅	—
第 125 図 -17		縄文・深鉢	—	—	—	—	無文、外面ミガキ・外面に僅かに煤付着	—
第 125 図 -18		縄文・深鉢	—	—	—	—	無文、外面ミガキ・胎土に砂礫を多く含む	—
第 125 図 -19		縄文・深鉢	—	—	—	—	無文・内面に煤付着	—
第 125 図 -20		縄文・深鉢	—	—	—	—	無文・胎土に砂礫を多く含む	—
第 125 図 -21		縄文・深鉢	—	—	—	—	口縁上突起、棒状工具による沈線、背面に円形刺突	中期

Ⅷ 浄禅寺跡遺跡第 48 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 4 月 21 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 5 月 15 日に試掘調査を実施した。

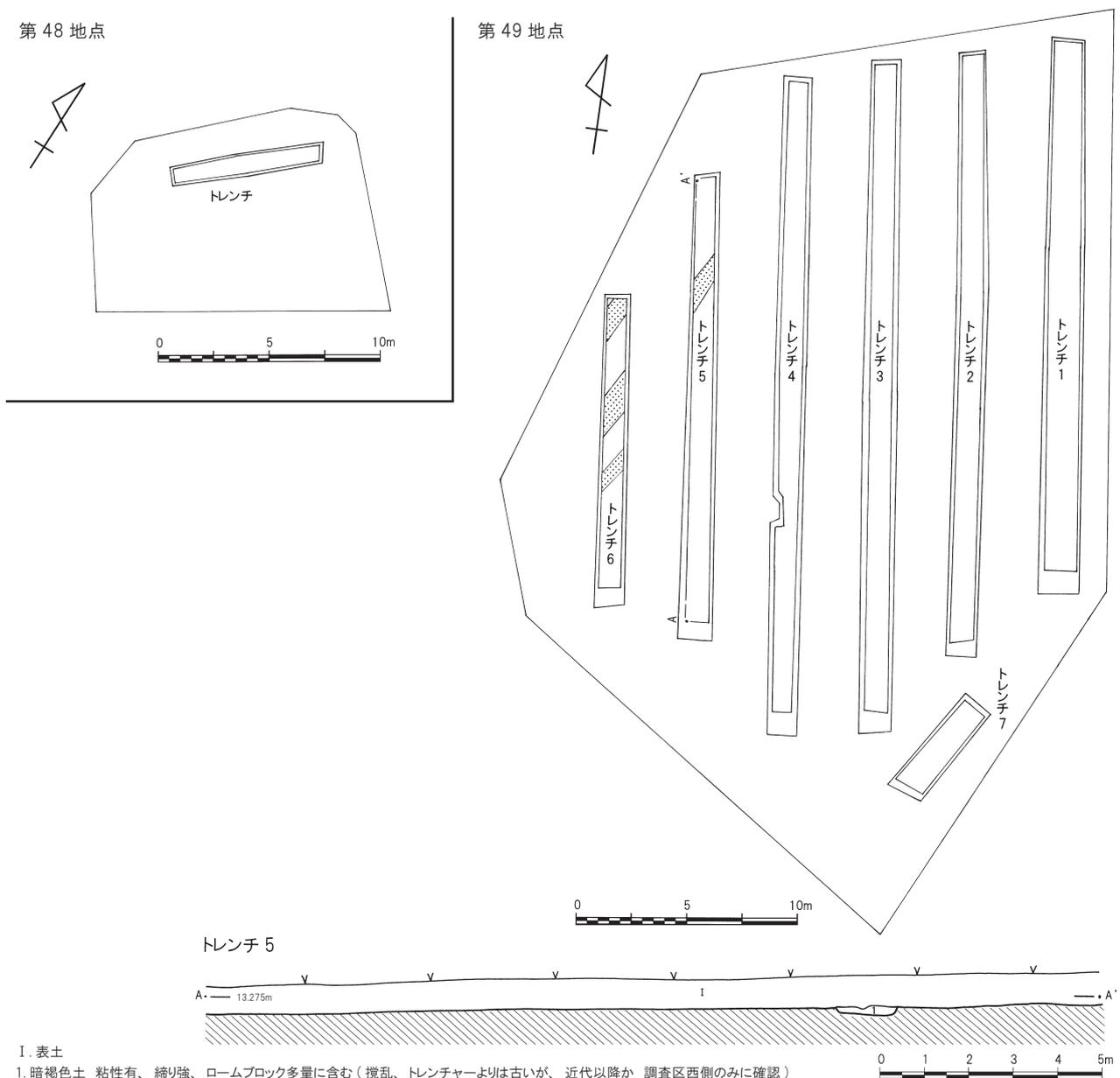
試掘調査は幅約 1m のトレンチ 1 本を設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から約 50 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

Ⅸ 浄禅寺跡遺跡第 49 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 5 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふ



第 126 図 浄禅寺跡遺跡第 48・49 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

じみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年5月22・23日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.3～1.8mのトレンチ7本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約50～80cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は検出されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

X 浄禅寺跡遺跡第50地点

(1) 調査の概要

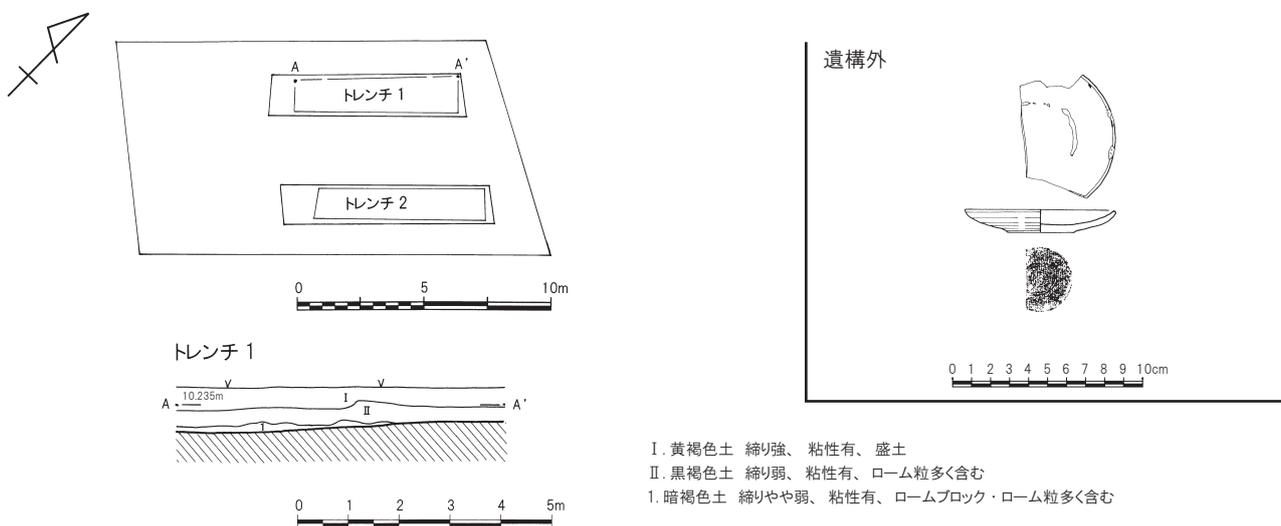
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年6月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年7月10日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から70～80cm下でも地山ローム層は確認できなかったため、保護層が確保できるものと判断し、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 出土遺物

出土遺物は表土中より出土した陶器製の灯明皿1点である。復元口径8cm、底径3.4cm、高さ1.2cm。肥前産。内外面に釉を施す。近世以降。



第127図 浄禅寺跡遺跡第50地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)

第23章 大井宿遺跡の調査

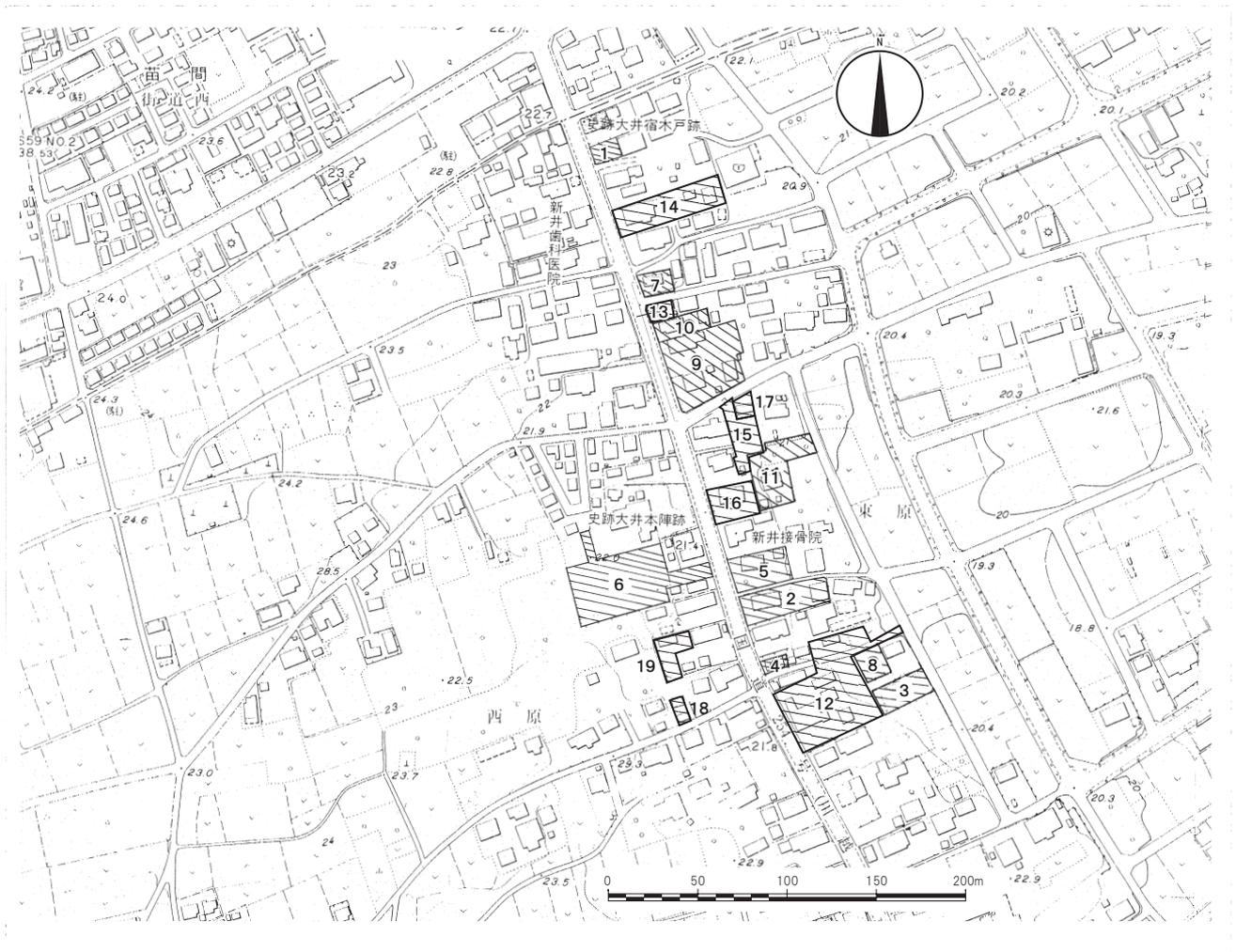
I 遺跡の立地と環境

大井宿遺跡は、国道254号線川越街道沿いの旧大井の宿場範囲内にある。大井宿は全長約1.5kmで、砂川堀右岸の標高21～22mの低位台地上に位置する。

大井宿の南側約半分は大井氏館跡遺跡に含まれており、既に遺跡の登録がされている。2000年に遺跡範囲外の2ヶ所の試掘調査により、多数の遺構と遺物が確認されたため、2000年4月24日付けで大井宿の北側部分を新たに遺跡の範囲とし遺跡名を設けた。

川越街道は江戸時代の寛永年間(1624～1643)に整備された日本橋から川越に至る11里(約44km)の道の呼称で、街道に存在した6つの宿駅(上板橋・下練馬・白子・膝折・大和田・大井)の1つが大井宿である。

大井宿遺跡では2019年4月現在、19地点で調査が行われ、中世～近代の遺構・遺物が検出されている。



第128図 大井宿遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 大井宿遺跡第18地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2017年11月2日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年11月9日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約60cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、近世以降のピット5基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

第73表 大井宿遺跡第18地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	32 × 27	15 × 15	38.7
2	円形	35 × 35	26 × 23	27.9
3	円形	29 × 27	18 × 11	40.1
4	円形	34 × 33	19 × 11	43.2
5	円形	31 × 24	17 × 14	46.9

第72表 大井宿遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井 1-2-22・23	(1999.8.9)	110	店舗	近代：焼土層	町内IX
2	大井 1-6-1	(2000.3.14～3.28)	786	店舗	近世：溝1、土坑49、ピット	町内IX
3	大井 1-6-8	(2000.7.7～7.13)	605	高齢者介護施設	中近世：溝	町内X
4	大井 1-6-25	(2000.8.28～8.30)	122	個人住宅	近世以降：溝、土坑	町内X
5	大井 1-5-9	(2000.10.24・25)	781	駐車場	近世以降：溝、土坑他	町内X
6	大井 1052-1・2、1071	(2000.11.28～12.15)	2,300	長屋住宅	近世以降：溝、土坑他	町内X
7	大井 1-2-16	(2002.4.15・16)	257	事務所	近世以降：溝、土坑他	町内XII
8	大井 1-6-7	(2004.4.20)	282	個人住宅	遺構遺物なし	町内XII
9	大井 1-3-14・15	(2003.2.26～4.3) 2004.7.30～9.3	1,617	宅地造成	近世・近代：穴蔵1、土坑20、溝14、集石8、礎石1、井戸2、埋桶1、ピット	大調21
10	大井 1-3-16	(2004.9.21～10.6)	341	分譲住宅	近世以降：溝、土坑他	町内XII
11	大井 1-5-5・11	(2004.12.10～12.20) 2005.1.6～1.29	970	共同住宅	近世・近代：穴蔵1、井戸1、大溝1、溝5、土坑11、土蔵跡1、ピット	大調21
12	大井 1-6-22	(2006.6.13～6.16)	2,664	事務所兼店舗	縄文：ピット、近世以降：溝、土坑、井戸他	市内3
13	大井 1-3-32	(2006.8.21) 2006.8.22～8.30	151	個人住宅	近世以降：土坑8、ピット57	市内3
14	大井 1-2-19・20	(2007.3.27～3.29)	944	コンテナボックス	近世以降：土坑、井戸、建物跡、ピット他	市内3
15	大井 1-5-3	(2007.8.1～8.10)	429	個人住宅	近世以降：大溝1、土坑4、ピット16	市内4
16	大井 1-5-11	(2009.3.15～3.18) 2009.3.19～4.30	500.3	共同住宅	近世以降：土坑16、礎石1、溝29、ピット413、陶磁器他	市内8
17	大井 1-5-16	(2013.5.14)	110.01	個人住宅	土坑1、近世陶磁器	市内18
18	大井 1067-1	(2017.11.9)	556	個人住宅	近世以降ピット5、溝2、陶磁器片	市内24
19	大井字西原 1069-3	(2019.1.23)	428	個人住宅	土坑2、陶磁器	未報告

第 24 章 大井氏館跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』（1972 埼玉県教育委員会）によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武蔵七党の一つ、村山党の大井氏一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸（北側）の舌状に張り出した微高地上、標高 21 ～ 22 m に立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差 5 m の崖になる。

遺跡の時期は AT 降灰前の立川ローム層第 IV 層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

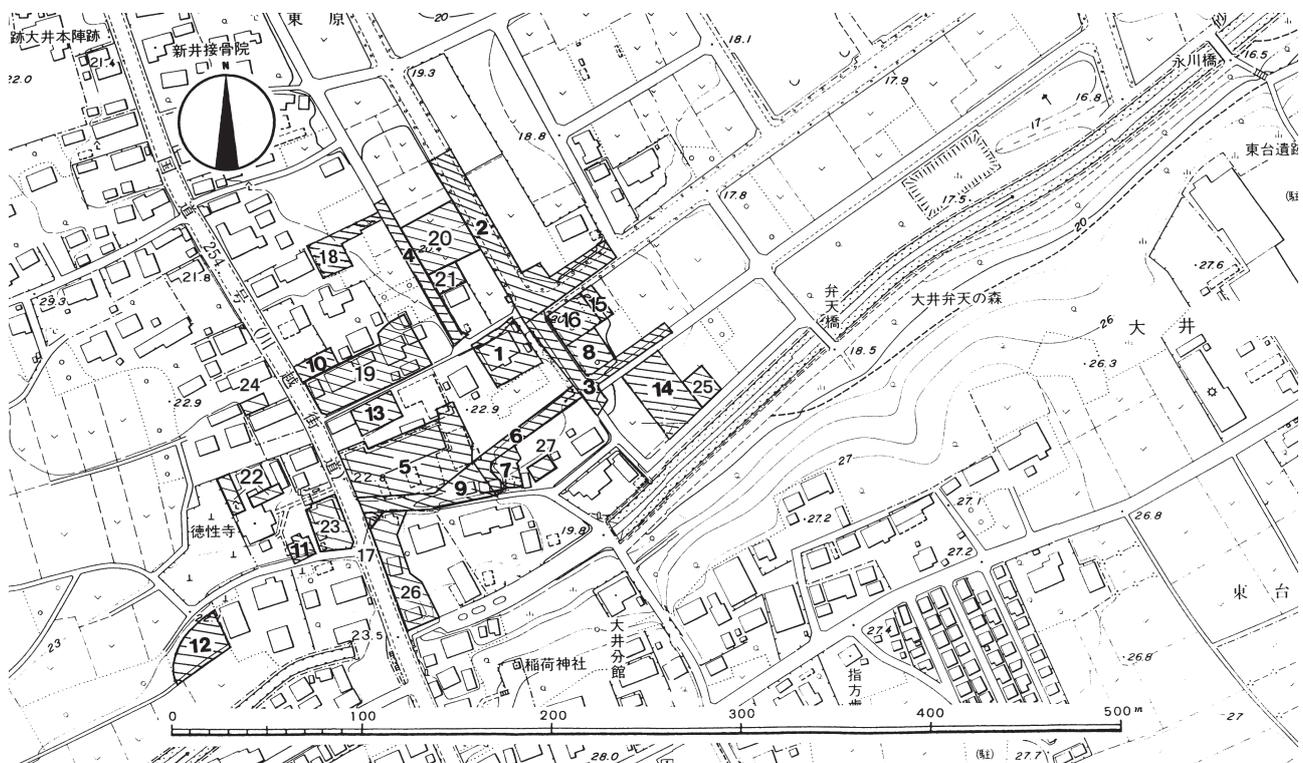
II 大井氏館跡遺跡第 27 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 2 月 3 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 9 月 12 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ～ 60 cm である。

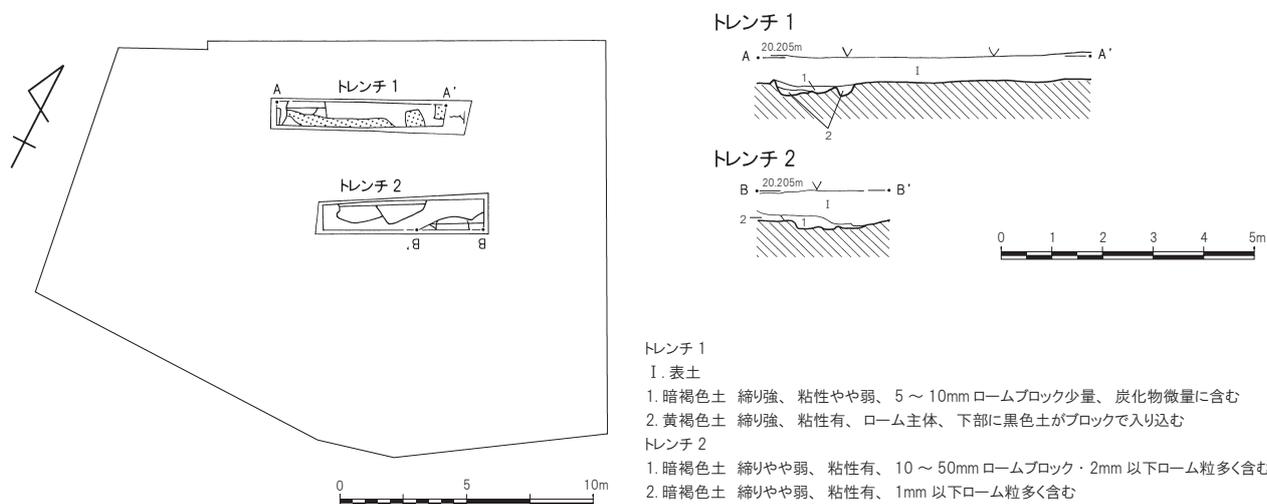
調査の結果、近世以降と考えられる畝状遺構を確認したが、攪乱が酷く詳細は不明である。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 130 図 大井氏館跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 75 表 大井氏館跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1						
2 3 6 8 9	大井 212 他	1988.6.24 ~ 1993.10.26	4,800	大井・苗間 第一土地区画整 理事業	旧石器時代 - 石器集中 6、礫群 14- 石器、縄文時代 - 集石土坑 1、 土坑 4- 石器・土器、中近世・近世 - 地下式坑 12、井戸 2、土坑 28、溝 5、近世土坑 14- 国産陶器、舶載磁器、土師質土器、瓦 質雑器類、石製品、板碑、金属製品、銭貨	大調 7
4		(1990.3.14 ~ 15)				-
5	大井	(1991.6.11 ~ 17) 1991.6.18 ~ 1993.4.6	2,220	店舗建設	縄文前期住居跡 1、掘立建物跡、溝、前期中葉黒浜式土器、石器、 陶磁器、砥石、銅銭、金属器、土製品	大調 5、町内 I
7	大井 241-1	(1992.6.2 ~ 17)	157	個人住宅	堀 1、溝 1、道路遺構 1、縄文土器、砥石、陶器	町内 II
10	大井 208-1、209-1、 210-4	(1998.8.22) 1998.9.19 ~ 10.2	1,153.46	ガソリン スタンド	縄文時代落とし穴 1、近世の近代土坑、近世近代掘立柱建物跡 1、 井戸 1、溝 1、ピット 24、陶磁器、土器、瓦、石製品、金属製品、 ガラス製品	町内 VI、大調 12
11	大井 182	(1998.11.9 ~ 17)		個人住宅	近世～近代の土坑 6、溝 5、陶磁器、土師器、鉄製品、ガラス製 品、土製品、銭貨	町内 VIII
12	大井 952	(1999.5.28 ~ 6.4) 1999.6.2 ~ 4	690	駐車場	溝 5、陶磁器、銭貨、石器、鉄、瓦質土器、土師器	町内 IX
13	大井 1-8-1	(2000.11.21 ~ 24)	76	事務所	遺構遺物なし	町内 X
14	大井苗間 129 街区 2 画地	(2002.5.22 ~ 6.6) 2002.6.20 ~ 8.9	984	共同住宅	中世の溝 9、井戸 1、掘立柱建物跡、地下式坑 1、茶毘跡 6、土 坑 24、ピット	町内 XII
15	大井苗間 126 街区 1 画地	(2002.7.24 ~ 8.2)	135	個人住宅	溝 1、ピット 4	町内 XII
16	大井 2-242-1	(2002.8.5 ~ .22) 2002.8.23 ~ 9.5	677	個人住宅	縄文時代の集石 4、土坑 1、ピット 14	町内 XII
17	大井 1-11-9	2002.11.19 ~ 12.2	50	道路	近世～近代の土坑 14、ピット 13、砥石、銭貨	町内 XII
18	大井・苗間 80-6-9	(2003.1.17 ~ 22)	476	個人住宅	溝 2、陶磁器、ミニチュア土器、ガラス瓶	町内 XII
19	大井 1-6-13	(2005.6.7 ~ 8)	1,500	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
20	大井 1-7-7	(2006.3.2 ~ 14)	773	共同住宅	時期不明の溝 12、ピット 21、縄文土器、陶器	市内 2
21	大井 1-7-15	(2006.5.22)	174	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
22	大井字西原 954-1	(2007.11.27 ~ 12.1)	1,962	寺院庫裏建設	礎石 3、土坑 4、ピット 25、近代陶磁器、石製品	市内 4
23	大井字西原 955-1、 956-1	(2012.11.7 ~ 9) 2012.11.12 ~ 14	502.82	専用住宅	近世～近代の土坑 10、近世～近代の陶磁器、土器、ガラス製品、 石製品、銭貨、木製品等	市内 15
24	大井字西原 959、 960	(2014.6.23) 2014.6.25	68.55	宅地	土坑 (ごみ穴) 1、近世陶磁器、瓦他	市内 20
25	大井 2-14-13 の一部	(2014.12.15)	414	畑	遺構遺物なし	市内 20
26	大井 1-11-1 ~ 2 他	(2015.6.1)	993.73	宅地	遺構なし、砥石 3	市内 22
27	大井 1-9-5 の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24



第 131 図 大井氏館跡遺跡第 27 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第 25 章 本村遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 800 m、砂川堀の左岸で標高 15 ～ 20 m に位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることが出来る。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

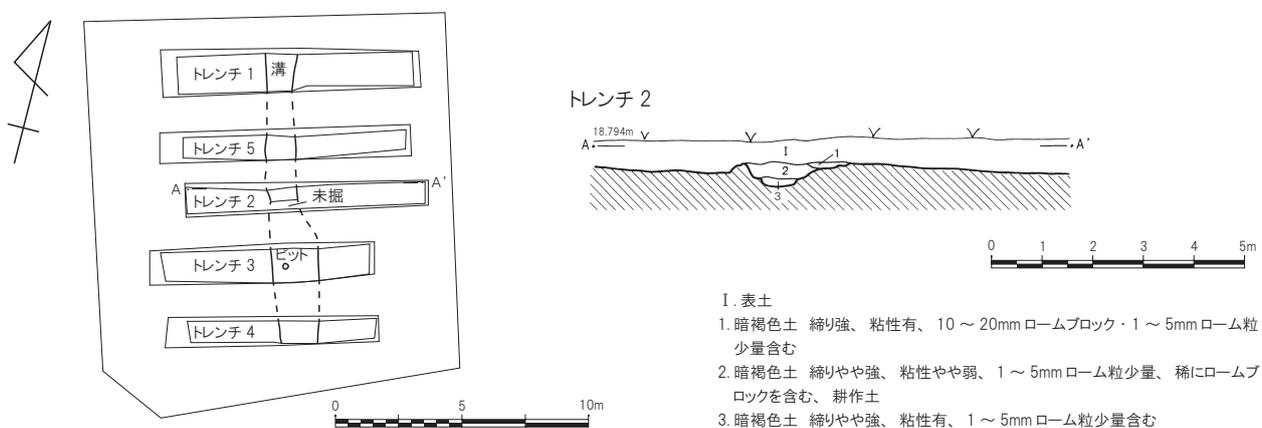
2019 年 4 月現在 136 地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式墳・茶毘跡などを多数検出している。

II 本村遺跡第 132 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 7 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 8 月 4・5 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約 1 ～ 1.5m のトレンチ 5 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ～ 60 cm である。

調査の結果、中近世以降の溝 1 条を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 132 図 本村遺跡第 132 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)



第133図 本村遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第76表 本村遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書			
1	市沢 2-10、市沢 3-1・2 (弁天後 1)	1985.8.27 ~ 30	2,000	農地転用	遺構遺物なし	なし			
2	大井 280-1 他 (弁天後 2)	1987.9.1 ~ 12.4	2,500	土地区画整理	旧石器、縄文：集石、落とし穴、土坑	大調 7			
3	大井 111、113-1・2、114-1、115-1、282 (弁天後 3)	1988.9.5 ~ 1989.1.13	3,600	土地区画整理	縄文：落とし穴、土坑、中世：井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡、地下式坑	大調 7			
	大井 2-20- (東原 1)	1978.7.27 ~ 8.5			40		町史編纂事業	遺構遺物なし	大史 12
	大井 2-20- (東原 2)	1979.4.29 ~ 5.6			80		町史編纂事業	地下式坑、ピット、土坑	大史 12
	大井 2-20- (東原 3)	1980.12.25 ~ 1981.1.5			130		町史編纂事業	地下式坑、ピット、土坑	大史 12
4	大井 189、190、191、192 (東原 4)	1987.12.8 ~ 1988.1.29	1,872	土地区画整理	縄文：落とし穴、中世井戸、第六天	大調 7			
5	大井 143、144-2 (東原 5)	1989.1.13 ~ 2.3	1,600	土地区画整理	中世：井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡	大調 7			
6	大井 149、160、164-1 (東原 6)	1989.5.15 ~ 6.15	1,565	土地区画整理	旧石器礫群、縄文：落とし穴、中世：土坑、溝	大調 7			
7	大井 134 の一部 (東原 7)	1989.8.2 ~ 31	500	土地区画整理	諸磯 C 式土器、堀之内式土器	大調 7			
8	大井 134	(1989.9.11 ~ 13) 1989.9.30 ~ 1991.7.11	13,161	小学校グラウンド	旧石器：礫群 11、縄文：落とし穴、中世：土坑、溝、掘立柱建物跡	大調 4、東部 X			
9	大井 138	(1989.12.4)	200	ゲートボール場	盛土保存	東部 X			
10	大井 172-1	1989.2.21 ~ 28	500	範囲確認調査	縄文：落とし穴	東部 X			
11	大井 82-3	(1990.2.7 ~ 22)	370	範囲確認調査	旧河道の北側落ち込み	東部 X			
12	大井 240、241-4	1990.5.8 ~ 9	340	個人住宅	土坑、常滑片	東部 XI			
13	大井 180	1990.7.25 ~ 26	428	個人住宅	土坑	東部 XI			
14	大井 151、152、154 ~ 157	1990.9.17 ~ 10.31	2,160	土地区画整理	井戸 2、土坑 36、溝 4	大調 7			
15	大井 100、106 ~ 109、344	1990.10.1 ~ 11.30	2,820	土地区画整理	井戸 13、土坑 26、溝 6、掘立柱建物跡 1	大調 7			
16	大井 110-2	(1990.11.6 ~ 13)	230	学童保育所	井戸 1、溝 2	東部 XI			
17	大井 146、149	1991.1.7 ~ 3.7	1,270	事務所	旧石器：礫群、ブロック 6、縄文：炉穴 4、土坑 2、中世：柵列、溝 2、地下式坑 1、段切	大調 3			
18	大井 110	1991.4.1 ~ 6.11	252	フェンス工事	旧石器：礫群 2、中世：井戸 6、溝 4、地下式坑 5、土坑 15	大調 3			
19	大井 110-2	1991.4.1 ~ 6.11	1,420	土地区画整理	旧石器：礫群 2、中世：井戸 6、溝 4、地下式坑 5、土坑 16	大調 7			
20	大井 253-1	1991.5.21 ~ 6.14	1,150	個人住宅	井戸 2、土坑 3、溝 1	町内 I			
21	大井 81-3、364	1991.6.17 ~ 8.31	1,772	土地区画整理	井戸 1、溝 6、地下式坑 2、土坑 6、柱穴列	大調 7			
22	大井 108、109	1991.7.15 ~ 31	110	個人住宅	縄文土器、石器、陶器、磁器、ガラス、瓦、板碑、針金	町内 I			
23	大井 169	1991.8.29 ~ 30	268	個人住宅	溝 1	町内 I			
24	大井 110-2	1992.2.28 ~ 7.31	4,646	土地区画整理	旧石器：礫群、中世：井戸 24、地下式坑 10、掘立柱建物跡、溝 6、土坑 40	大調 7			
25	大井 107	(1992.5.21)	370	倉庫建設	ピット 1	町内 II			
26	大井 348、369、370 の一部	(1992.10.4 ~ 7)	575.7	個人住宅	遺構遺物なし	町内 II			
27	大井 145	(1992.10.27)	1,101	個人住宅	遺構遺物なし	町内 II			
28	大井 21-2、137、143、150、156、159、373-1	1992.12.1 ~ 1993.2.28	4,358	土地区画整理	縄文：土坑、中世：段切 2、井戸 3、地下式坑 7、掘立柱建物、土坑 3、近世：土坑墓 6	大調 7			
29	大井 159	1993.5.20 ~ 6.4	330	土地区画整理	地下式坑 3、ピット、土坑	大調 7			
30	大井 155	(1993.7.28 ~ 7.30) 1993.8.6 ~ 25	411	個人住宅	溝 1、土坑 1、ピット 25	町内 III			
31	大井 154、155	1994.8.4 ~ 5	484	共同住宅	井戸 2、地下式坑 2、溝 1、土坑 14	大調 7			
32	大井 351	1994.11.9 ~ 25	14,310	共同住宅	旧石器、縄文：落とし穴	町内 III			
33	大井 107、427-1	1994.11.11	337	駐車場造成	段切状遺構、土坑	町内 III			
34	大井 533-5	1994.12.2 ~ 3	1,013	共同住宅	遺構遺物なし	町内 III			
35	大井 357-1	(1994.4.4 ~ 12)	452	共同住宅	遺構遺物なし	町内 IV			
36	大井 101-9-10	(1994.7.28 ~ 8.4) 1994.9.2 ~ 10.31	890	共同住宅	旧石器：礫群 2、縄文：落とし穴、土坑、中世：井戸 2、溝 3、土坑 16、柵列、ピット 22	大調 12			
37	大井 251	(1994.8.31 ~ 9.2)	596	事務所	遺構遺物なし	町内 IV			
38	大井 253	(1994.8.30 ~ 9.7)	264	個人住宅	中世～近世の溝 1	町内 IV			
39	大井 124-1	(1994.11.9 ~ 16)	805	共同住宅	遺構遺物なし	町内 IV			
40	大井 321-1	(1994.11.22)	131	宅地分譲	遺構遺物なし	町内 IV			
41	大井 325	(1994.11.15 ~ 22) 1994.11.29 ~ 12.7	614	宅地分譲	近代のゴミ穴	大調 12			
42	大井 326	(1994.11.15 ~ 22) 1994.11.29 ~ 12.7		宅地分譲	近代のゴミ穴	大調 12			
43	大井 153-2・3	(1995.1.12 ~ 19) 1995.2.23 ~ 3.29	704	宅地開発	縄文：土坑、中世：井戸 1、土坑 3、溝 1、水路跡	大調 12			

地点	所在地	調査期間	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
44	大井 287-1	(1995.2.17～28) 1995.4.10～5.25	1,198	共同住宅	縄文：落とし穴 1、土坑 3、中世：井戸 1、溝 1、土坑 1、柵列、ピット 34	大調 12
45	大井 253 他	(1995.6.18～7.17)	324	個人住宅	縄文：落とし穴 1、中世：溝 5、土坑 14、ピット 23	町内 V
46	大井 126	1995.6.1～7.28	744	共同住宅	中世：土坑 15、ピット 7、南側旧河床	大調 12
47	大井 253、255	(1995.7.18～28)	608	宅地分譲	土坑 2	町内 V
48	大井 140	(1995.9.18～19) 1995.9.30～11.20	1,122	宅地分譲	中世：井戸 11、掘立柱建物跡 7、溝 2、地下式坑 3、土坑 14、柵列 4、水路	大調 12
49	大井 333	(1996.1.10～11) 1996.1.16～2.3	280	個人住宅	溝 1、土坑 5、ピット 51、北側埋没河川	町内 V
50	大井 106	(1996.2.20～24)	571	個人住宅	遺構遺物なし	町内 V
51	大井 350、360 他	(1996.3.21～27) 1996.4.3～5.30	2,412	共同住宅	旧石器、縄文：落とし穴 8、集石土坑 2、中世：井戸 2、土坑 1、柵列	大調 12、町内 V
52	大井 328	(1997.4.10～25)	140	倉庫	地下式坑 3、掘立柱建物跡 1、土坑 6、ピット 24	町内 VI
53	大井 243-2、244-1、289-1	(1997.4.17～6.25)	275	個人・分譲住宅	礫群 1、土坑 4、近世：溝 4	町内 VI
54	大井 3491-2	(1997.4.11～17)	207	個人住宅	溝	町内 VI
55	大井 125-1、38-2	(1996.5.23～30) 1996.6.25～7.31	936	共同住宅	旧石器：石器群 2、礫群 5、中世：溝 1、土坑 26、柵列、焼土跡、ピット 21	大調 12、町内 VI
56	大井 302-1	(1996.7.18～19) 1996.7.24～8.7	243	個人住宅	地下式坑 1 (21 地点で確認の地下式坑)	大調 12、町内 VI
57	大井 331	(1996.8.28～29)	300	共同住宅	遺構遺物なし	町内 VI
58	大井 279、282	(1996.12.24～ 1997.1.9)	284	店舗併用住宅	土坑 1	町内 VI
59	大井 365-2	(1997.2.12)	331	共同住宅	遺構遺物なし	町内 VI
60	大井 129	(1997.6.2～14)	320	分譲住宅	礫集中 5・ピット 3	町内 VII
61	大井 76	(1997.6.4～14)	134	個人住宅	井戸 1	町内 VII
62	大井 342	(1997.6.30～7.18) 1997.10.21～ 1998.1.20	391	共同住宅	旧石器：礫群 1、縄文：落とし穴、中世：井戸 5、溝 16、土坑 98、柵列 2、ピット 38 (柵列中)、地下式坑 2、掘立柱建物跡、竪穴状遺構	大調 12、町内 VII
63	大井 380	(1998.10.31～11.1)	154	個人住宅	遺構遺物なし	町内 VII
64	市沢 2-8-2	(1998.10.13～18)	134	個人住宅	ピット 1	町内 VII
65	大井 110-2	(1998.3.6～13) 1998.4.16～5.21	391	学校増築	旧石器：礫群 5、中世：溝 1、土坑 2、ピット 13	大調 12
66	大井 2-8-8・9	(1999.2.7～16)	179	駐車場造成	近世以降：溝 2、ピット 1	町内 VII
67	市沢 2-1-4	(1999.3.25～26)	140	個人住宅	遺構遺物なし	町内 VII
68	大井 182	(1999.4.17～21)	302	個人住宅	落とし穴 1	町内 VIII
69	大井 1-4-5	(1999.8.24)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町内 VIII
70	大井 2-12-7	(1999.9.4)	354	個人住宅	縄文：ピット 1	町内 VIII
71	大井 2-7-3	(1999.10.12)	116	個人住宅	ピット 1	町内 VIII
72	市沢 2-12-12	(1999.11.12)	210	アスファルト駐車場	ピット 1	町内 VIII
73	市沢 2-14-1	(1999.11.12)	156	個人住宅	遺構遺物なし	町内 VIII
74	大井 108-2・3・6・7	(1999.1.11～19) 1999.2.8～17	1,495	共同住宅	中世：溝 4、土坑 2、ピット 18、柵列 1	町内 VIII
75	市沢 2-1-2	(1999.1.18)	224	個人住宅	遺構遺物なし (地山は水成堆積した黒色土)	町内 VIII
76	大井 1-4-6	(1999.5.15～18)	118	個人住宅	遺構遺物なし	町内 IX
77	市沢 2-6-18・19	(1999.7.27～8.2)	538	駐車場造成	ピット 1	町内 IX
78	市沢 2-6-6	(1999.9.20)	158	個人住宅	ピット 1	町内 IX
79	大井 2-19-9	(1999.10.22～30)	642	個人住宅	集石土坑 1、ピット 2	町内 IX
80	大井 2-11-2	(1999.10.26～30)	204	個人住宅	縄文：土坑 2、ピット 1	町内 IX
81	大井 2-7-3	(1999.12.8～10)	117	個人住宅	遺構遺物なし	町内 IX
82	市沢 2-6-11	(1999.12.9～10)	171	個人住宅	遺構遺物なし	町内 IX
83	市沢 2-8-4	1999.12.9～13	181	個人住宅	遺構遺物なし	町内 IX
84	市沢 2-7-6	(1999.12.24～ 2000.1.31) 2000.2.2 ～3.6	1,310	共同住宅	縄文：落とし穴 1、中世：段切、井戸 2、茶毘跡 1、掘立柱建物跡 10、土坑 26、溝 2、柵列 2	大調 15
85	大井 2-7-2	(2000.1.6)	409	個人住宅	遺構遺物なし	町内 IX
86	大井 2-19-1～4・14	(2000.4.19～5.11) 2000.5.15～6.29	5,745	公衆浴場	古代：木炭窯 1、中世：掘立柱建物跡 1、段切 1、地下式坑 5、井戸 6、溝 13、茶毘跡 3、土坑墓 97、柵列 2、ピット 531	大調 15、町内 X
87	大井 2-12-2	(2000.5.31～6.3)	165	個人住宅	旧河川流域路・ピット 3	町内 X
88	大井 2-17-6	(2000.6.27～7.3)	154	個人住宅	用水路	町内 X
89	市沢 2-11-1・2	(2000.7.19～8.1)	326	分譲住宅	縄文：落とし穴 1、イモビツ	町内 X
90	大井 2-7-4・5	(2000.8.31～9.22)	540	店舗	縄文：集石 1、近世溝	町内 X
91	大井 2-12-2	(2000.9.25～27)	37	個人住宅	旧河川流域路	町内 X
92	大井 2-14-11	(2000.10.10)	25	個人住宅	旧河川流域路	町内 X
93	大井 2-20-9	(2001.2.16～21)	283	社員寮	ピット	町内 X

地点	所在地	調査期間	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
94	大井 2-18-6	(2001.2.17～19) 2001.2.20～3.6	87	個人住宅	中世：溝 6、土坑 1、ピット 7、近世：溝 4	町内 X
95	大井 2-7-10	(2001.3.6～9)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内 X
96	市沢 2-8-5	(2001.7.10～13)	99	個人住宅	遺構遺物なし	町内 XI
97	大井 1-7-11	(2001.7.11～12)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内 XI
98	大井 2-9-3	(2001.12.17～19)	17	学童保育所	溝 2	町内 XI
99	市沢 2-1	(2002.6.19～21) 2002.7.1～31	300	共同住宅	旧石器：礫群 4、石器集中 1、中世：土坑 4、柵列 1	大調 15、町内 XII
100	大井 2-20-7	(2002.8.20～26)	463	分譲住宅	遺構遺物なし	町内 XII
101	大井 2-11-3	(2002.9.30～10.4)	217	店舗併用住宅	溝	町内 XII
102	市沢 2-8	(2002.11.11～15) 2002.12.11～ 2003.2.10	1,264	共同住宅	縄文：落とし穴、古代以降：井戸 7、柱穴列 8、溝 4、土坑 11、道路状遺構	大調 15
103	大井 143	(2003.2.13～18)	237	個人住宅	土坑 1、ピット 1	町内 XII
104	市沢 3-4-1	(2003.5.14～30)	804	共同住宅	縄文：炉穴 4、中世：段切遺構、地下式坑 2、溝 3、土坑 4、ピット 36	町内 XII
105	大井 2-12-4	(2003.6.4～6)	131	個人住宅	土坑 1	町内 XII
106	大井 2-1-11	(2003.7.2～8)	135	分譲住宅	遺構遺物なし	町内 XII
107	大井 2-12-4	(2003.7.3～5)	130	個人住宅	溝 1、土坑 1、ピット 1	町内 XII
108	市沢 2-6-25	(2003.7.17～23)	109	個人住宅	ピット 5	町内 XII
109	市沢 2-6-26	(2003.7.17～23)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町内 XII
110	市沢 2-6-27	(2003.10.16～18)	101	個人住宅	遺構遺物なし	町内 XII
111	大井 2-16-2	2003.11.21～12.11	1,033	分譲住宅	縄文：炉穴 1、風倒木痕 2、中世：溝 1、地下式坑 2、土坑 1、木炭窯 1、不明遺構 1、ピット 10	大調 21
112	市沢 1-17-16	(2004.7.27)	289	共同住宅	遺構遺物なし	町内 XII
113	大井 2-4-8	2002.8.22	1,051	駐車場造成	遺構遺物なし	町内 XII
113-b	市沢 2-2-3	(2005.5.9～10)	27	個人住宅	柵列の一部	市内 2
114	市沢 3-2-1・12	(2005.10.21～28)	129	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 2
115	市沢 2-10-6	(2005.11.21～29) 2005.12.19～ 2006.1.31	170	分譲住宅	中世掘建柱建物跡、井戸、土坑、ピット 1、溝	市内 2
116	市沢 2-10-4 の一部	(2006.1.17)	9	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
117	大井 2-11-4・6	(2006.3.22～4.14)	1,487	店舗	溝、土坑、柵列	市内 2
118	市沢 2-12-13	(2006.5.24～25) 2006.5.25	80	個人住宅	縄文：落とし穴 1	市内 3
119	市沢 3-4-24	(2008.5.27～6.4) 2008.6.4～25	559	共同住宅	中世：地下式坑 2、土坑 16、ピット 58	市内 5、6
120	市沢 2-2-2	(2008.12.18)	141	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
121	市沢 2-11-9	(2009.4.22)	150	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
122	市沢 2-11-9・26・27	(2009.5.27～6.3)	301	宅地造成	中世：地下式坑	市内 8
123	市沢 2-7-2	(2010.7.5～9)	619.57	宅地造成 (4 区画)	遺構遺物なし	市内 10
124	市沢 2-6-1	(2010.7.8～12) 2010.7.12	428	宅地造成 (3 区画)	中世：土坑 1	市内 10
125	大井 2-12-17	(2010.9.6)	143	個人住宅	遺構遺物なし	市内 10
126	大井 2-12-2	(2010.10.4～6)	611	個人住宅	遺構遺物なし	市内 10
127	大井 2-12-5・16・18	(2010.11.4～8)	417	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 10
128	大井 2-18-1	(2014.11.17～27)	327	分譲住宅	中近世溝 2、井戸 1、ピット 9、土器片	市内 20
129	市沢 1-1-8	(2014.8.28)	262	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
129	大井 2-20-4	(2015.11.5～13)	1,253.99	宅地造成	ピット 1、陶磁器	市内 22
130	大井 2-16-17	(2015.11.16～20)	776	分譲住宅	土坑 1、ピット 3、土器片	市内 22
131	市沢 2-8-2	(2016.3.4～8)	135.18	共同住宅	遺構遺物なし	市内 22
132	大井 2-17-9	(2016.8.4～5)	212	分譲住宅	ピット 1、溝 1、陶磁器	市内 24
133	大井 2-7-6	(2016.10.11)	107.54	個人住宅	ピット 3、遺物なし	市内 24
134	大井 2-20-2・3・9	(2017.6.5～16)	2,670.63	宅地造成 (開発道路築造)	遺構遺物なし	市内 24
135	大井 1-4-9、-10 の一部	(2018.9.19)	698	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	未報告
136	市沢 2-4-7	(2018.10.17～19) 2019.4.11～23	651	駐車場	旧石器礫群、地下式坑、土坑、段切遺構、石器、落とし穴、ピット、溝、中世土器片	市内 24

※ 136 地点は、本調査の報告に伴い、第 II 部にて試掘調査段階からの詳細を掲載した。なお 135 地点の試掘調査については、市内遺跡群 25（2021 年刊）に掲載予定である。



第134図 本村遺跡溝分布図 (1/3,000)

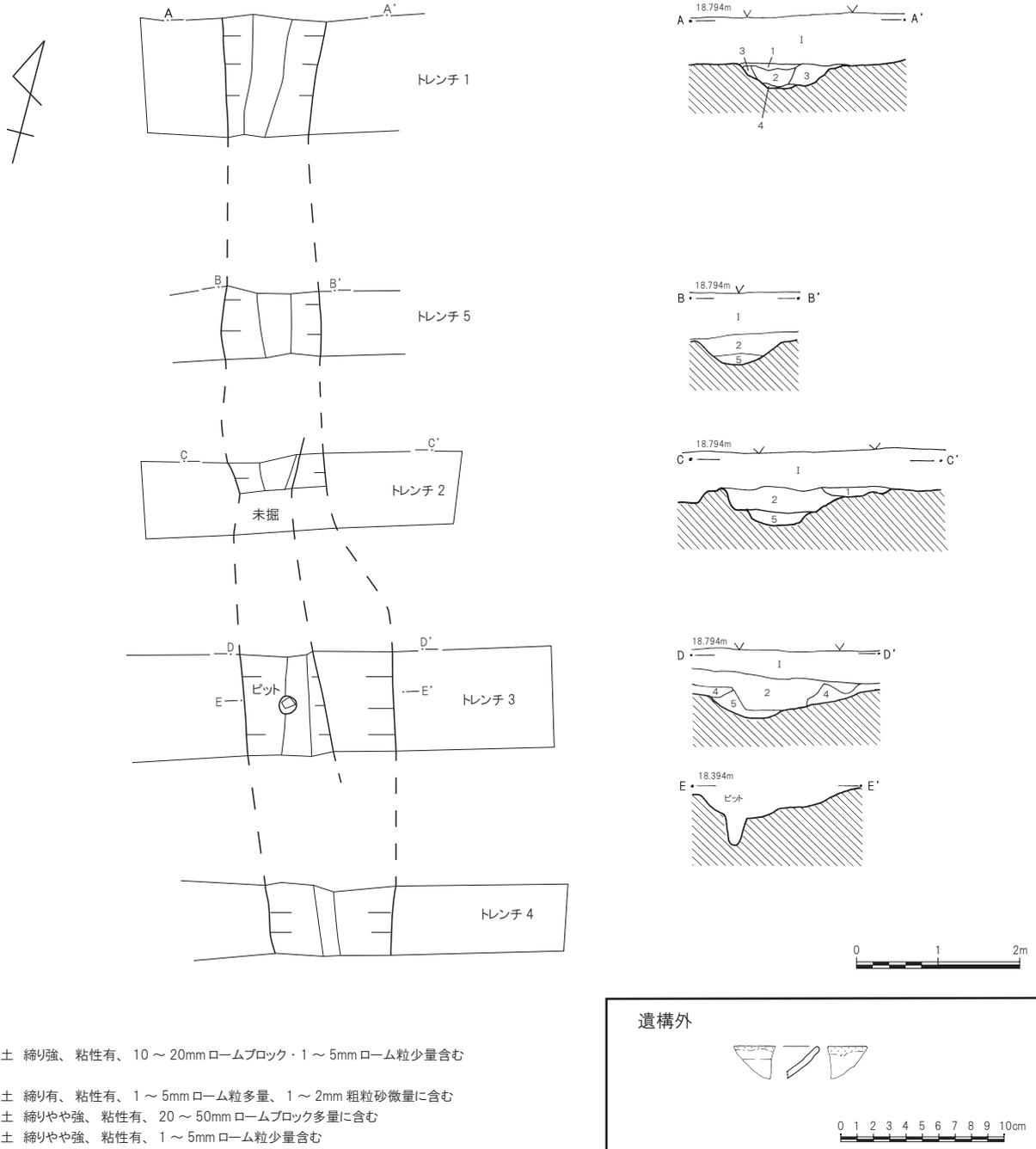
(2) 遺構と遺物

①溝 溝は調査区中央で検出した。南北方向に走行する。遺構の規模は上幅 99 cm、下幅 21 cm、深さ 42.8 cm、断面形態は浅い U 字状を呈する。出土遺物はないが、中近世以降であると考えられる。

②ピット ピットはトレンチ 3 で検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径 22 × 21 cm、底径 12 × 10 cm、深さ 37.2 cm を測る。帰属時期は不明。

③出土遺物 出土遺物は遺構外から出土した陶器片 1 点である。口縁部に釉が掛かる。近世以降。

第 132 地点 溝



- 1. 表土
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、10 ~ 20mm ロームブロック・1 ~ 5mm ローム粒少量含む
- 3. 耕作土
- 4. 暗褐色土 締り有、粘性有、1 ~ 5mm ローム粒多量、1 ~ 2mm 粗粒砂微量に含む
- 5. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、20 ~ 50mm ロームブロック多量に含む
- 6. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、1 ~ 5mm ローム粒少量含む

第 135 図 本村遺跡第 132 地点ピット・溝 (1/80)、出土遺物 (1/4)

Ⅲ 本村遺跡第 133 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 9 月 28 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 10 月 11 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約 70～80 cm で埋没河川覆土層を確認した。

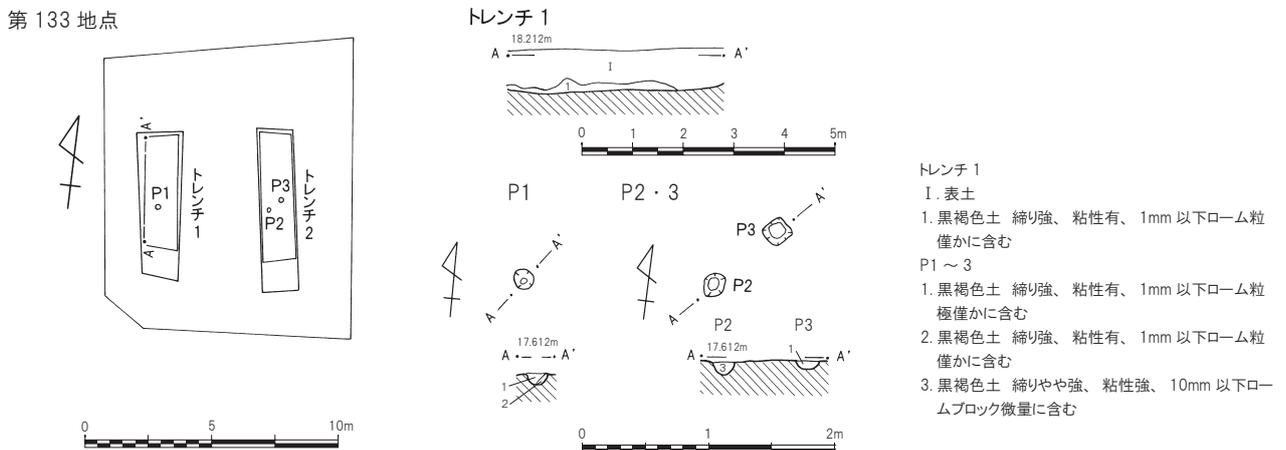
調査の結果、中近世以降と考えられるピット 3 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺構はピット 3 基を検出した。ピットの詳細については第 136 図及び第 77 表に詳細を掲載した。出土遺物はない。土層の観察からピット 3 は中世以降の可能性がある。

第 77 表 本村遺跡第 133 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	18×15	6×5	9.2
2	円形	20×16	13×9	20.4
3	方形	20×19	13×12	10.3



第 136 図 本村遺跡第 133 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、ピット (1/60)

IV 本村遺跡第 134 地点

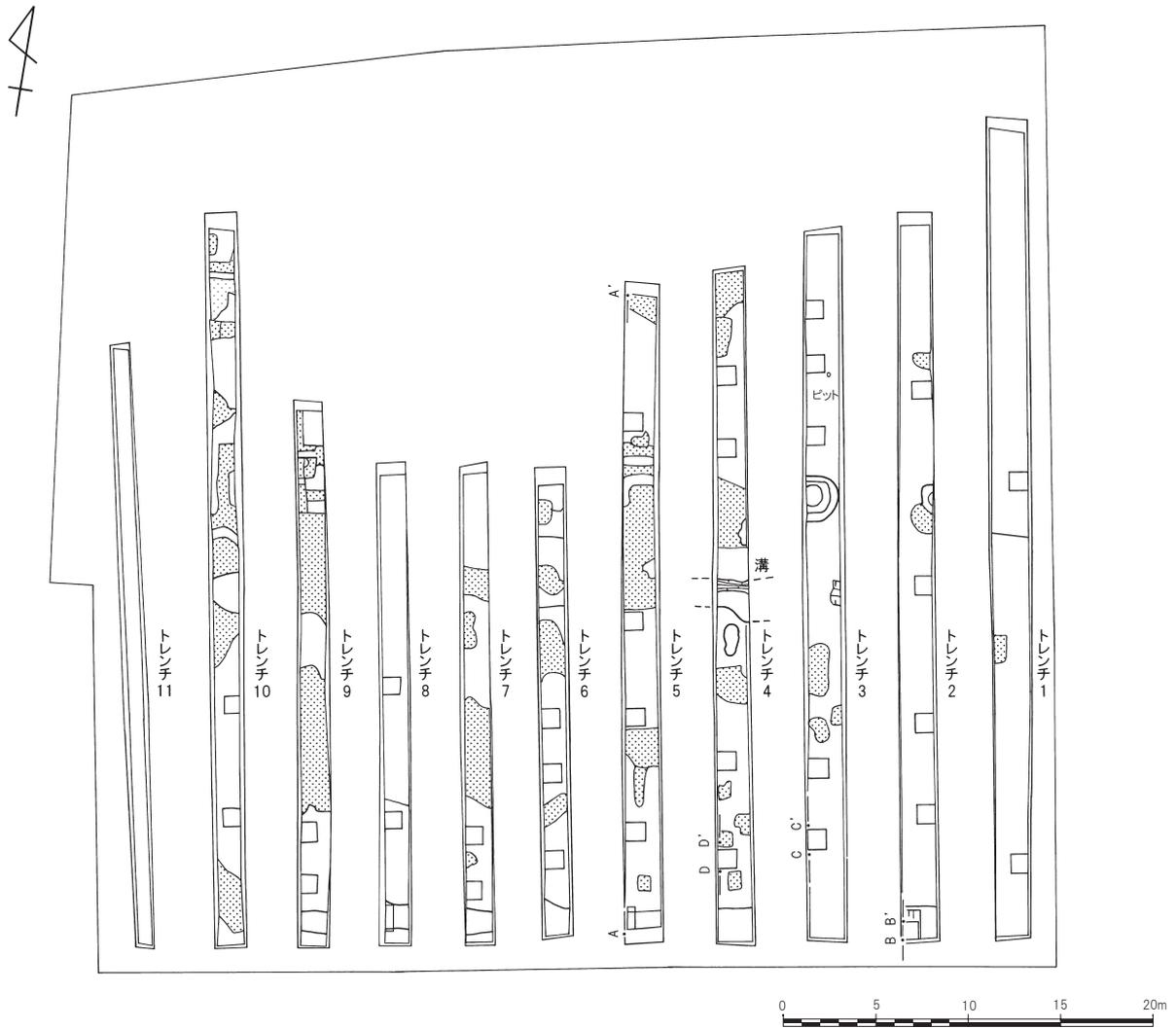
(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より 2017 年 3 月 13 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 6 月 5 ～ 16 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1 ～ 2m のトレンチ 11 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約 50 ～ 70 cm で地山ローム層を確認した。

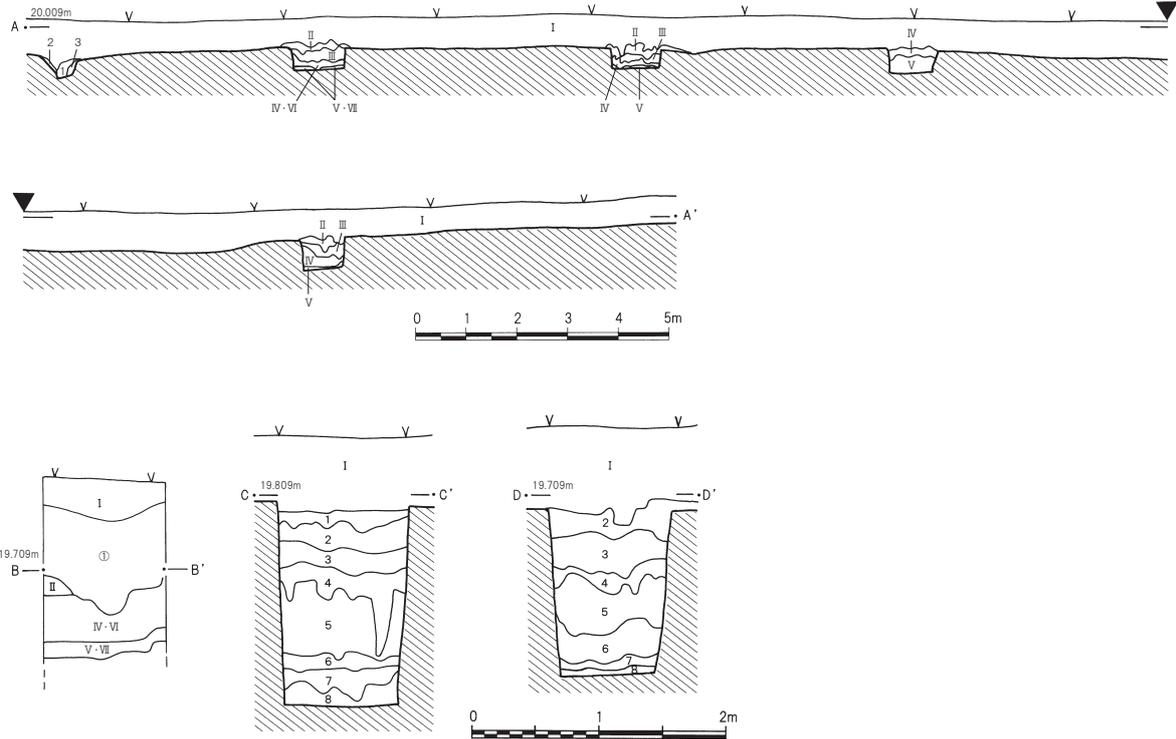
調査の結果、時期不明のピット、溝を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

またトレンチ 11 以外で旧石器時代の調査を実施した。1m 四方のトレンチを 2~4m 間隔を基本として設定し掘削を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。



第 137 図 本村遺跡第 134 地点遺構配置図 (1/400)

トレンチ 5



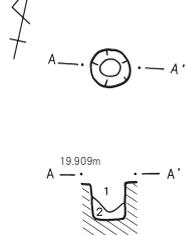
トレンチ 5

- I. 表土
- II. 暗褐色土 漸移層
- III. ソフトローム 締りやや弱、粘性無、黄褐色土・黒色粒子赤色粒子僅か含む
- IV・VI. ハードローム 締り強、粘性有、黒色粒子・赤色粒子少し含む
- V・VII. 暗褐色土 締り強、粘性非常に強、黒色粒子多く含む

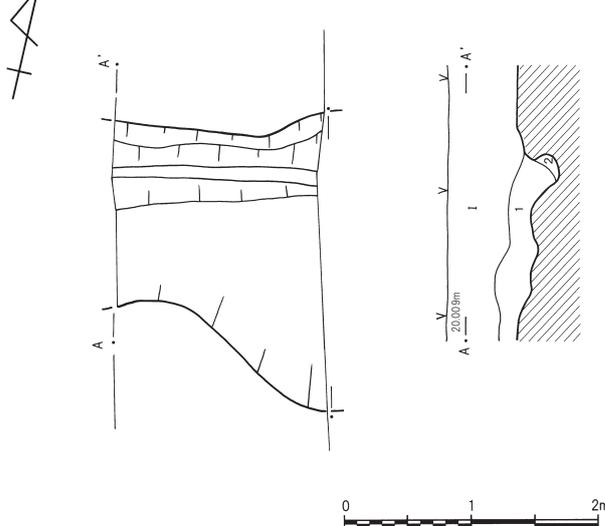
トレンチ

- I. 表土
- ①溝覆土
- 1. 暗褐色土 (7.5YR3/3) 締りやや弱、粘性有
- 2. 褐色土 (7.5YR4/4) 締りやや強、粘性無、白色粒子多く、黒色粒子少し含む
- 3. 褐色土 (7.5YR4/4) 締りやや強、粘性無、白色粒子多く、黒色粒子少し、赤色粒子極少含む
- 4. 暗褐色土 (7.5YR3/4) 締り強、粘性有、白色粒子・黒色粒子少し、粘質土含む
- 5. 暗褐色土 (7.5YR3/4) 締り強、粘性有、白色粒子少し、粘質土含む
- 6. 暗褐色土 (7.5YR3/4) 締り極強、粘性有、白色粒子・赤色粒子少し含む
- 7. 褐色土 (7.5YR4/3) 締りやや強、粘性有、黒色粒子極少、白色粒子少し、砂質、下層に小礫含む
- 8. 褐色土 (7.5YR4/4) 締り強、粘性有、黒色粒子極少、砂質小礫少し含む

ピット



溝



ピット

- 1. 黒褐色土 締りやや弱、1mm以下のローム粒、5mm以下のロームブロック多く、炭化物極少含む
- 2. 暗褐色土 締りやや強、ローム粒・ロームブロック非常に多い

溝

- I. 表土
- 1. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム粒・ロームブロック多く、炭化物少し含む
- 2. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、ローム粒・炭化物少し含む

遺構外



第 138 図 本村遺跡第 134 地点土層 (1/150・1/60)、ピット・溝 (1/60)、出土遺物 (1/4)

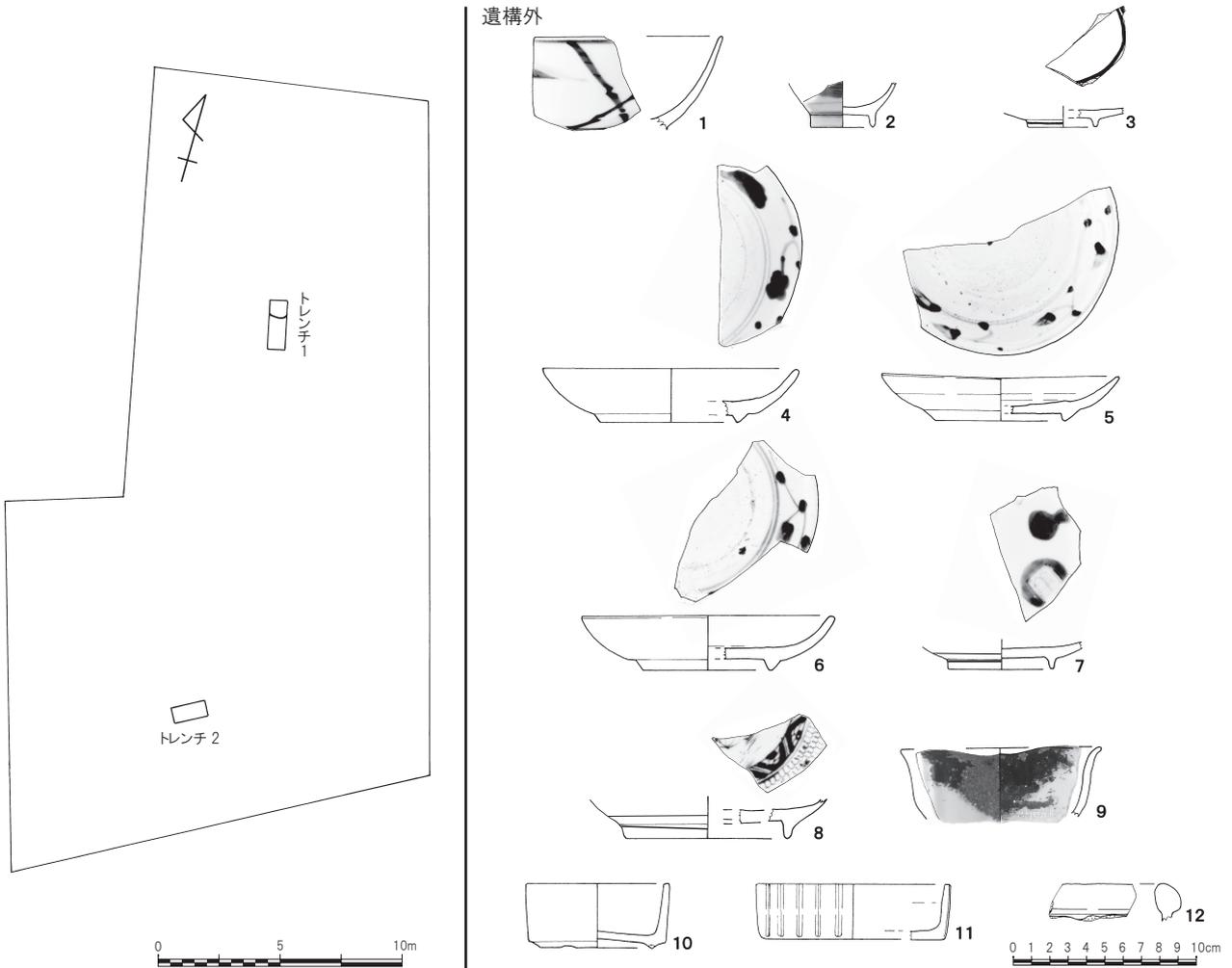
V 本村遺跡隣接地

(1) 調査の概要

本地点は埋蔵文化財包蔵地外に位置するが本村遺跡の隣接地であるため、原因者より 2016 年 5 月 16 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北側に隣接する。申請者と協議の結果、遺構が存在する可能性があるため 2016 年 6 月 1 日の既存建物撤去時に工事立会を実施した。工事立会の結果、遺構は確認されなかったが、表土中より陶磁器片が複数点出土したため、その中で代表的なものを掲載する。詳細については第 139 図及び第 78 表に掲載した。

第 78 表 本村遺跡隣接地出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・備考	時期・型式
第 139 図 -1	遺構外	磁器・碗	—	—	(5.1)	轆轤成形・染付、外：竹	近世以降・瀬戸美濃
第 139 図 -2	遺構外	磁器・小坏	—	(3.5)	(2.5)	轆轤成形・染付、高台に二重圈文、松か	近世・瀬戸美濃
第 139 図 -3	遺構外	磁器・小皿	—	(3.8)	—	轆轤成形・染付、内面に二重圈文	近世以降・肥前
第 139 図 -4	遺構外	磁器・輪禿皿	(14.0)	(7.6)	(3.0)	轆轤成形・染付、内：唐草、見込：蛇の目釉剥	近世・肥前
第 139 図 -5	遺構外	磁器・輪禿皿	(13.0)	(7.5)	(2.4)	轆轤成形・染付、内：唐草、見込：蛇の目釉剥	近世・肥前
第 139 図 -6	遺構外	磁器・輪禿皿	(13.8)	(7.0)	(3.0)	轆轤成形・染付、内：唐草、見込：蛇の目釉剥	近世・肥前
第 139 図 -7	遺構外	磁器・皿	—	(5.8)	—	轆轤成形・染付、見込：吉祥文、高台に二重圈文	近世以降・瀬戸美濃
第 139 図 -8	遺構外	磁器・皿	—	(9.0)	—	轆轤成形・染付、見込：、高台に二重圈文	近世以降・瀬戸美濃
第 139 図 -9	遺構外	磁器・碗	(11.0)	—	—	轆轤成形・内外面に透明釉、部分的に鉄釉？、内面に絵の具	近世以降
第 139 図 -10	遺構外	磁器・小鉢	(7.9)	(6.1)	(3.5)	型打ち成形・内外面に透明釉、高台 3ヶ所に切れ込み有	近代・瀬戸美濃
第 139 図 -11	遺構外	磁器・小鉢	(10.6)	(10.3)	(3.0)	型打ち成形・内外面に透明釉、	近代・瀬戸美濃
第 139 図 -12	遺構外	磁器・鉢	—	—	—	轆轤成形・内外面に透明釉	近世以降



第 139 図 本村遺跡隣接地調査区域図 (1/300)、出土遺物 (1/4)

第26章 大井戸上遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

大井戸上遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.4km、砂川堀の右岸で標高26～28mの台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約7～8mで急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜を成す。遺跡の範囲は東西200m、南北100m、遺跡面積約25,000㎡である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に大井氏館跡遺跡、同一崖線上の上流に西台遺跡、下流に東台遺跡と続く。

本遺跡は1989年に初調査以来、2019年4月現在、9地点で試掘調査が行われた。第1、2、4地点の調査では旧石器時代の礫群と石器群を検出した。西台遺跡から東台遺跡まで崖線上に連綿と旧石器時代の遺跡が存在していることになる。また、第2・3地点では崖線に沿って時期不明の溝跡を検出している。

II 大井戸上遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は道路拡幅工事に伴うもので、原因者より2017年6月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2017年9月27日に試掘調査を実施した。

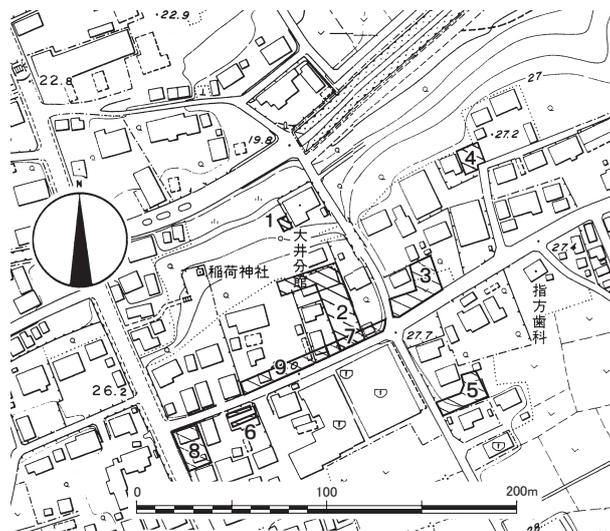
試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から約40cmで地山ローム層を確認した。

調査の結果、近世以降のピット12基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①ピット

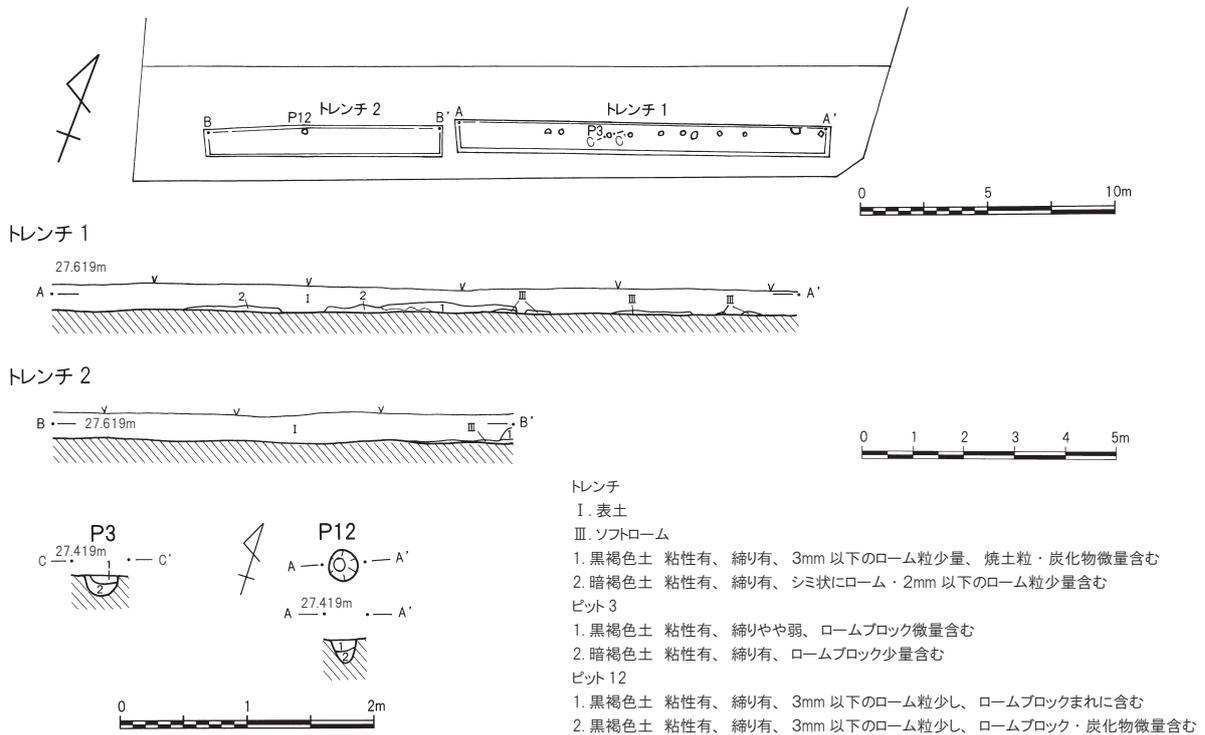
ピットはトレンチ1で11基、トレンチ2で1基の計12基確認した。土層からいずれも近世以降のものと考えられる。配列に規則性はなく、径20cm前後、深さ15～25cm程度に集中する。出土遺物はない。



第140図 大井戸上遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 79 表 大井戸上遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井字東台 234	(1989.2.15 ~ 21)	10	公民館 の増改築工事	遺構なし、縄文土器、石器、礫、チョッピングツール未完成品	東部IX
2	大井字東台 231・ 232	(1989.6.22 ~ 7.20)	974	会社寮	柱穴跡、井戸、溝、ピット	東部X
3	大井 701-1	(1993.6.11 ~ 15)	350	個人住宅	遺構遺物なし	町内III
4	大井字東台 689-3	(2004.5.27)	128	個人住宅	礫群、土坑、焼礫	町内VII
5	大井字東台 739-14	(2006.7.10)	326	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
6	大井字東台 798-1	(2008.3.25 ~ 28)	889	個人住宅	ピット 49、遺物なし	市内 4
7	大井 231-1・2・8	(2017.9.27)	123	道路拡幅	ピット 12、礫	市内 24
8	大井字東台 798-4、 799-3	(2018.5.11)	200.01	駐車場	ピット 1、土器片、陶磁器	未報告
9	大井 229-2、232-8・ 9・10	(2018.8.6 ~ 13)	225	道路拡幅	遺構なし、古銭	未報告



第 141 図 大井戸上遺跡第 7 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、ピット (1/60)

第 27 章 東台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約 1 km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は 24 ~ 26m で砂川堀との比高差は約 5m で急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

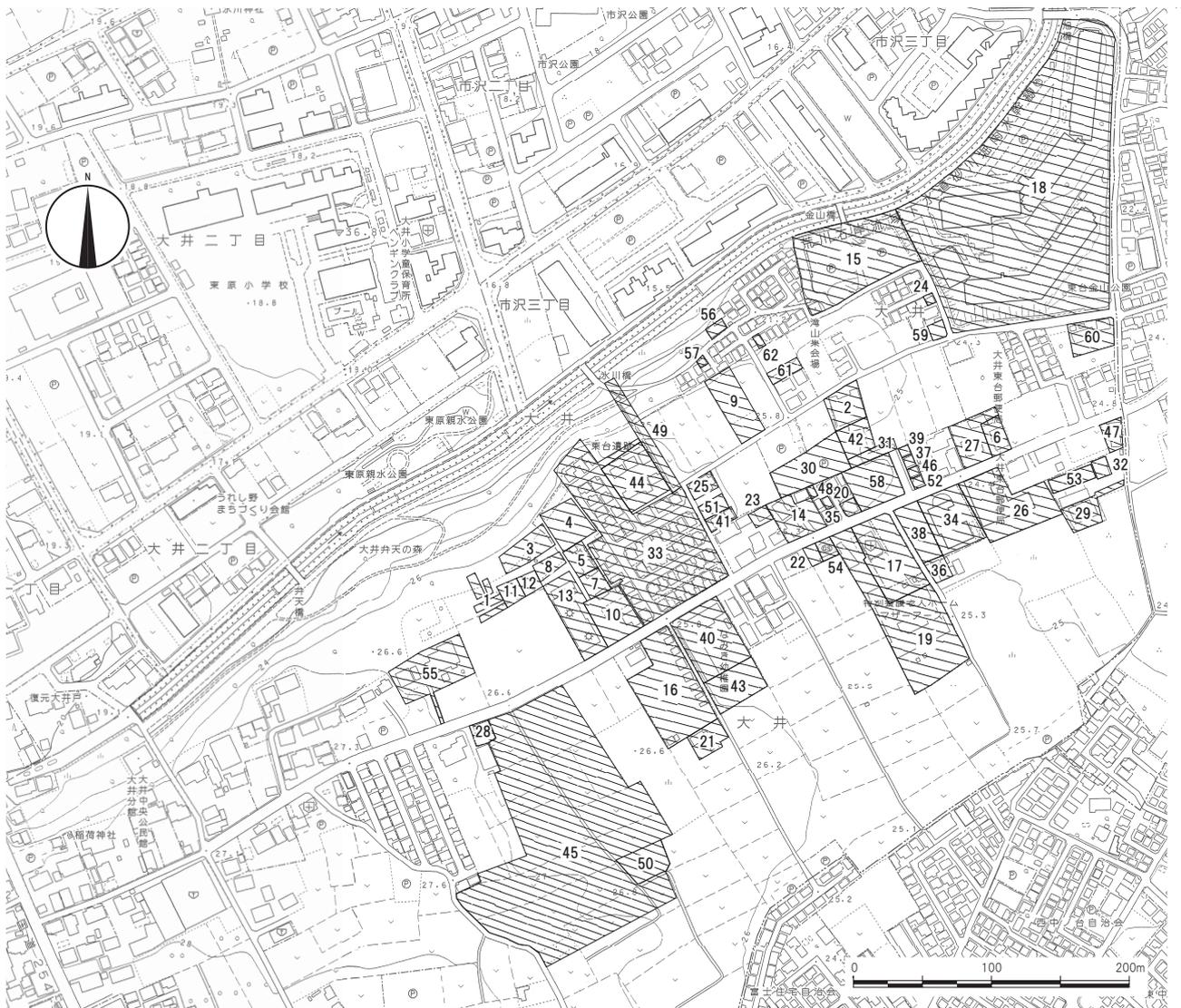
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西 700m、南北 250m、遺跡面積約 170,000 m²、市内で最大規模の遺跡であり、約 17% の 30,000 m² を調査している。

2019 年 4 月現在、62 地点で調査を行っている。旧石器時代の調査では、第 18 地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いに VI・VII 層～IV 層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第 15・18 地点で 8 世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約 50m に大井戸上遺跡、西約 300m に旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡遺跡との関係が注目される。



第 142 図 東台遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第 80 表 東台遺跡調査一覧表

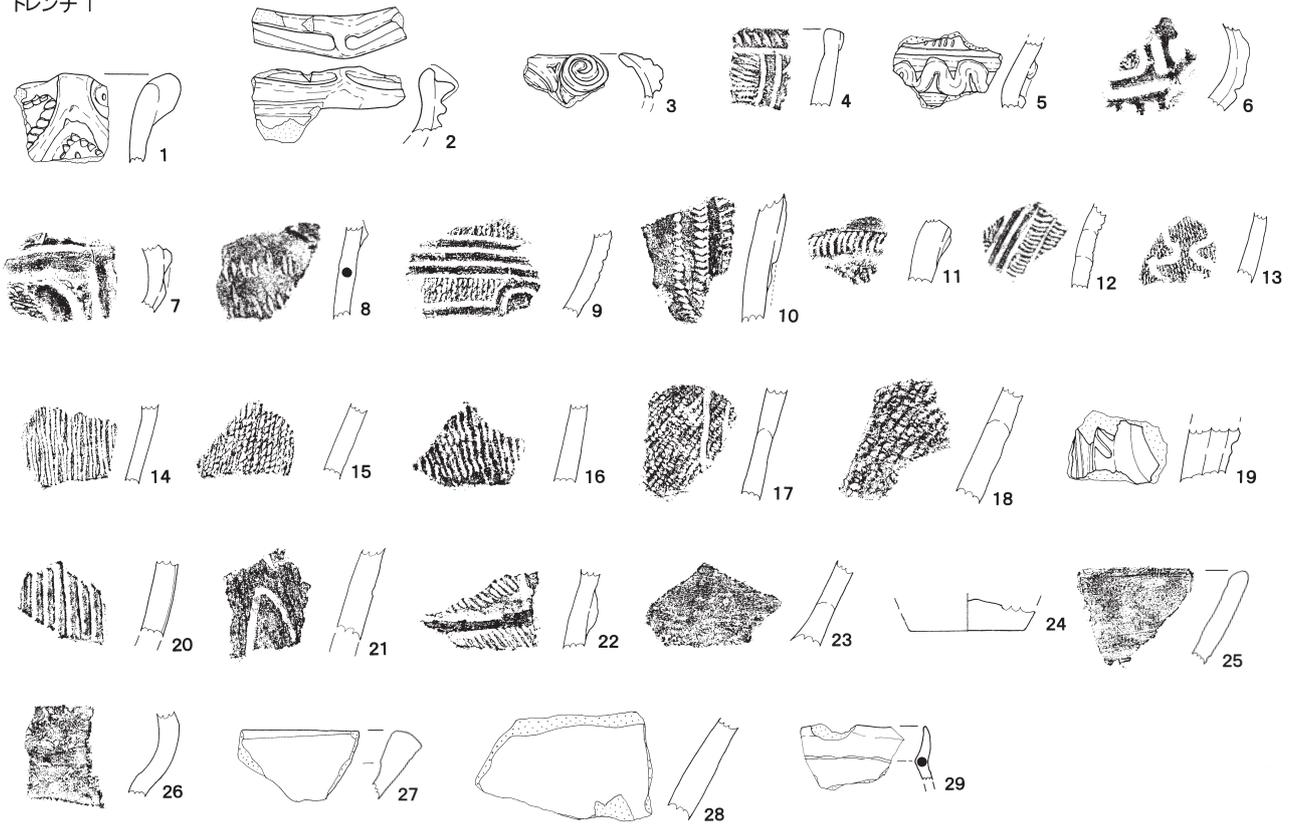
地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981		町史編纂	遺構なし、縄文中期土器	
2	大井東台 640-4	1981.12.14 ~ 1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡 12、旧石器時代石器	東部Ⅲ
3	大井東台 672	1982.5.19 ~ 6.15	666	宅地造成	炉穴 7、土坑 2、柱穴群	東部Ⅳ
4	大井東台 671	1982.6.17 ~ 11.18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡 3、後期住居跡 1、集石 4、土坑 14、溝	東部Ⅳ
5	大井東台	1983.7.25 ~ 8.9	195	町史編纂	縄文中期住居跡 2、土坑 1	東部Ⅰ
6	大井東台	1984.1.9 ~ 1.12		宅地造成	縄文中期住居跡 1	
7	大井東台 670-2	1984.5.15 ~ 6.13		共同住宅	縄文中期住居跡 4、後期住居跡 1	
8	大井東台 672	1984.8.18 ~ 9.21	345	町史編纂	縄文中期住居跡 1、炉穴 2、土坑 14	東部Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25 ~ 1985.2.15	1,000	駐車場	旧石器礫群、縄文中期住居跡 22、後期住居跡 1、炉穴、ピット群	町史資Ⅰ
10	大井東台 670-1	1985.10.1 ~ 11.25	896	住宅	縄文中期住居跡 5、土坑 5	東部Ⅵ
11	大井東台 673	1986.1.14 ~ 3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡 2、集石土坑 3、土坑 1、ピット	東部Ⅵ
12	大井東台 673	1987.5.6 ~ 6.26	330	転地返し	縄文早期住居跡 1、土坑 18、平安時代住居跡 2、溝 1	東部Ⅶ
13	大井東台 670-6	1988.1.14 ~ 2.27	971	倉庫	縄文中期住居跡 9、集石 1、土坑 9、ピット 20	東部Ⅷ
14	大井東台 649-16 他	1988.1.27 ~ 2.24	735	住宅	縄文中期住居跡 12、屋外埋塞 1、集石土坑 1、土坑 8、ピット 38	東部Ⅸ
15	大井市沢 577-1 他	(1989.10.17 ~ 11.10) 1989.11.17 ~ 1990.8.1	700	住宅	落とし穴 1、木炭窯 1、粘土採掘坑 2、奈良・平安土器	東部Ⅹ
16	大井 713-4・5	(1990.8.1 ~ 4)	3,048	資材置場	縄文中期住居跡 1、土坑 1	東部Ⅺ
17	大井 621-1	(1990.9.5 ~ 12) 1990.10.9 ~ 12.27	1,470	診療所	縄文中期住居跡 8、土坑 30、ピット 94、柵列	東部Ⅺ
18	大井 529-1、588	(1991.3.11 ~ 5.20) 1992.2.24 ~ 1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中 17、落とし穴 1、壱形製鉄炉 7、木炭窯 9、採掘坑 4、土坑 9、溝、柵列、道路跡、平安土器	東部製鉄
19	大井 621	(1992.5.31 ~ 6.7)	4,489	特養新設	縄文中期住居跡 8	町内Ⅰ
20	大井 649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡 1	町内Ⅲ
21	大井 713-11・12	1992.3.7 ~ 11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内Ⅲ
22	大井 651-6	(1994.5.10 ~ 11) 1994.5.30 ~ 7.30	146	店舗	縄文中期住居跡 6、土坑 1	大調 13
23	大井 649-12・13	(1995.6.23 ~ 27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡 2	町内Ⅳ
24	大井 634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町内Ⅳ
25	大井 648-13・14	1995.10.22 ~ 12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡 5、後期住居跡 1、袋状土坑 1、土坑 10、ピット 6	町内Ⅳ
26	大井東台 601-1・4・5	(1996.11.6 ~ 18) 1997.1.14 ~ 3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡 1、土坑 3、落とし穴 1、ピット 24	大調 13
27	大井 600-1	(1997.2.19) 1997.2.19 ~ 3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡 1、炉穴 1、土坑 1、落とし穴 1、ピット 44	町内Ⅵ
28	大井東台 710-4	(1997.3.17 ~ 19)	231	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町内Ⅵ
29	大井東台 606-3	(1998.2.27 ~ 3.3) 1998.3.4 ~ 5	500	個人住宅	縄文早期炉穴 9、ピット 2	町内Ⅶ
30	大井 640-1	(1998.11.4 ~ 12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡 1、屋外炉、ピット	町内Ⅷ
31	大井 630-3、640-8	(1999.5.7 ~ 21)	186	道路築造	縄文中期住居跡 2	町内Ⅸ
32	大井 603-1	(2000.8.4 ~ 9)	92	製茶工場	ピット 3	町内Ⅹ
33	大井 662-1	(2000.8.4 ~ 8) 2000.8.10 ~ 2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群 4、礫群 4、縄文中期住居跡 30、後期住居跡 4、掘立柱建物跡 1、炉穴 14、集石土坑 4、他	町内Ⅹ
34	大井東台 624-2	(2002.3.12 ~ 25) 2002.3.26 ~ 5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡 5、土坑 11、ピット 16	町内Ⅺ
35	大井東台 649-31	(2001.9.6 ~ 8)	48	個人住宅	縄文中期住居跡 1	町内Ⅺ
36	大井東台 614	(2001.10.15 ~ 11.2)	272	倉庫	ピット 5、土器片	町内Ⅺ
37	大井東台 626-12	2001.10.12 ~ 11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡 2、ピット 1	町内Ⅺ
38	大井東台 614-3	(2002.1.28 ~ 2.15)	787	駐車場	縄文中期住居跡 1、竪穴状遺構 1、集石土坑 2、土坑 2、ピット 2	町内Ⅺ

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
39	大井 626-8	(2002.6.3～20)	100	個人住宅	ピット3、縄文土器片、石屑	町内XII
40	大井 661	(2003.10.6～11.4)	1,875	幼稚園	土坑6、ピット10、柵列	町内XII
41	大井東台 648-4	(2004.5.11～14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡3、集石1、土坑1、屋外ピット1	町内XII
42	大井 640-7	(2004.9.7～17)	515	教会	縄文中期住居跡2、落とし穴1、土坑3、ピット20	町内XII
43	大井東台 661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ピット4	町内XII
44	大井東台 664-15	2005.12.8～28	200	個人住宅	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット9	市内2
45	大井東台 710-1、 711-1、717-1・2	(2006.5.31～9.1) 2006.9.8～2007.3.7	7,971	東台小学校	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット10	市内3
46	大井東台 626-11	(2006.9.4～6) 2006.9.15～28	100.02	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石2、土坑1	市内3
47	大井東台 602-4・5	(2006.9.19～20)	320	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
48	大井東台 649-21	(2007.1.16～26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡3	市内3
49	大井東台 646、647- 1、665	(2008.1.28・30・ 2.4～19) 2008.1.31～2.1	174	東台小学校 通学路築造	縄文時代中期～後期住居跡1検出・5軒を確認、屋外埋甕1、 粘土採掘坑1、土坑1、ピット1、溝6	市内4
50	大井東台 716-1の一部	2008.7.14～22	646	東台小学校 プール	遺構遺物なし	市内6
51	大井東台 648-2	(2009.3.10～18) 2009.3.18～5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡6、土坑4、ピット14、縄文土器、石器	市内6
52	大井東台 626-8・14	2009.5.12～19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡2確認	市内8
53	大井東台 603-1	(2011.8.8～18)	1,251	工場	井戸1、縄文土器	市内14
54	大井東台 651-6・ 13・14	(2011.9.5～12)	309.3	店舗	縄文時代住居跡1、縄文土器	市内14
55	大井東台 694-2・3	(2011.9.20～22)	1,268	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
56	大井東台字市沢 296- 4	(2012.1.11)	59.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内14
57	大井東台 644-9の一部	(2013.4.5～10)	31.4	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
58	大井東台 625-1	(2014.7.3～8.4)	1,175.47	店舗	縄文時代住居跡15、土坑3、縄文土器、石器	市内20
59	大井東台 633-6	(2014.7.15)	145.91	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
60	大井 597	(2015.7.7)	687.77	個人住宅	遺構なし、土器片	市内22
61	大井東台 639-25	(2017.9.21)	249.00	個人住宅	ピット2、縄文土器、石器	市内24
62	大井東台 638-17	(2017.12.25)	57.96	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市内24



第 143 図 東台遺跡遺構分布図 (1/2,000)

トレンチ 1

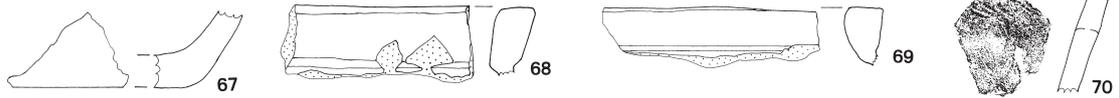


トレンチ 2

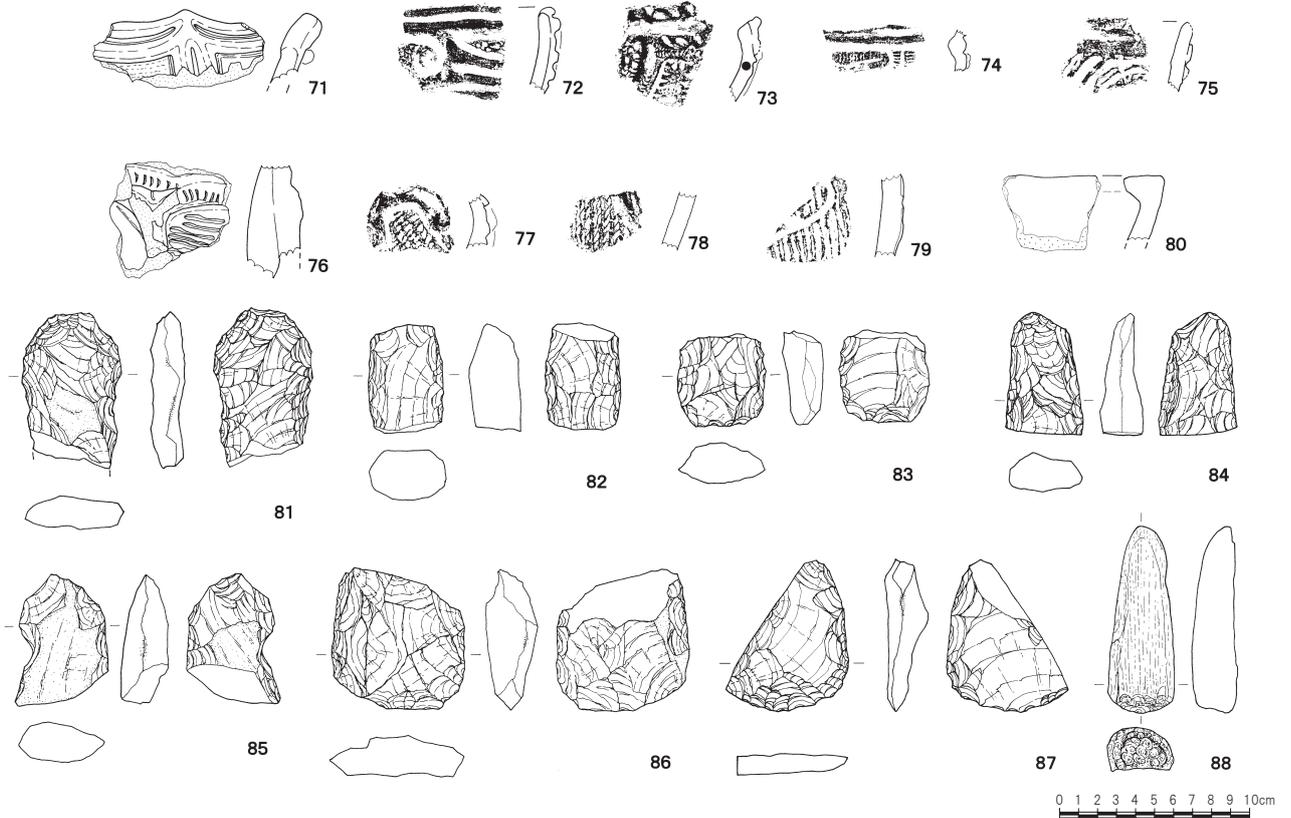


第 145 図 東台遺跡第 61 地点出土遺物① (1/4)

トレンチ 2



遺構外



第 146 図 東台遺跡第 61 地点出土遺物② (1/4)

第 81 表 東台遺跡第 61 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文・施文・備考	時期・型式
第 145 図-1	トレンチ 1	深鉢・口縁部	-	-	-	-	波頂部・隆帯貼付、隆帯脇に三角形の押引文・胎土に砂礫を多く含む	中期中～後葉
第 145 図-2		深鉢・口縁部	-	-	-	-	波状口縁・口唇部に沈線、口唇部下に 2 本の隆帯を横位に貼付	中期中葉・曾利系
第 145 図-3		深鉢・口縁部	-	-	-	-	波状口縁・口唇部に隆帯による渦巻文	中期・加曾利 E I
第 145 図-4		深鉢・口縁部	-	-	-	-	口唇部に刻目、2 本の縦位沈線・円筒型土器か	中期・勝坂 III
第 145 図-5		深鉢・口縁部	-	-	-	-	隆帯による区画、波状に粘土紐貼付・胎土に砂礫を多く含む	中期・勝坂 III
第 145 図-6		深鉢・胴部	-	-	-	-	平行隆帯による文様、区画内に沈線	中期・勝坂 III
第 145 図-7		深鉢・胴部	-	-	-	-	地文横位擦糸・隆帯貼付、隆帯脇に沈線	中期・勝坂 III
第 145 図-8		深鉢・胴部	-	-	-	-	隆帯貼付による区画、区画内に爪型列点文・胎土に金雲母を含む、内面に煤付着	中期・阿玉台 III
第 145 図-9		深鉢・胴部	-	-	-	-	地文 Lr 擦糸・多截竹管による平行沈線・胎土に砂礫を多く含む、外面に僅かに煤付着、内面ハジケ	中期・勝坂 III
第 145 図-10		深鉢・胴部	-	-	-	-	隆帯貼付、隆帯脇に三角押文を施文・外面に僅かに煤付着	中期・勝坂 II
第 145 図-11		深鉢・胴部	-	-	-	-	隆帯に連続爪型文・全体的に摩耗、外面に黒斑	中期・勝坂 II
第 145 図-12		深鉢・胴部	-	-	-	-	多截竹管による平行沈線、連続爪型文	中期・勝坂 II
第 145 図-13		深鉢・胴部	-	-	-	-	地文 Rl 擦糸・波状沈線・胎土に白色粒子を含む	中期・勝坂 II
第 145 図-14		深鉢・胴部	-	-	-	-	地文多截管状工具による縦位平行沈線・内面黒色、胎土に白色粒子を含む	中期
第 145 図-15		深鉢・胴部	-	-	-	-	地文縦位 Lr 擦糸・外面に煤付着	中期
第 145 図-16		深鉢・胴部	-	-	-	-	地文 Lr 擦糸力・内面黒色	中期
第 145 図-17		深鉢・胴部	-	-	-	-	縦位 Rl 縄文、2 本の縦位沈線・内面黒色、外面ハジケ	中期
第 145 図-18		深鉢・胴部	-	-	-	-	横位 LR 縄文・内面ハジケ、煤付着、胎土に白色粒子を多く含む	中期

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文・施文・備考	時期・型式
第 145 図 -19	トレンチ 1	深鉢・胴部	—	—	—	—	刻目隆帯貼付、隆帯脇に沈線を施す・外面に僅かに煤付着、胎土に砂礫を多く含む	中期
第 145 図 -20		深鉢・胴部	—	—	—	—	多載竹管による平行沈線・内面ハジケ	中期
第 145 図 -21		深鉢・胴部	—	—	—	—	内面ハジケ、胎土に砂礫を多く含む	中期
第 145 図 -22		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文斜位 R 燃糸・隆帯貼付・内面ミガキ	中期
第 145 図 -23		深鉢・底部	—	—	—	—	胎土に白色粒子を多く含む	—
第 145 図 -24		深鉢・底部	—	(6.2)	(2.6)	—	底部破片・胎土に白色粒子を含む	—
第 145 図 -25		浅鉢・口縁部	—	—	—	—	内外面ミガキ・口唇部～外面に僅かに煤付着	中期
第 145 図 -26		浅鉢・口縁部	—	—	—	—	内外面ミガキ	中期
第 145 図 -27		浅鉢・口縁部	—	—	—	—	口唇部～内面ミガキ・僅かに煤付着	中期
第 145 図 -28		浅鉢・胴部	—	—	—	—	外面ミガキ・外面に黒斑	中期
第 145 図 -29		小型鉢・口縁部	—	—	—	—	無文・胎土に金雲母を含む、外面に僅かに煤付着	中期・阿玉台
第 145 図 -30	トレンチ 2	深鉢・口縁部	—	—	—	—	波状口縁・口縁部を厚くし波頂部から隆帯を垂下、隆帯脇に管状工具による刺突、平行隆帯による文様・内面ミガキ、白色粒子を含む	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -31		深鉢・胴部	—	—	—	—	縦位沈線・胎土に白色粒子を含む	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -32		深鉢・口縁部	—	—	—	—	平行隆帯刻目、口縁に平行に押引文を二重に施す・内面に僅かに煤付着	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -33		深鉢・口縁部	—	—	—	—	地文 R 縄文・口縁部に L 縄文、沈線・外面にハジケ	中期
第 145 図 -34		深鉢・口縁部	—	—	—	—	波状口縁・口縁に平行に沈線、波頂部から粘土紐を垂下後、交互刺突・外面黒色、白色粒子、チャートを含む	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -35		深鉢・口縁部	—	—	—	—	外面に指頭痕、内面ハクリ、外面に僅かに煤付着	中期
第 145 図 -36		深鉢・口縁部	—	—	—	—	口縁部無文・横位沈線による区画、内外面に煤付着	中期
第 145 図 -37		深鉢・口縁部	—	—	—	—	無文・口唇部に角押文、両面穿孔で直径 1 cm の孔が開く・胎土に金雲母を含む	中期初頭力
第 145 図 -38		深鉢・口縁部	—	—	—	—	無文・内外面ミガキ、黒色	—
第 145 図 -39		深鉢・口縁部	—	—	—	—	内外面ミガキ、胎土に白色粒子を多く含む	—
第 145 図 -40		深鉢・口縁部	—	—	—	—	無文・内外面ミガキ、外面に僅かに煤付着	—
第 145 図 -41		深鉢・口縁部	(11.0)	—	(4.7)	—	円筒型土器・地文 R 燃糸・外面に煤付着	中期・勝坂
第 145 図 -42		深鉢・口縁部	—	—	—	—	地文横位 R 縄文・口縁部ミガキ・内外面に僅かに煤付着	中期
第 145 図 -43		深鉢・口縁部	—	—	—	—	地文横位 L 燃糸・口縁に平行に隆帯貼付	中期・加曾利 E I
第 145 図 -44		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文縦位燃糸?・平行隆帯による文様	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -45		深鉢・胴部	—	—	—	—	隆帯貼付後両脇に刺突文・胎土に白色粒子を多く含む	中期
第 145 図 -46		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文燃糸?・隆帯脇に半載竹管による交互刺突・胎土に白色粒子を含む	中期・勝坂
第 145 図 -47		深鉢・胴部	—	—	—	—	多載竹管による平行沈線、区画内を連続刺突文と爪型文で充填・内面黒色、胎土にチャートを含む	中期・勝坂Ⅱ
第 145 図 -48		深鉢・胴部	—	—	—	—	半載竹管による平行沈線、上面に刻目・内面ミガキ、胎土にチャートを含む	中期・勝坂
第 145 図 -49		深鉢・胴部	—	—	—	—	刻目隆帯による区画、区画内を棒状工具による縦位沈線で充填・内面ハクリ、胎土に白色粒子を含む	中期
第 145 図 -50		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文 R 縄文・沈線による文様、隆帯上面に矢羽根状の刺突・内面の摩擦が激しい、胎土に白色粒子を含む	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -51		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文縦位 L 燃糸・半載竹管による平行沈線・内面ミガキ、胎土に白色粒子を多く含む	中期・加曾利 E I
第 145 図 -52		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文太い縦位 L 燃糸・多載竹管による平行沈線	中期・加曾利 E I
第 145 図 -53		深鉢・胴部	—	—	—	—	隆帯に棒状工具で交互刺突、沈線による文様、円形区画内を半載竹管による連続刺突文で充填・内面黒色、胎土に白色粒子を含む	中期・勝坂Ⅲ
第 145 図 -54		深鉢・胴部	—	—	—	—	ペン先状工具による連続刺突	中期
第 145 図 -55		深鉢・胴部	—	—	—	—	刻目隆帯による三叉文・内面に煤付着・胎土にチャートを含む	中期・勝坂
第 145 図 -56		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文燃糸?・隆帯貼付、沈線	中期
第 145 図 -57		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文 R 縄文・内面に煤付着	—
第 145 図 -58		深鉢・胴部	—	—	—	—	刻目隆帯、縦位にペン先状工具による刺突	中期・勝坂
第 145 図 -59		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文 R 縄文・内面に煤付着	—
第 145 図 -60		深鉢・胴部	—	—	—	—	横位沈線・胎土に砂礫を多く含む	—
第 145 図 -61		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文多載管状工具による縦位平行沈線・胎土に砂礫を多く含む	—
第 145 図 -62		深鉢・胴部	—	—	—	—	無文・胎土に白色粒子を多く含む	—
第 145 図 -63	深鉢・底部	—	—	—	—	地文縦位 R 燃糸・内面ミガキ、内面に煤付着	中期	
第 145 図 -64	深鉢・底部	—	—	—	—	地文縦位 R 燃糸・内面ミガキ	中期	
第 145 図 -65	深鉢・底部	—	(7.0)	(3.9)	—	無文・外面ミガキ、内面に煤付着	中期	
第 145 図 -66	深鉢・底部	—	(6.0)	(3.5)	—	無文	中期	
第 146 図 -67	深鉢・底部	—	—	—	—	無文・胎土に白色粒子を多く含む	中期	
第 146 図 -68	浅鉢・口縁部	—	—	—	—	内外面ミガキ、煤付着	中期	
第 146 図 -69	浅鉢・口縁部	—	—	—	—	内外面ミガキ、煤付着	中期	
第 146 図 -70	浅鉢・胴部	—	—	—	—	無文・内外面ミガキ	中期	

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	地文・施文・備考	時期・型式
第 146 図 -71	遺構外	深鉢・口縁部	—	—	—	—	地文燃糸?・波状口縁、口縁に沿って平行隆帯、波頂部から平行隆帯を垂下・白色粒子を含む	中期・加曾利 E I
第 146 図 -72		深鉢・口縁部	—	—	—	—	地文 LR 縄文・半截竹管による平行沈線・内面ハジケ、煤付着	中期・加曾利 E I
第 146 図 -73		深鉢・口縁部	—	—	—	—	波状口縁、平行沈線後角押文施文、口縁に平行に刻目隆帯貼付、口唇部に刻目施文か・胎土に金雲母を含む	中期初頭力
第 146 図 -74		深鉢・口縁部	—	—	—	—	平行沈線施文後上部に刻目・内面に煤付着	中期・勝坂
第 146 図 -75		深鉢・口縁部	—	—	—	—	平行沈線による施文・外面に煤付着、摩耗が激しい	中期
第 146 図 -76		深鉢・胴部	—	—	—	—	刻目隆帯による区画、区画内を沈線で充填・胎土に砂礫を多く含む	中期・勝坂
第 146 図 -77		深鉢・胴部	—	—	—	—	半截竹管による平行沈線、区画内を RL 縄文で充填	中期・勝坂
第 146 図 -78		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文 Lr 燃糸・半截竹管による平行沈線・内面ハジケ	中期
第 146 図 -79		深鉢・胴部	—	—	—	—	地文多載管状工具による縦位平行沈線・沈線・内面に煤付着、胎土にチャートを含む	中期
第 146 図 -80		浅鉢・口縁部	—	—	—	—	全体的に摩滅	—
第 146 図 -81		石器・打製石斧	7.785	5.150	1.630	84.74	石材：頁岩・刃部欠損・撥型	縄文
第 146 図 -82		石器・打製石斧	5.604	3.853	2.642	86.50	石材：ホルンフェルス・両端部欠損・短冊型	縄文
第 146 図 -83		石器・打製石斧	5.002	4.533	2.118	57.91	石材：砂岩・基部欠損・短冊型	縄文
第 146 図 -84		石器・打製石斧	6.417	4.082	1.974	59.60	石材：ホルンフェルス・刃部欠損・撥型	縄文
第 146 図 -85		石器・打製石斧	6.673	4.543	2.195	86.98	石材：ホルンフェルス・刃部欠損・撥型	縄文
第 146 図 -86		石器・打製石斧	7.046	7.015	21.17	150.50	石材：ホルンフェルス	縄文
第 146 図 -87		石器・打製石斧	7.726	6.031	1.002	78.50	石材：安山岩・基部欠損・撥型	縄文
第 146 図 -88		石器・敲き石	9.901	3.451	21.06	107.97	石材：石英片岩・縦方向に 1/2 欠損	縄文

Ⅲ 東台遺跡第 62 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 9 月 21 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 12 月 25 日に試掘調査を実施した。

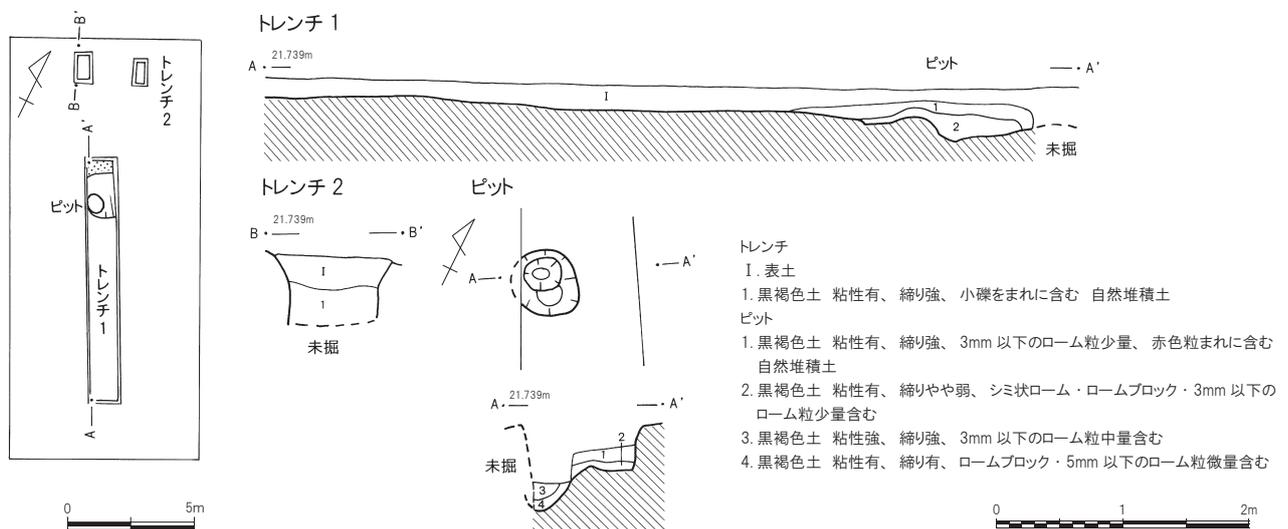
試掘調査は幅約 0.5 ～ 1m のトレンチ 2 本を設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から約 20 cm で地山ローム層を確認した。

調査の結果、時期不明のピット 1 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①ピット

ピットは調査区中央部に位置する。平面形態は楕円形を呈し、確認面径 58 × 50 cm、底径 15 × 8 cm、深さ 39 cm を測る。出土遺物はない。



第 147 図 東台遺跡第 62 地点遺構配置図 (1/200)、土層・ピット (1/60)

第Ⅱ部 民間開発に伴う調査の成果

第1章 本村遺跡第136地点の調査

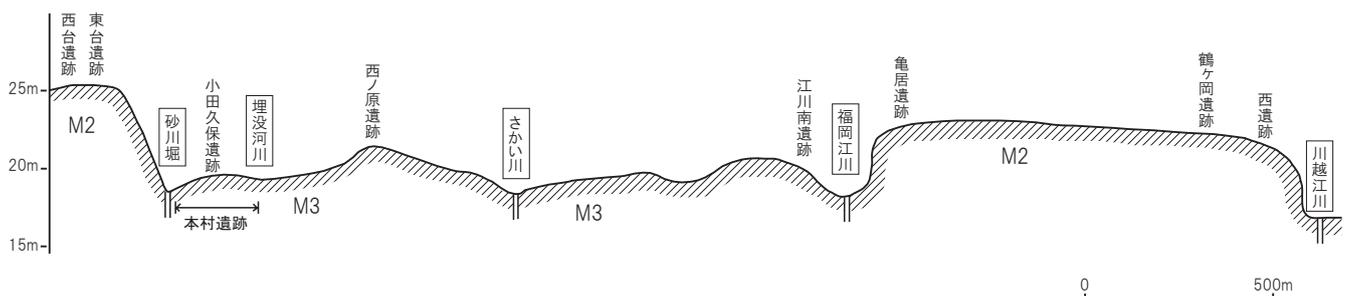
I 本村遺跡の立地と環境

本村（ほむら）遺跡という名称は、1989年9月以降の調査からの呼称である。それ以前の周知の遺跡としては、現本村遺跡の東域に存在していた弁天後遺跡と、西域の東原遺跡が登録されていた。両者を一遺跡に統合したものであるが、市街化調整区域で開発による発掘調査履歴が全くなく、表面採集遺物も皆無であったため範囲の設定が困難であった。土地区画整理事業に伴い道路予定地をトレンチに見立てた結果、中世を主体とする集落遺跡であることが判明し当地に残る古名をとって遺跡名とした。面積は約10haの範囲に広がり、旧石器時代の礫群、石器集中、縄文時代の生業遺構、中世～近世初頭の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構、井戸、地下式壙、溝、柵列、茶毘跡など集落遺構が数多く確認できる複合遺跡である。

遺跡立地は第148図に示すように南北を武蔵野2面（M2）の大井台に挟まれた武蔵野3面（M3）上の海拔標高15～20mと一段低い立川面に相当する台地にもまたがっている。砂川の左岸に位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が認められ、以前は遺跡北西部に微高地が存在していたが区画道路取付けにより小島状に切り離されつつあり、さらに切土され地形も一層平板化されてきている。今や都市近郊の畑作地帯という風情はほとんど見るができなくなってきた。宅地化の波は当然のごとく押し寄せ遺跡環境もさらに変貌するであろう。

遺跡内の埋没河川については、以下のような見解がある。

「地形は、砂川堀の流路変遷によって説明することができる。すなわち、より早く河川の影響を受けなくなったところは、それだけ早く風塵の堆積とローム層の形成が始まることで地表の高低差が生じて、今日見られるような調査区内の地形が形成されたと考えられる。（中略）大井台の1段低い部分が約6～5万年前に段丘化した後も遺跡中央周辺は、伏流水として残った砂川堀の流路になった。砂川堀の流路は当初現在よりも北側にあったが、次第に南側へと移動していった。流路の移動は間欠的に起こったのではなく、おそらく連続的であったために緩斜面が形成されたものと考えられる。約4万年前頃には、流路は遺跡中央部付近にあったが、A Tの降灰した2～2.5万年前頃はすでに南部付近まで移動しており、中央部付近は増水時にも冠水することはなくなっていた。U Gの降灰した1.2万年前頃には増水時でもほとんど冠水することがなくなるほど流路は遺跡南へ下がり、やがて現在の流路に至った。以上のような変遷を考えると、本遺跡に生業活動の跡を残したそれぞれの時代の人々は、それぞれ異なり砂川堀の谷の景観を見ていたことになろう。」（「本村遺跡第8地点調査報告書」（1993）19頁抜粋）



第148図 本村遺跡の立地と川越街道沿いの段丘と主要遺跡群

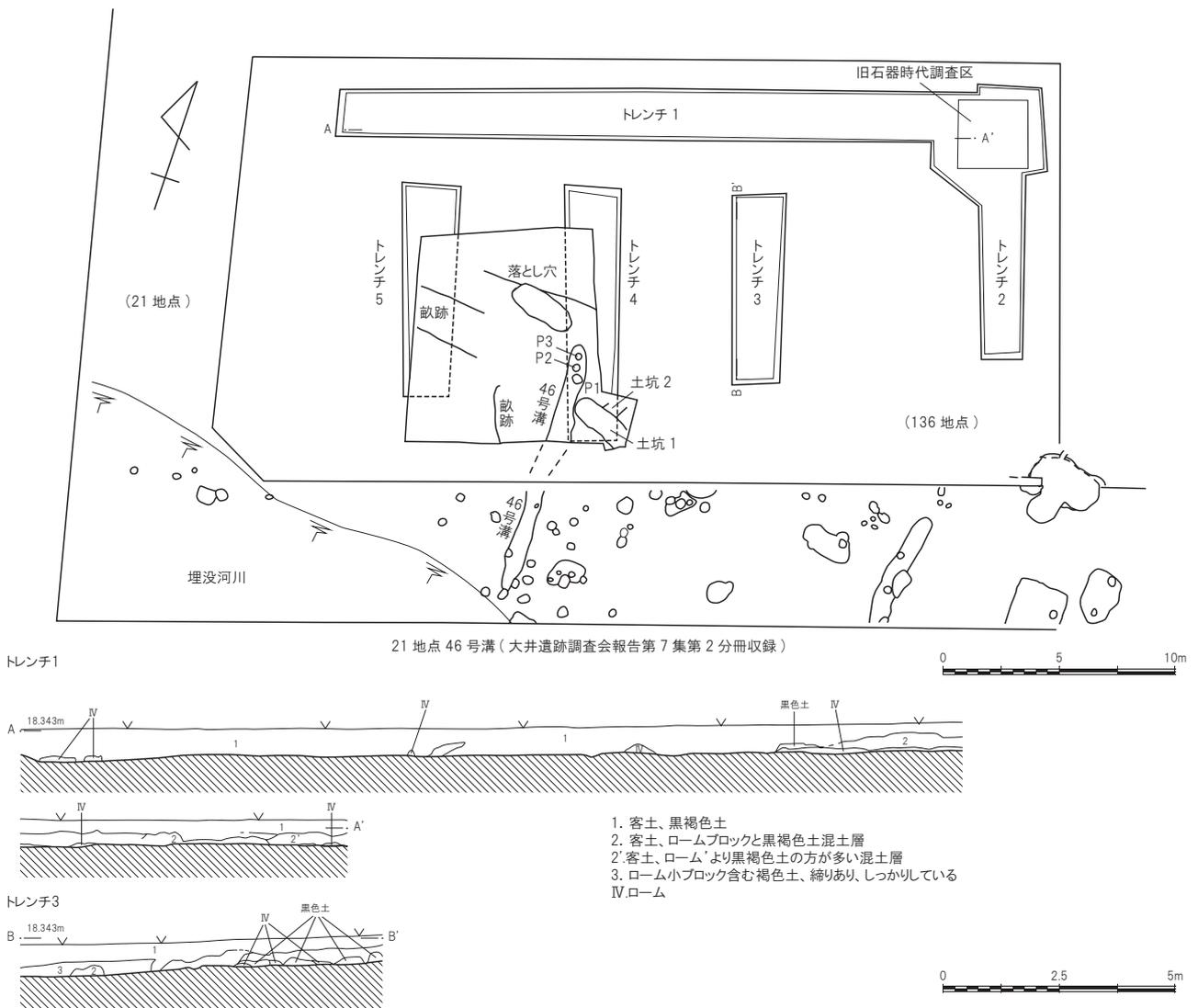
II 本調査に至る経過と概要

(1) 調査に至る経過

本地点は遺跡北東部の埋没河川沿いに位置する（第 133 図）。北から南に緩やかな傾斜をもつ土地で、調査前は茶畑であった。表土は客土も見られ地山まで北側で 60 cm 前後、南側で 90 cm 前後と厚くなる。

申請者より 2018 年 10 月 10 日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。駐車場造成を原因とするが傾斜地のため北側部の切土計画が予定された。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。試掘調査は 2018 年 10 月 17 日～19 日まで実施。第 149 図のようにトレンチを 5 本設定し、中近世遺構が確認された。トレンチ 1 とトレンチ 2 のローム面精査時、焼礫の出土があったため、その範囲を見極めるため調査区を拡張した。結果、平面分布がほぼ 3 × 3 m 四方に旧石器時代の礫が及んでいることが確認できたが、北側部での旧石器時代は切土部分に該当するため現状保存が困難なため、16 m²を発掘調査対象することとなった。また中近世遺構確認部は確認面まで 80 cm と深く現状保存の措置とすることを申請者に報告し一旦試掘を終えた。

しかし、翌年になり申請者から分譲住宅建設に計画を変更する旨の協議書が提出され、2019 年 4 月 1 日付けで発掘の届出が再提出された。全面的に掘削する計画であったため、再協議の結果、遺構の現状保存は困難なため試掘調査で確認された調査区域を拡張して発掘調査を実施することで合意した。



第 149 図 本村遺跡第 136 地点遺構配置図（1/300）、土層（1/150）

文化財保護法第99条の規定による発掘調査の通知は2019年4月8日付けふ教社第179号で提出され、それに対する県教育委員会からの通知、2019年4月8日付け教文資第5-271号で調査を行った。申請者と発掘調査受託契約を締結し、発掘調査を2019年4月11日から同年4月23日まで実施した。本調査面積は60㎡である。結果、旧石器時代と縄文時代、中近世以降の遺構・遺物が確認された。整理報告書作成作業は2019年6月から出土遺物の水洗、注記を行い、順次接合、復元作業に着手し遺構図版の版下作成・原稿執筆を2020年1月まで実施し報告書を刊行した。

(2) ふじみ野市の旧石器時代遺跡の立地概要

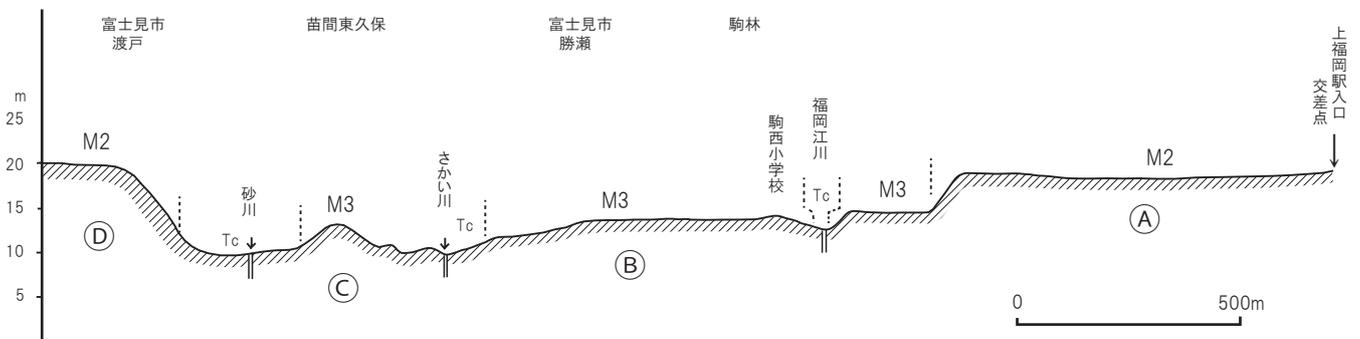
武蔵野台地の狭山丘陵北部、北武蔵野の河川の特徴には、①狭山丘陵北縁辺部に水源をもつ不老川・砂川。②標高25m～30mに湧水地をもつ扇端湧水や地下断層に起因した伏流水である川越江川・福岡江川・さかい川などがある。

このうち②の江川は、大河川に注ぐ小川を意味し、江は陸地に深く入り込んだ部分という意味をもつ。小河川ながら新河岸川に合流する江川群の存在は遺跡の立地に不可分といって良い。隣接する三芳町ではかつての江川である埋没河川沿いに旧石器時代の遺跡の追求調査が積極的に行われ、武蔵野台地の扇央部に近い地点からも石器集中が確認されてきている。

当市の旧石器時代遺跡立地を概観すると、荒川低地に近い新河岸川に面した崖線上には現状として該期遺跡の調査件数は少ない。4本の江川群の中流域～上流域といった台地奥に入った地点で調査機会に恵まれ旧石器時代遺跡の存在が認められる。第150図は東武東上線東側300mにほぼ沿った南北地形断面図である。(第151図の遺跡分布図参照)

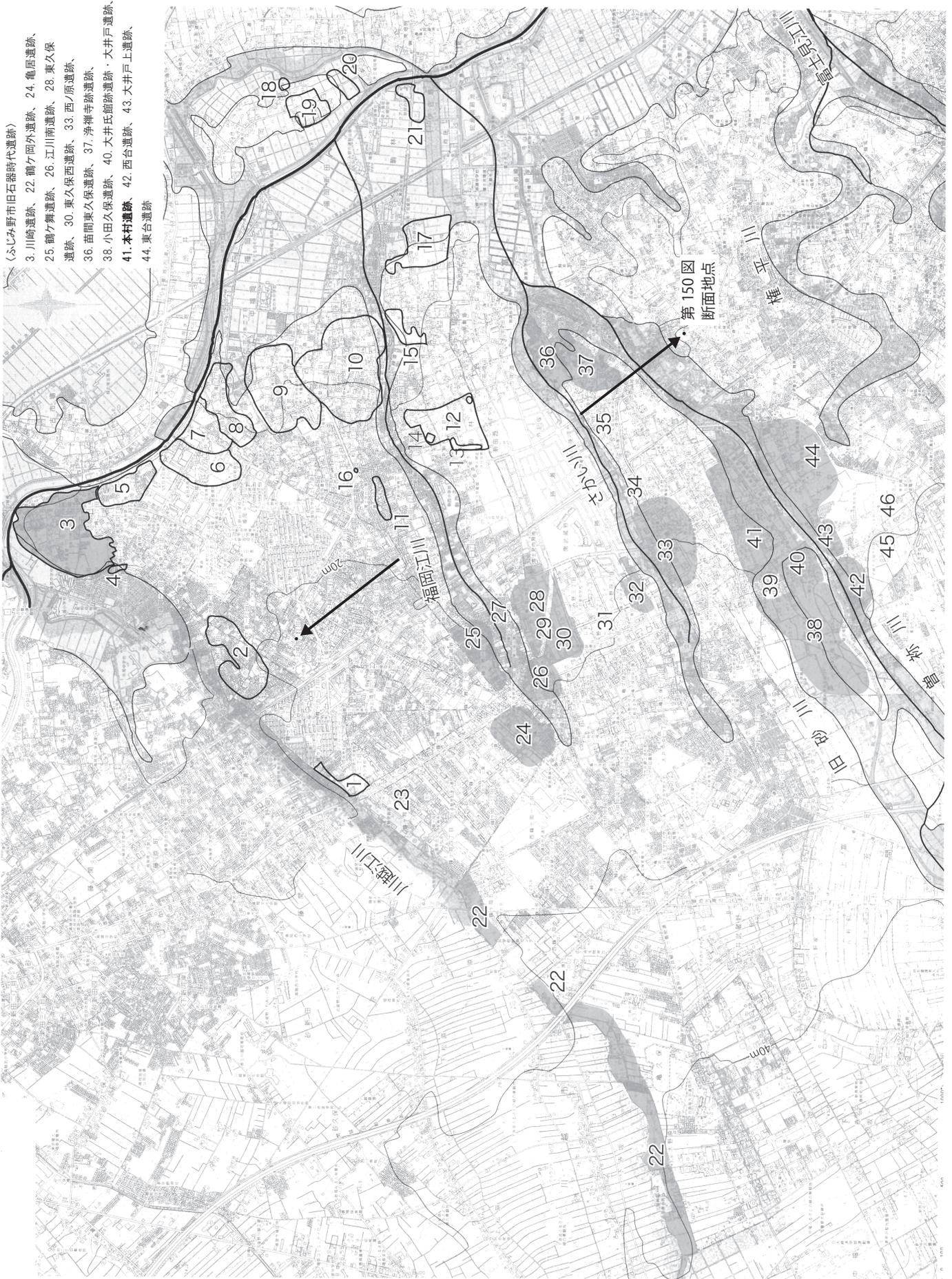
- ① 北から川越江川と1km南の福岡江川を望む武蔵野2面崖線へり。(4遺跡：3川崎・22鶴ヶ岡外・24亀居・25鶴ヶ舞遺跡)
- ② 福岡江川から南900mのさかい川までの武蔵野3面上。(3遺跡：26江川南・28東久保・30東久保西遺跡)
- ③ さかい川を越え、800m南の砂川に画された武蔵野3面上。(7遺跡：33西ノ原・36苗間東久保・37浄禅寺跡・38小田久保・40大井氏館跡・大井戸・41本村遺跡)
- ④ 砂川以南の武蔵野2面の崖線へりに立地する。(3遺跡：42西台・43大井戸上・44東台遺跡)

最近の調査では平坦な地形を形成する標高40m前後の台地奥部からも旧石器時代遺跡の報告が相次いでいる。現在河道は消え失せたものの旧石器時代遺構、遺物から往事の河道を推定しうる事ができる。本村遺跡北側で連続と発見される旧石器時代の遺構と遺物は好例である。第153図に示す。



M2 : 武蔵野2面 (武蔵野面) M3 : 武蔵野3面 (中台面) Tc : 立川面

第150図 ふじみ野市の地形断面及び段丘区分図



第151図 本村遺跡旧石器時代遺跡分布図 (1/30,000)

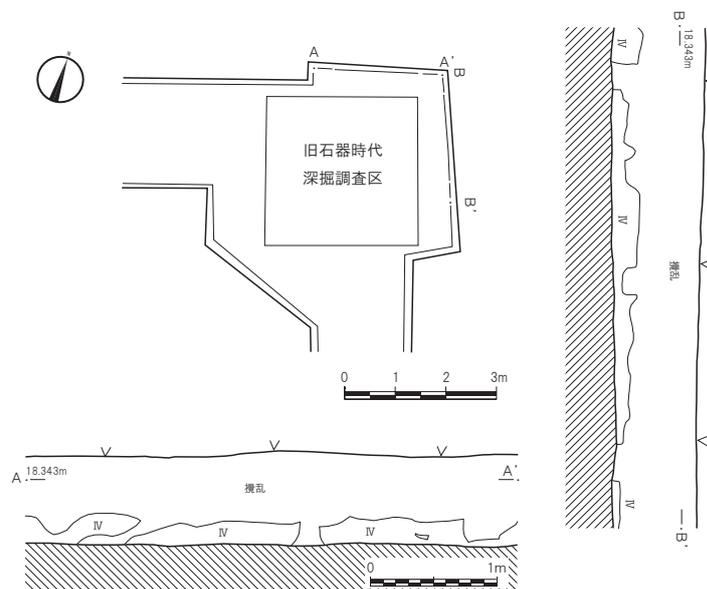
(3) 本村遺跡の旧石器時代の概要

第82表 本村遺跡旧石器時代調査一覧表

No.	地点	調査期間	遺構		遺物	層位	石器数 (点)	水系	報告書(詳細は264頁)
			礫群数	構成礫数					
1	2	1987.9.1～12.4	3	124	石器群3	IV上	23	砂川水系	大調7
2	6	1989.5.15～6.15	2	146	石器群2	III～VI	34	埋没谷水系	大調7
3	8	1989.9.30～ 1991.7.11	11	2,869	石器群7	IV下	314	埋没谷水系	大調4
4	17	1991.1.17～3.7	2	321	石器群6	IV～IX	218	埋没谷水系	大調3
5	18	1991.4.1～6.11	1	146	—	—	0	埋没谷水系	大調7
6	19								
7	24	1992.2.28～7.31	1	111	—	—	0	埋没谷水系	大調7
8	32	1993.11.9～11.25	—	—	—	IV上	4	砂川水系	町内III
9	36	1994.9.2～10.31	2	697	石器群1	IV	116	砂川水系	大調12
10	51	1996.4.3～5.30	1	51	石器群2	III下・IV上	155	砂川水系	大調12、町内V
11	55	1996.6.25～7.31	5	343	石器群2	IV下	148	埋没谷水系	大調12、町内VI
12	62	1997.10.21～ 1998.1.21	1	78	—	IV上	0	埋没谷水系	大調12、町内VI
13	65	1998.4.16～5.21	5	646	石器群3	IV	45	埋没谷水系	大調12、町内VI
14	99	2002.7.31～7.31	4	261	石器集中	III～IX	95	埋没谷水系	大調15、町内VII
15	136	2019.4.11～4.23	1	480	石器群1	IV上	106	埋没谷水系	市内24

前述のごとく本遺跡の立地を語る際に、決定的に重要な要素に埋没河川(旧河道)がある。旧石器時代の石器集中及び礫群は埋没河川の両岸と、砂川に近接した区域に分布しているが、前者が圧倒している。埋没河川は砂川の旧河道で現在は完全に埋没しているが、地形図、コンター、発掘調査からも伺い知ることができ、その幅は30～40m、河床までは2.3m前後を有すると思われる。流路は蛇行しながらも南東方向に向き、現砂川の流れと合流する。詳細については、第2章で報告する。

砂川は今でこそ人工的な河川となり、一般に「砂川堀」と呼ばれる。その水源は狭山丘陵北麓から端を発し、現在も中流域から下流には河岸段丘の地形が確認できる。源頭から6kmほど扇央部で伏流する河川で、川水は枯渇し姿を消し河道すら確認できないが、大井地域に入る標高27m付近で湧水が再表出する。遺跡もここから扇端部にかけては集中する。砂川に面した調査箇所は広がりも限定され、遺跡南東部の微高地を囲むように確認されている程度である。層位的には礫群を伴うIV層出土の石器群が多い。中でもIV層下部に対比される石器群が多い傾向にある。



第152図 本村遺跡第136地点旧石器時代調査区・層位(1/150)



● IV層出土石器・遺構確認地点
(数字は地点をさす)

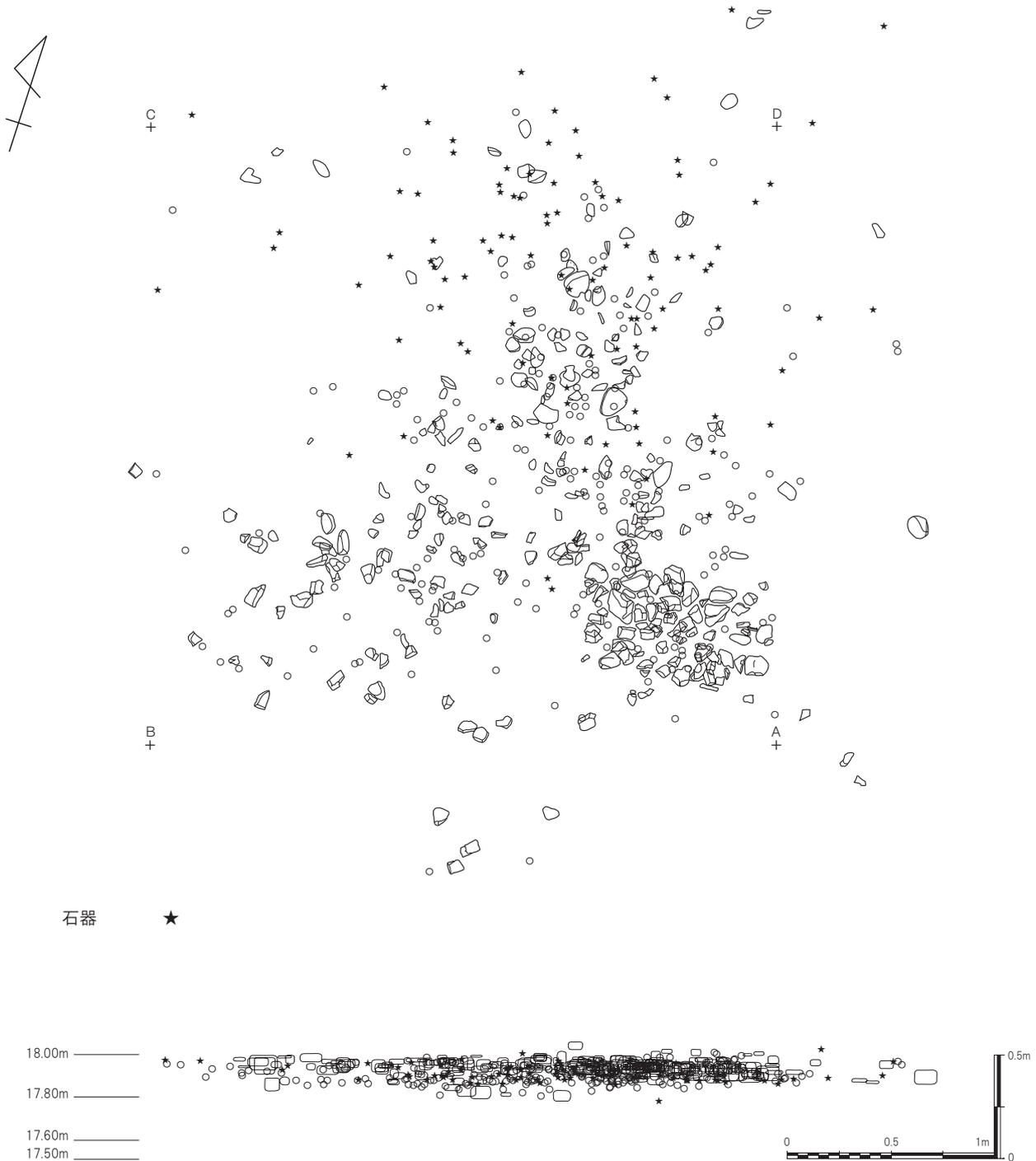
第153図 本村遺跡旧石器時代遺構確認地点 (1/2,500)

III 遺構と遺物

(1) 旧石器時代の遺構と遺物

①概要 (第154図)

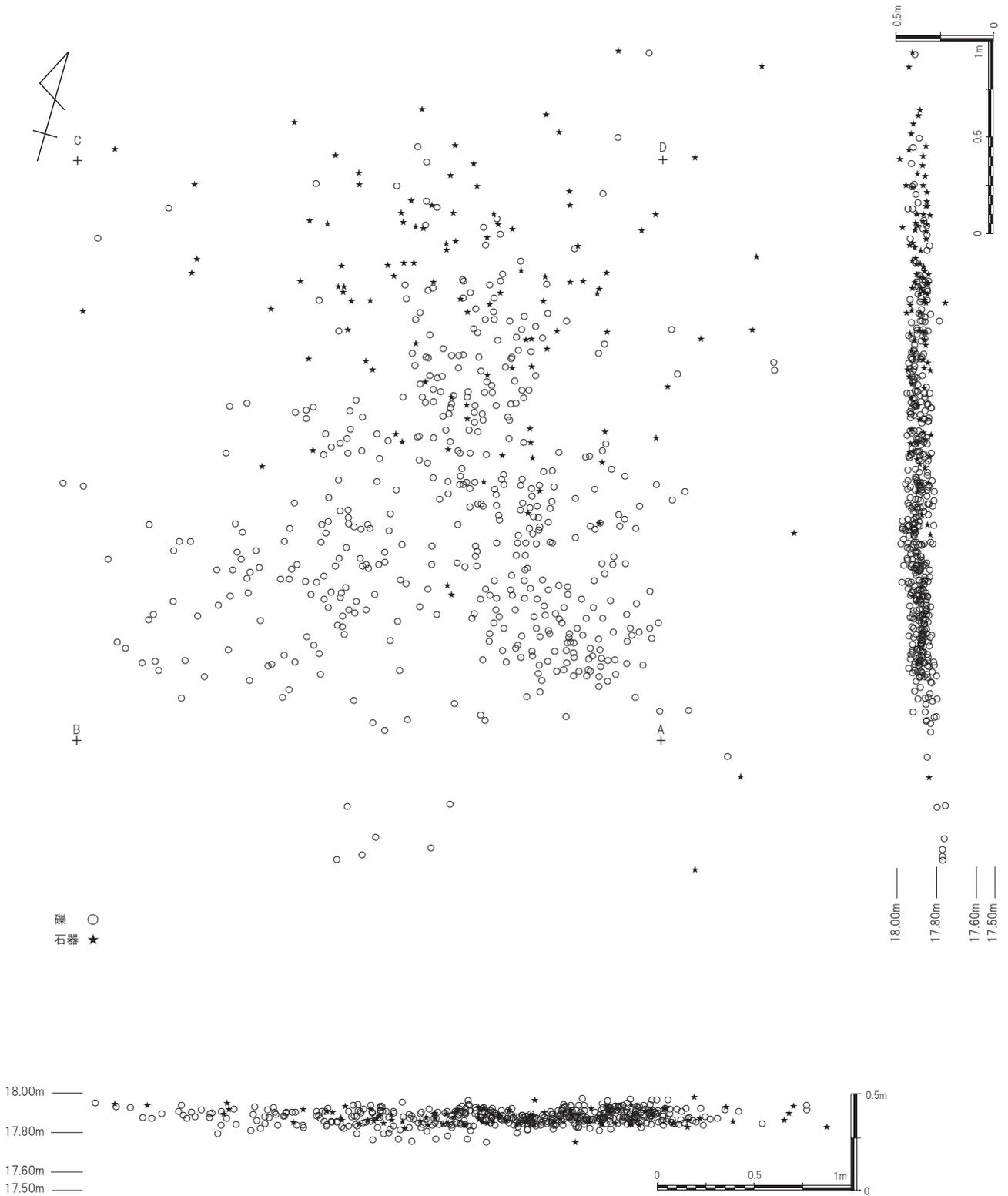
調査区北東隅より礫群を伴う石器集中ブロックを一ヶ所確認できた。石器の分布は 3.5×3.3 mの範囲で不正形を呈し、礫群分布よりやや北側にずれて分布する。出土した石器はナイフ形石器1点・搔器1点・鋸歯縁石器1点・石核3点・調整剥片4点・剥片・碎片で総点数は106点。石器は剥片・碎片が94%を占める。石材は黒曜石、チャートが圧倒的に多く黒曜石の場合は気泡が多く、チャートは節理面が多い。礫点数は480点を数える。



第154図 本村遺跡第136地点石器・礫分布微細図 (1/30)

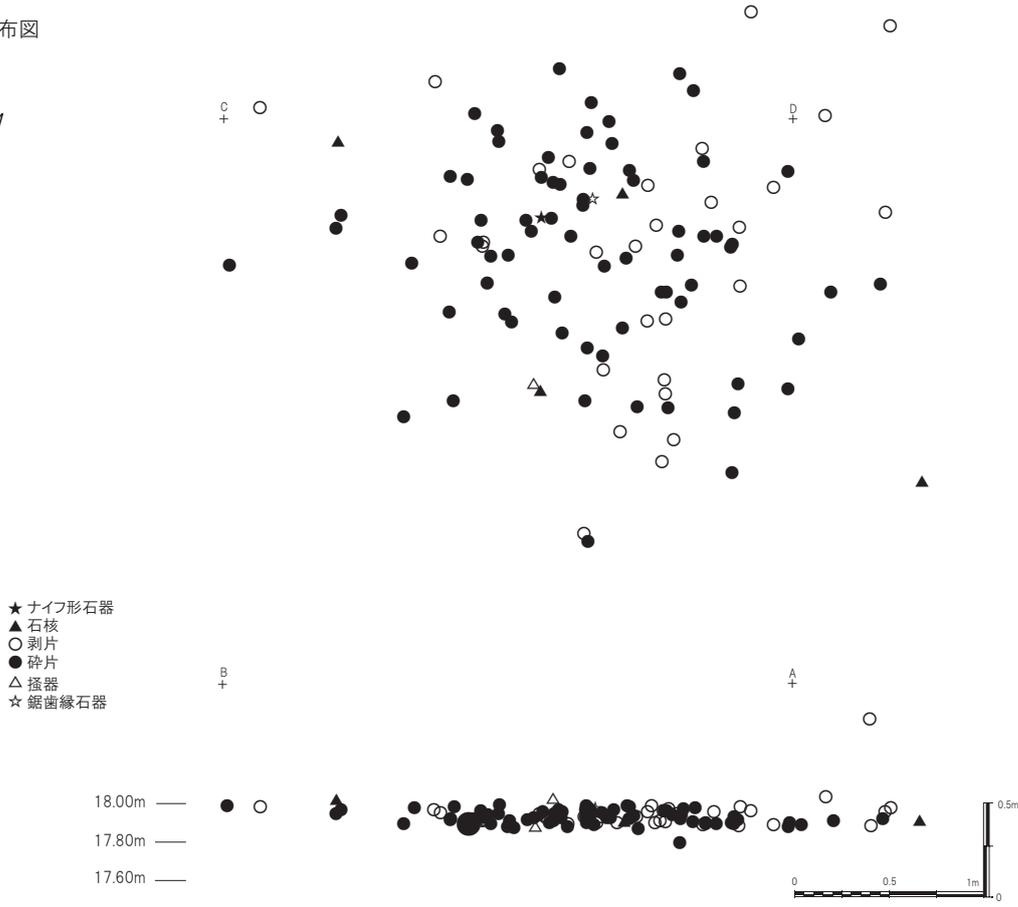
②層位 (第 152 図)

土層観察断面は調査区の東西方向及び南北方向の 2 面で設定したが攪乱も入り、決して良好な状態ではなかった。表土は客土されローム層堆積状況は、第Ⅲ層 (ソフトローム層) はほとんど確認できなかった。第Ⅵ層より下部の調査は実施しなかった。

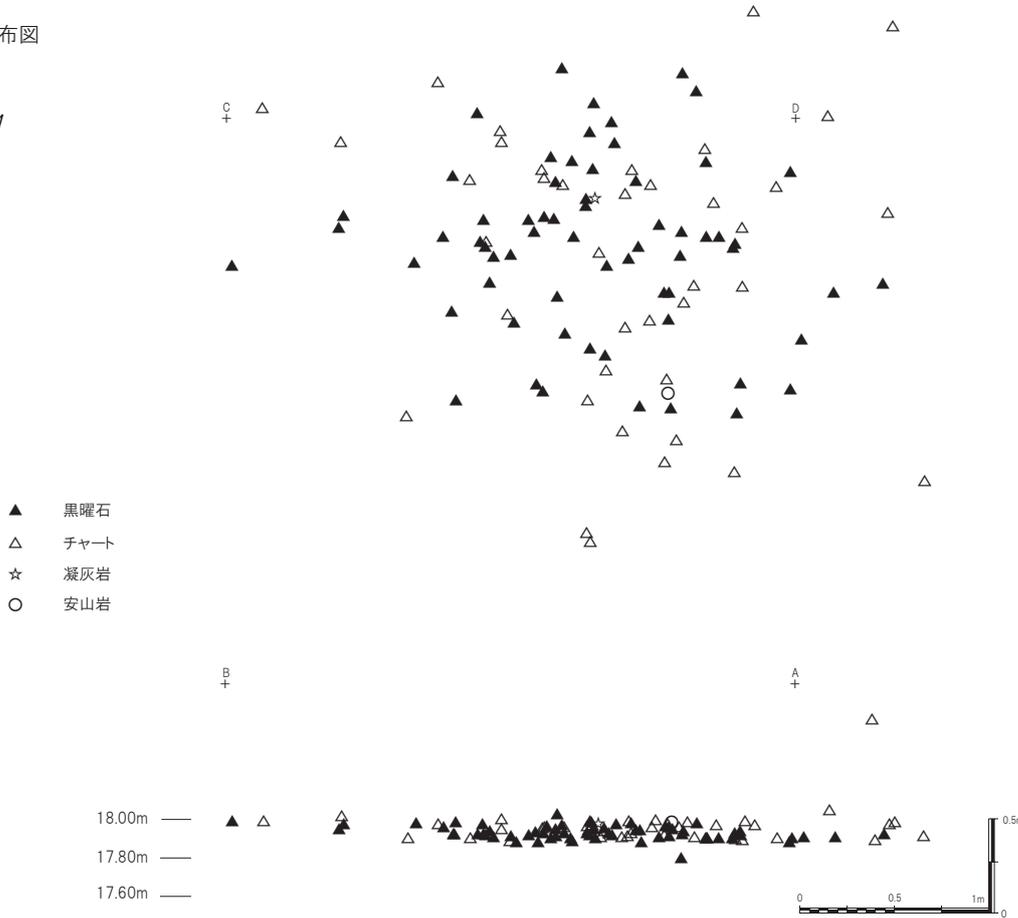


第 155 図 本村遺跡第 136 地点石器・礫分布図 (1/30)

器種別分布図



石材別分布図



第156図 本村遺跡第136地点石器器種・石材別分布図 (1/40)

③出土石器（第 157～162 図、第 83・84 表）

第 83 表 本村遺跡第 136 地点石器組成表

石材 / 器種	石核 (Co)	剥片 (F)	碎片 (C)	二次加工剥片 (Rf)	ナイフ形石器 (Kn)	搔器 (Sc)	鋸歯縁石器	合計
黒曜石 (Ob)	1	7	63	2	1	1		75
チャート (Ch)	3	15	9	2				29
緑色凝灰岩 (Tu)							1	1
安山岩 (An)		1						1
合計	4	23	72	4	1	1	1	106

ナイフ形石器（第 157 図 1）

横長剥片を素材とする。両側縁ともに主要剥離面からの調整加工が施される。左側縁は上半部に細かな調整を加え、右側縁は下部部に調整加工を施して全体の形を整えている。黒曜石製。

搔器（第 157 図 2）

横広剥片を用い、正面は凹面である。下端部に刃部加工が直線的に施され右側縁から上端には自然面を有する。左上端部に微細な剥離が施されている。

鋸歯縁石器（第 157 図 3）

緑色凝灰岩製。大型縦長剥片を素材とし、細部調整で鋸歯状の刃部が作り出されている。裏面は自然面を全面に残す。正面には上端部、両側縁に粗い加工を、特に左側縁に主要剥離面側からの急角度剥離で鋸歯状の加工が施される。下半部を欠く。石核の可能性もある。

剥片（第 157 図 4～第 159 図 21）

4～7 は二次加工を施した剥片。4 は黒曜石製。縦長剥片を素材とし両側縁を欠損するが、表右側縁に微細な調整痕を施し、左側縁下部も剥離が認められる。ナイフ形石器の可能性もある。5 は黒色チャート。打点は明瞭で打瘤はバルバー・スカーを伴って発達する。左下半に主要剥離面側からの調整加工が施される。6 は表面の左右側縁に急角度剥離を加え、右側縁に押圧的な調整を加え側縁全体に微細な使用痕が観察される。背面中央部は打瘤で凹みがみられる。7 は剥片剥離を行っている。小さいが石核の可能性もある。左下側縁に微細な調整が観察される。8 は縦長剥片を素材として縦位に用いている。素材打面を上部に設定し、表面右側に原礫面が残る。一側縁加工であり、上端部から左側縁にかけて微細な使用痕が観察される。9 は厚手の縦長剥片を素材とし、打面を上部に設定し、原礫面が残る。断面は三角形を呈する。打瘤が複数観察されるところから石核の可能性もある。接合資料 1 と同一母岩。10 は縦長剥片を素材とし、裏面の剥離面は抉れ、右側縁にかけて粗い調整が加えられる。11 は右側縁部を欠損。横長剥片を素材とし、裏面は凹面をなす。左側縁から下端及び右上端部に微細な剥離加工が施されている。12 は表面左側縁 1/3 ほどに微細な剥離痕が見られる。13 は正面に原礫面を残す。剥離痕は認められない。14 の表面は原礫面を残す。左側縁切断面に微細な剥離加工痕が認められる。15 は打面を欠損する横長剥片。表面挟り部に微細な加工を施している。上部及び右側器体を欠損。剥片は湾曲している。16 は右側縁裏面に微細な剥離痕のある黒曜石製剥片。17 は安山岩製剥片。左側縁に微細な剥離痕が観察される。18 は微細な使用痕を右側縁 2/3 ほどに観察できる。19 は凹形の打瘤が残る。上端稜線に微細な二次的加工が施している。20 は裏面に原礫面を残す。21 は両側縁に槌状の長い剥離痕が認められ、先端部に微細な加工痕が観察される。スクレイパー（搔器）の可能性もある。

石核（第 159 図 22・第 160 図 23）

22 は黒曜石の石核で裏面に自然面を残している。正面左上方を打点とし作業面が求心状になり小形の横広剥片が剥離されている。23 は礫器状の大形の石核。正面以外は全体に広く原礫面を残す。打面は中央上部で、横長剥片を剥離したと思われる。狭小な調査区ながら出土状況が確認されていない石材で、剥片剥離が本地点では行われなかった可能性が高い。色調は黒褐色のチャート製。

接合資料（第161図24～第162図29）

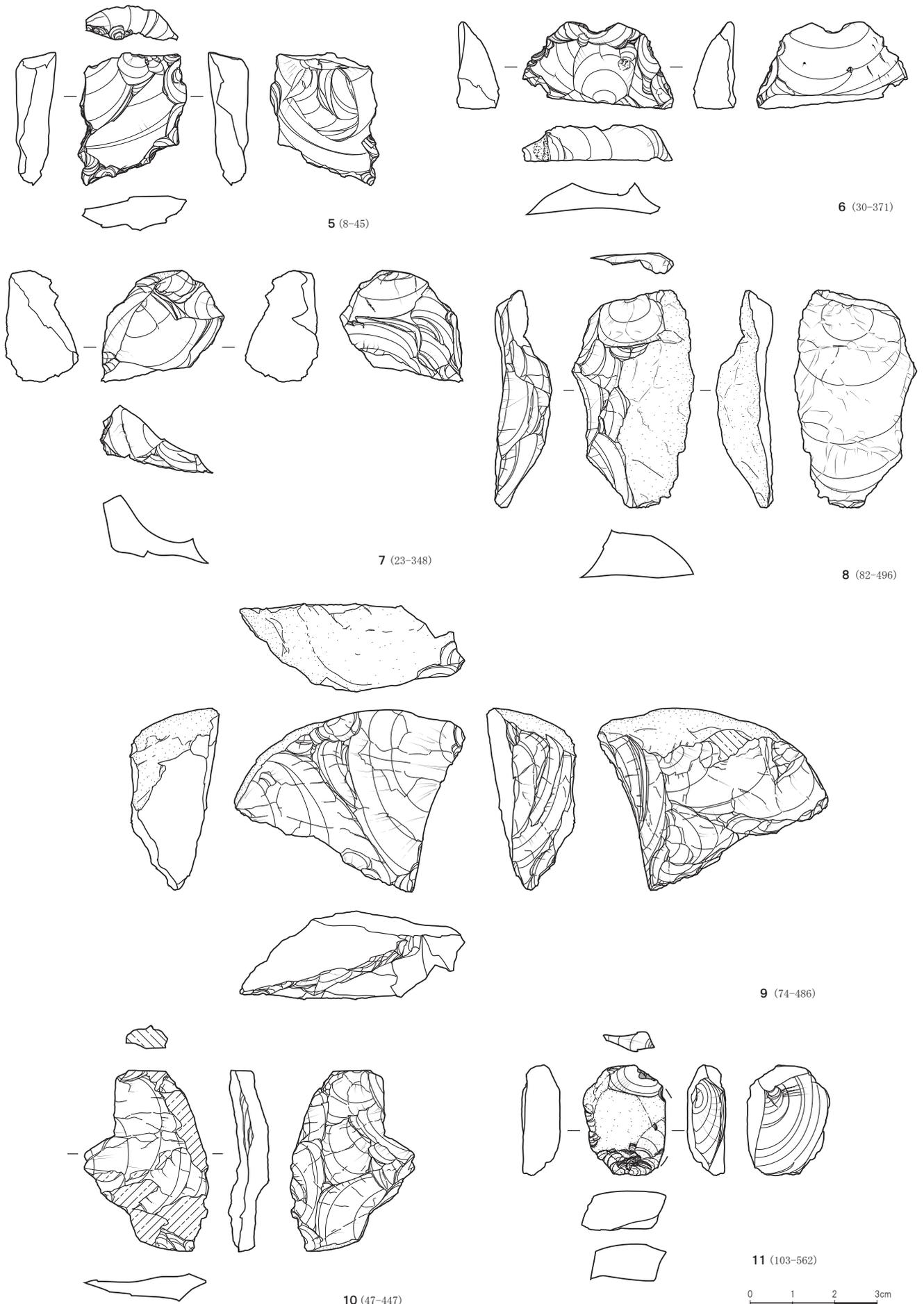
縦長剥片2点が接合した。チャート製で、上端部に原礫面を残す。打点は礫面上にあり剥片（24）を剥離する。剥片（25）は槌状の剥離がされ左側縁の稜線には使用痕が認められる（接合資料1）。

石核（28）と剥片（27）の接合資料である。挙大より一回り小さめのチャート原石に復元。左側縁上部を打面として剥離面が認められる（接合資料2）。

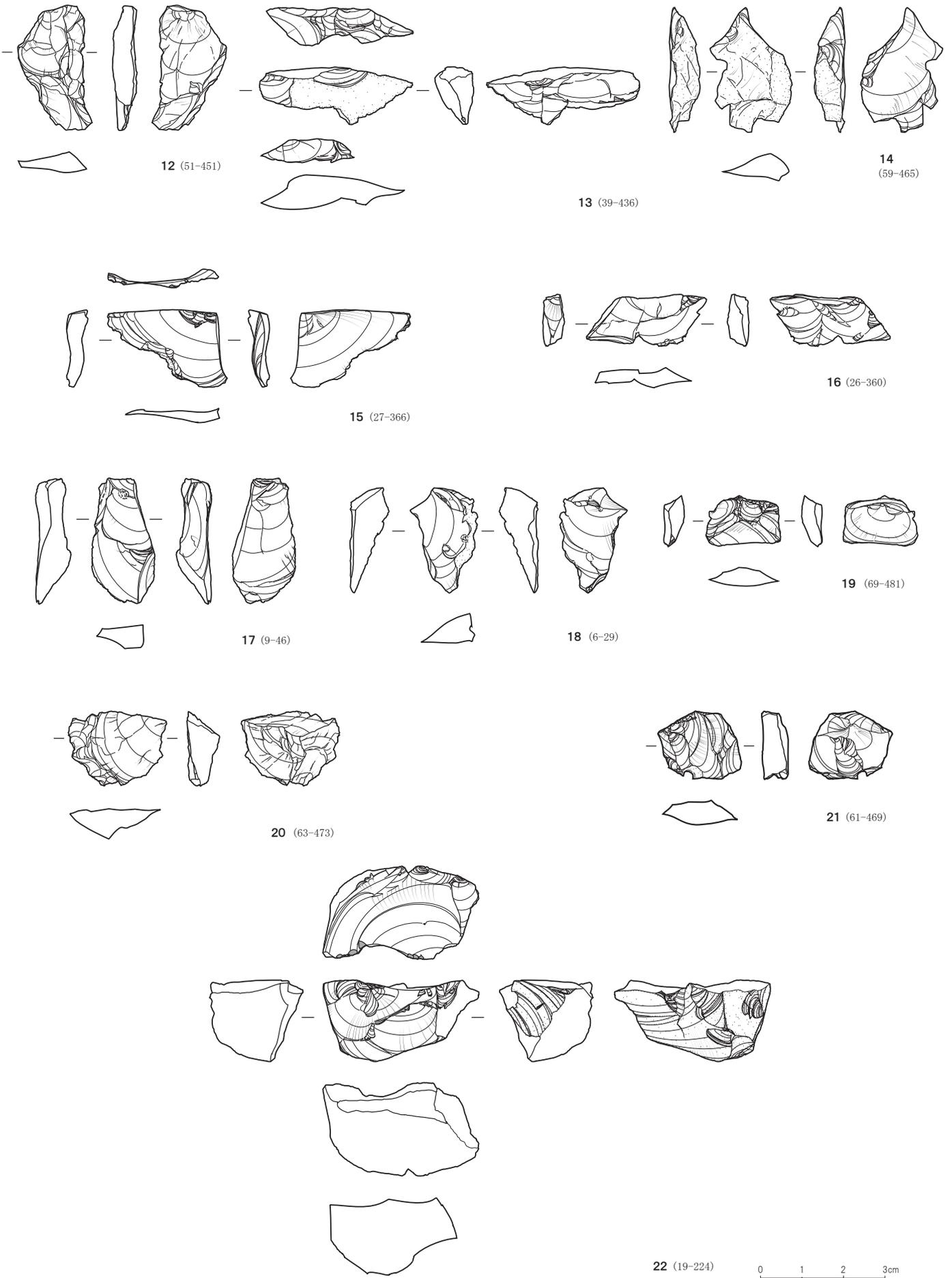


第157図 本村遺跡第136地点出土石器①（4/5）

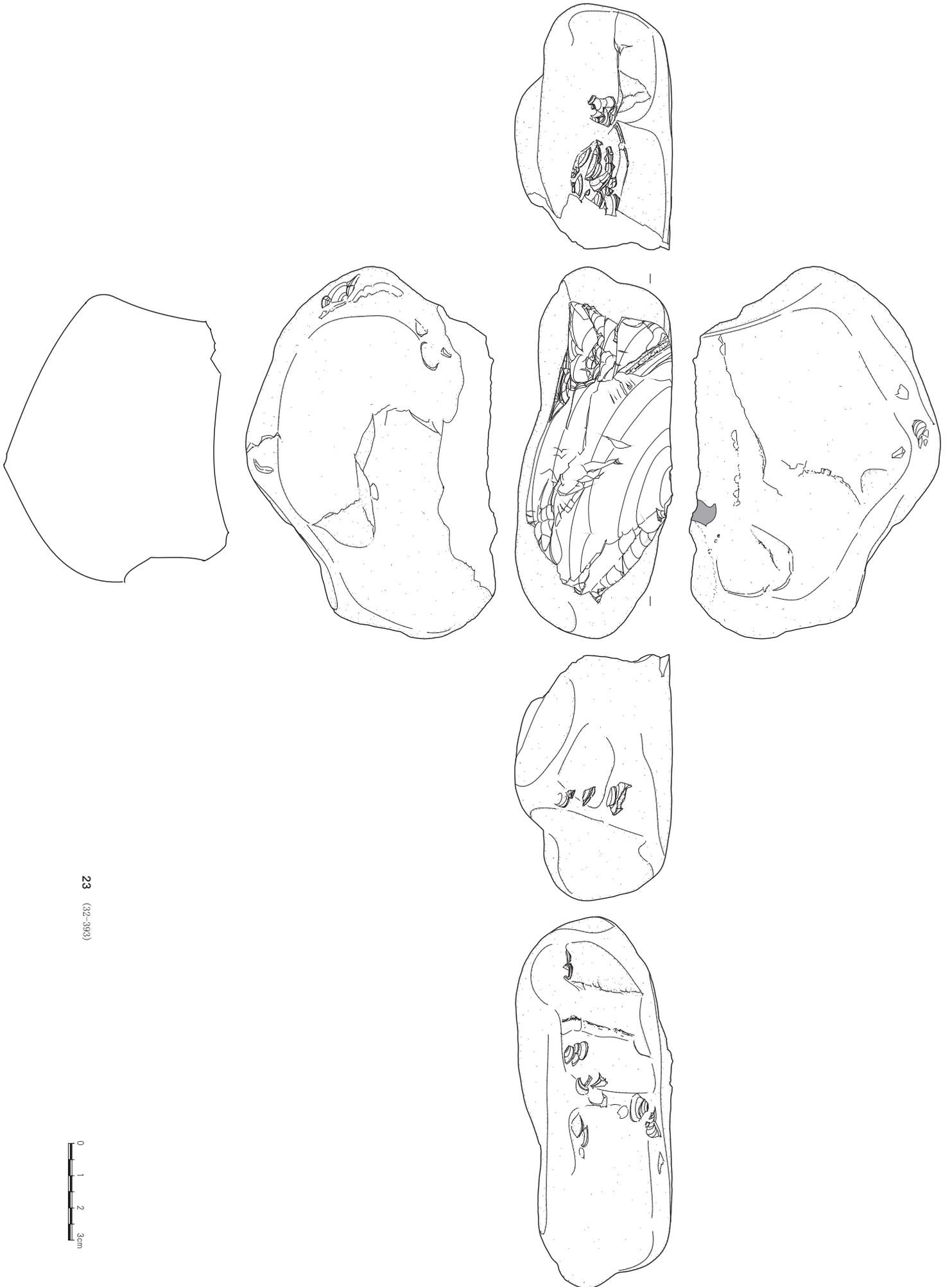
（ ）は第84表（P235・236）石器観察表のNo. 及び取上遺物No. である



第 158 図 本村遺跡第 136 地点出土石器② (4/5)



第159図 本村遺跡第136地点出土石器③ (4/5)



23 (32-393)



第 160 図 本村遺跡第 136 地点出土石器④ (2/3)